

四国横断自動車道建設に伴う
埋蔵文化財発掘調査報告

第十三冊

郡家原遺跡

1993. 11

香川県教育委員会
(財)香川県埋蔵文化財調査センター
日本道路公団

序 文

四国横断自動車道（高松～善通寺）は、平成4年5月に開通し、香川県は本格的な高速道路時代を迎えました。

この道路の建設に先立ち、香川県教育委員会では、昭和63年度から埋蔵文化財の発掘調査を財団法人香川県埋蔵文化財調査センターに委託して行ってまいりました。調査期間は3年6ヵ月を要し、平成3年9月末を以て終了し、また平成3年度から出土品の整理と報告書の作製を同センターに委託して実施しており、平成4年度からは発掘調査報告書の刊行を開始しております。

今回「四国横断自動車道建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告 第十三冊」として、丸亀市三条町黒島・中村及び郡家町八幡下に所在します郡家原遺跡についての調査報告書を刊行いたします。

郡家原遺跡の調査では、弥生時代から江戸時代にかけての遺構が検出され、多数の遺物が出土しております。特に弥生時代後期頃の溝跡から出土した多数の土器はこの地域の弥生土器の基準資料になるものと考えられます。

本報告書が香川県の歴史研究の資料として広く活用されますとともに、埋蔵文化財に対する理解と関心が深められる一助となれば幸いです。

最後になりましたが、発掘調査から出土品の整理・報告書の刊行にいたるまでの間、日本道路公団・関係諸機関並びに地元関係各位に多大な御協力と御指導をいただきました。ここに深く感謝の意を表しますとともに、今後ともよろしく御支援賜りますようお願い申し上げます。

平成5年11月

香川県教育委員会

教育長 松 繁 壽 義

例 言

1. 本報告書は、四国横断自動車道建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書の第十三冊で、香川県丸亀市三条町字黒島・中村及び郡家町字八幡下に所在する郡家原遺跡（ぐんげはらいせき）の報告を収録した。

2. 発掘調査は、香川県教育委員会が日本道路公団から委託され、香川県教育委員会が調査主体、財団法人香川県埋蔵文化財調査センターが調査担当者として実施した。

3. 発掘調査は、（予備調査を昭和63年3月に実施し、本調査を）昭和63年4月18日から平成2年3月31日まで実施した。発掘調査の担当は以下のとおりである。

（予備調査 片桐孝浩，松原伸二，山本英之，徳永多佳子）

本調査 金丸真明，岡 敦憲，真鍋嘉宏，藤川善規，和田素子，山下平重，
山元敏裕，高橋佳緒里，岡野 順，吉田良三，香川敏美

4. 調査にあたって、下記の関係諸機関の協力を得た。記して謝意を表したい。（順不同，敬称略）

香川県土木部横断道対策室，善通寺土木事務所横断道対策課，丸亀市土木部高速自動車道担当，四国横断自動車道建設丸亀市郡家地区対策協議会，各地元自治会

5. 本報告書の作成は、財団法人香川県埋蔵文化財調査センターが実施した。

本報告書の編集は山下平重が担当し、執筆は下記のとおり分担した。

遺 物 真鍋昌宏

その他 岡 敦憲，山下平重

6. 本報告書の作成にあたっては、下記の方々に御教示を得た。記して謝意を表したい。

（順不同，敬称略）

高槻市立埋蔵文化財調査センター 橋本久和，貝塚市教育委員会 前川浩一，財団法人大阪府埋蔵文化財協会 西村歩，奈良市埋蔵文化財調査センター 立石堅志

7. 本報告書で用いる方位の北は、国土座標系第Ⅳ系の北であり、標高はT. P. を基準としている。

また、遺構は下記の略号により表示している。

SA	柵列	SB	掘立柱建物跡	SD	溝状遺構	SE	井戸
SH	竪穴住居跡	SK	土坑	SP	柱穴	SX	不明遺構

8. 本報告書の土器実測図のうち、断面が黒く潰されているものは須恵器・須恵器系土器及び無釉の陶器を、断面が網目になっているものは釉薬のかかった陶磁器を、断面が空白のものは弥生土器・土師器・土師器系土器・瓦器及び瓦質土器を表す。また石器実測図の網目は摩滅痕を、輪郭線の回りの実線は潰れ痕を表す。

9. 挿図の一部に国土地理院地形図 丸亀，善通寺（1/25,000）及び丸亀市都市計画図を使用した。

10. 古代～中世の年代観については、以下の文献によった。

香川県教育委員会・財団法人香川県埋蔵文化財調査センター『中小河川大東川河川改修工事（津ノ郷橋～弘光橋間）に伴う埋蔵文化財発掘調査報告 川津元結木遺跡』
1992

目 次

第1章 調査の経緯	
第1節 調査にいたる経過	1
第2節 調査の経過	5
第2章 遺跡の立地と環境	
第1節 地理的環境	9
第2節 歴史的環境	11
第3章 調査の成果	
第1節 調査の方法	14
第2節 土層序	14
第3節 遺構・遺物	
弥生時代後期	14
古墳時代	83
奈良時代	89
平安時代	123
鎌倉時代	139
江戸時代以降	172
時期不明遺構	194
第4章 総括	211

挿図目次

第1図	四国横断自動車道埋蔵文化財包蔵地（高松～善通寺）	2
第2図	遺跡位置図（1）	9
第3図	遺跡位置図（2）（1/5,000）	10
第4図	周辺の遺跡（1/25,000）	13
第5図	調査区名図（1/1,000）	15・16
第6図	基盤土層平面模式図（1/1,000）	15・16
第7図	B1,B2,B3,B4,B5区画 東壁断面図（1/80）	17
第8図	D3,D4,D5,D6,D7区画 東壁断面図（1/80）	18
第9図	F5,F6,F7,F8区画 東壁断面図（1/80）	19
第10図	J11,J12,J13区画 東壁断面図（1/80）	20
第11図	B4,C4,D4区画 南壁断面図（1/80）	21
第12図	C6,D6,E6,F6区画 南壁断面図（1/80）	22
第13図	E8,F8,G8,H8区画 南壁断面図（1/80）	23
第14図	I12,J12,K12区画 南壁断面図（1/80）	24
第15図	K14,L14,M14区画 南壁断面図（1/80）	25
第16図	SH01平・断面図（1/80）	26
第17図	SH01出土土器（1/4）及び石器（1/2）	27
第18図	SH02平・断面図（1/80）及び出土土器（1/4）	28
第19図	SH03平・断面図（1/80）上器出土状況図（1/40） 及び出土土器（1/4）	29
第20図	SH04平・断面図（1/80）	30
第21図	SH04出土土器（1/4）及び石器（1/2）	31
第22図	SH05平・断面図（1/80）	32
第23図	SH06平・断面図（1/80）	32
第24図	SH06遺物出土状況図（1/40）及び出土土器（1/4）	33
第25図	G8SP12平・断面図（1/10）及び出土土器（1/4）	34
第26図	SK43平・断面図（1/40）	34

第27図	S K 5 0 平・断面図 (1/80) 及び出土土器 (1/4)	35
第28図	S K 5 4 平・断面図 (1/40) 及び出土土器 (1/4) ・石器 (1/2)	35
第29図	S K 5 5 平・断面図 (1/40)	36
第30図	S K 5 6 平・断面図 (1/40) 及び出土土器 (1/4)	36
第31図	S K 5 7 平・断面図 (1/40)	37
第32図	S K 5 8 平・断面図 (1/40) 及び出土土器 (1/4)	37
第33図	S K 5 9 平・断面図 (1/40) 及び出土土器 (1/4)	38
第34図	S D 0 5 出土土器 (1/4)	38
第35図	S D 0 5 断面図 (1/40)	39
第36図	S D 7 8 断面図 (1/40) 及び出土土器 (1/4)	39
第37図	S D 1 0 7 断面図 (1/40)	40
第38図	S D 1 0 7 下層出土土器 (1) (1/4)	41
第39図	S D 1 0 7 下層出土土器 (2) (1/4)	42
第40図	S D 1 0 7 下層出土土器 (3) (1/4)	43
第41図	S D 1 0 7 下層出土土器 (4) (1/4)	44
第42図	S D 1 0 7 下層出土土器 (5) (1/4)	45
第43図	S D 1 0 7 下層出土土器 (6) (1/4)	46
第44図	S D 1 0 7 下層出土土器 (7) (1/4)	47
第45図	S D 1 0 7 下層出土土器 (8) (1/4)	48
第46図	S D 1 0 7 上層出土土器 (1) (1/4)	50
第47図	S D 1 0 7 上層出土土器 (2) (1/4)	51
第48図	S D 1 0 7 上層出土土器 (3) (1/4)	52
第49図	S D 1 0 7 上層出土土器 (4) (1/4)	53
第50図	S D 1 0 7 上層出土土器 (5) (1/4)	54
第51図	S D 1 0 7 出土土器 (1) (1/4)	56
第52図	S D 1 0 7 出土土器 (2) (1/4)	57
第53図	S D 1 0 7 出土土器 (3) (1/4)	58
第54図	S D 1 0 7 出土土器 (4) (1/4)	59
第55図	S D 1 0 7 出土土器 (5) (1/4)	60
第56図	S D 1 0 7 出土土器 (6) (1/4)	61

第57図	SD 1 0 7 出土土器 (7) (1/4)	62
第58図	SD 1 0 7 出土土器 (8) (1/4)	63
第59図	SD 1 0 7 出土土器 (9) (1/4)	64
第60図	SD 1 0 7 出土土器 (10) (1/4)	65
第61図	SD 1 0 7 出土土器 (11) (1/4)	66
第62図	SD 1 0 7 出土土器 (12) (1/4)	67
第63図	SD 1 0 7 出土土器 (13) (1/4) 及び石器 (1/2)	68
第64図	SD 1 5 0・1 5 8 断面図及びSD 1 5 0 出土土器 (1/3, 1/4)・ 石器 (1/2)	70
第65図	SD 1 5 8 土器集中A 出土土器 (1) (1/4)	71
第66図	SD 1 5 8 土器集中A 出土土器 (2) (1/4)	72
第67図	SD 1 5 8 土器集中B 出土土器 (1) (1/4)	74
第68図	SD 1 5 8 土器集中B 出土土器 (2) (1/4)	75
第69図	SD 1 5 8 土器集中C 出土土器 (1) (1/4)	75
第70図	SD 1 5 8 土器集中C 出土土器 (2) (1/4) 及び石器 (1/2)	76
第71図	SD 1 5 8 出土土器 (1/4)	76
第72図	SD 1 5 8 出土石器 (1/2)	77
第73図	SD 1 5 0・1 5 8・1 5 9 出土土器 (1) (1/4)	78
第74図	SD 1 5 0・1 5 8・1 5 9 出土土器 (2) (1/3, 1/4) 及び石器 (1) (1/2)	79
第75図	SD 1 5 0・1 5 8・1 5 9 出土石器 (2) (1/2)	80
第76図	SD 1 5 0・1 5 8・1 5 9 出土石器 (3) (1/2)	81
第77図	SD 2 1 6 断面図 (1/40) 及び出土土器 (1/4)	82
第78図	SH 0 7 平・断面図 (1/40)	83
第79図	SH 0 8 平・断面図 (1/40)	84
第80図	SB 3 0 平・断面図 (1/80)	84
第81図	SB 3 1 平・断面図 (1/80)	85
第82図	SB 3 3 平・断面図 (1/80) 及び出土土器 (1/4)	85
第83図	SB 3 5 平・断面図 (1/80)	86
第84図	SB 5 9 平・断面図 (1/80) 及び出土土器 (1/3)	87

第85図	S D 0 8 断面図 (1/40)	87
第86図	S D 7 2 断面図 (1/40)	88
第87図	S D 1 3 3 断面図(1/40)及び出土土器(1/3, 1/4)・石器(1/2)	88
第88図	S D 1 5 2 ・ 1 6 9 断面図 (1/40)	88
第89図	S D 1 6 4 断面図 (1/40) 及び出土土器 (1/4)	88
第90図	S B 0 1 平・断面図 (1/80) 及び出土土器 (1/3)	90
第91図	S B 0 5 平・断面図 (1/80)	91
第92図	S B 0 7 平・断面図 (1/80)	92
第93図	S B 0 9 平・断面図 (1/80) 及び出土土器 (1/3)	93
第94図	S B 1 0 平・断面図 (1/80)	94
第95図	S B 1 1 平・断面図 (1/80) 及び出土鉄器 (1/2)	95
第96図	S B 1 3 平・断面図 (1/80)	95
第97図	S B 2 2 平・断面図 (1/80)	96
第98図	S B 2 4 平・断面図 (1/80)	96
第99図	B4S P 1 3 出土土器 (1/3)	97
第100図	S B 3 6 平・断面図 (1/80)	97
第101図	S B 3 7 平・断面図 (1/80)	98
第102図	S B 3 8 平・断面図 (1/80) 及び出土土器 (1/3)	99
第103図	S B 3 9 平・断面図 (1/80) 及び出土土器 (1/3)	100
第104図	S B 4 0 平・断面図 (1/80)	101
第105図	S B 4 1 平・断面図 (1/80)	102
第106図	S B 4 2 平・断面図 (1/80) 及び出土土器 (1/4)	102
第107図	S B 4 6 平・断面図 (1/80)	103
第108図	S A 0 4 平・断面図 (1/80)	103
第109図	S B 5 1 平・断面図 (1/80)	104
第110図	S B 5 2 平・断面図 (1/80)	105
第111図	S B 5 3 平・断面図 (1/80)	106
第112図	S B 5 4 平・断面図 (1/80)	106
第113図	S B 5 5 平・断面図 (1/80)	107
第114図	S B 5 6 平・断面図 (1/80)	107

第115図	S B 5 7 平・断面図 (1/80)	108
第116図	S B 5 8 平・断面図 (1/80) 及び出土土器 (1/3)	109
第117図	ピット出土土器 (1/3)	110
第118図	S K 1 3 平・断面図 (1/40)	110
第119図	S K 8 8 平・断面図 (1/40) 及び出土土器 (1/3)	111
第120図	S K 8 9 平・断面図 (1/40)	111
第121図	S K 8 9 出土土器 (1/3)	112
第122図	S K 9 0 平・断面図 (1/40)	112
第123図	S K 1 0 0 平・断面図 (1/40)	113
第124図	S K 1 0 1 平・断面図 (1/40) 及び出土土器 (1/3)	113
第125図	S D 7 7 断面図 (1/40)	114
第126図	S D 7 7 出土土器 (1) (1/3)	115
第127図	S D 7 7 出土土器 (2) (1/4) 及び石器 (1/2)	116
第128図	S D 1 7 断面図 (1/40) 及び出土瓦 (1/4)	116
第129図	S D 3 0 断面図 (1/40) 及び出土土器 (1/3)	117
第130図	S D 7 5 断面図 (1/40) 及び出土土器 (1/3)	117
第131図	S D 8 0 断面図 (1/40) 及び出土土器 (1/3)	117
第132図	S D 1 1 4 ~ S D 1 1 7 断面図 (1/40) 及び出土土器 (1/3)	118
第133図	S D 1 9 0 出土土器 (1/3)	118
第134図	S D 2 4 8 断面図① (1/40)	118
第135図	S D 2 4 8 平・断面図② (1/40)	119
第136図	S D 2 4 8 出土土器 (1) (1/3)	120
第137図	S D 2 4 8 出土土器 (2) (1/3)	121
第138図	S D 2 4 8 出土土器 (3) (1/3), 石器 (1/2), 鉄器 (1/2) 及び木器 (1/2)	122
第139図	S D 2 5 0 断面図 (1/40)	122
第140図	S B 1 2 平・断面図 (1/80) 及び出土土器 (1/3)	123
第142図	S B 2 0 平・断面図 (1/80)	124
第141図	S B 1 7 平・断面図 (1/80)	125・126
第143図	S B 2 0 出土土器 (1/3)	127

第144図	S B 2 1 平・断面図 (1/80)	127
第145図	S B 2 6 平・断面図 (1/80) 及び出土石器 (1/2)	128
第146図	S B 2 7 平・断面図 (1/80)	128
第147図	S B 2 9 平・断面図 (1/80)	129
第148図	S B 3 2 平・断面図 (1/80)	129
第149図	S B 3 4 平・断面図 (1/80)	130
第150図	S A 0 3 平・断面図 (1/80)	130
第151図	D4S P 3 出土土器 (1/3)	131
第152図	S D 7 3 断面図 (1/40)	132
第153図	S D 7 3 出土土器 (1) (1/3)	134
第154図	S D 7 3 出土土器 (2) (1/3)	135
第155図	S D 7 3 出土木器 (1) (1/2)	136
第156図	S D 7 3 出土木器 (2) (1/2)	137
第157図	S D 9 1 断面図 (1/40) 及び出土土器 (1/4)	138
第158図	S D 1 4 9・1 7 0 断面図 (1/40)	138
第159図	S B 2 3 平・断面図 (1/80)	139
第160図	S B 2 8 平・断面図 (1/80)	140
第161図	C2S P 1 4 出土土器 (1/3)	140
第162図	S B 4 3 出土土器 (1/3)	140
第163図	S B 4 3 平・断面図 (1/80)	141
第164図	S B 4 4 平・断面図 (1/80)	141
第165図	S B 4 5 平・断面図 (1/80)	142
第166図	G9S P 1 4 出土土器 (1/3)	143
第167図	ピット出土土器 (1/3)	143
第168図	S B 4 7 平・断面図 (1/80)	144
第169図	S B 4 8 平・断面図 (1/80) 及び出土土器 (1/3)	144
第170図	S B 4 9 平・断面図 (1/80)	145
第171図	S B 5 0 平・断面図 (1/80)	145
第172図	S B 6 0 平・断面図 (1/80)	146
第173図	S B 6 0 出土土器 (1/3) 及び鉄器 (1/2)	147

第174図	S B 6 1 出土土器 (1/3)	147
第175図	S B 6 1 平・断面図 (1/80)	148
第176図	ピット出土土器 (1/3)	148
第177図	K10S P 1 9 出土土器 (1/3)	149
第178図	L14S P 4 5 平・断面図 (1/10) 及び出土土器 (1/3) ・ 銅銭・鉄器 (1/2)	149
第179図	L14S P 4 8 平・断面図 (1/10) 及び出土土器 (1/3) ・銅銭 (1/2)	150
第180図	ピット出土土器 (1/3)	151
第181図	S K 4 1 平・断面図 (1/40) 及び出土石器 (1/2)	152
第182図	S K 4 8 平・断面図 (1/40) 及び出土土器 (1/3)	152
第183図	S K 6 1 平・断面図 (1/40) 及び出土土器 (1/3) ・瓦 (1/4)	153
第184図	S K 6 5 平・断面図 (1/40) 及び出土土器 (1/3)	153
第185図	S K 7 4 ・ 7 6 ・ 8 0 ・ 8 2 平・断面図 (1/40) 及び出土土器 (1/3) ...	154
第186図	S K 8 3 ・ 9 8 ・ 9 9 平・断面図 (1/40)	155
第187図	S K 1 0 5 ・ 1 0 6 ・ 1 0 7 平・断面図 (1/40)	156
第188図	S K 1 0 8 平・断面図 (1/40) 及び出土土器 (1/3)	157
第189図	S K 1 0 9 平・断面図 (1/40)	158
第190図	S K 1 1 0 平・断面図 (1/40)	159
第191図	S E 0 4 平・断面図 (1/40)	159
第192図	S E 0 4 出土土器 (1/3) 及び木器 (1/2)	160
第193図	S D 8 3 断面図 (1/40) 及び出土土器 (1/3)	160
第194図	S D 1 2 4 ・ 1 2 9 平・断面図 (1/40) 及び出土土器 (1/3) ・ 鉄器 (1/2)	160
第195図	S D 1 3 6 断面図 (1/40) 及び出土土器 (1/3)	161
第196図	S D 1 4 0 ・ 1 4 8 断面図 (1/40) 及び出土土器 (1/3, 1/4) ・ 石器 (1/2)	161
第197図	S D 1 4 5 断面図 (1/40) 及び出土土器 (1/3)	162
第198図	S D 1 7 5 ・ 1 7 6 断面図 (1/40)	162
第199図	S D 1 7 5 出土土器 (1/3) 及び石器 (1/2)	163
第200図	S D 1 7 6 出土石器 (1/2)	164

第201図	S D 1 8 7 断面図 (1/40) 及び出土土器 (1/3) ・石器 (1/2) ……	164
第202図	S D 1 8 8 断面図 (1/40) 及び出土土器 (1/3) ・石器 (1/2) ……	165
第203図	S D 1 8 9 断面図 (1/40) 及び出土土器 (1/3) ・石器 (1/2) ……	166
第204図	S D 1 9 1 断面図 (1/40) 及び出土土器 (1) (1/3) ……	167
第205図	S D 1 9 1 出土土器 (2) (1/3, 1/6) 及び石器 (1/2) ……	168
第206図	S D 1 9 4 出土土器 (1/3) ……	168
第207図	S D 1 9 6 出土土器 (1/3) ……	169
第208図	S D 2 0 2 出土土器 (1/3) ……	169
第209図	S D 2 0 4 断面図 (1/40) 及び出土土器 (1/3) ……	169
第210図	S D 2 0 8 断面図 (1/40) 及び出土土器 (1/3) ……	169
第211図	S D 2 1 0 断面図 (1/40) 及び出土土器 (1/3) ……	170
第212図	S D 2 1 3 断面図 (1/40) 及び出土土器 (1/3) ……	170
第213図	S D 2 3 1 出土土器 (1/3) 及び瓦 (1/4) ……	170
第214図	S D 2 4 9 断面図 (1/40) 及び出土土器 (1/3) ……	171
第215図	S D 2 5 1 断面図 (1/40) 及び出土土器 (1/3) ……	171
第216図	S B 0 2 平・断面図 (1/80) ……	172
第217図	S B 0 3 平・断面図 (1/80) ……	173
第218図	S B 0 4 平・断面図 (1/80) 及び出土瓦 (1/4) ……	174
第219図	S B 0 6 平・断面図 (1/80) ……	175
第220図	S B 0 8 出土土器 (1/3) ……	175
第222図	S B 1 4 平・断面図 (1/80) 及び出土土器 (1/3) ……	176
第221図	S B 0 8 平・断面図 (1/80) ……	177・178
第223図	S B 1 5 平・断面図 (1/80) ……	179
第224図	S B 1 6 出土土器 (1/3) ……	179
第225図	S B 1 6 平・断面図 (1/80) ……	180
第226図	S B 1 8 平・断面図 (1/80) ……	181
第227図	S B 1 9 平・断面図 (1/80) ……	181
第228図	S B 2 5 平・断面図 (1/80) ……	182
第229図	C2S P 1 6 6 出土土器 (1/3) ……	182
第230図	S K 0 1 平・断面図 (1/40) ……	182

第231図	S K 0 2 平・断面図 (1/40) 及び出土土器 (1/3) ・石器 (1/4) ……	183
第232図	S K 0 3 平・断面図 (1/40) 及び出土土器 (1/3) ・石器 (1/4) ……	184
第233図	S K 0 4 平・断面図 (1/40) 及び出土土器 (1/3) ……	185
第234図	S K 0 5 平・断面図 (1/40) ……	186
第235図	S K 0 6 平・断面図 (1/40) ……	186
第236図	S K 0 6 出土土器 (1/3) 及び石器 (1/2) ……	187
第237図	S K 1 4 平・断面図 (1/40) ……	187
第238図	S K 1 5 ・ 1 6 ・ 1 7 平・断面図 (1/40) 及び出土土器 (1/3) ……	188
第239図	S K 1 8 平・断面図 (1/40) 及び出土土器・石器 (1/4) ……	189
第240図	S K 1 9 ・ 2 0 ・ 2 1 平・断面図 (1/40) ……	190
第241図	S K 2 2 ・ 2 4 平・断面図 (1/40) 及び出土土器 (1/3) ……	191
第242図	S K 4 2 ・ 9 6 平・断面図 (1/40) 及び出土土器 (1/3) ……	192
第243図	S K 9 7 平・断面図 (1/40) ……	193
第244図	S D 2 2 5 断面図 (1/40) 及び出土土器 (1/3, 1/4) ・ 石器 (1/2) ……	193
第245図	ピット出土土器 (1/3) ……	194
第246図	S K 0 8 ・ 0 9 平・断面図 (1/40) ……	194
第247図	S K 1 0 ・ 1 1 ・ 1 2 ・ 2 3 平・断面図 (1/40) ……	195
第248図	S K 2 5 ・ 2 6 ・ 2 7 平・断面図 (1/40) ……	196
第249図	S K 2 8 ・ 2 9 ・ 3 0 ・ 3 1 平・断面図 (1/40) ……	197
第250図	S K 3 2 ・ 3 3 ・ 3 4 ・ 3 5 ・ 3 6 平・断面図 (1/40) ……	198
第251図	S K 3 7 ・ 3 8 ・ 3 9 ・ 4 0 平・断面図 (1/40) ……	199
第252図	S K 4 4 ・ 4 5 ・ 4 6 ・ 4 7 平・断面図 (1/40) ……	200
第253図	S K 4 9 ・ 5 1 ・ 5 2 平・断面図 (1/40) ……	201
第254図	S K 5 3 ・ 6 0 ・ 6 2 ・ 6 3 平・断面図 (1/40) ……	202
第255図	S K 6 4 ・ 6 6 ・ 6 7 ・ 6 8 ・ 6 9 平・断面図 (1/40) ……	203
第256図	S K 7 0 ・ 7 1 ・ 7 2 ・ 7 3 平・断面図 (1/40) ……	204
第257図	S K 7 5 ・ 7 7 ・ 7 8 ・ 7 9 ・ 8 1 ・ 8 4 平・断面図 (1/40) 及び出土石器 (1/2) ……	205
第258図	S K 8 5 ・ 8 6 ・ 9 1 ・ 9 2 平・断面図 (1/40) 及び出土土器 (1/3) ……	206

第259図 SK 9 3・9 4・9 5・1 0 2・1 0 3平・断面図 (1/40)	207
第260図 SK 1 0 4平・断面図 (1/40)	208
第261図 包含層及び出土位置不明遺物 (1) (1/3, 1/4)	208
第262図 包含層及び出土位置不明遺物 (2) (1/2)	209
第263図 包含層及び出土位置不明遺物 (3) (1/2)	210
第264図 弥生時代後期及び古墳時代の遺構配置図 (1/1,000)	213~214
第265図 奈良時代及び平安時代の遺構配置図 (1/1,000)	215~216
第266図 鎌倉時代及び江戸時代以降の遺構配置図 (1/1,000)	217~218

表 目 次

第1表 四国横断自動車道建設に伴う発掘調査の概要 (1)	3
第2表 四国横断自動車道建設に伴う発掘調査の概要 (2)	4
土器観察表	220
平瓦観察表	267
丸瓦観察表	267
石器観察表	268
金属器観察表	270
木器観察表	271
竪穴住居跡一覧表	272
掘立柱建物跡一覧表	272
上坑一覧表	273
遺構出土遺物一覧表	276

図版目次

- 図版 1 I 区空中写真, I 区北空中写真
図版 2 II 区北空中写真, II 区南空中写真
図版 3 III 区北空中写真, III 区南空中写真
図版 4 III 区空中写真, IV 区西空中写真
図版 5 IV 区中空中写真, IV 区東空中写真
図版 6 V 区 (F) 西空中写真, V 区 (F) 東空中写真
図版 7 V 区 (F) 東空中写真, V 区①空中写真
図版 8 V 区②空中写真, SH 0 1 完掘 南から
図版 9 SH 0 3 完掘 北から, SH 0 4 完掘 西から
図版10 SH 0 5 完掘 東から, SH 0 6 遺物出土状況 南から
図版11 G8SP 1 2 遺物出土状況, SK 5 4 遺物出土状況 南から
図版12 SK 5 7 遺物出土状況 南から, SK 5 8 遺物出土状況 南から
図版13 SK 5 9 遺物出土状況 北西から, SD 1 0 7 遺物出土状況 南から
図版14 SD 1 0 7 遺物出土状況 南から, SD 1 0 7 下層遺物出土状況 南から
図版15 SD 1 0 7 下層遺物出土状況 東から, SD 1 0 7 調査風景 南から
図版16 SD 1 5 8 土器集中A 西から, SH 0 7 完掘 東から
図版17 SH 0 8 完掘 南から, SB 3 1 完掘 南から
図版18 SB 3 3 完掘 西から, SB 3 5 完掘 西から
図版19 SB 5 9 完掘 西から, A 区建物群 南から
図版20 SB 1 3 完掘 東から, SB 2 1・2 2・2 3 柱痕検出状況 西から
図版21 SB 2 4 完掘 東から, SB 3 6 完掘 北から
図版22 SB 3 7 完掘 南から, SB 3 8 完掘 南から
図版23 SB 4 0 柱痕検出状況 西から, SB 4 1・4 2 完掘 北から
図版24 SB 4 6 完掘 西から, SB 5 1 完掘 南から
図版25 SB 5 2 完掘 南から, SB 5 3 完掘 南から
図版26 SB 5 4 完掘 南から, SB 5 5 完掘 南から
図版27 SB 5 6 完掘 南から, SB 5 7 完掘 南から

- 図版28 SB 5 8完掘 南から, SK 8 9断面 南東から
- 図版29 SK 1 0 0完掘 西から, SK 1 0 1完掘 南から
- 図版30 SB 1 2完掘 東から, SB 1 7完掘 西から
- 図版31 SB 2 0完掘 南から, SB 2 6・2 7完掘 東から
- 図版32 SB 2 9完掘 北から, SB 3 2完掘 東から
- 図版33 SB 3 4完掘 西から, D4SP 3遺物出土状況 南から
- 図版34 SB 2 8完掘 北から, SB 4 4・4 5完掘 東から
- 図版35 L14SP 4 5遺物出土状況 北から, L14SP 4 8遺物出土状況 北から
- 図版36 SK 9 8完掘 北から, SK 9 9完掘 北から
- 図版37 SK 1 0 8・1 0 9礫出土状況 西から, SK 1 0 8・1 0 9完掘 西から
- 図版38 SE 0 4完掘 西から, 鋤溝跡完掘 東から
- 図版39 近世掘立柱建物群 西から, 近世掘立柱建物群 東から
- 図版40 SB 0 3完掘 東から, SB 0 4完掘 北から
- 図版41 SB 0 8柱痕検出状況 北から, SB 1 6完掘 東から
- 図版42 SB 1 9完掘 西から, SB 2 5完掘 北から
- 図版43 SK 0 2礫出土状況 東から, SK 0 3遺物出土状況 南から
- 図版44 SK 0 3完掘 東から, SK 0 5完掘 東から
- 図版45 SK 0 6・0 7完掘 北から, SK 1 4完掘 北から
- 図版46 SK 1 5完掘 北から, SK 1 6完掘 北から
- 図版47 SK 1 7完掘 北から, SK 1 8遺物出土状況 南から
- 図版48 SK 1 8完掘 北から, SK 1 9完掘 北から
- 図版49 SK 2 0完掘 北から, SK 2 1完掘 北から
- 図版50 SK 2 2大甕出土状況 北から, SK 2 4完掘 北から
- 図版51 SK 9 6断面 南から, SK 9 7完掘 南から
- 図版52 SK 2 3完掘 北から, SK 3 0完掘 北から
- 図版53 SK 6 0完掘 北から, SK 7 2完掘 北から
- 図版54 SK 7 3完掘 北から, SK 1 0 2完掘 西から
- 図版55 SK 1 0 3完掘 東から
- 図版55～120 遺物写真

付 図

A区 遺構配置図 (1/200)

B区 遺構配置図 (1/200)

C区 遺構配置図 (1/200)

第1章 調査の経緯

第1節 調査にいたる経過

四国横断自動車道高松～善通寺間の建設は、同善通寺～豊浜間に引き続き、昭和57年1月8日に整備計画決定され、昭和59年11月30日に建設大臣から日本道路公団総裁に対して施工命令が下された。

香川県教育委員会では、この間路線内の埋蔵文化財包蔵地の確認を目的に国庫補助事業として分布調査⁽¹⁾を実施し、これをもとに調査対象面積を39万㎡余りと判断した。路線内に所在する埋蔵文化財包蔵地の取り扱いについては、日本道路公団と文化庁の協議により、基本的には記録保存で対応することが決定した。

香川県教育委員会では、これを受けて香川県の担当課である土木部横断道対策室及び日本道路公団高松建設局高松工事事務所と昭和62年度から調査体制等について協議を開始した。

協議の結果、昭和63年度当初から2カ年の予定で本調査を実施すること、整理報告は発掘調査の終了後に実施すること等が決定した。これを受けて香川県教育委員会では調査体制の充実を図ることを目的に、昭和62年11月に財団法人香川県埋蔵文化財調査センターを設立すると同時に、専門職員の増員等の措置を実施した。

これと並行して、横断道路線内の埋蔵文化財包蔵地の具体的な内容を把握するため、日本道路公団と協議の上、予備調査を実施することになり、用地買収の進捗が著しかった丸亀市郡家地区を対象として、昭和63年3月に香川県教育委員会が実施した。予備調査の着手に当たっては、地元の四国横断自動車道建設丸亀市郡家地区対策協議会、丸亀市土木部高速自動車道担当及び香川県善通寺土木事務所横断道対策課の多大な協力を得た。

予備調査の結果、郡家地区で集落跡を中心とする6遺跡の存在を把握することができ、同地区での本調査面積を85,150㎡に確定した。

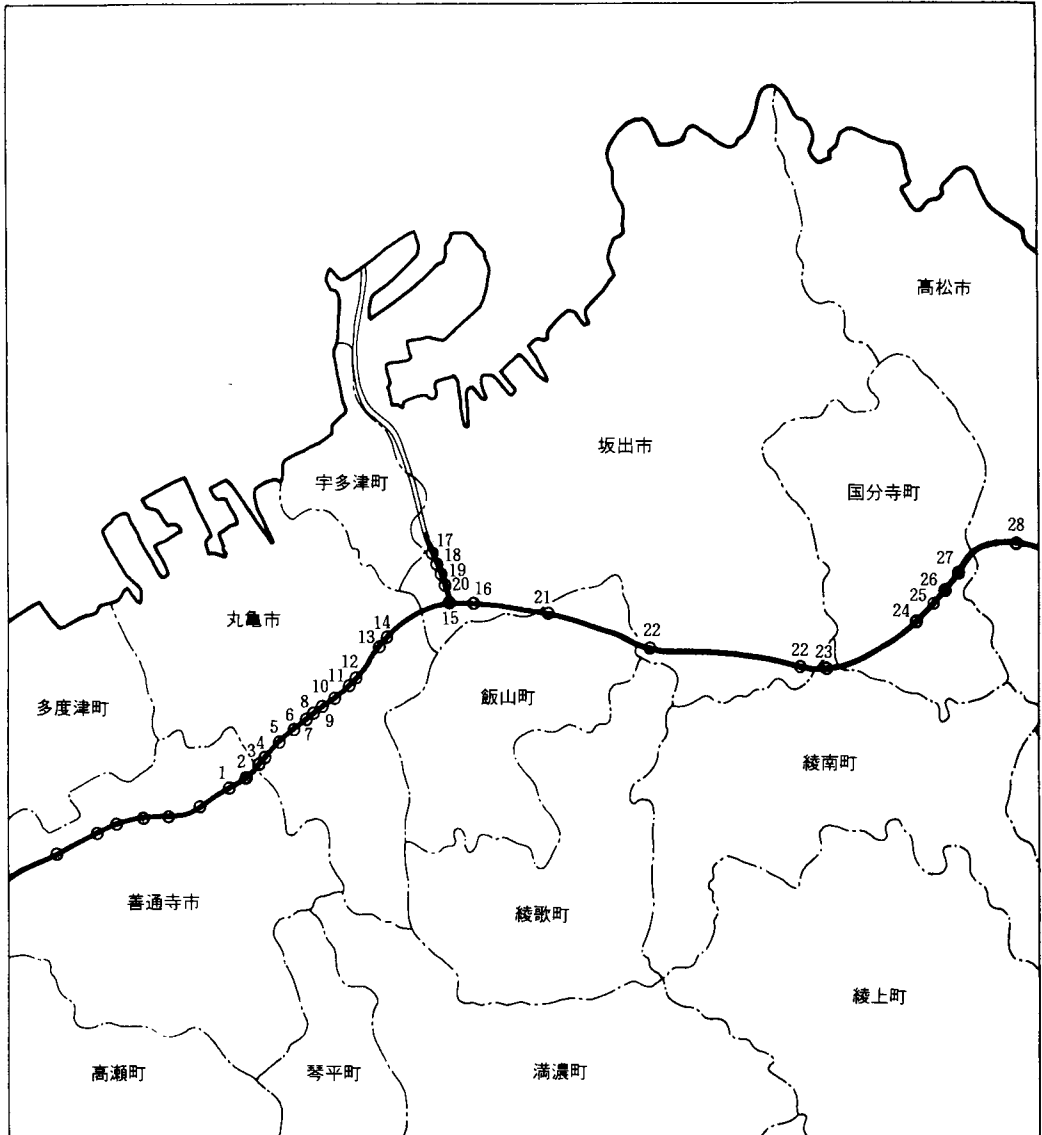
調査体制の整備に伴い、昭和63年度からの本調査は、香川県教育委員会が日本道路公団高松建設局から委託を受け、財団法人香川県埋蔵文化財調査センターが調査担当者として

註(1) 香川県教育委員会『国道バイパス及び四国横断自動車道建設予定地内埋蔵文化財詳細分布・試掘調査概報』1987

実施した。

昭和63年4月18日から郡家原遺跡外2遺跡の本調査を開始し、残り3遺跡は6月15日から本調査を開始した。

今回報告する郡家原遺跡は、郡家地区6遺跡のほぼ中央に位置し、調査対象面積は19,699㎡である。調査は約2年間にわたって行われ、平成元年3月31日に終了した。



第1図 四国横断自動車道埋蔵文化財包蔵地（高松～善通寺）

第1表 四国横断自動車道建設に伴う発掘調査の概要(1)

No	遺跡名	所在地	調査面積(m ²)	調査期間	遺構	遺物
1	龍川五条遺跡	普通寺市原田町	12,300 10,200	元. 6.26~2. 3.31 2. 4. 9~2.12. 5	弥生時代(環壕、竪穴住居、溝)、古代溝、中世建物、近世井戸	弥生土器、土師器、須恵器、石器、木製品
2	龍川四条遺跡	普通寺市原田町・木徳町	20,200 1,700 300	元. 7. 1~2. 3.31 2. 5.28~2.12. 5 3. 4. 4~3. 6.18	古代掘立柱建物、中世建物、溝、土坑墓、自然河川	縄文土器、土師器、須恵器、瓦器、磁器、中世鏡
3	三条番ノ原遺跡	丸亀市三条町中村	12,041 1,300	63. 4.18~元. 2.10 元. 4.10~2. 3.31	弥生時代竪穴住居、溝、自然河川	弥生土器ほか
4	三条黒島遺跡	丸亀市三条町黒島	7,677	63. 6.15~63.11.26	ユニット、溝、建物	旧石器、弥生土器、陶磁器
5	郡家原遺跡	丸亀市三条町黒島・郡家町八幡下	17,099 2,600	63. 4.18~元. 3.31 元. 4.10~2. 3.31	竪穴住居、掘立柱建物、溝	弥生土器、土師器、須恵器、緑釉陶器、斎串ほか
6	郡家一里屋遺跡	丸亀市郡家町八幡上	14,067 6,450	63. 4.18~元. 3.31 元. 4.10~2. 3.31	掘立柱建物、溝、自然河川	弥生土器、土師器、須恵器、緑釉陶器、灰釉陶器、有舌尖頭器ほか
7	郡家大林上遺跡	丸亀市郡家町大林上	11,175	63. 6.15~元. 3.22	掘立柱建物、溝、自然河川	須恵器、斎串ほか
8	郡家田代遺跡	丸亀市郡家町田代	12,741	63. 6.15~元. 2.17	掘立柱建物、溝、火葬墓	弥生土器、須恵器、近世陶磁器、ナイフ型石器
9	川西北・原遺跡	丸亀市川西町北・原	3,033	63.12.12~元. 3.25	掘立柱建物、溝	
10	川西北・七条I遺跡	丸亀市川西町北七条	4,034	63.12.13~元. 3.27	溝、自然河川	土師器、須恵器
11	川西北・七条II遺跡	丸亀市川西町北七条	4,760	元. 2. 2~元. 3.31	掘立柱建物、溝	土師器
12	川西北・鍛冶屋遺跡	丸亀市川西町北	12,208	元. 4.10~元. 8.11	中世掘立柱建物、溝、自然河川	土師器、須恵器、近世陶磁器
13	飯野・東二瓦礫遺跡	丸亀市飯野町東二瓦礫	3,366	63.12.13~元. 3.27	掘立柱建物、溝、自然河川	土師器、須恵器
14	飯野・東分山崎南遺跡	丸亀市飯野町	300	2. 3. 1~2. 3.31		
15	川津東山田遺跡	坂出市川津町 飯山町東坂元	28,100 500	2. 8. 2~3. 3.20 3. 9. 2~3. 9. 4	弥生時代竪穴住居、古墳時代竪穴住居、柱穴	弥生土器、土師器、須恵器

第2表 四国横断自動車道建設に伴う発掘調査の概要(2)

No.	遺跡名	所在地	調査面積(㎡)	調査期間	遺構	遺物
16	川津川西遺跡	坂出市川津町	5,400	2. 5.10～3. 1.17	古墳時代竪穴住居, 古代～中世建物, 溝	縄文土器, 土師器, 須恵器, 墨書土器, 土馬, 耳環
17	川津中塚遺跡	坂出市川津町	15,290 5,700	2. 5.10～3. 2.28 3. 4. 4～3. 9:13	弥生時代竪穴住居, 古代～中世掘立柱建物, 溝, 土坑, 土坑墓	弥生土器, 土師器, 須恵器, 耳環, 鉄小刀
18	川津下樋遺跡	坂出市川津町	9,650 200	2. 5.10～3. 1.31 3. 7. 1～3. 7.16	弥生時代(水田, 井堰), 溝, 自然河川	縄文晩期土器, 弥生土器, 石器(打製石包丁ほか), 木製品
19	川津二代取遺跡	坂出市川津町	10,400	2. 5.10～3. 3. 8	弥生時代(溝, 自然河川), 中世(建物, 溝)	弥生土器, 土師器, 石器
20	川津一ノ又遺跡	坂出市川津町	35,160 1,350	2. 4.12～3. 3.28 3. 7.18～3. 9.27	弥生時代自然河川, 弥生時代～古墳時代(竪穴住居, 掘立柱建物, 土坑), 古代～中世(溝, 水田)	弥生土器, 土師器, 須恵器, 石器, 木製品, 帯金具
21	飯山一本松遺跡	飯山町	2,200	元. 4.17～元. 5.16		弥生土器, 土師器, 須恵器
22	府中地区	坂出市府中町	3,000	2.10.30～2.12.26	土坑	須恵器
23	綾南奥下池南遺跡	綾南町	2,900	元. 5.22～元. 7.24	須恵器窯跡	須恵器
24	国分寺下日名代遺跡	国分寺町福家	11,350	元. 8.19～2. 2.28	弥生時代溝, 水田, 動物足跡	弥生土器, 土師器, 須恵器
25	国分寺楠井遺跡	国分寺町福家	4,400	2. 4.11～2.10. 2	古墳時代横穴式石室, 中世窯, 建物	土師器, 須恵器, 瓦質土器, 耳環
26	国分寺六ツ目古墳	国分寺町福家	900	元. 9. 1～元.12.28	前方後円墳(主体部3基)	古式土師器, 鉄器
27	国分寺六ツ目遺跡	国分寺町福家	5,600	元.10. 1～2. 2.28	中近世建物	弥生土器, 近世陶磁器, 石器
28	中間西井坪遺跡	高松市中間町	11,600 8,680 1,270	元. 8.19～2. 3.25 2. 5.10～3. 3.25 3. 4. 5～3. 7.18	旧石器ブロック, 弥生時代～近世建物, 埴輪焼成土坑, 古墳, 溝, 土坑	弥生土器, 土師器, 須恵器, 埴輪, 陶棺, ナイフ形石器, 船底形石器

第2節 調査の経過

郡家原遺跡の発掘調査は、昭和63年3月の予備調査の結果を受けて、当初は郡家C遺跡として、昭和63年4月18日から本調査を開始した。調査対象面積は19,699㎡のうち、昭和63年度は12月までは調査員2班体制（その後は1班体制）で未退去家屋を除く17,099㎡の調査を行った。平成元年度は退去家屋跡の調査を中心に残り2,600㎡の調査を調査員1班体制で行った。家屋の退去待ちのために、常時調査を行うことはできず、小面積ながら調査終了は平成2年3月となった。発掘調査の概要は昭和63年度及び平成元年度の、概報及び当センター年報⁽¹⁾で報告している。

整理作業は平成3年4月1日から開始し、1年6カ月の期間をかけて平成4年9月30日に終了した。平成3年度は遺物の整理を中心に、平成4年度は遺構の整理を中心に作業を行ったが、途中で担当職員が交替したこともあり、整理作業の体制としては若干問題を残した。整理作業の概要は平成3年度及び4年度の当センター年報⁽²⁾で報告している。

発掘調査及び整理作業の体制は次のとおりである。

昭和63年度

文化行政課		財団法人香川県埋蔵文化財調査センター	
総括	課長 廣瀬 和孝	総括所	長 田丸 秀明
	課長補佐 高木 尚	次	長 小原 克己
	副主幹 野網朝二郎	総務	主査（事務） 加藤 正司
	(6.1～)		主査（土木） 山地 修
総務	係長 宮谷 昌之		(6.1～)
	(～5.31)	主事	三宅 浩司
	係長 宮内 憲生	調査	参事 見勢 護
	(6.1～)		文化財専門員 真鍋 昌宏

(1) 香川県教育委員会・(財)香川県埋蔵文化財調査センター・日本道路公団高松建設局『四国横断自動車道建設に伴う埋蔵文化財発掘調査概報 昭和63年度・平成元年度』1989・1990

財団法人香川県埋蔵文化財調査センター『財団法人香川県埋蔵文化財調査センター年報 1988年度・平成元年度』1989・1990

(2) 財団法人香川県埋蔵文化財調査センター『財団法人香川県埋蔵文化財調査センター年報 平成3年度・4年度』1992・1993

主 事 横田 秀幸
 (6. 1~)
 主 事 水本久美子
 埋蔵文化財 係 長 大山 真充
 調査 主任技師 安藤 清和
 技 師 國木 健司

主 任 技 師 金丸 真明
 主 任 技 師 岡 敦憲
 技 師 藤川 善規
 技 師 山下 平重
 調査技術員 山元 敏裕
 調査技術員 高橋佳緒里
 調査技術員 岡野 順
 調査技術員 吉田 良三
 調査技術員 香川 敏美

平成元年度

文化行政課

総括 課 長 太田 彰一
 課長補佐 高木 尚
 副 主 幹 野網朝二郎
 総務 係 長 宮内 憲生
 主 事 横田 秀幸
 主 事 水本久美子
 埋蔵文化財 係 長 大山 真充
 調査 技 師 岩橋 孝
 技 師 國木 健司

財団法人香川県埋蔵文化財調査センター

総括 所 長 十川 泉
 次 長 安藤 道雄
 総務 係長(事務) 加藤 正司
 主査(土木) 山地 修
 主 事 三宅 浩司
 (~5. 31)
 主 事 三谷 浩司
 (6. 1~)
 調査 参 事 見勢 護
 文化財専門員 真鍋 昌宏
 主 任 技 師 岡 敦憲
 主 任 技 師 真鍋 嘉宏
 技 師 和田 素子
 調査技術員 高橋佳緒里

平成3年度

文化行政課

総括 課 長 中村 仁

財団法人香川県埋蔵文化財調査センター

総括 所 長 松本 豊胤

	主 幹	菅原 良弘		次 長	安藤 道雄
	課長補佐	小原 克己	総務	係長（事務）	加藤 正司
		（6. 1～）			（～5. 31）
	副主幹	野網朝二郎		係長（事務）	土井 茂樹
		（～5. 31）			（6. 1～）
総務	係 長	宮内 憲生		主査（土木）	山地 修
	主 事	横田 秀幸			（～5. 31）
		（～5. 31）		係長（土木）	今田 修
	主 事	櫻木 新士			（6. 1～）
		（6. 1～）		主任主事	斎藤 政好
	主 事	石川恵三子	整理	係 長	真鍋 昌宏
埋蔵文化財	係 長	藤好 史郎			
調査	主任技師	岩橋 孝			
	主任技師	北山健一郎			

平成4年度

文化行政課

総括	課 長	中村 仁
	主 幹	菅原 良弘
	課長補佐	小原 克己
総務	係 長	宮内 憲生
		（～5. 31）
	係 長	源田 和幸
		（6. 1～）
	主 事	櫻木 新士
	主 事	石川恵三子
埋蔵文化財	係 長	藤好 史郎
調査	主任技師	國木 健司
	主任技師	北山健一郎

財団法人香川県埋蔵文化財調査センター

総括	所 長	松本 豊胤
	次 長	市原 敏則
総務	係長（事務）	土井 茂樹
	係長（土木）	今田 修
	主任主事	斎藤 政好
整理	係 長	廣瀬 常雄
	技 師	山下 平重

郡家原遺跡の発掘調査に携わった方々は以下のとおりである。

調査補助員 今井由記子

現場整理作業員 石崎嘉子, 猪木原美恵子, 香川典子, 西山佳代子

現場事務員 大井由紀子

現場作業員

饗庭澄夫, 石村守, 一藁直義, 石井義輝, 大西信夫, 植田愛次郎, 人橋光男, 岡根幸久, 尾崎信明, 川西貞三, 河西哲生, 木戸国市, 蔵本等, 黒川実, 小林泰正, 佐藤春夫, 塩田浩一, 杉原喬, 関宏, 十河秀男, 高岸春雄, 竹内文雄, 田中宏臣, 谷数夫, 谷清, 辻郷政明, 富田広武, 富永寿, 中山能照, 南条宏, 西尾康信, 沼野正一, 長谷川正幸, 濱岡岩夫, 引田逸雄, 福本正道, 藤井比佐王, 藤井勝, 藤村親雄, 藤本和一, 分木信行, 松原忠俊, 松本明義, 三木省三, 宮川繁勇, 三好光夫, 六車肇, 森岡富明, 森岡光明, 山下和信, 山下和博, 山路頼, 横田恒

浅尾静代, 池田敬子, 池田やよい, 石原キヌエ, 石井カツミ, 氏家恵美子, 浦野房子, 大倉栄子, 大西佐恵子, 大西シズコ, 大西照子, 大西文, 岡崎愛子, 岡崎キヨコ, 小野春代, 香川和代, 香川貞美, 金崎アヤコ, 唐住和子, 小林宏子, 正嘉代子, 笹川和子, 杉崎春子, 高木一江, 高島圭子, 詫間敏子, 多田真知子, 田中ハズコ, 塚原とし子, 中西ヨシミ, 西川アキノ, 則包アツミ, 林佐智子, 平畑ユキエ, 深井豊子, 藤井悦子, 堀家千代子, 松岡スエミ, 松田君子, 真室静枝, 丸岡富士子, 森岡ミチ子, 山口ハルミ, 山崎美智子, 山科ミサオ, 山地ツル子, 横田キヨミ, 横田八重子, 吉井絢子, 吉岡愛子, 吉川和子

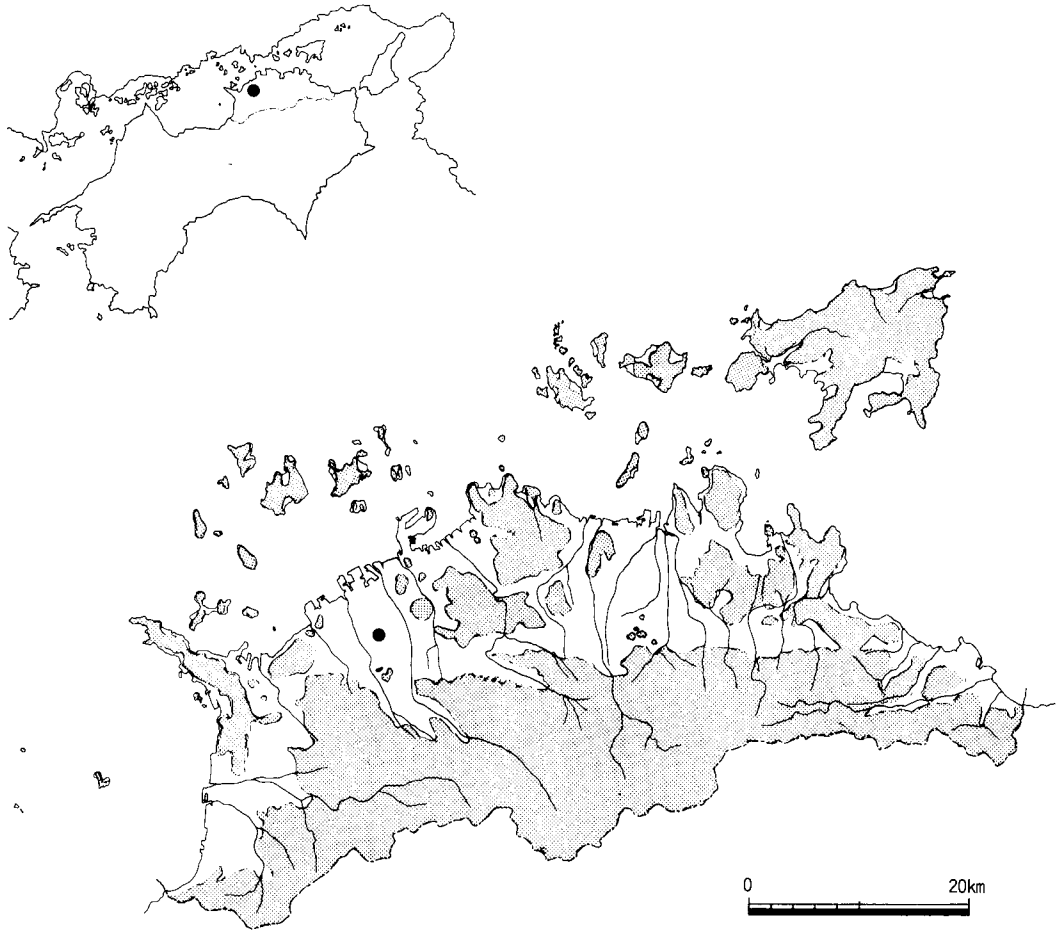
整理作業に携わった方々

青木民江, 阿河由紀子, 東條俊子, 横田周子, 永森尚子, 岩井弘恵, 上岡司真子, 大林祐子, 香川由美子, 多田見和, 谷井祐子, 山地真理子

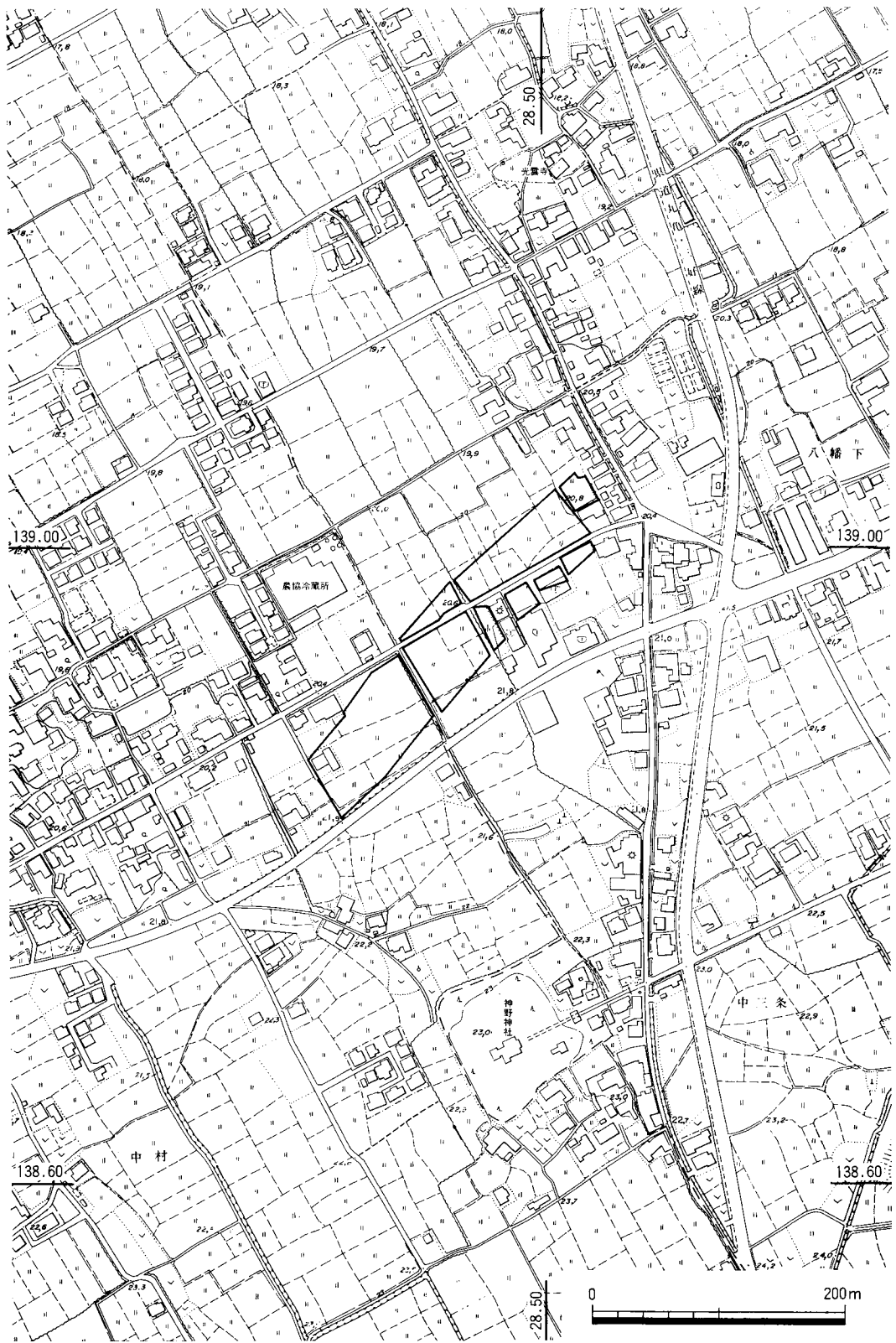
第2章 遺跡の立地と環境

第1節 地理的環境 (第2・3図参照)

郡家原遺跡は、現在、丸亀平野の中央部標高20m付近の平地に位置している。遺跡及び遺跡周辺の地形は南から北へ向かって緩やかな傾斜があるものの、明瞭な起伏はない。調査前までは水田を主体とする土地利用であり、条里制に関連すると考えられる方形区画の土地割りがみられる。



第2図 遺跡位置図(1)



第3図 遺跡位置図(2) (1/5,000)

第2節 歴史的環境（第4図参照）

郡家原遺跡の歴史的環境を、周辺（金倉川～土器川を中心にして）の遺跡の紹介することによって記述する。

旧石器時代

丸亀平野によくみられる弥生時代以降の基盤層である灰黄色粘土層から旧石器が出土することから、旧石器時代の遺構が存在する可能性が以前から指摘されていたが、四国横断自動車道建設に伴う埋蔵文化財発掘調査によりその存在が明らかとなった。三条黒島遺跡⁽¹⁾からは舟底型石器・スクレイパー・横長剥片などから成る石器ブロックを検出しており、その中には接合資料もみられる。三条番ノ原遺跡⁽²⁾では二次加工のあるサヌカイトの剥片やスクレイパーが土坑から出土している。その他旧石器時代の遺構に伴うものではないが、旧石器時代と考えられる石器は郡家田代遺跡⁽¹⁾、川西北・七条Ⅰ遺跡⁽¹⁾及び川西北・鍛冶屋遺跡⁽³⁾で検出されている。当遺跡においても旧石器と考えられる石器が出土した。

縄文時代

縄文時代草創期の遺物であるとされる有舌尖頭器が郡家一里屋遺跡⁽¹⁾と当遺跡から出土している。いずれも後世の遺構の埋土から出土したものである。

縄文時代晩期の土器が河川跡から出土した遺跡としては、龍川五条遺跡⁽³⁾と龍川四条遺跡⁽³⁾がある。

弥生時代

龍川五条遺跡では弥生時代前期の環濠や前期から中期にかけての墓跡が検出されている。これに隣接する五条遺跡⁽⁴⁾でも弥生時代前期の溝跡や土坑が検出されている。三条番ノ原遺跡では前期の溝跡が検出されている。中期については龍川四条遺跡で土器が若干出土しているのみで、この地域の様相は不明である。後期になると、当遺跡のほか、龍川五条遺跡及び三条番ノ原遺跡で竪穴住居跡が検出されることから、集落の立地がみられることがわかる。

- (1) 香川県教育委員会・（財）香川県埋蔵文化財調査センター・日本道路公団高松建設局『四国横断自動車道建設に伴う埋蔵文化財発掘調査概報 昭和63年度』1989
- (2) 香川県教育委員会・財団法人香川県埋蔵文化財調査センター・日本道路公団『四国横断自動車道建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告 第十一冊 三条番ノ原遺跡』1992
- (3) 香川県教育委員会・（財）香川県埋蔵文化財調査センター・日本道路公団高松建設局『四国横断自動車道建設に伴う埋蔵文化財発掘調査概報 平成元年度』1990
- (4) 香川県教育委員会『香川県埋蔵文化財調査年報 平成2年度』1991

古墳時代

古墳時代の様相は終末期以外は全く不明である。終末期頃には、当遺跡と郡家一里屋遺跡で竪穴住居跡及び掘立柱建物跡が検出されている。

奈良・平安時代

この時代は当遺跡及び郡家一里屋遺跡で掘立柱建物跡が検出されている。郡家町重元に比定されている那珂郡衙跡⁽¹⁾との関連を考えるとできよう。また郡家町地頭には奈良時代前期創建とされる宝幢寺跡⁽²⁾がある。郡家田代遺跡では奈良時代の火葬墓が検出されている。三条番ノ原遺跡では条里制に関連する奈良時代から鎌倉時代の溝跡が検出されている。

その他、遺跡地図⁽¹⁾には善通寺市木徳町玉泉院に金林寺廃寺跡及び枇杷薬師廃寺跡が記載されているが、実態は不明である。

中世・近世

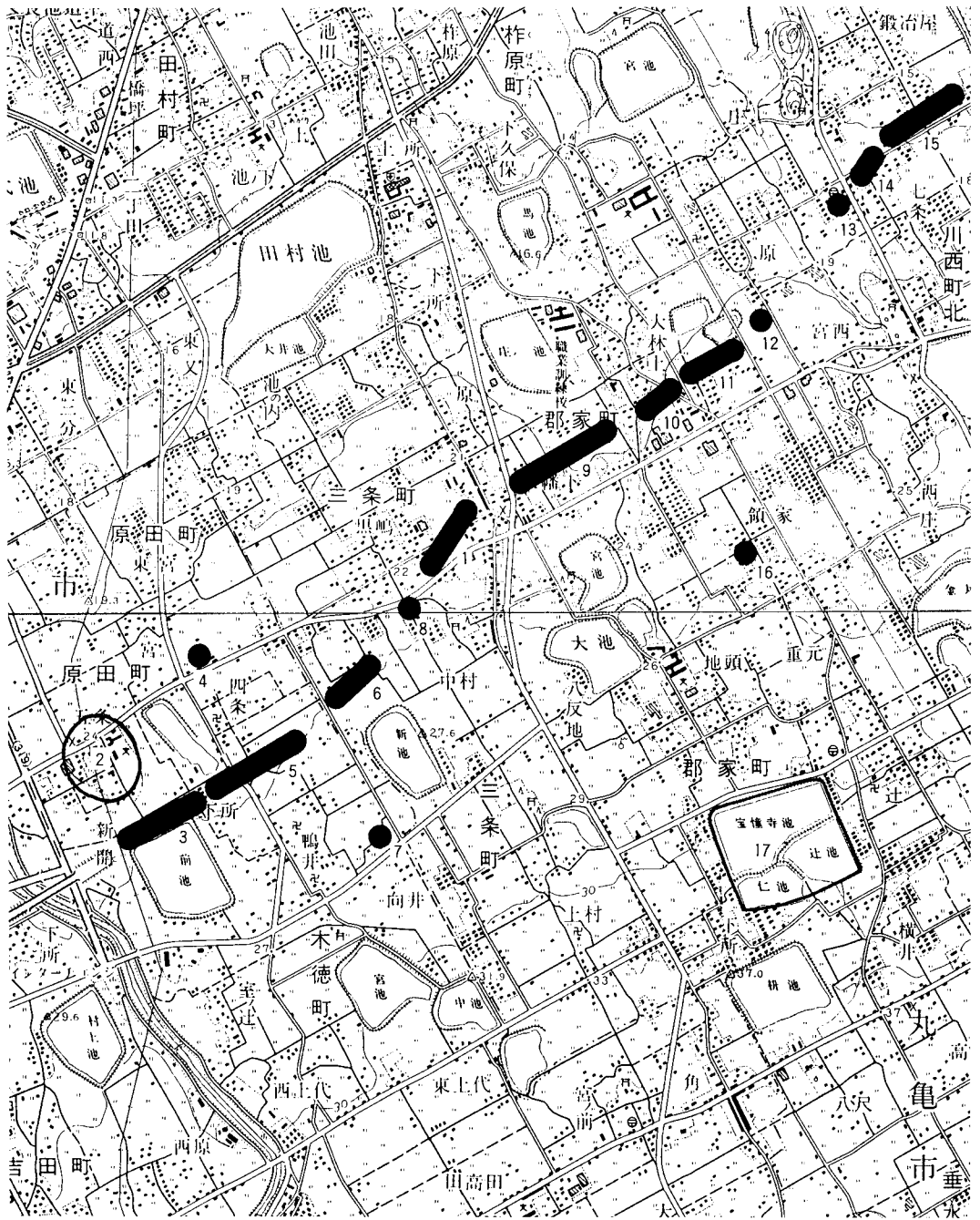
中世集落は当遺跡のほかに、龍川四条遺跡及び川西北・七条Ⅱ遺跡⁽³⁾で検出されている。近世では、当遺跡で建物跡が検出されている。三条黒島遺跡では近世の庄屋久留島家の屋敷地跡の一部が検出されている。

(1) 文化庁文化財保護部『全国遺跡地図 37 香川県』1977

(2) 丸亀市教育委員会『宝幢寺跡発掘調査報告』1980

香川県教育委員会『香川県埋蔵文化財調査年報平成3年度』1992

(3) 香川県教育委員会・(財)香川県埋蔵文化財調査センター・日本道路公団高松建設局『四国横断自動車道建設に伴う埋蔵文化財発掘調査概報 昭和63年度』1989



- | | | |
|-----------|------------|--------------|
| 1 郡家原遺跡 | 7 枇杷葉師庵寺跡 | 13 川西北・七条Ⅰ遺跡 |
| 2 五条遺跡 | 8 三條黒島遺跡 | 14 川西北・七条Ⅱ遺跡 |
| 3 龍川五条遺跡 | 9 郡家一里屋遺跡 | 15 川西北・鍛冶屋遺跡 |
| 4 金林寺庵寺跡 | 10 郡家大林上遺跡 | 16 那珂郡衙跡 |
| 5 龍川四条遺跡 | 11 郡家田代遺跡 | 17 宝幢寺跡 |
| 6 三條番ノ原遺跡 | 12 川西北・原遺跡 | |

第4図 周辺の遺跡 (1/25,000)

第3章 調査の成果

第1節 調査の方法

調査工程及び現在の地割に従い、調査区を第5図のように設定した。また調査地全域を覆うような形で、国土座標第Ⅳ系に沿う20m四方の小区画を第5図のように設定した。遺構名付け及び遺物取り上げにおいては、調査区名と小区画名を併用している場合がある。遺構平面の測量はヘリコプターによる航空写真測量で行い、一部の平面図及び断面図の作成を手書きで行った。

第2節 土層序

遺跡内における土層序は第7～15図で示す。調査区全体にわたり、土層序はほぼ同じであり、1層耕作土、2層床土、3層灰色粘質土、4層灰茶色粘質土の堆積がみられる。3層及び4層は部分的にのみ存在し、2層直下基盤層の部分が多い。基盤層は粘質土が広がる部分と砂礫層が広がる部分があるが、その分布は第6図に示した。

第3節 遺構・遺物

遺構遺物の報告にあたっては、遺構の配置状況を考え、新たに調査区を大きく三つにわけた名称を用いる。その名称は第5図のとおりである。また小区画名として調査時の区画名をそのまま用いる。報告遺構名称は、原則として、西からの通し番号で表すが、ピットの名称は、小区画ごとの通し番号で表す。

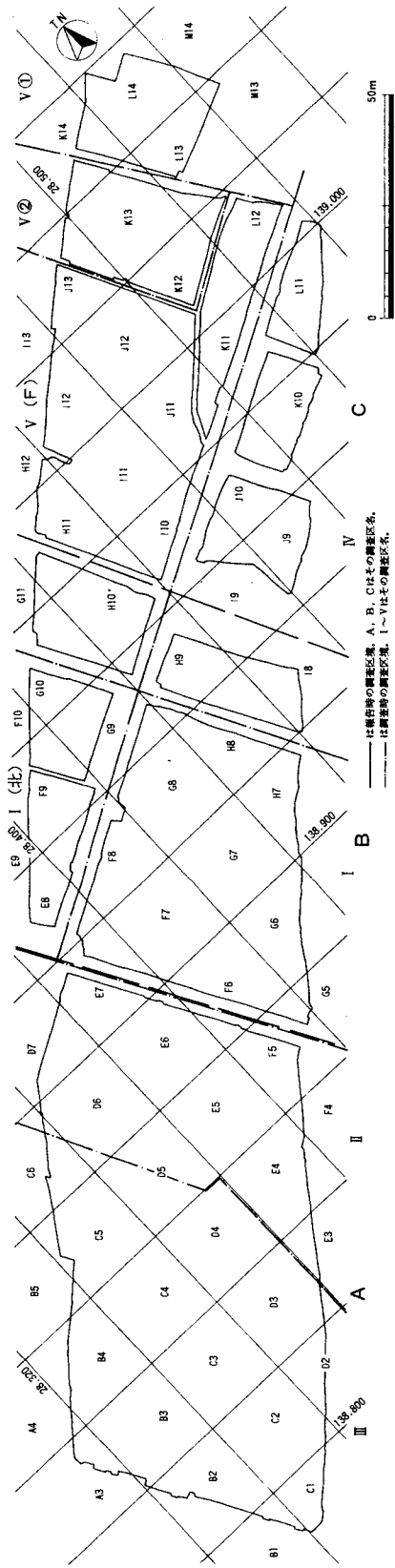
郡家原遺跡で検出された遺構の時期は、弥生時代後期、古墳時代、奈良時代、平安時代、鎌倉時代及び近世以降時期の概ね6つに分けられる。以下時期ごとに報告していく。

弥生時代後期

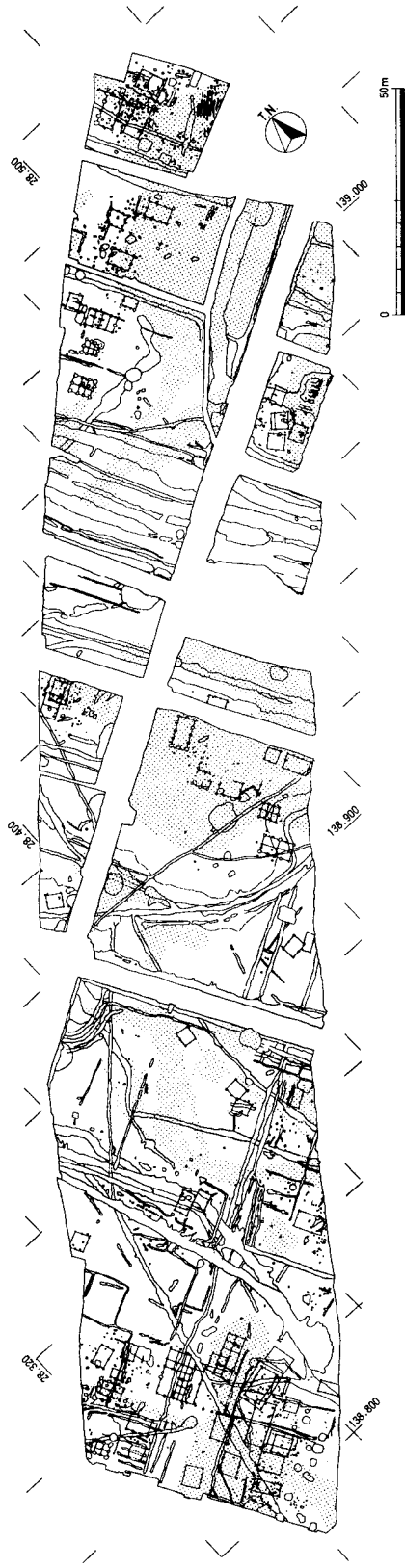
弥生時代の遺構は、竪穴住居跡・土坑・溝跡及び出水状遺構がある。A区東部からB区にかけて多くみられる。

竪穴住居跡

竪穴住居跡は、痕跡程度（壁溝のみが残存）のものも含め、6棟を検出した。いずれも弥生時代後期のものと思われる。平面形は、円形及び隅丸方形と異なるが、時期的には、大差ないと思われる。

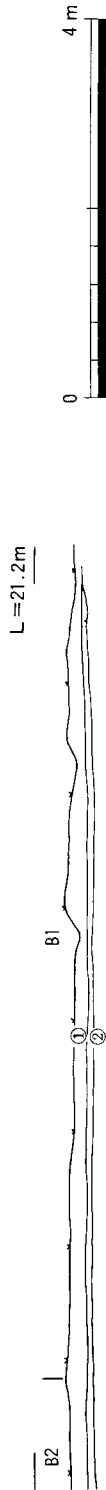
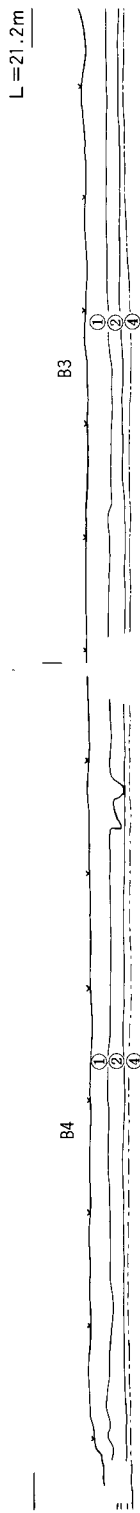


第5図 調査区名図 (1/1,000)



第6図 基礎土層平面構式図 (1/1,000) 網目部分は砂層層の広がりを示す。

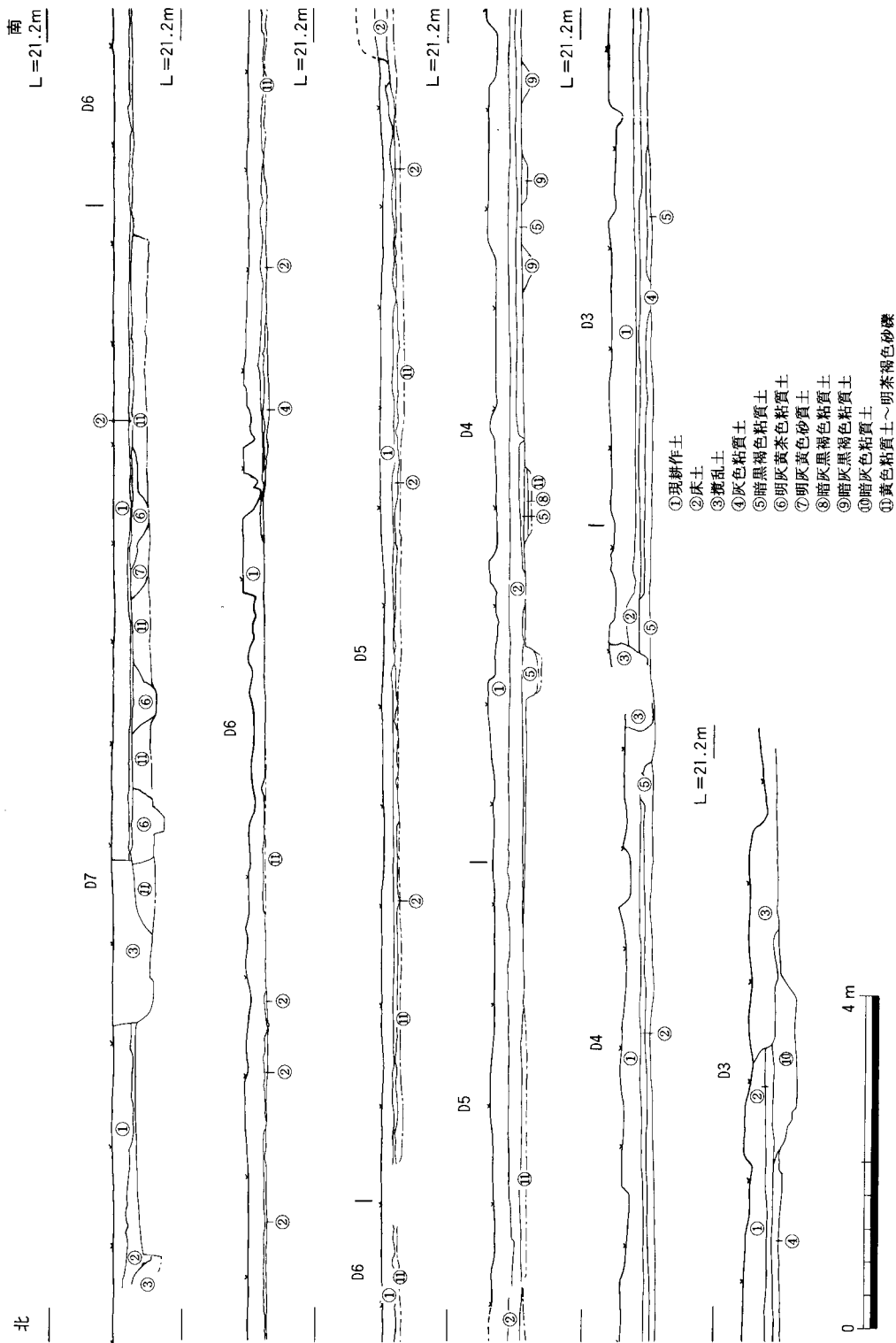
北
L = 21.2m



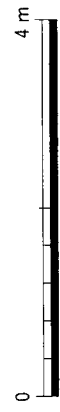
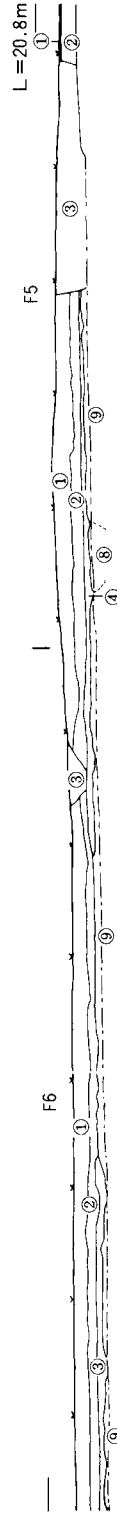
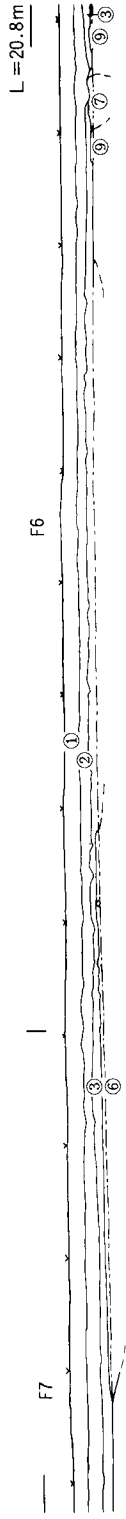
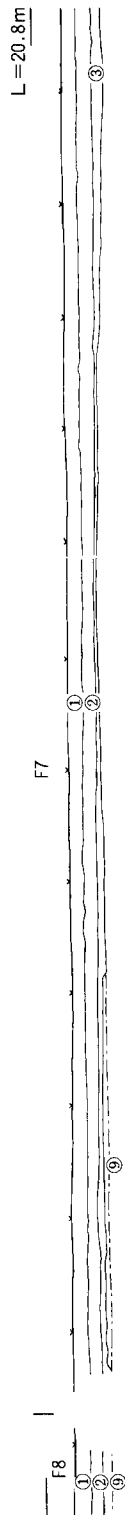
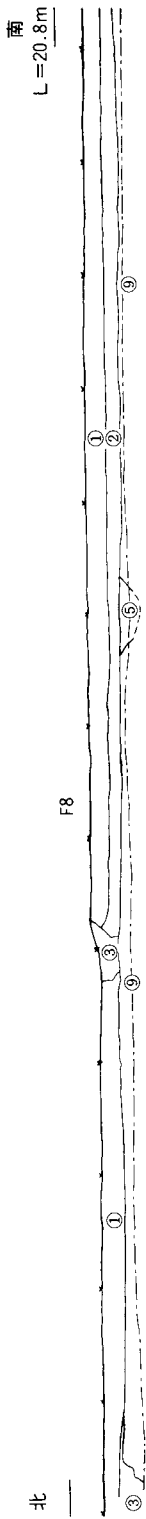
- ① 現耕作土
- ② 床土
- ③ 暗灰色粘質土 (黄色粘質土ブロックを含む)
- ④ 明黄灰色粘質土



第7図 B1, B2, B3, B4, B5区画 東壁断面図 (1/80)



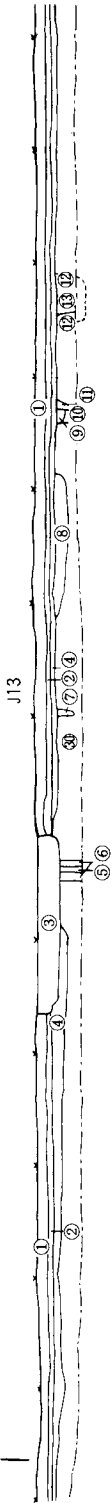
第8图 D3, D4, D5, D6, D7区画 東壁断面图 (1/80)



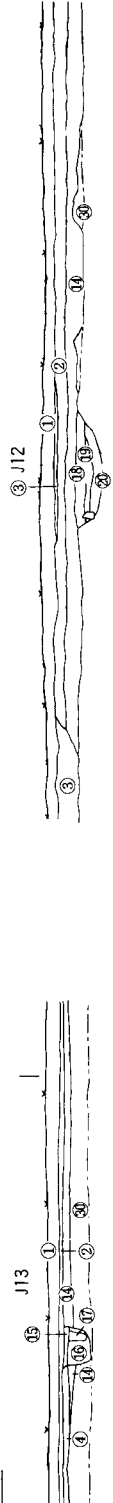
- ① 珪砂作土
- ② 床土
- ③ 礫乱土
- ④ 赤灰白色弱粘質土
- ⑤ 灰茶色弱粘質土
- ⑥ 黒褐色粘質土 (礫を含む)
- ⑦ 黒褐色粘質土 (黄灰色粘質土ブロックを含む)
- ⑧ 黒褐色粘質土 (黄灰色粘質土ブロックを含む)
- ⑨ 黄褐色砂礫～黄褐色粘質土

第9図 F5, F6, F7, F8区画 東壁断面図 (1/80)

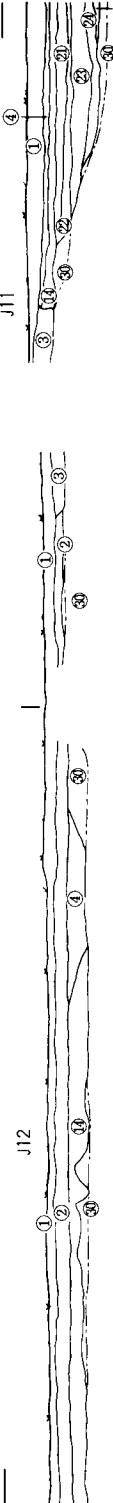
南
L = 20.6m



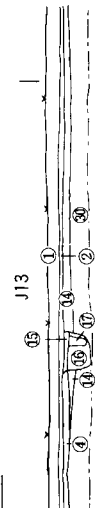
L = 20.6m



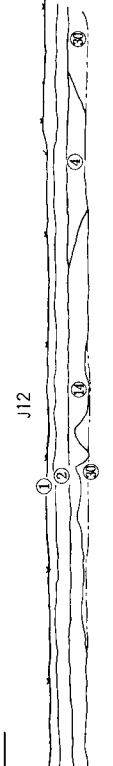
L = 20.6m



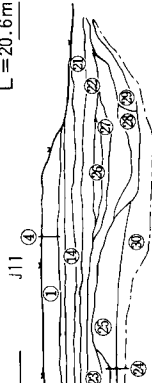
北



J12



L = 20.6m

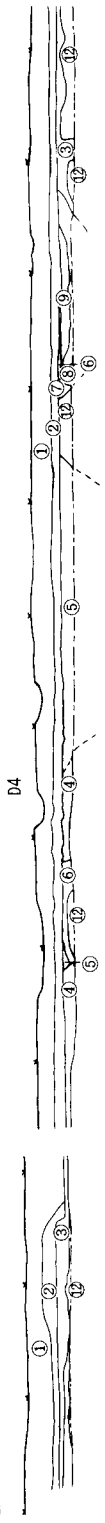


- ① 現耕作土
- ② 床土
- ③ 花崗土を含む攪乱土
- ④ 灰色粘質土
- ⑤ 白灰色粘質土
- ⑥ 黄灰色中粒砂
- ⑦ 灰色粘質土 (軟らかい)
- ⑧ 白灰色粘質土 (黄色粘質土粒を含む)
- ⑨ 白灰色粘質土
- ⑩ 黄色粘質土
- ⑪ 茶灰色粘質土 (黄色粘質土ブロックを含む)
- ⑫ 白灰色粘質土
- ⑬ 白灰色粘質土
- ⑭ 茶灰色粘質土
- ⑮ 灰白色粘質土 (黄色粘質土粒を含む)
- ⑯ 灰茶色粘質土
- ⑰ 灰白色粘質土
- ⑱ 淡灰色粘質土 (砂粒と乳茶色土を含む)
- ⑳ 灰色粘質土
- ㉑ 淡灰色粘質土
- ㉒ 茶灰色粘質土
- ㉓ 茶灰色粘質土 (砂粒を多く含む)
- ㉔ 灰色粘質土
- ㉕ 灰白色粘質土
- ㉖ 茶灰色粘質土
- ㉗ 茶灰色粘質土
- ㉘ 灰色粘質土
- ㉙ 茶灰色粘質土
- ㉚ 黄色粘質土～灰色砂礫

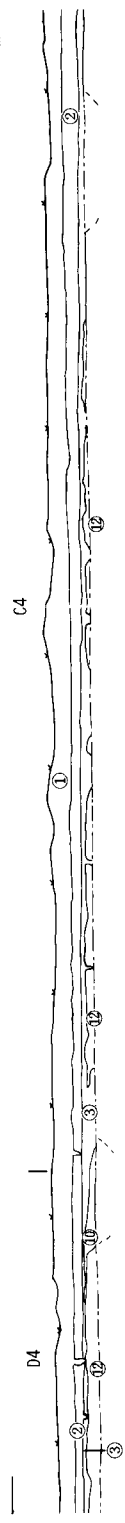


第10図 J11, J12, J13区画 東壁断面図 (1/80)

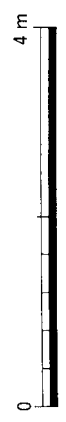
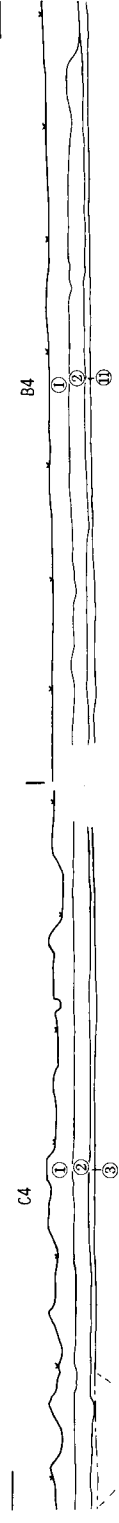
西
L = 21.1m



L = 21.1m



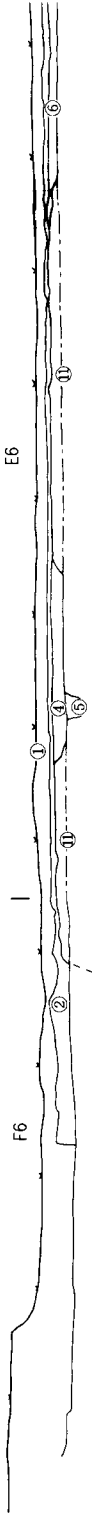
L = 21.1m



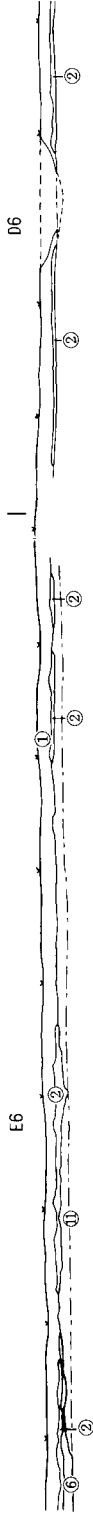
- ① 現耕作土
- ② 床土
- ③ 灰色粘質土
- ④ 暗灰褐色粘質土
- ⑤ 暗灰褐色粘質土
- ⑥ 赤褐色粘質土
- ⑦ 明黑褐色粘質土
- ⑧ 暗黑褐色粘質土
- ⑨ 明黑褐色粘質土
- ⑩ 明黑褐色粘質土
- ⑪ 明黄灰色粘質土
- ⑫ 黄色粘質土

第11図 B4, C4, D4区画 南壁断面図 (1/80)

西
L = 21.0m



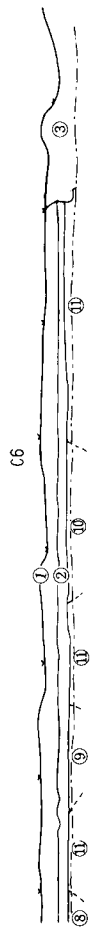
L = 21.0m



L = 21.0m



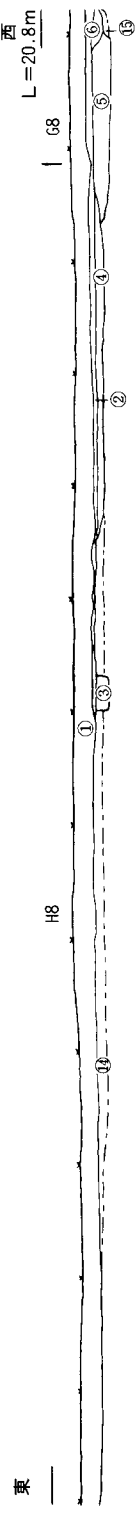
L = 21.0m



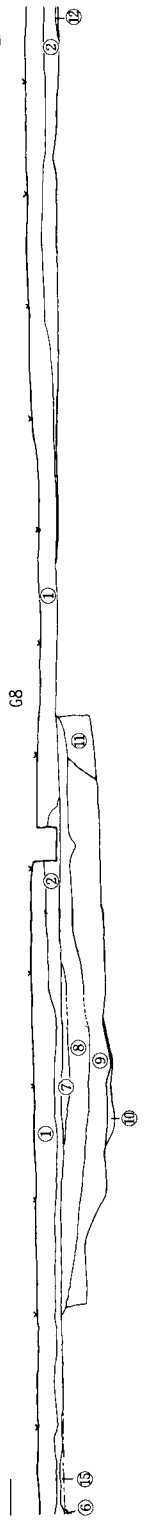
- ① 現耕作土
- ② 床土
- ③ 試験トレンチによる攪乱
- ④ 暗黄灰色砂質土
- ⑤ 暗灰褐色粘質土
- ⑥ 暗黄灰色砂質土
- ⑦ 明灰褐色粘質土
- ⑧ 明灰褐色粘質土
- ⑨ 明灰褐色粘質土
- ⑩ 黒褐色粘質土
- ⑪ 暗灰色砂礫～黄色粘質土

第12図 C6, D6, E6, F6区画 南壁断面図 (1/80)

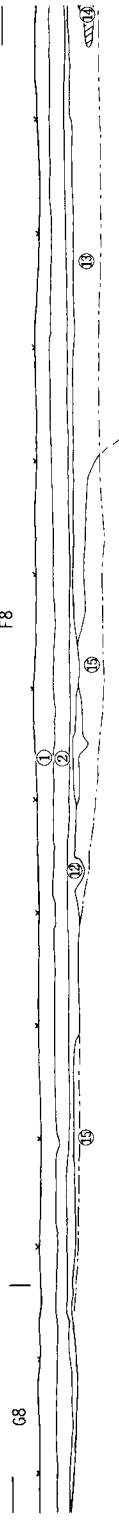
西
L = 20.8m



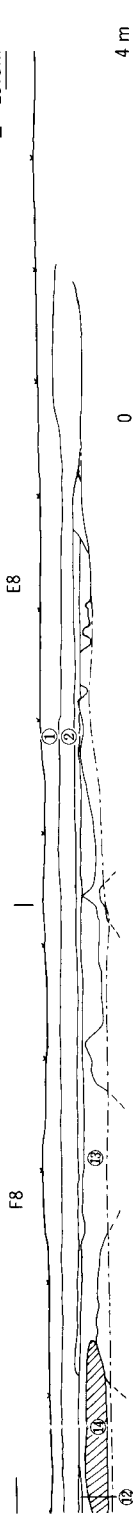
L = 20.8m



L = 20.8m

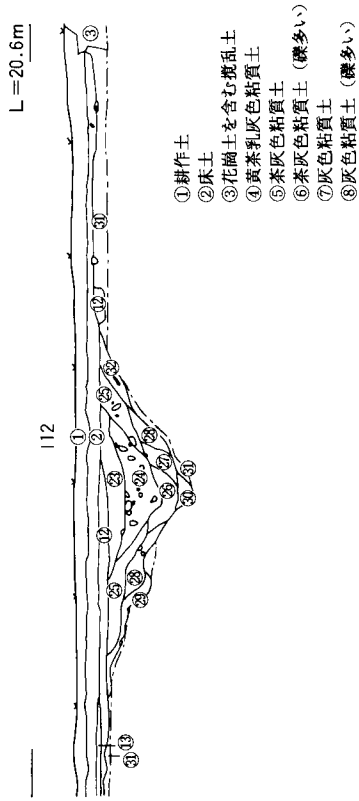
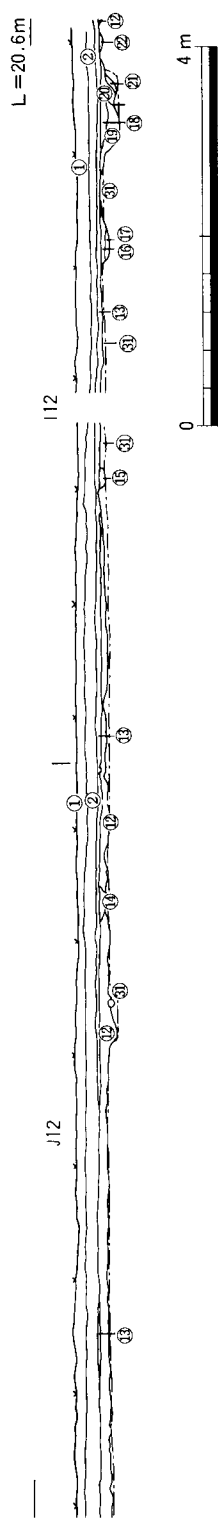
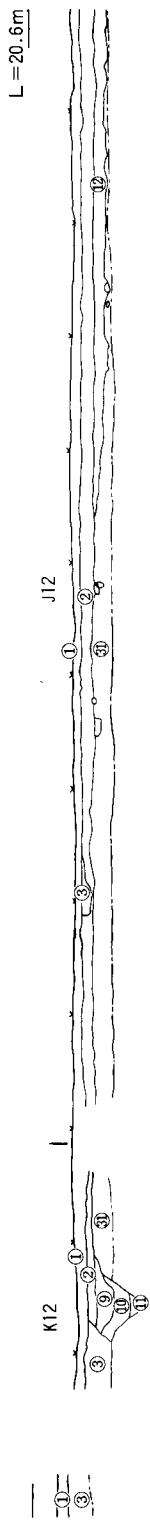
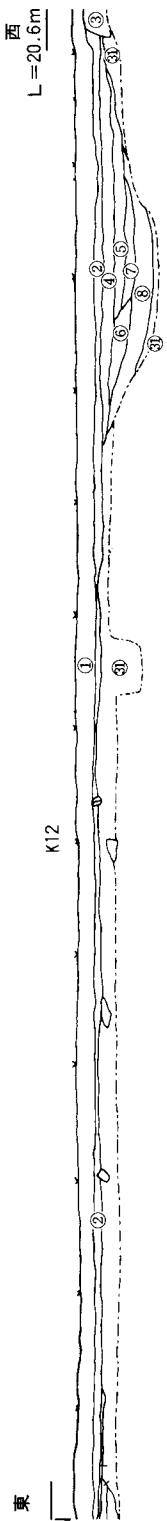


L = 20.8m



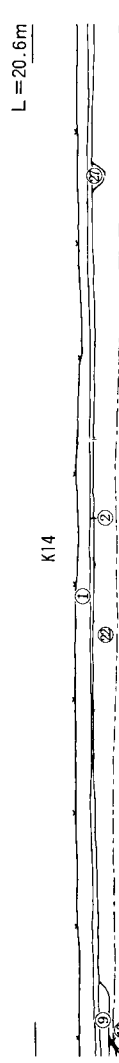
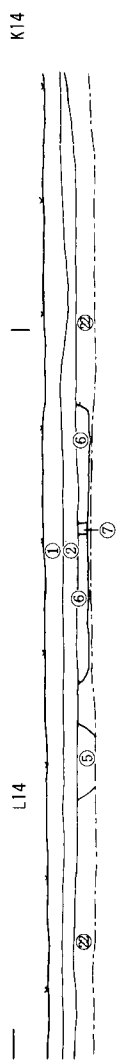
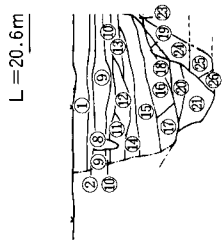
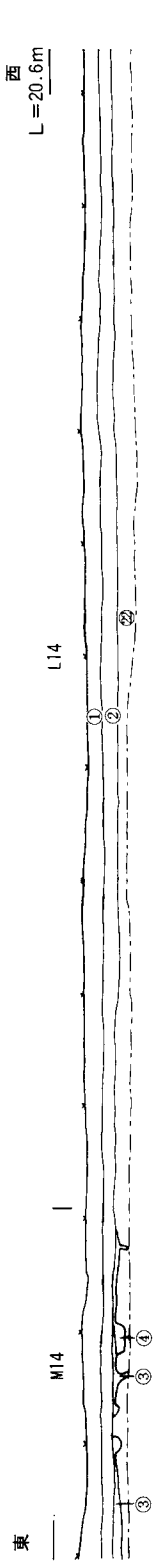
- ① 現耕作土
- ② 床土
- ③ 灰色砂質土
- ④ 灰茶色弱粘質土
- ⑤ 黑褐色弱粘質土
- ⑥ 灰茶色弱粘質土
- ⑦ 灰茶色弱粘質土
- ⑧ 黑褐色弱粘質土
- ⑨ 暗灰茶色弱粘質土
- ⑩ 粘土(炭化物)
- ⑪ 暗灰茶色弱粘質土
- ⑫ 灰茶色弱粘質土
- ⑬ 黑褐色粘質土
- ⑭ 礫層
- ⑮ 黃褐色粘質土~砂礫

第13図 E8, F8, G8, H8区画 南壁断面図 (1/80)



- ① 耕作土
- ② 床土
- ③ 花崗土を含む攪乱土
- ④ 黄茶乳灰色粘質土
- ⑤ 茶灰色粘質土
- ⑥ 茶灰色粘質土 (露多い)
- ⑦ 灰色粘質土
- ⑧ 灰色粘質土 (露多い)
- ⑨ 灰色粘質土
- ⑩ 灰色粘質土 (露多い)
- ⑪ 灰色粘質土 (砂粒多い)
- ⑫ 濁茶黒褐色粘質土
- ⑬ 茶白色粘質土
- ⑭ 暗灰褐茶色粘質土
- ⑮ 黄茶淡灰色粘質土
- ⑯ 黄茶淡灰色粘質土
- ⑰ 茶灰色粘質土
- ⑱ 黄茶淡灰色粘質土
- ⑲ 黄茶粘質土
- ⑳ 暗茶灰色粘質土
- ㉑ 暗茶灰色粘質土 (黄色土混入)
- ㉒ 暗茶褐色粘質土
- ㉓ 暗茶灰色粘質土
- ㉔ 暗茶灰色粘質土
- ㉕ 暗茶灰色粘質土
- ㉖ 暗茶灰色粘質土
- ㉗ 暗茶灰色粘質土
- ㉘ 暗茶灰色粘質土
- ㉙ 暗茶灰色粘質土
- ㉚ 暗茶灰色粘質土
- ㉛ 暗茶灰色粘質土
- ㉜ 暗茶灰色粘質土
- ㉝ 暗茶灰色粘質土
- ㉞ 暗茶灰色粘質土
- ㉟ 暗茶灰色粘質土
- ㊱ 暗茶灰色粘質土
- ㊲ 暗茶灰色粘質土
- ㊳ 暗茶灰色粘質土
- ㊴ 暗茶灰色粘質土
- ㊵ 暗茶灰色粘質土
- ㊶ 暗茶灰色粘質土
- ㊷ 暗茶灰色粘質土
- ㊸ 暗茶灰色粘質土
- ㊹ 暗茶灰色粘質土
- ㊺ 暗茶灰色粘質土
- ㊻ 暗茶灰色粘質土
- ㊼ 暗茶灰色粘質土
- ㊽ 暗茶灰色粘質土
- ㊾ 暗茶灰色粘質土
- ㊿ 暗茶灰色粘質土

第14図 I12, J12, K12区画 南壁断面図 (1/80)



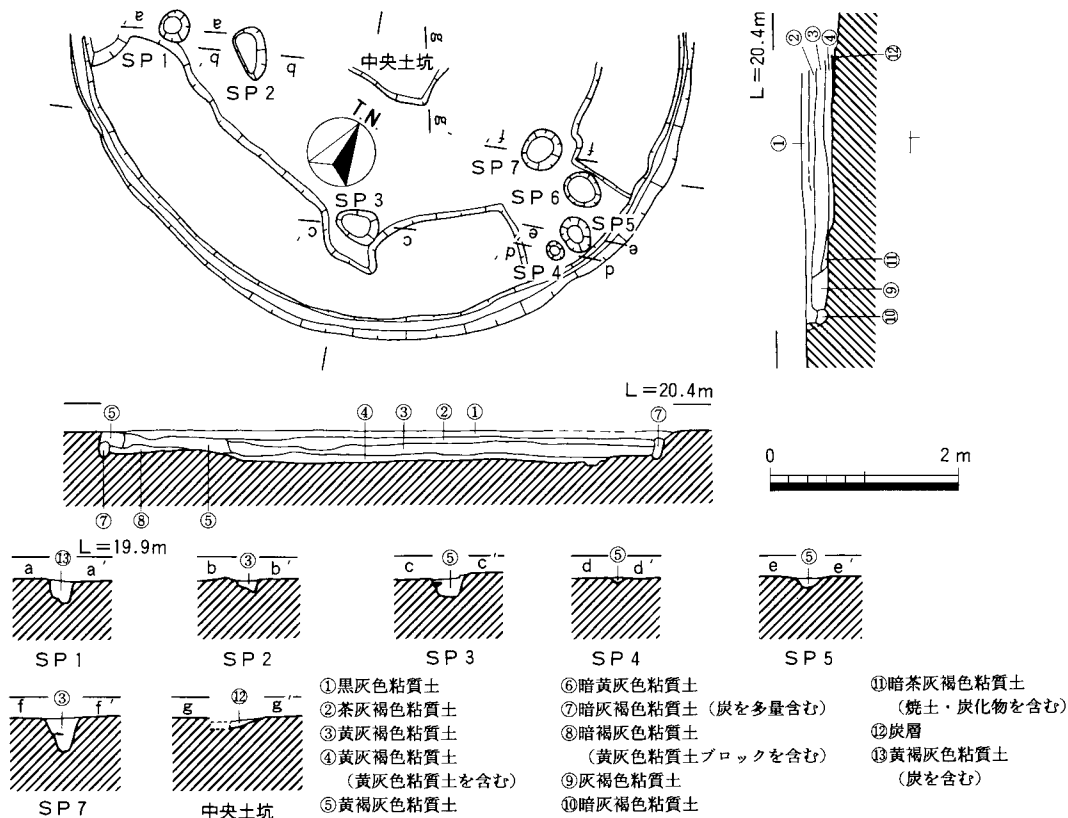
- | | | |
|------------------|--------------------------|--------------------------|
| ① 現耕作土 | ① 灰茶色粘土質 | ② 灰色粘質土 (黄褐色粘質土、ブロックを含む) |
| ② 床土 | ② 黒色粘質土 (5cm大の円礫を含む) | ② 黄褐色粘質土及び砂質土 |
| ③ 淡灰色粘質土 | ③ 灰茶色粘質土 | ③ 黄色砂礫 |
| ④ 灰褐色粘質土 | ④ 赤灰色粘質土 | ④ 暗茶色粘質土 |
| ⑤ 赤灰色粘質土 | ⑤ 黄灰色細砂 | ⑤ 砂礫層 |
| ⑥ 灰色粘質土 | ⑥ 灰白色粘質土 | ⑥ 砂層 |
| ⑦ 淡青灰色粘質土 (軟らかい) | ⑦ 灰色粘質土 | ⑦ 灰色粘質土 |
| ⑧ 黄灰色粘質土 (軟らかい) | ⑧ 灰色粘質土 (黄褐色粘質土、ブロックを含む) | |
| ⑨ 淡茶灰色粘質土 | ⑨ 黄褐色砂 | |
| ⑩ 赤灰色粘質土 | ⑩ 黄褐色粘質土 (ブロック状) | |

第15図 K14, L14, M14区画 南壁断面図 (1/80)

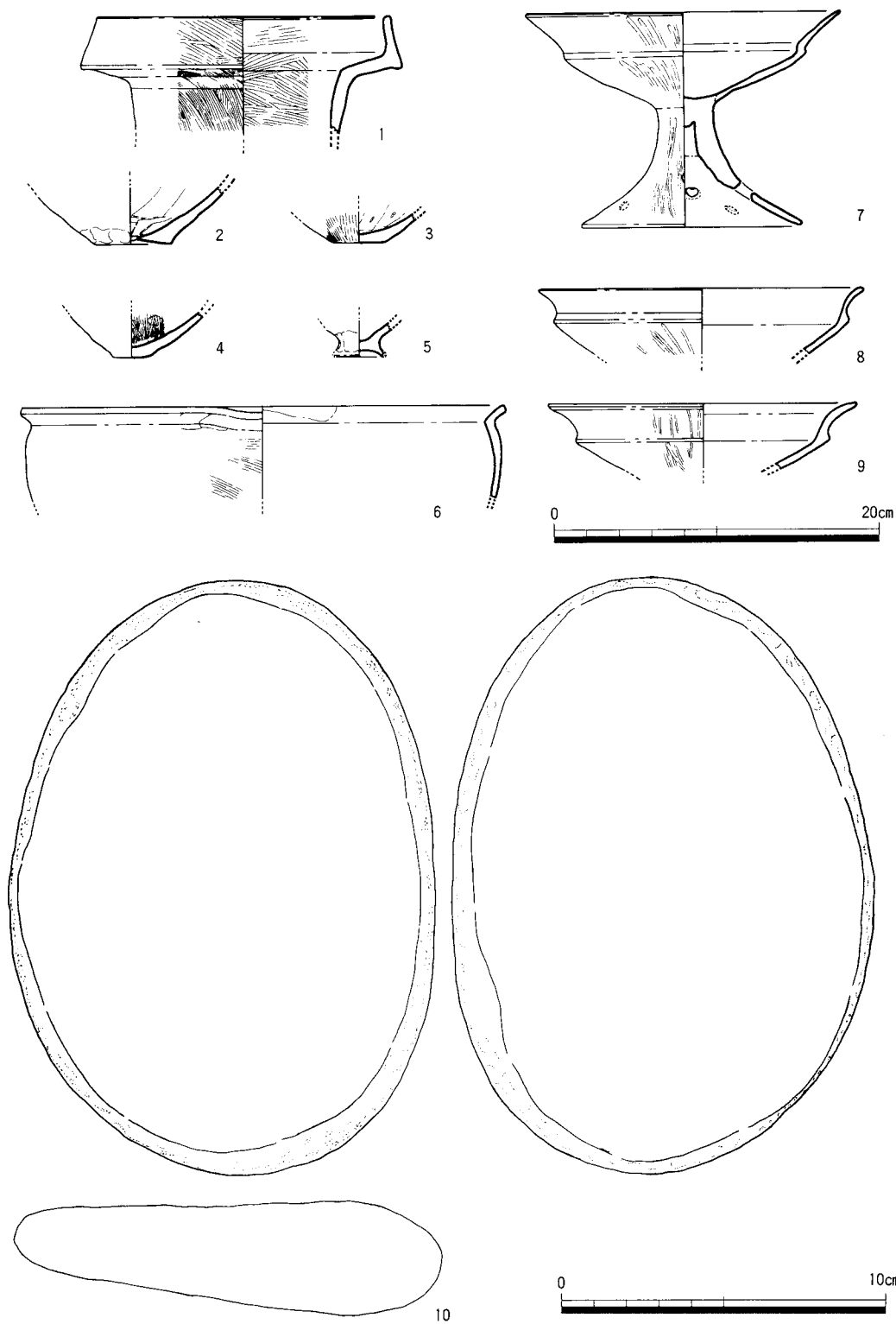
SH01 (第16・17図, 図版8)

D7区画に位置する。平面形は円形であるが、北半分が調査区外にあるので全体は確認できない。規模は、残存部による推定で直径約6.6m、柱穴の径は約40cmで、深さは約10～30cmである。住居の中央部に土坑を確認したが、炉跡と考えることができる。また、周囲には壁溝がめぐらされており、ベッド状遺構がある。埋土から弥生土器が出土している。床面直上で高坏(7)及び石皿が出土した。また床面に掘られたピットSP6からは、壺(1)とその他の土器が置かれた状況で出土した。

1・2は壺である。1は受け口状の口縁部を有し、この地域の土器組成にはあまり見られない器種である。2の底部には穿孔が認められる。3・4は底径等から甕の底部と考える。明瞭な平底を呈する。5・6は鉢である。6は口縁部の一部を欠損しているが、残存状態から見て注ぎ口が付いていると考える。7～9は高坏である。口縁部上位の屈曲部から端部の長さに差が認められるものの、同一タイプと考える。脚部は「ハ」の字形に開き、屈曲しない。外面調整はヘラ磨きを基調としている。高坏の特徴から後期中葉～後半に位置付けられる。



第16図 SH01平・断面図 (1/80)



第17図 SH01出土土器(1/4)及び石器(1/2)

SH02 (第18図)

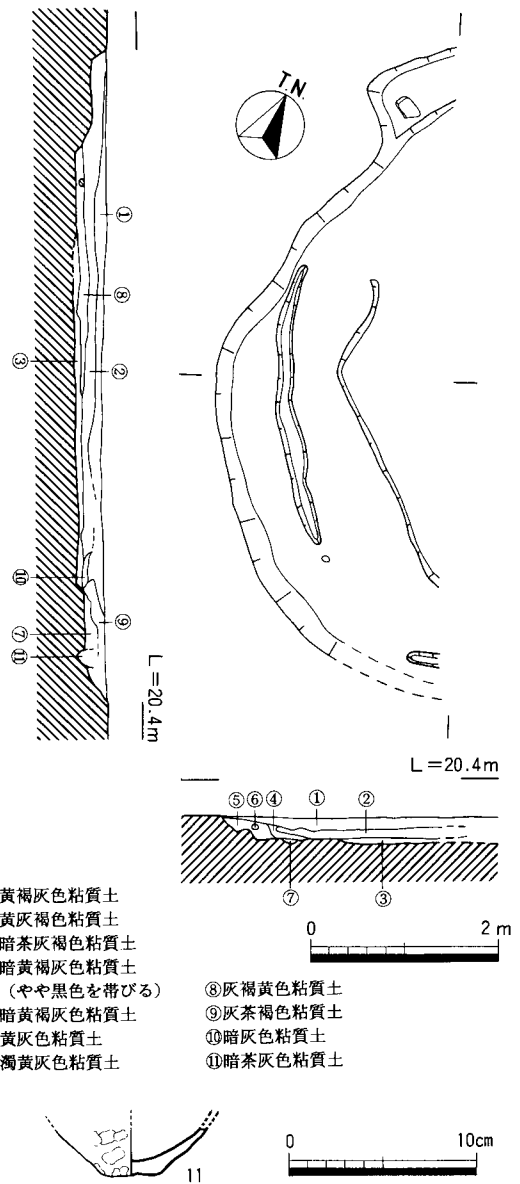
E7区画，SH01の東に位置している。平面形は円形を呈しているが，東をSD140及び現用水路に壊されているので，全体の確認はできない。残存部から規模は，直径約6mと推定する。柱穴は確認できなかったが，北部に貼り出し部分が確認できる。

埋土からは弥生土器が出土した。11は，壺・甕の底部で平底である。特徴が無く，時期決定ができない。他の竪穴住居跡の時期から推定して，後期後半前後と考えられる。

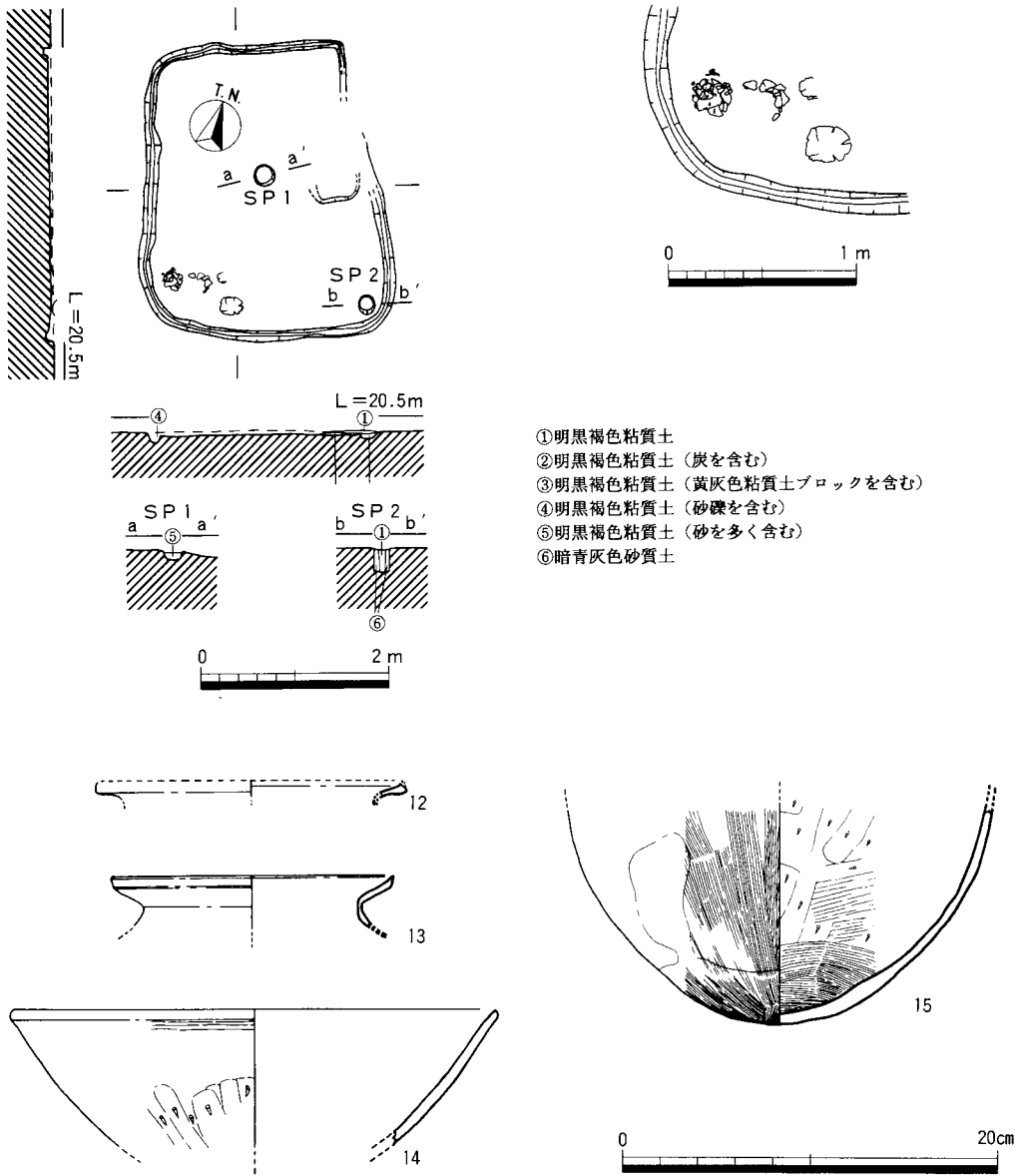
SH03 (第19図，図版9)

F5区画に位置する。平面形は隅丸方形を呈している。中央東よりの隅丸方形の土坑は炭を含むことから，炉跡である可能性がある。上部を削られており，決して良い保存状態ではなかった。遺物は床面直上で弥生土器が出土した。

12・13は甕の口縁部である。「く」の字に外反し，口縁端部を上方に拡張する。15は甕の底部で，不明瞭な平底を有する。14は鉢で，体部下半をヘラ削りしている。14・15の特徴から後期末に位置付けられる。



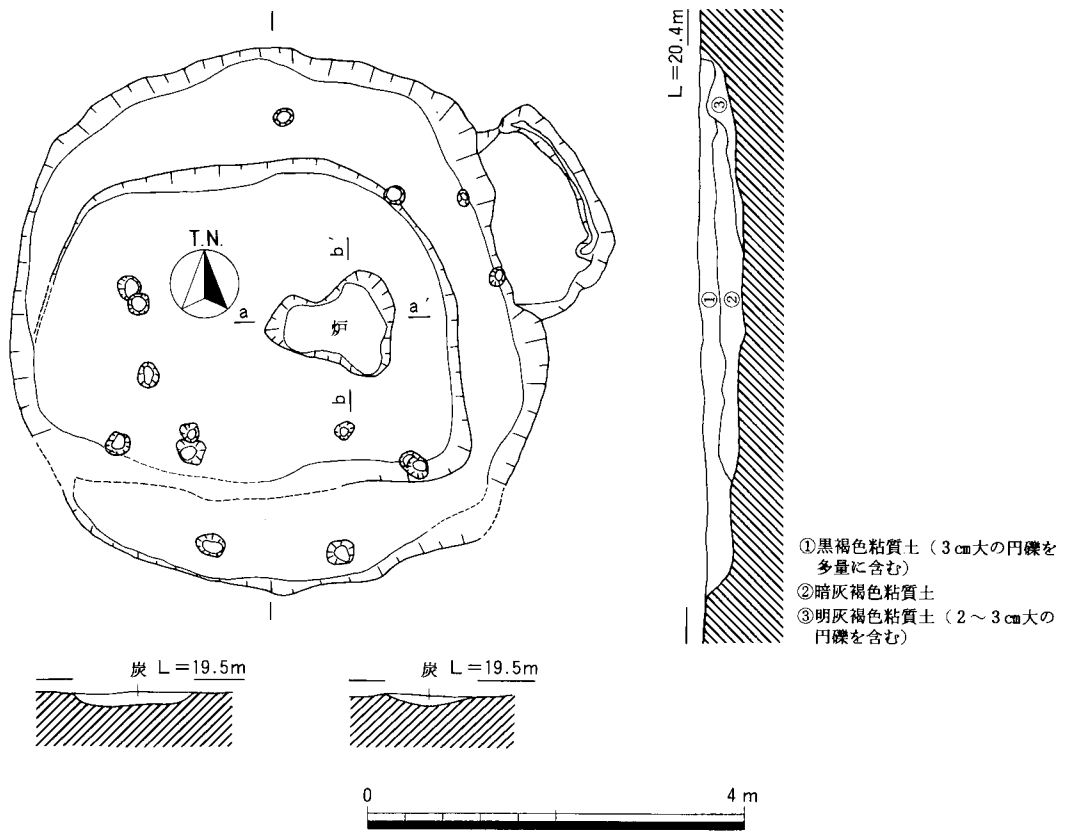
第18図 SH02平・断面図(1/80)及び出土土器(1/4)



第19図 SH03平・断面図(1/80), 土器出土状況図(1/40)及び出土土器(1/4)

SH04 (第20・21図, 図版9)

G7・G8区画に位置する。平面形は円形を呈している。SD149に壊されているが、肩部を削りこんだだけで、遺構内部は、支障なかった。中央部に炉跡があり、まわりにベッド状遺構がある。床面からは、ピットを検出したが、このうち第20図に示すものが、柱穴と思われる。埋土からは弥生土器及びスクレイパーが出土した。床面近くでは、弥生土器鉢

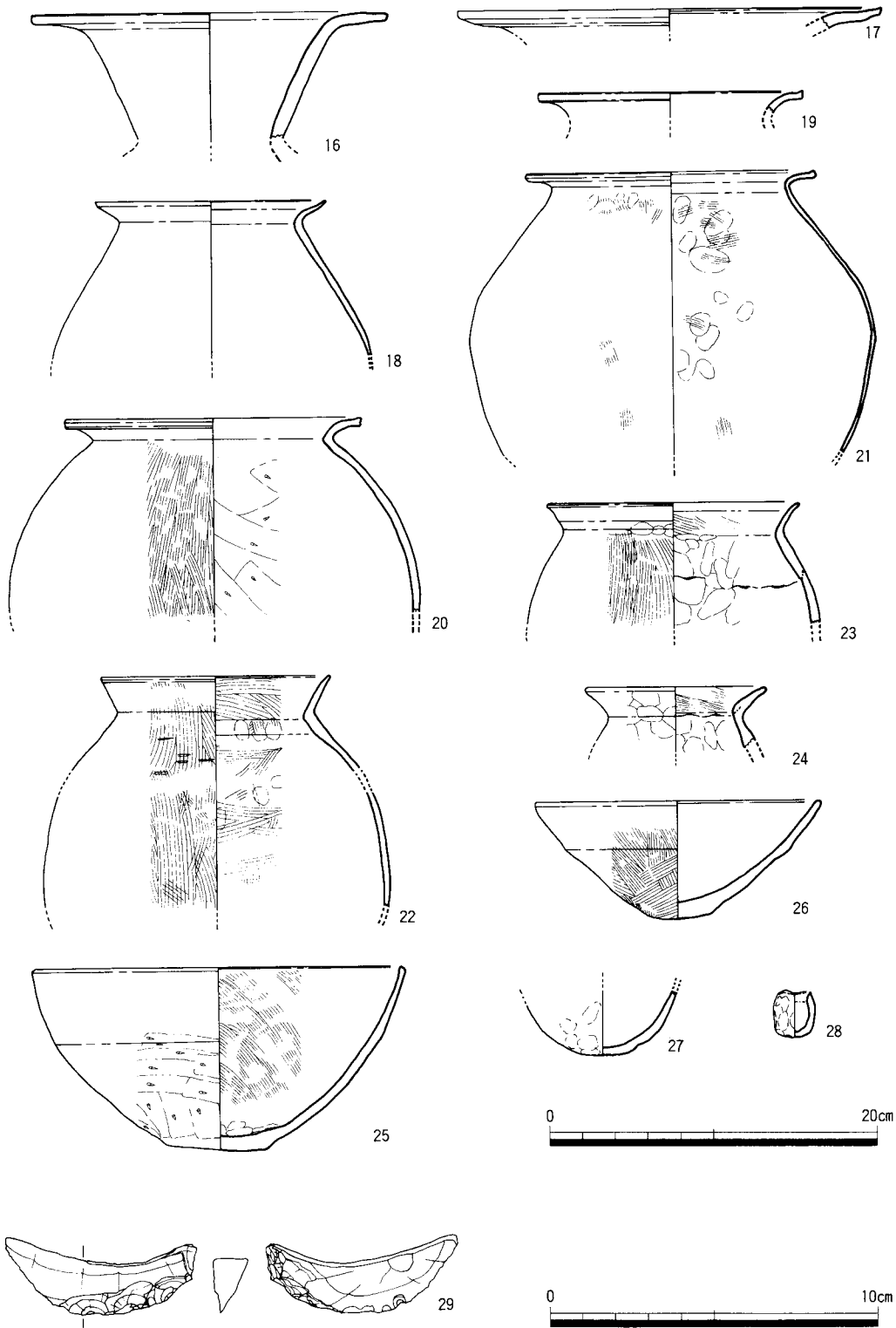


第20図 SH04平・断面図(1/80)

(25) が出土している。

16～19は壺形土器である。16は頸部が外上方に直線的に伸び、水平に広がる口縁部を持つ広口壺である。17も同様の形態と考える。18は甕に近い形態を持つが、口径が小さく、全体の形態から壺に分類した。20～24は甕である。20は口縁端部に凹線状のくぼみが認められる。21は「下川津B類土器⁽¹⁾」に分類されるものである。22は口径が小さく、長胴の形態を持つものである。23・24は小型で、整形・調整が粗雑である。25～27は鉢で、平底を有するのが特徴である。25は外面下半を底部側からヘラ削りしている。これは、次の段階で盛行する調整である。28のミニチュアは特定の形態を表していない。全体の特徴から後期後半に位置付けられる。29はサヌカイト製のスクレイパーと考える。

(1) 香川県教育委員会・財団法人香川県埋蔵文化財調査センター・本州四国連絡橋公団『瀬戸大橋建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告Ⅶ 下川津遺跡』1990



第21図 SH04出土土器(1/4)及び石器(1/2)

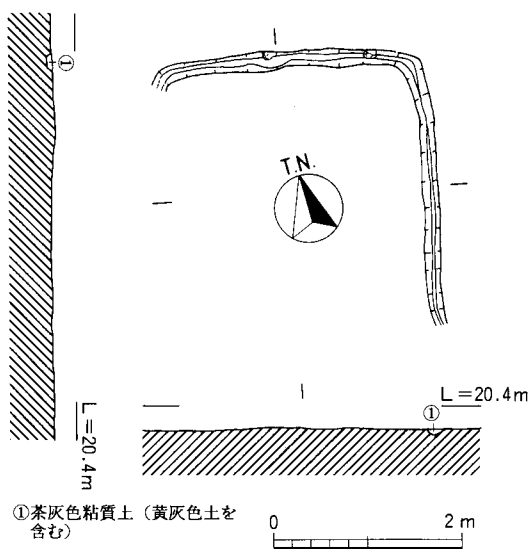
SH05 (第22図, 図版10)

SH04の東, H7・H8区画に位置している。壁溝の一部を確認した。平面形は隅丸方形を呈する。壁溝及び床面の検出にとどまり, 遺物は確認できなかった。

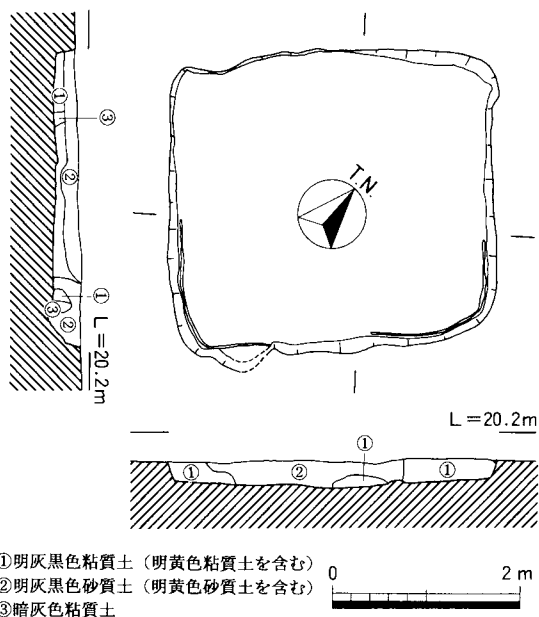
SH06 (第23・24図, 図版10)

G8区画に位置する。平面形は隅丸方形を呈している。SB39直下に位置するが, 遺構の損傷は少ない。周囲には, 壁溝があったが, 検出は, 3/4にとどまった。この竪穴住居跡に伴うと思われる柱穴の確認はできなかった。埋土からは弥生土器及び須恵器破片が出土しているが, 須恵器は混入品である。遺物は, 南東部隅の土坑状遺構付近に集中している。これらの遺物から, この竪穴住居跡は, 弥生時代後期と考えられる。

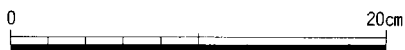
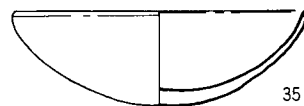
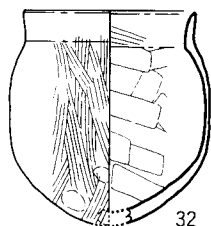
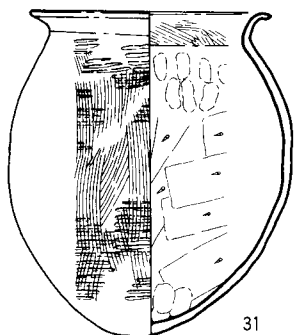
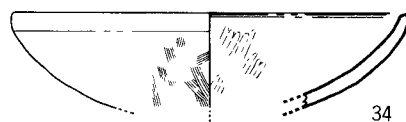
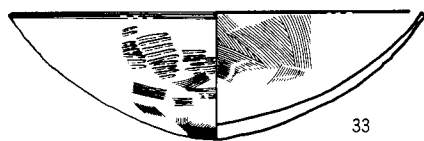
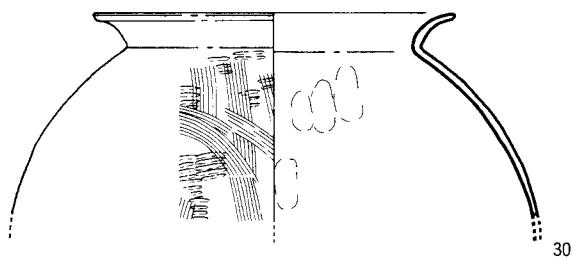
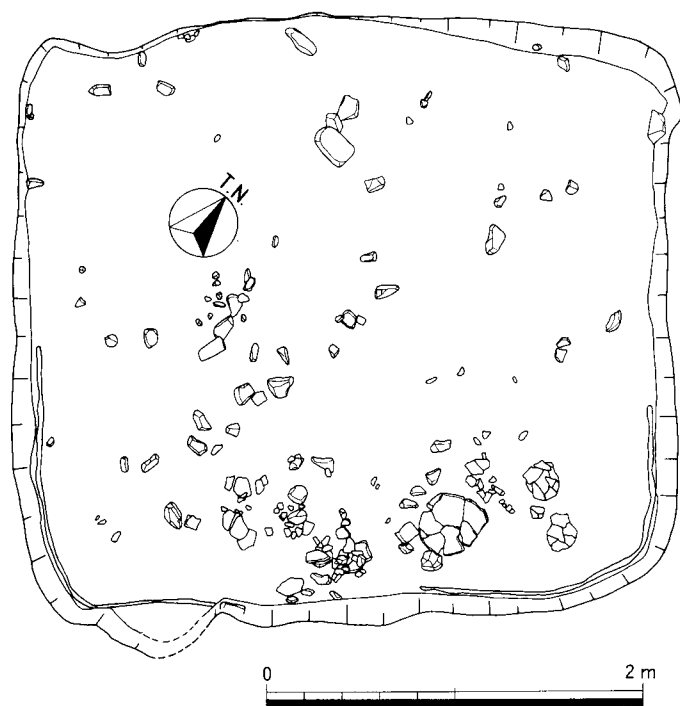
30~32は甕である。30・31は, 口縁部を「く」の字に外反させ, 外面をタタキ整形した後, ハケ調整を加える。内面は, ヘラ削りを基本とし, 屈曲部下半に指頭圧痕が顕著に認められる。32は小型に属するもので外面にタタキが認められない。底部は31は不明瞭ながらも平底を呈する。33~35は鉢である。時期的特徴が顕著である33は, 外面をタタキ整形した後, ハケで調整する。底部は丸底気味に仕上げている。器種構成上不足が多いが, 以上の特徴から, 後期末に位置付けられる。



第22図 SH05平・断面図 (1/80)



第23図 SH06平・断面図 (1/80)

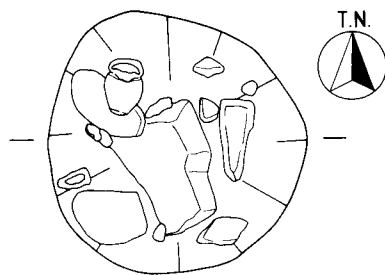


第24図 SH06遺物出土状況図(1/40)及び出土土器(1/4)

ピット

G8SP12 (第25図, 図版11)

完形の弥生土器ミニチュア(36)が置かれたと考えられる状況で出土している。形態は甕で、外面をヘラ削りしている。

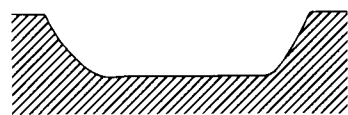


土坑

SK43 (第26図)

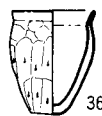
E5区画に位置する。埋土から弥生土器が出土しており、古墳時代の遺構と考えられるSD133より古い遺構であることから、弥生時代の遺構と考える。

L = 20.3m



SK50 (第27図)

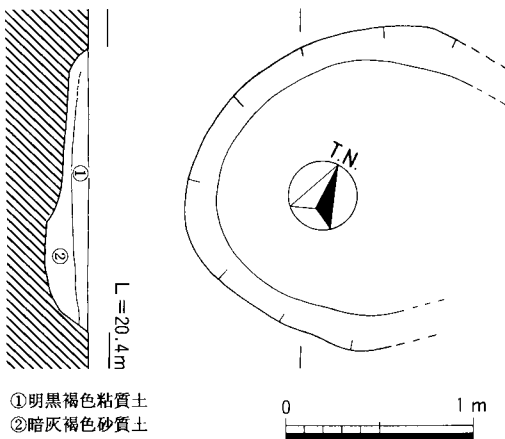
F8・F9区画に位置する。SD164に壊され、南を道路で壊されているので、全体はつかめないが、円形を呈していると思われる。深さは50cmである。埋土は4層からなっているが、基本的には自然堆積と考える。平面形が円形の竪穴住居跡の可能性もある。埋土から弥生土器が出土している。甕(37)は口縁端部が面を形成しており、この点だけ考えると後期中頃に比定されよう。



第25図 G8SP12平・断面図(1/10)及び出土土器(1/4)

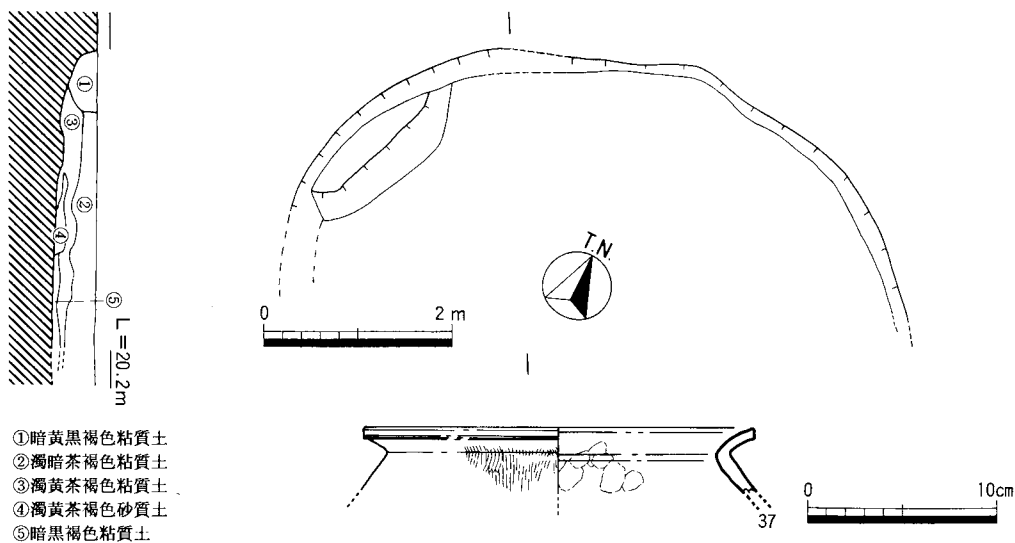
SK54 (第28図, 図版11)

G7区画に位置する。SD170に壊されている。平面形は楕円形を呈し、深さは約25cmである。埋土は、基本的に黒褐色粘質土であることから、自然堆積であることがうかがえる。埋土の土質と土器破片を多く含むことから、廃棄土坑と考える。弥生土器及び石鏃が出土している。

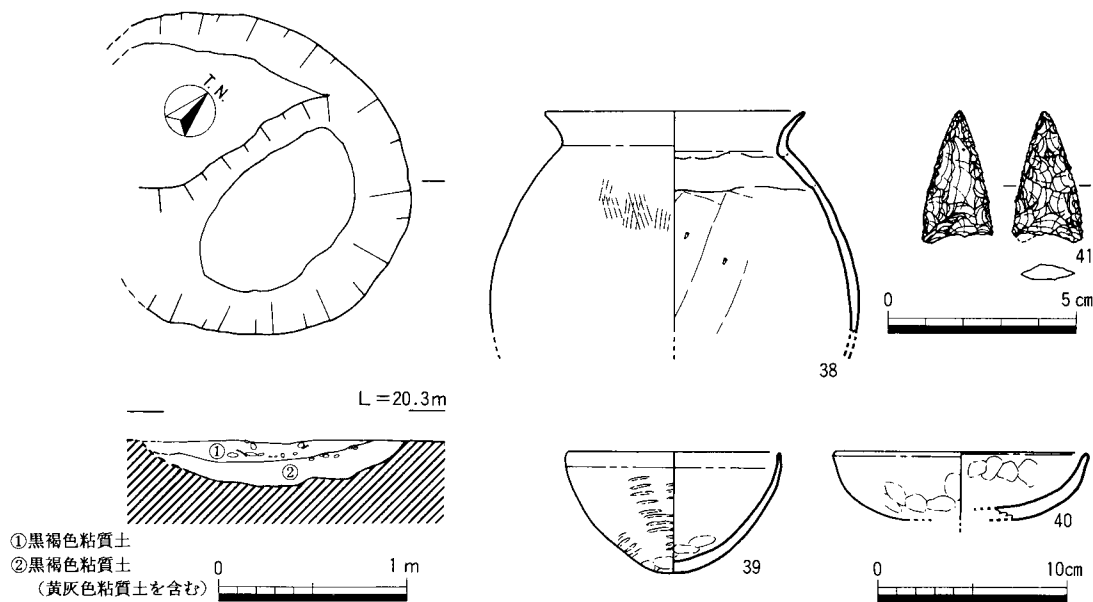


第26図 SK43平・断面図(1/40)

弥生土器は甕 (38), 鉢 (39・40) が出土している。39は不明瞭な平底を持つこと, 外面がタタキ調整であることから後期後半と考えられる。38・40も同時期として大過無い。



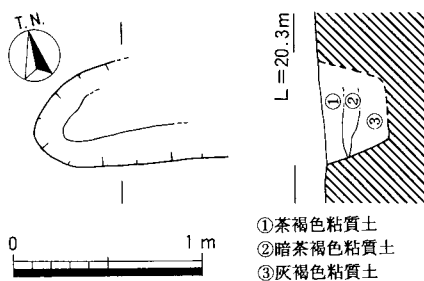
第27図 SK 50 平・断面図 (1/80) 及び出土土器 (1/4)



第28図 SK 54 平・断面図 (1/40) 及び出土土器 (1/4) ・石器 (1/2)

SK 5 5 (第29図)

G7・G8区画に位置する。SH 0 4 より古い。平面形は不整楕円形を呈し、深さは約35cmである。埋土は、灰褐色粘質土である。遺物は出土していない。

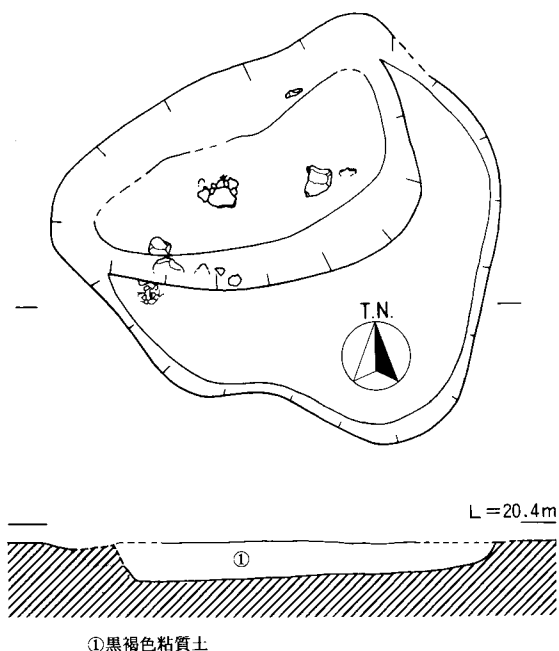


第29図 SK 5 5 平・断面図 (1/40)

SK 5 6 (第30図)

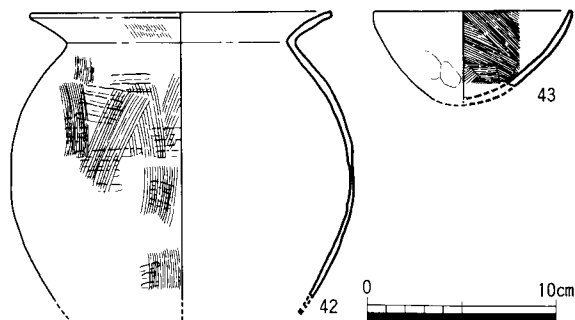
G8・H8区画に位置する。SH 0 5 より新しい。平面形は不整形である。SB 3 8 の埋土に比べて、やや暗い茶褐色粘質土である。埋土から弥生土器破片が出土した。埋土の上質と遺物の出土状況から廃棄土坑と考える。

弥生土器甕 (42)、鉢 (43) が出土している。42は胴部最大径が中央より上部にあること、タタキの単位が太いことから、後期後半頃と推定している。43も形態上、ほぼ同時期と考えられる。



SK 5 7 (第31図, 図版12)

G8区画に位置する。SB 3 8 に壊されている。平面形は不整楕円形を呈し、深さは25cmである。埋土は、茶色系粘質土を基本とすることから、自然堆積であることがわかる。埋土からは弥生土器の破片及び礫が出土した。埋土の上質と遺物の出土状況から廃棄土坑と考える。

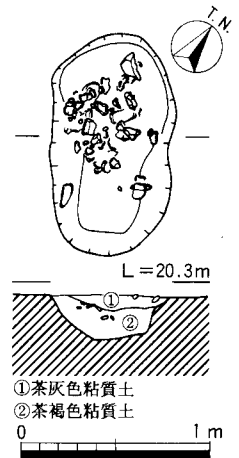


第30図 SK 5 6 平・断面図 (1/40) 及び出土土器 (1/4)

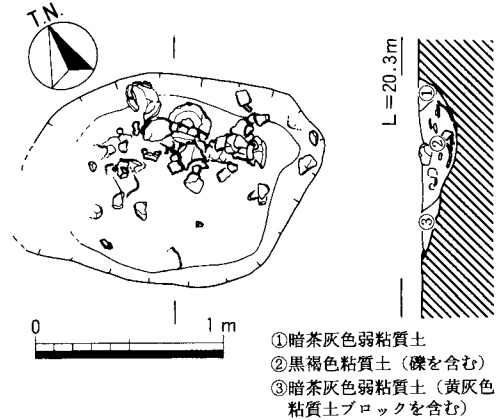
SK 5 8 (第32図, 図版12)

G8区画に位置する。SB 3 8に壊されている。平面形は不整形円形を呈し、深さは20cmである。埋土は礫を含む黒褐色粘質土を基本とすることから、自然堆積であることがわかる。埋土の土質と土器破片を多く含むことから、廃棄土坑と考える。弥生土器のほかにも土師器及び須恵器の破片が1片ずつ出土しているが、量から考えて、これらは混入したものであろう。

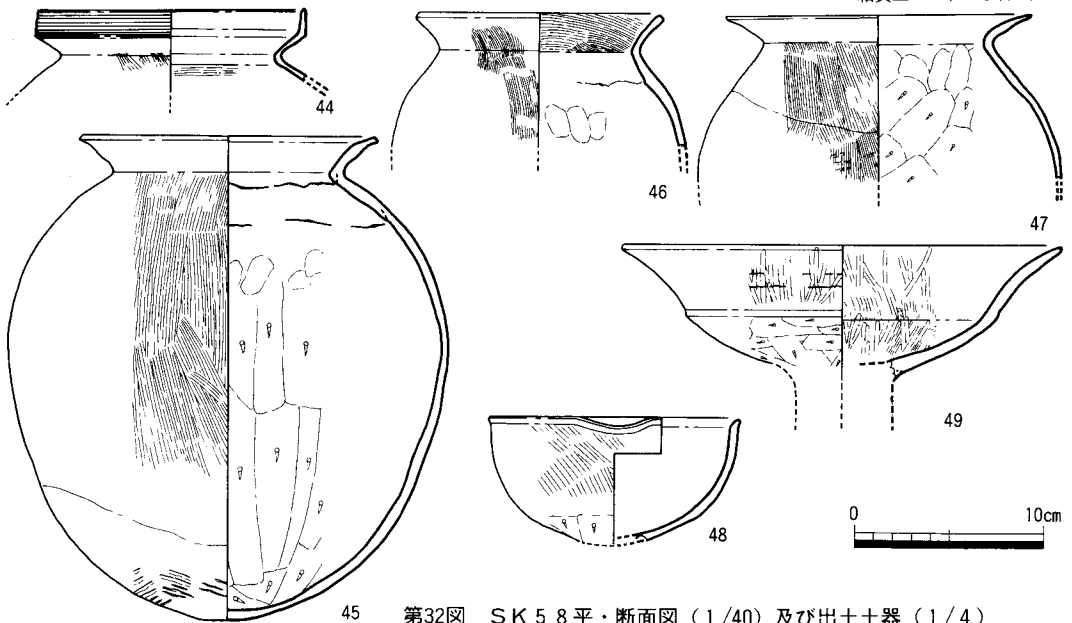
弥生土器甕(44~47)、鉢(48)、高坏(49)が出土している。44は岡山県南部の甕で、下田所式~亀川上層式と考えられる。45~47は在地産と考えられる甕で、口縁部が「く」の字に外反する共通点を持つ。このうち45は胴部が球形化していること、不明瞭な平底を有することが特徴に上げられる。48は注ぎ口を持つ鉢で、底部をへら削りしている。49は体部中央から外反すること、体部下半をへら削りする特徴がある。以上の形態的特徴から後期末と考える。



第31図 SK 5 7平・断面図(1/40)



①暗茶灰色弱粘質土
②黒褐色粘質土(礫を含む)
③暗茶灰色弱粘質土(黄灰色粘質土ブロックを含む)

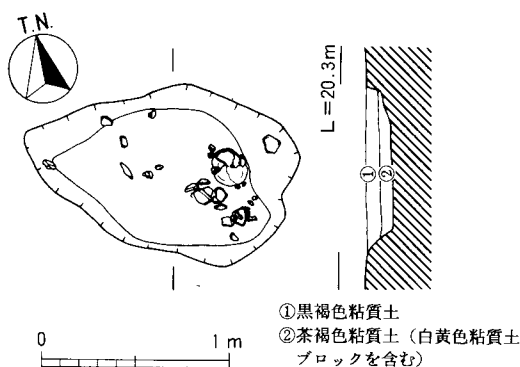


45 第32図 SK 5 8平・断面図(1/40)及び出土土器(1/4)

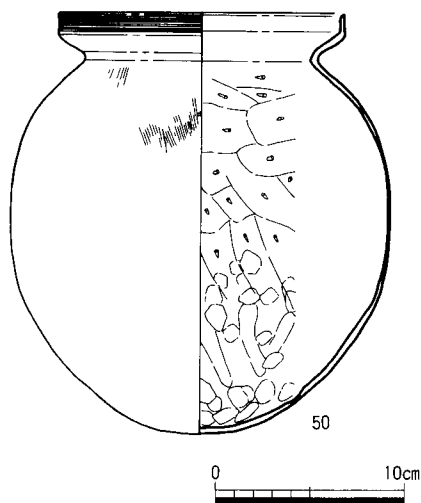
SK 5 9 (第33図, 図版13)

H7区画に位置する。SD 1 5 8 の肩部に位置している。平面形は不整形を呈し、深さは約15cmである。埋土は、基本的には、黒褐色粘質土であることから、自然堆積であることがわかる。埋土からは弥生土器破片及び礫が出土した。遺構埋土及び遺物の出土状況から、廃棄土坑と考えられる。

弥生土器甕(50)が出土している。岡山県南部の甕である。胴部が球形化しているものの、長胴化していないことから、下田所式併行と考える。



第33図 SK 5 9 平・断面図 (1/40) 及び出土土器 (1/4)

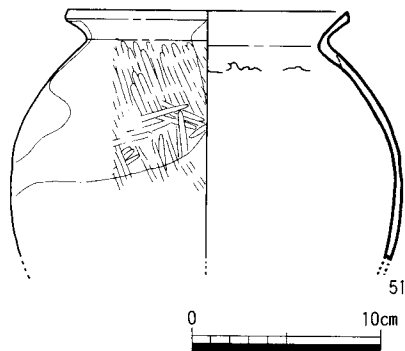


溝跡

SD 0 5 (第34・35図)

A地区西部に位置する。溝端の深い土坑状部分が砂礫層部分に位置しており、出水状の遺構と考えられる。奈良時代頃の掘立柱建物跡が近くに位置するにもかかわらず、埋土からは弥生土器のみが出土していること、奈良時代頃の掘立柱建物跡より古いことから、弥生時代後期と考える。

弥生土器甕(51)は、口縁部が「く」の字に外反し、球形の体部を有する。外面はヘラ磨きしており特異な調整といえる。

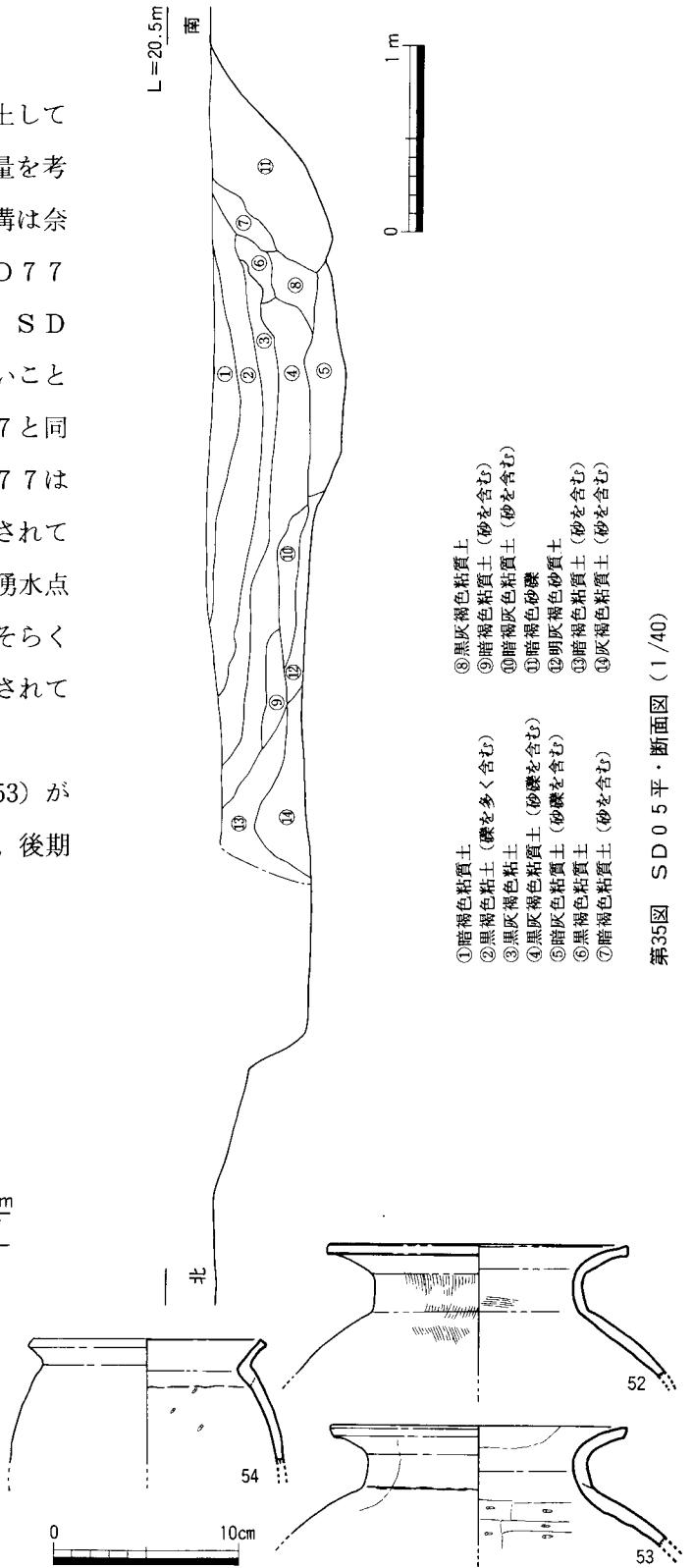
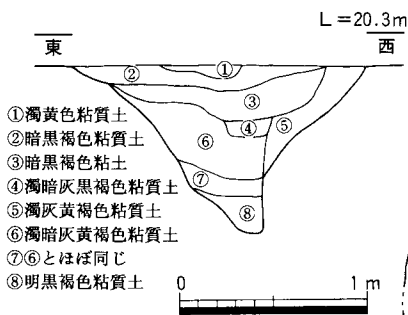


第34図 SD 0 5 出土土器 (1/4)

SD78 (第36図)

埋土から須恵器破片が2片出土しているが、弥生時代後期の土器の量を考えれば、混入とみなせる。この溝は奈良時代に埋没した考えられるSD77とほとんど規模が同じであり、SD77の西側にこの溝の延長がないことから、SD78の延長はSD77と同じ位置にあったといえる。SD77は最終的にSD73に流路変更がされているが、溝端の土坑状の部分を湧水点とする出水状の遺構であり、おそらくこの湧水点からSD78も引水されていたと考えられる。

弥生土器甕(54)・壺(52・53)が出土している。壺は同タイプで、後期後半と考える。

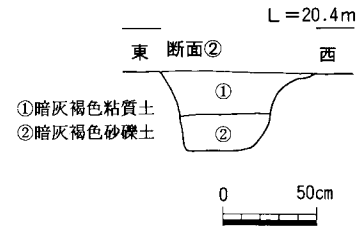
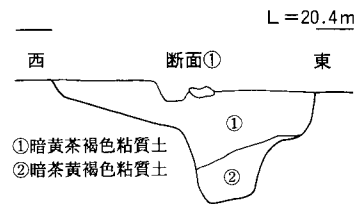


第36図 SD78平・断面図(1/40)及び出土土器(1/4)

第35図 SD05平・断面図(1/40)

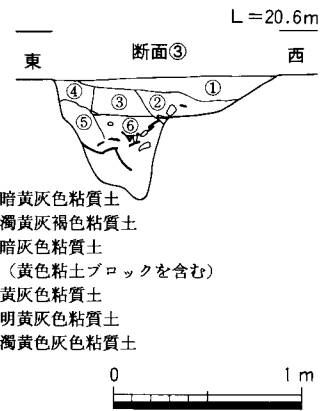
SD107 (第37～63図, 図版13～15)

A区東部分の中央部を南北に縦断している。D6区画で不自然に屈曲し、この屈曲部から南へSD106が延びていることから、SD106を流路変更してできた溝跡と考えられる。出土遺物から機能していた時期は、弥生時代後期の短期間に限定される。溝の一部に遺物が集中している。上層及び下層とも、完形品もしくは完形に近いものが多く出土していることから、使用できなくなったものを廃棄したとは考えがたく、祭祀等の目的により溝に投げ込まれたと考えられる。以下出土遺物を層ごとに報告する。



SD107下層 (第38～45図)

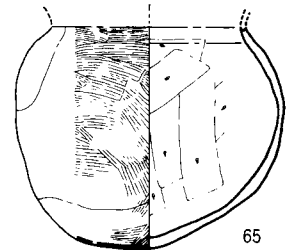
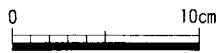
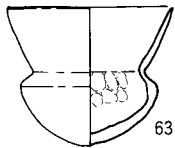
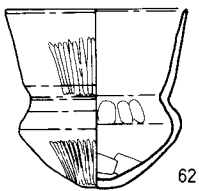
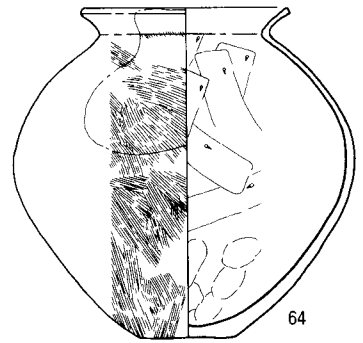
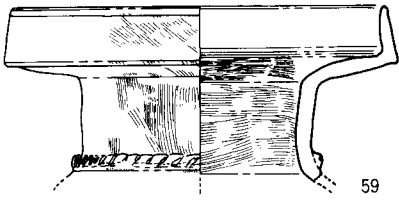
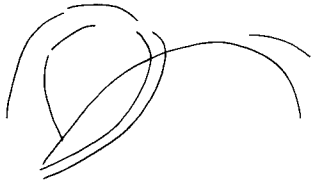
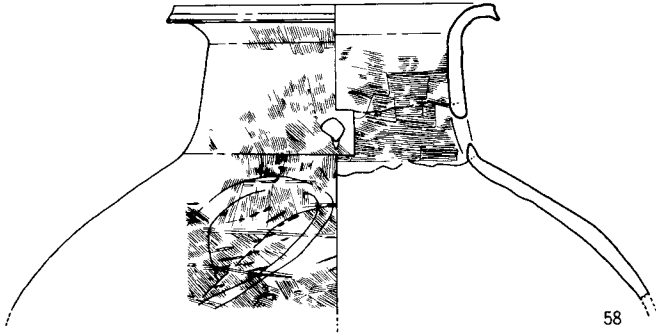
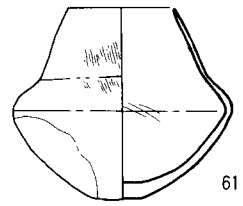
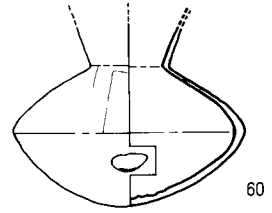
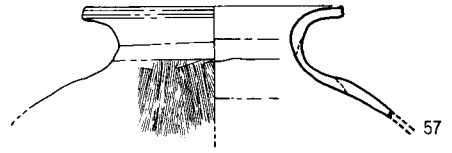
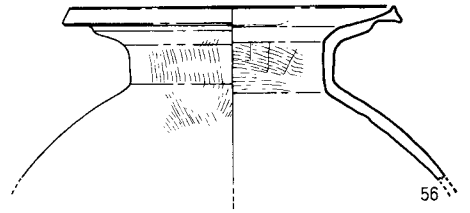
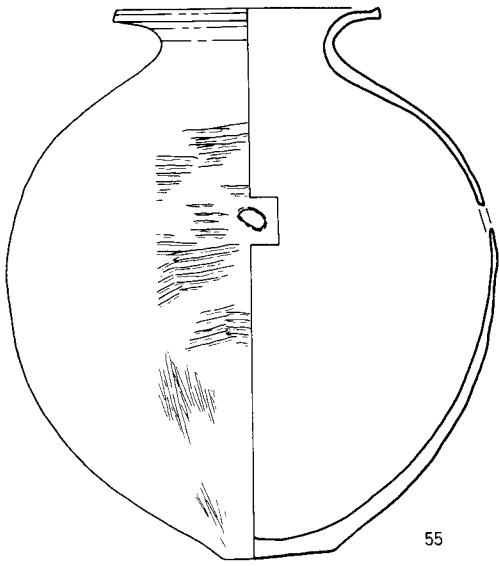
壺 (55～65), 甕 (66～92), 鉢 (93～113), 甑 (114～116), 高坏 (117～124), 支脚 (125～136) が出土している。壺は平底を有し、口縁部形態はそれぞれ異なる。58の胴部上半に線刻が認められる。何を意図したものか不明瞭ではあるが、印象的には竜文の形骸化したものとする。59は頸胴部の境に刻目を有する貼り付け凸帯を有する。60はラップ状に開く口縁部を有し、体部は算盤玉形を呈する。胴部下半に穿孔が見られる。61はあまり例がない形態を呈する。62・63は小型丸底壺に属するものである。62はやや丸



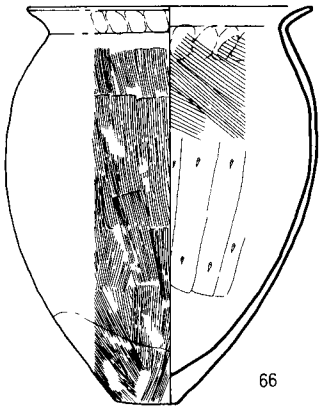
第37図 SD107断面図 (1/40)

底気味の底部を有し、外面を丁寧にヘラ磨きしている。このタイプは、後期中葉段階から見られ、後期末段階で所謂「小型丸底埴」と呼ばれるものに変化すると推定している。64・65は、内面をヘラ削りしており、甕に近い形態を持つ壺である。

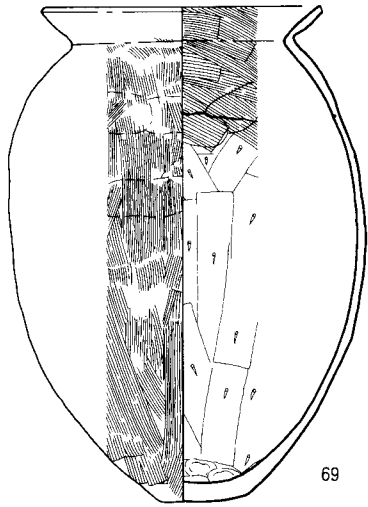
甕は多くのバリエーションが見られる。基本的には口縁部が「く」の字に外反し、底部が平底を有するものが多い。胴部は玉子形を呈するものが多いが、中に球形化しているものも認められる。調整は、外面がタタキ後ハケ、内面はヘラ削りが見られる。但し、ヘラ削りの範囲は必ずしも同一ではない。90・91は胴部が長胴化しており、壺のバリエーションとも考えられるが、口縁部が欠損しており、全体の形状が明らかではないので甕に含めておく。92は所謂「下川津B類土器」である。外面胴部下半を丁寧にヘラ磨きしているこ



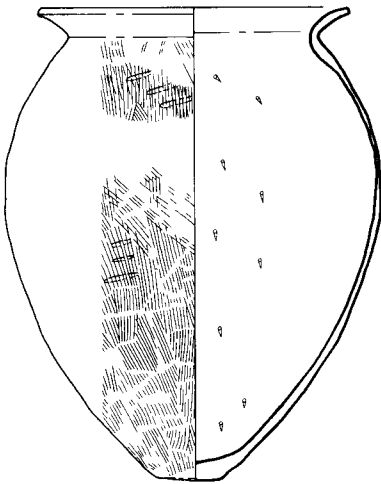
第38图 SD107下層出土土器(1)(1/4)



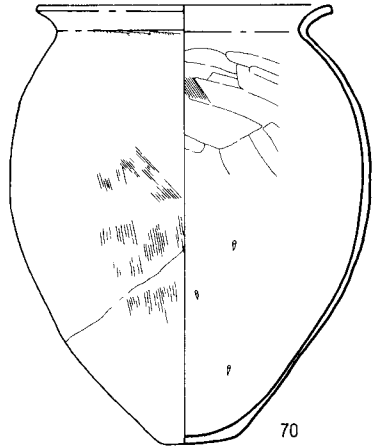
66



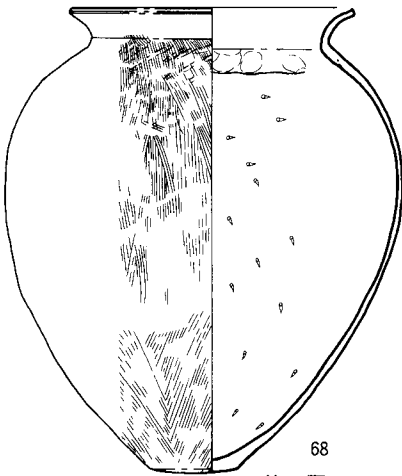
69



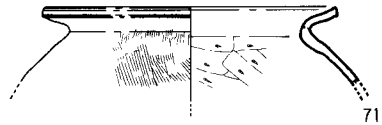
67



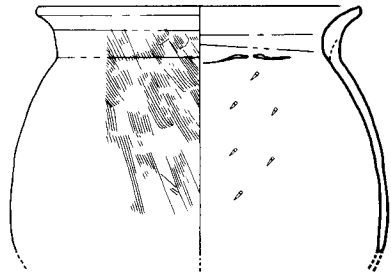
70



68



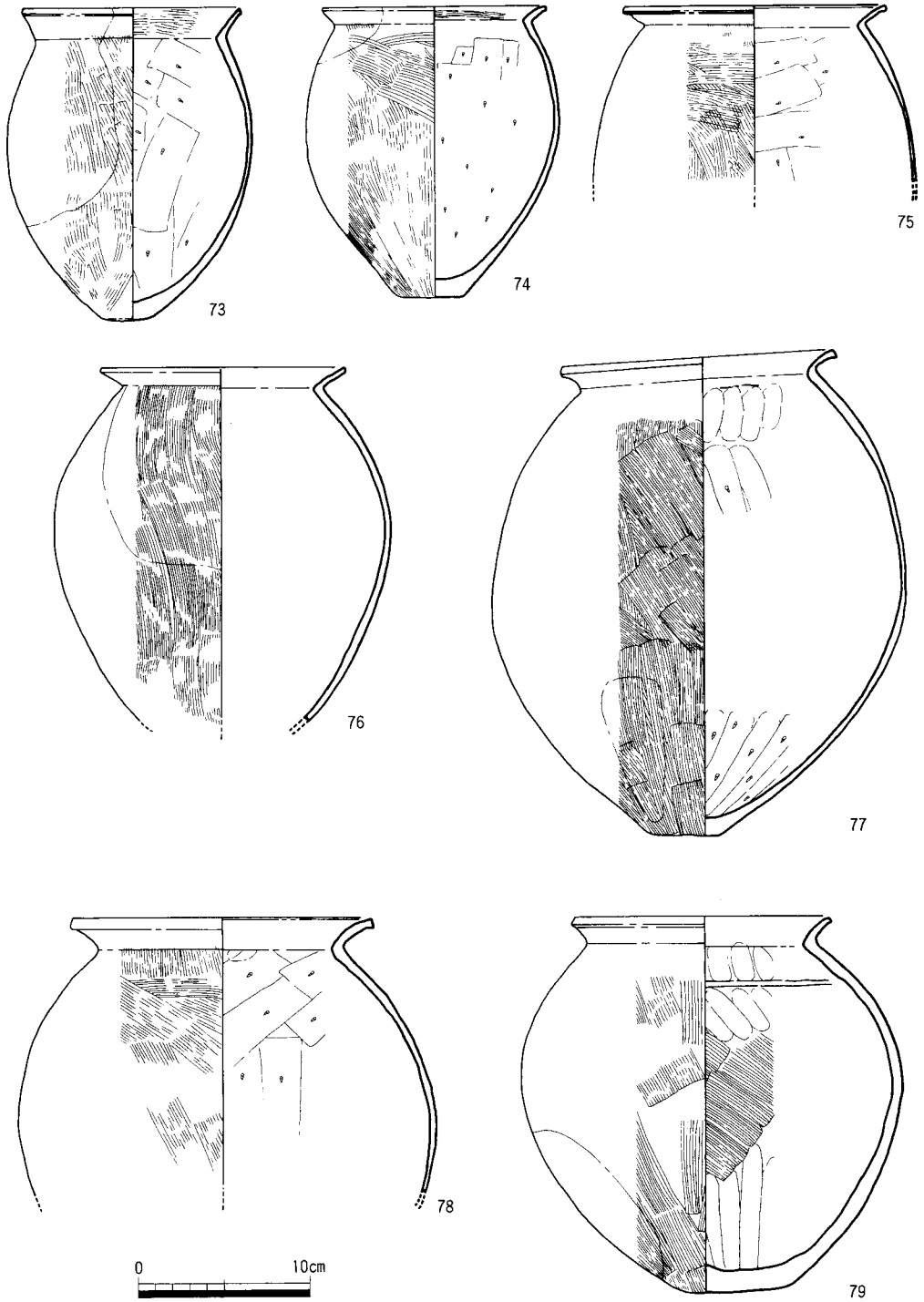
71



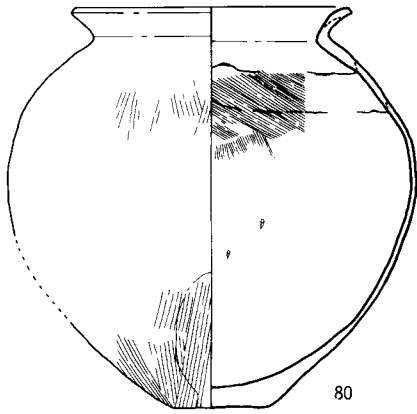
72

第39圖 SD 1 0 7 下層出土土器(2) (1/4)

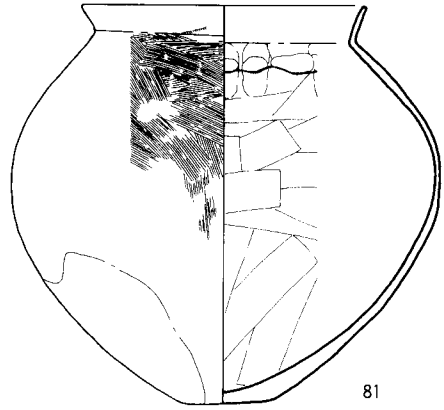




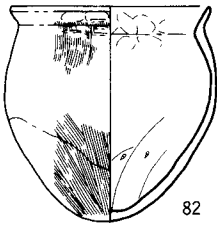
第40図 SD107下層出土土器(3)(1/4)



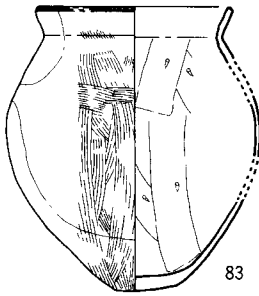
80



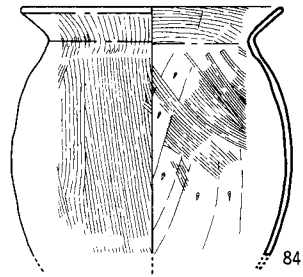
81



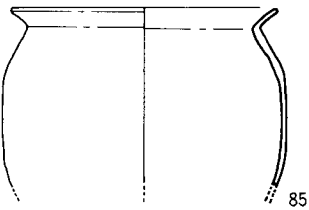
82



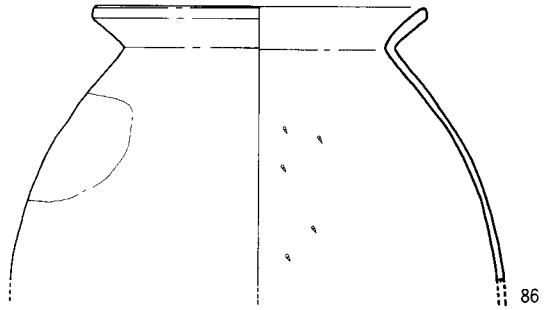
83



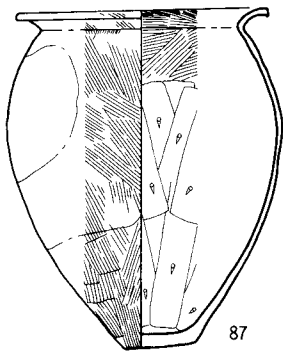
84



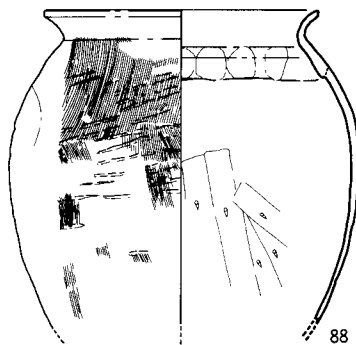
85



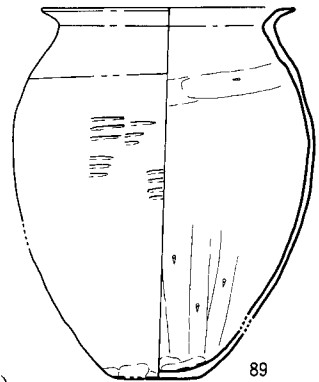
86



87



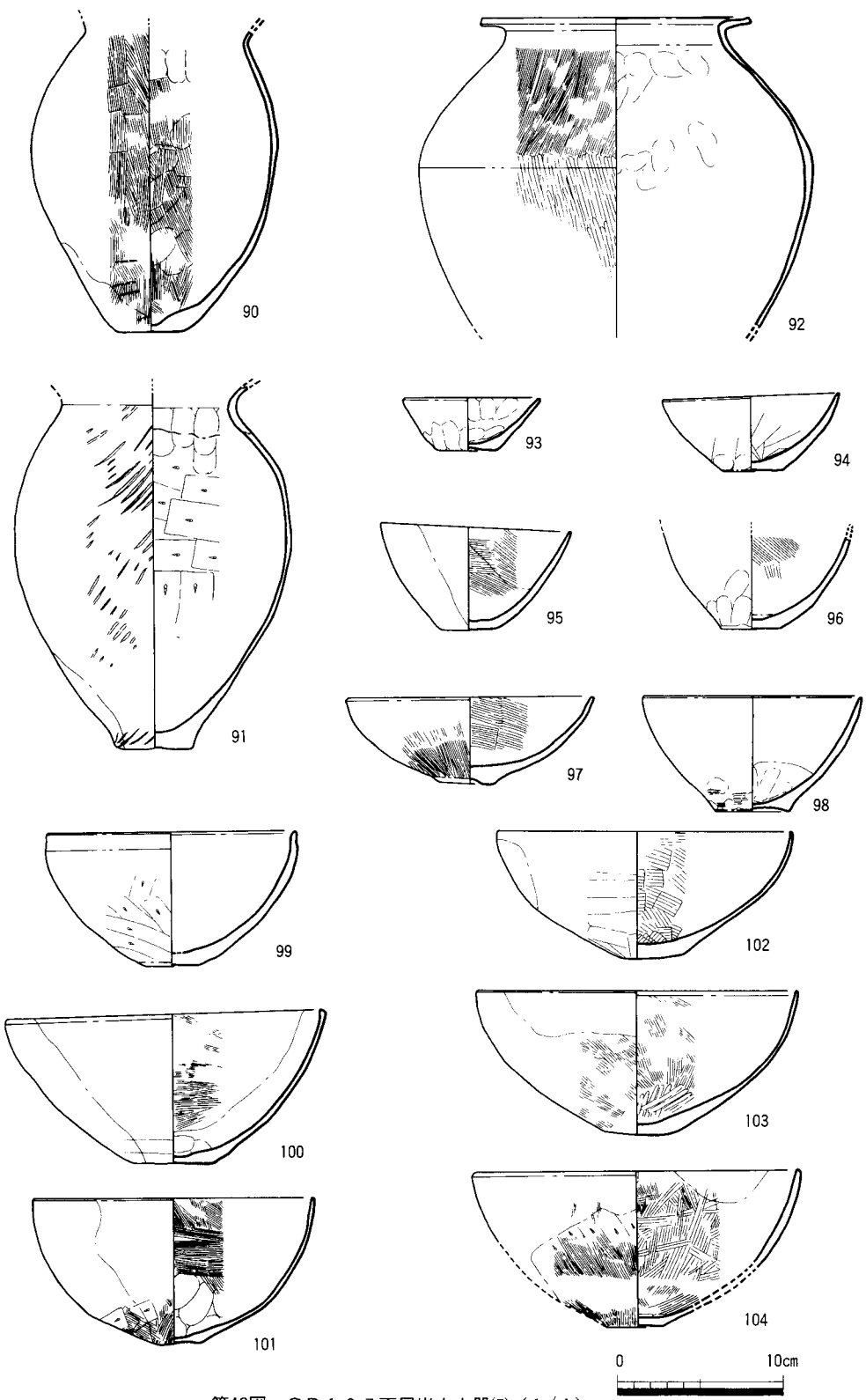
88



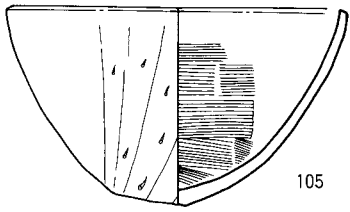
89



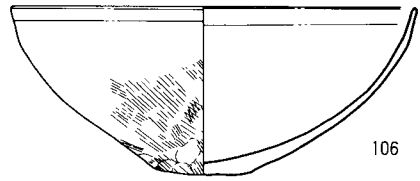
第41图 SD107下層出土土器(4) (1/4)



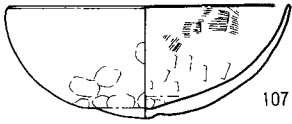
第42图 SD107下層出土土器(5) (1/4)



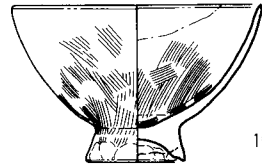
105



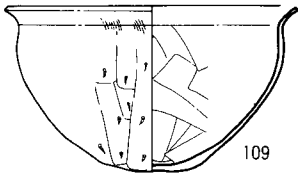
106



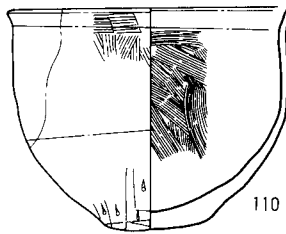
107



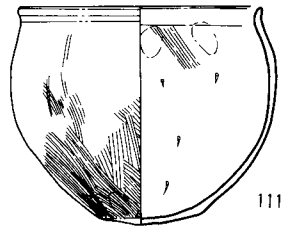
108



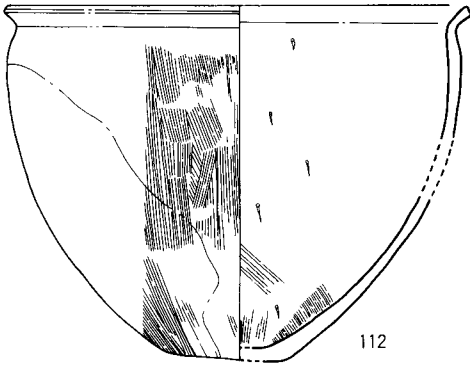
109



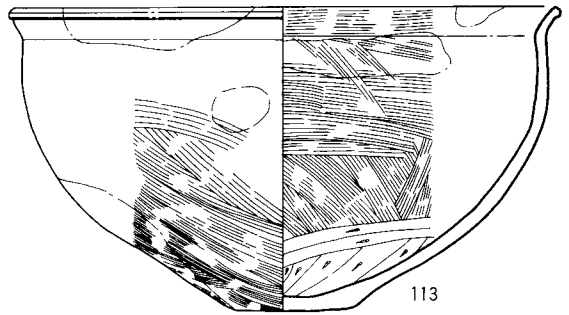
110



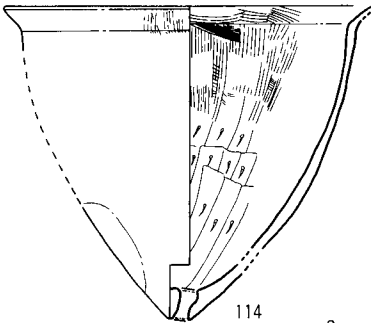
111



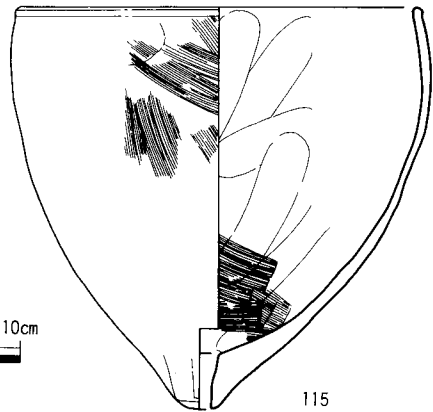
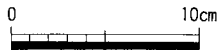
112



113

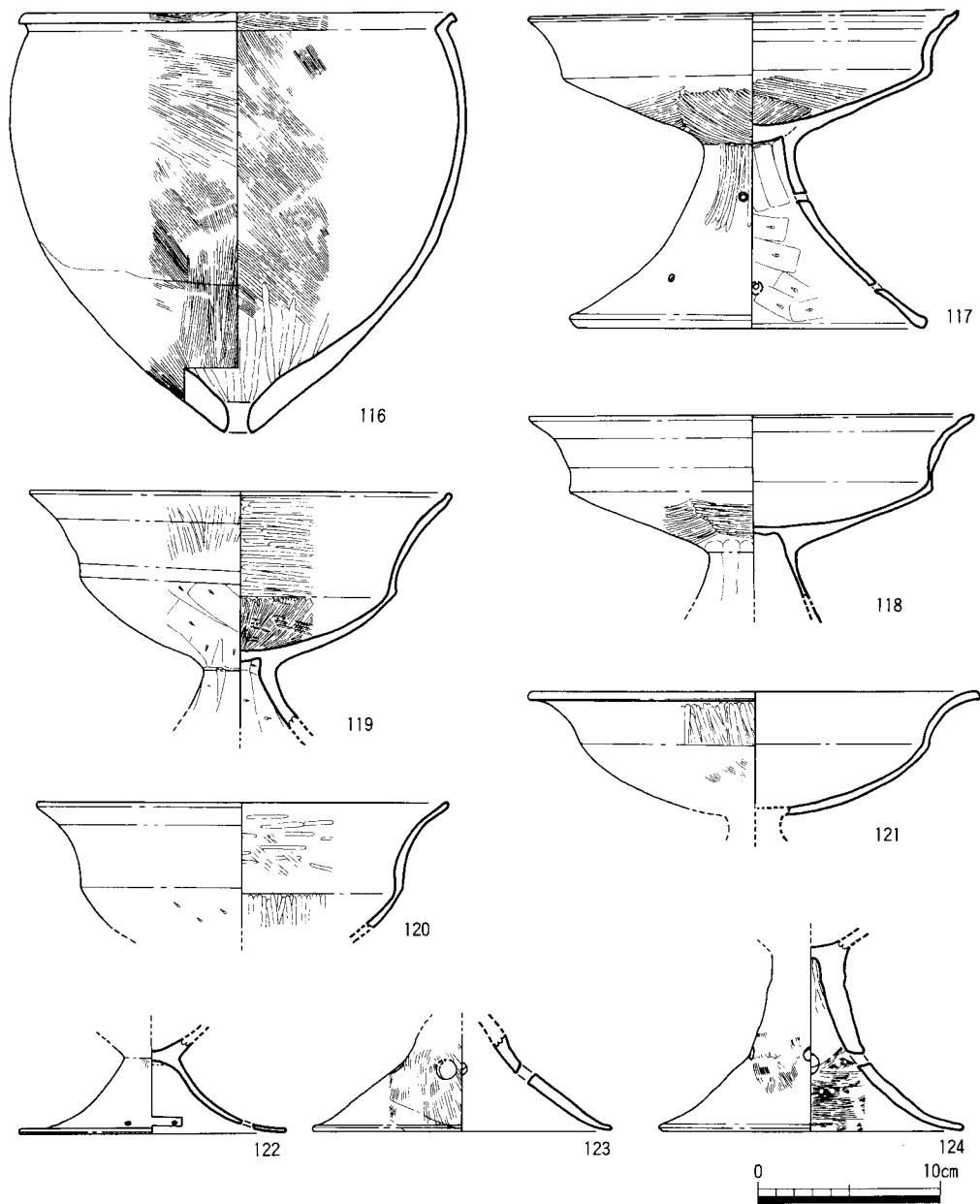


114



115

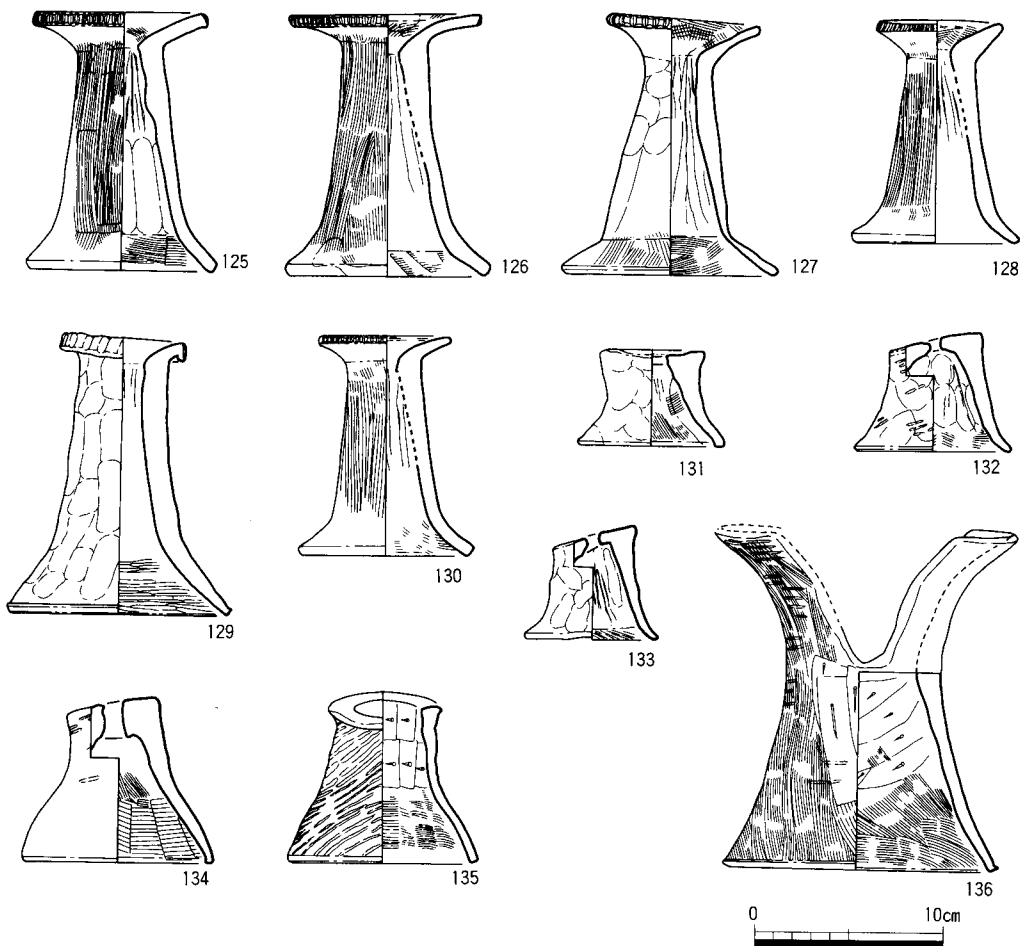
第43图 SD107下層出土土器(6) (1/4)



第44図 SD107下層出土土器(7) (1/4)

と、内面胴部上半に顕著な指頭圧痕が見られるなど、胎土のみならず特徴ある土器である。

鉢は総て平底を有する。内外面の調整は同一ではない。一部外面にヘラ削りが見られ、次の段階への萌芽と考えられる。107は丸底であるが、底部に剝落痕が認められ、108のような台付鉢か高坏になる可能性がある。108は台付鉢である。この段階ではあまり例がない。114～116は尖底に作り、底部に一穴を穿った甑である。形態には若干の差があるもの



第45図 SD107下層出土土器(8) (1/4)

のおおむね類似している。

高坏の坏部は2種に分けられる。下位の調整がヘラ磨きかヘラ削りかである。形態も異なり、後者は碗形を呈し丸みを持つ。外面調整も前者が坏部下半にヘラ磨きを有するのに対して、後者では上半部にヘラ磨きが認められる。脚部は3種見られる。122は低脚で薄く「ハ」の字に広がる。124は「ハ」の字に広がる通常タイプと考える。123は上半部が欠損しており不明である。

支脚はBタイプ(125~130)が主体を占める。但しこの一群は上面が傾斜しない特徴がある。また、Cタイプ(131~135)には多くのバリエーションが認められる。ここでのCタイプは、上面に穿孔が見られることが特徴である。また、135のように筒状に製作されているものもある。136は大型で、上部が「Y」字形に作られている。上部に欠損もあり正確

には分からないが、他の支脚のように組み合わせて使うタイプではなく、一つでその用途をなしたものとする。比較的類似した資料が大分県で出土している。この資料は、出土状態からかなり一括性が高い資料と考えられ、後期中葉に位置付けられる。

SD107上層（第46～50図）

壺（137～144）、甕（145～156）、鉢（157～174）、高坏（175～179）、支脚（180～187）が出土している。

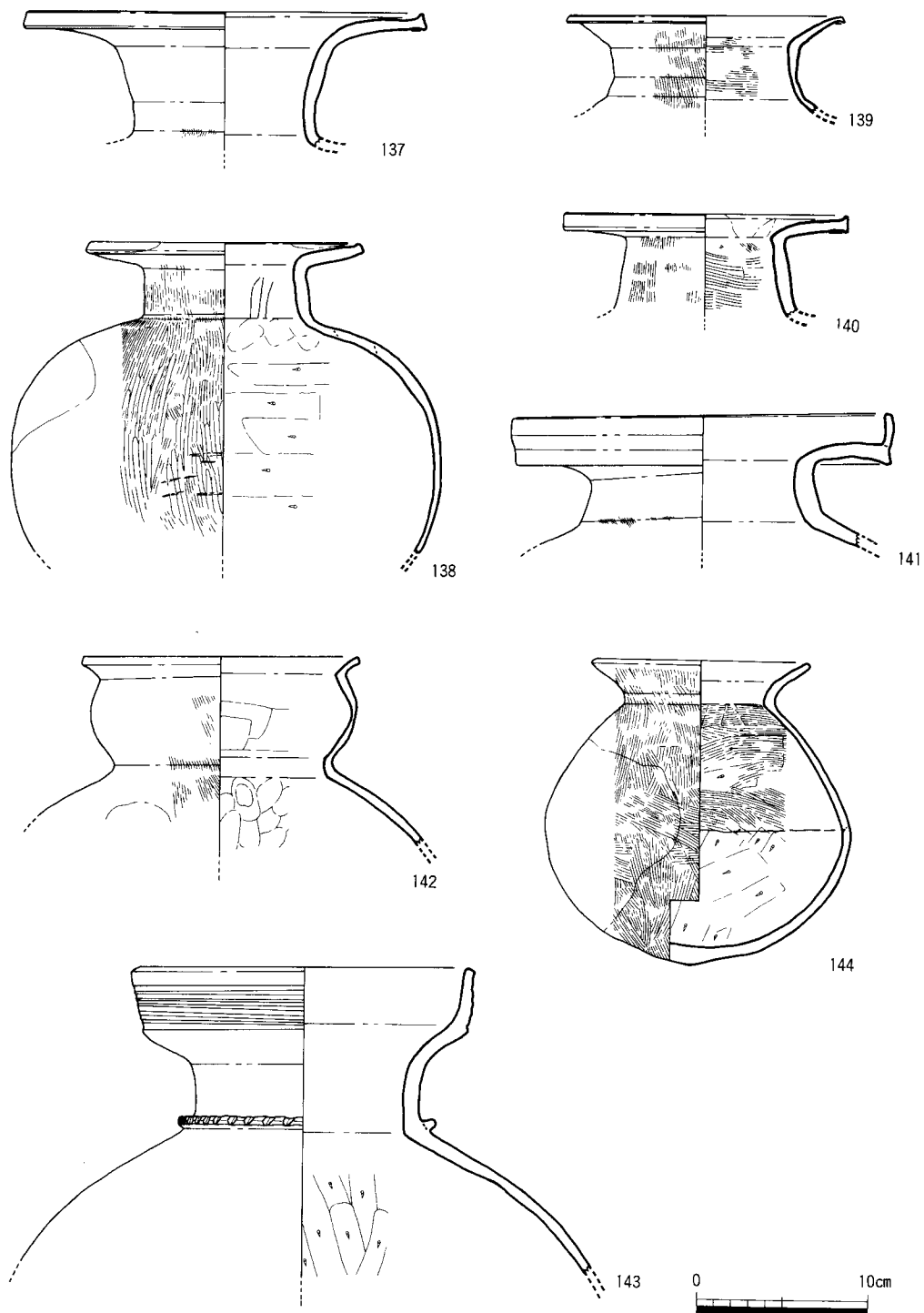
137～140は頸部が外傾、内傾の差はあるものの、上方に伸びた後、水平に屈曲した口縁部を有する特徴がある。141は、この形態に口縁部端部で上方に拡張したものである。142は口縁部に鉢を接合したような形態を有する、特異な土器である。143は受け口状の口縁部に櫛描沈線文を施し、頸胴部の境に刻目を有する貼り付け凸帯を持つものである。142同様ポピュラーな形態ではない。144は球形化した胴部を持つが、底部は明瞭な平底を呈する。口縁径が小さいことから壺に含めた。

甕は「く」の字に外反する口縁部を有するもので、若干のバリエーションがある。145～147は口縁端部にやや拡張性が見られ、浅い凹線状のくぼみが見られる。胴部は中位より上方に最大径があるが、全体的に丸みがあるものと、ややスリムな形態を持つものがある。156は底部に穿孔が見られることから甕と考えているが、下層出土の甕のように、それを目的とした形態を持たず、外見上甕の転用と考えられる。

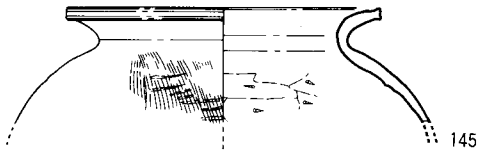
鉢には多くのバリエーションが見られる。大型品を除いては総て平底を呈する。168は底部に剝落痕があり高坏・台付鉢の可能性もある。169の底部には穿孔があり、甕として利用されていると考えるが、形態上鉢の転用は例があまりない。大型鉢はすべて口縁部が「く」の字に外反する。171は底部が丸底を呈する。

高坏は175・176の通常タイプのもののほか、177のように坏部が浅い鉢のようなものもある。脚部は、178が通常タイプのものに接合すると考える。179はやや小型で屈曲部から下がやや膨らむ形態を有する。坏部は不明である。

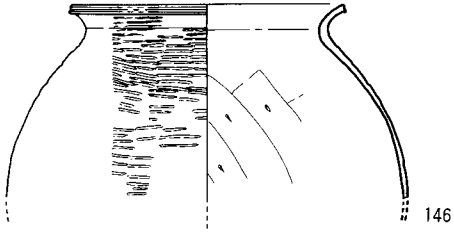
支脚はBタイプとCタイプがある。Cタイプのは4例とも異なる形態を持つ。184～186は上面に平坦面を持ち、傾斜している。187は笠形を呈し、上面の平坦面は水平である。以上の特徴から後期中葉～後半段階と考える。



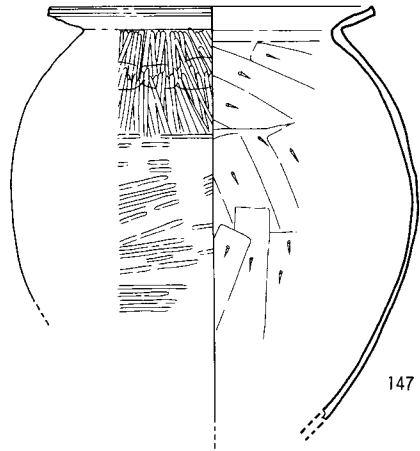
第46図 SD107上層出土土器(1) (1/4)



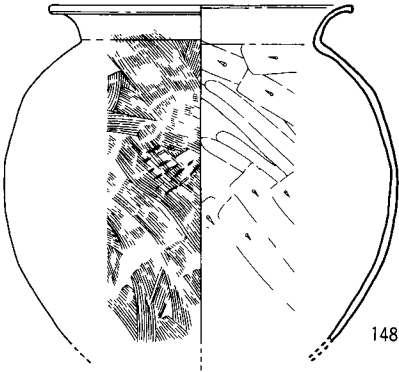
145



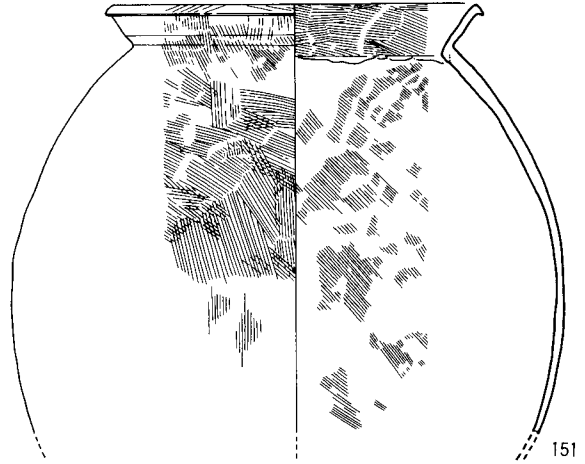
146



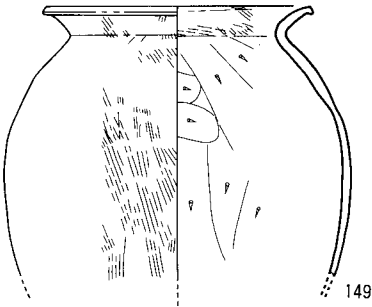
147



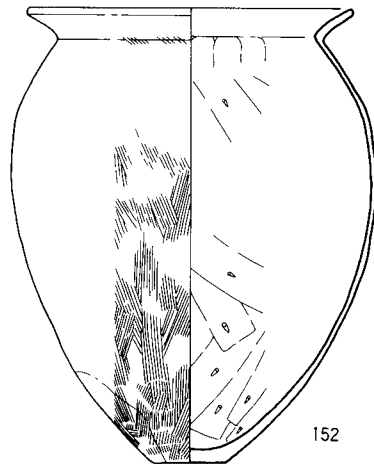
148



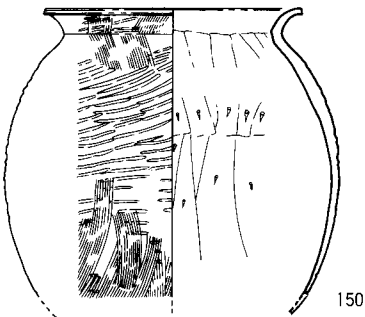
151



149



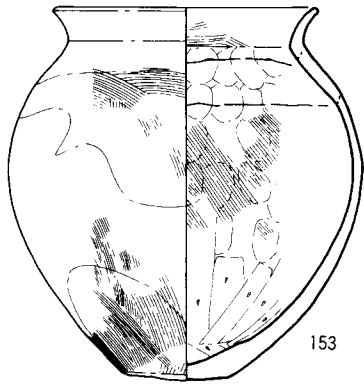
152



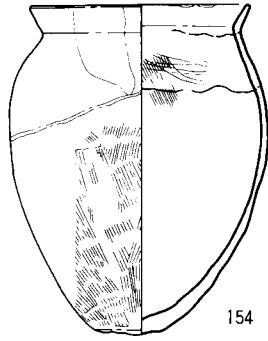
150



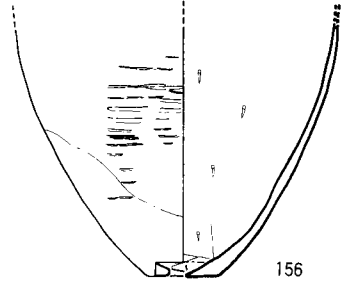
第47图 SD107上層出土土器(2) (1/4)



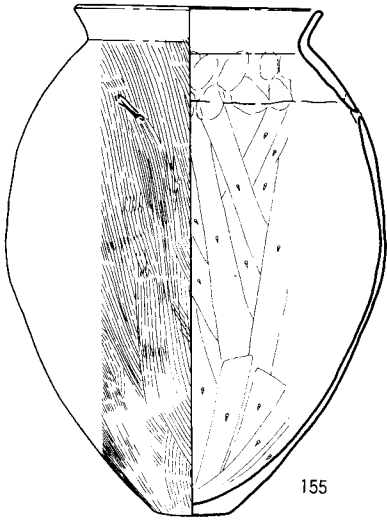
153



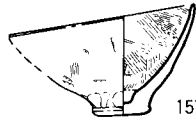
154



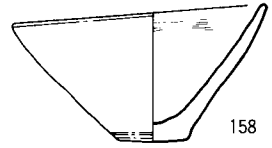
156



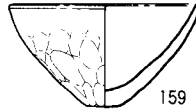
155



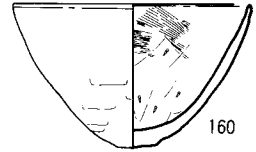
157



158



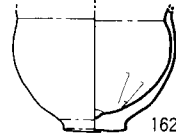
159



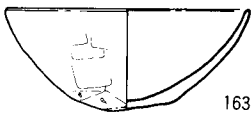
160



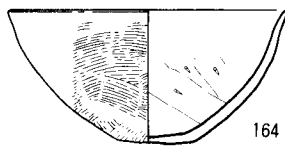
161



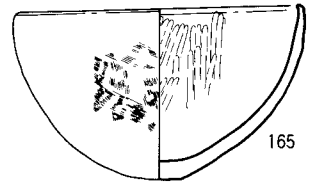
162



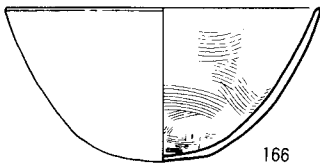
163



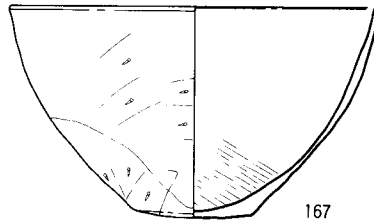
164



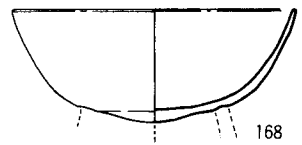
165



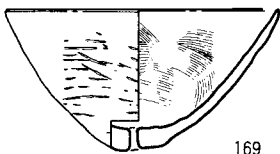
166



167



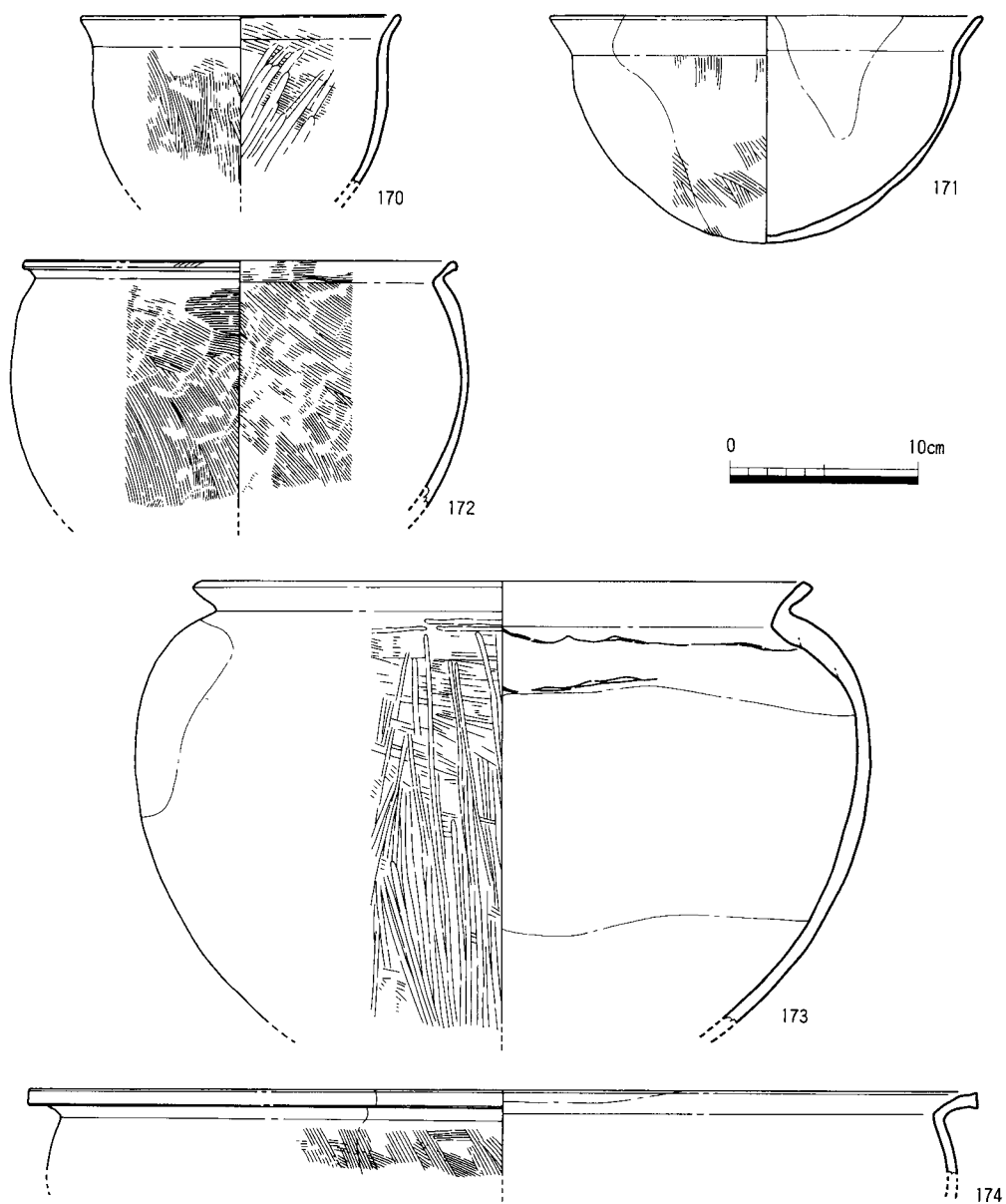
168



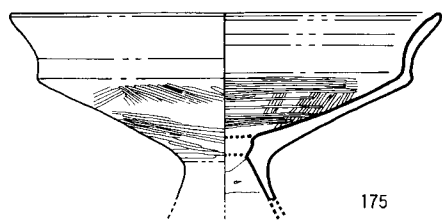
169



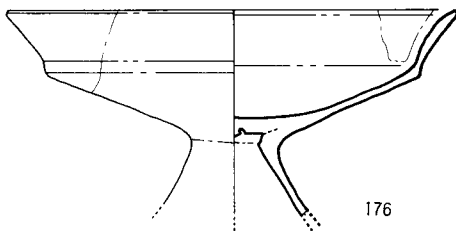
第48图 SD107上層出土土器(3) (1/4)



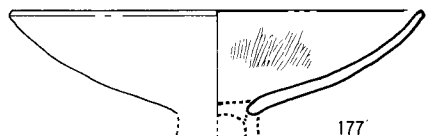
第49図 SD107上層出土土器(4) (1/4)



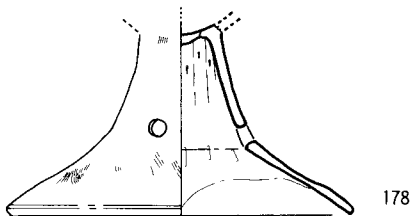
175



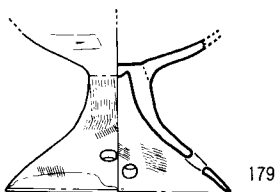
176



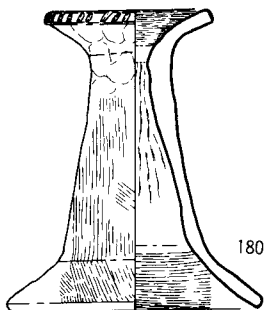
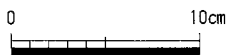
177



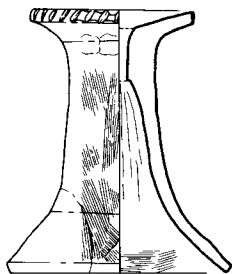
178



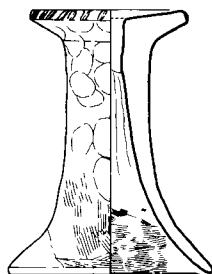
179



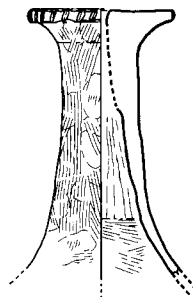
180



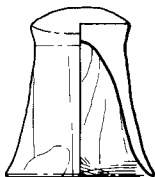
181



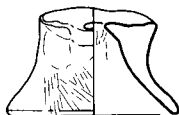
182



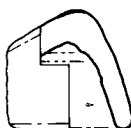
183



184



185



186



187

第50圖 SD107上層出土土器(5)(1/4)

SD107 (第51～63図)

この資料は、出土段階で上層・下層に区分して取り上げができなかったもので、両者が混在していると考えている。

壺 (188～211), 甕 (212～266), 鉢 (267～287), 甌 (288～291), 高坏 (292～299), 支脚 (300～314), 製塩土器 (315), 船形土製品 (316・317), 石鏃 (318) 及びスクレイパー (319) が出土している。

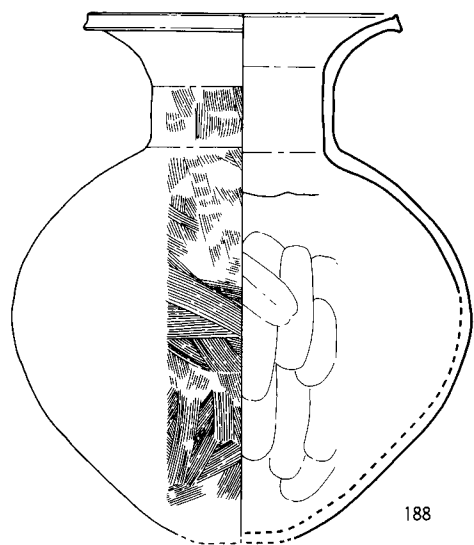
壺は頸部が直立し、水平方向に開く口縁部を持つ器種が多い。頸部の開く角度、横への広がり角度に若干のバリエーションが認められる。胴部は中位より若干上に最大径が有り、平底を呈する。調整は外面がハケ若しくはヘラ磨き、内面はヘラ削り、指ナデ若しくはハケを用いている。206は頸部が短く内傾し、「く」の字に短く外反する口縁部を有する。内面最大径部までヘラ削りがおよび、上半に指頭圧痕が顕著に認められることから「下川津B類」甕に近い形態を有する。ここでは形態から一応壺に分類しておく。207は頸胴部の境からラップ状に大きく開く口縁部を有し、口縁端部を下方に拡張する。拡張された端面には凹線文を施し、円形の浮文を貼り付けている。当該時期に属する資料かどうか不明である。209は小型丸底壺である。体部が口縁部に比べて小型化し、最大径部の屈曲が鋭角的になっていることから、小型丸底甕に近い形態を持つ。210は細頸壺の体部である。胴部外面は丁寧なヘラ磨きが施され、特別な用途を持った土器と考えている。

甕は多くのバリエーションが認められる。基本的には、「く」の字に外反する口縁部を有すること、胴部上半に最大径を有すること、底部は平底であることがあげられる。調整は、外面がタタキのちハケ、内面がヘラ削りである。体部は長胴気味のものから球形化したものまで個体差があり、甕のみでは年代決定が難しい。264～266は「下川津B類土器」である。

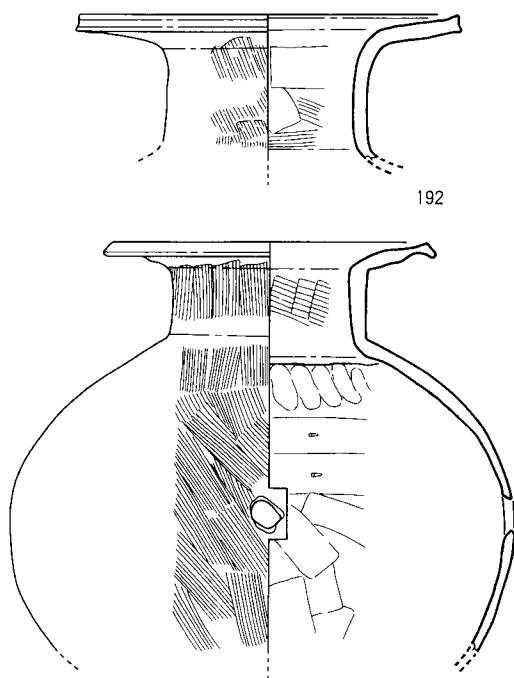
鉢は、突出する明瞭な平底を有するものから、底部をヘラ削りして丸底気味に仕上げているものまで多くのバリエーションがある。

288～291は甌である。288・289は底部が欠損しているものの内面にヘラ削りが見られることから、鉢ではない。甕の可能性も否定できないが、形態から甌に分類している。290は底部が尖底にはならず、平底を有するが、底部を厚く作るなど甌を意図して製作していることが明らかである。

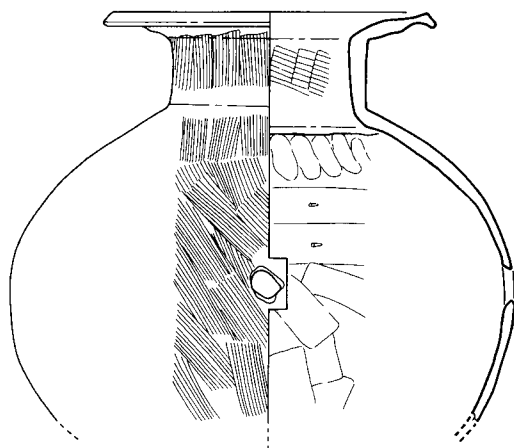
高坏は、坏部中位より上で外反するタイプと、坏部が鉢状の低脚のものがある。前者は坏部下半をヘラ磨きするものが多いが、一点ヘラ削りしているものが見られる。低脚の高坏は、脚部が低い「ハ」の字状を呈する。



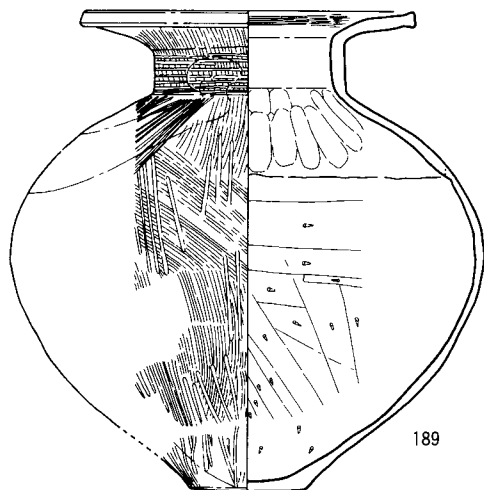
188



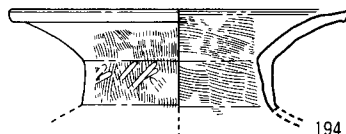
192



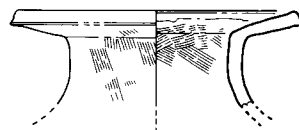
193



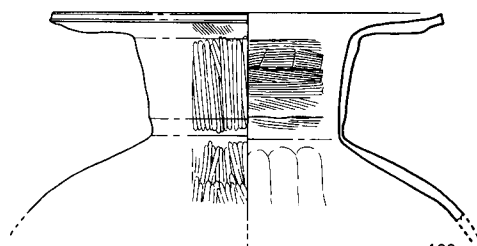
189



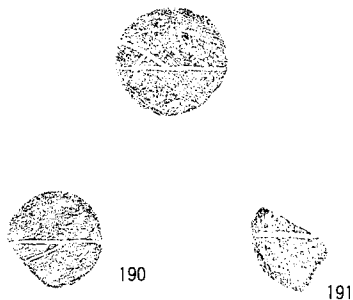
194



195



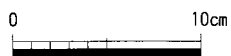
196



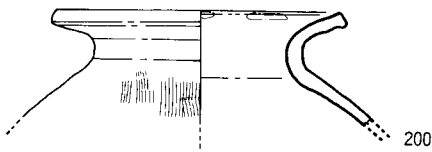
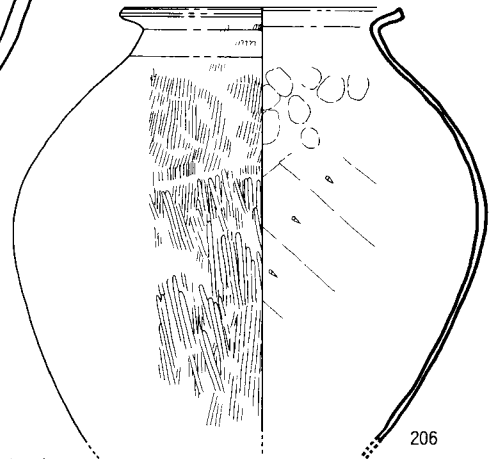
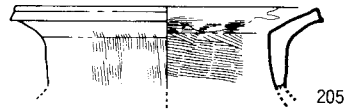
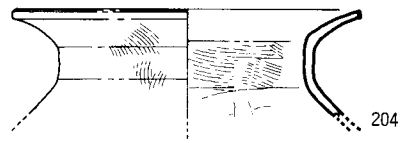
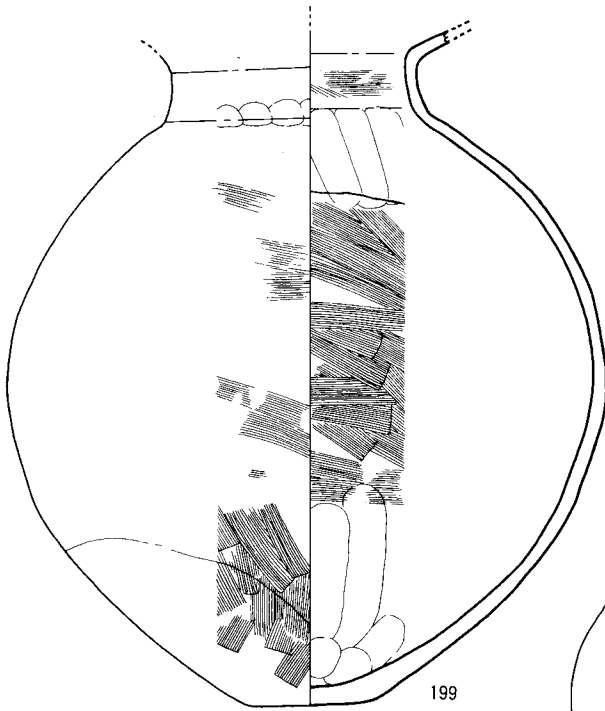
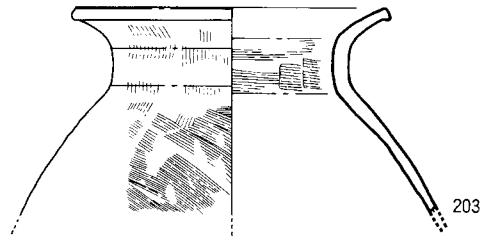
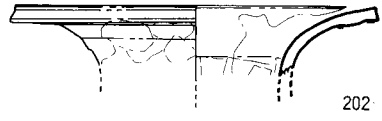
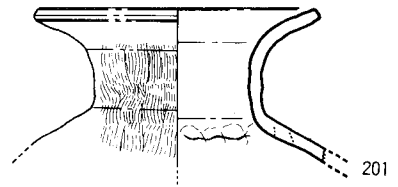
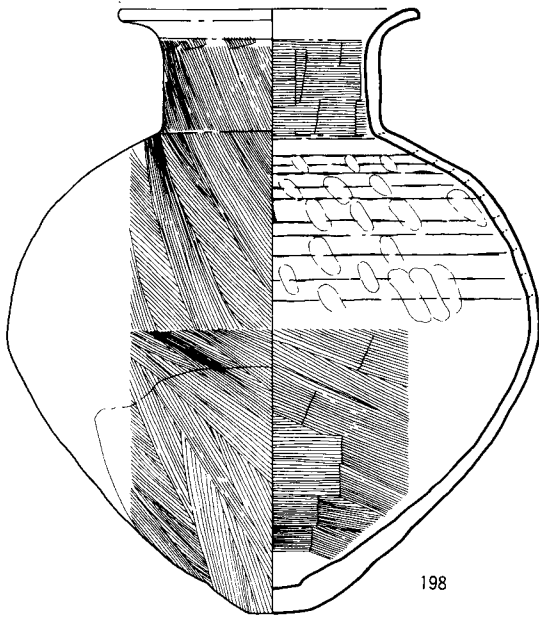
190



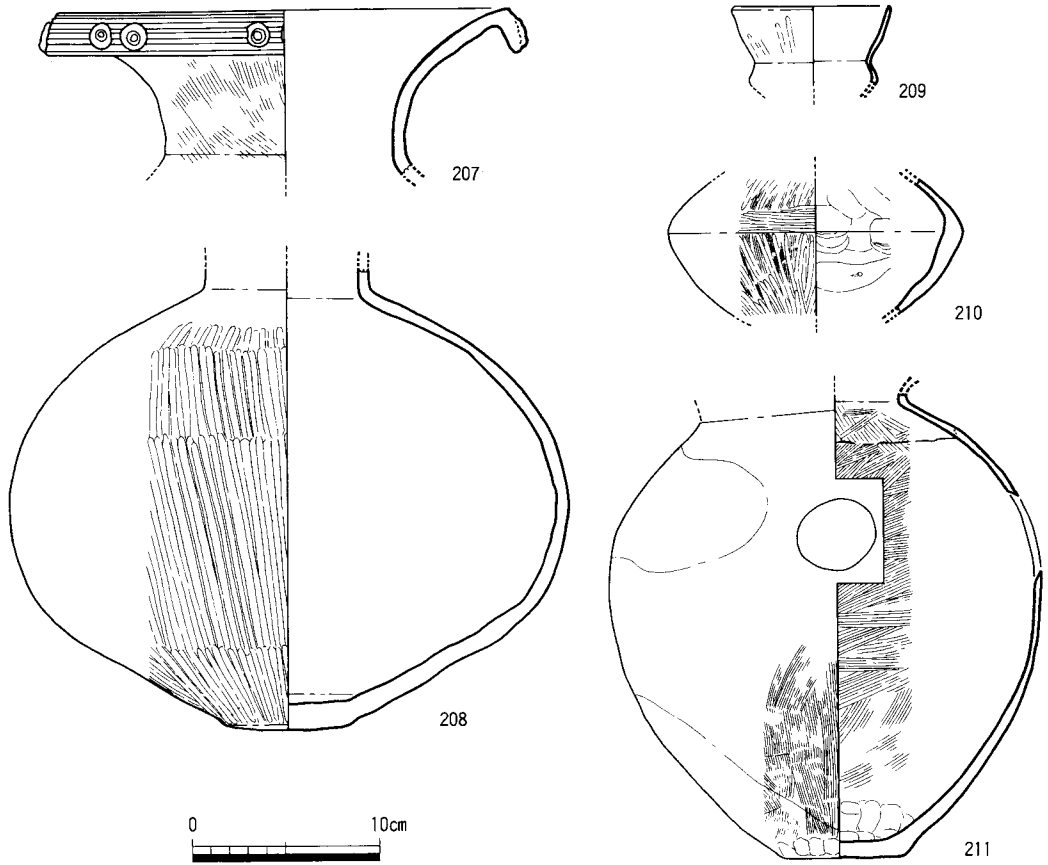
191



第51圖 SD107出土土器(1)(1/4)



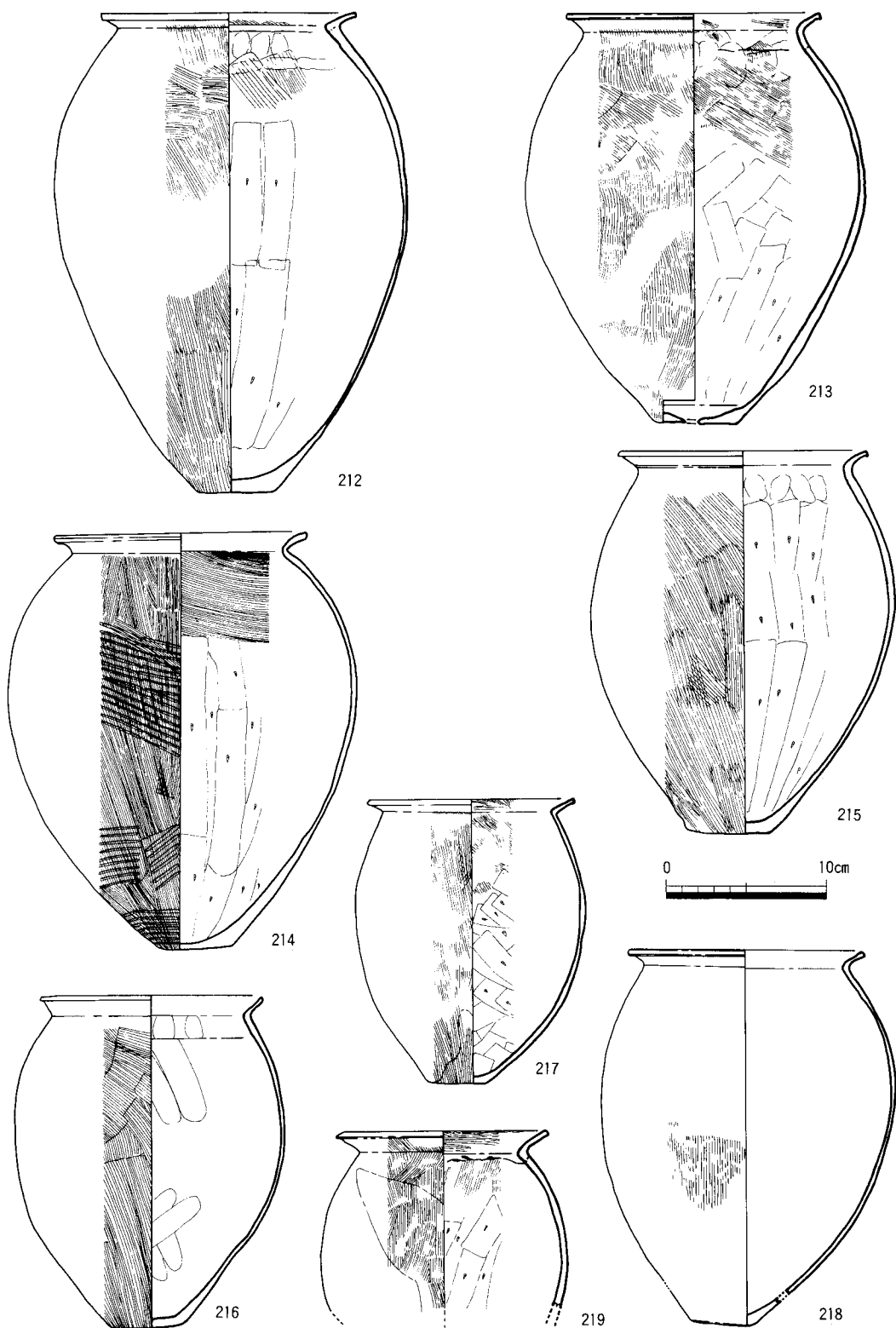
第52図 SD107出土土器(2) (1/4)



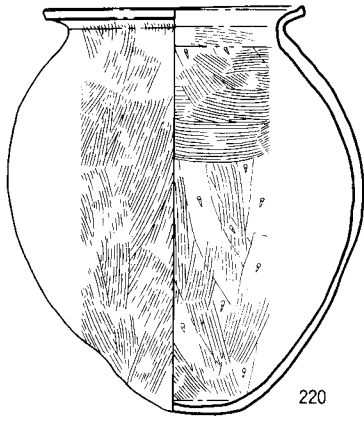
第53図 SD107出土土器(3) (1/4)

支脚はB・Cタイプのものが出土している。315は製塩土器である。体部に垂直の切り込みが見られるが、性格は不明である。

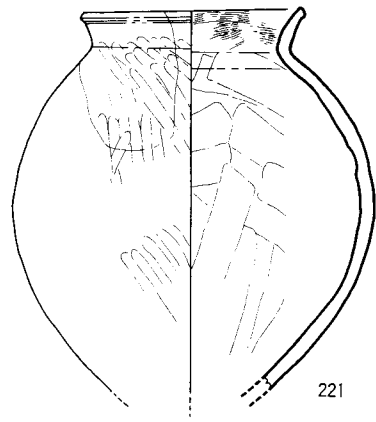
316・317は船形土製品である。棒状突起が外上方に長く伸びることから、スプーン状に近い形態を有する。体部底面は平底を有することから、体部を安定させて用いることを想定して、船形土製品とした。



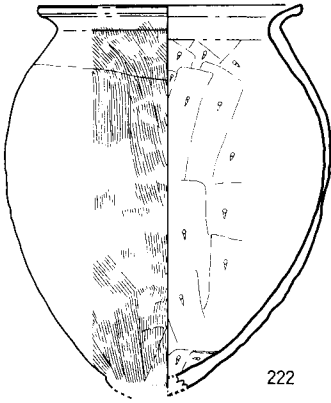
第54图 SD107出土土器(4) (1/4)



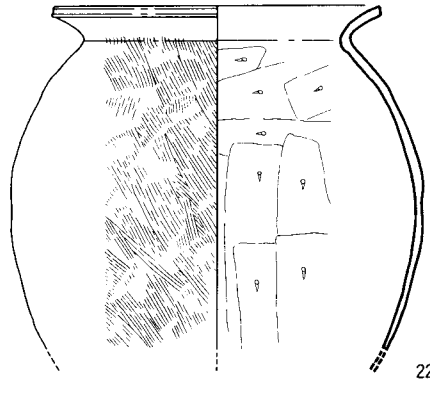
220



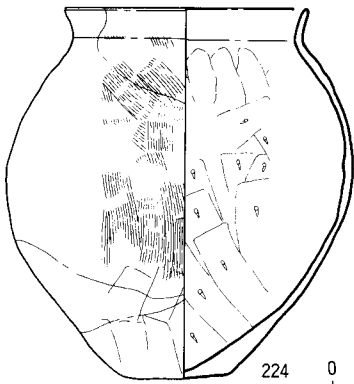
221



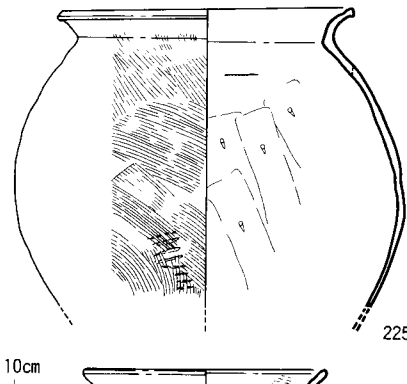
222



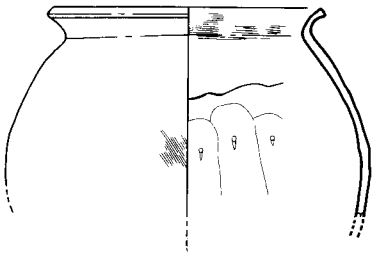
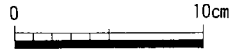
223



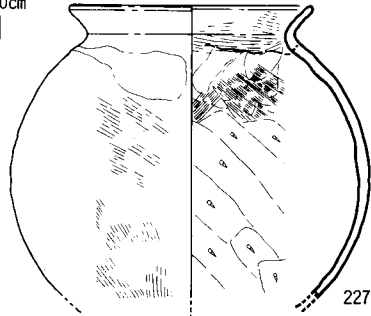
224



225

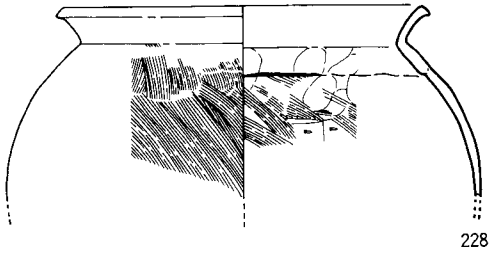


226

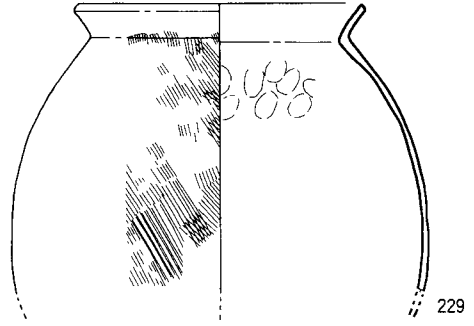


227

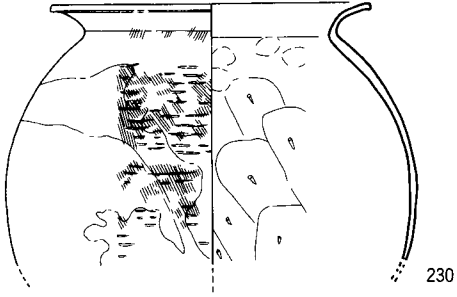
第55图 SD107出土土器(5)(1/4)



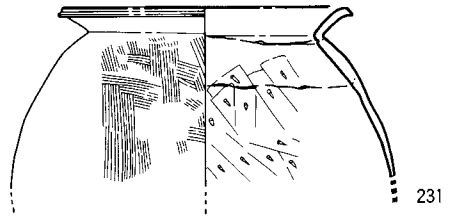
228



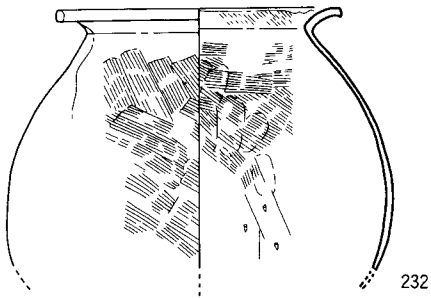
229



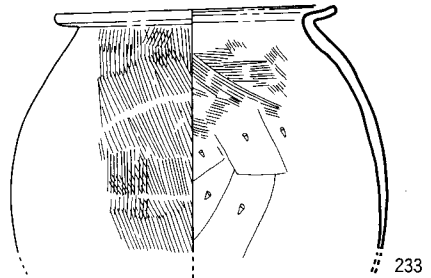
230



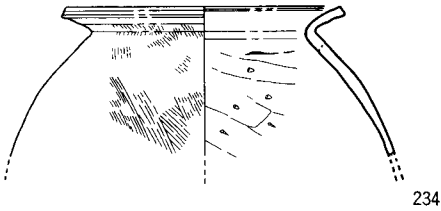
231



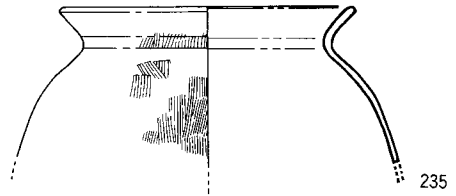
232



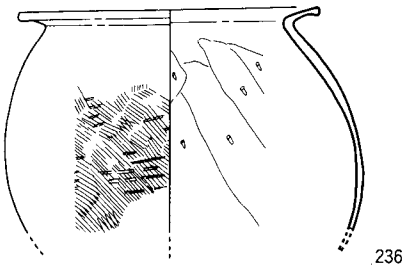
233



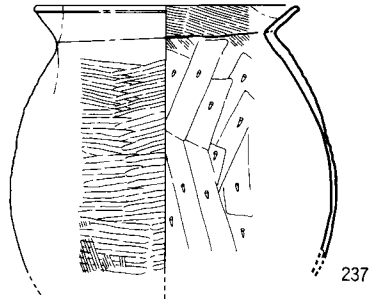
234



235

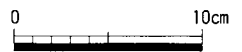


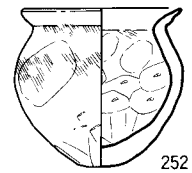
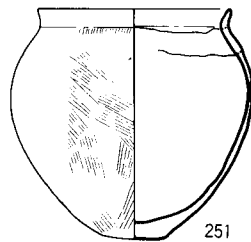
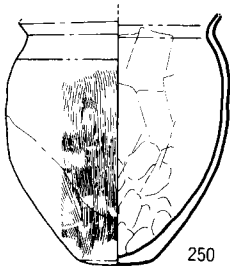
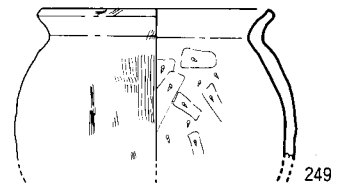
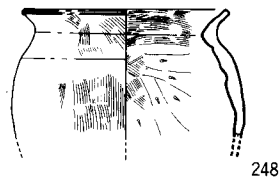
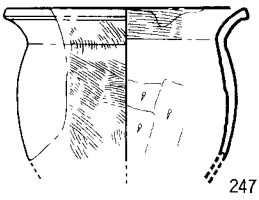
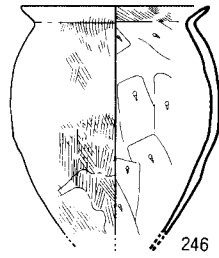
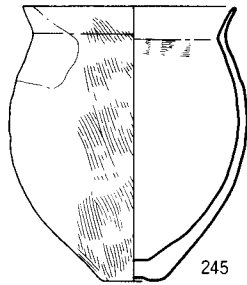
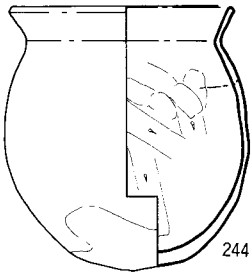
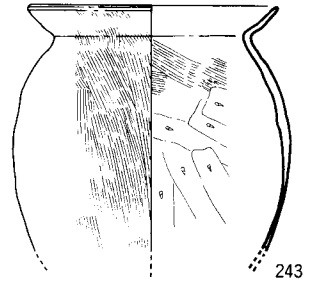
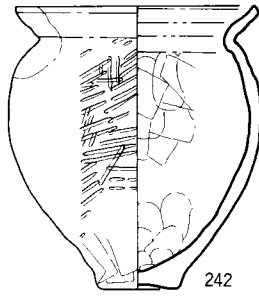
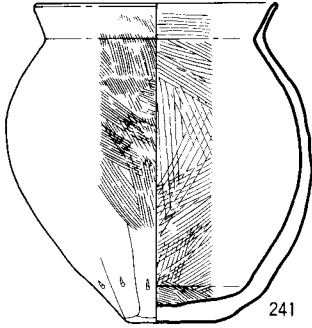
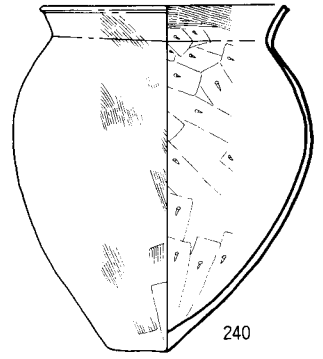
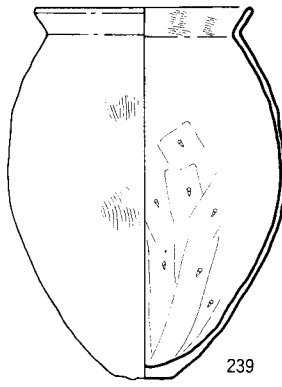
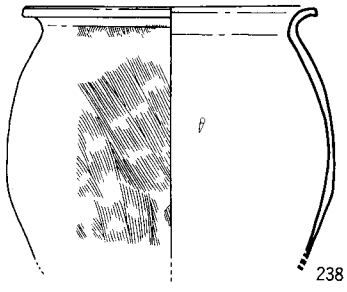
236



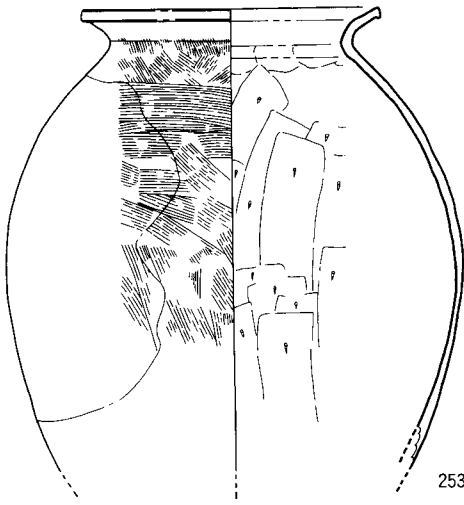
237

第56图 SD107出土土器(6) (1/4)

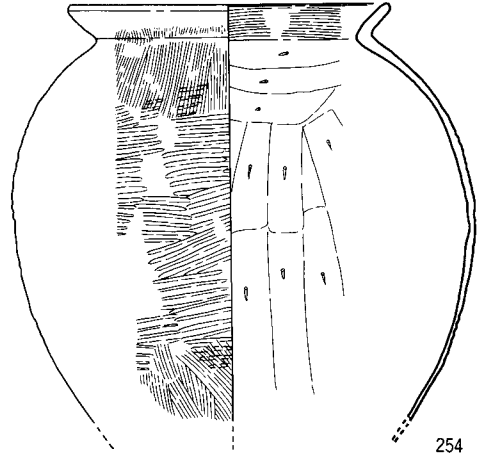




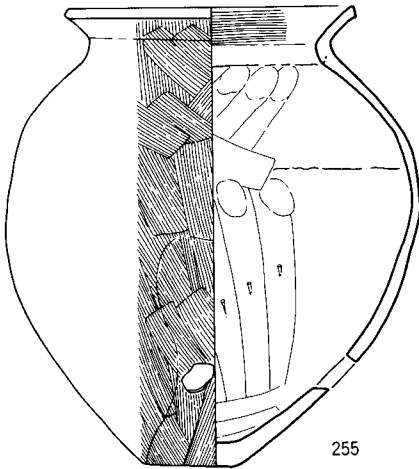
第57图 SD107出土土器(7)(1/4)



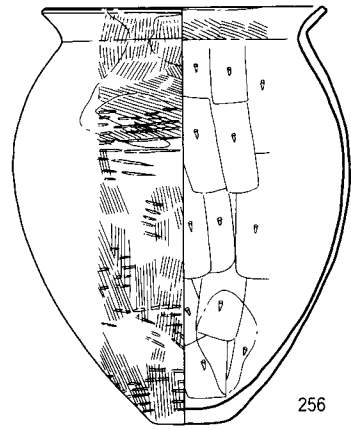
253



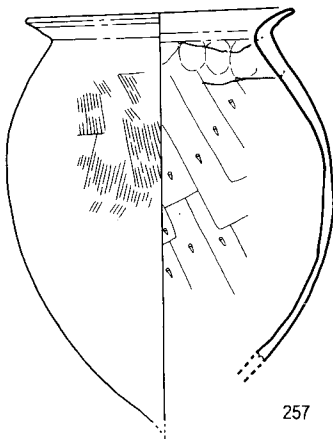
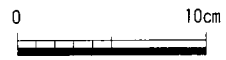
254



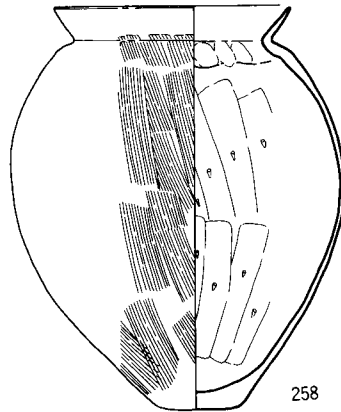
255



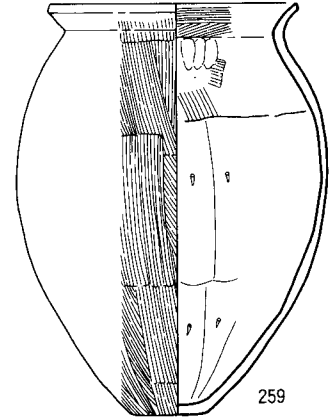
256



257

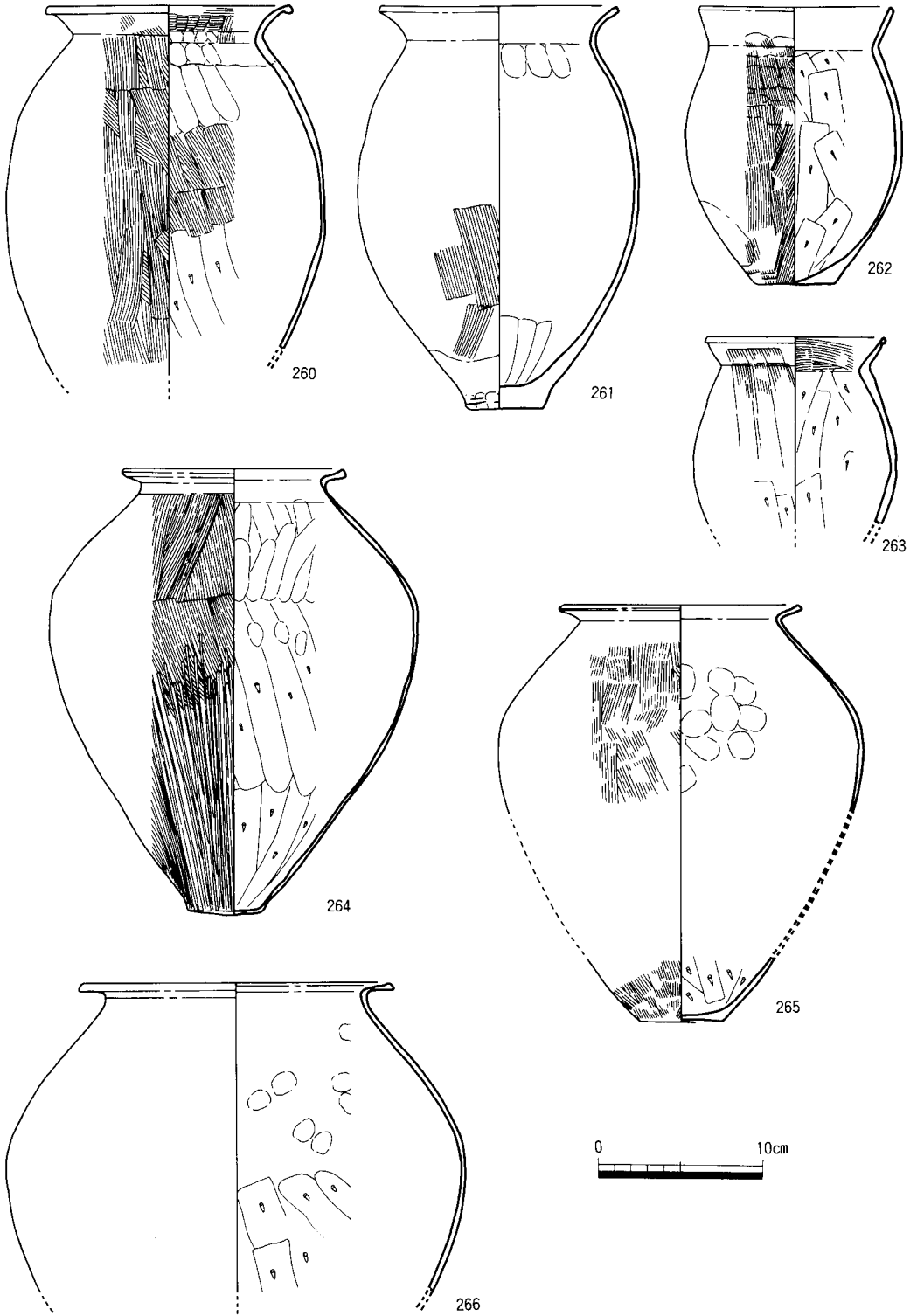


258

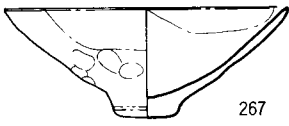


259

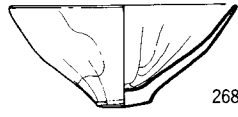
第58図 SD107下層出土土器(8) (1/4)



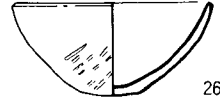
第59圖 SD107出土土器(9)(1/4)



267



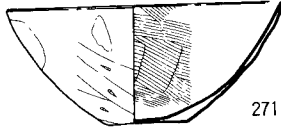
268



269



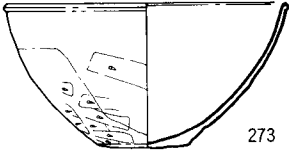
270



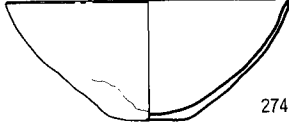
271



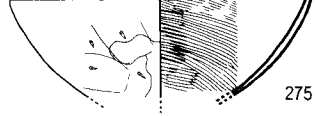
272



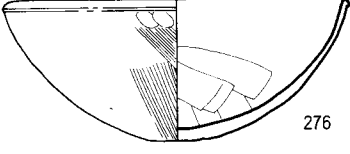
273



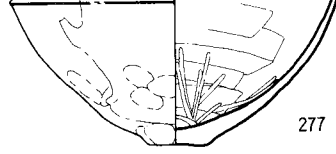
274



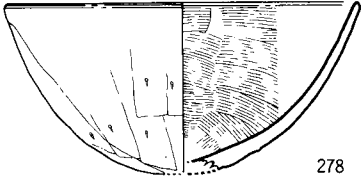
275



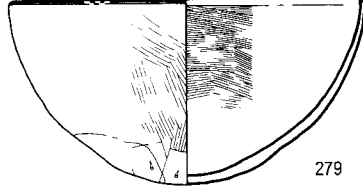
276



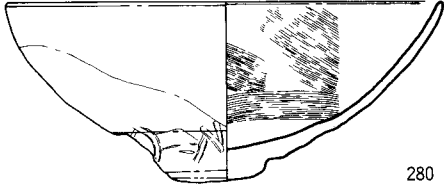
277



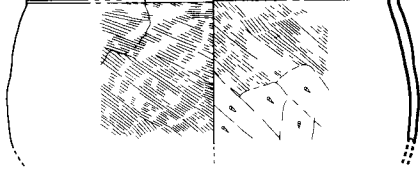
278



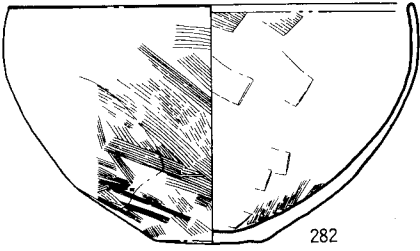
279



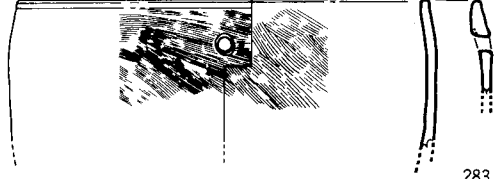
280



281



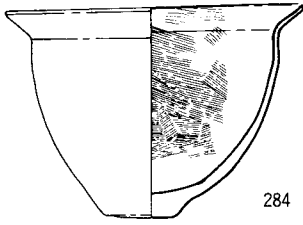
282



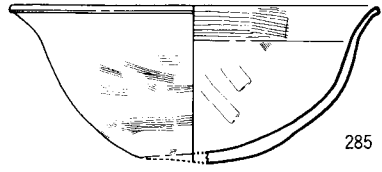
283



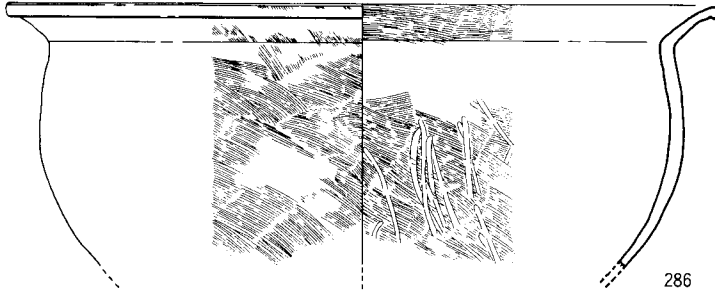
第60図 SD107出土土器(10)(1/4)



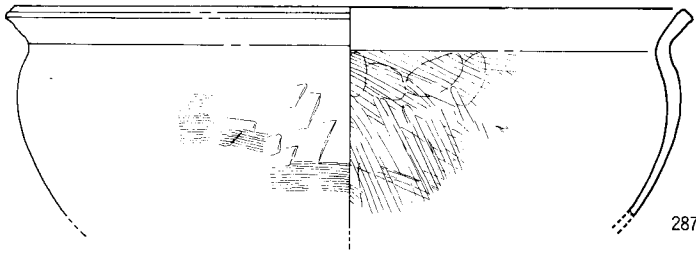
284



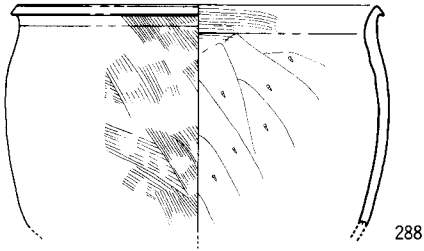
285



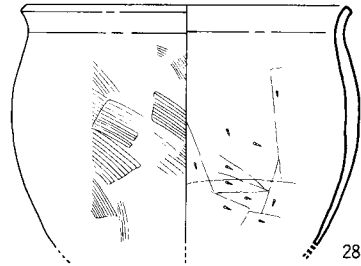
286



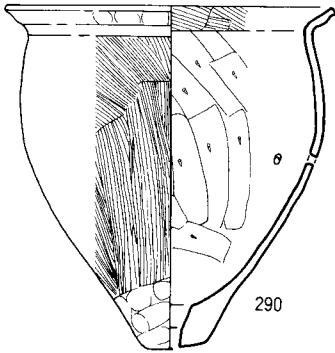
287



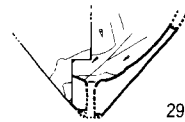
288



289

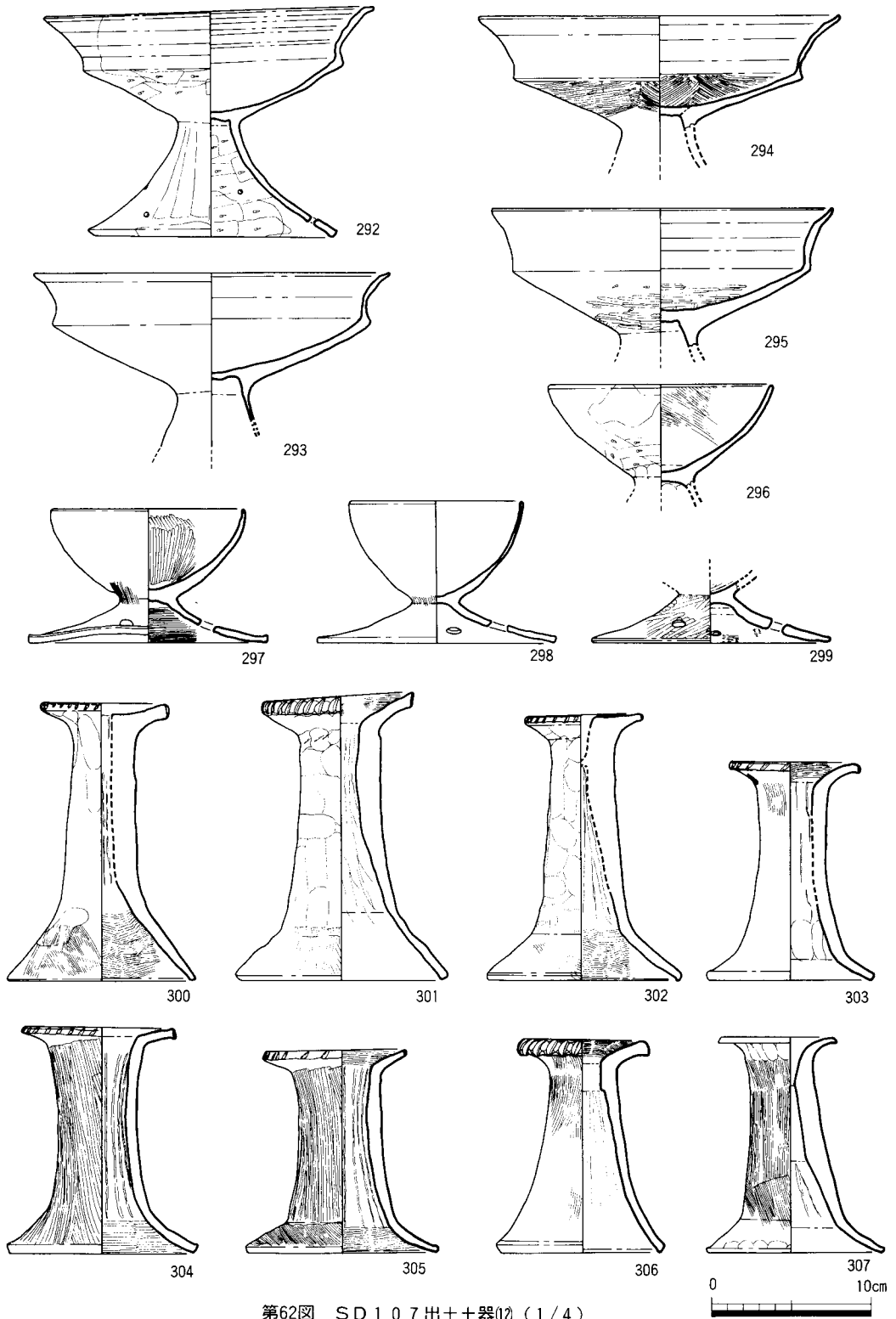


290

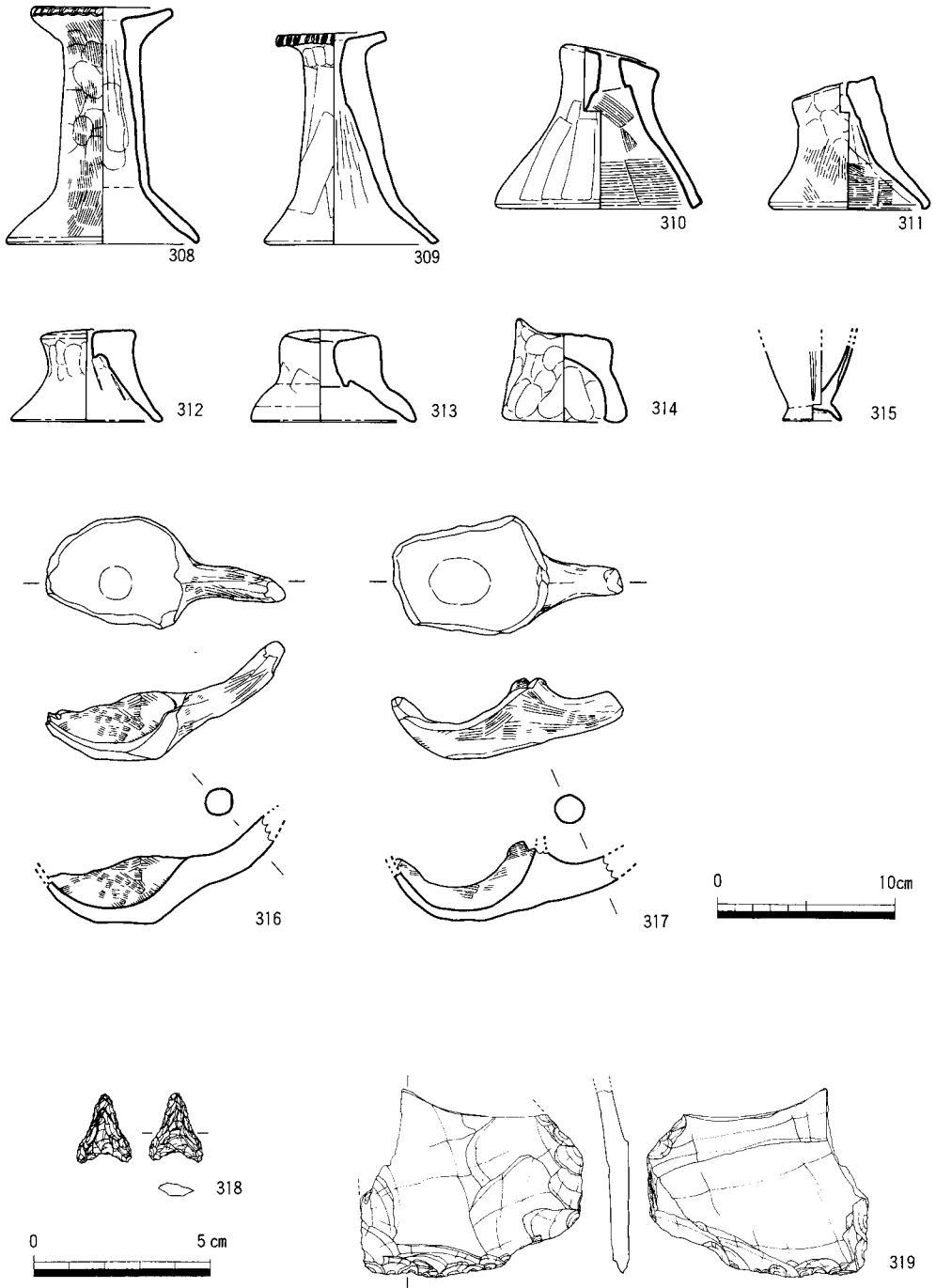


291

第61图 SD107出土土器(1) (1/4)



第62图 SD107出土土器(12)(1/4)



第63図 SD107出土土器(13) (1/4) 及び石器 (1/2)

SD150・158・159（第64～76図，図版16）

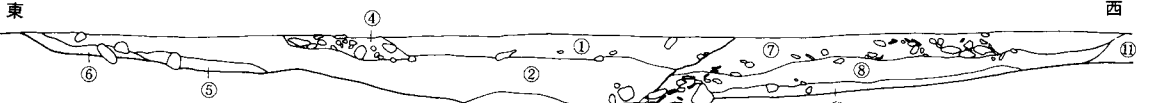
B区中央部を縦断している。埋土は，基本的には，黒褐色粘質土である。弥生時代後期～7世紀初頭ころまで機能していたことが，溝の断面及び出土遺物から知ることができる。溝の堆積は，断面図（第64図）からわかるように自然堆積である。溝の埋没時期については，断面図でわかるように，まずSD158が埋没後，SD150が掘削され，最後にSD150が埋没したことがわかる。

SD150（第64図）からは，弥生土器甕（320・321），鉢（322・323），椀（324・325），支脚（326），甌（327），ミニチュア土器（328），製塩土器？（329・330），須恵器坏（331・332），ナイフ形石器（333）及びスクレイパー（334・335）が出土している。322は口縁部が内彎し，あまり例を見ない器種である。高坏坏部の可能性もあるが，他の資料との時期的共伴性が疑われる。323の鉢の体部下半にヘラ削りが認められ，おおむねこれを指標とする時期に比定することができる。後期末頃である。329・330は高坏の一部とも考えられるが，同一遺構内の遺物に，同タイプの高坏が見られないこと，形態から製塩土器の可能性を考えている。331・332は，6世紀代に比定できる資料である。出土層位は明らかではないが，埋没過程を示す資料である。

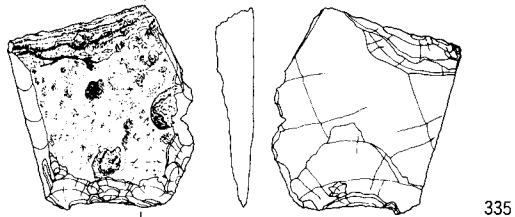
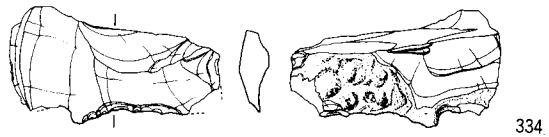
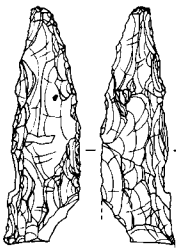
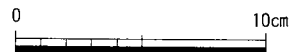
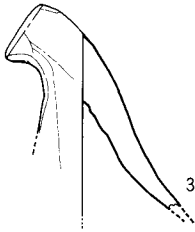
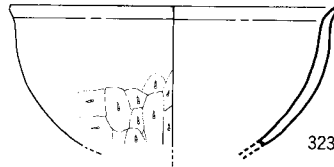
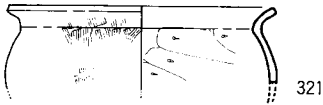
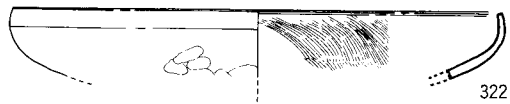
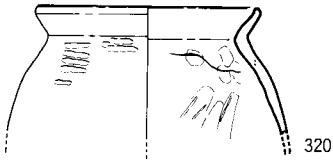
SD158には土器が集中して出土した部分が3つあり，それぞれをA，B，Cとして，以下述べる。

土器集中A（第65・66図）からは，壺（336～340），甕（341～343），鉢（344～348），皿（349），高坏（350～352），台付坏（353），支脚（354～358）が出土している。壺は4タイプ認められる。338は口縁部を単純に「く」の字に外反させるもので，時期決定の指標にならない。340は口縁部を欠損しているが，破断面端部の厚みが薄くなることから，図示している以上には伸びない可能性があり，短頸壺の範疇で考えたい。甕は3点とも異なった形状を有する。341が一般的な形態を有し，「く」の字に外反する口縁部，外面のハケ調整，内面のヘラ削り，平底を有する。343はやや小型であるが，底部形状から同一時期と考えている。342はこれに対して尖底気味の小さな平底を有することからやや後出するものと考えられる。鉢は，バリエーションが多く時期決定が困難であるが，346を除いて平底を有すること，外面をハケ調整で仕上げているものが多いことから，ほぼ同一時期と考えて良い。346は342同様後出する可能性がある。高坏は坏部2点，脚部2点とも異なった形状を有する。350が一般的なこの時期の高坏と考えられ，坏部は体部中央より上位で外反し，脚部は

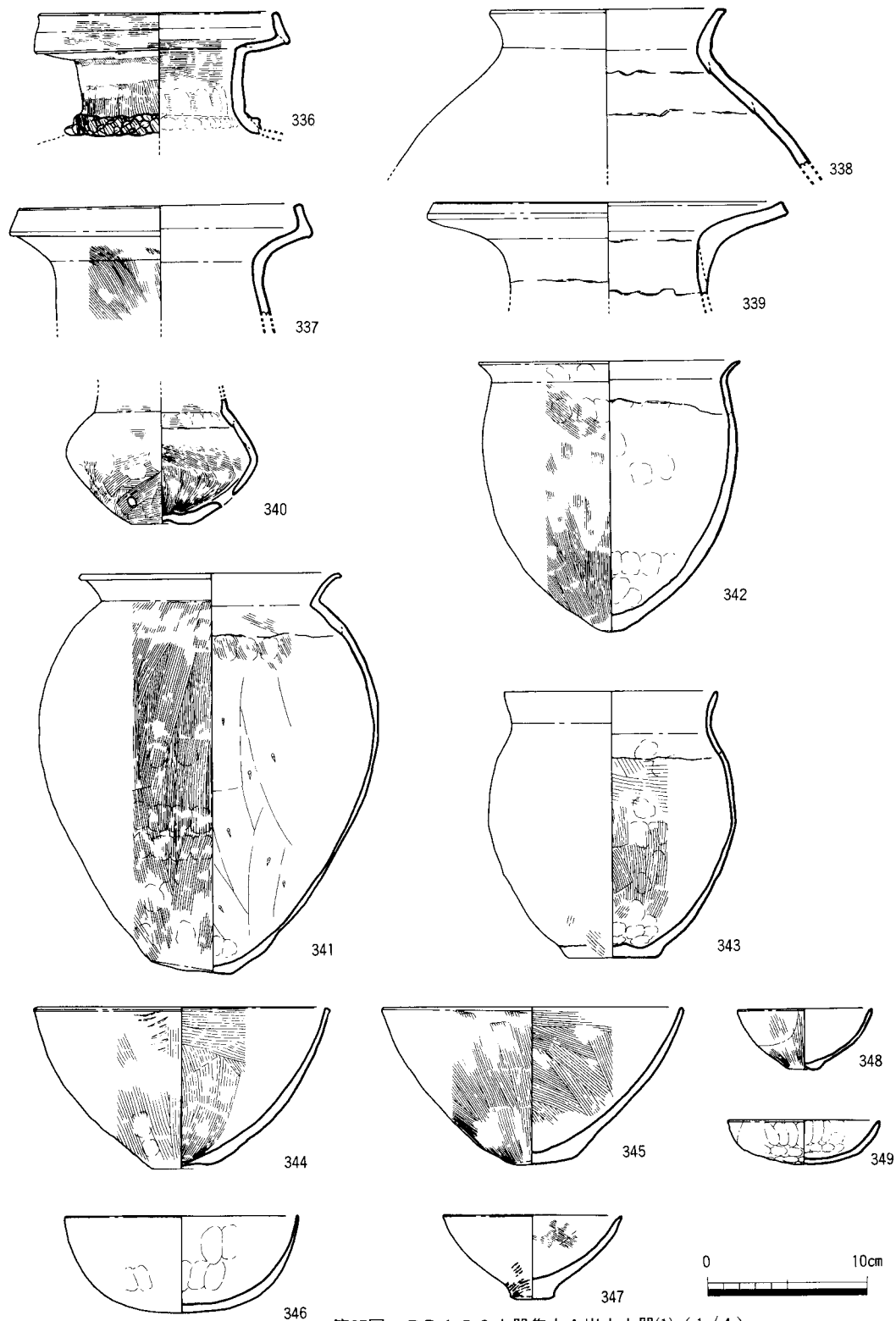
L = 20.3m



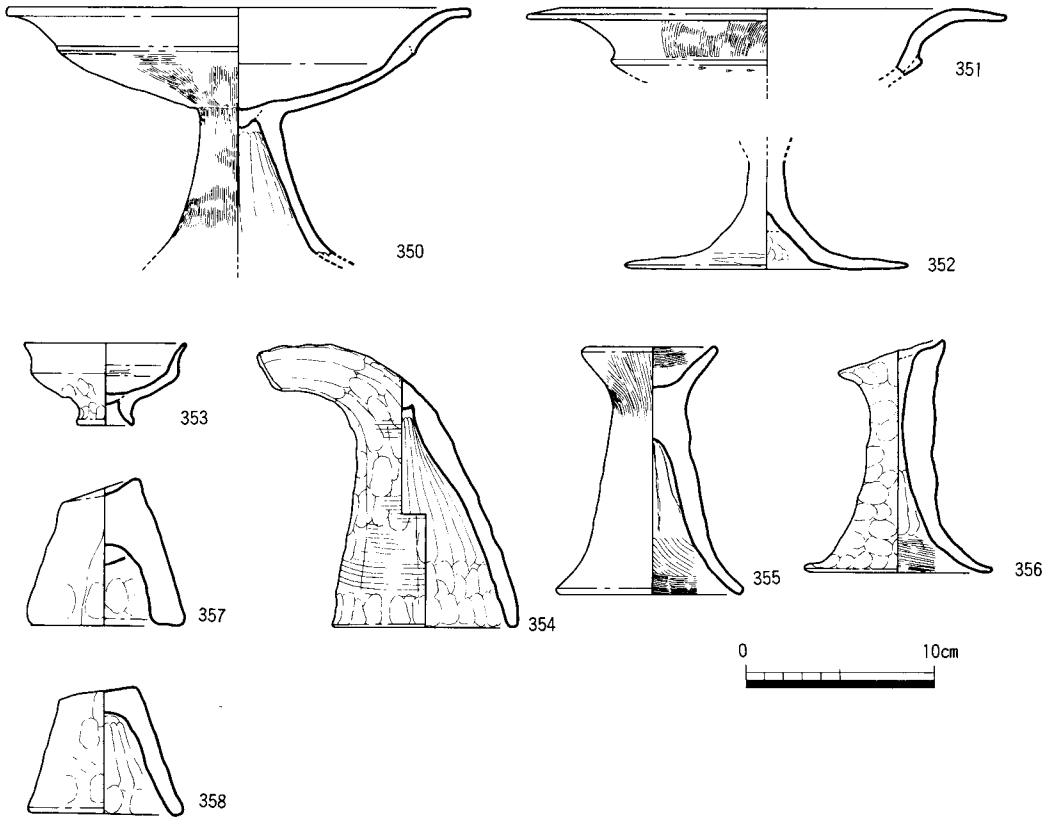
- | | | | |
|------------------|---------|------------------|---------|
| ①暗茶褐色粘質土 (砂を含む) | } SD150 | ⑦暗黒灰色粘土 | } SD158 |
| ②暗黒褐色粘質土 (砂を含む) | | ⑧黒灰色粘質土 (砂を含む) | |
| ③暗黒灰色粘土 | | ⑨淡黒灰黄色粘質土 (砂を含む) | |
| ④暗茶褐色粘質土 (礫多量) | | ⑩暗灰色粘質土 (礫多量) | |
| ⑤淡黒灰黄色粘質土 (砂を含む) | | ⑪淡黒灰黄色粘質土 (砂を含む) | |
| ⑥茶褐色砂礫 | | | |



第64図 SD150・158断面図 (1/40) 及びSD150出土土器 (1/3, 1/4) ・石器 (1/2)



第65图 SD158土器集中A出土土器(1)(1/4)

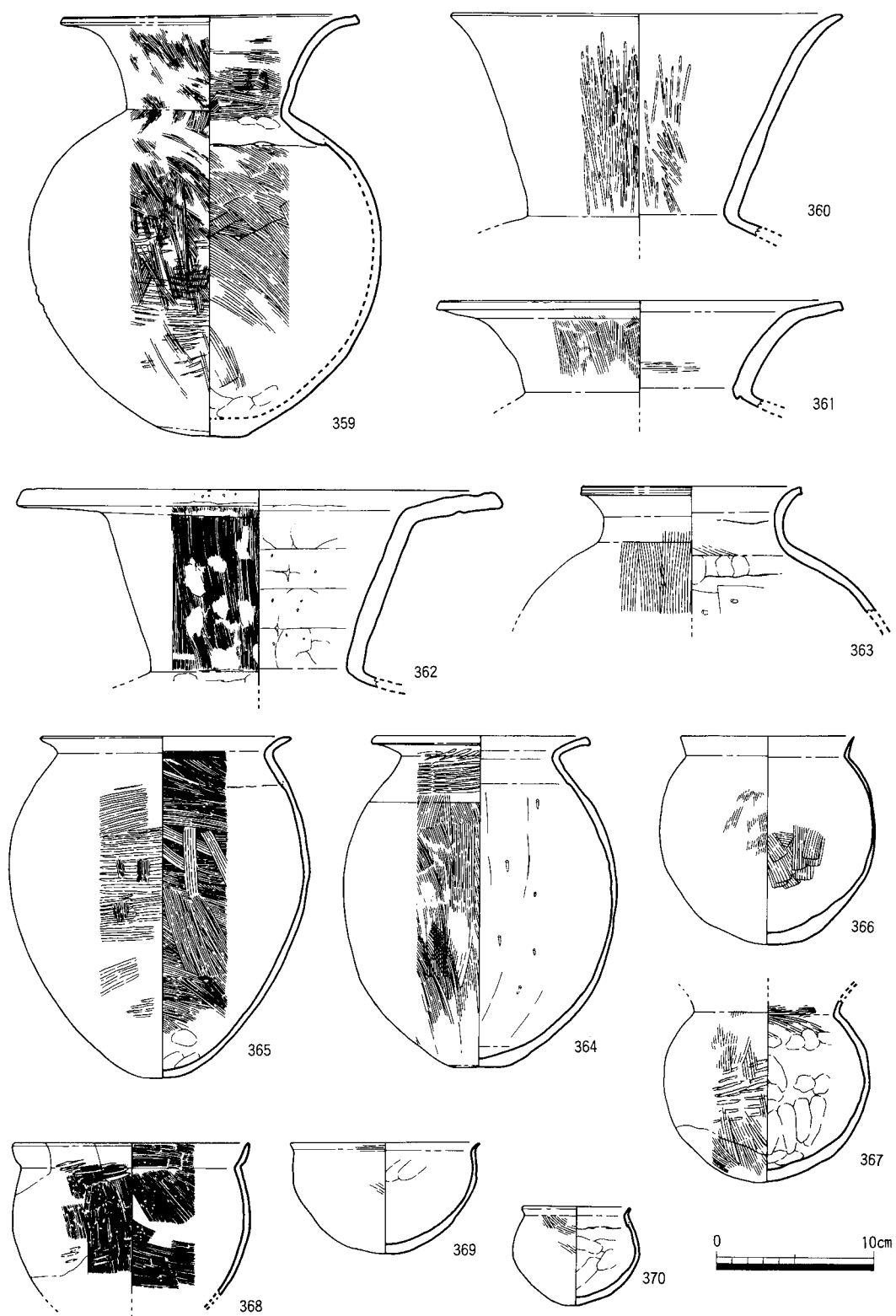


第66図 SD158 土器集中A出土土器(2) (1/4)

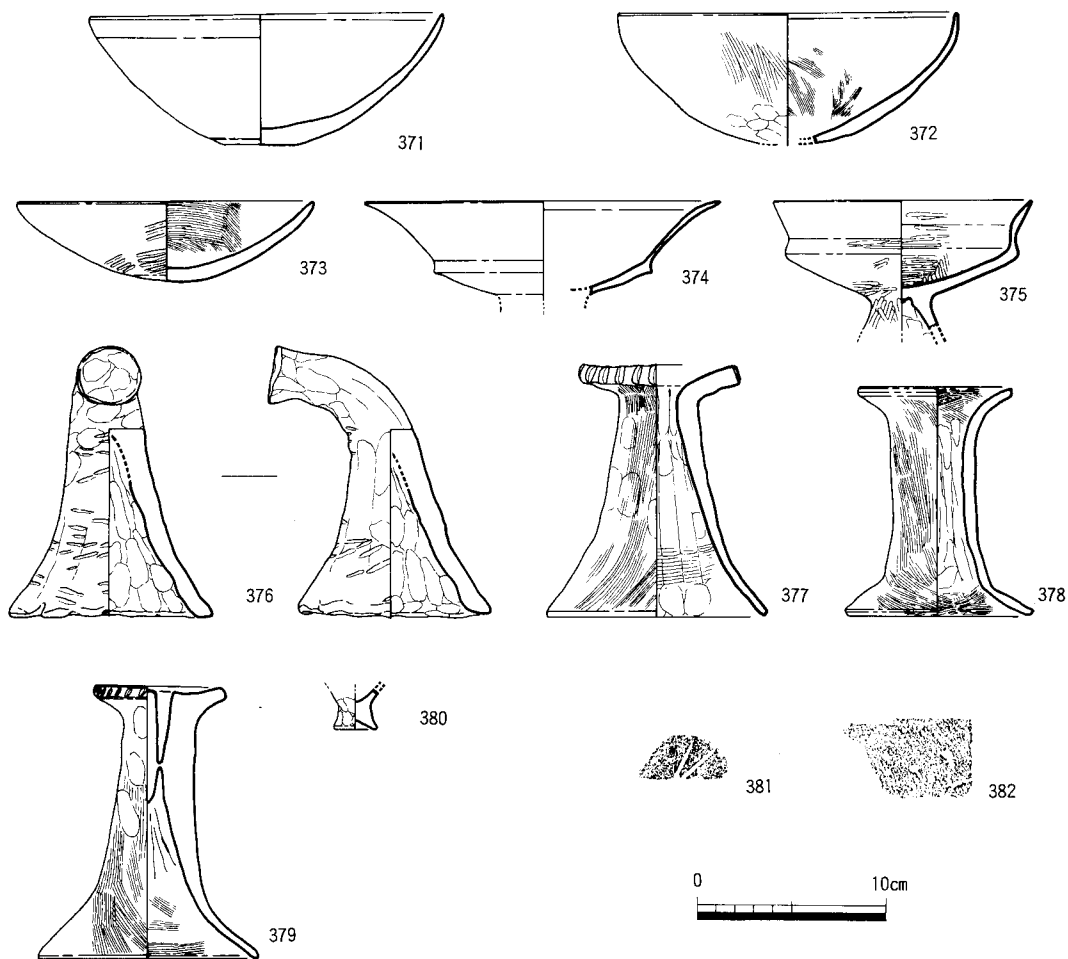
「ハ」の字形に開く。351は外反度が強い。352の脚部も筒部が細く中実になる等あまり見られない形状を有する。353は台付坏と命名しているが、高坏のミニチュアとも考えられる。支脚は4タイプ認められる。354は先端を屈曲させるもの(A)、356は中空の筒状体部を持ち、上部の平坦面を傾斜させるもの(B)、357・358は上部の平坦面を傾斜させる小型のもの(C)である。355は356の変形と見られる(D)。以上のことから、後期後半に位置付けられる。

土器集中B（第67・68図）からは、壺（359～364）、甕（365～367）、鉢（368～373）、高坏（374・375）、支脚（376～379）、ミニチュア土器（380）、線刻のある土器（381・382）が出土している。壺は広口壺（359～362）、短頸壺（363・364）が見られる。363・364は内面をヘラ削りしており、基本的な調整は甕同様である。特に364は、頸部の有無で壺としたが、タタキ、折り曲げ口縁等甕的要素が多く見られる。底部は分かる限りやや丸みを帯びた平底である。甕は365が通常の状態を有する。底部は尖底気味の小さい平底である。366・367は体部が球形化している。鉢は、外傾する口縁部を有するものと、椀形のものに分けられる。前者は底部が丸底気味になっている。後者は平底を呈するという違いがある。高坏は374と375の2タイプがある。374は坏部中央から外反し、変換点に段が見られる。375は古い形態を留めるタイプで、調整にもヘラ磨きが認められる。このタイプは、通常の高坏に比べて小型である点が指摘できる。支脚は、先に述べたAタイプ、Bタイプが見られる。Bタイプは、筒部から「ハ」の字状に広がり脚端部に至るものとほぼ均一な太さを持つ筒部を持つものに分けられる。前者は口縁部端部に刻目を持つ。379は筒部が中空になっておらず、上下両方から穿孔しているものの貫通していない例である。通常タイプのものとは製作技法が異なることが分かる。380は台付鉢のミニチュア土器と考えている。381・382は線刻が壺の体部に描かれている。以上のことから後期後半を中心とする時期に比定される。

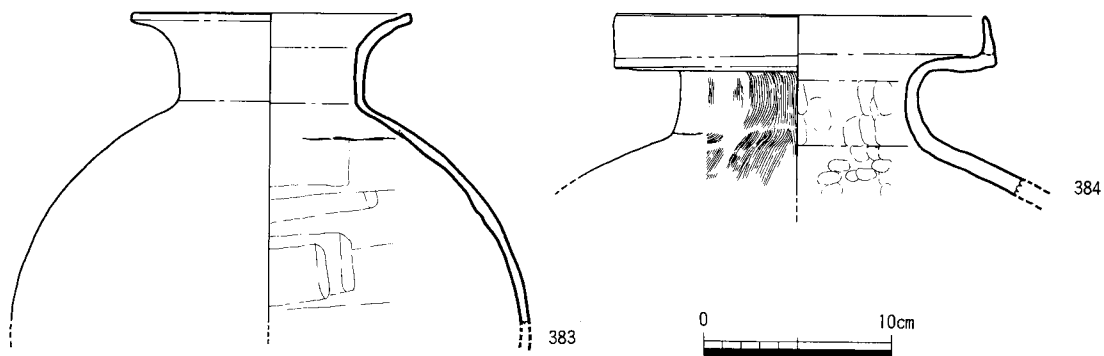
土器集中C（第69・70図）からは、壺（383～385）、支脚（386）、製塩土器（387・388）、ミニチュア土器（389～393）、船形土製品（394）及び石鏃（395）が出土している。壺はバリエーションがある。385は口縁部と胴部の境に凸帯を貼り付け、半截竹管による刻目が見られる。またこの下部に波状文が施される。胴部外面及び口縁部内面にヘラ磨きが認められ、非常に丁寧な作りである。387・388は製塩土器としているが、外面調整が摩滅によって不明瞭であること、他の土器から想定される年代観に当てはまる製塩土器が不明瞭であることから断定はできない。形態上可能性を記すに留める。389～394は所謂「祭祀」関係の遺物である。総て手捏ねである。唯一392は、外面にタタキ、ハケ調整が見られ、通常の土器製作と同様の作り方が行われている。ミニチュア土器の中では特異な例と言える。394は船形土製品と考えている。木の葉状の体部に棒状突起が付くが、欠損しており全体形状は不明である。従来スプーン状土製品と呼ばれていたものもこのグループに属すると考える。壺を中心としてその形態から後期後半～末頃に位置付けられる。



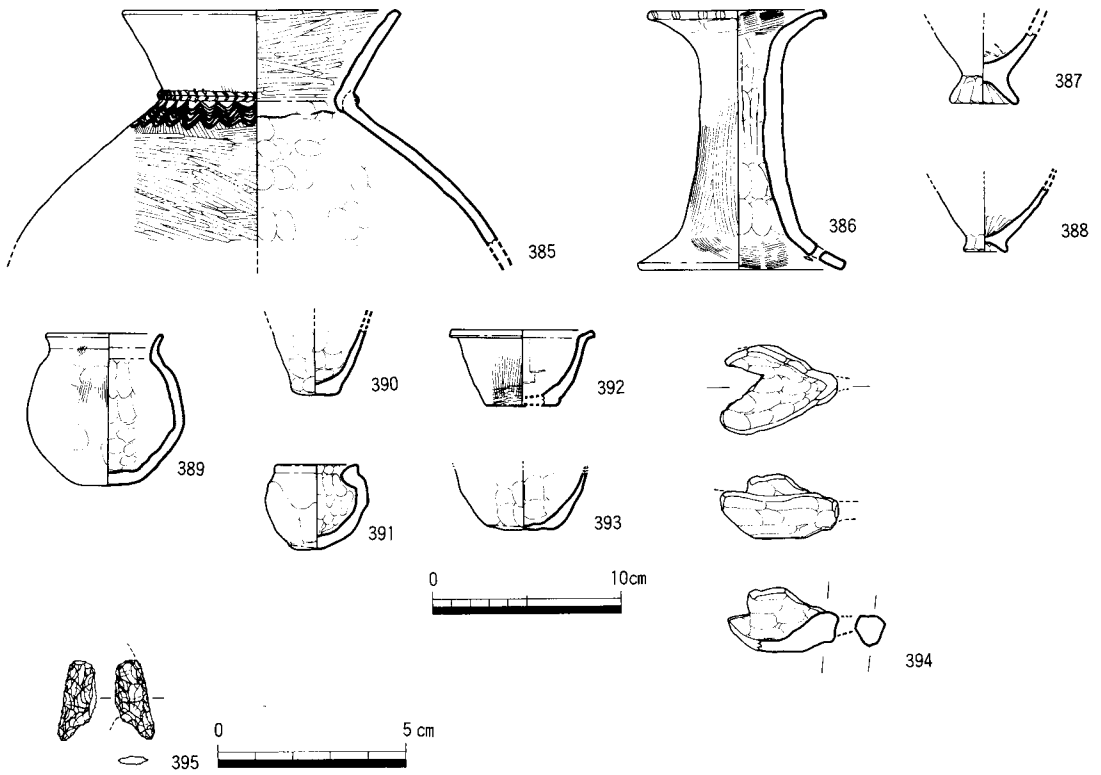
第67图 SD158 土器集中B出土土器(1) (1/4)



第68图 SD158 土器集中B出土土器(2) (1/4)

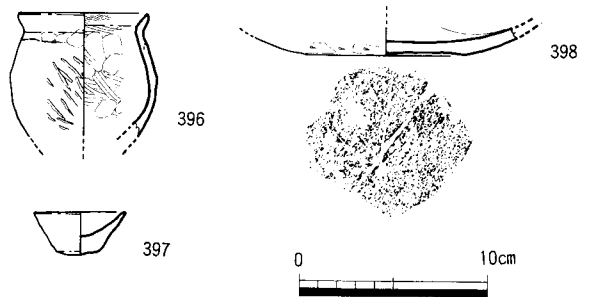


第69图 SD158 土器集中C出土土器(1) (1/4)

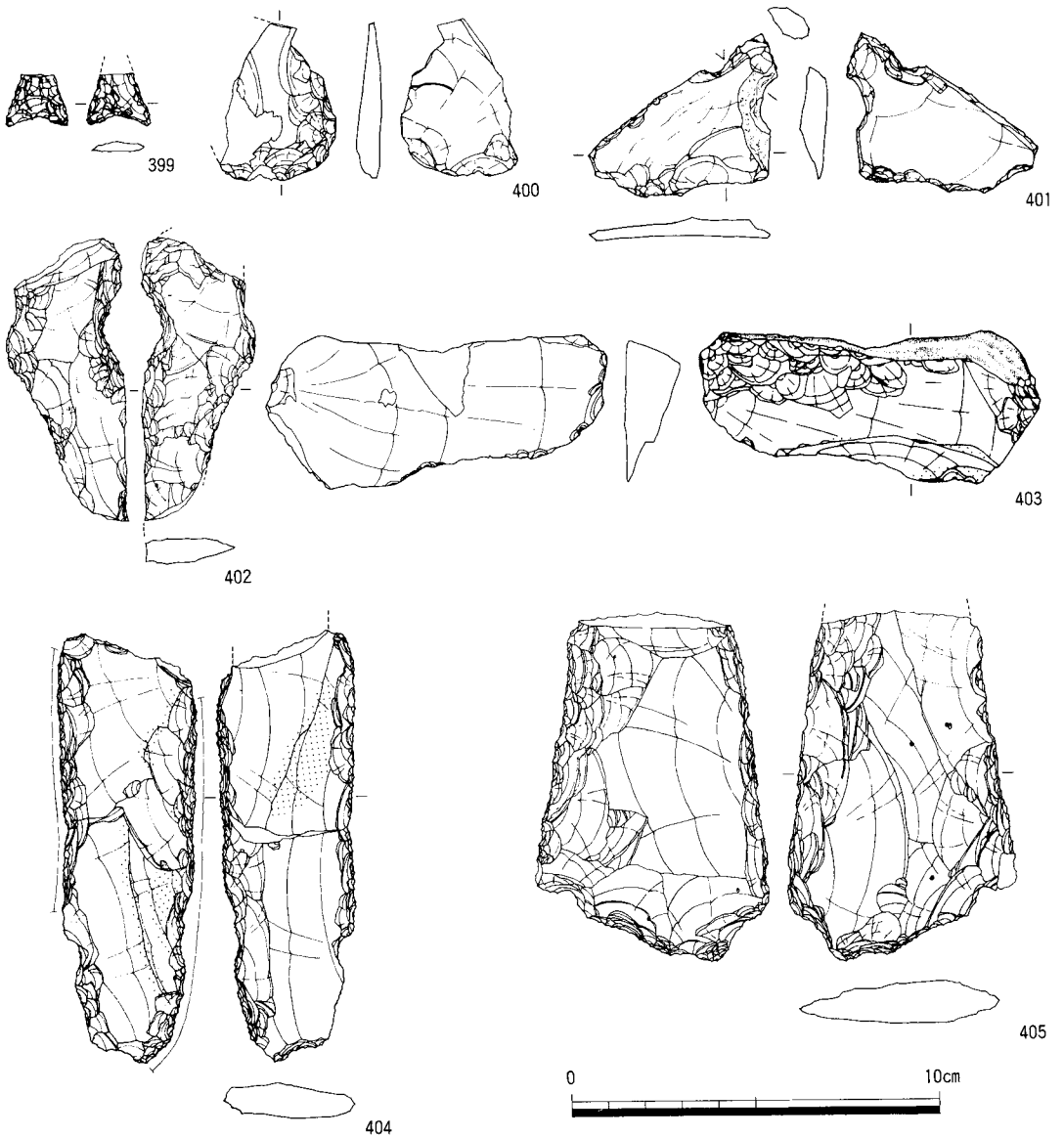


第70図 SD158土器集中C出土土器(2) (1/4) 及び石器 (1/2)

その他SD158 (第71・72図) からは、ミニチュア土器 (396・397) と木葉圧痕が見られる土器底部 (398) 及び石器が出土している。396・397ともミニチュア土器としては、甕・鉢の通常形態をよく残している。

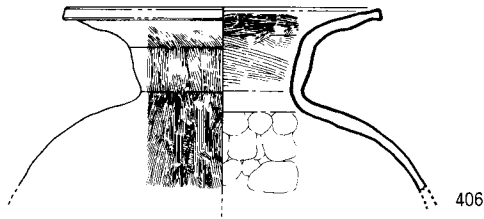


第71図 SD158出土土器 (1/4)

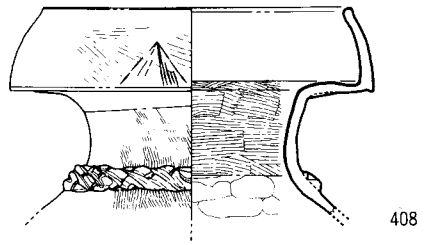


第72図 SD158出土土器(1/2)

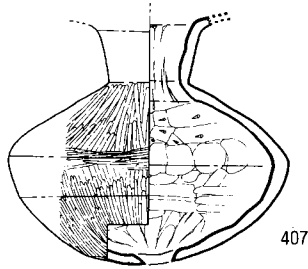
SD150・158・159から出土したその他の遺物として土器及び石器(第74~76図)がある。土器(第73・74図)として、壺(406~408), 甕(409), 鉢(410・411), 高坏(412~415), ミニチュア土器(416・417), 土製紡錘車(418), 支脚(419・420), 壺(421), 須恵器坏(422)が見られる。上部包含層出土土器には, 壺(423・424), ミニチュア土器鉢(425)が見られる。407は406同様の形態を有すると考えられる壺で, 胴部外面を丁寧にヘラ磨きしていること, 底部付近に穿孔が認められることから, 日常土器とし



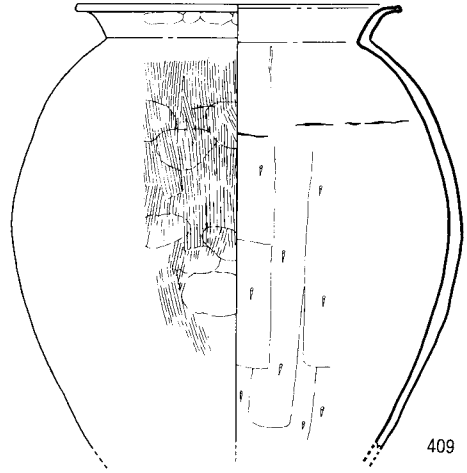
406



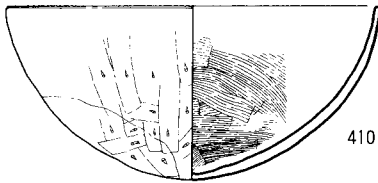
408



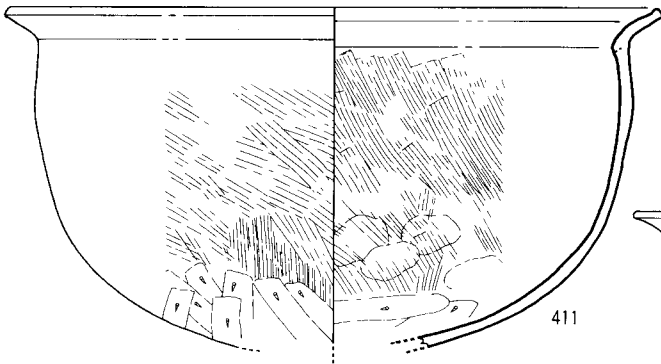
407



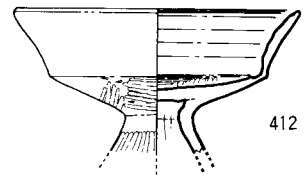
409



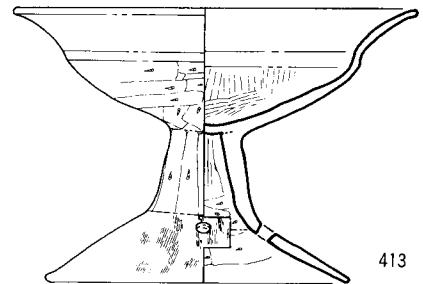
410



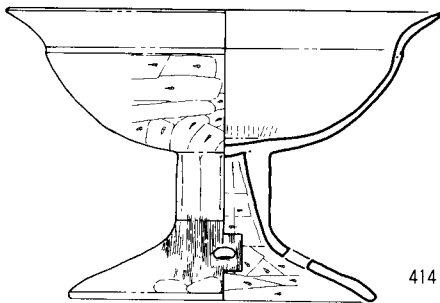
411



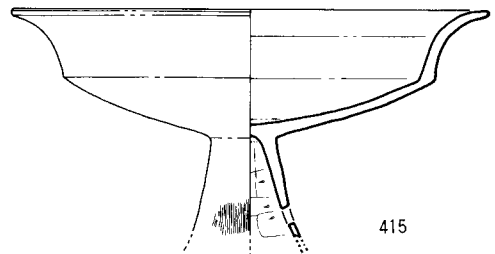
412



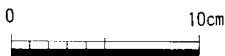
413



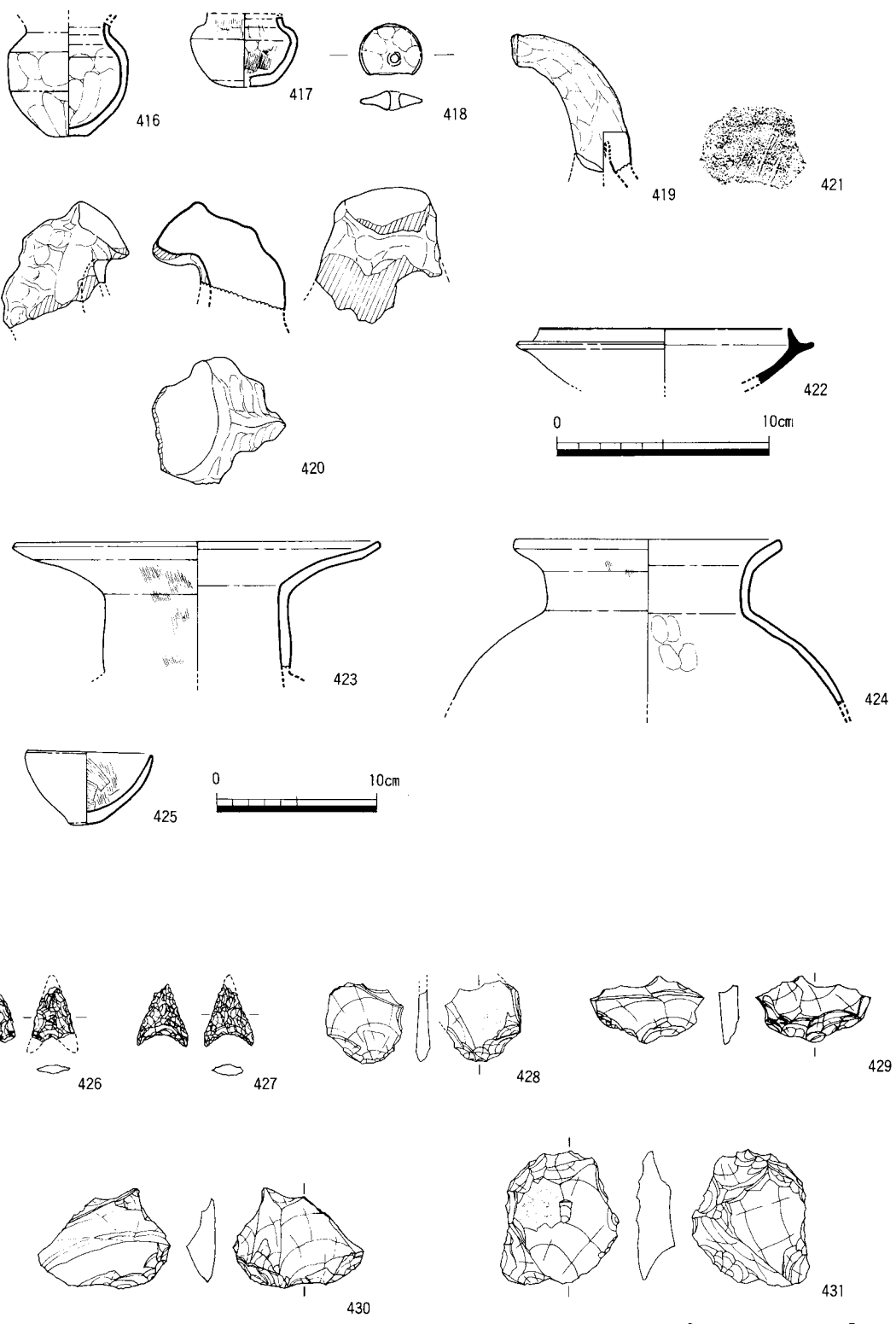
414



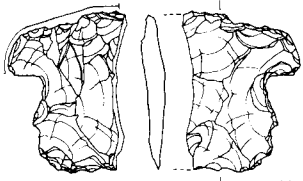
415



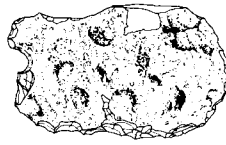
第73图 SD150·158·159出土土器(1)(1/4)



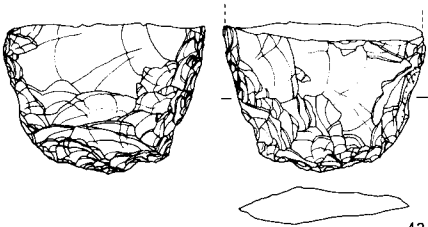
第74図 SD150・158・159出土土器(2) (1/3, 1/4) 及び石器(1) (1/2)



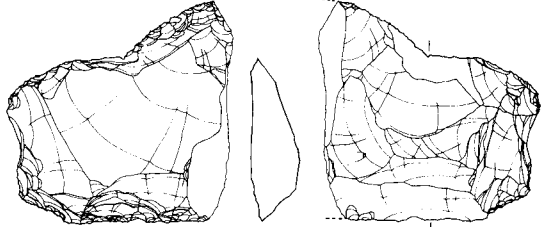
432



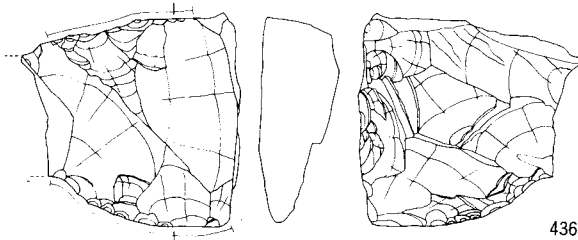
433



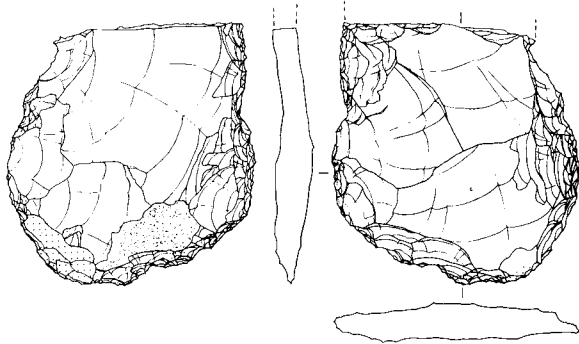
434



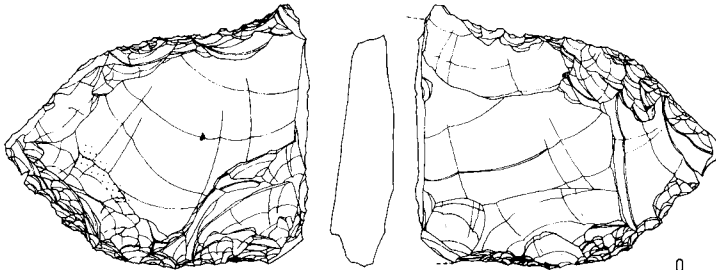
435



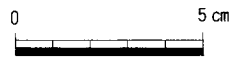
436



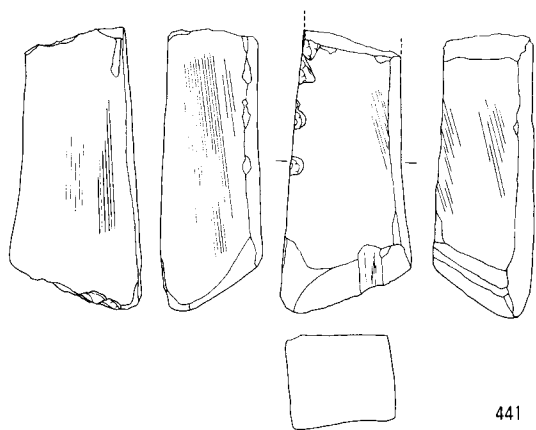
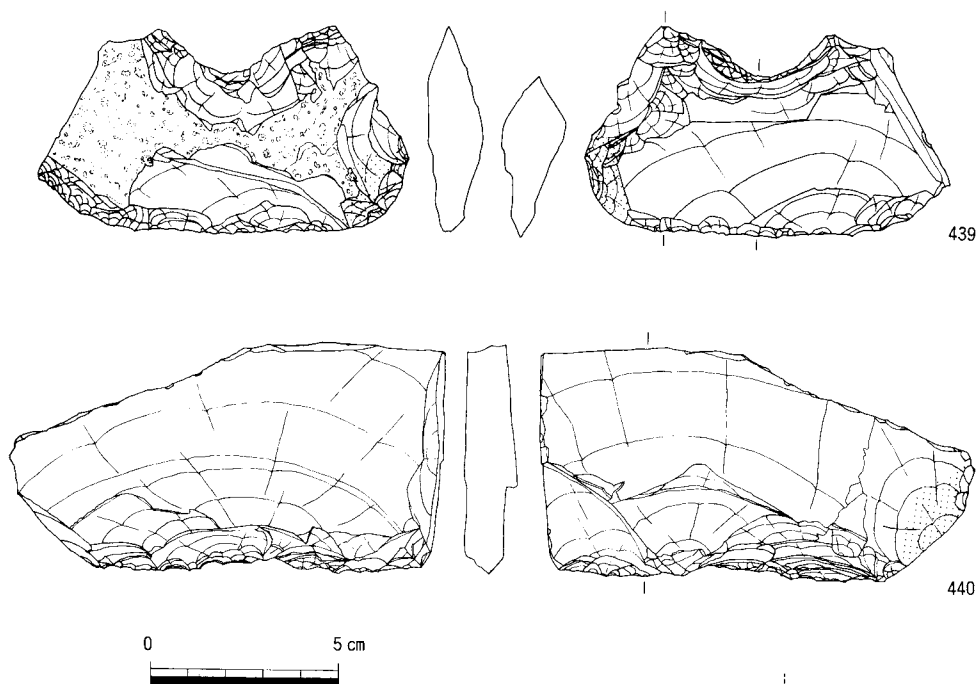
437



438



第75図 SD150・158・159出土土器(2) (1/2)



てではなく特殊な用途を想定させる。
 408は受け口状口縁部で、鋸歯文と、頸
 胴部の境に刻目を持つ貼り付け凸帯が認
 められることから、西瀬戸内産の土器と
 考えている。410は底部をヘラ削りに
 よって丸底化している。411も同様の調
 整が認められる。但し、こうした底部形
 状を持つ段階にこのような大型鉢はあま

第76図 SD150・158・159出土石器(3)(1/2)

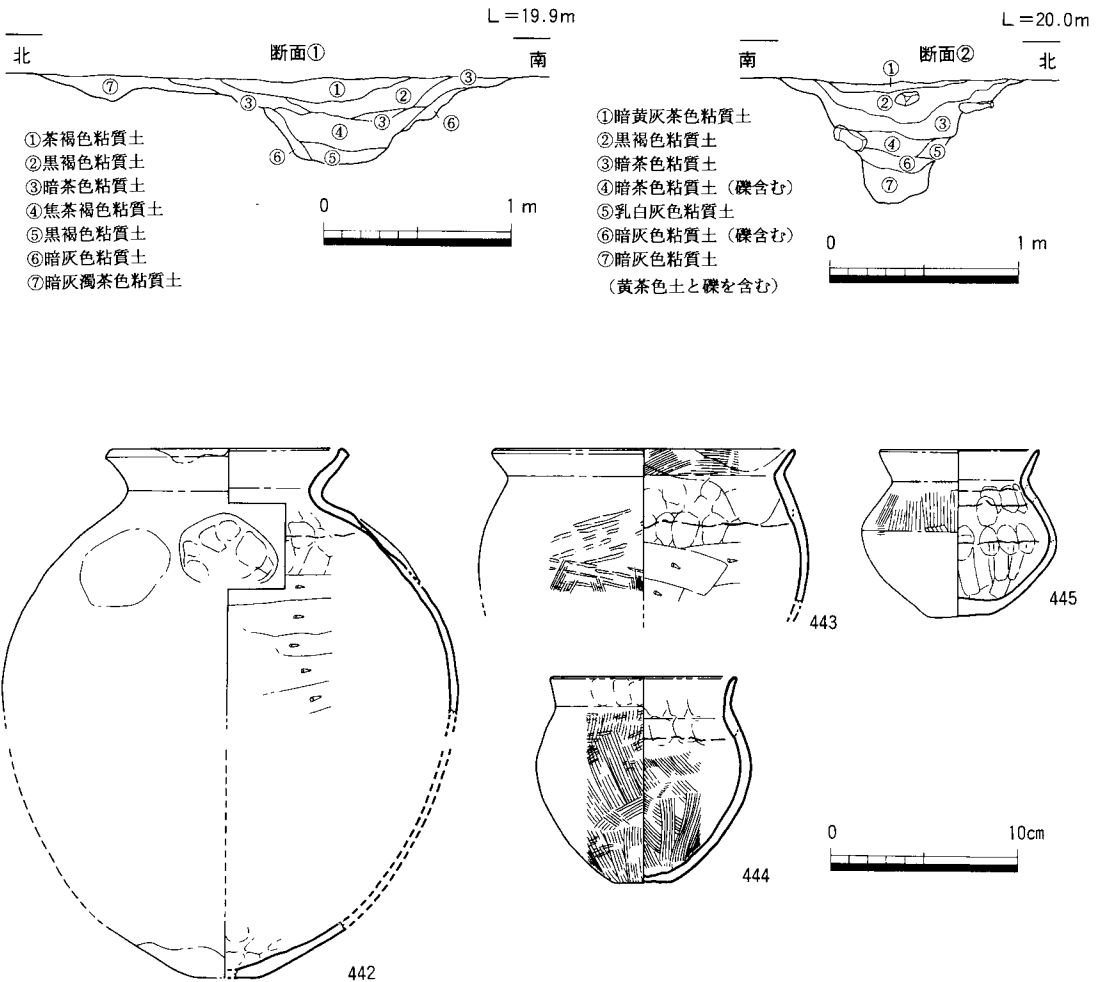
り例がない。412は小型の古い形態を留めるタイプである。調整はヘラ磨きを多用してい
 る。413・414は坏部下半を丸底碗のように作っているあまり例を見ないタイプの高坏であ
 る。坏部下半はヘラ削りによる調整を施し、脚部は筒状部から屈曲させて脚端に至る後出
 する形態を有する。420の支脚は他に例がない。上部に平坦面を作り、傾斜させている点は
 通常の支脚と同様であるが、体部を筒状に作っていない点、背に手捏ねで背鱗状の粘土の
 引き出しを行っている点が特異である。支脚のバリエーションで理解したい。

SD 2 1 6 (第77図)

溝端が深く、砂礫層まで掘削が及んでいることから、出水状の遺構と考えられる。埋土からは弥生後期の土器のほか、須恵器・土師器等の破片が若干出土しているが、奈良時代に埋没した上坑より古いこと、弥生土器には完形に近いものがあることから、弥生時代後期埋没の溝跡とする。

弥生土器壺(442・445)、甕(443・444)が出土している。442は、頸部直下に剝落痕があるが、当初の装飾物の剝落か、胴部そのものの剝落かは不明である。

年代は後期後半～末頃に想定しておく。



第77図 SD 2 1 6 断面図(1/40)及び出土土器(1/4)

古墳時代

ここでは弥生時代後期より新しく、奈良時代より古いと考えられる遺構をまとめて報告する。一部の遺構を除いて、詳細な時期は確定できない。

竪穴住居跡

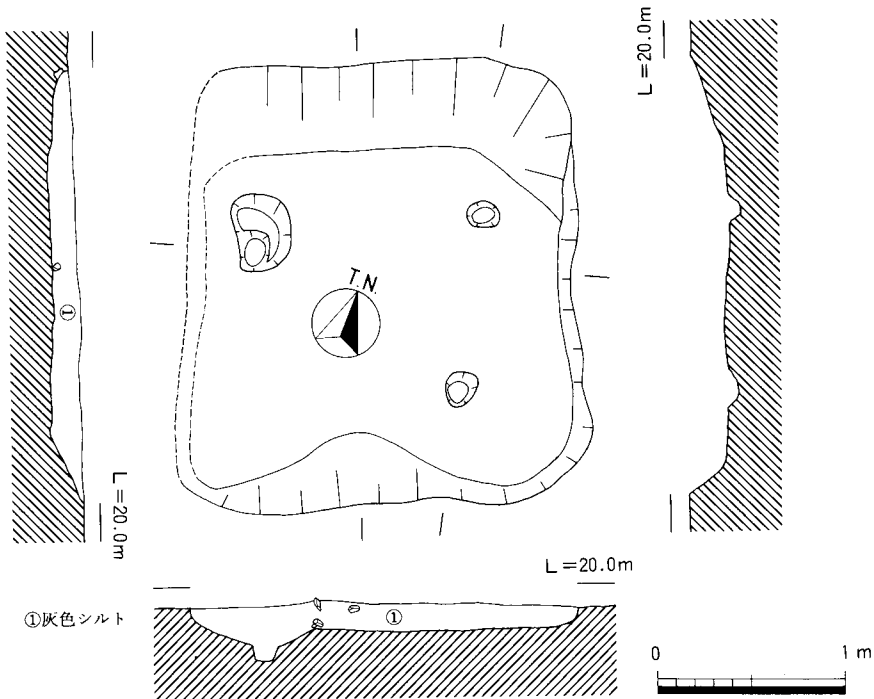
C地区で確認されている。

SH07 (第78図, 図版16)

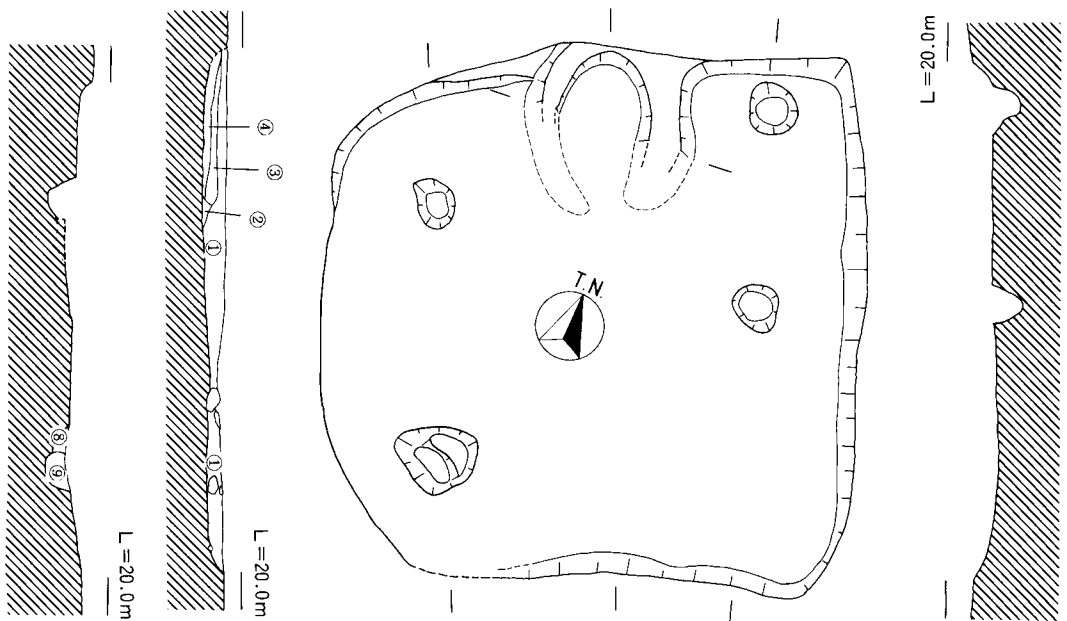
L13区画に位置する。形態がSH08と似ていることから、竪穴住居跡ではないかと考える。柱穴と考えられるピットが検出できたが、その他竪穴住居跡とする根拠はない。埋土から須恵器甕片が出土している。

SH08 (第79図, 図版17)

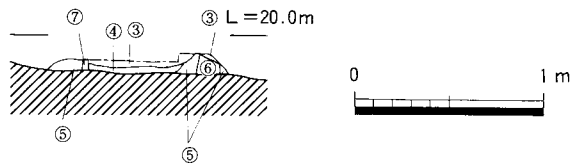
L13・L14区画に位置する。竈付きの竪穴住居跡である。土師器の坏・甕等の小破片が出土した。南西隅を中世のピットに壊されている。県下の事例および周辺の遺構から考えて、時期はSB59と同じであろう。



第78図 SH07平・断面図 (1/40)



- ① 灰色シルト
- ② 灰白色シルト
- ③ 焼土及び淡黄灰白色粘土
- ④ 炭・灰層
- ⑤ 淡黄灰色粘土
- ⑥ 淡黄灰色粘土 (Mn 含む)
- ⑦ 灰色粘土
- ⑧ 淡茶灰色粘土
- ⑨ 淡灰茶色粘土

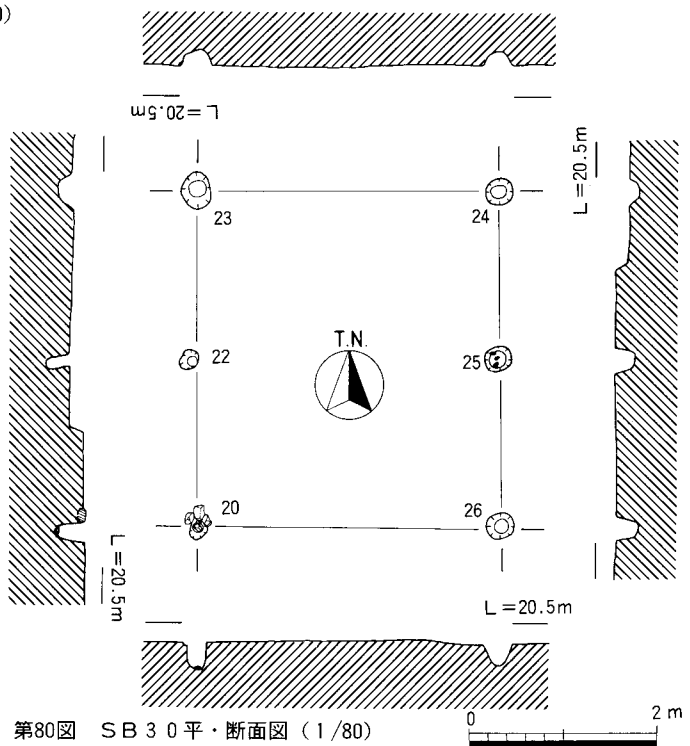


第79図 SH 0 8 平・断面図 (1/40)

掘立柱建物跡

SB 3 0 (第80図)

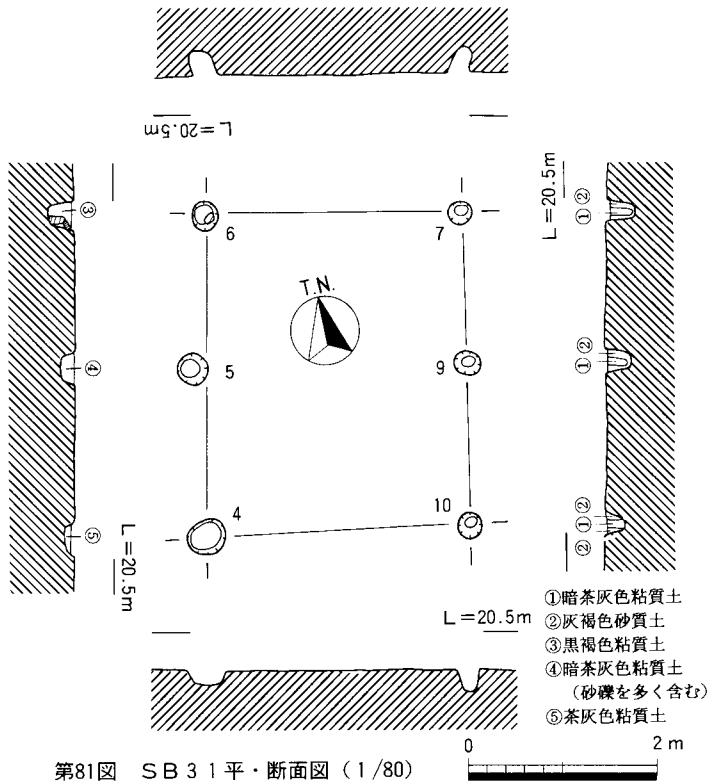
E5区画に位置する。柱穴は平面形が不整円形を呈し、径は約25cm、深さは約25cmである。埋土は、不明である。柱穴から弥生土器が出土している。建物の方向がSD 1 3 3と同じであることから、この建物を弥生時代後期から奈良時代の間の時期と考える。



第80図 SB 3 0 平・断面図 (1/80)

SB 3 1 (第81図, 図版17)

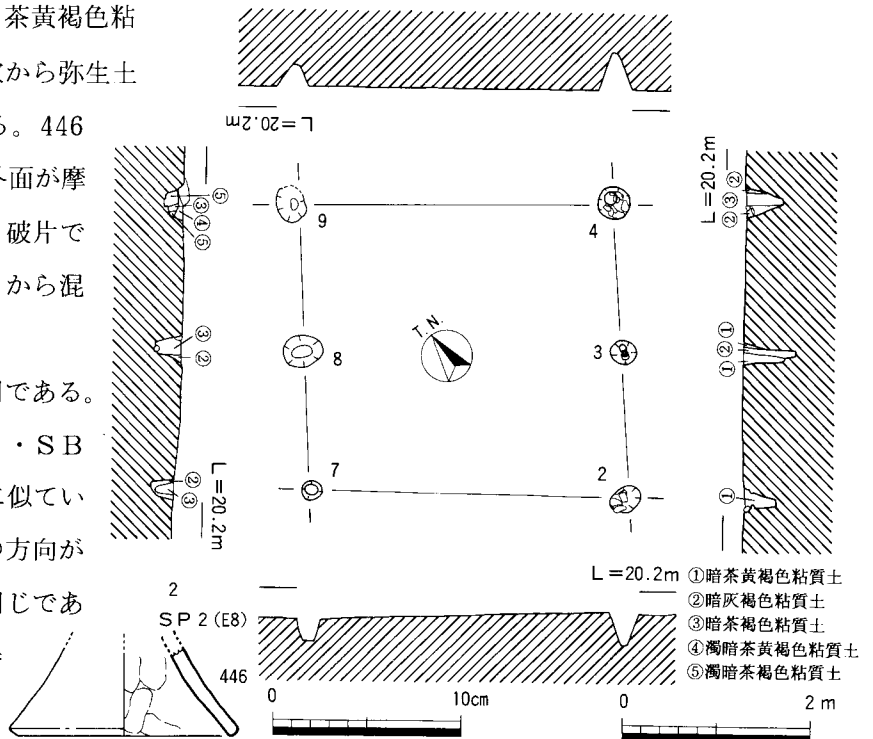
E6区画に位置する。柱穴は平面形が不整円形を呈し、径は約30cm、深さは約12~30cmである。埋土は、灰褐色砂質土である。柱穴から弥生土器鉢が出土している。建物の方位がSD 1 3 3と同じであることから、この建物を当時期と考える。



第81図 SB 3 1 平・断面図 (1/80)

SB 3 3 (第82図, 図版18)

E8区画に位置する。柱穴は平面形が円形を呈し、径は約20~30cm、深さは約20~60cmである。埋土は、茶黄褐色粘質土である。柱穴から弥生土器が出土している。446は脚部である。外面が摩滅していること、破片での出土であることから混入と考えられる。土器の時期は不明である。平面形がSB 3 0・SB 3 1・SB 3 5に似ていること及び建物の方向がSD 150とほぼ同じであることから、当時期と考える。



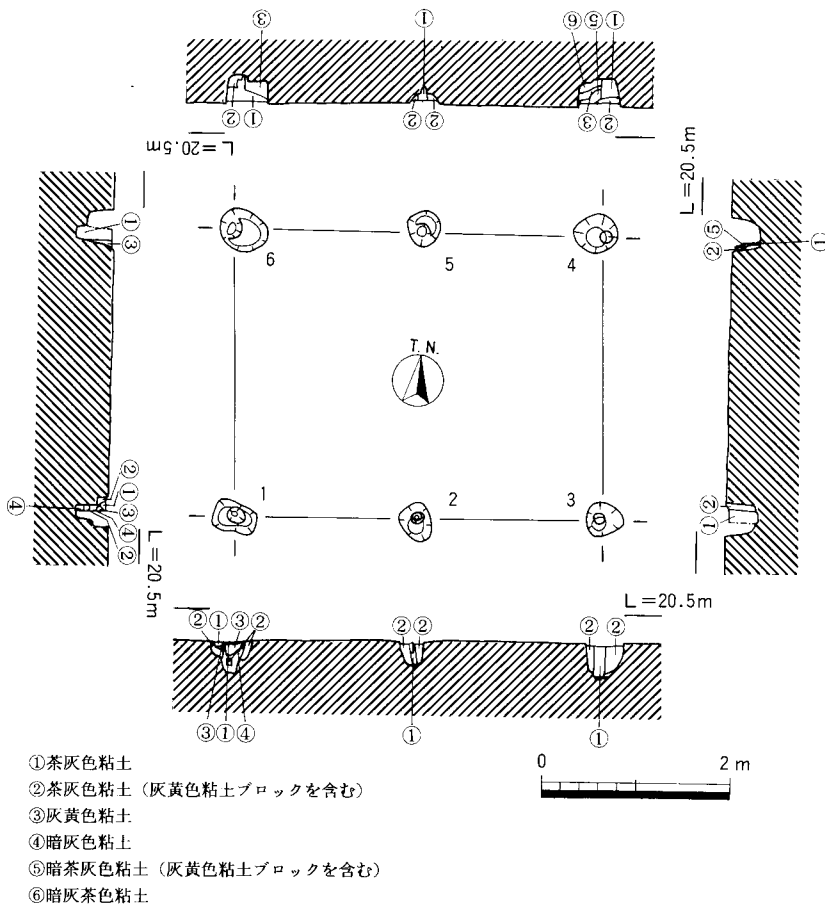
第82図 SB 3 3 平・断面図 (1/80) 及び出土土器 (1/4)

SB 3 5 (第83図, 図版18)

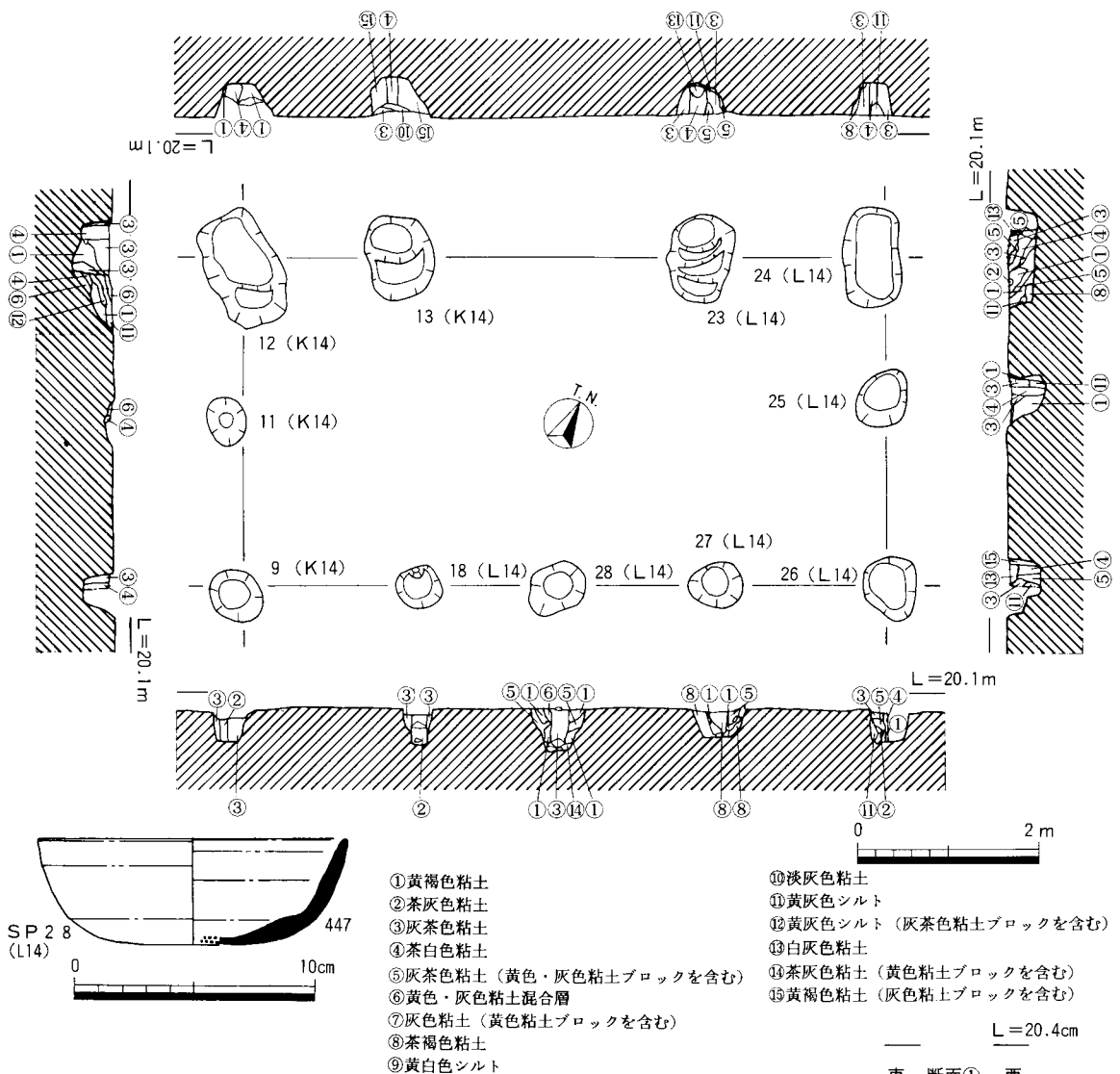
G6区画に位置する。柱穴は平面形が不整円形を呈し、径は約40cm、深さは30cmである。埋土は茶灰色系粘質土である。柱穴から弥生土器が出土した。奈良時代前後と考えられるSD 1 5 3より古いSD 1 5 2・SD 1 6 9と方向がほぼ一致することと、柱穴埋土色あるいは平面形等から奈良時代以前と考える。

SB 5 9 (第84図, 図版19)

K14・L14区画に位置する。北辺の中間の柱穴を欠いているが、この掘立柱建物跡を認識する以前にSD 2 5 0を完掘していたため、この柱穴の有無及びこの柱穴とSD 2 5 0との新旧関係は検証できなかった。柱穴から弥生土器片及び須恵器坏及び小片が出土している。447はL14S P 2 8から出土した須恵器の坏である。形態から7世紀代に位置付けられる。



第83図 SB 3 5 平・断面図 (1/80)



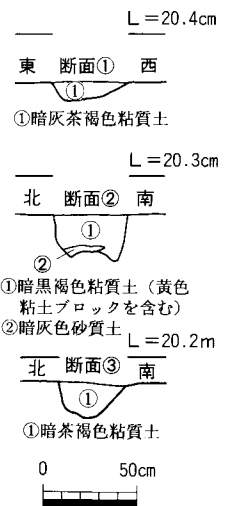
第84図 SB 59平・断面図 (1/80) 及び出土土器 (1/3)



溝跡

SD 0 8 (第85図)

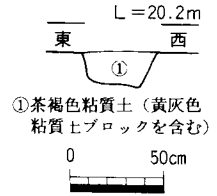
A区に位置する。遺物が少量しか出土していないので、詳細な時期は不明であるが、他のすべての遺構より古いことから奈良時代より古い時期と考える。またこの溝跡の延長をSD 7 2と考えれば、SD 7 2が弥生時代後期に埋没したSD 7 8・1 0 7より新しいことから、弥生時代後期よりは新しいといえる。



第85図 SD 0 8 断面図 (1/40)

SD72 (第86図)

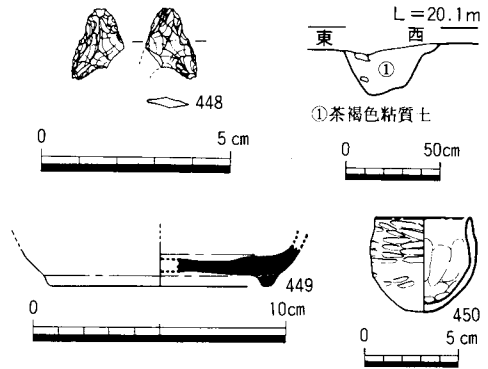
SD08の延長と考える。埋土は茶褐色粘質土ブロックと基盤層の黄灰色粘質土ブロックが混じる状況であることから、人為的に埋められたと考える。埋土から弥生土器及び須恵器壺が出土している。SD78・107より新しくSD115・116・140より古いことから古墳時代後期頃と考える。



第86図 SD72 断面図 (1/40)

SD133 (第87図)

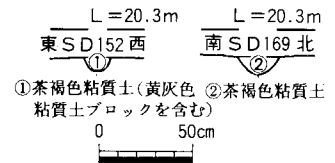
埋土から弥生土器, 須恵器及び石鏃 (448) が出土している。弥生時代の土坑SK43より新しく奈良時代の溝跡SD116より古いことから, 当時期と考える。須恵器坏 (449), 弥生土器ミニチュア甕 (450) が出土している。11の年代は8~9世紀と考える。混入品であろう。



第87図 SD133 断面図 (1/40) 及び出土土器 (1/3・1/4)・石器 (1/2)

SD152, SD169 (第88図)

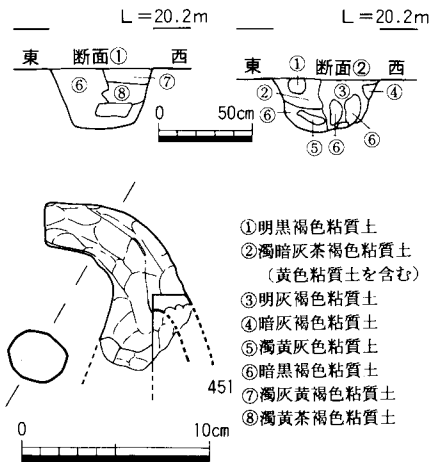
F6・G6区画に位置する。奈良時代から平安時代と考えられるSD153より古く, SD133と方向がほぼ同じことから, 当時期と考える。埋土から弥生土器が出土している。SB35に関連した溝である。



第88図 SD152・169 断面図 (1/40)

SD164 (第89図)

SD72あるいはSD133の延長と考えることができる。SK50より新しい。埋土は黄色粘質土ブロックと黒褐色粘質土ブロックが混じりあう状況を示しており, この溝が人為的に埋められたことがわかる。埋土からは, 弥生土器高坏・支脚 (451) 等, 土師器, 須恵器及び唐津刷毛目碗が出土している。埋土及び他の遺構との新旧関係から, 唐津刷毛



第89図 SD164 断面図 (1/40) 及び出土土器 (1/4)

目碗は混入品とみなせる。451は支脚Aである。埋没時期は奈良時代以前であろう。

奈良時代

この時期の遺構には、掘立柱建物跡、溝跡及び土坑がある。遺跡内には3群の掘立柱建物跡群がみられる。

掘立柱建物跡

A区（図版19）

年代の根拠は以下のとおりである。

- 1 掘立柱建物跡の柱穴埋土は、2つに大別できる。時期の比較的判定しやすい溝の埋土から考えれば、概ね茶色系の埋土は奈良時代前後で、灰色系の埋土は中世以降であるといえる。
- 2 柱穴から出土する遺物から、奈良時代、平安時代、鎌倉時代及び江戸時代の4時期が考えられる。
- 3 建物の主軸方向が、3つに大別できる。

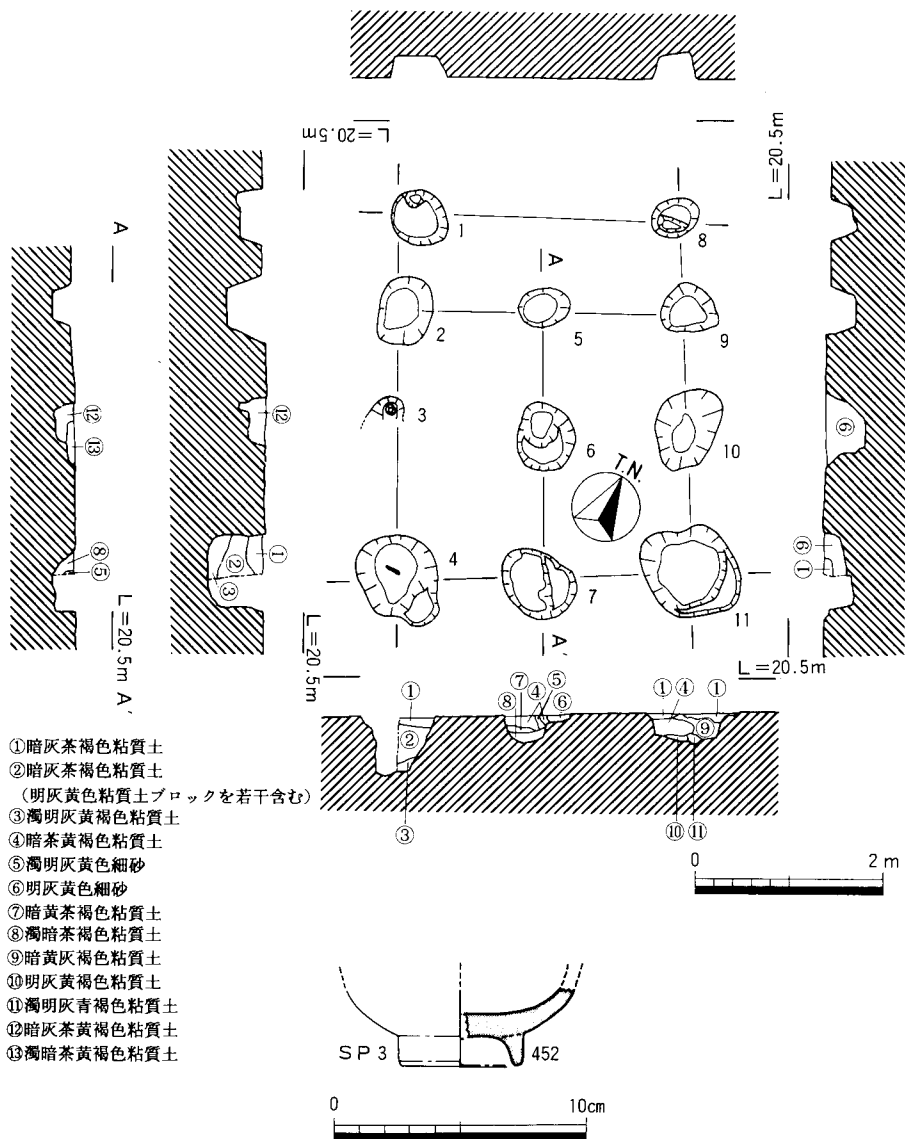
この3点と埋没年代の比較的是っきりする溝跡との前後関係から、時期を判定した。SD77は出土遺物から奈良時代の埋没と考える。この溝が埋没後に建てられたSB26・27は、位置及び方位が鎌倉時代に埋没したSD73と関係する可能性が高く、SD73が機能していた平安時代頃の建物であると考え。またこの建物と同じ主軸方向のものを平安時代頃の建物と考える。

SD83は埋没が鎌倉時代頃の溝跡である。この溝と関連すると考えるSB28は、柱穴の出土遺物が平安時代末頃以降のものであることから、この建物を鎌倉時代と考える。またこの建物と同じ主軸方位の建物を同じ時期と考える。

SB09は柱穴裏ごめから奈良時代の須恵器が出土し、また主軸方位がSD77と同じであることから奈良時代の建物とする。またこれと同じ方向の建物は奈良時代と考える。ただし、柱穴の大きさが小さく、陶磁器を出土する建物は江戸時代と考える。

SB 0 1 (第90図)

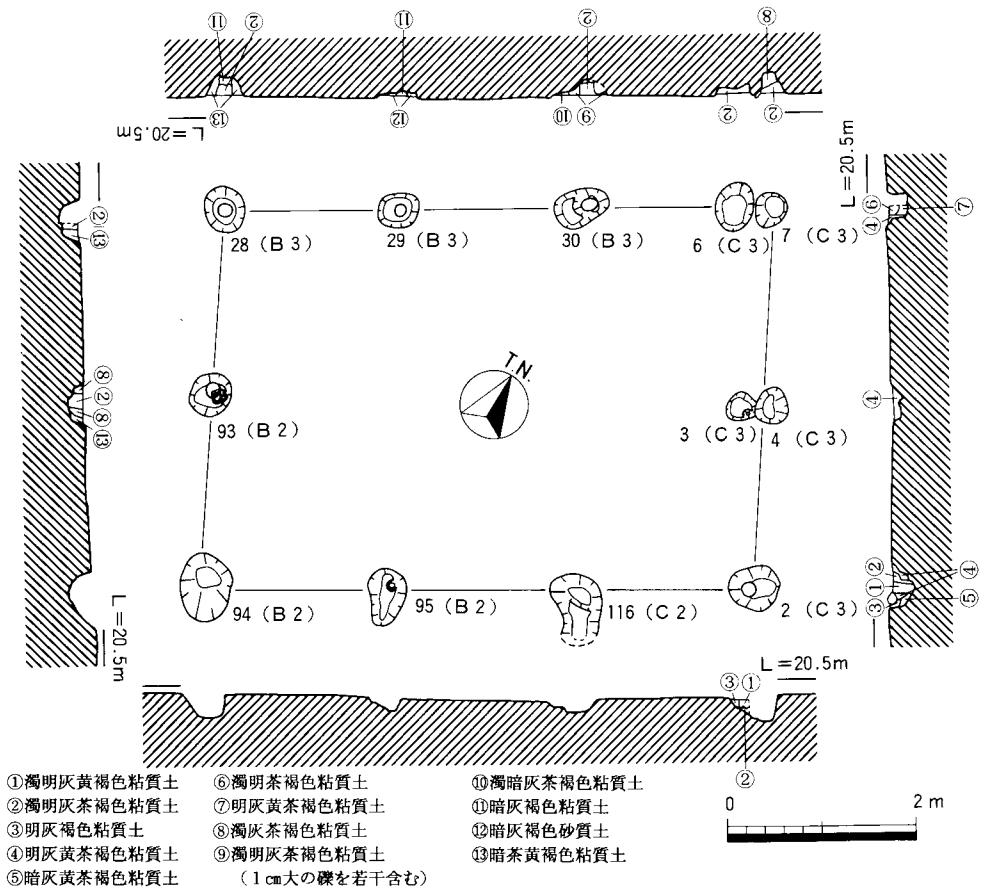
A3区画に位置する。柱穴は平面形が不整円形を呈し、径は50~95cm、深さは約30~65cmである。埋土は、基本的に基盤層の黄色粘質土と黒褐色系粘質土が混じたものである。柱穴から弥生土器及び陶器が出土しているが、埋土、柱穴規模及び主軸方向から奈良時代と考えられ、陶器(452)は混入品である。



第90図 SB 0 1 平・断面図 (1/80) 及び出土土器 (1/3)

SB05 (第91図)

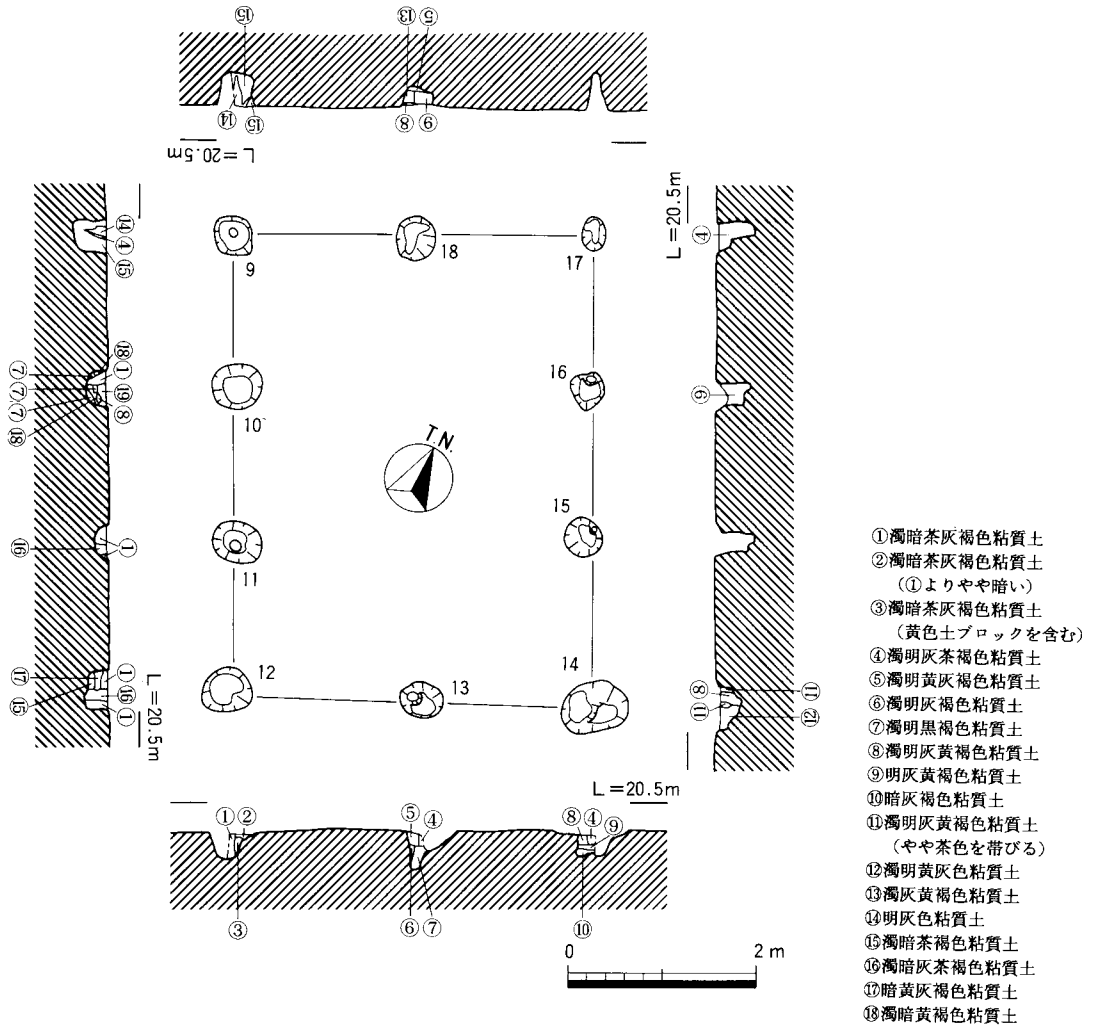
B2・B3・C2・C3区画に位置する。柱穴は平面形が不整円形を呈し、径は約35～50cm、深さは約10～20cmである。柱穴埋土は灰茶褐色粘質土で、東側の柱穴列は2列あり、いずれも配置状問題のない位置にあることから、一部建て替えの可能性のある建物である。埋土から土師器、須恵器のほか染付が出土しているが、埋土、主軸方向及び柱穴規模から奈良時代と考える。



第91図 SB05平・断面図 (1/80)

SB07 (第92図)

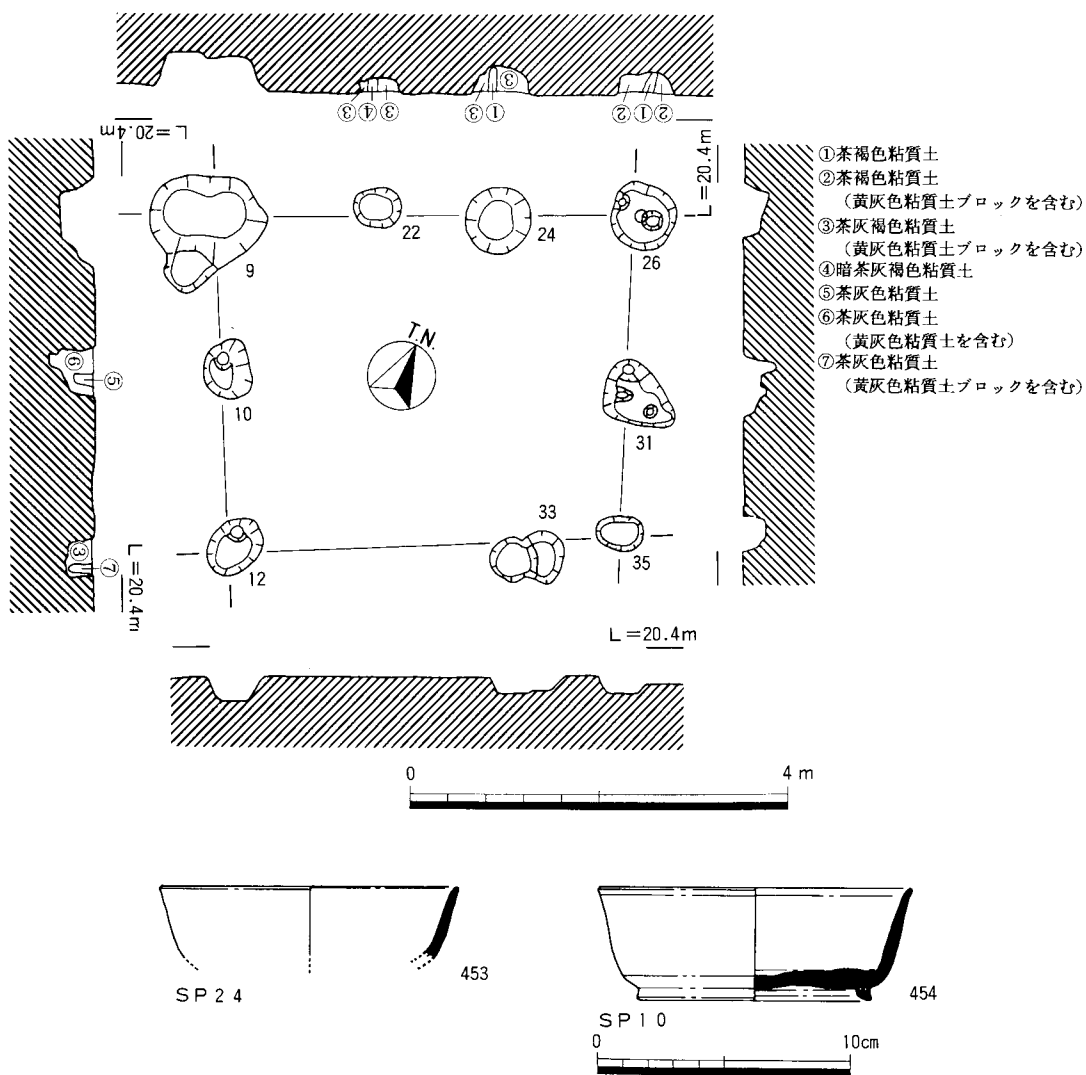
B3区画に位置する。柱穴は平面形が不整円形を呈し、径は25~52cm、深さは約12~40cmである。埋土は暗茶灰褐色粘質土である。柱穴から弥生土器及び土師器が出土している。埋土、柱穴規模及び主軸方向から奈良時代と考えられる。



第92図 SB07平・断面図(1/80)

SB09 (第93図)

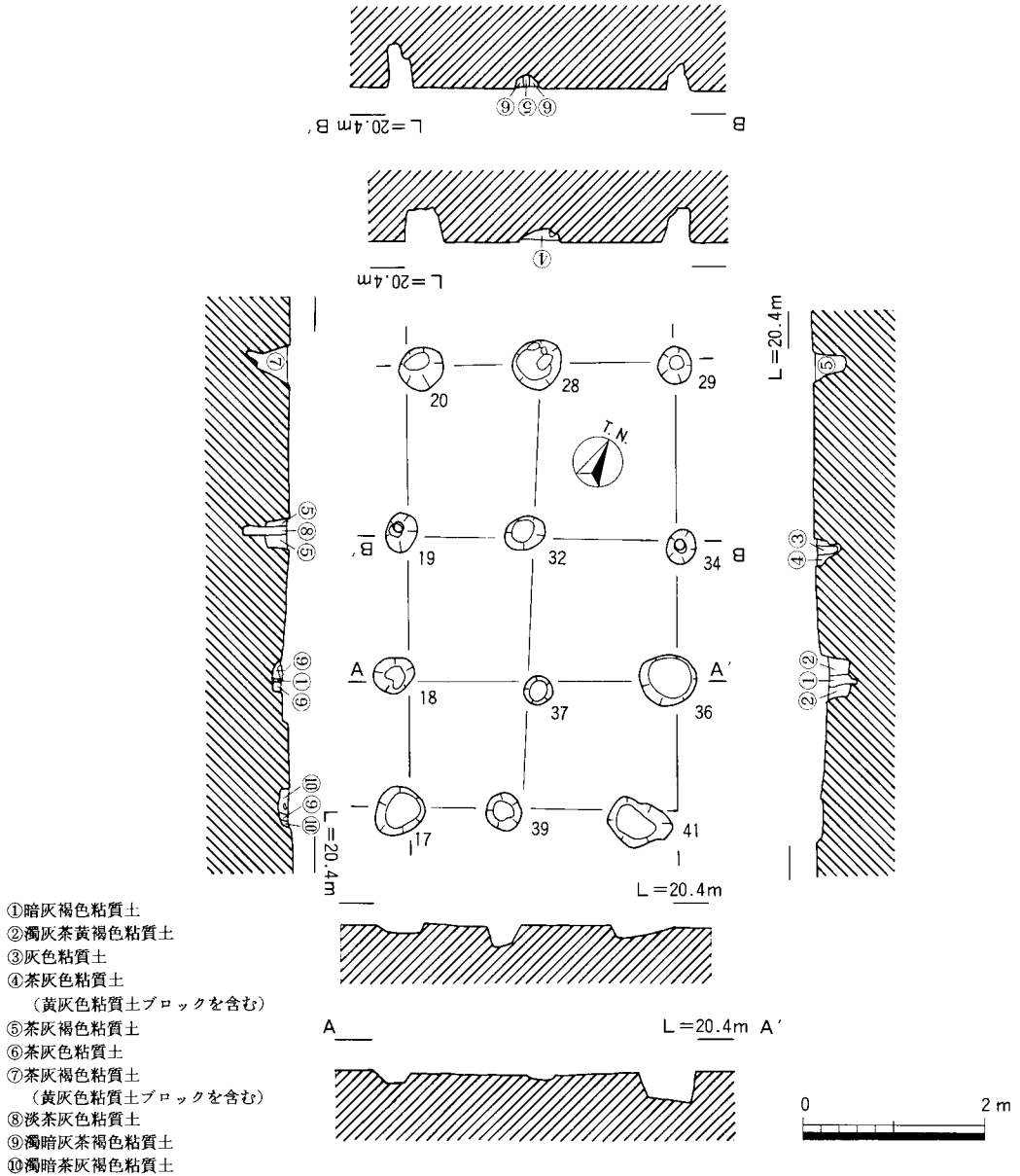
B4区画に位置する。SB10と重なり合っている。柱穴は平面形が不整形を呈し、径は40~60cm、深さは約30cmである。埋土は茶褐色系粘質土である。柱穴から弥生土器、土師器杯・皿・角柱状脚高坏及び須恵器が出土している。出土遺物、主軸方向、埋土及び柱穴規模から奈良時代と考える。須恵器は高台付坏(454)、同坏(453)等が出土している。454の形態から8世紀代と考える。453も同時併存して矛盾ない。



第93図 SB09平・断面図(1/80)及び出土土器(1/3)

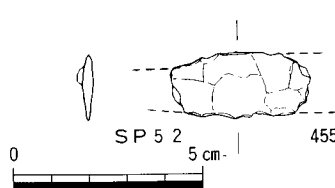
SB10 (第94図)

B4区画に位置する。総柱建物である。柱穴は平面形が不整円形を呈し、径は約50cm、深さは約10~30cmである。埋土は茶灰褐色粘質土である。柱穴からは弥生土器及び土師器の小片が出土した。埋土、主軸方向及び柱穴規模から奈良時代と考える。

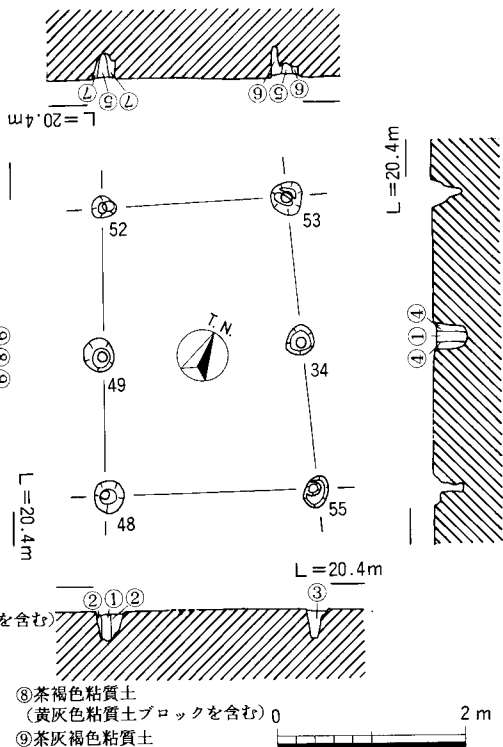


SB 1 1 (第95図)

B4区画に位置する。平面形は台形状である。柱穴は平面形が不整円形を呈し、径は約25cm、深さは約30cmである。柱穴埋土は多少のばらつきはあるが、灰褐色系粘質土である。柱穴から弥生土器、須恵器坏及び鉄製刀子(455)が出土した。埋土、主軸方向及び柱穴規模から奈良時代と考える。



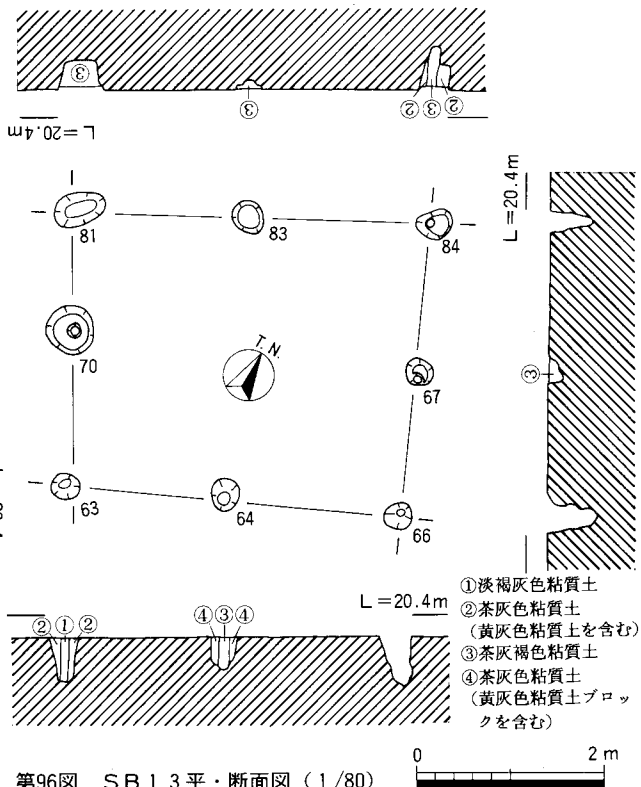
- ① 淡茶灰色粘質土
- ② 茶灰褐色粘質土
- ③ 灰褐色粘質土
- ④ 淡灰褐色粘質土
- ⑤ 淡茶灰褐色粘質土
- ⑥ 黄灰褐色粘質土
- ⑦ 淡茶灰褐色粘質土
- ⑧ 茶褐色粘質土
- ⑨ 茶灰褐色粘質土



第95図 SB 1 1 平・断面図 (1/80) 及び出土鉄器 (1/2)

SB 1 3 (第96図, 図版20)

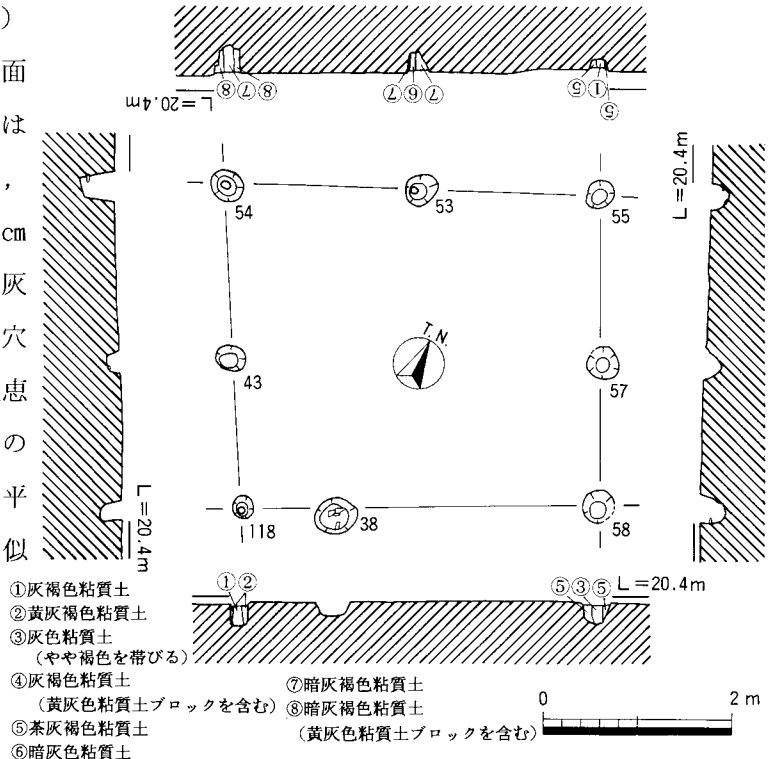
B4区画に位置する。平面形は若干台形状である。柱穴は平面形が不整円形を呈し、径は約20cm、深さは約40cmである。埋土は茶灰褐色粘質土である。柱穴から弥生土器及び土師器の小片が出土している。埋土、主軸方向及び柱穴規模から奈良時代と考える。



第96図 SB 1 3 平・断面図 (1/80)

SB 2 2 (第97図, 図版20)

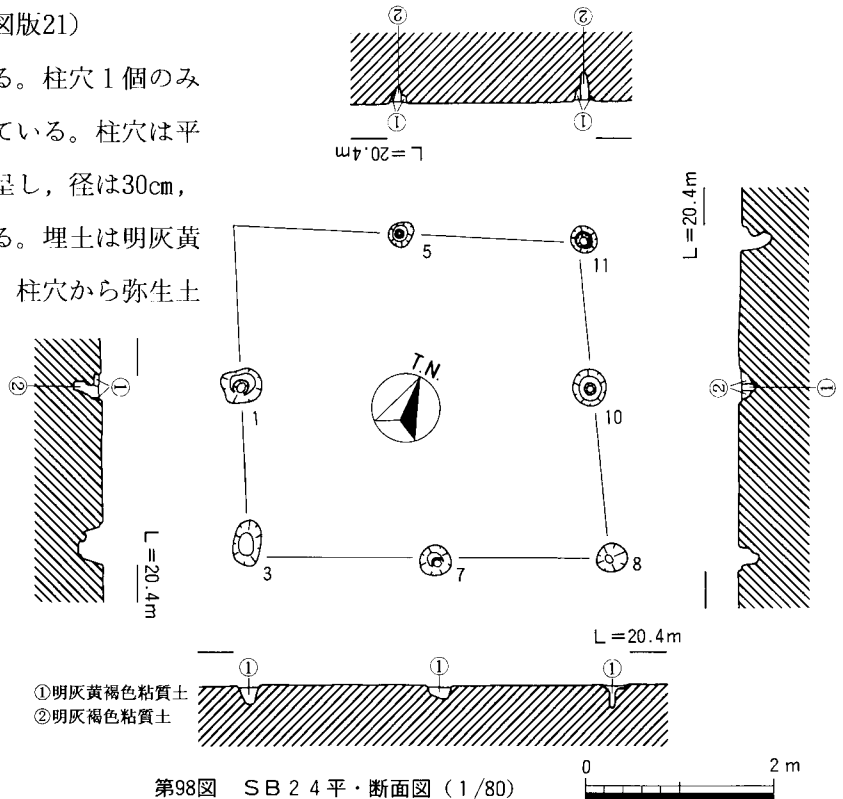
C3区画に位置する。平面形は台形状である。柱穴は平面形が不整円形を呈し、径は約30cm、深さは約20cmである。埋土は基本的に灰褐色系粘質土である。柱穴からは、弥生土器及び須恵器が出土している。柱穴の形態及び埋土と、建物の平面形がSB 1 3・2 4に似ていることから奈良時代と考える。



第97図 SB 2 2 平・断面図 (1/80)

SB 2 4 (第98図, 図版21)

C5区画に位置する。柱穴1個のみ調査区から外へ出ている。柱穴は平面形が不整円形を呈し、径は30cm、深さは約20cmである。埋土は明灰黄褐色粘質土である。柱穴から弥生土器破片が出土している。埋土、主軸方向及び柱穴規模から奈良時代と考える。



第98図 SB 2 4 平・断面図 (1/80)

B4SP13 (第99図)

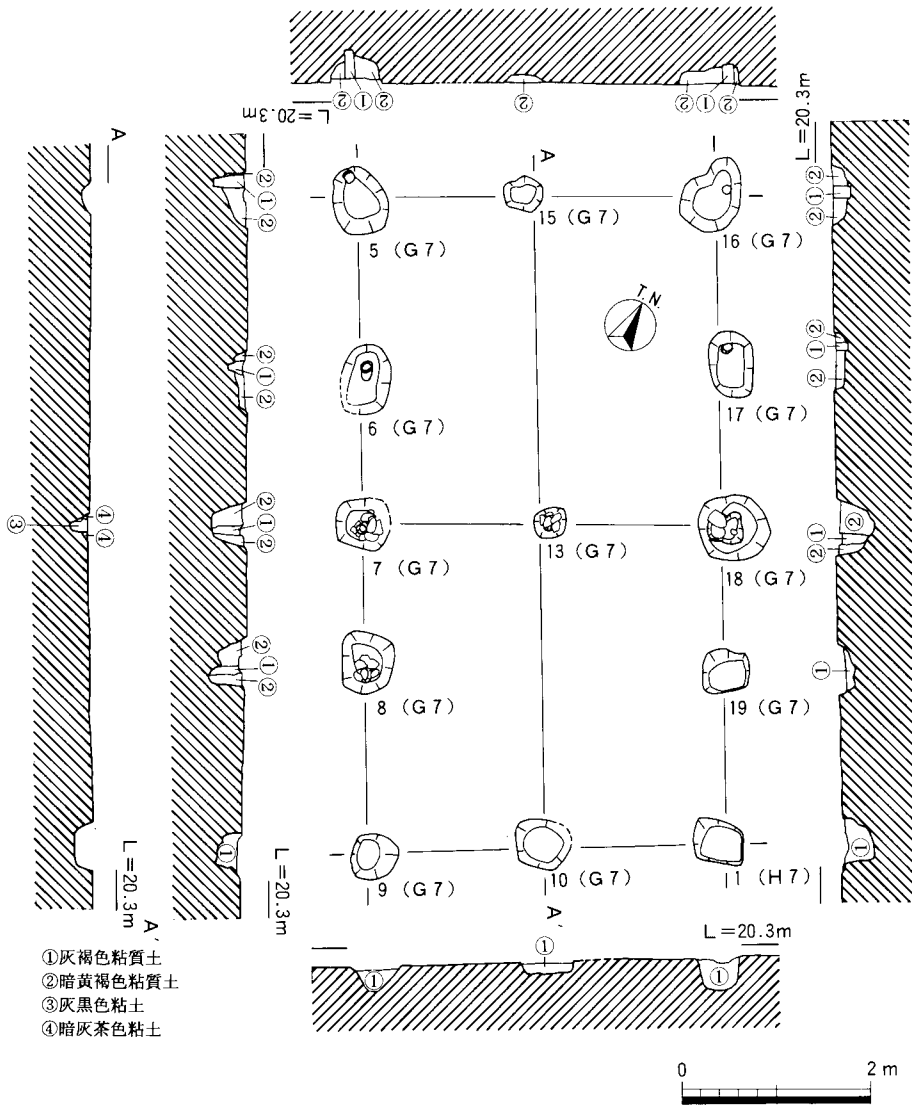
須恵器高台付坏 (456) が出土している。



B区

SB33からSB46は遺物が細片で、量が極少のため、1棟ごとに時代を考察するのは、困難であるが、SB36～SB42及びSB46が配置・方向・規模・埋土色等から一群の建物と思われる。このうち、総柱建物跡を2棟検出した。

第99図 B4SP13出土土器 (1/3)



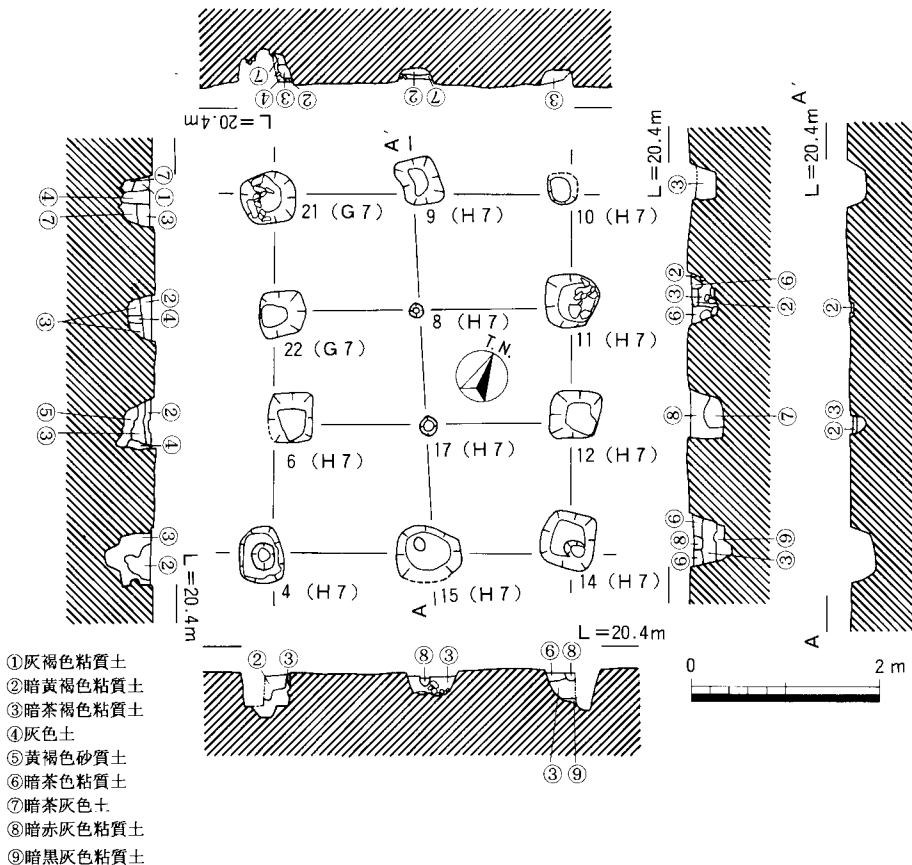
第100図 SB36平・断面図 (1/80)

SB 3 6 (第100図, 図版21)

G7・H7区画に位置する。柱穴は平面形が不整形を呈し、径は約30~55cm、深さは10~40cmである。また、対角線上に柱穴(束柱)があり、埋土は茶褐色粘質土である。柱穴から弥生土器、土師器赤彩皿及び須恵器坏・坏蓋が出土した。この建物はSD 1 7 0より古く、弥生時代後期の溝SD 1 5 8より新しい。

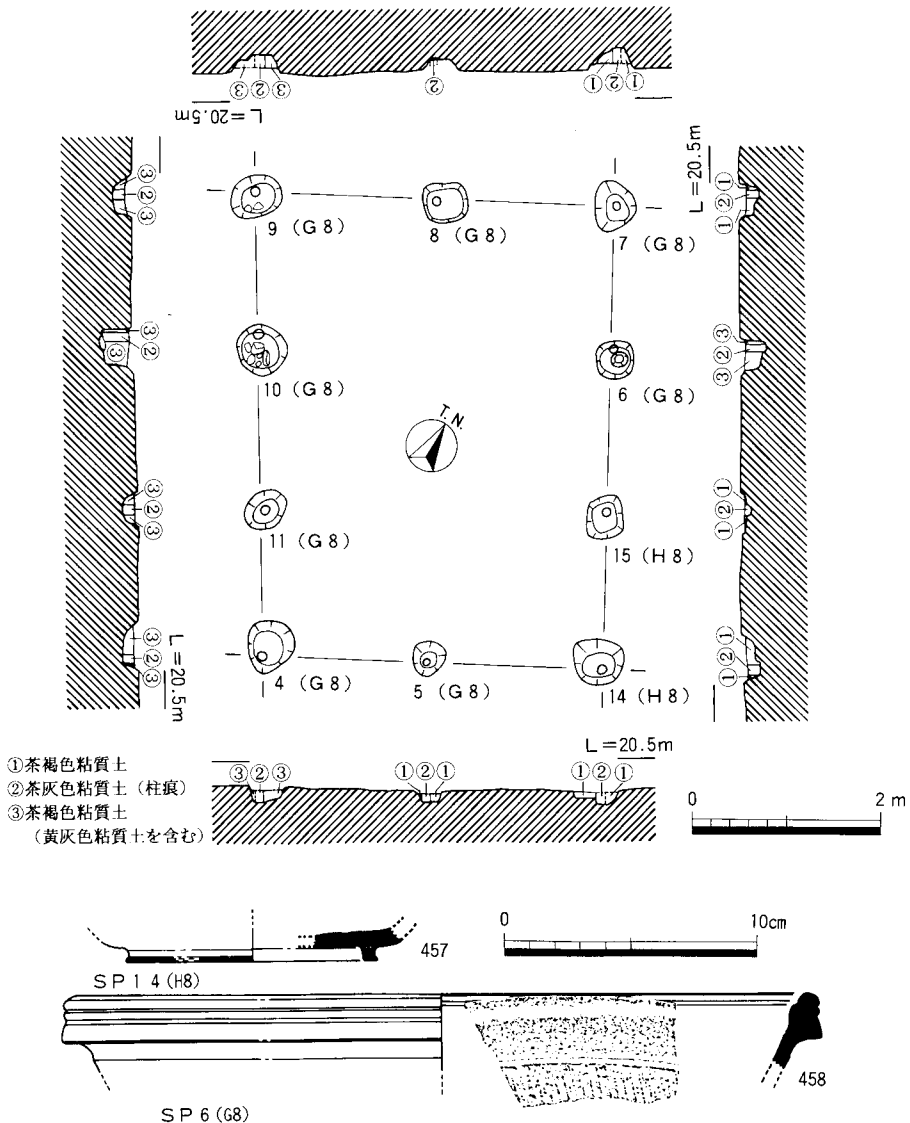
SB 3 7 (第101図, 図版22)

G7・H7区画に位置する。総柱の建物跡である。柱穴は平面形が不整隅丸方形を呈し、側柱穴径は約50cm、束柱穴径は約10~20cmで、深さは約30~40cmである。埋土は灰・茶褐色系粘質土である。弥生時代後期の溝であるSD 1 5 8より新しく、SD 1 4 9より古い。柱穴から弥生土器、土師器及び須恵器坏・坏蓋が出土している。



SB 3 8 (第102図, 図版22)

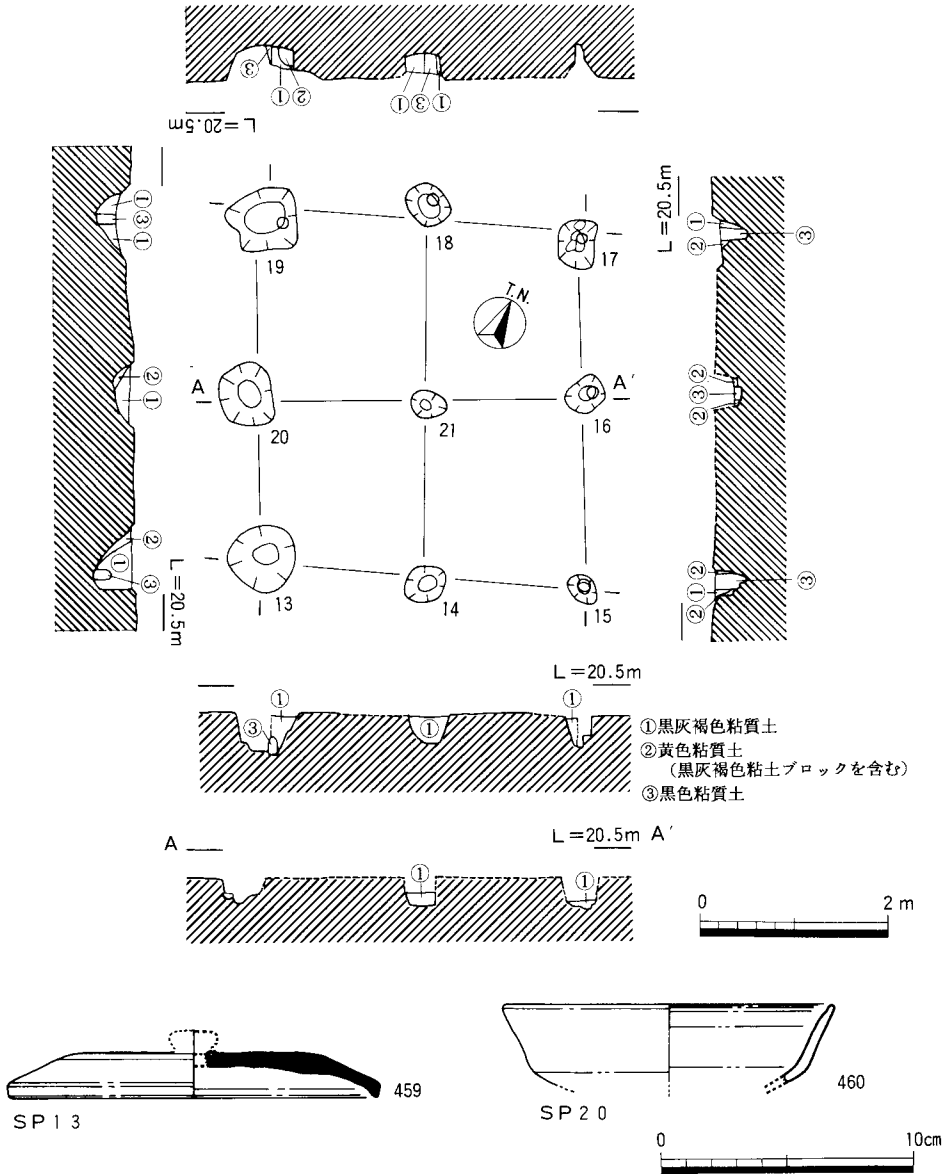
G8・H8区画に位置する。柱穴は平面形が不整円形を呈し、径は約40~50cm、深さは約10~20cmである。柱穴埋土は茶褐色粘質土である。弥生時代の土坑SK 5 6・5 7・5 8をそれぞれ壊している。柱穴から弥生土器、須恵器及び陶器插鉢が出土している。須恵器坏(457)はH8 S P 1 4から、備前焼插鉢(458)はG8 S P 6から出土している。457は形態から8世紀代と考える。458は口縁部の拡張、おろし目の状態から中世の所産と考えられ、遺構の配置状況から見て、457が当該期の遺物で、458は混入と考えられる。



第102図 SB 3 8平・断面図(1/80)及び出土土器(1/3)

SB 3 9 (第103図)

G8区画に位置する。柱穴は平面形が不整円形を呈し、径は約30~70cm、深さは20~40cmである。柱穴埋土は、黒灰褐色粘質土である。SB 3 8に並行して立地する配置形態から、併存していたことは、確実である。柱穴から弥生土器、土師器及び須恵器が出土している。須恵器坏蓋(459)はG8SP 1 3から、土師器坏(460)はG8SP 2 0から出土している。坏蓋は宝珠つまみを持つタイプで、形態から7世紀代前半と考える。



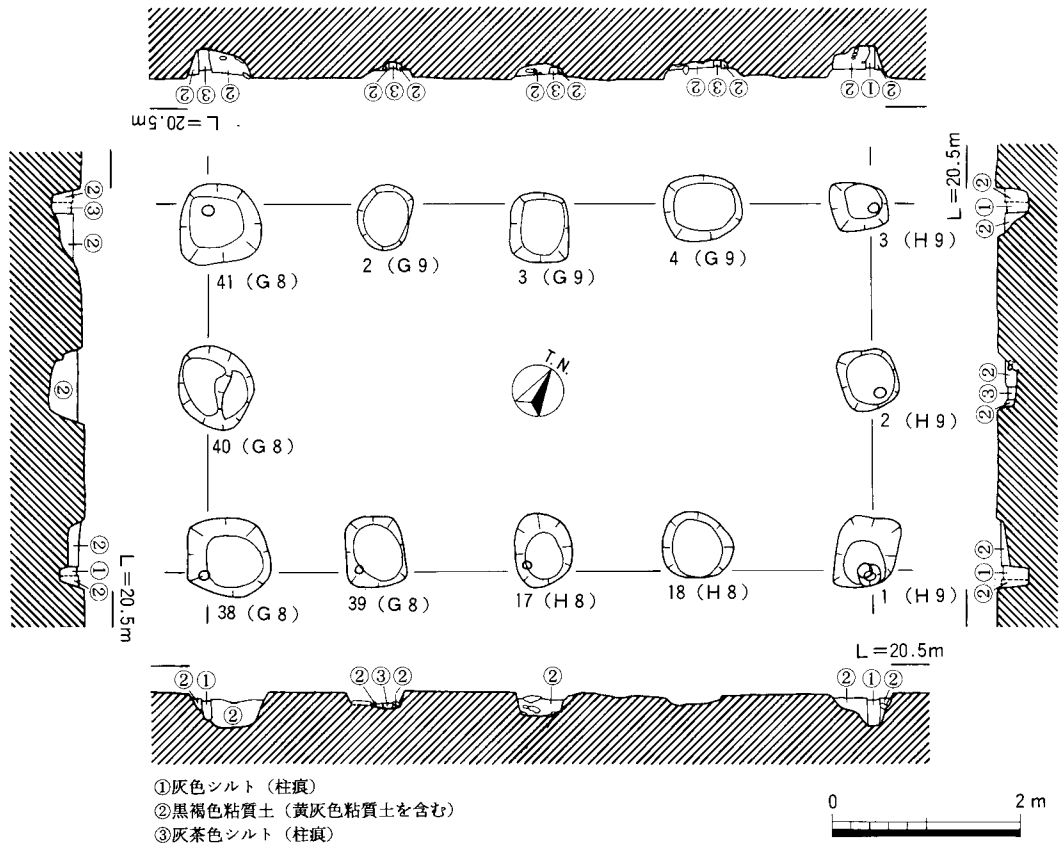
第103図 SB 3 9 平・断面図 (1/80) 及び出土土器 (1/3)

SB 4 0 (第104図, 図版23)

G8・G9・H8・H9区画に位置する。柱穴は平面形が不整隅丸方形を呈し、径は約60~80cm, 深さは約10~40cmである。埋土は黒褐色粘質土である。柱穴から弥生土器及び土師器の破片が出土している。

SB 4 1 (第105図, 図版23)

H8区画に位置する。柱穴は平面形が不整形を呈し、径は約30~40cm, 深さは20cmである。後述するSB 42と同様、一部地山に砂利を多く含んだところに建てられていた。埋土は灰色粘質土である。柱穴からは、弥生土器破片が出土している。この建物は、配置形態・柱穴間の距離等からSB 4 2と併存していたことは確実である。

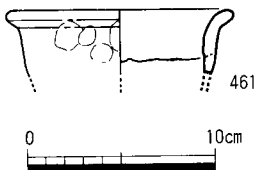


第104図 SB 4 0 平・断面図 (1/80)

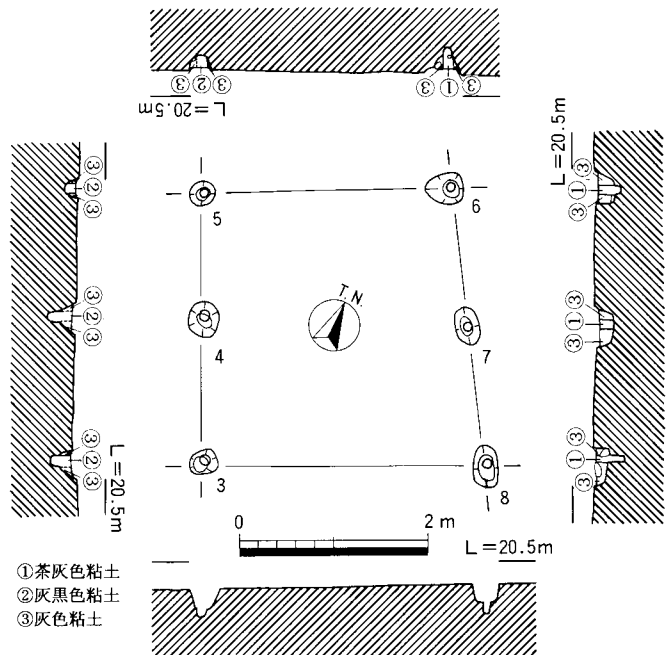
SB 4 2 (第106図, 図版23)

H7・H8区画に位置する。柱穴は平面形が不整円形を呈し、径は約25cm、深さは20cmである。埋土は茶灰色粘土である。前述したSB 4 1と同様に一部地山に多く砂利を含んだ所に建てられている。建物の配置形態をみると、短辺部の2間とSB 4 1の1間がほぼ等距離で平行しているので、同時期併存と考えられる。柱穴埋土から弥生土器が出土している。弥生土器は鉢(467)が出土しているが、どの柱穴から出土したのかは不明である。底部等の形態及び調整が不明のため詳細な年代は決定することができない。後期の所産と考えておく。

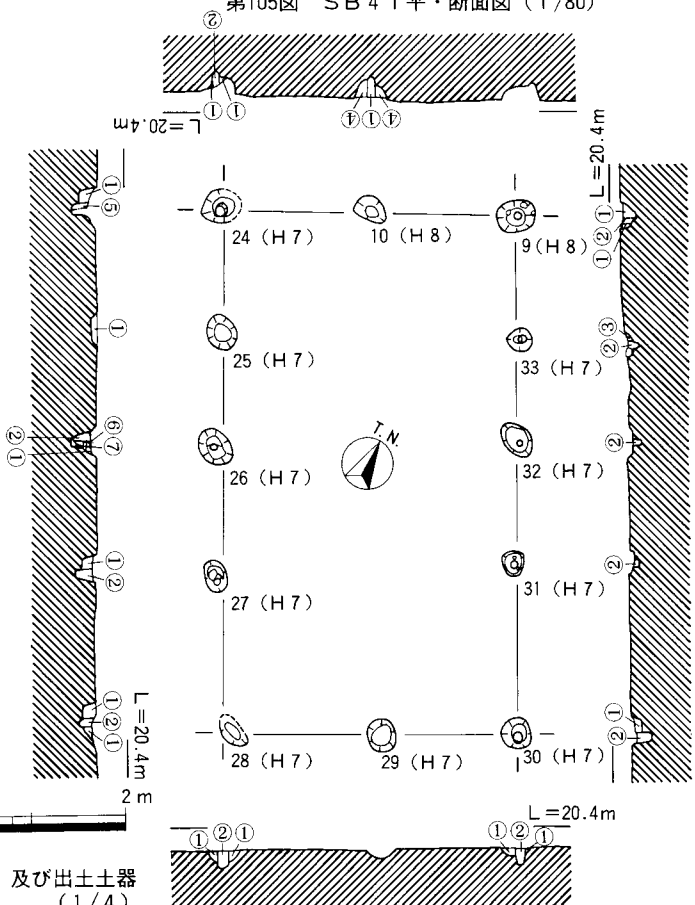
- ①茶灰色粘土
- ②暗茶灰色粘土
- ③灰色粘土(礫多量)
- ④淡茶灰色粘土
- ⑤暗黒褐色粘土
- ⑥灰白色粘土
- ⑦灰黒色粘土



第106図 SB 4 2 平・断面図 (1/80) 及び出土土器 (1/4)



第105図 SB 4 1 平・断面図 (1/80)



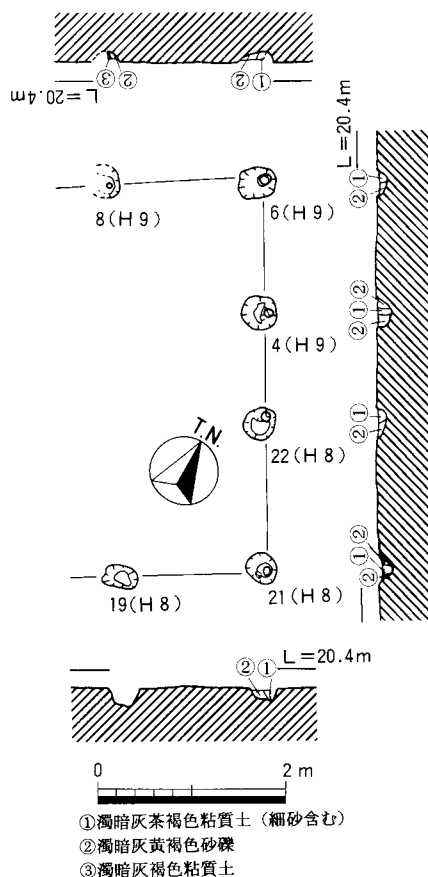
SB 4 6 (第107図, 図版24)

H8・H9区画に位置する。埋土から弥生土器及び土師器が出土している。埋土, 主軸方向及び柱穴規模から奈良時代と考える。

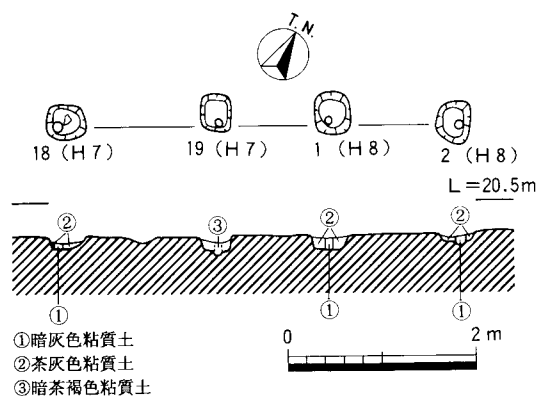
SA 0 4 (第108図)

H7・H8区画に位置する。4柱穴からなり, 柱間は約1.3mである。柱穴埋土が奈良時代建物群と同様のやや明るい黒褐色粘質土であることと, 建物群と主軸方向が同じであることから, この建物群に伴う柵列と考える。柱穴埋土から, 弥生土器, 土師器及び須恵器破片が出土している。

以上のことから, SB 3 8とSB 3 9, SB 4 1とSB 4 2については, 建物の配置形態からそれぞれ併存していた可能性が極めて高い。さらに, これらの建物の主軸方位が平行あるいは直交していることから, これらの建物は同時併存していたことがうかがえる。また, 時期については, 比定する遺物が少なかったが, 混入土器を除くと奈良時代と考える。



第107図 SB 4 6 平・断面図 (1/80)



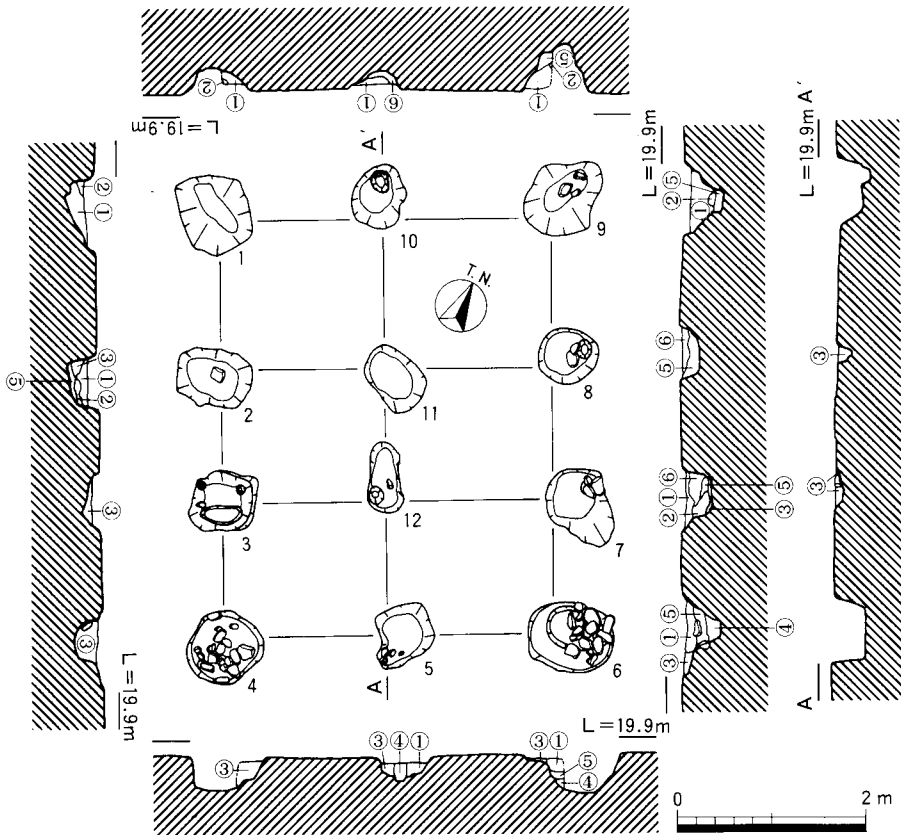
第108図 SA 0 4 平・断面図 (1/80)

C区

この地区の掘立柱建物跡はすべて同じ方向である。この方向が他の地区の奈良時代の掘立柱建物跡の主軸方向と同じであることと、柱穴埋土、柱穴規模及び柱穴出土遺物から考えて、この地区の掘立柱建物跡群を奈良時代の建物とするのが妥当である。

SB 5 1 (第109図, 図版24)

112区画に位置する。総柱建物である。柱穴は平面形が不整円形もしくは不整方形を呈し、径は60~70cm、深さは30~40cmである。柱穴埋土は基本的に黒褐色粘質土である。柱穴から弥生土器、土師器及び陶磁器が出土しているが、陶磁器は混入品であろう。



- ① 黒褐色粘質土
- ② 灰黄色粘質土
- ③ 黒褐色粘質土 (灰黄色土ブロックを含む)
- ④ 黒灰色粘質土 (灰乳色土ブロックを含む)
- ⑤ 黒褐色粘質土
- ⑥ 灰黄色粘質土 (黒褐色土ブロックを含む)

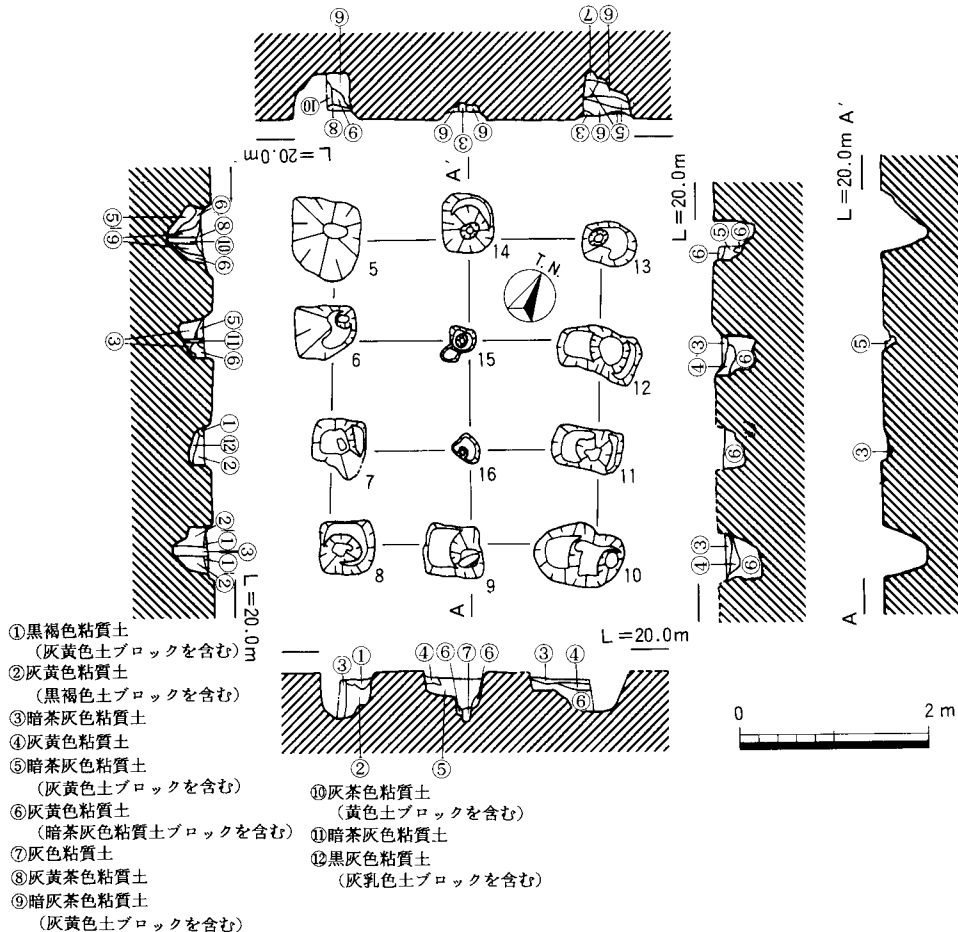
第109図 SB 5 1 平・断面図 (1/80)

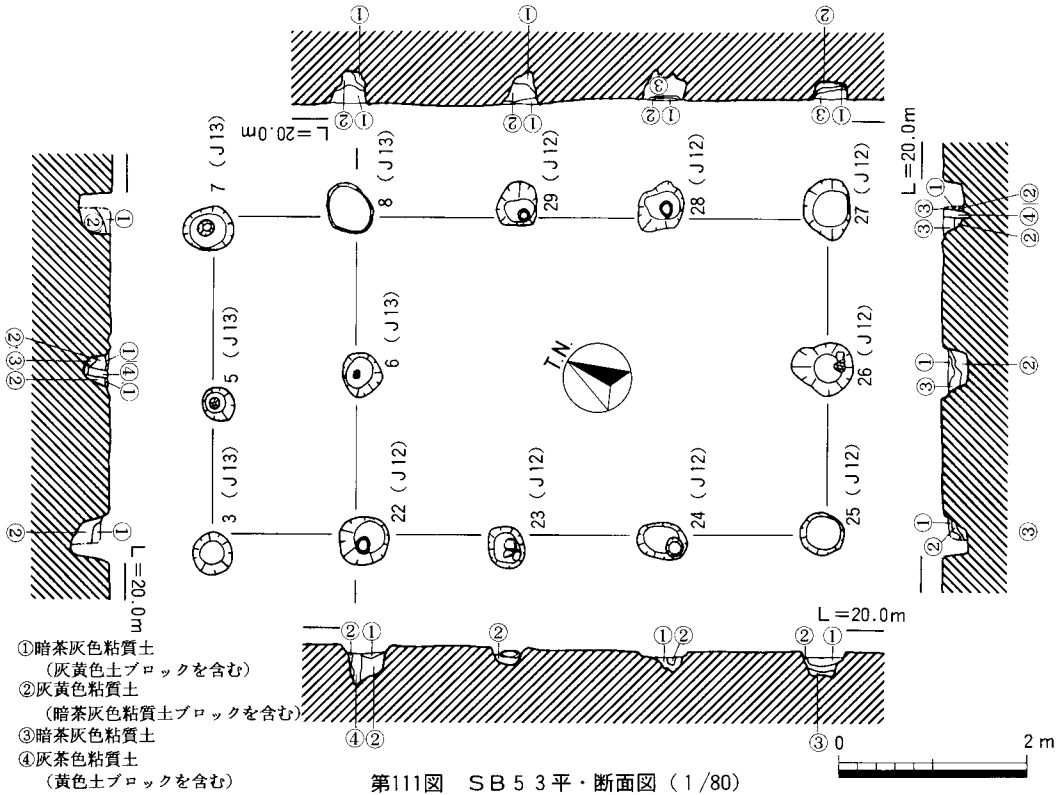
SB 5 2 (第110図, 図版25)

J12区画に位置する。総柱建物である。SB 5 1に比べるとやや規模は縮小されている。柱穴は平面形が不整形である。柱穴埋土は基本的に灰黄色粘質土ブロックを含む黒褐色粘質土である。柱穴から弥生土器が出土している。

SB 5 3 (第111図, 図版25)

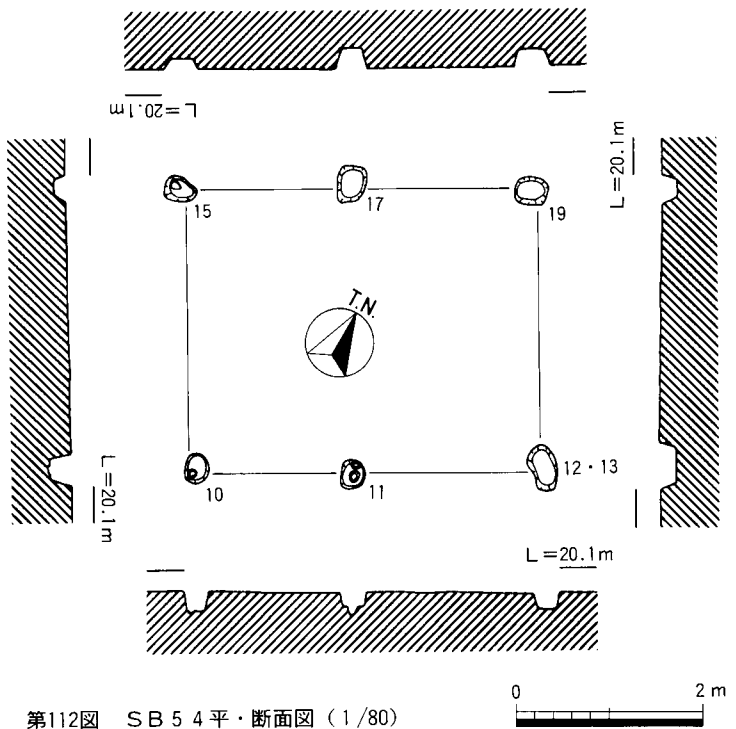
J12・J13区画に位置する。柱穴は平面形が不整形である。柱穴埋土は基本的に暗茶灰色粘質土に灰黄色粘質土ブロックが混じるものである。柱穴から弥生土器及び須恵器甕が出土している。





SB 5 4 (第112図, 図版26)

J13区画に位置する。南北の1間は、東西の1間に比べてやや広い間隔となっている。SB52と比べると建物の向きに違いはあるものの、ほぼ同規模の建物である。柱穴は平面形が不整形円形を呈し、径は25cm、深さは20cmである。遺物は出土していない。

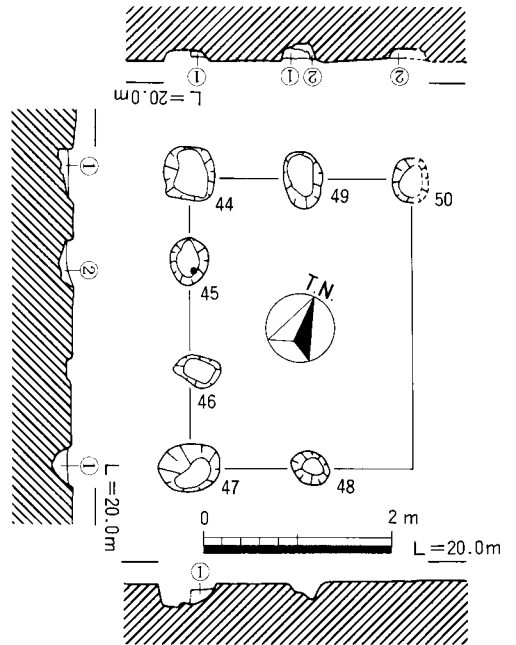


SB 5 5 (第113図, 図版26)

J12区画に位置する。SD 2 2 9によって壊されている。SB 5 2に比べると若干ではあるが小さい。柱穴は平面形が不整形を呈し、径は40~50cm、深さは25cmである。柱穴埋土は基本的に暗茶灰色粘質土である。柱穴から弥生土器、土師器及び須恵器が出土している。

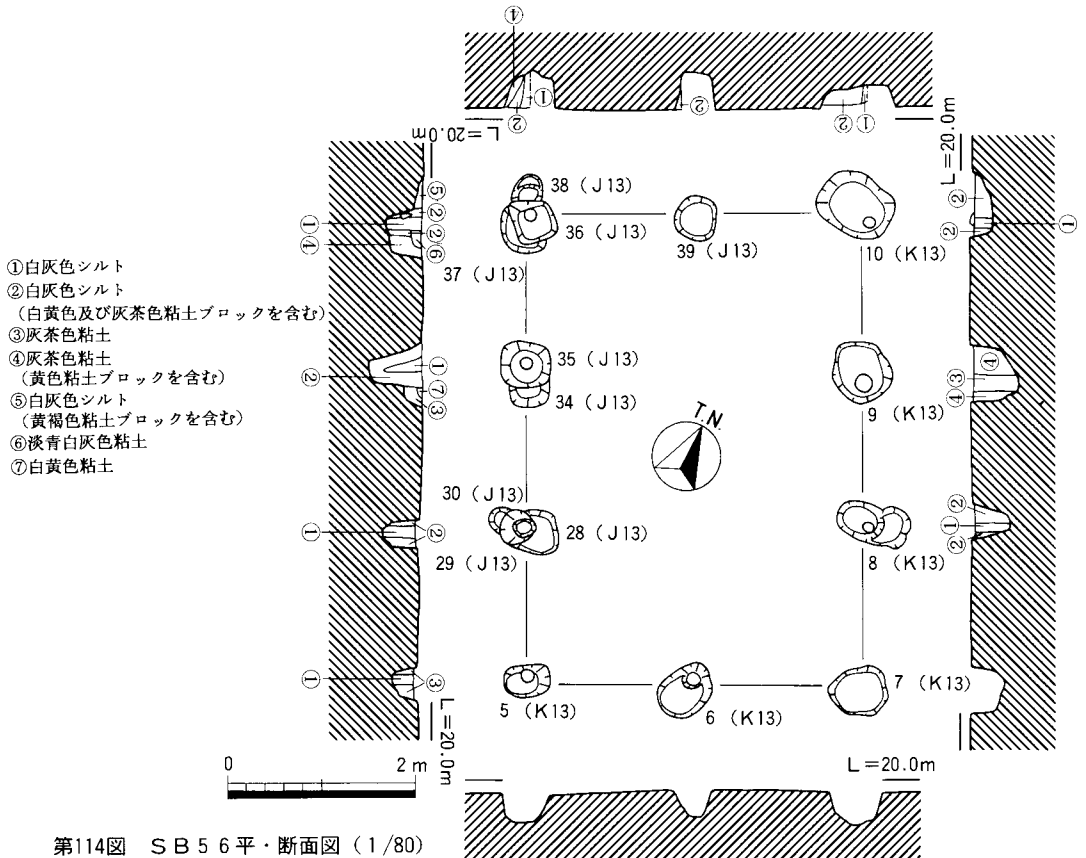
SB 5 6 (第114図, 図版27)

J13・K13区画に位置する。弥生土器、土師器及び須恵器坏・壺・甕破片が出土している。柱穴が重複していることが多いことから、この建物も建て替えが行われた可能性がある。



①暗茶灰色粘質土（灰黄色土ブロックを含む）
②灰黄色粘質土（暗茶灰色粘質土ブロックを含む）

第113図 SB 5 5平・断面図（1/80）



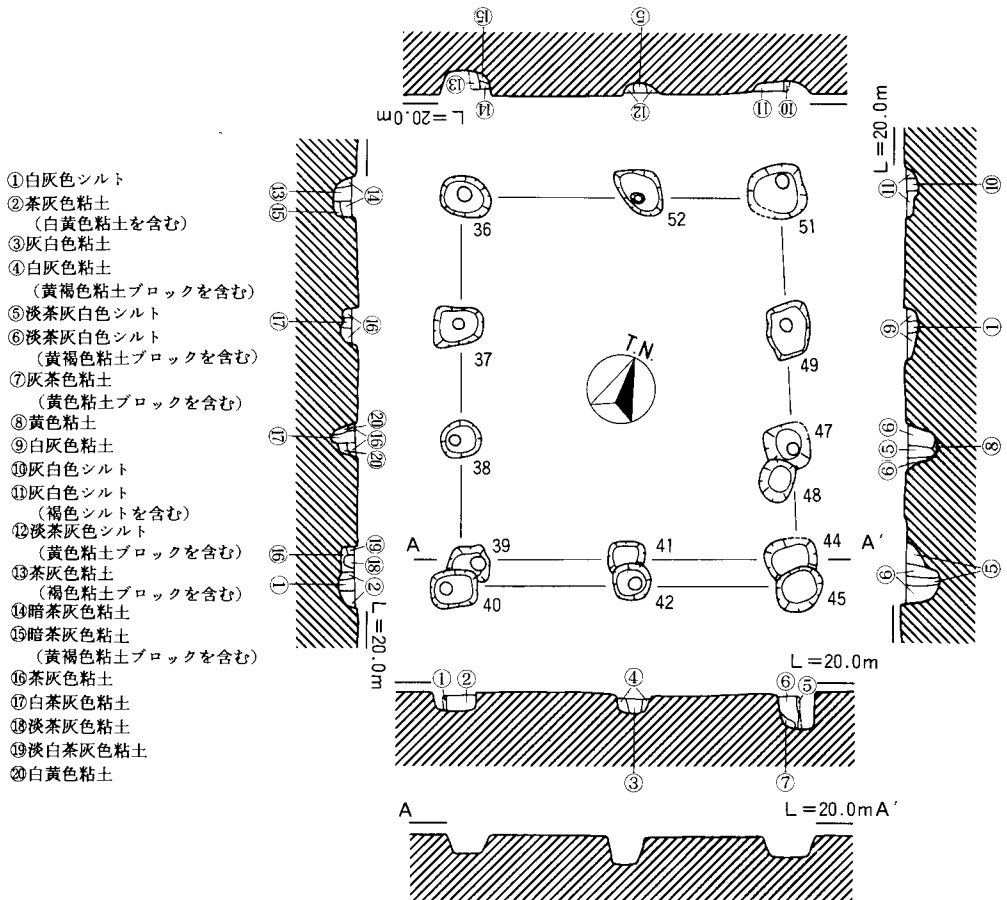
第114図 SB 5 6平・断面図（1/80）

SB 5 7 (第115図, 図版27)

K13区画に位置する。柱穴からは弥生土器, 土師器及び須恵器の破片が少量出土している。南側の柱穴列はさらに南の別の柱穴列に壊されている。南に別の1棟の建物跡が考えられる。

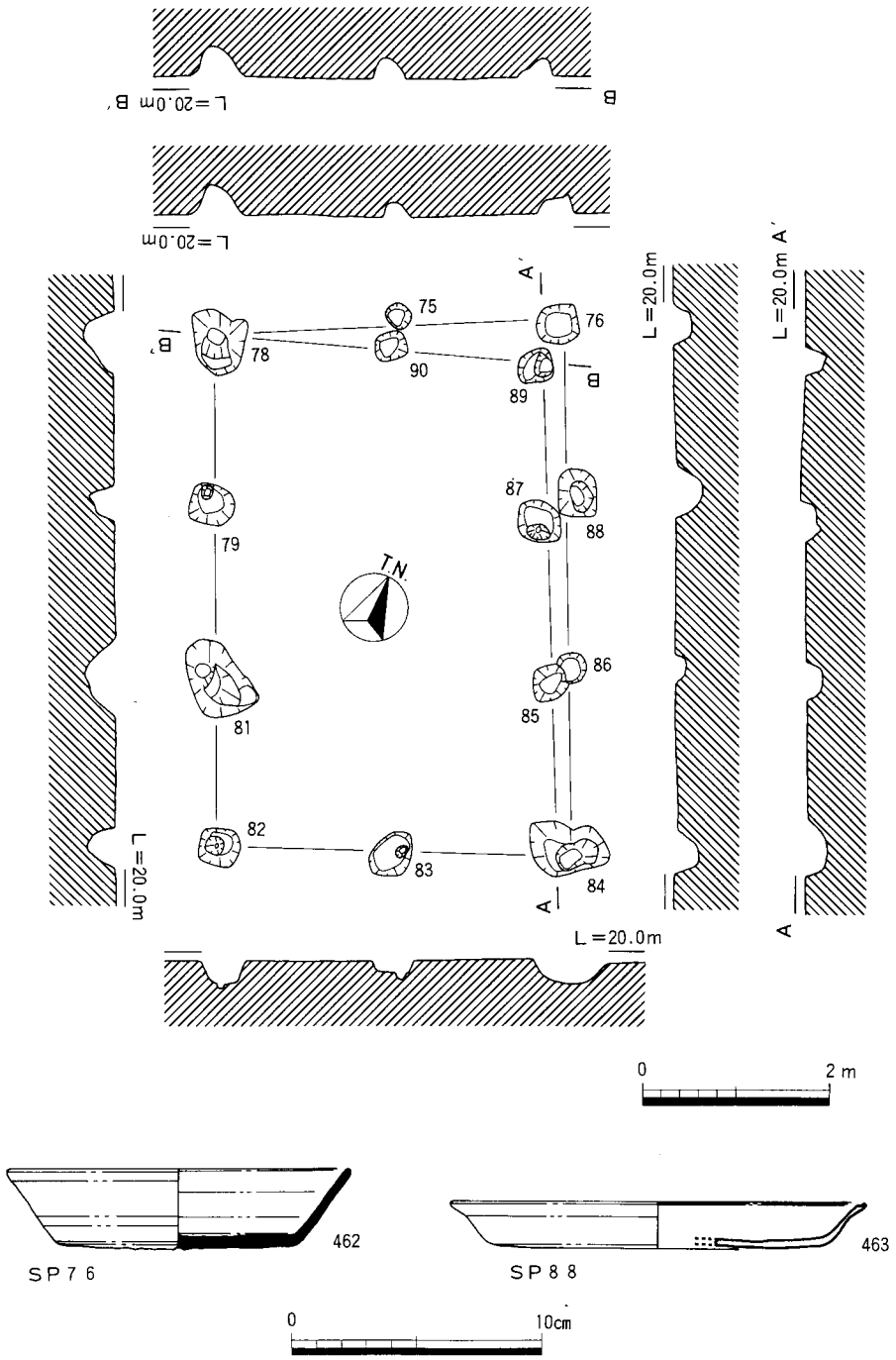
SB 5 8 (第116図, 図版28)

K13区画に位置する。建物北半の柱穴配置は2通り考えられる。柱穴がわずかにずれているのは, 建て替えによる可能性がある。弥生土器, 土師器坏・暗文入りの皿及び須恵器坏・坏蓋・甕の破片が出土している。462はK13S P 7 6から出土した須恵器の坏である。463はK13S P 8 8から出土した土師器の皿である。年代は, 462・463の形態から8世紀代と考える。



第115図 SB 5 7 平・断面図 (1/80)



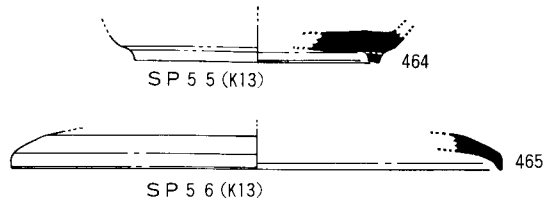


第116図 SB 58平・断面図(1/80)及び出土土器(1/3)

ピット

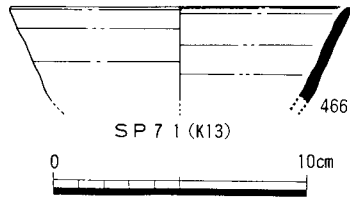
K13SP 5 5 (第117図)

須恵器坏(464)が出土している。8世紀代と考える。



K13SP 5 6 (第117図)

須恵器坏蓋(465)が出土している。8世紀代と考える。



第117図 ピット出土土器(1/3)

K13SP 7 1 (第117図)

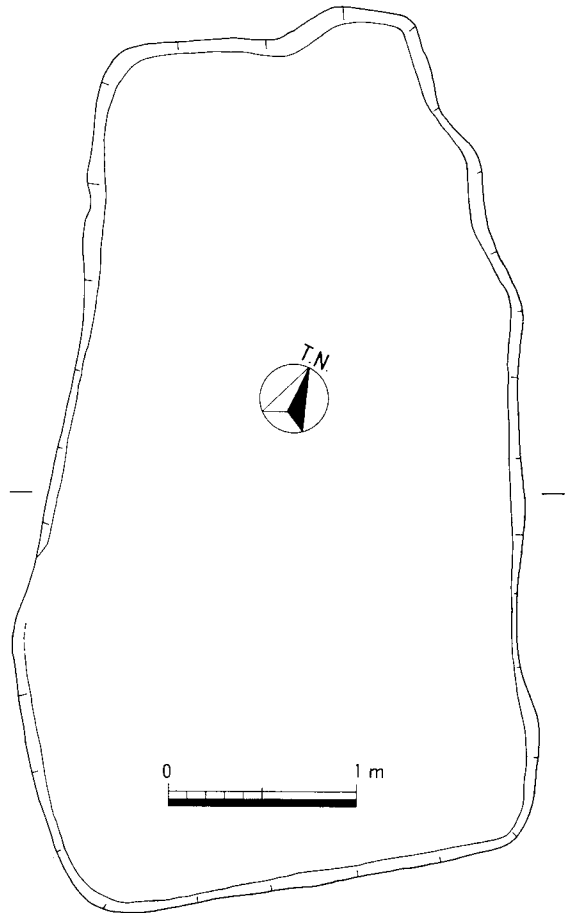
須恵器坏(466)が出土している。

土坑

遺物が出土していないため時期不明であるが、埋土から奈良・平安時代頃と考えられるものもここで報告する。

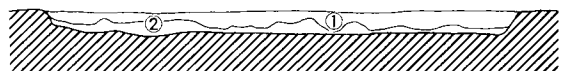
SK 1 3 (第118図)

B4区画に位置する。埋土から弥生土器、土師器及び須恵器が出土している。SB 1 3より古い。



L=20.4m

- ① 明黒褐色粘質土
- ② 暗黄灰褐色粘質土

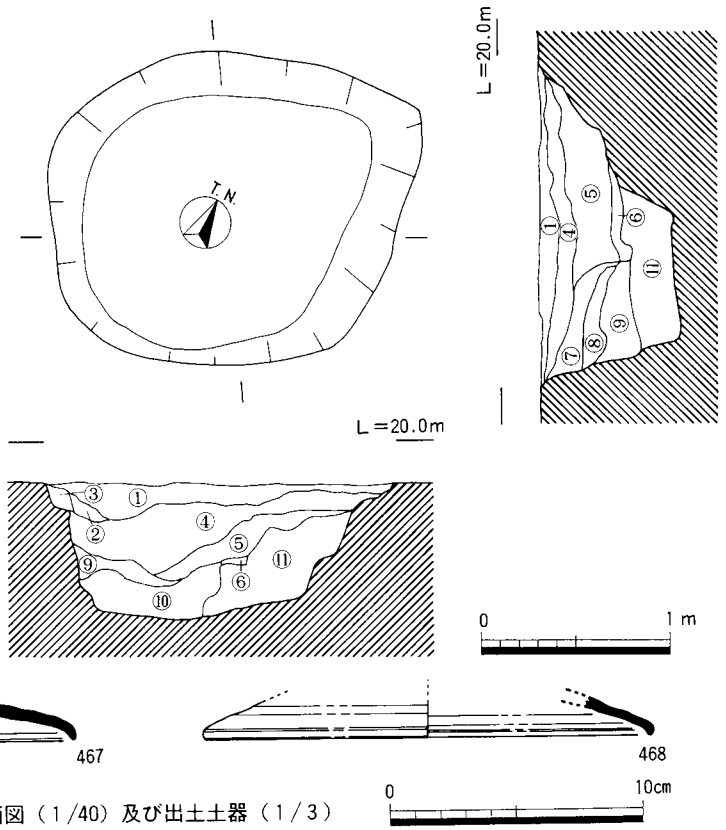


第118図 SK 1 3平・断面図(1/40)

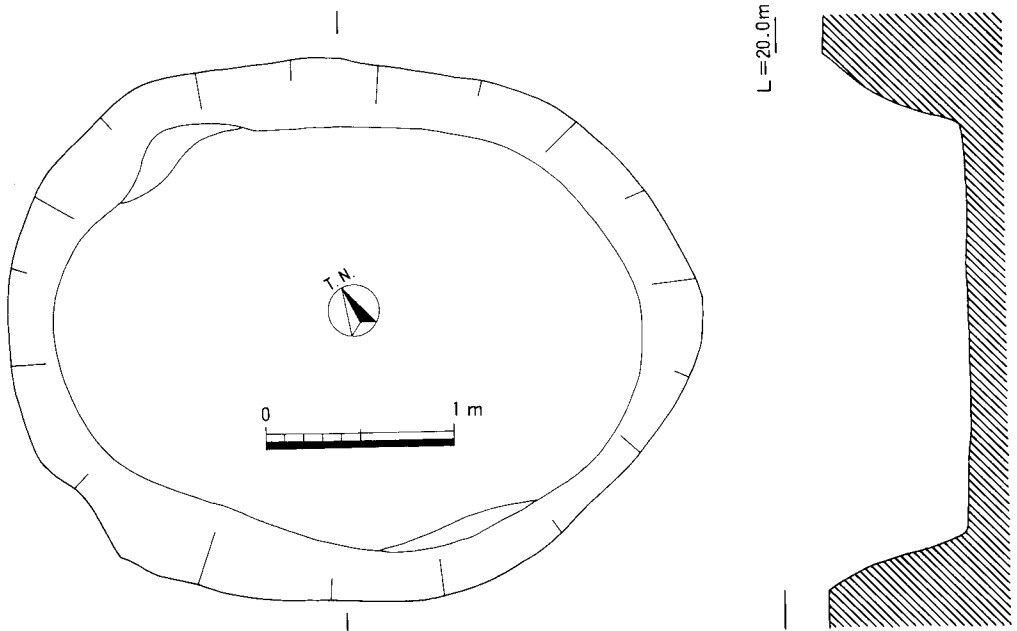
SK 8 8 (第119図)

J12区画に位置する。埋土から弥生土器、土師器及び須恵器坏蓋(467・468)が出土している。468の形態から8世紀代と考える。

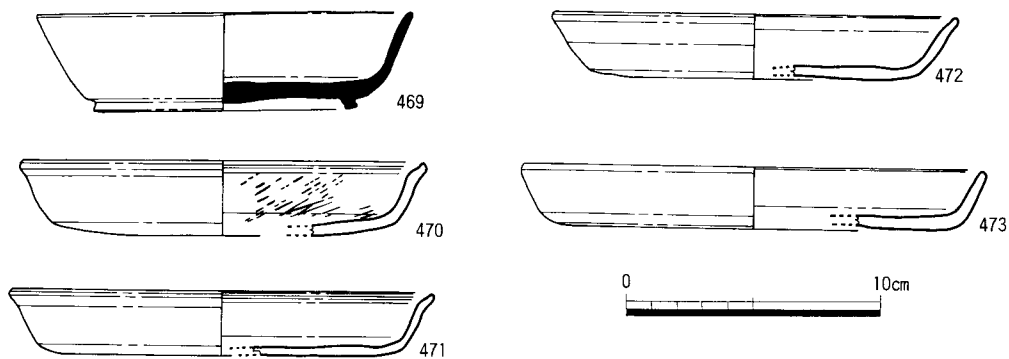
- ①暗灰茶色粘質土(礫を含む)
- ②暗灰茶色粘質土(礫を多量に含む)
- ③暗灰黄茶色粘質土
- ④暗灰茶色粘質土
(乳黄色土ブロックを含む)
- ⑤暗灰焦茶色粘質土
(乳黄色土ブロックを含む)
- ⑥黒褐色粘質土(粘性強)
- ⑦暗灰焦茶色粘質土
- ⑧暗灰焦茶色粘質土
(乳黄色土ブロックを含む)
- ⑨乳黄色粘質土
- ⑩黒褐色粘質土(粘性強)
- ⑪乳黄色粘質土
(黒褐色粘質土ブロックを含む)



第119図 SK 8 8 平・断面図(1/40)及び出土土器(1/3)



第120図 SK 8 9 平・断面図(1/40)



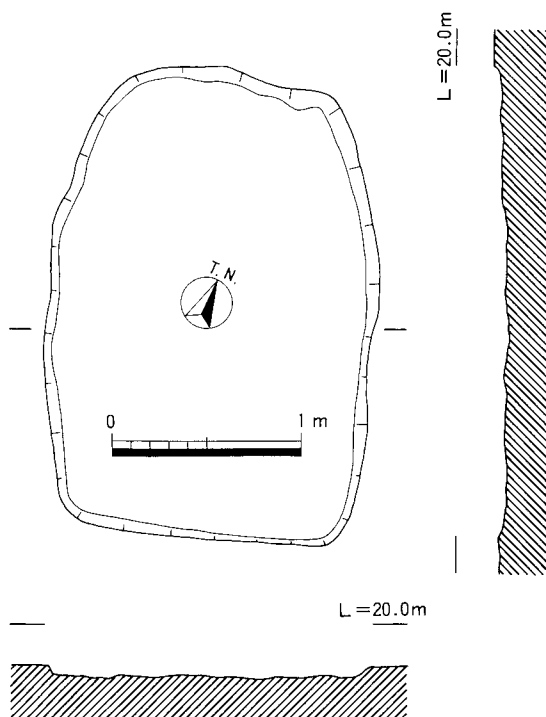
第121図 SK 89 出土土器 (1/3)

SK 89 (第120・121図, 図版28)

J12区画に位置する。底面は砂礫層に達しているので、井戸の可能性はある。埋土から弥生土器、須恵器高台付坏 (469), 土師器皿 (470~473) が出土している。470・471の口縁端部は巻き込みを呈し、470には散発的に暗文が認められる。469の形態から8世紀代に比定され、他の資料も矛盾しない。

SK 90 (第122図)

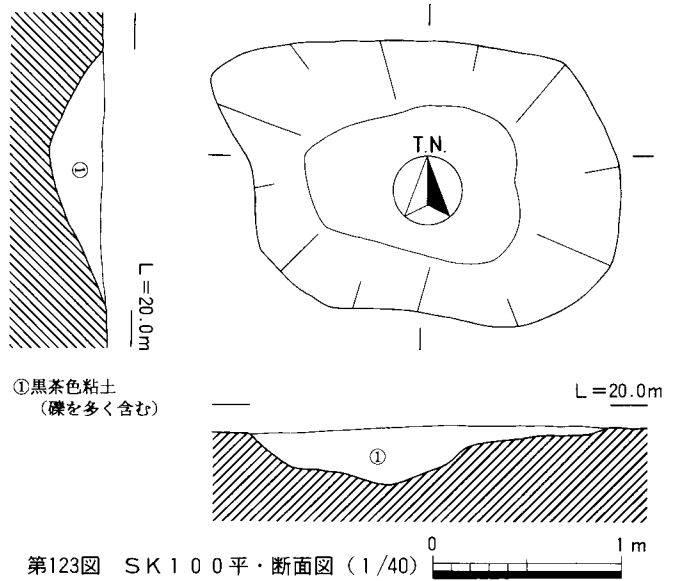
J12区画に位置する。SB 5 2 より新しいと考えるが、埋土はSB 5 2 の柱穴埋土と同じ黒褐色粘質土であることから新旧関係には疑問が残る。埋土からは弥生土器及び須恵器が出土している。



第122図 SK 90 平・断面図 (1/40)

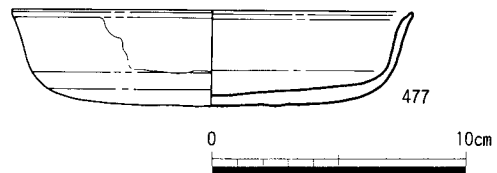
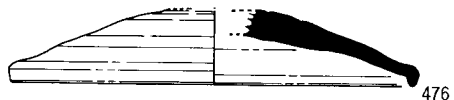
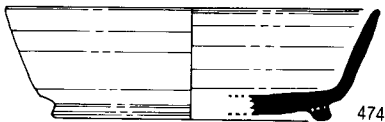
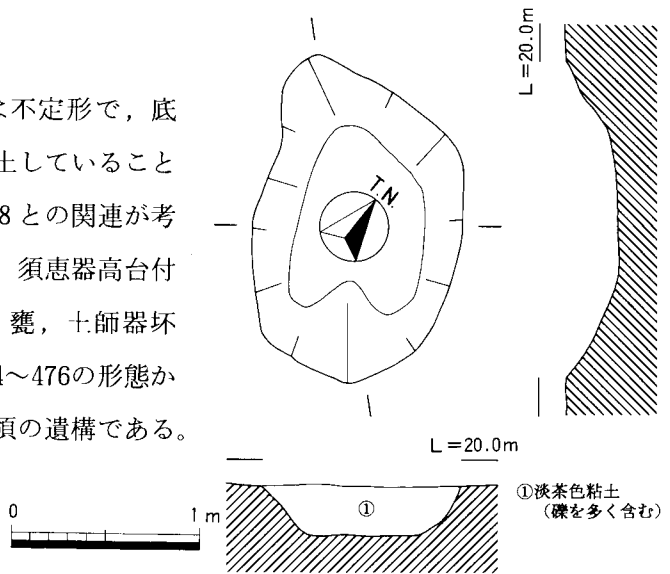
SK100 (第123図, 図版29)

K13区画に位置する。平面形は不定形で、底面も凹凸がある。埋土は黒茶色粘質土であるが、底面付近は漸次色に変化して、基盤層の灰黄色粘質土へと変化している。埋土からは弥生土器及び土師器の破片と須恵器坏蓋・高台付坏等が出土している。奈良時代頃の遺構である。



SK101 (第124図, 図版29)

K13区画に位置する。平面形は不定形で、底面も凹凸がある。土器小片が出土していることから廃棄土坑であろう。SB58との関連が考えられる。埋土からは弥生土器、須恵器高台付坏 (474・475)・坏蓋 (476)・甕, 土師器坏 (477)・竈が出土している。474~476の形態から8世紀代と考える。奈良時代頃の遺構である。



第124図 SK101平・断面図 (1/40) 及び出土土器 (1/3)

溝跡

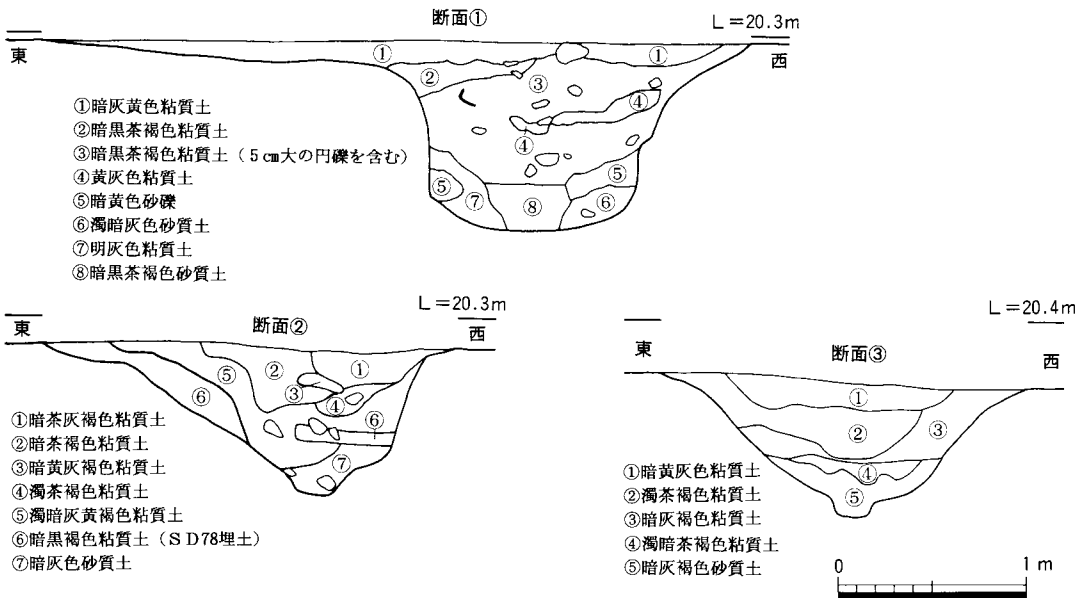
奈良時代に機能していたことが確実な溝跡はSD77とSD248である。

この2つの溝を基準にして年代を考える。

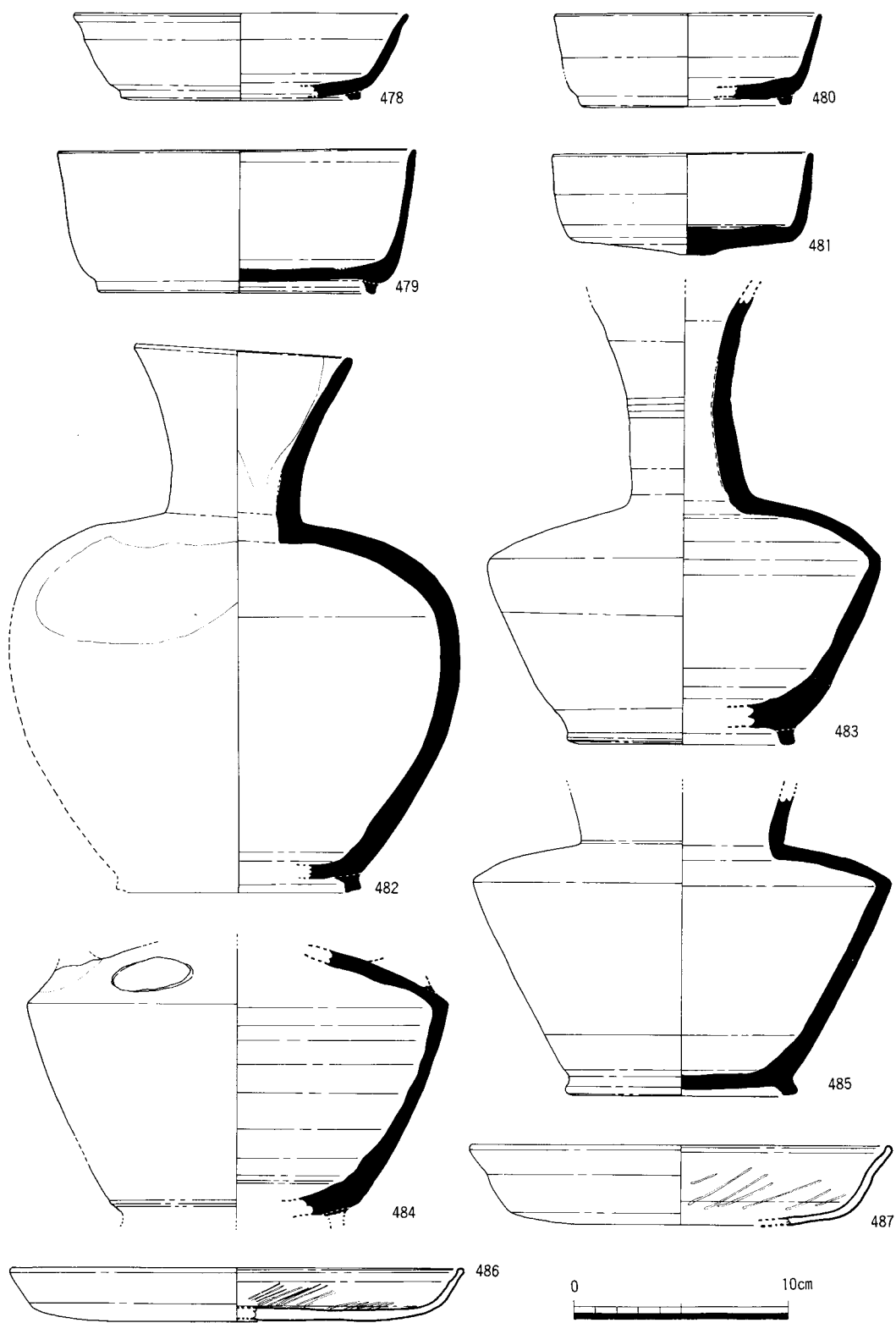
A区

SD77（第125～127図）

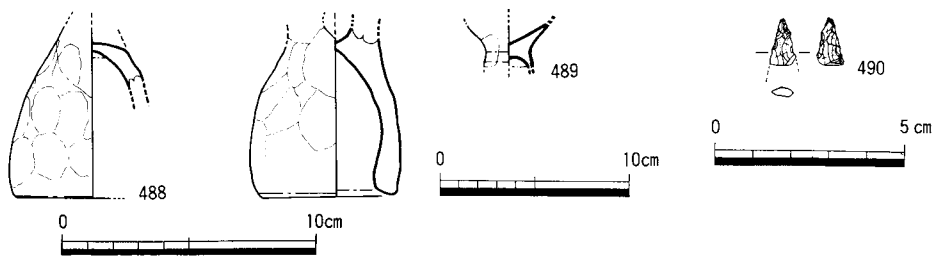
溝の規模及び方向から考えて、SD73と同じ湧水点を持つ出水状の遺構である。土層断面を観察すると、埋土は大きく3層に分かれる。下層は流水時の堆積を示す砂質土で、中層は人為的な埋没を示す礫や基盤層のブロックを含む土層で、上層は自然堆積土である。SD73との交点付近の方が中層の堆積は厚い。SD77を埋めた後にSD73が掘削されたものと考えられる。埋土からコンテナ（28リットル入り）6箱の遺物が出土しているが、弥生土器が多い。ここでは、埋没年代を示す遺物を中心に記述する。須恵器坏（478～481）、須恵器長頸壺（482～484）、須恵器広口壺（485）、土師器皿（486・487）、土師器飯蛸壺（488）、弥生ミニチュア土器（489）が出土している。484は子持ち壺である。肩部に5個の接合痕が見られるが、同溝内からは子壺は出土していない。年代は8世紀代と考える。出土遺物の年代観から、短期間の内に埋没したものと考えられる。



第125図 SD77断面図（1/40）



第126図 SD 7 7 出土土器(1) (1/3)



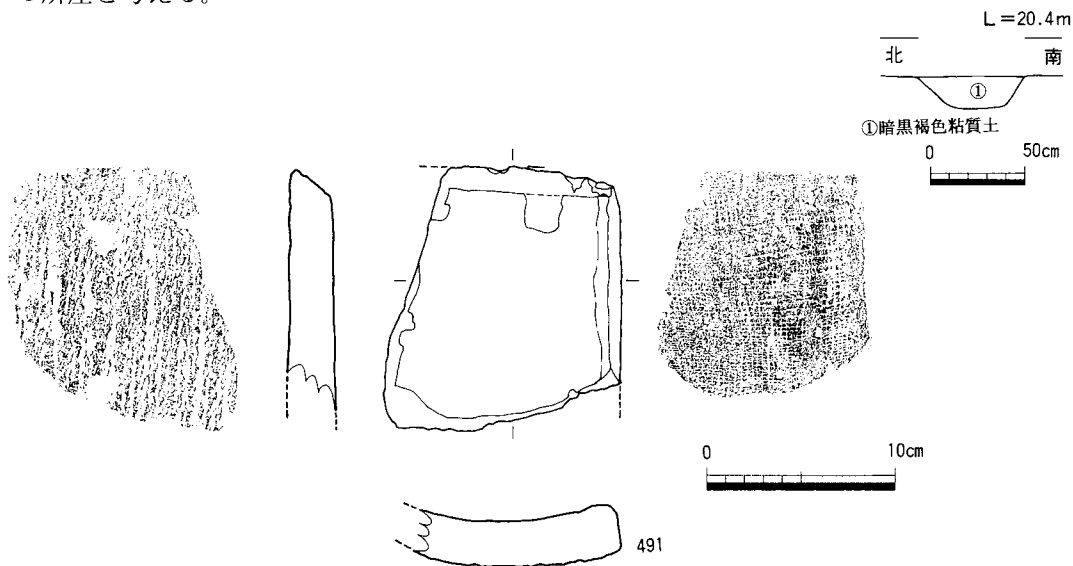
第127図 SD 7 7 出土土器(2) (1/3, 1/4) 及び石器 (1/2)

SD 1 7 (第128図)

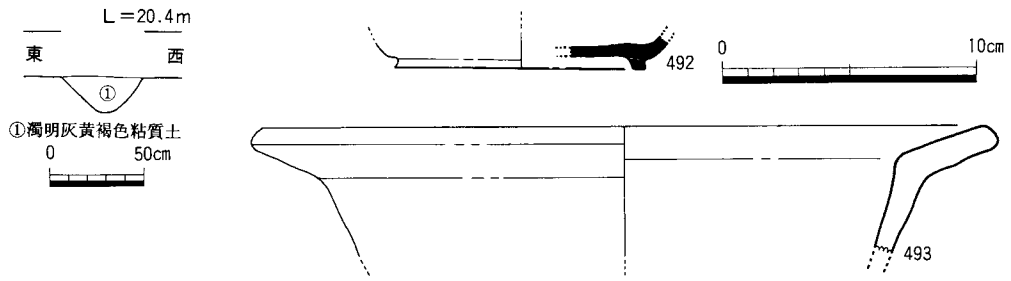
奈良時代の掘立柱建物跡群と同じ方向の溝である。埋土は茶色粘質土であり、自然堆積と考える。埋土から弥生土器、土師器、須恵器及び須恵質平瓦(491)が出土している。SD 7 5 あるいはSD 9 1 がその延長と考えられる。

SD 3 0 (第129図)

奈良時代の掘立柱建物跡群と同じ方向の溝跡である。埋土は茶色粘質土である。自然堆積と考える。埋土から弥生土器、土師器(赤彩皿を含む)及び須恵器が出土している。遺物からは埋没年代が奈良時代と考えることができること、奈良時代の掘立柱建物跡と同じ方向であることから掘削年代も奈良時代と考えてよいであろう。須恵器は坏(492)が、土師器は甕(493)が出土している。493は調整が摩滅して不明であるが、492同様8世紀の所産と考える。



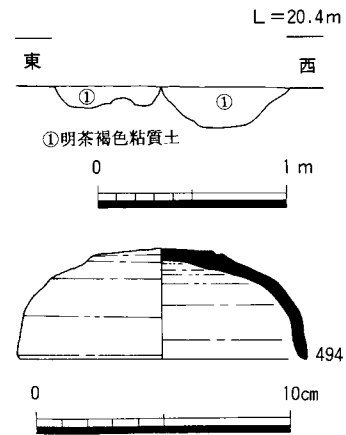
第128図 SD 1 7 断面図 (1/40) 及び出土瓦 (1/4)



第129図 SD 30 断面図 (1/40) 及び出土土器 (1/3)

SD 75 (第130図)

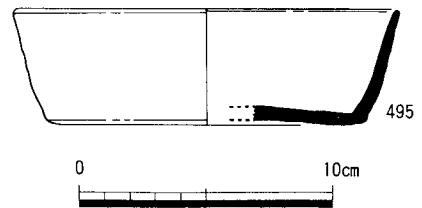
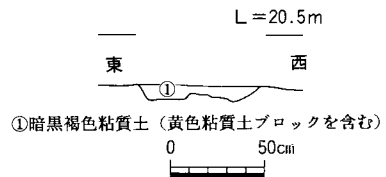
SD 77と平行しているので、同時期の溝跡と考える。SD 73より西についてはSD 17がその延長とも考えることができる。埋土から弥生土器及び須恵器が出土している。須恵器は坏蓋(494)が出土している。年代は6～7世紀と考える。



第130図 SD 75 断面図 (1/40) 及び出土土器 (1/3)

SD 80 (第131図)

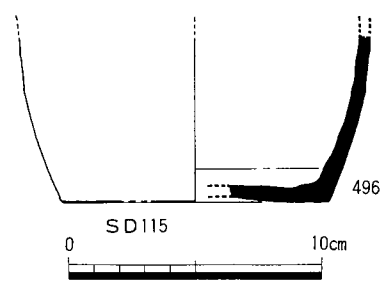
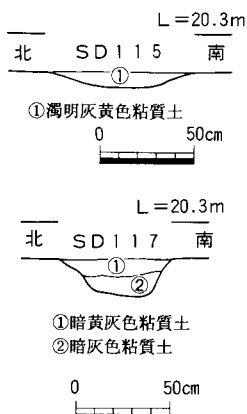
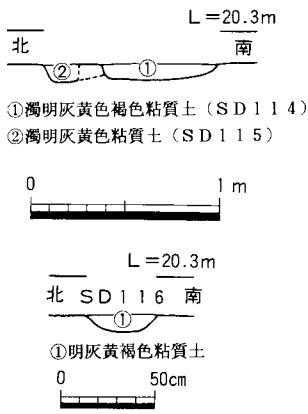
浅い溝である。SD 73の東側にはその延長を確認できない。埋土からは弥生土器、土師器及び須恵器が出土している。須恵器坏(495)が出土している。年代は8世紀代と考える。



第131図 SD 80 断面図 (1/40) 及び出土土器 (1/3)

SD 114～SD 117 (第132図)

4条の溝は並行していることから、いずれもほぼ同時期と考える。いずれの溝からも弥生土器及び須恵器が出土している。このうちSD 116はE7区画で南へ屈曲しており、SD 91とほぼ直行する方向をとることから、SD 91と同時期と考えれば平安時代頃の溝跡の可能性もある。SD 116とSD 117の埋土が大きく2層に分かれるのは、平安時代の再掘削を示すものであろう。須恵器壺底部(496)はSD 115から出土している。年代は不明である。

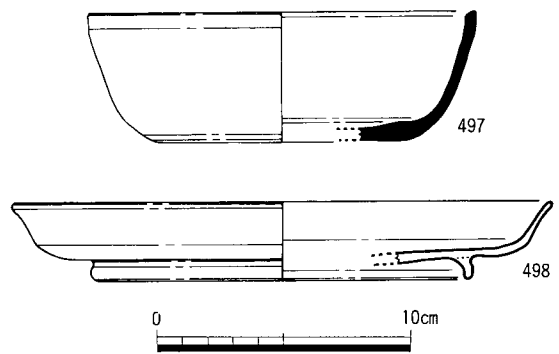


第132図 SD114～SD117断面図 (1/40) 及び出土土器 (1/3)

C区

SD190 (第133図)

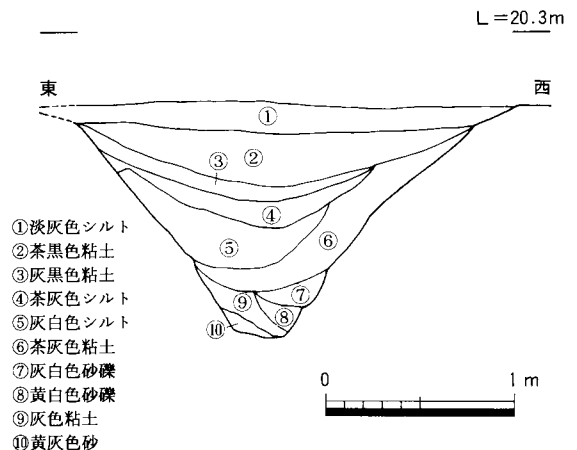
深さ20～30cmの溝跡である。埋土から弥生土器、土師器(赤彩皿含む)及び須恵器が出土している。須恵器は鉢(497)が、土師器は高台付皿(498)等が出土している。年代は8世紀代と考える。



第133図 SD190出土土器 (1/3)

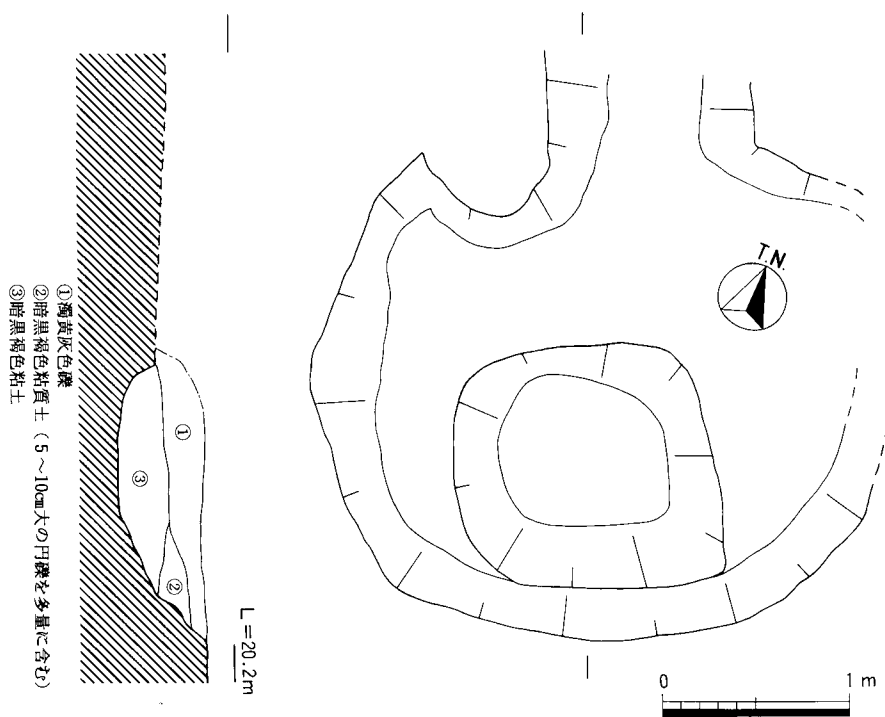
SD248 (第134～138図)

断面形が「V」字形の溝である。埋土は大きく2層にわかれ、下層は基盤層である黄色粘質土ブロックが堆積しており、上層は黒褐色粘質土が堆積している。溝の南端が土坑状に深くなっていることから、いわゆる出水状の遺構である。溝



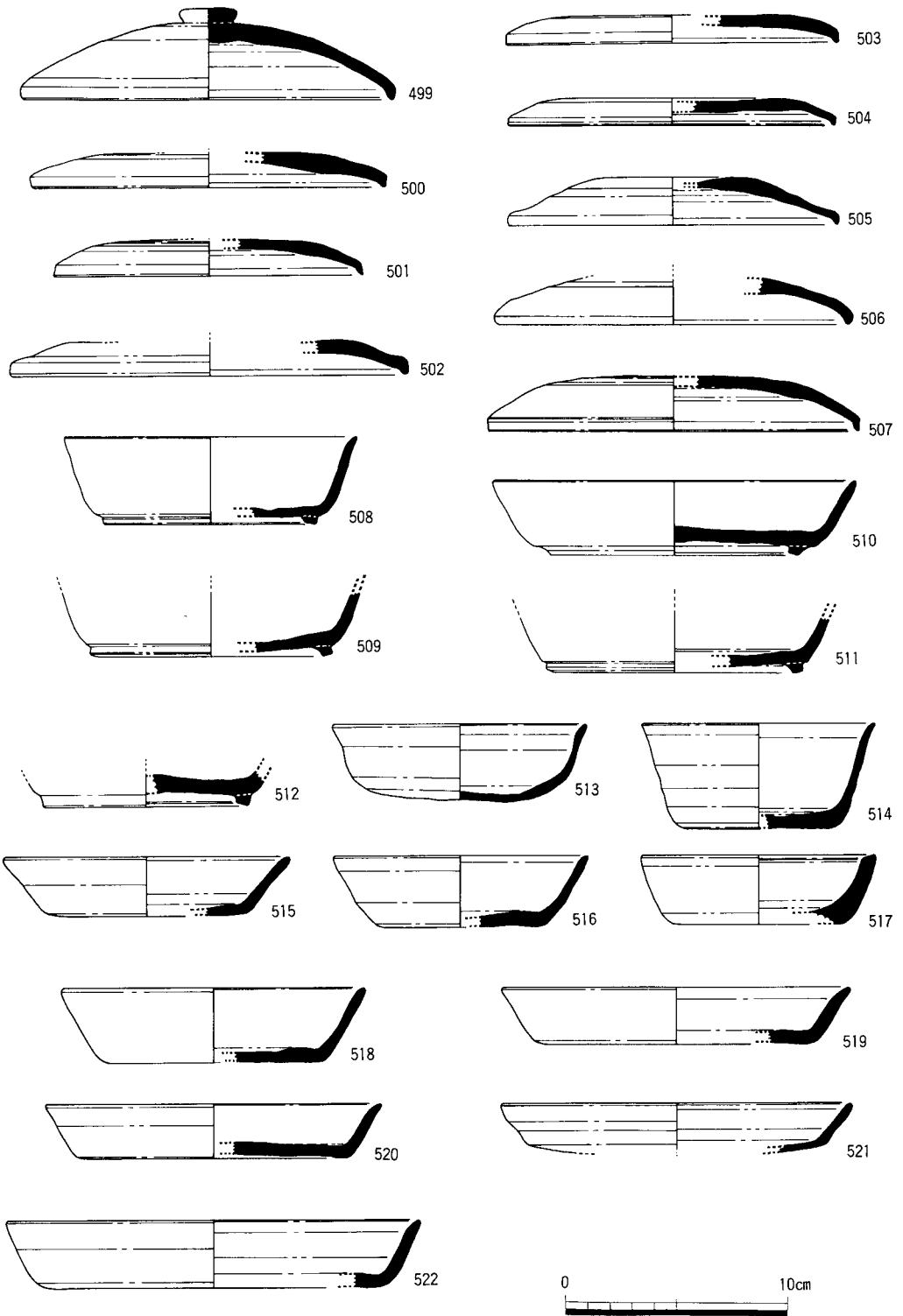
第134図 SD248断面図① (1/40)

状の部分の埋土からは弥生土器、土師器、須恵器、黒色土器、西村産瓦質土器、陶磁器、石鏃(541)および鉄器(542)等が出土しているが、奈良時代の遺物が主体である。須恵器坏蓋(499～507)、須恵器坏(508～518)、須恵器皿(519～522)、土師器甕(538)がある。須恵器坏は高台の付くもの(508～512)、付かないもの(513～518)に分けられる。

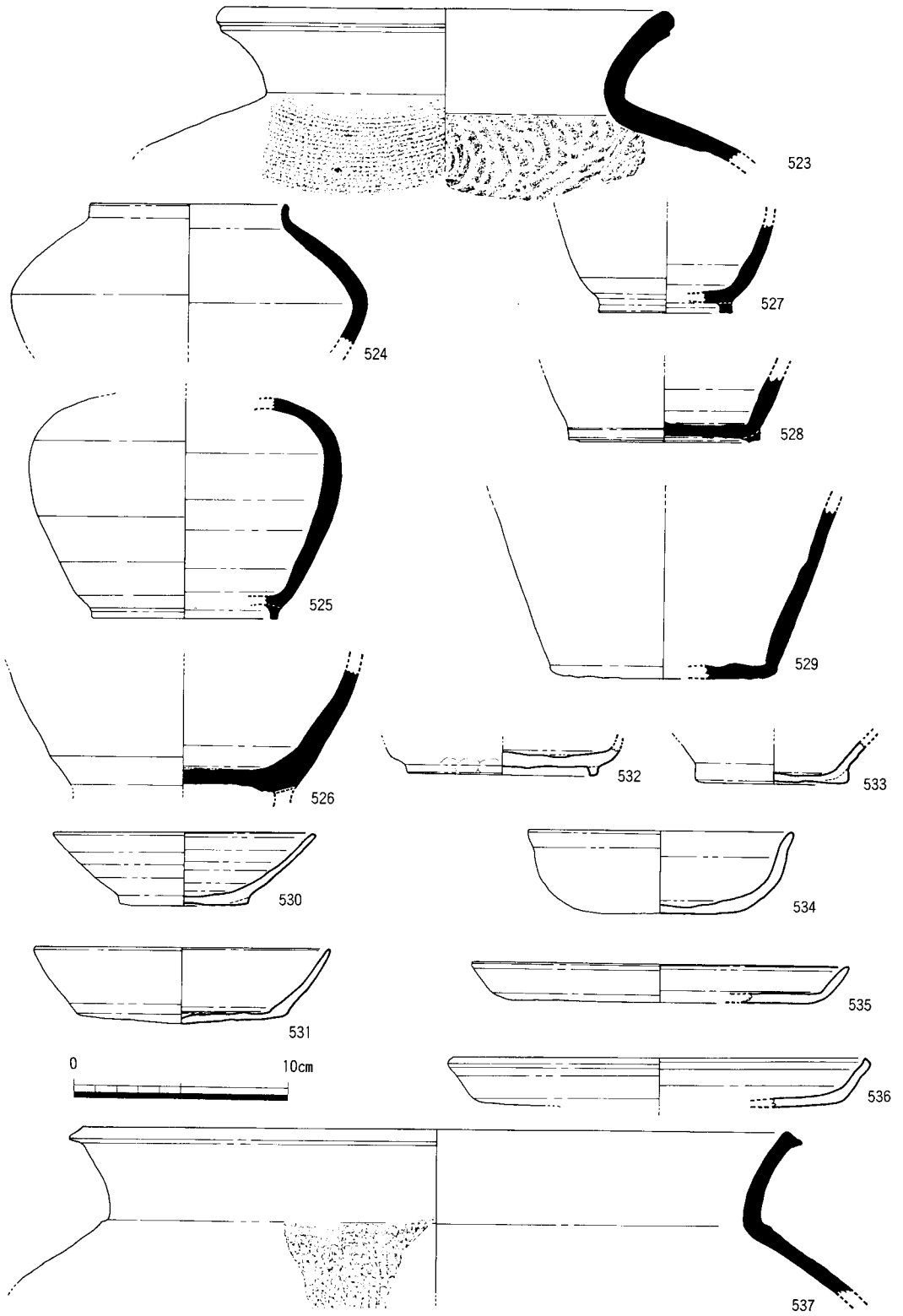


第135図 SD 248平・断面図② (1/40)

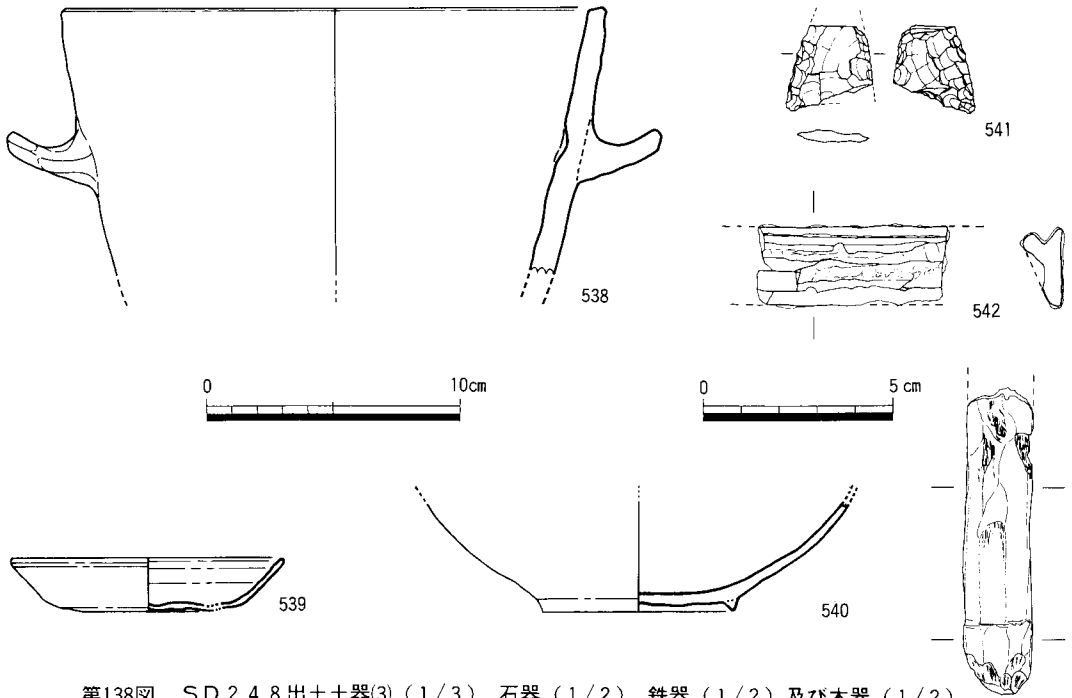
なお、515・518は坏としたほうが良い器形である。513～520の底部はヘラ切りである。年代は8世紀代を中心として、一部9世紀に入るものとする。須恵器壺(523～529)、土師器坏(530～533)、土師器椀(534)、土師器皿(535・536)、亀山焼甕(537)も出土している。530・533は所謂「切り高台」である。542は鉄鋤先と考える。土坑状の部分からは弥生土器、土師器、須恵器、黒色土器、サヌカイト剥片及び木製品(543)が出土している。539は土師器坏である。540は黒色土器である。539の底部はヘラ切りである。540は内外面摩滅している。黒色土器はその年代観からして9世紀～10世紀頃である。平安時代の遺物はこの溝の最終埋没時に帰属するものとする。



第136图 SD 2 4 8 出土土器(1) (1/3)



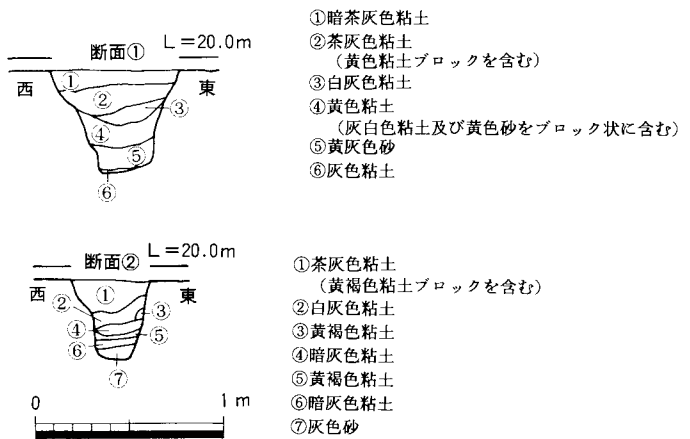
第137图 SD 2 4 8 出土土器(2) (1/3)



第138図 SD 248 出土土器(3) (1/3), 石器 (1/2), 鉄器 (1/2) 及び木器 (1/2)

SD 250 (第139図)

方向がSD 248と並行することから、同時期と考える。埋土からは、土師器（赤彩皿含む）及び須恵器が出土している。



第139図 SD 250 断面図 (1/40)

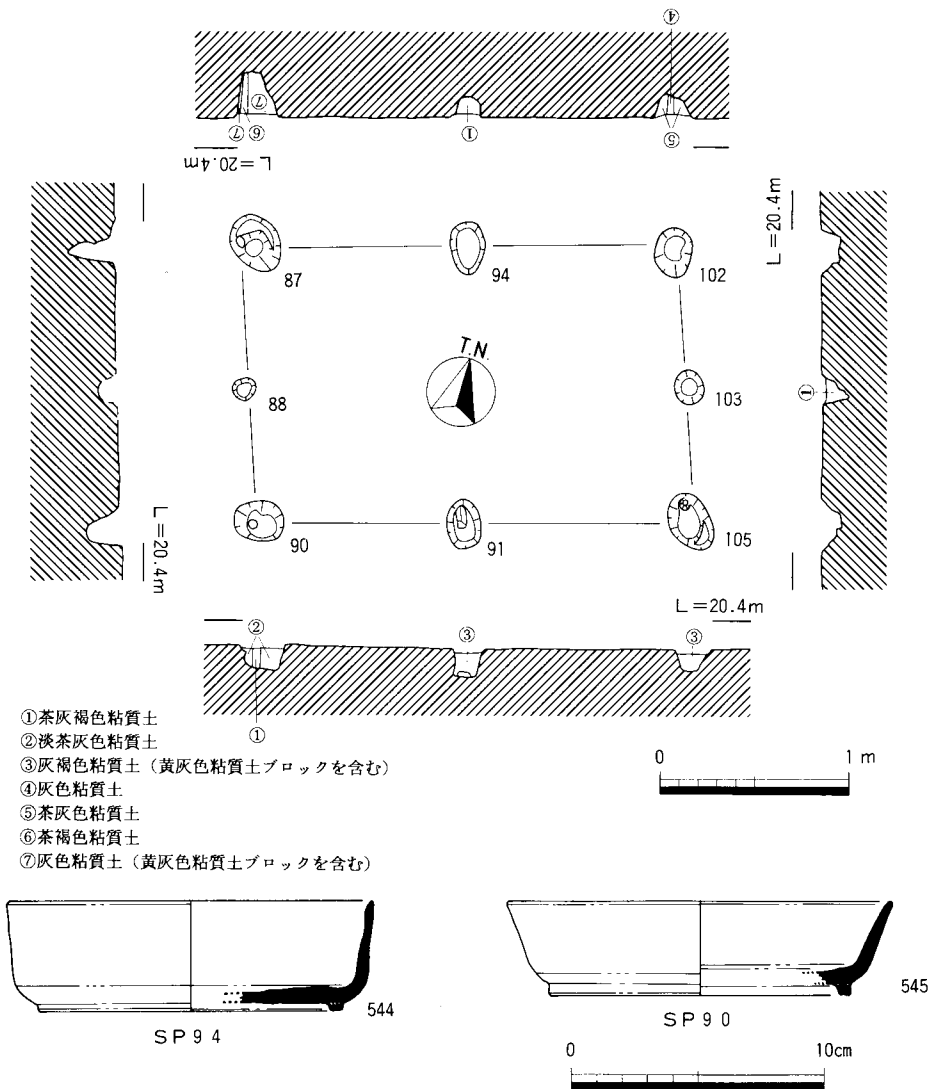
平安時代

遺構は大半がA区に位置する。

掘立柱建物跡

SB12 (第140図, 図版30)

B4区画に位置する。1間の長さは、短辺と長辺でかなり差がある。柱穴は平面形が不整形を呈し、径は約40cm、深さは約30cmである。埋土は茶灰色粘質土である。柱穴からは弥生土器及び須恵器が出土している。須恵器は高台付坏(544・545)が出土している。形態から8世紀代と考える。建物の方位がSB26・27と同じであることから、平安時代と考える。



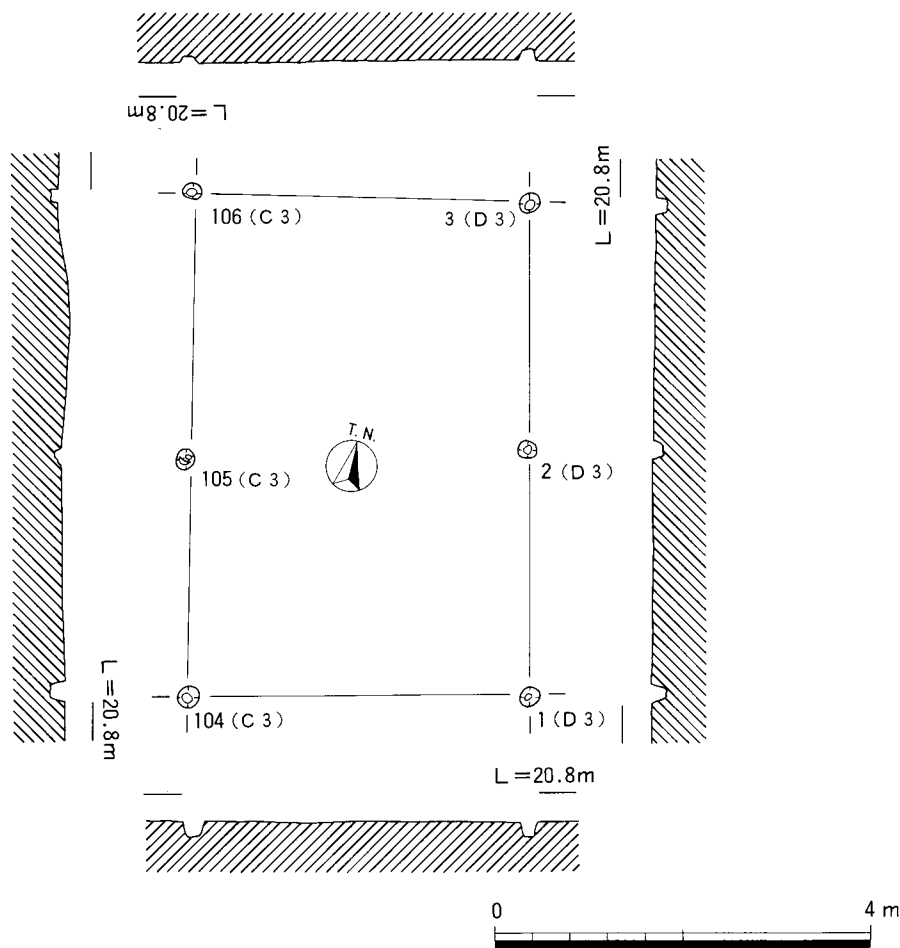
第140図 SB12平・断面図(1/80)及び出土土器(1/3)

SB 17 (第141図, 図版30)

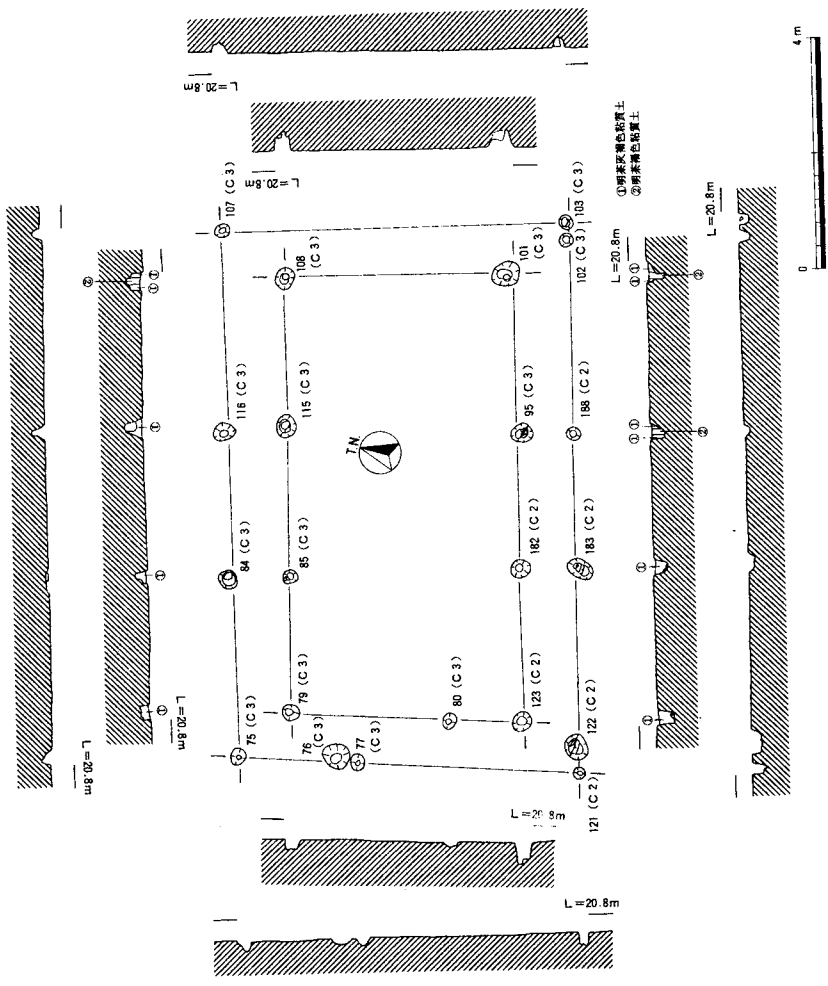
C2・C3区画に位置する。長辺の柱穴の間隔は不規則である。柱穴は平面形が不整円形を呈し、大きさは径約30cm、深さは約20cmである。埋土は明茶灰褐色粘質土である。柱穴からは、弥生土器、土師器及び須恵器が出土している。建物の方位が平安時代に機能していたSD73と同じであることから、平安時代の建物と考えることができる。

SB 20 (第142・143図, 図版31)

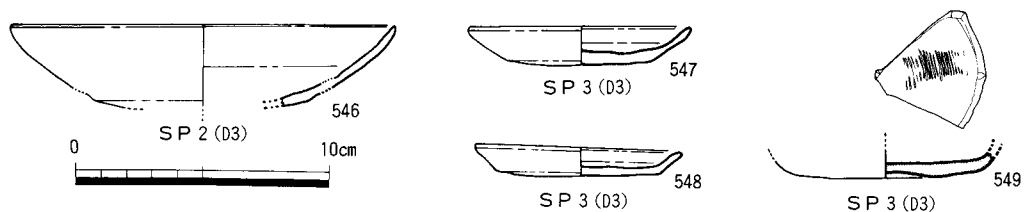
C3・D3区画に位置する。SB 17に隣接して建てられている。主軸の若干のズレはあるものの、併存していたと考える。柱穴は平面形が円形を呈し、大きさは径約20cm、深さは約15cmである。埋土から弥生土器、土師器及び中国産青磁皿が出土している。土師器小皿547・548は底部へラ切り、546は不明である。549は内面に楯描が認められることから同安



第142図 SB 20 平・断面図 (1/80)



第141圖 SB17平・断面圖 (1/80)



第143図 SB20出土土器(1/3)

窯系である。年代は549が12世紀代と考えられ、546～548の資料とも矛盾しない。

SB21 (第144図, 図版20)

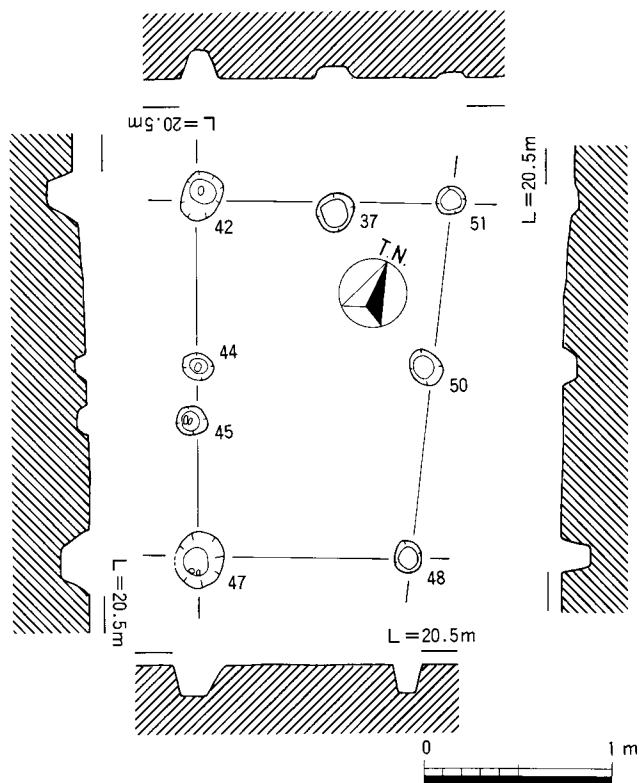
C3区画に位置する。平面形は台形状を呈している。柱穴は平面形が円形を呈し、径は30cm、深さは約30cmである。柱穴から弥生土器、土師器及び須恵器が出土している。建物の方向がSB17とほぼ同じであることから、平安時代と考える。

SB26 (第145図, 図版31)

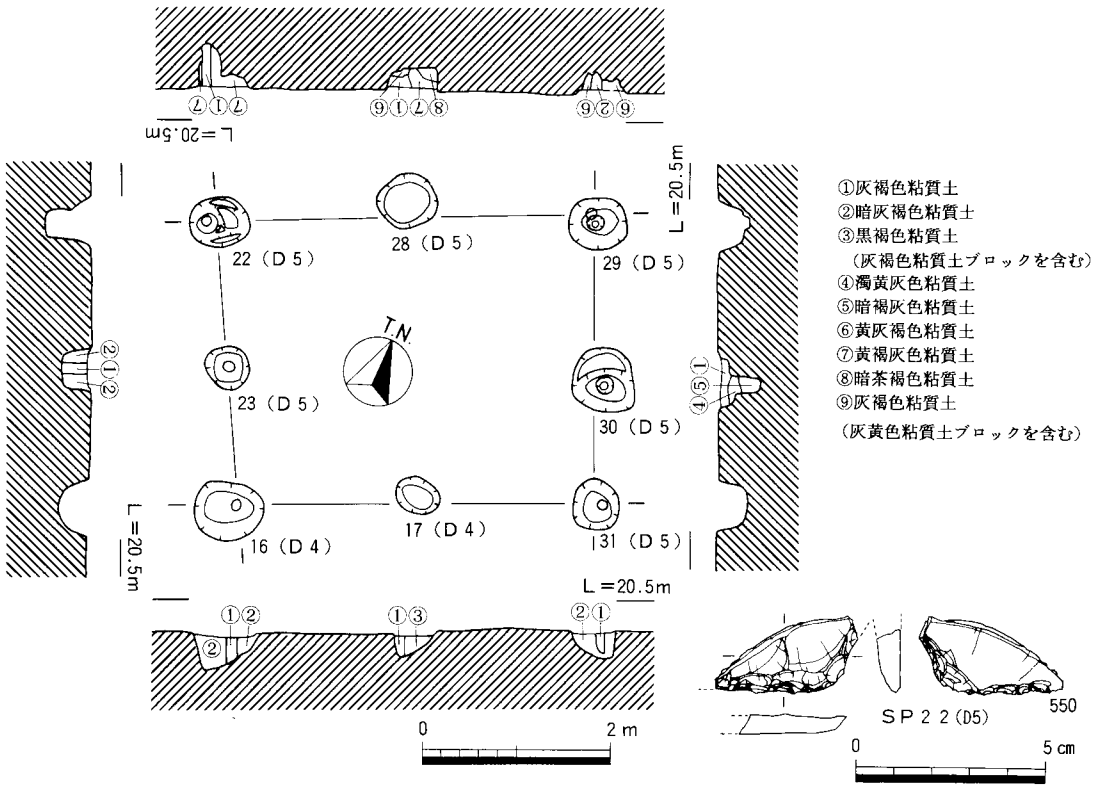
D4・D5区画に位置する。柱穴は平面形が不整円形を呈し、大きさは径が約60cm、深さが約40cmである。埋土は、灰褐色粘質土である。

SD77が奈良時代に埋没した後

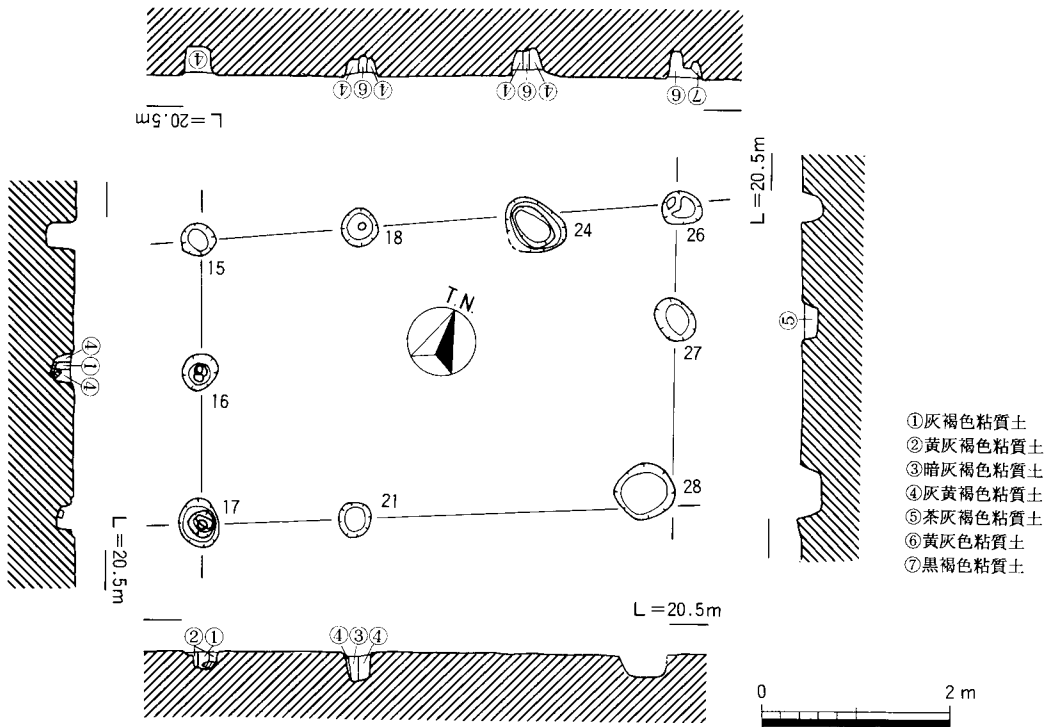
に建てられたものである。SB27との新旧関係は不明であるが、建物の方位が全く同じであることから、SB27と近接した時期と考える。柱穴からは、弥生土器、土師器、須恵器及び石包丁破片(550)が出土している。



第144図 SB21平・断面図(1/80)



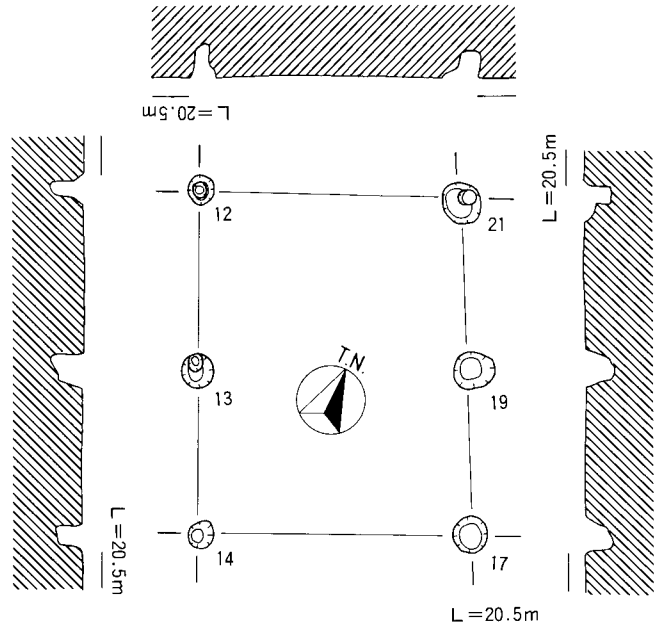
第145図 SB 2 6 平・断面図 (1/80) 及び出土石器 (1/2)



第146図 SB 2 7 平・断面図 (1/80)

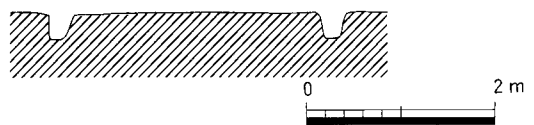
SB 2 7 (第146図, 図版31)

D5区画に位置する。柱穴は平面形が不整円形を呈し、大きさは径が約24~42cm, 深さが約15cmである。埋土は、灰黄褐色粘質土である。SD 7 7が奈良時代に埋没した後に建てられたものである。柱穴からは、弥生土器及び須恵器が出土している。建物の方向がSD 7 3と同じであることから、平安時代の建物と考える。

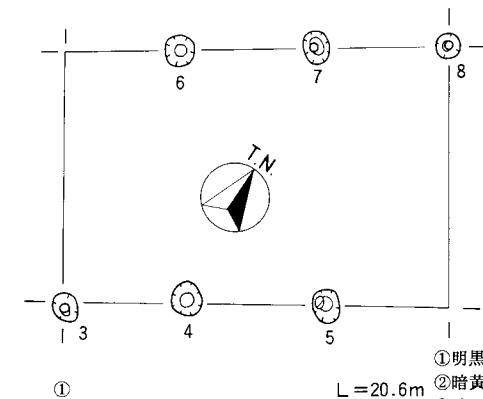
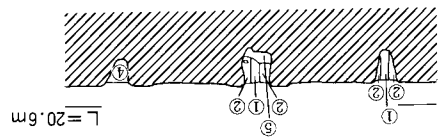


SB 2 9 (第147図; 図版32)

E5区画に位置する。柱穴は平面形が不整円形を呈し、大きさは径が約25~40cm, 深さが約20~30cmである。埋土は、不明である。柱穴から弥生土器が出土している。建物の方向及び平面形がSB 2 6に似ていることから、平安時代の建物と考える。

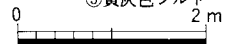


第147図 SB 2 9 平・断面図 (1/80)



- ① 明黒褐色粘質土
- ② 暗黄灰色粘質土
- ③ 暗灰色粘質土
- ④ 明黒褐色粘質土 (砂礫を含む)
- ⑤ 黄灰色シルト

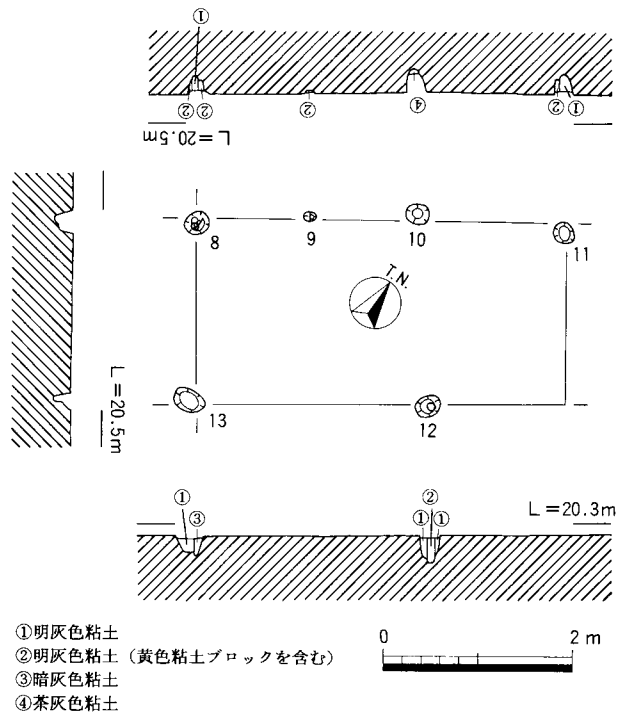
第148図 SB 3 2 平・断面図 (1/80)



F5区画に位置する。柱穴は平面形が不整円形を呈し、大きさは径約25cm~30cm, 深さは約20~30cmである。埋土は、暗黄灰色粘質土である。柱穴からは、弥生土器及び土師器が出土している。建物の方位が平安時代頃のSD 9 1と同じことと、建物の平面形から、平安時代頃の建物とする。

SB 3 4 (第149図, 図版33)

G6区画に位置する。柱穴は不整形円形を呈し、大きさは径が約20cm, 深さが約20~30cmである。埋土はSB 3 5の茶灰色系粘質土と酷似しているが, SB 3 5の埋土に比べやや明るい色である。柱穴からは, 弥生土器破片が出土したに過ぎない。建物の主軸方向はB地区の奈良時代の掘立柱建物跡群の方向と同じであるが, 柱穴があったと考えられる所に柱穴が確認できなかつたり, 柱穴が直線上からはずれたりすると奈良時代とは考えられない平面形を呈している。

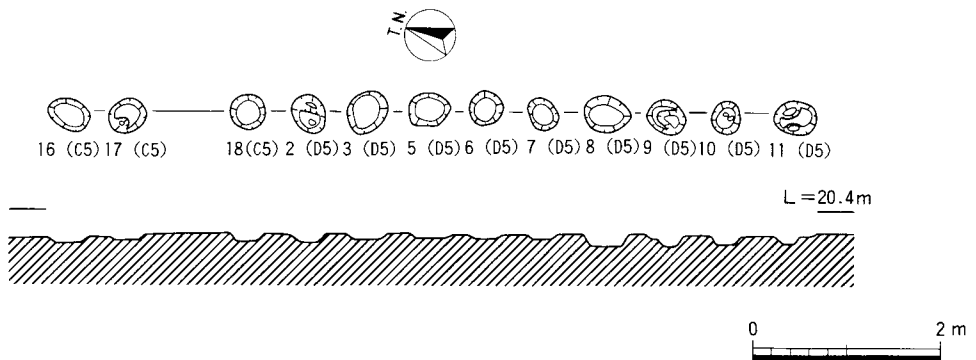


第149図 SB 3 4 平・断面図 (1/80)

平安時代頃考えられるSD 9 1と関連がある平安時代頃の建物跡とする。

SA 0 3 (第150図)

C5・D5区画に位置する。SD 7 3に並行することから同時期と考える。柱穴埋土から弥生土器, 土師器及び須恵器が出土している。



第150図 SA 0 3 平・断面図 (1/80)

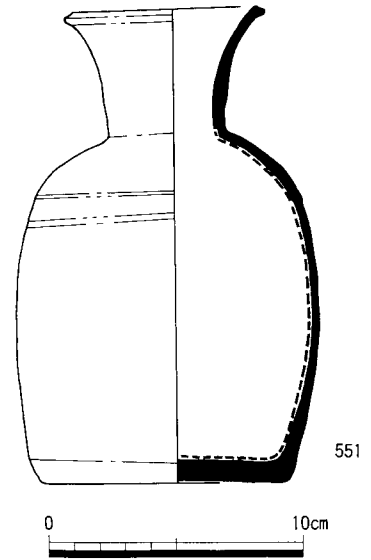
ピット

D4SP3 (第151図, 図版33)

須恵器壺 (551) が完形で出土している。

溝跡

この時期の溝跡はSD73以外は掘削及び埋没年代がはっきりしない。奈良時代に掘削された溝がそのまま平安時代に存続している例もあると考える。



SD73 (第152~156図)

SD73は湧水池部分と溝部分の堆積状況は大きく異なってみえるが、基本的には同一の埋没パターンである。埋没過程は5段階に分けられる。上層から①②③④⑤層とすると、最下層⑤層は流水時の埋没土で、砂層である。④層は円礫を多く含む暗灰色粘質土層である。この層は湧水地点に近いほど厚くなっており、溝跡の北半では存在しない。③層は基盤層の黄色粘質土ブロックを含む茶灰色粘質土である。②層は灰黒色粘質土である。①層は茶灰色粘質土である。この堆積状況から判断すれば、SD73は、④ある時点で湧水地点及びその付近を礫を含む土で埋められてその機能を停止させられ、③その後急速に自然埋没が進み(人為的な埋没の可能性もある)、②一時期完全埋没しなかった部分が湿地状になった後、①おそらく耕地として開発されたものとする。①層が耕地かどうかは問題であるが、湿地状態が解消されていることを人為的なものと解釈しておく。埋土からはコンテナ(28リットル入り)5箱の土器が出土している。また木製品も斎串・曲物等が出土している。

第151図 D4SP3出土土器
(1/3)

SD73は概報で層位ごとに出土遺物が紹介されているが、出土層位が溝の断面図に照合できない遺物がかなりあること、また溝断面写真から考えると分層発掘が困難と考えられる部分もあることから、いわゆる編年資料としての適性には問題が残ることを報告しておく。ここで、遺物取り上げ時の層位名と概報の層位名を以下に掲げる。

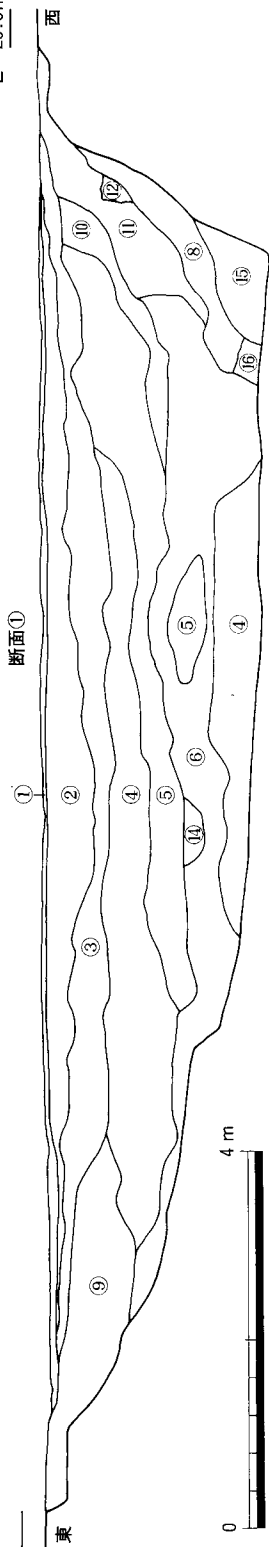
(注記上の土層)

第1層

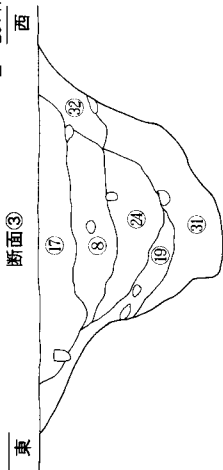
(昭和63年度概報記載土層)

第I層 明灰褐色粘質土層

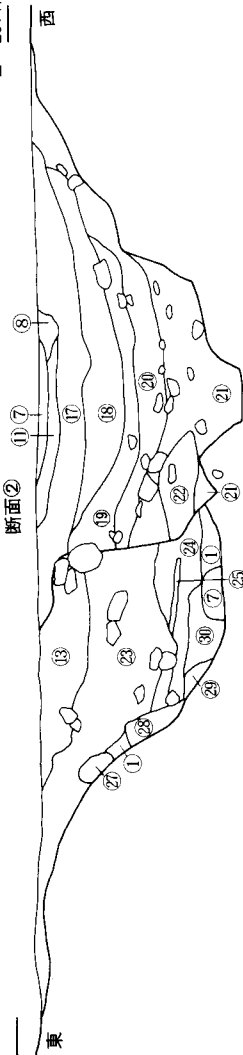
L = 20.6 m



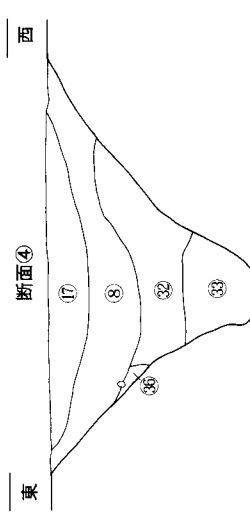
L = 20.4 m



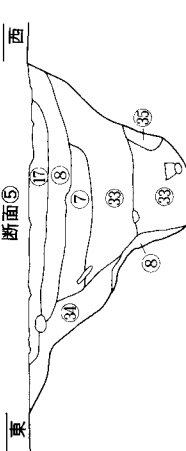
L = 20.4 m



L = 20.4 m



L = 20.4 m



- | | |
|-------------------------------|---------------------------------|
| ① 明灰褐色粘質土 | ① 暗灰褐色粘質土 |
| ② 明黄灰色砂質土 | ② 暗茶黑褐色粘質土 |
| ③ 茶褐色粘質土 | ③ 暗茶黑褐色砂質土 |
| ④ 暗灰色砂質土 | ④ 暗茶黑褐色砂質土 |
| ⑤ 暗灰色粘質土
(風化砂岩を少量に含む) | ⑤ 暗灰茶褐色粘質土
(15~20cmの団礫を含む) |
| ⑥ 暗灰色粘質土
(風化砂岩を少量に含む) | ⑥ 暗灰茶褐色粘質土
(5cm大の風化砂岩を少量に含む) |
| ⑦ 暗灰褐色粘質土 | ⑦ 暗灰褐色粘質土 |
| ⑧ 暗灰茶褐色粘質土 | ⑧ 暗灰褐色粘質土 |
| ⑨ 黒褐色粘質土 | ⑨ 明灰黄色粘質土 |
| ⑩ 明茶色粘質土 | ⑩ 濁黄灰色粘質土 |
| ⑪ 暗茶褐色粘質土 | ⑪ 明灰白色粘質土 |
| ⑫ 黄灰色粘質土 | ⑫ 暗灰褐色粘質土 |
| ⑬ 暗茶黄褐色粘質土
(15~20cmの団礫を含む) | ⑬ 暗灰褐色砂質土 |
| ⑭ 茶褐色砂質土 | ⑭ 暗灰黄色粘質土 |
| ⑮ 黒色粘土 | ⑮ 暗灰青褐色粘質土 |
| ⑯ 明灰色砂質土 | ⑯ 暗黄灰茶色粘質土 |
| ⑰ 暗黒褐色粘土 | ⑰ 暗茶灰褐色粘質土 |
| ⑱ 暗茶黄褐色粘質土 | ⑱ 黄色粘土 |

第152図 SD 7 3 断面図 (1/40)

第2層	第Ⅱ層 明黄灰色粘質土層
第3層 暗黒褐色粘質土	第Ⅲ層 茶褐色粘質土層
第4層 砂層（ぬか石多量）	第Ⅳ層 暗灰色砂質土層
第5層 暗灰褐色粘質土層	第Ⅴ層 暗灰色砂質土層（石多し）
第6層 暗灰色粘質土層	
第7層 暗灰色砂質土層	第Ⅵ層 暗灰色粘質土層
第8層 最下層（黒ベタ）	第Ⅶ層 暗灰黄色砂質土層
砂層下粘土層	

以上、多くの相違点があるが、ここでは概報記載遺物との照合の結果、左記の土層名で記述する。

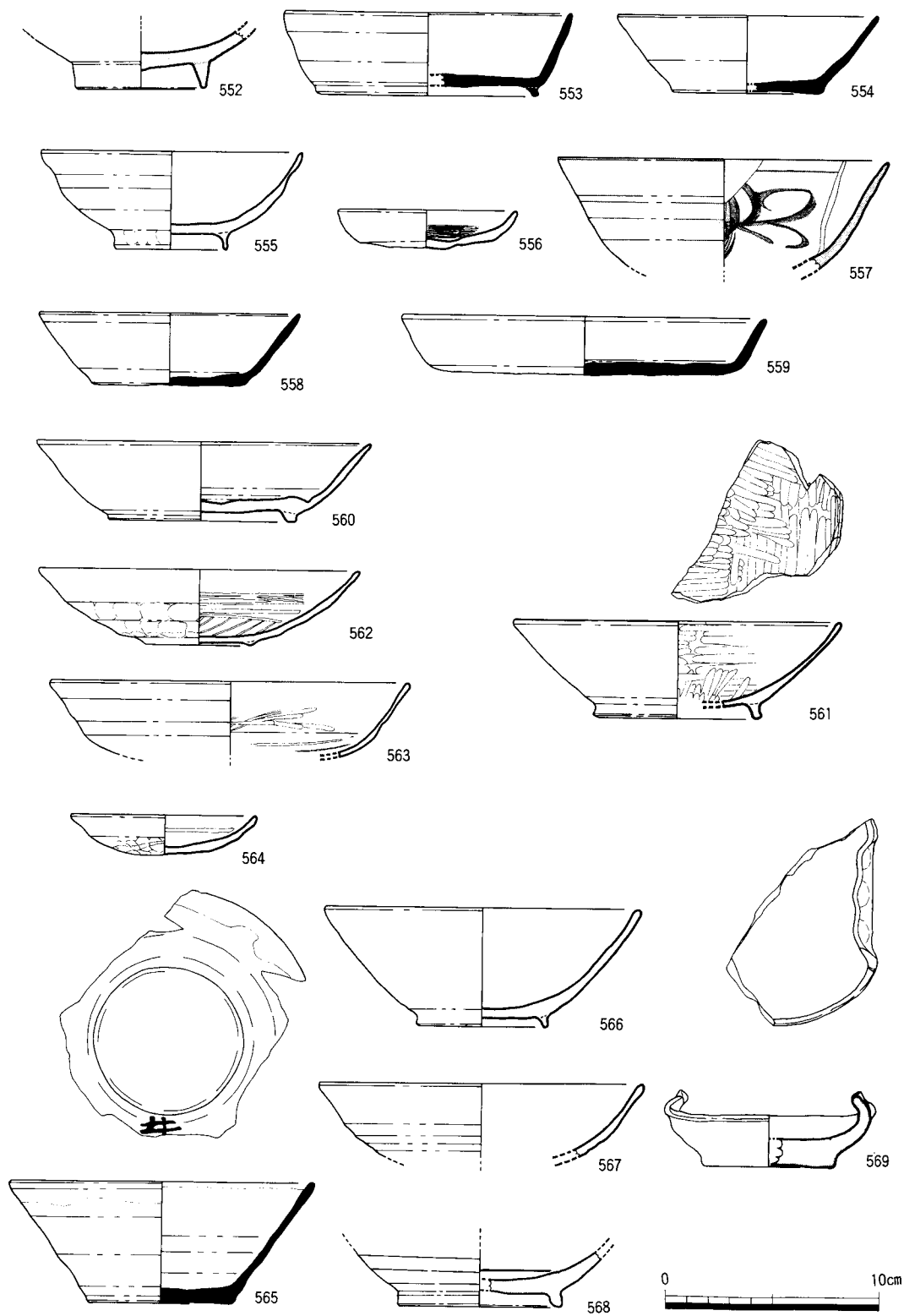
第1層 白磁碗（552）が出土している。

第2層 須恵器坏（553・554）、土師器碗（555）、瓦器小皿（556）、青磁碗（557）が出土している。年代は、553・554が9世紀初頭である。555は、早島式土器と考える。557は龍泉窯系の青磁碗で、内面に蓮華文を片切り彫りしている。釉は、灰色味を帯びた緑色を呈する。

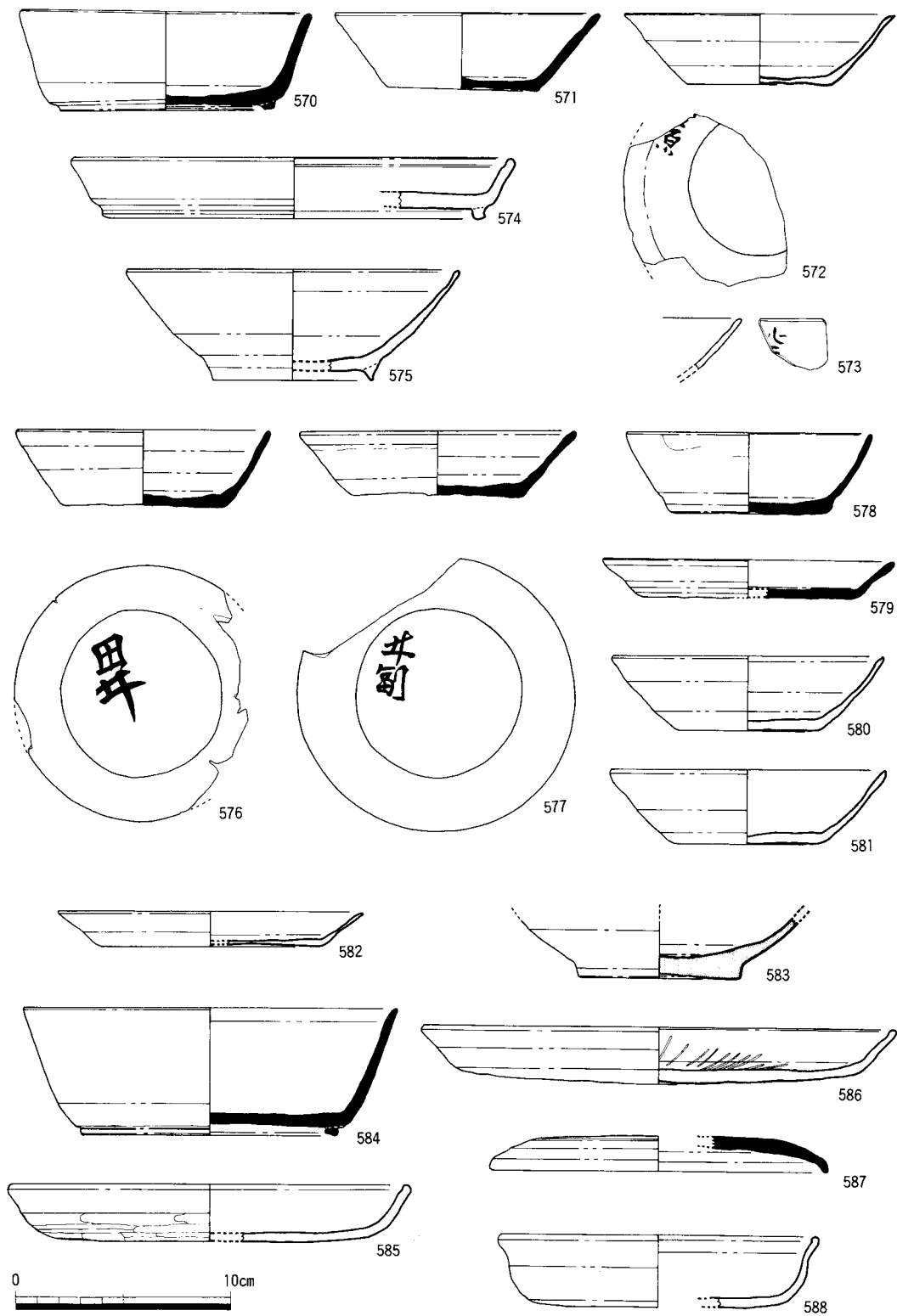
第3層 須恵器坏（558）、須恵器皿（559）、土師器高台付坏（560）、黒色土器（561）、瓦器（562～564）が出土している。年代は558・559が8～9世紀と考える。562・563は瓦器碗である。内面に粗雑な暗文が見られる。564は同小皿である。

第4層 須恵器坏（565）、黒色土器（566・567）、緑釉陶器碗（568）、緑釉陶器耳皿（569）が出土している。565は外面下半に「井」の墨書が見られる。口縁部側が欠損しており一文字で終わるかどうかは不明である。568は、高台が逆台形の削りだし高台で、釉は黄緑色を呈する。第3層出土の破片と接合した。569は耳皿で、底部は糸切りが行われている。底部以外に黄緑色の釉が施釉されている。

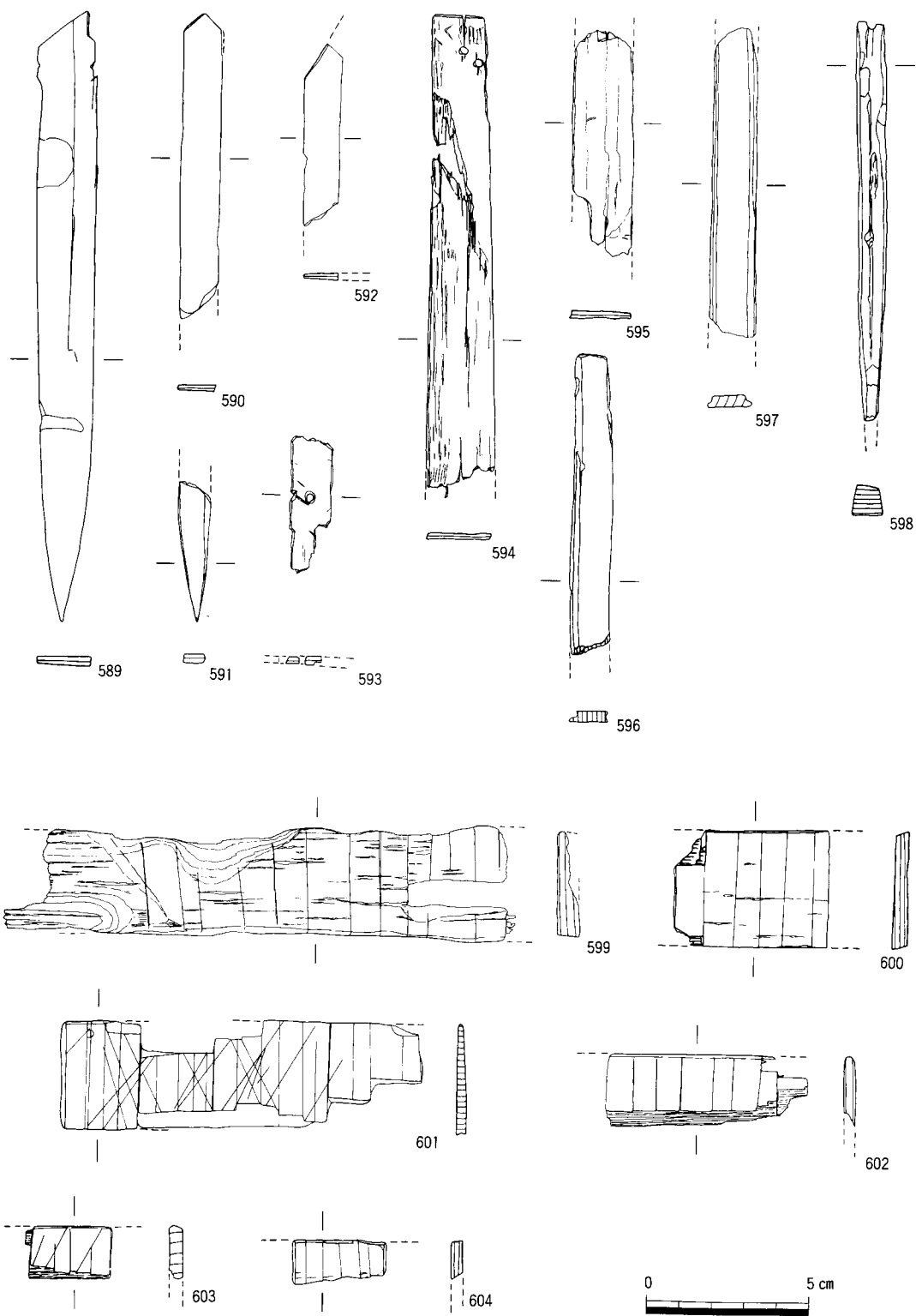
第5層 須恵器坏（570・571）、土師器坏（572・573）、土師器高台付皿（573）、土師器碗（575）が出土している。571・572とも底部はヘラ切りである。572・573には墨書がみられ、572は「○原」の墨書が見られる。年代は8～9世紀と考える。



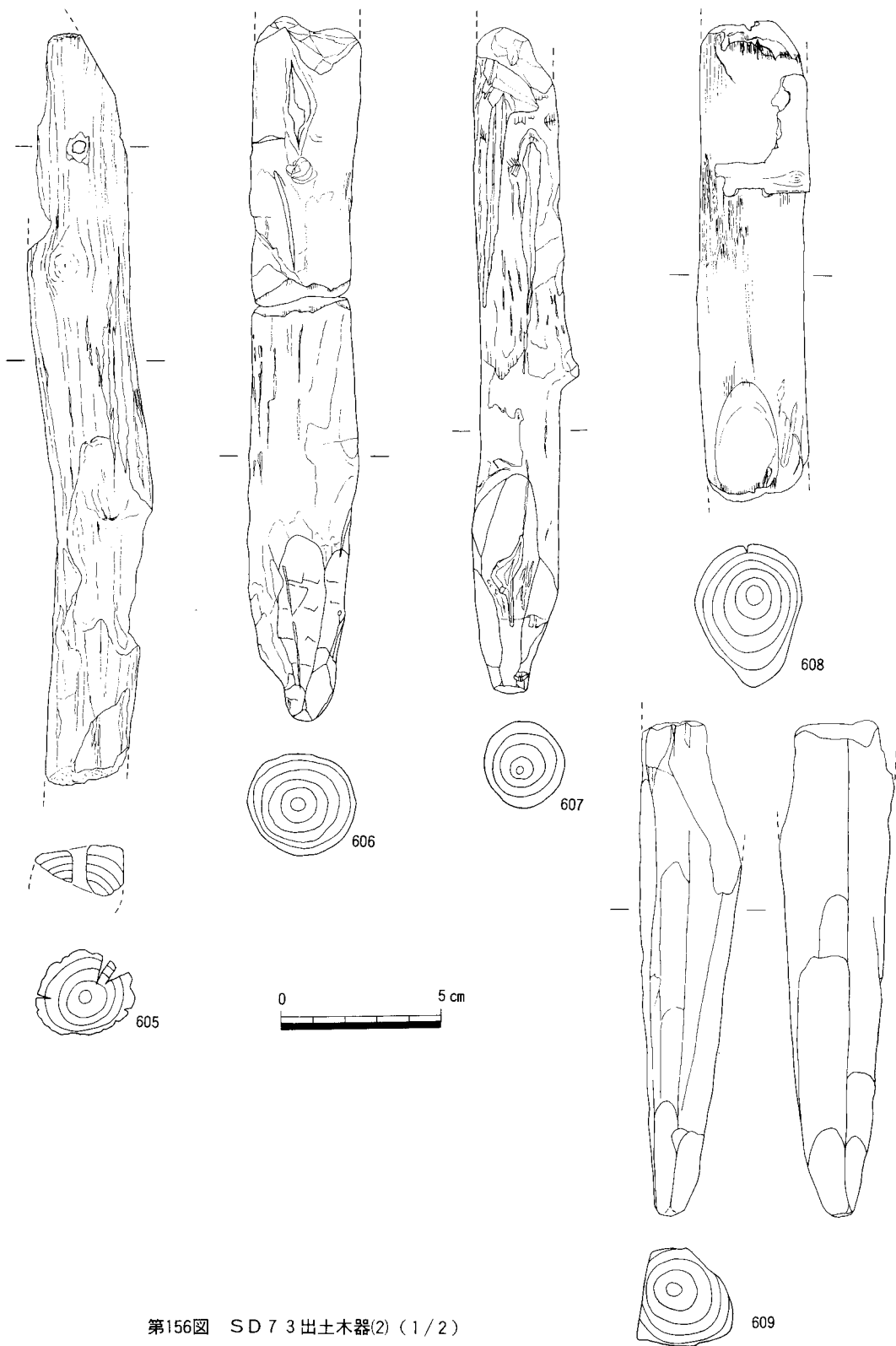
第153图 SD73出土土器(1) (1/3)



第154図 SD 7 3 出土土器(2) (1/3)



第155圖 SD 7 3 出土木器(1) (1/2)



第156图 SD73出土木器(2) (1/2)

第6層 須恵器坏 (576・577・578), 須恵器皿 (579), 土師器坏 (580・581), 土師器皿 (582), 緑釉陶器椀 (583) が出土している。576は底部外面に「田井」, 577も底部外面に「井副」の墨書がある。第4層出土の565と同様に「井」の字が含まれ, 筆順も同一である。576~581まで底部はヘラ切りである。年代は, 9世紀代と考える。

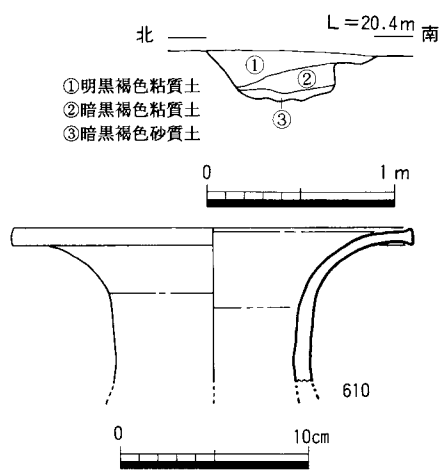
第7層 須恵器坏 (584), 土師器皿 (585・586) が出土している。586には暗文が見られる。年代は8世紀代と考える。

第8層 須恵器坏蓋 (587), 土師器坏 (588) が出土している。年代は8世紀代と考える。

以上のことから, 第7層・第8層遺物が8世紀代, 第4~6層遺物が9世紀代, 第2層・第3層が13世紀頃に比定される。このことは, 掘削年代が奈良時代で, 最終埋没が鎌倉時代後半を意味し, 集落が営まれた年代に相応する。

SD 9 1 (第157図)

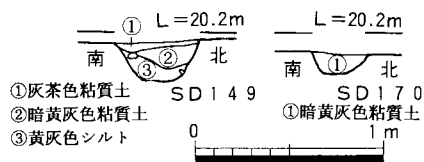
埋土から弥生土器及び須恵器が出土している。弥生土器は壺 (610) が出土している。埋土は大きく2層に分かれることから, 2度の掘削が行われたと考えられる。おそらく最初は奈良時代に掘削され, 2度目は平安時代に掘削されたと考えられる。この溝跡のほかにもSD 1 5 3及びSD 1 5 4も, 方向が奈良時代の掘立柱建物跡と同じ方向であり, 埋土も黒褐色であることから奈良時代に掘削された可能性がある。



第157図 SD 9 1断面図 (1/40) 及び出土土器 (1/4)

SD 1 4 9・1 6 0・1 7 0 (第158図)

奈良時代の掘立柱建物跡より新しいことから平安時代としたが, 溝の形態からは奈良時代より古い溝である可能性が考えられる。埋土からは弥生土器, 土師器, 須恵器及びサヌカイト剥片が出土している。



第158図 SD 1 4 9・1 7 0断面図 (1/40)

鎌倉時代

鎌倉時代の遺構には掘立柱建物跡、土坑、井戸跡、溝跡及び鋤溝跡がある。掘立柱建物跡を中心とする4カ所に分かれる。

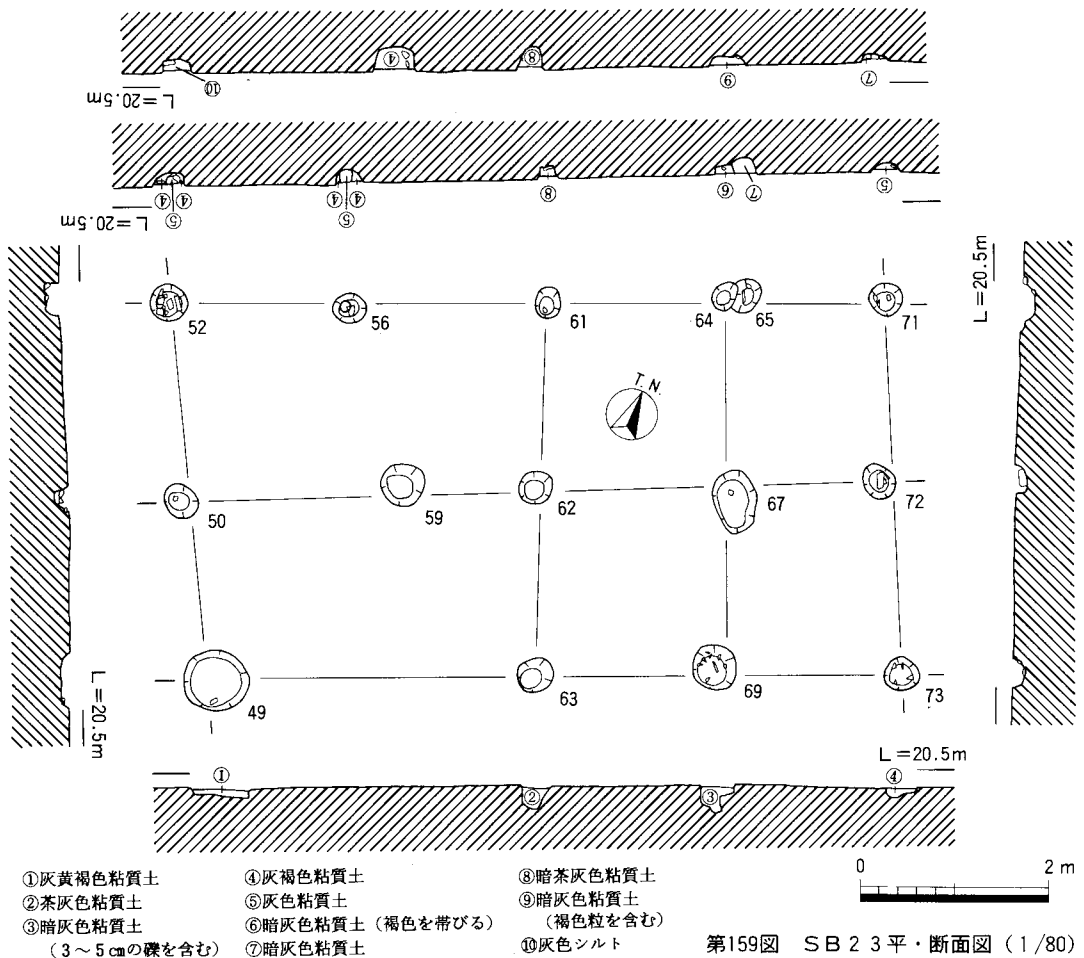
掘立柱建物跡

遺物のみで時期を判断するのは危険であるが、鎌倉時代の遺物が完形に近い形で出土したピットもここで報告する。

A区

SB 2 3 (第159図, 図版20)

C3区画に位置する。平面形は台形状である。柱穴は平面形が不整円形を呈し、径は約35cm、深さは約20cmである。埋土は基本的に灰褐色粘質土である。柱穴からは、弥生土器、土師器、須恵器及び西村産瓦質土器が出土している。SA02はこの建物に付属すると考える。出土遺物及び建物の方向から考えて、鎌倉時代の建物と考える。



SB 2 8 (第160図, 図版34)

E3・E4区画に位置する。柱穴は平面形が不整形円形を呈し、大きさはまちまちであるが、概ね径15~30cmである。埋土は、明黒褐色粘質土である。柱穴埋土から弥生土器及び土師器が出土している。

ピット

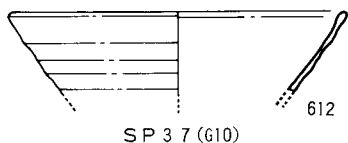
C2SP 1 4 (第161図)

土師器椀(611)が出土している。

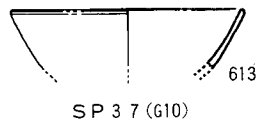
B区

SB 4 3 (第162・163図)

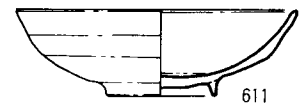
F10・G10区画に位置する。柱穴埋土から弥生土器・土師器・須恵器・西村産瓦質土器が出土している。柱穴G10SP 3 7から瓦質土器坏(612), 土師器坏(613), 土師器小皿(614)が出土している。年代は古代~中世と幅をもって考えておく。



SP 3 7 (G10)



SP 3 7 (G10)



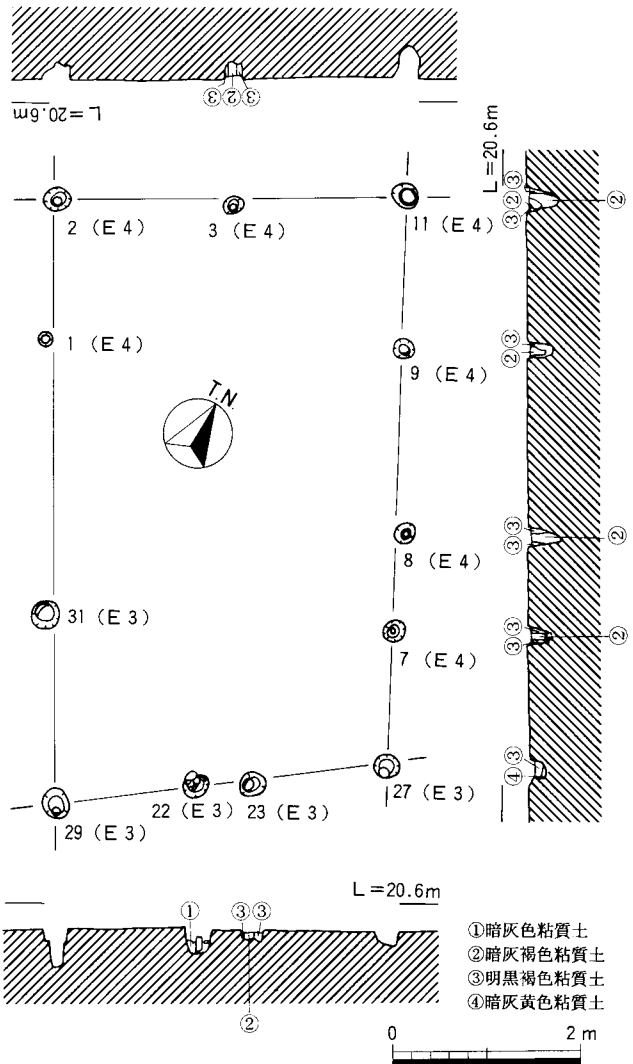
611



SP 3 7 (G10)

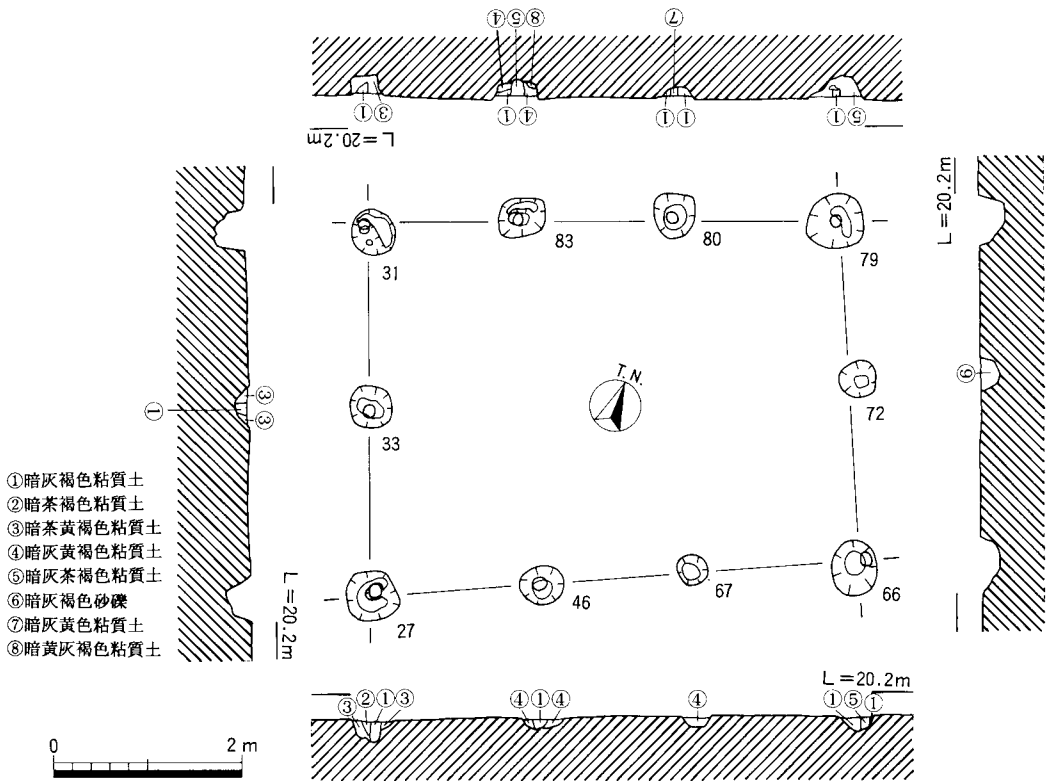
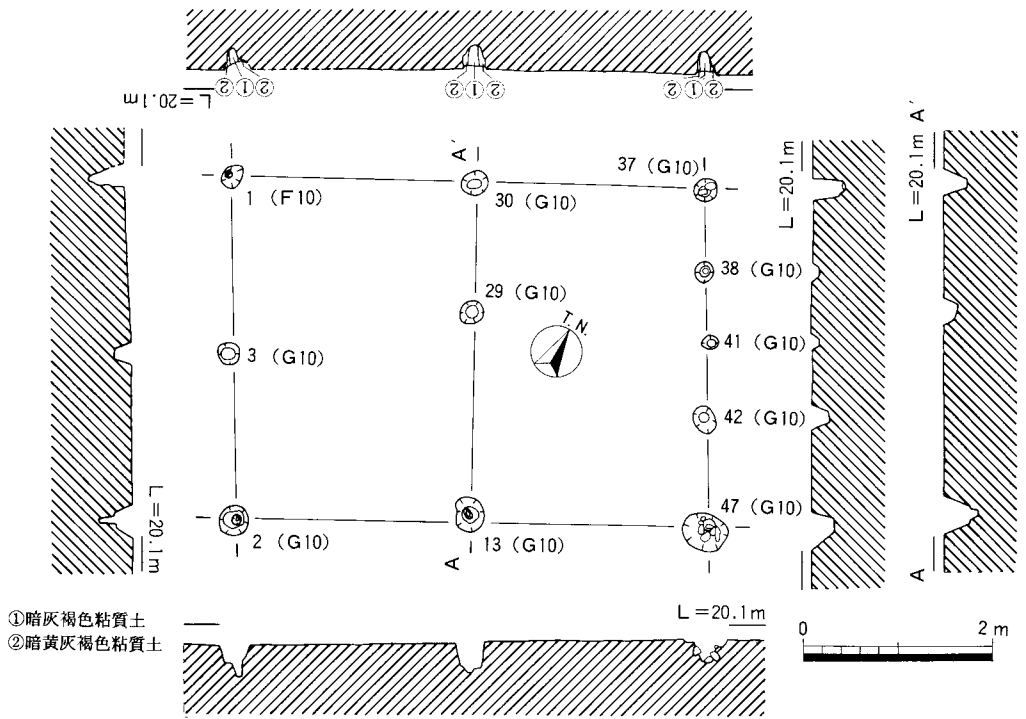
614

第162図 SB 4 3 出土土器 (1/3)



第160図 SB 2 8 平・断面図 (1/80)

第161図 C2SP 1 4 出土土器 (1/3)

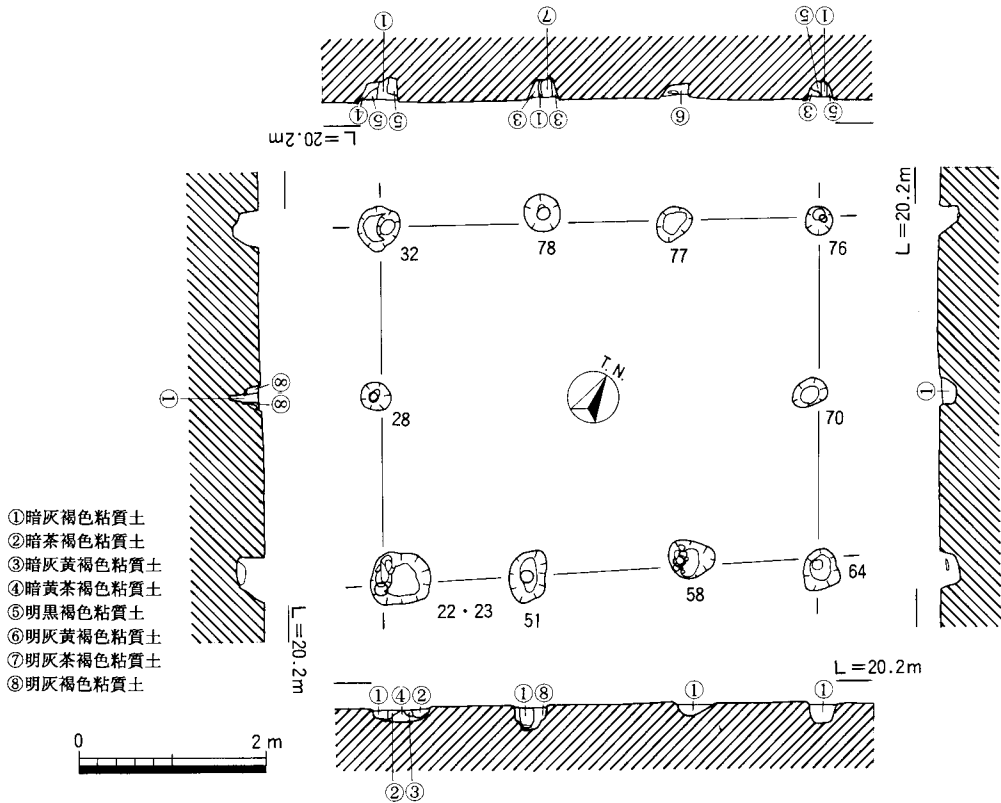


SB 4 4 (164図, 図版34)

G10区画に位置する。柱穴は不整円形を呈し、大きさは径が平均約40cm、深さが約10～30cmである。埋土は灰茶褐色系粘質土である。柱穴埋土から、弥生土器・土師器・須恵器・黒色土器が出土した。

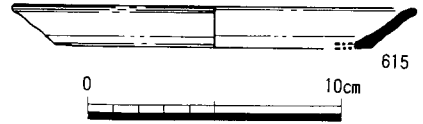
SB 4 5 (第165図, 図版34)

G10区画に位置する。柱穴は不整円形を呈し、大きさは径が平均約30～50cm、深さが約20cmである。埋土は灰黄褐色系粘質土である。柱穴埋土から弥生土器・土師器・須恵器が出土している。



G9SP14 (第166図)

須恵器皿 (615) が出土している。



G9SP15 (第167図)

土師器小皿 (616) が出土している。底部はヘラ切りである。

第166図 G9SP14 出土土器 (1/3)

G10SP10 (第167図)

土師器小皿 (617) が出土している。底部はヘラ切りである。

G10SP15 (第167図)

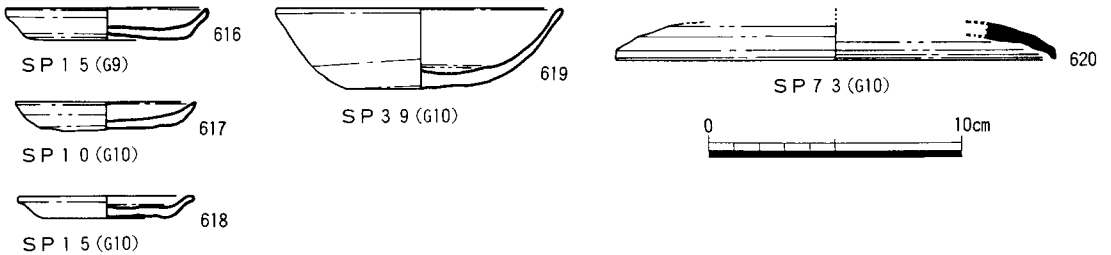
土師器小皿 (618) が出土している。底部はヘラ切りである。

G10SP39 (第167図)

土師器坏 (619) が出土している。

G10SP73 (第167図)

須恵器坏蓋 (620) が出土している。形態から8世紀代と考える。



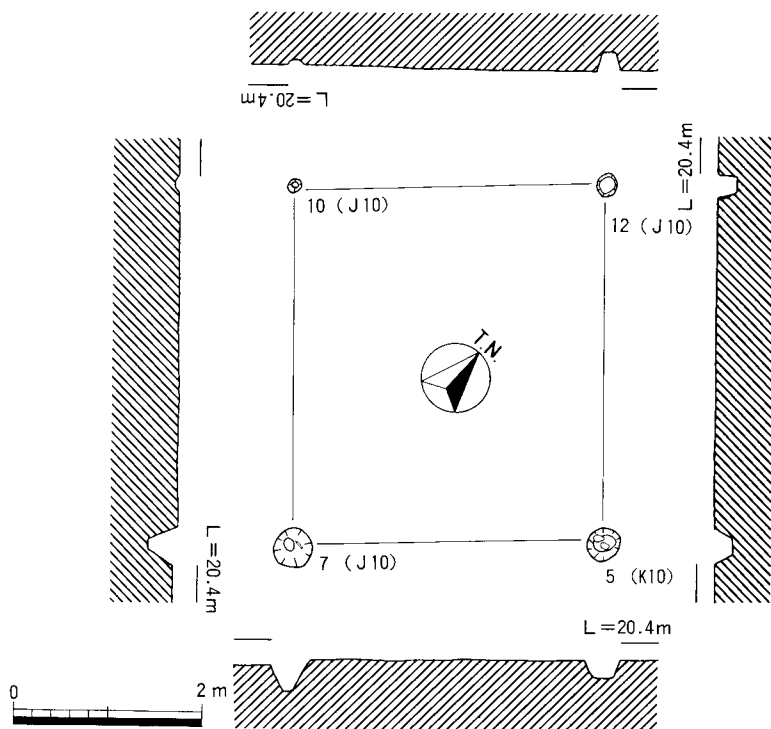
第167図 ピット出土土器 (1/3)

C区

東部において中世の多数のピット群が検出された。このような状況で建物跡を復元することは困難であり、復元案も説得力を持たないが、深さの深いピットの配置を基準にして、次のような建物跡を復元した。

SB 4 7 (第168図)

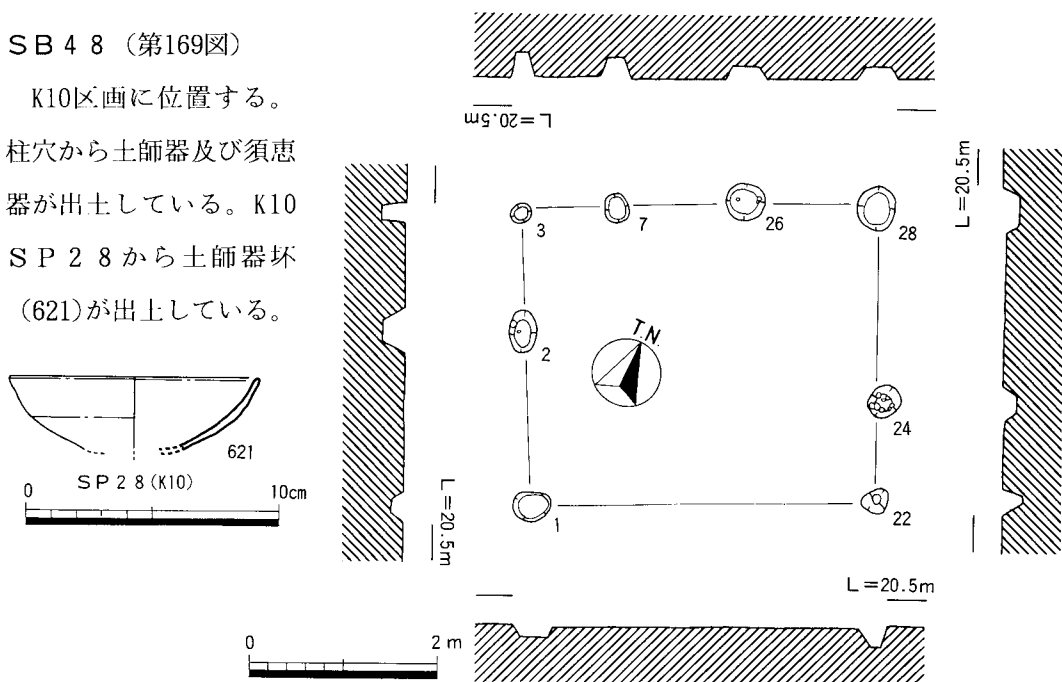
J10・K10区画に位置する。柱穴から土師器杯・碗及び黒色土器が出土している。桁行・梁行とも1間の建物の復元には問題が残る。



第168図 SB 4 7 平・断面図 (1/80)

SB 4 8 (第169図)

K10区画に位置する。柱穴から土師器及び須恵器が出土している。K10 SP 2 8 から土師器杯 (621) が出土している。



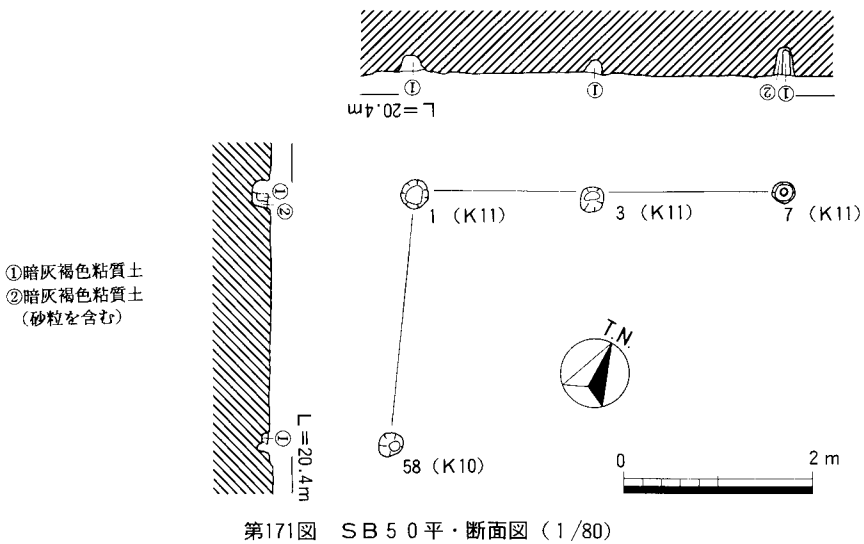
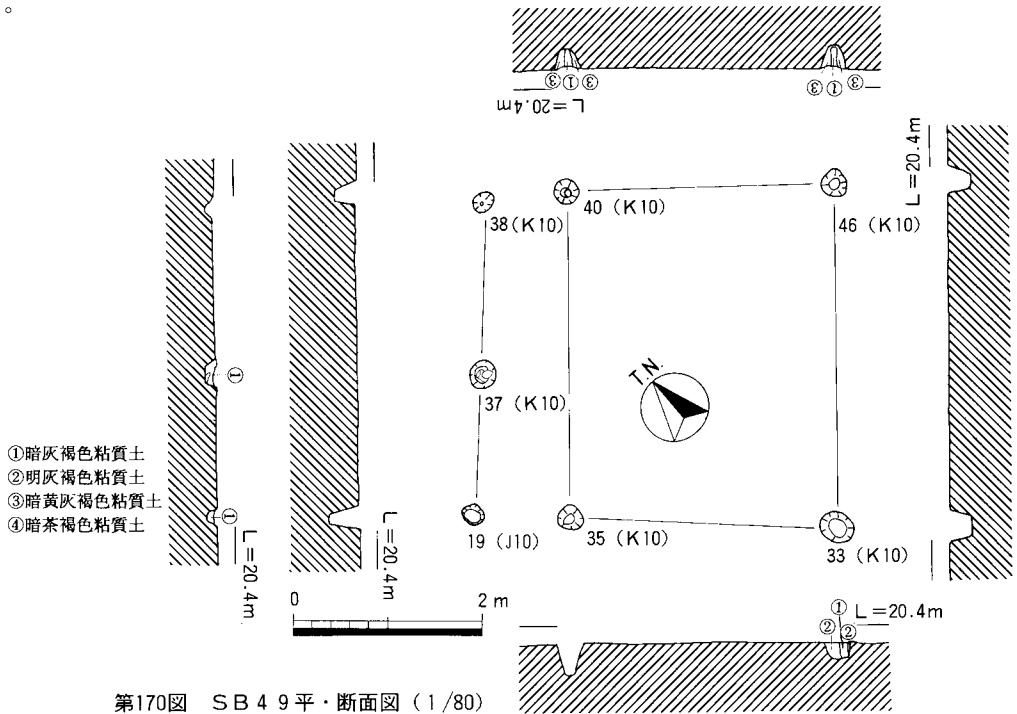
第169図 SB 4 8 平・断面図 (1/80) 及び出土土器 (1/3)

SB 4 9 (第170図)

J10・K10区画に位置する。柱穴から土師器が出土している。

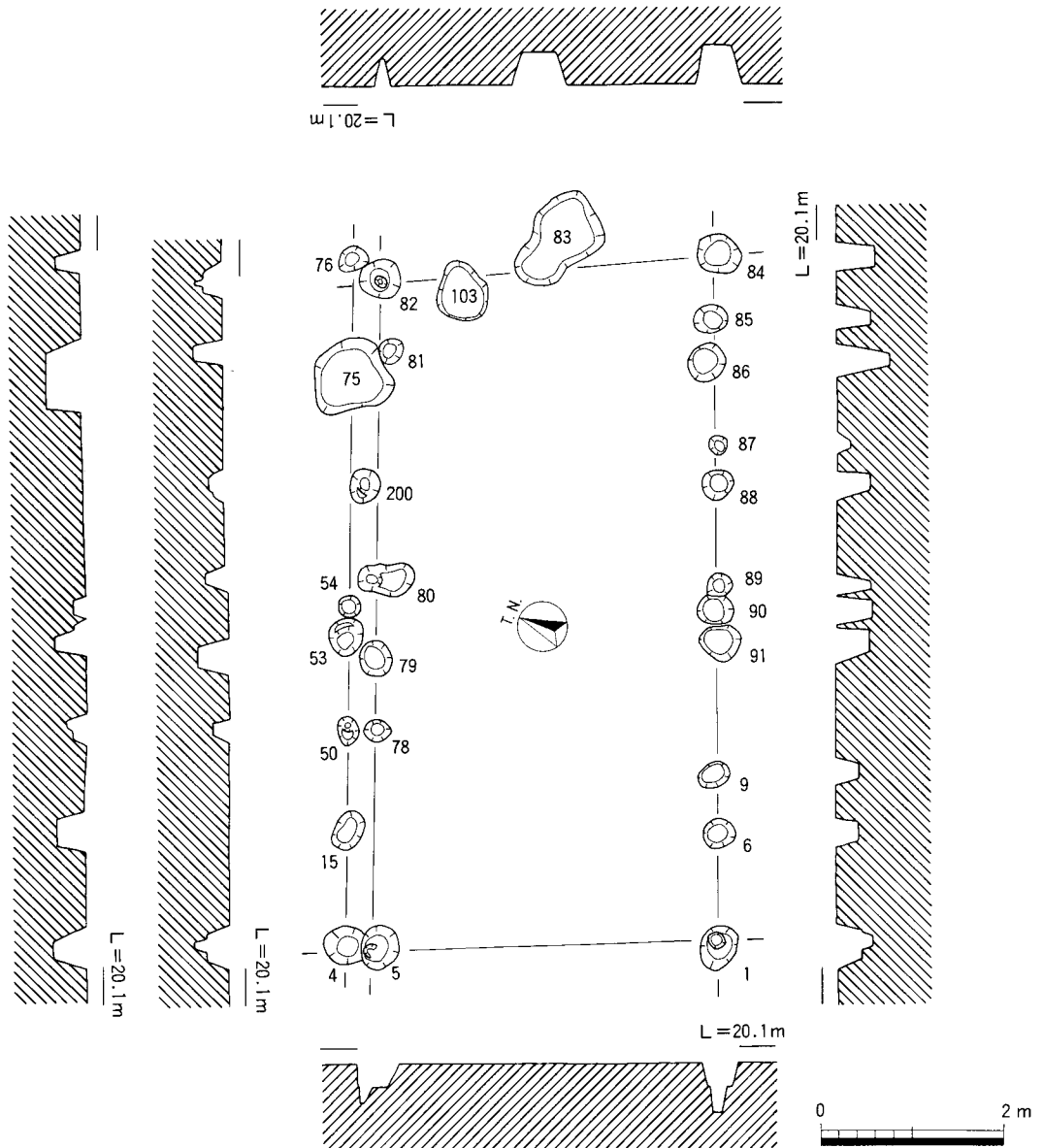
SB 5 0 (第171図)

K10・K11区画に位置する。柱穴から弥生土器, 土師器, 須恵器及び瓦質土器が出土している。

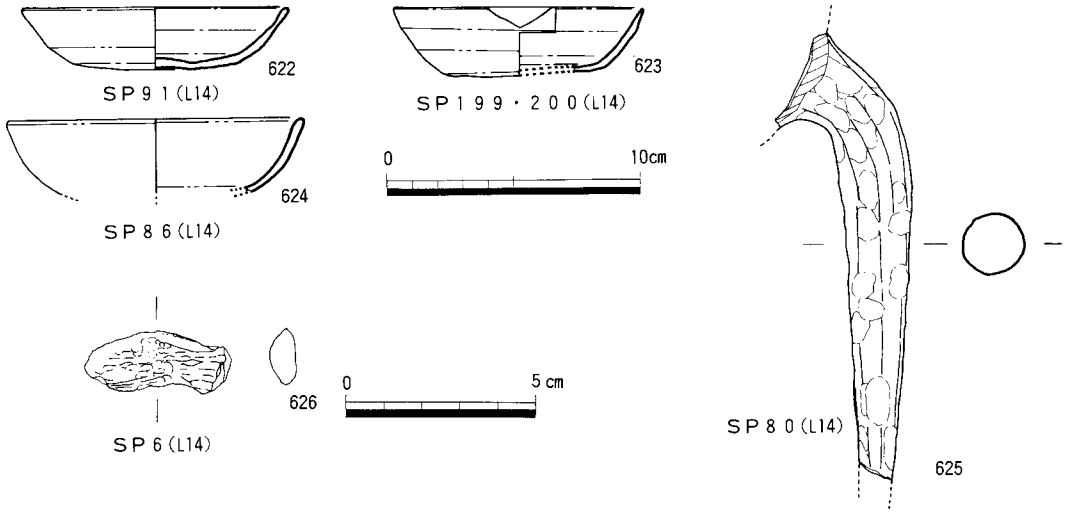


SB 6 0 (第172・173図)

L14区画に位置する。柱穴埋土は灰色シルトである。柱穴から土師器皿・坏・碗・土鍋破片、須恵器片、西村産瓦質土器片、瓦器及び不明鉄片(626)が出土している。L14SP 91からは、土師器坏(622)が出土している。底部はヘラ切りである。L14SP 80からは、土師器土釜の脚部(625)が出土している。L14SP 86からは、瓦質土器坏(624)が



第172図 SB 6 0 平・断面図 (1/80)

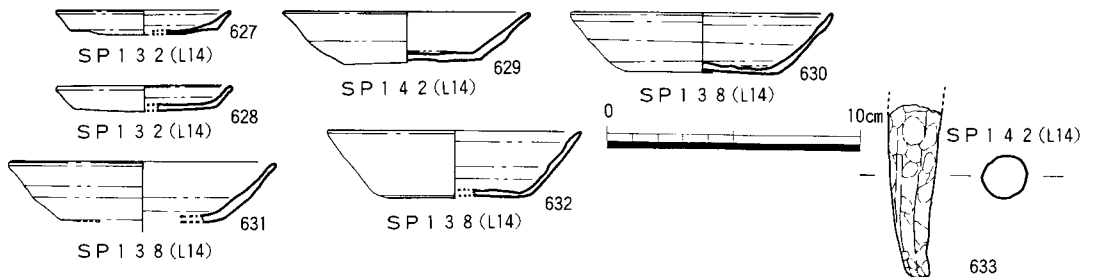


第173図 SB 6 0出土土器（1/3）及び鉄器（1/2）

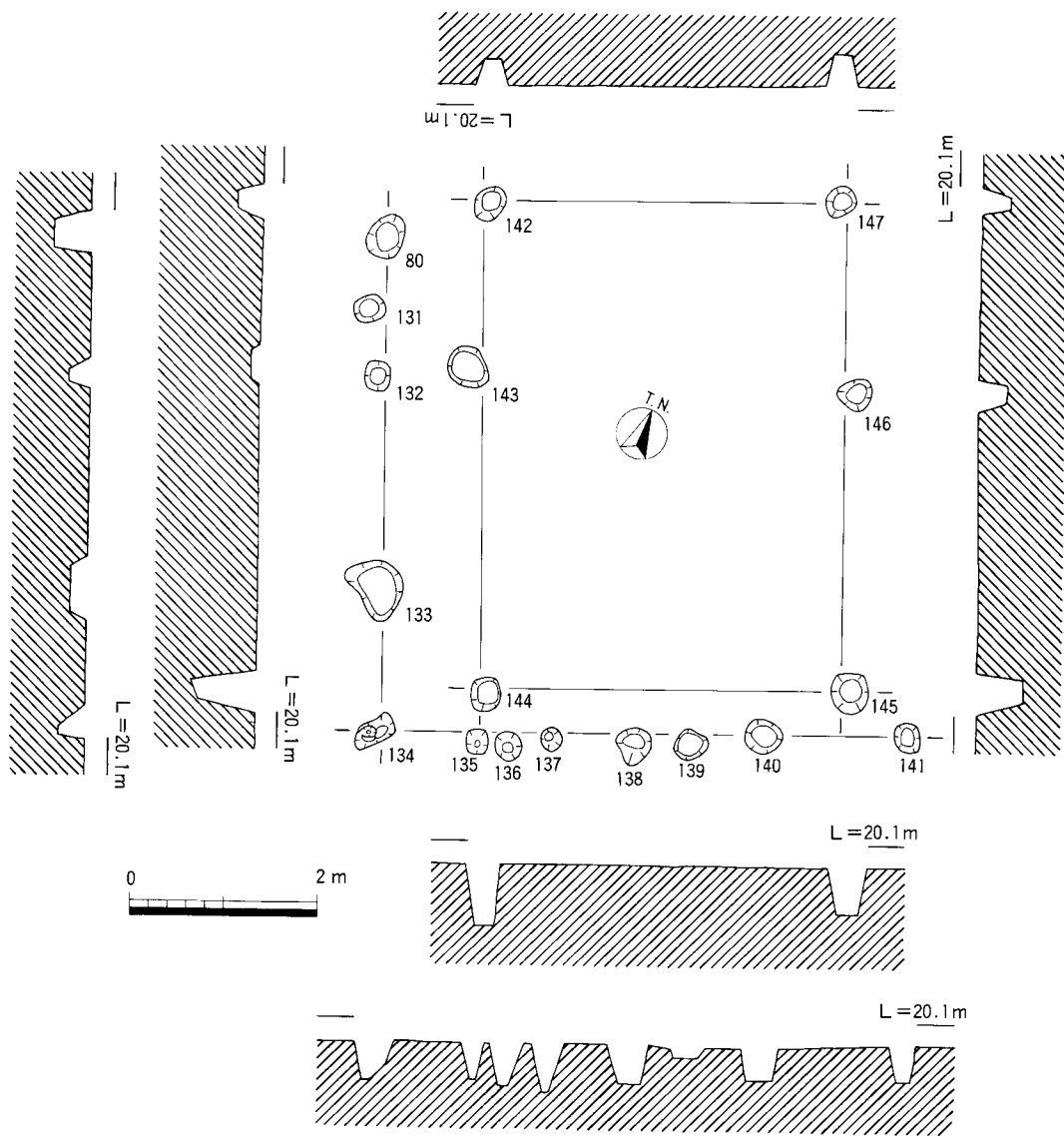
出土している。L14SP 1 9 9・2 0 0から土師器坏（623）が出土している。底部はヘラ切りである。口縁部を三角形に切断した注ぎ口がある。出土遺物から鎌倉時代頃の建物跡と考えられる。

SB 6 1（第174・175図）

L14区画に位置する。柱穴埋土は灰色シルトである。一部の柱穴は、土師器坏・土釜を出土したSK 0 3に壊されている。柱穴からは土師器小皿・土釜及び須恵器破片等が出土している。土師器坏及び土釜の形態からみて、鎌倉時代頃の建物跡と考えられる。L14SP 1 3 8からは、土師質小皿（630～632）が出土している。底部は総てヘラ切りである。L14SP 1 4 2からは、土師器坏（629），土師器土釜脚（633）が出土している。L14SP 1 3 2からは、土師器小皿（627・628）が出土している。底部はヘラ切りである。



第174図 SB 6 1出土土器（1/3）



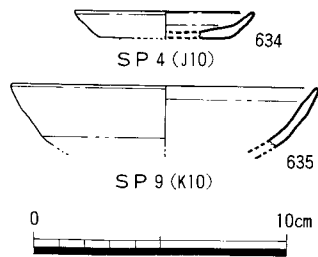
第175図 SB 6 1 平・断面図 (1/80)

J10SP 4 (第176図)

上師器小皿 (634) が出土している。底部はヘラ切りである。

K10SP 9 (第176図)

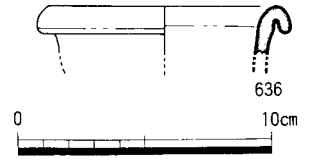
瓦質土器坏 (635) が出土している。



第176図 ピット出土土器 (1/3)

K10SP19 (第177図)

青磁壺 (636) が出土している。



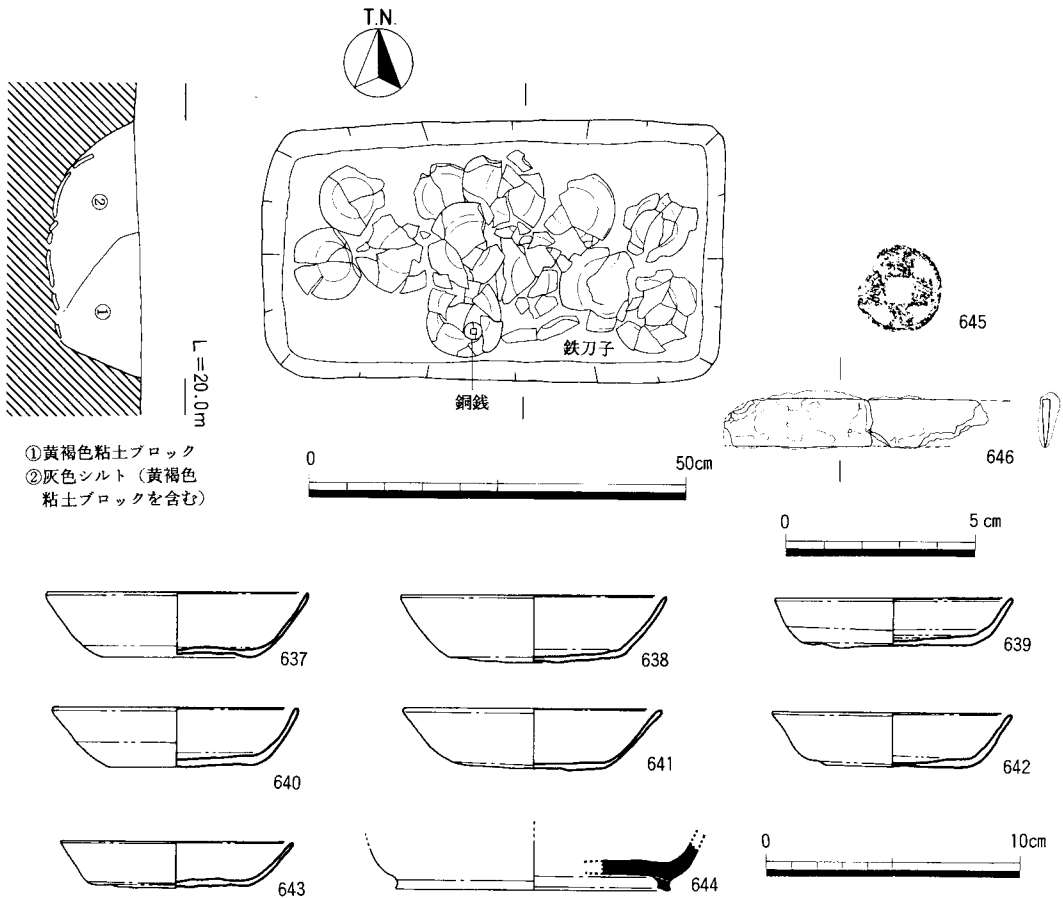
第177図 K10SP19出土土器 (1/3)

L14SP45 (第178図, 図版35)

土師器坏12, 銅銭1及び鉄製刀子1が配置された状況で出土。

した。土師器坏 (637~643) の底部はすべてヘラ切りである。銅銭は「〇〇元寶」のように読めるが、摩滅が著しく他は判読できない。埋土から須恵器坏 (644) が出土している。

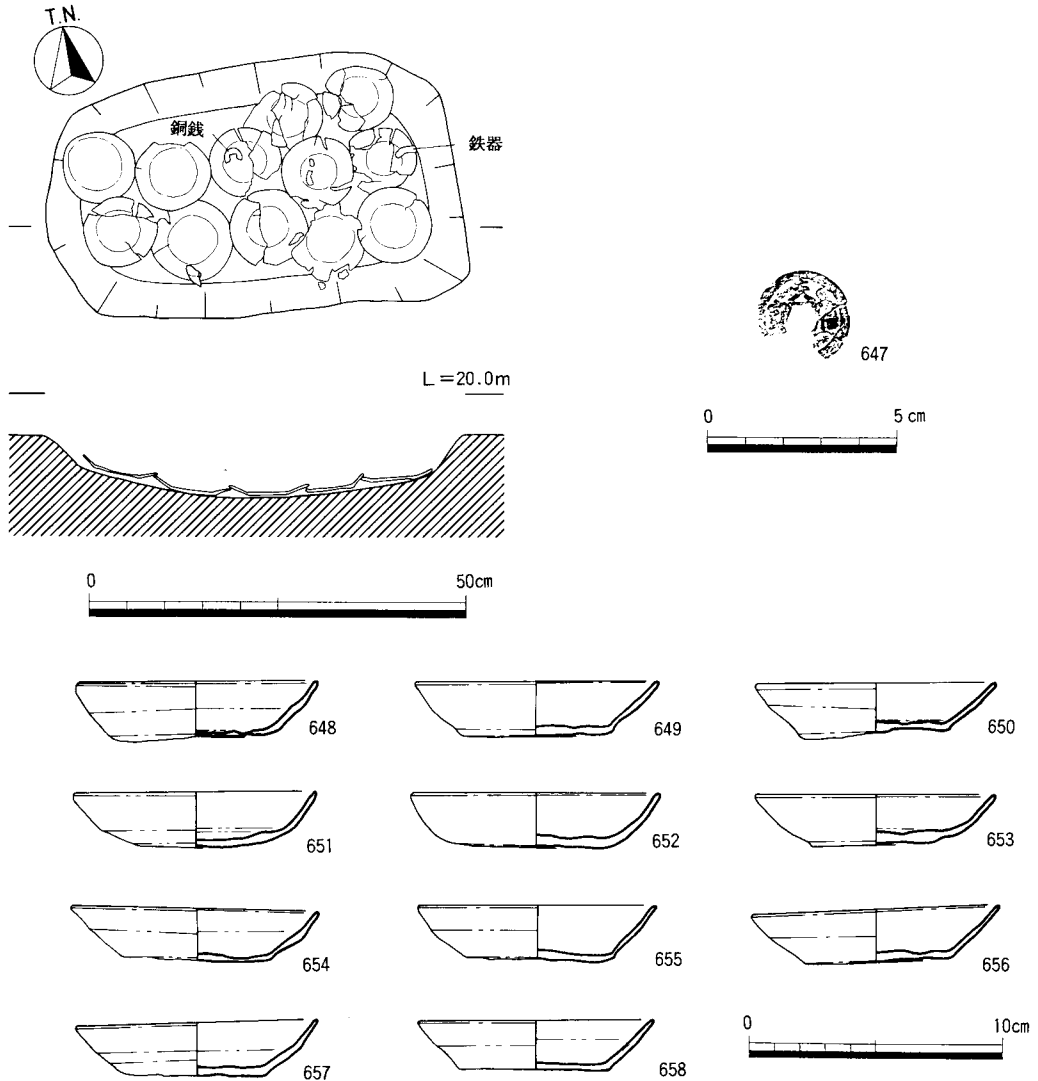
8世紀代と考える。



第178図 L14SP45平・断面図 (1/10) 及び出土土器 (1/3) ・銅銭・鉄器 (1/2)

L14SP48 (第179図, 図版35)

土師器坏 (648~658) 12, 銅銭 1 及び釘状鉄製品 1 が配置された状況で出土している。坏の底部は総てヘラ切りである。銅銭は「天禧〇寶」銘がある。初铸年1017~1021年の「天禧通寶」であろう⁽¹⁾。鉄製品は残念ながら, 調査途中で散失してしまった。



第179図 L14SP48平・断面図 (1/10) 及び出土土器 (1/3) ・銅銭 (1/2)

(1) 山口県教育委員会『下右田遺跡 第4次調査概報・総括』1980による。

L14SP 67 (第180図)

土師器坏 (659) が出土している。底部はヘラ切りである。

L14SP 70 (第180図)

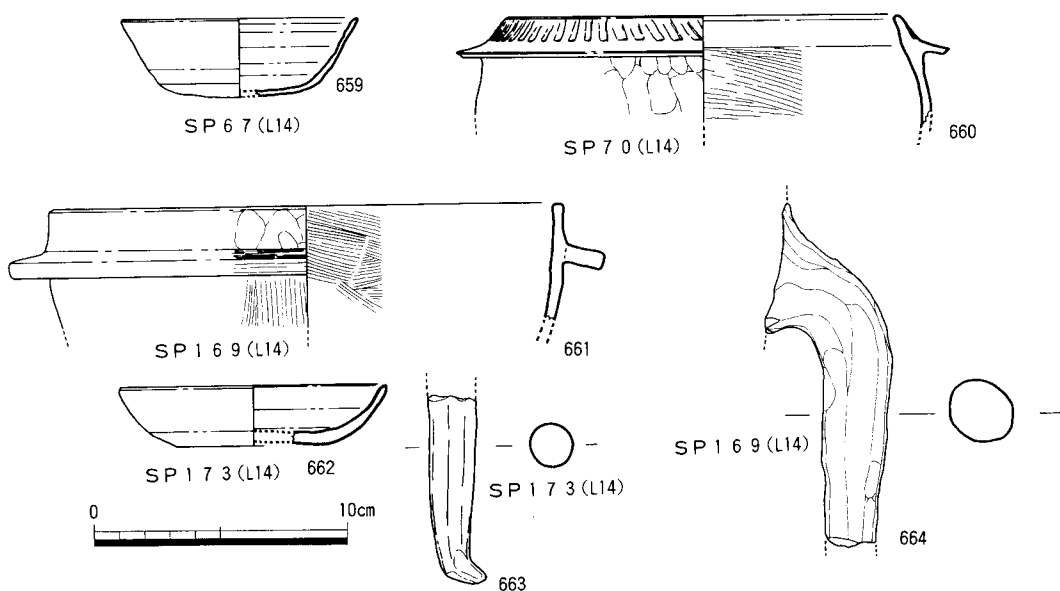
土師器土釜 (660) が出土している。口縁部外面にヘラで押さえたと考えられる圧痕が顯著に残る。

L14SP 169 (第180図)

土師器羽釜 (661) と三足の脚部片 (664) が出土している。他にも例があることから同一個体の可能性がある。羽釜の口縁部が直立していること、鏝が形骸化していないことから12世紀頃に比定できる。

L14SP 173 (第180図)

土師器坏 (662), 土師器土釜脚 (663) が出土している。

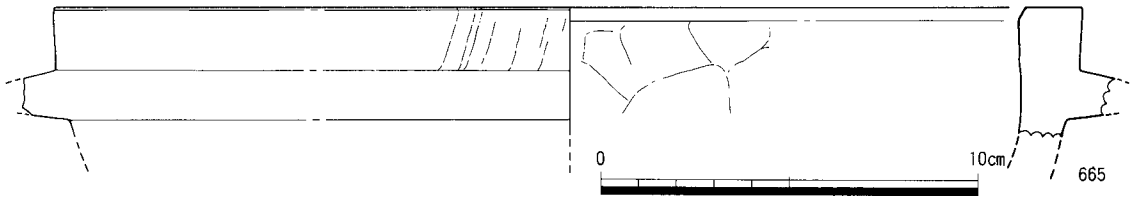
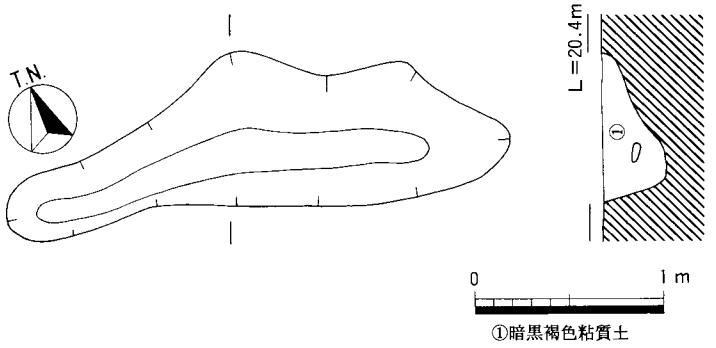


第180図 ピット出土土器 (1/3)

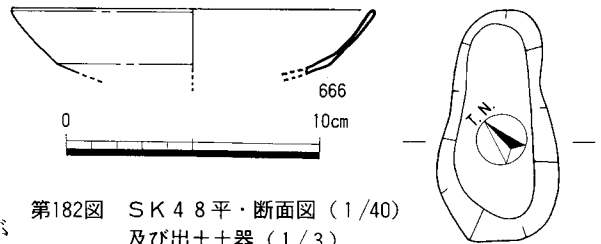
土坑

SK 4 1 (第181図)

E3・E4区画に位置する。平面形及び断面形ともに不整形である。埋土から弥生土器、土師器及び滑石製石鍋(665)が出土している。



第181図 SK 4 1 平・断面図 (1/40) 及び出土石器 (1/2)



第182図 SK 4 8 平・断面図 (1/40) 及び出土土器 (1/3)

SK 4 8 (第182図)

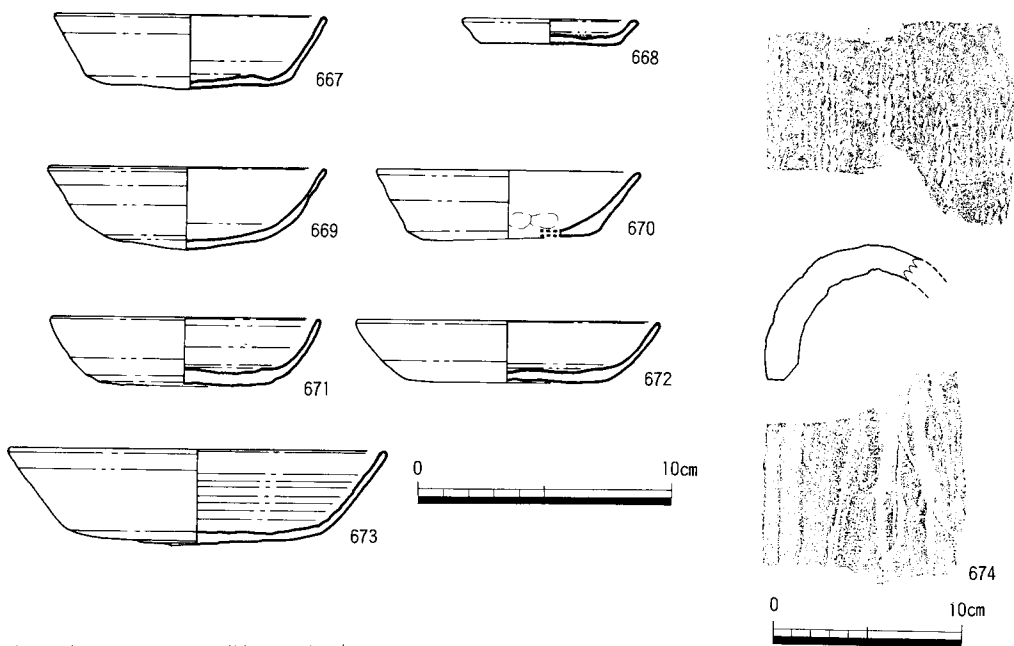
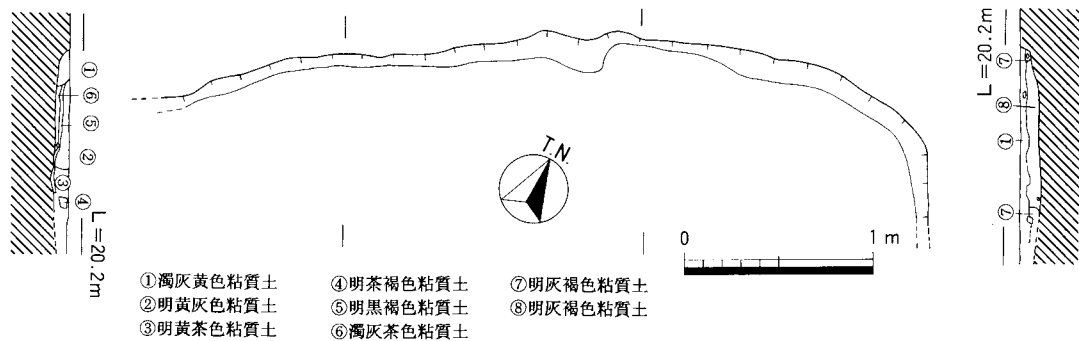
E8区画に位置する。土師器坏(666)が出土している。

SK 6 1 (第183図)

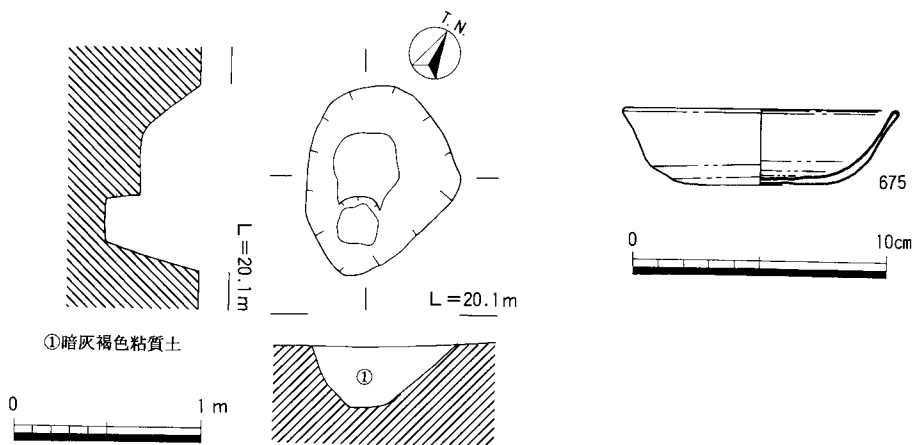
G9区画に位置する。平面形は不整形を呈しており、南は現代の道路で壊されている。深さは、20cmである。埋土は、灰褐色粘質土である。埋土から弥生土器、土師器坏(667~672)、土師器小皿(668)、須恵器、西村産瓦質土器坏(673)及び丸瓦等が出土している。底部は総てヘラ切りである。13世紀頃と考えられる。

SK 6 5 (第184図)

G10区画に位置する。土師器坏(675)が出土している。底部はヘラ切りである。13世紀頃と考えられる。



第183図 SK 6 1 平・断面図 (1/40) 及び出土土器 (1/3) ・瓦 (1/4)



第184図 SK 6 5 平・断面図 (1/40) 及び出土土器 (1/3)

SK 7 4 (第185図)

J10区画に位置する。土師器小皿及び椀等が出土している。柱穴の可能性ある。

SK 7 6 (第185図)

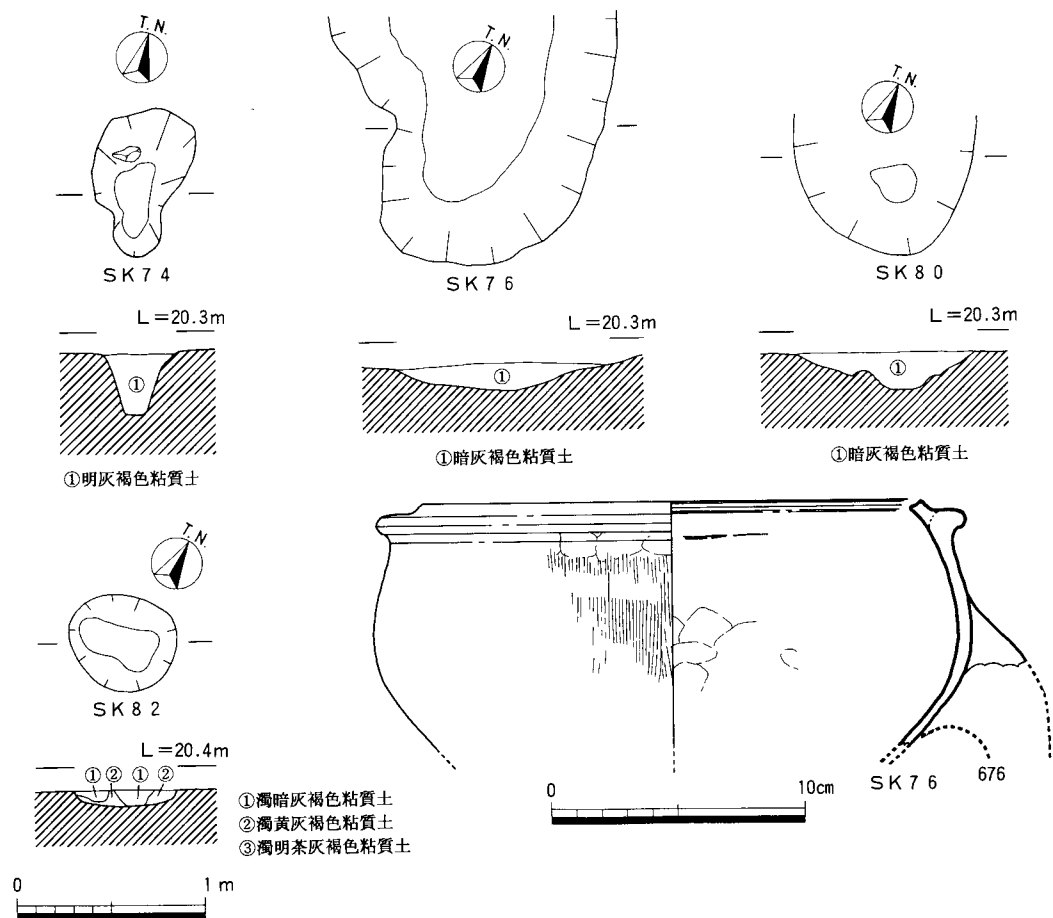
J10区画に位置する。三足の羽釜(676)が出土している。

SK 8 0 (第185図)

K11区画に位置する。土師器、西村産瓦質土器及び平瓦が出土している。

SK 8 2 (第185図)

K10区画に位置する。土師器及び西村産瓦質土器が出土している。



第185図 SK 7 4・7 6・8 0・8 2平・断面図(1/40)及び出土土器(1/3)

SK 8 3 (第186図)

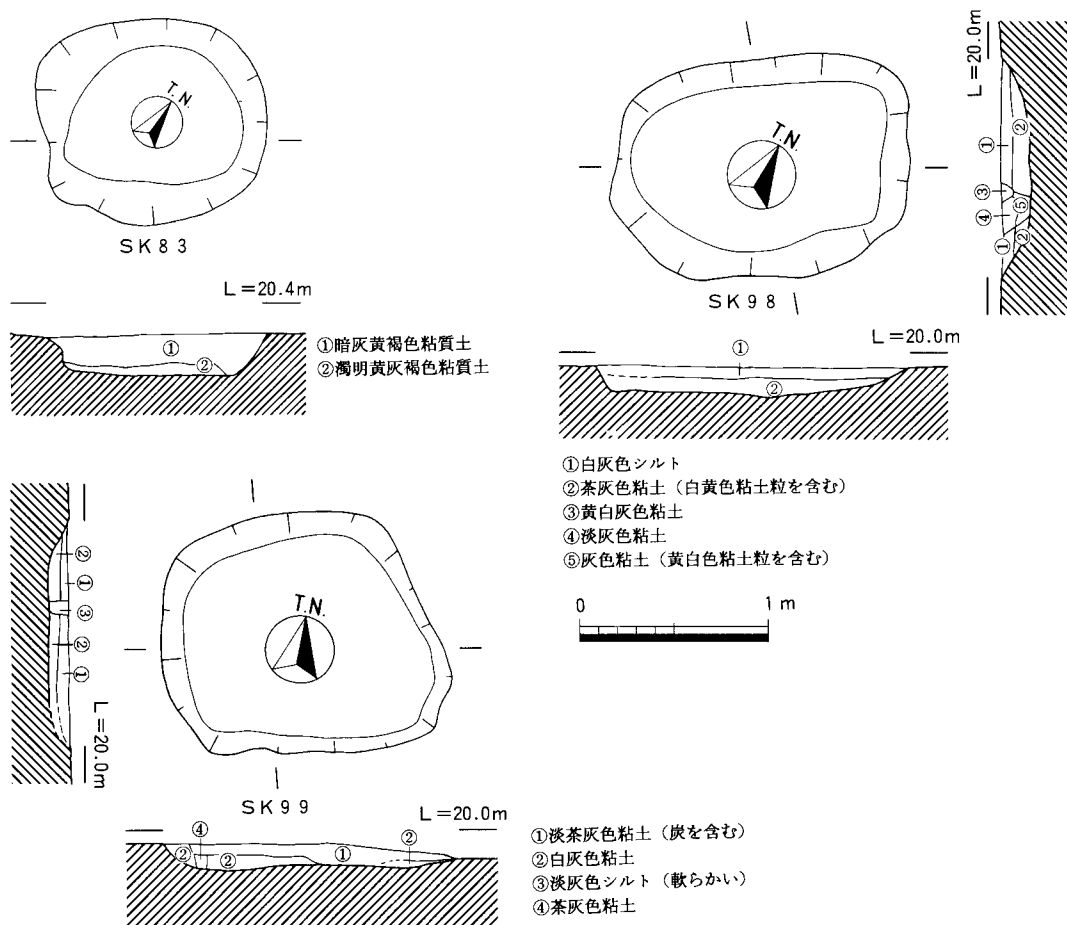
K11区画に位置する。土師器、須恵器及び東播系須恵器こね鉢が出土している。

SK 9 8 (第186図, 図版36)

J13区画に位置する。埋土からは、弥生土器、土師器赤彩皿、須恵器坏等が出土しているが、埋土及び形態がSK 9 9と同様であることから、時期も同様であると考える。

SK 9 9 (第186図, 図版36)

J13・K13区画に位置する。埋土からは弥生土器、土師器、須恵器及び西村産瓦質土器碗が出土している。土師器には、奈良時代頃の台付皿の破片のほか、碗や土釜等がある。鎌倉時代頃の遺構である。



第186図 SK 8 3・9 8・9 9 平・断面図 (1/40)

SK105 (第187図)

L13区画に位置する。埋土から土師器及び須恵器が出土している。深さが浅いため、遺構かどうかは疑問である。

SK106 (第187図)

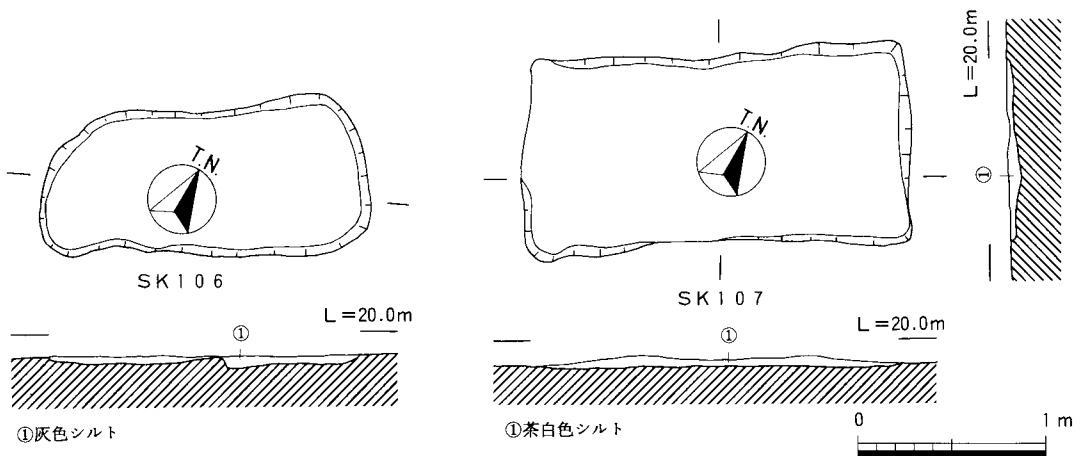
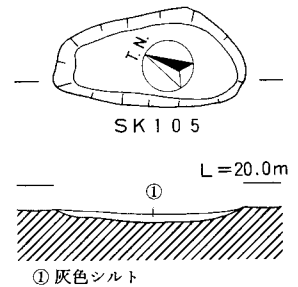
L14区画に位置する。埋土から土師器及び須恵器が出土している。深さが浅いため、遺構かどうかは疑問である。

SK107 (第187図)

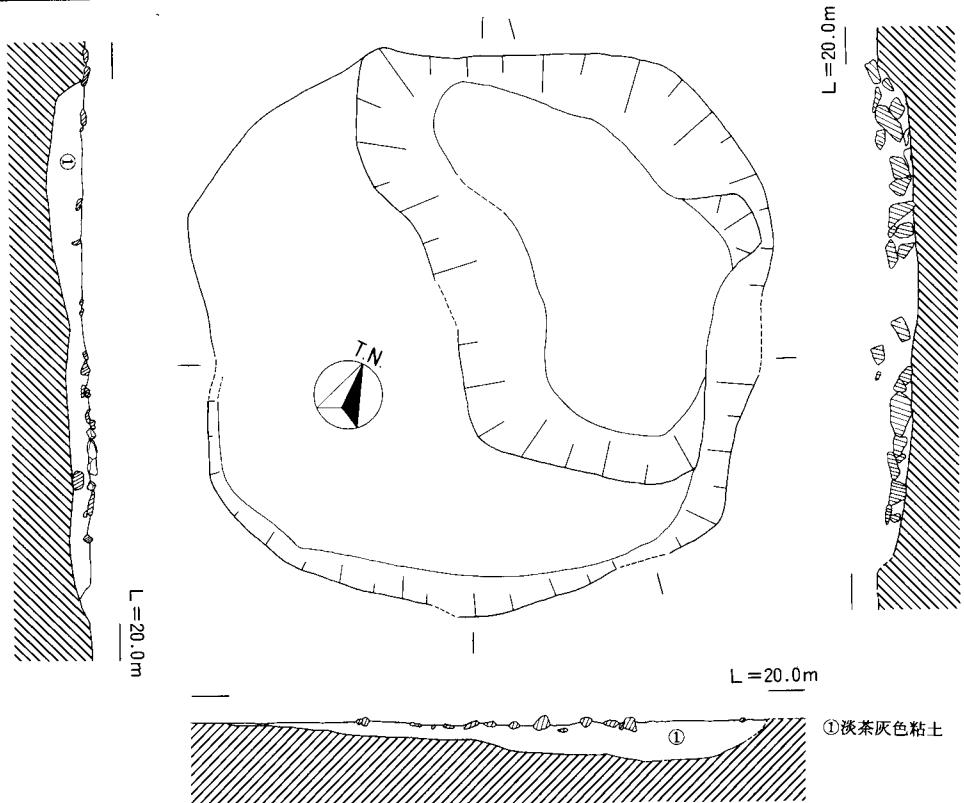
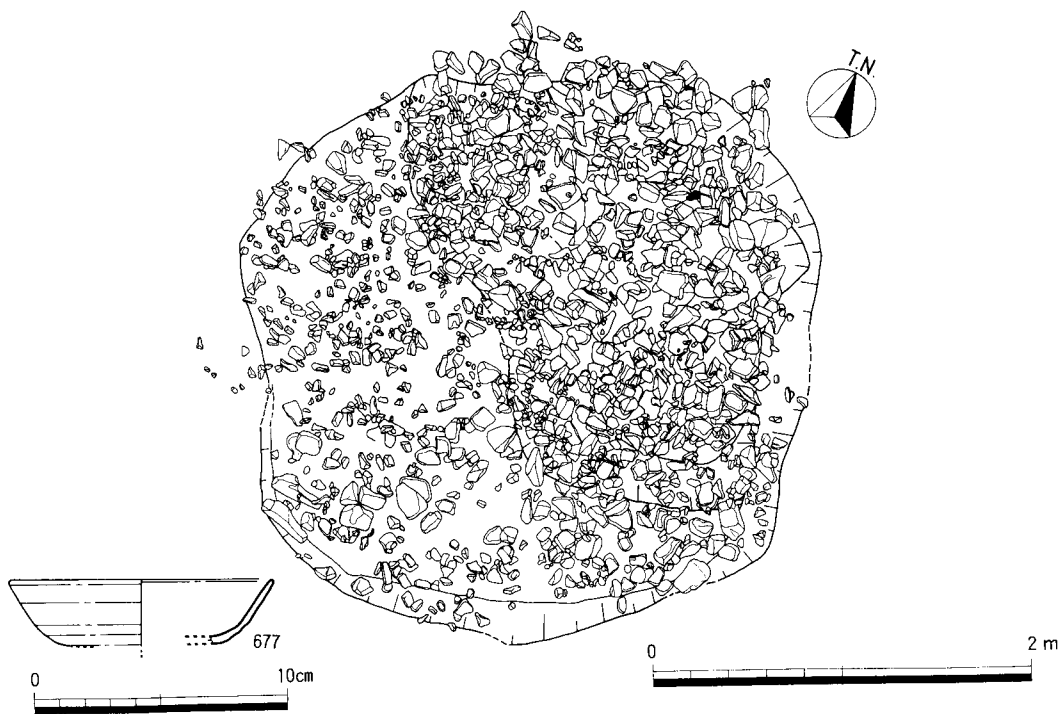
L14区画に位置する。埋土から土師器及び焼土が出土している。深さが浅いため、遺構かどうかは疑問である。

SK108・109 (第188・189図, 図版37)

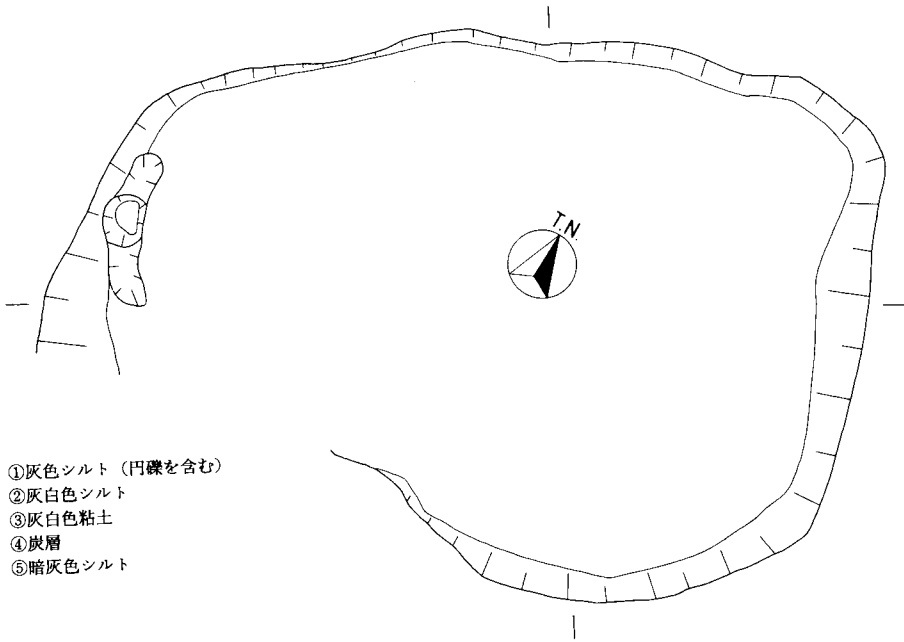
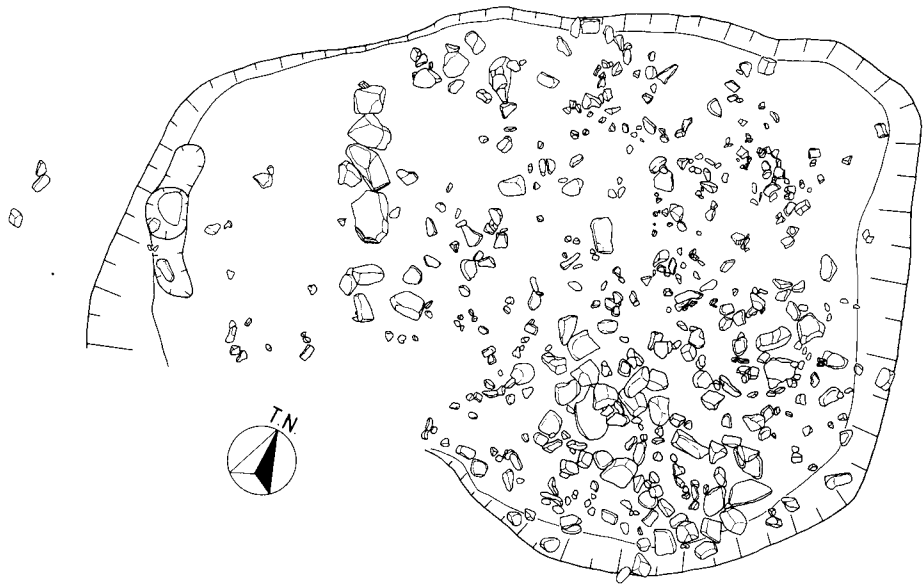
L14区画に位置する。平面形が不定形な土坑である。検出時は拳大から人頭大の円礫がぎっしりと詰まった状態であったが、一部の礫は配置された状況を示していた。埋土からは弥生土器, 土師器皿・坏(677)・碗・土鍋・羽釜, 須恵器坏・甕, 及び西村産瓦質土器の破片が出土している。



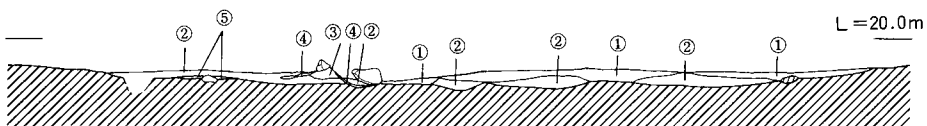
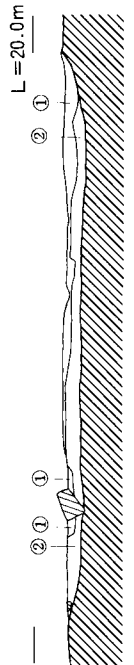
第187図 SK105・106・107平・断面図(1/40)



第188図 SK108平・断面図(1/40)及び出土土器(1/3)



- ① 灰色シルト (円礫を含む)
- ② 灰白色シルト
- ③ 灰白色粘土
- ④ 炭層
- ⑤ 暗灰色シルト



第189図 SK109平・断面図 (1/40)

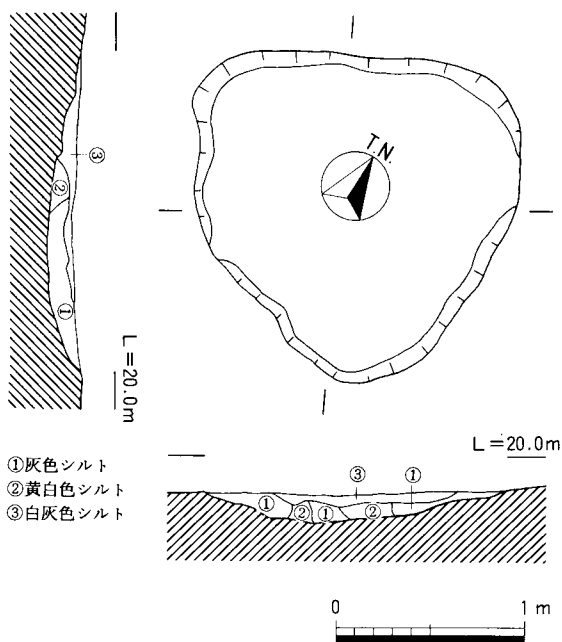
SK 110 (第190図)

L14区画に位置する。平面形は不定形で、底面も凹凸がある。また埋土に炭がみられることから、廃棄土坑と考える。埋土からは土師器皿・坏・碗・土釜、須恵器坏及び西村産瓦質土器の破片が出土した。

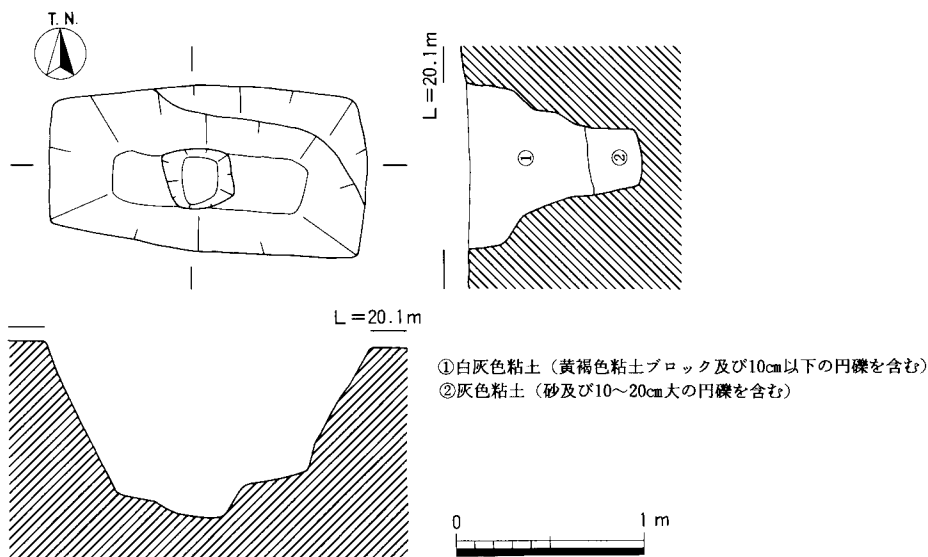
井戸

SE 04 (第191・192図, 図版38)

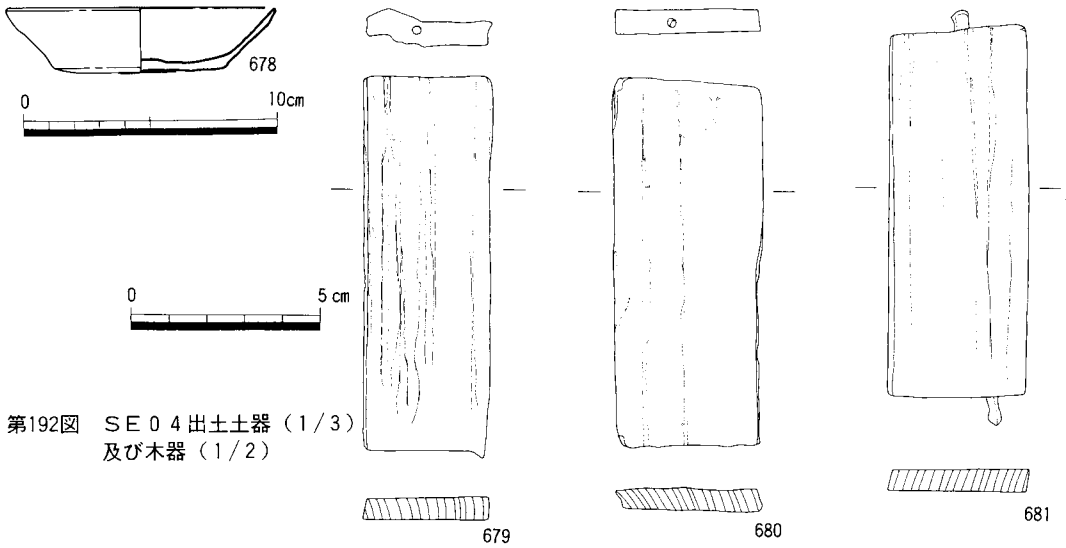
土層断面から、この井戸は埋められたものと判断できる。1層下部から完形の土師器坏(678)が出土している。底部はヘラ切りである。2層からは曲物の破片が出土した。井戸枠として使われた可能性はあるが、曲物そのものが元の形をとどめていなかったため断定はできない。埋土からはその他に、土師器小皿・碗及び須恵器蓋・坏の破片が出土している。時期は、出土遺物及びSD 251と関連があるものと考えて、鎌倉時代頃と考えられる。



第190図 SK 110 平・断面図 (1/40)



第191図 SE 04 平・断面図 (1/40)

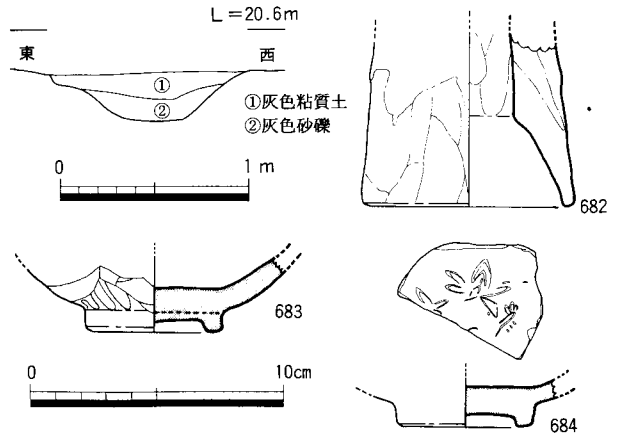


第192図 SE04出土土器(1/3)及び木器(1/2)

溝跡

SD83 (第193図)

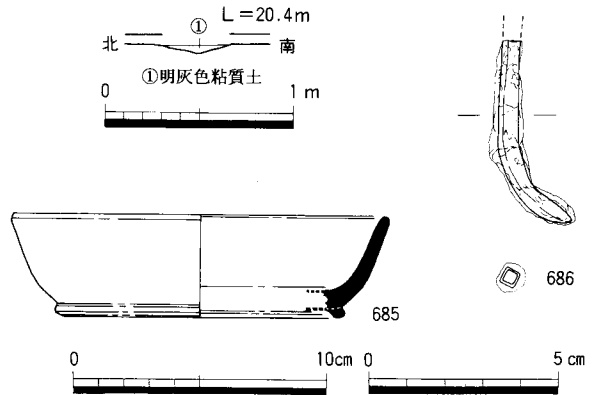
A区中央南に位置する。D4区画で東に曲がる。SD77より新しい。埋土から弥生土器、土師器、須恵器、西村産瓦質土器、青磁碗(683・684)、須恵質平瓦及びふいごの羽口(682)が出土している。683は外面に蓮弁が見られる。684は見込部分に花文が施される。鎌倉時代の溝と考える。



第193図 SD83断面図(1/40)及び出土土器(1/3)

SD124・129 (第194図)

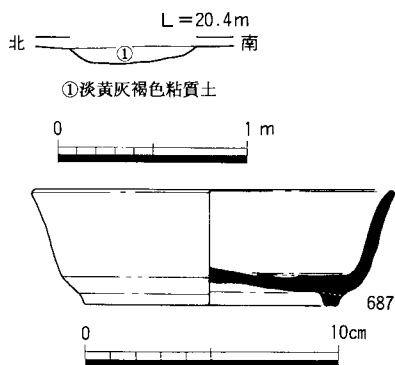
須恵器坏(685)及び不明鉄器(686)が出土している。年代は8世紀代と考える。埋土から当時期の遺構と考える。



第194図 SD124・129平・断面図(1/40)及び出土土器(1/3)・鉄器(1/2)

SD 1 3 6 (第195図)

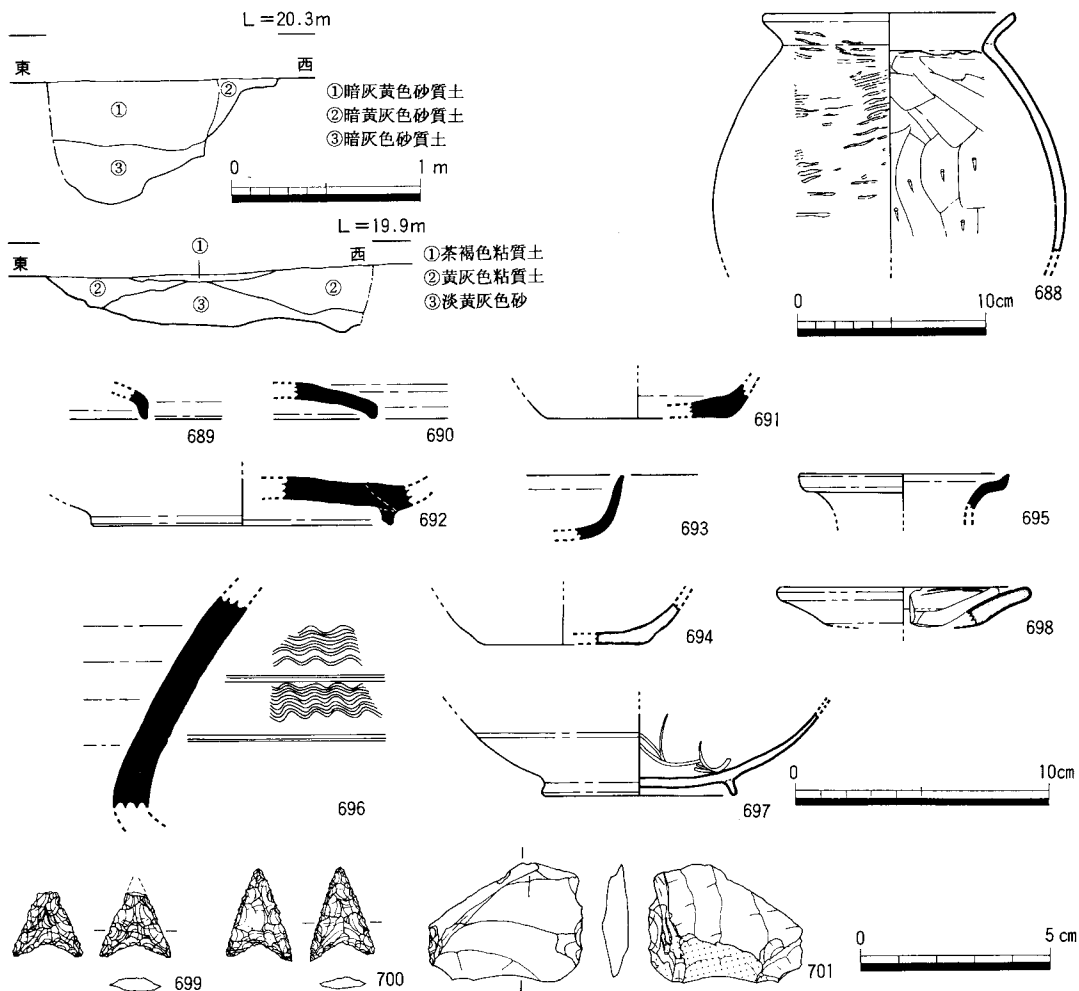
須恵器高台付坏 (687) が出土している。形態から 8 世紀代と考える。遺構埋土から当時期と考える。



第195図 SD 1 3 6 断面図 (1/40) 及び出土土器 (1/3)

SD 1 4 0・1 4 8 (第196図)

A・B区境界を南北に走っている。なお、推定条里の地割に合致していることから、古代の条里遺構に関係していると思われる。埋土は、上層が淡黄灰色粘質土であり、下層が砂層である。SD 1 4 8 埋土から弥生土器、須恵器坏蓋 (689・690)、須恵器坏

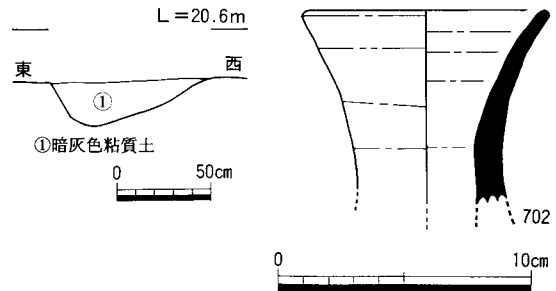


第196図 SD 1 4 0・1 4 8 断面図 (1/40) 及び出土土器 (1/3, 1/4)・石器 (1/2)

(691~693), 土師器坏 (694), 須恵器壺口縁部 (695), 須恵器甕口縁部 (696), 青磁小皿 (698), 黒色土器 (697), 染付, 石鏃 (699・700), 及び石斧破片 (701) 等が出土している。須恵器については総て小破片であることから詳細な年代は不明であるが, おおむね8世紀後半~9世紀初頭と考えている。697は高台の作り, 形態から11~12世紀頃を想定している。698は不明である。染付は近世以降のもので混入品とみなせる。小破片であるが, 主体は須恵器の年代であり, この時期に掘削使用され長期間に渡り埋没が自然に行われたと考えておく。SD140埋土からは弥生土器, 土師器及び須恵器が出土している。弥生土器は甕 (688) が出土している。外面調整はタタキのみで, 折り曲げ口縁を有する。

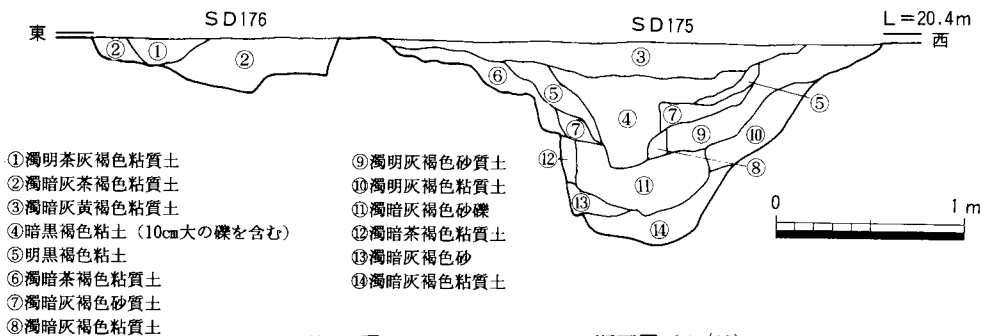
SD145 (第197図)

弥生土器, 土師器及び須恵器が出土している。須恵器は長頸壺 (702) が出土している。埋土及び他の遺構との新旧関係から当時期と考える。

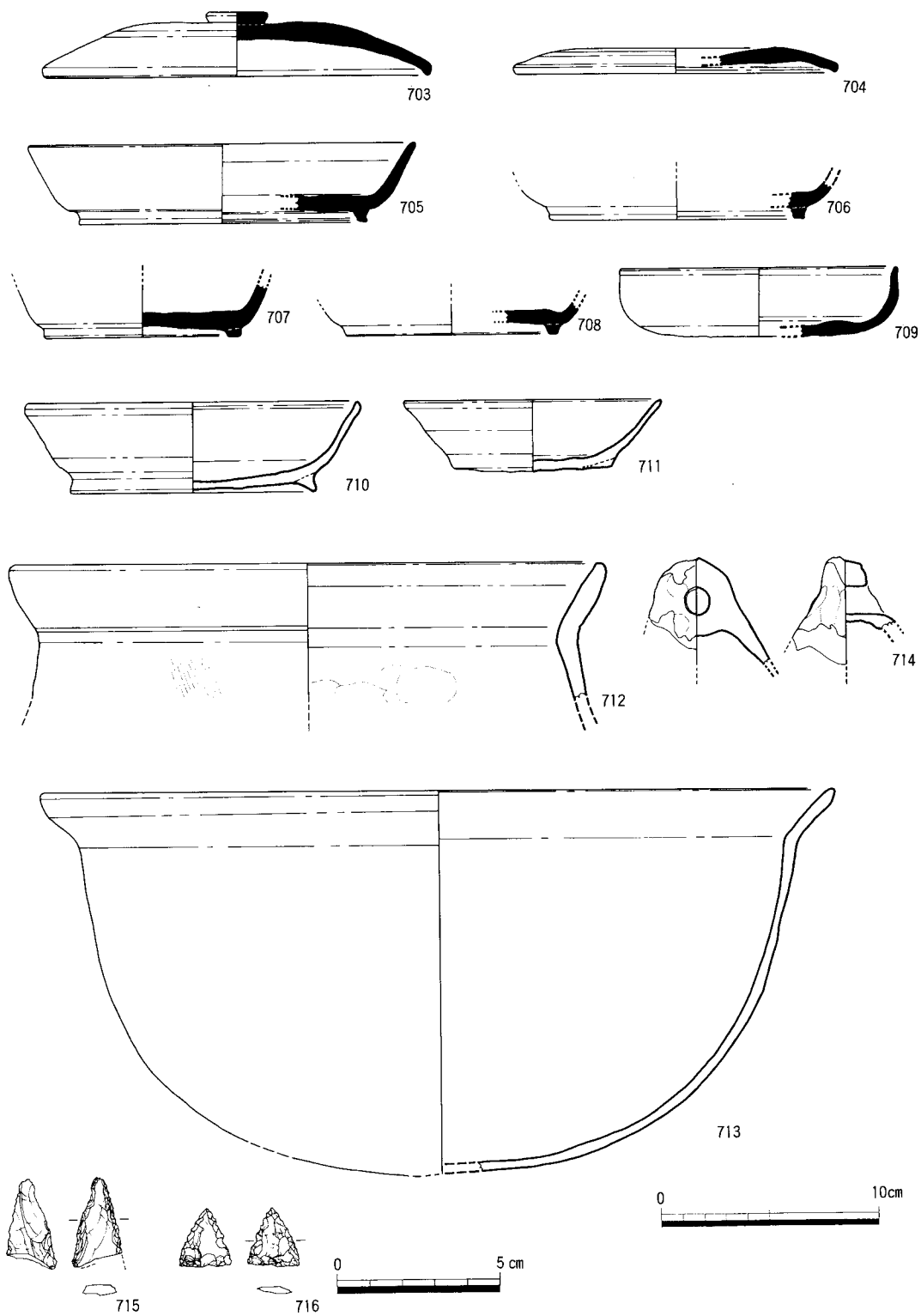


SD175 (第198・199図)

埋土は3層に分かれ, 中層に黒褐色 第197図 SD145断面図 (1/40) 及び出土土器 (1/3) 粘質土, 上下層は灰色粘質土である。埋土から弥生土器, 土師器, 須恵器, 西村産瓦質土器, 石鏃 (715・716) 及び鉄製品が出土している。須恵器は坏蓋 (703・704)・坏 (705~709) が, 土師器は坏 (710・711)・甕 (712)・土鍋 (713)・飯蛸壺 (714) が出土している。709は碗に分類すべき形態かもしれない。711は底部へラ切りである。713は内外面とも丁寧なナデ調整が施されている。年代は, 703~709が8世紀代と考える。また710以降はこれよりも後出すると考える。



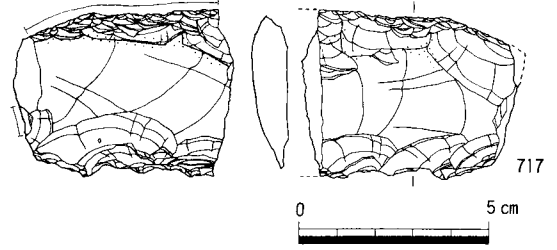
第198図 SD175・176断面図 (1/40)



第199図 SD175出土土器(1/3)及び石器(1/2)

SD176 (第198・200図)

SD175に並行する溝跡である。埋土から弥生土器、須恵器及び打製石斧が出土している。

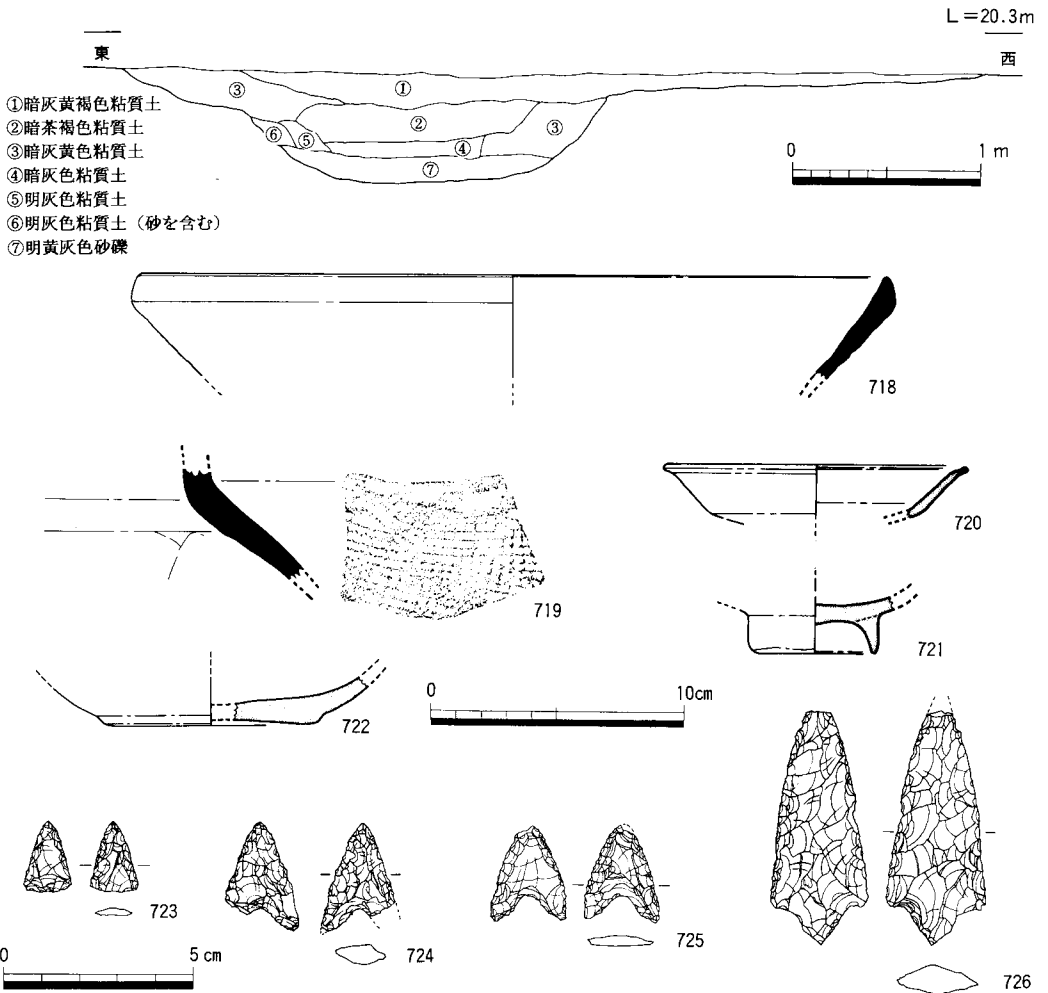


第200図 SD176出土石器(1/2)

SD187～SD189及びSD191は推定条里坪界線とはほぼ同じ位置にある溝跡である。

SD187 (第201図)

埋土は3層に分かれ、中層に黒褐色粘質土、上下層は灰色粘質土である。埋土から弥生

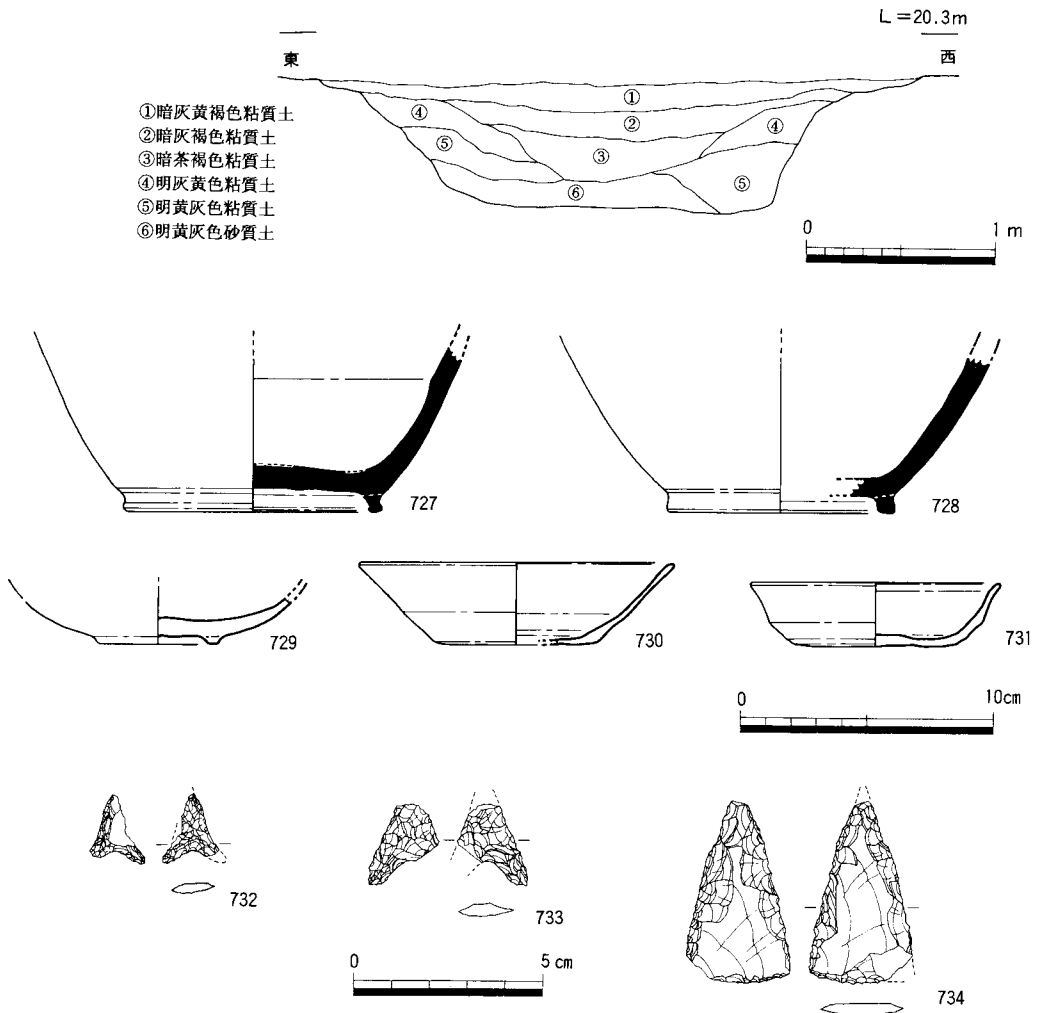


第201図 SD187断面図(1/40)及び出土土器(1/3)・石器(1/2)

土器，土師器，須恵器，東播系須恵器，亀山焼，緑釉陶器，陶磁器，瓦，石鏃(723～725)及び有舌尖頭器(726)が出土している。718は東播系須恵器こね鉢である。719は亀山焼甕である。720は唐津焼灰釉陶器碗である。721は京焼風陶器碗である。722は緑釉陶器皿である。出土遺物から溝跡の年代は13世紀前後と考える。720・721は混入品であろう。

SD188 (第202図)

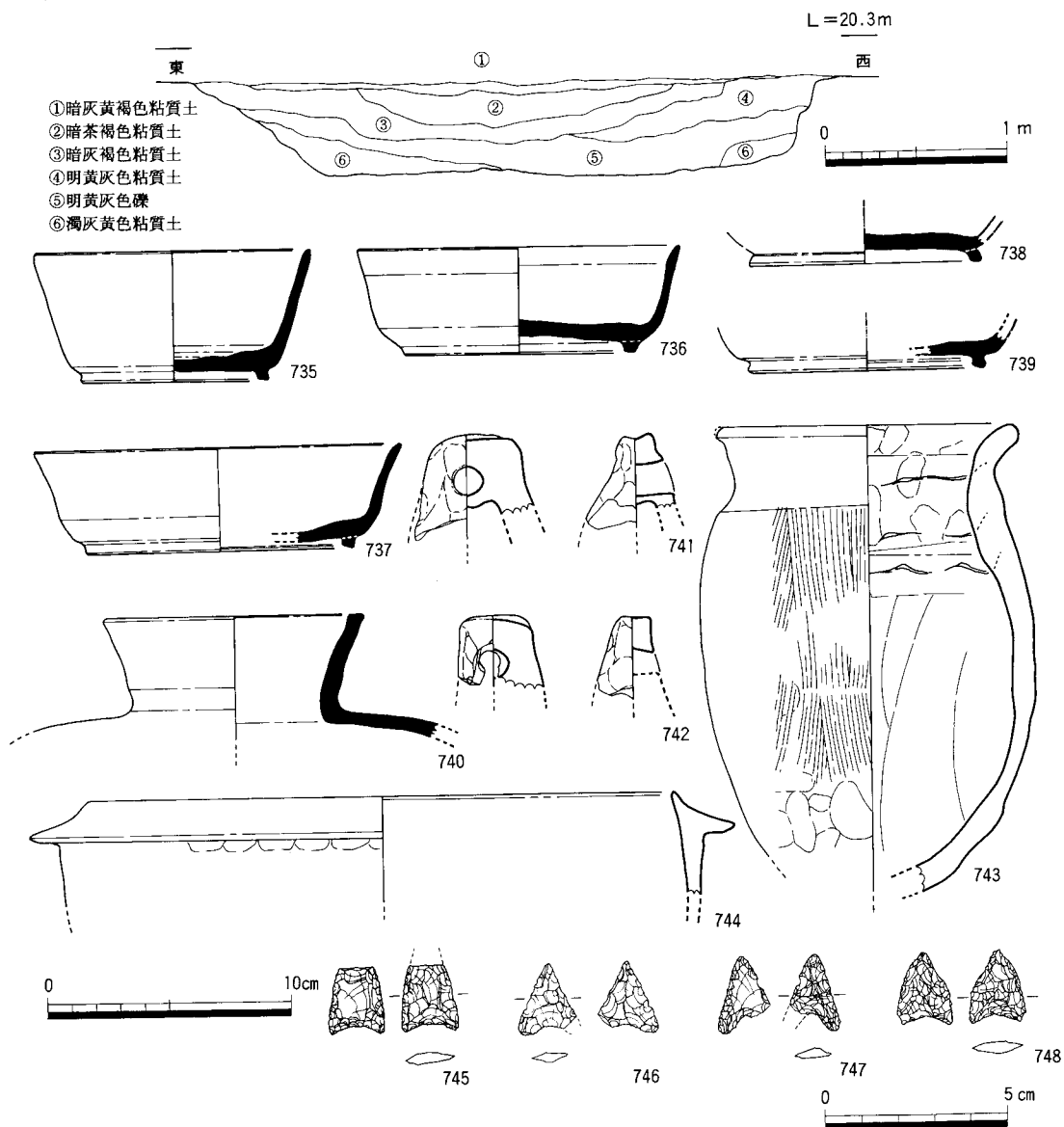
埋土から弥生土器，土師器，須恵器，西村産瓦質土器，陶磁器及び石鏃(732～734)が出土している。須恵器壺底部(727・728)，土師器碗(729)，土師器坏(730・731)が出土している。727・728の年代は9世紀頃と考える。732はハリ質安山岩製である。



第202図 SD188 断面図(1/40)及び出土土器(1/3)・石器(1/2)

SD189 (第203図)

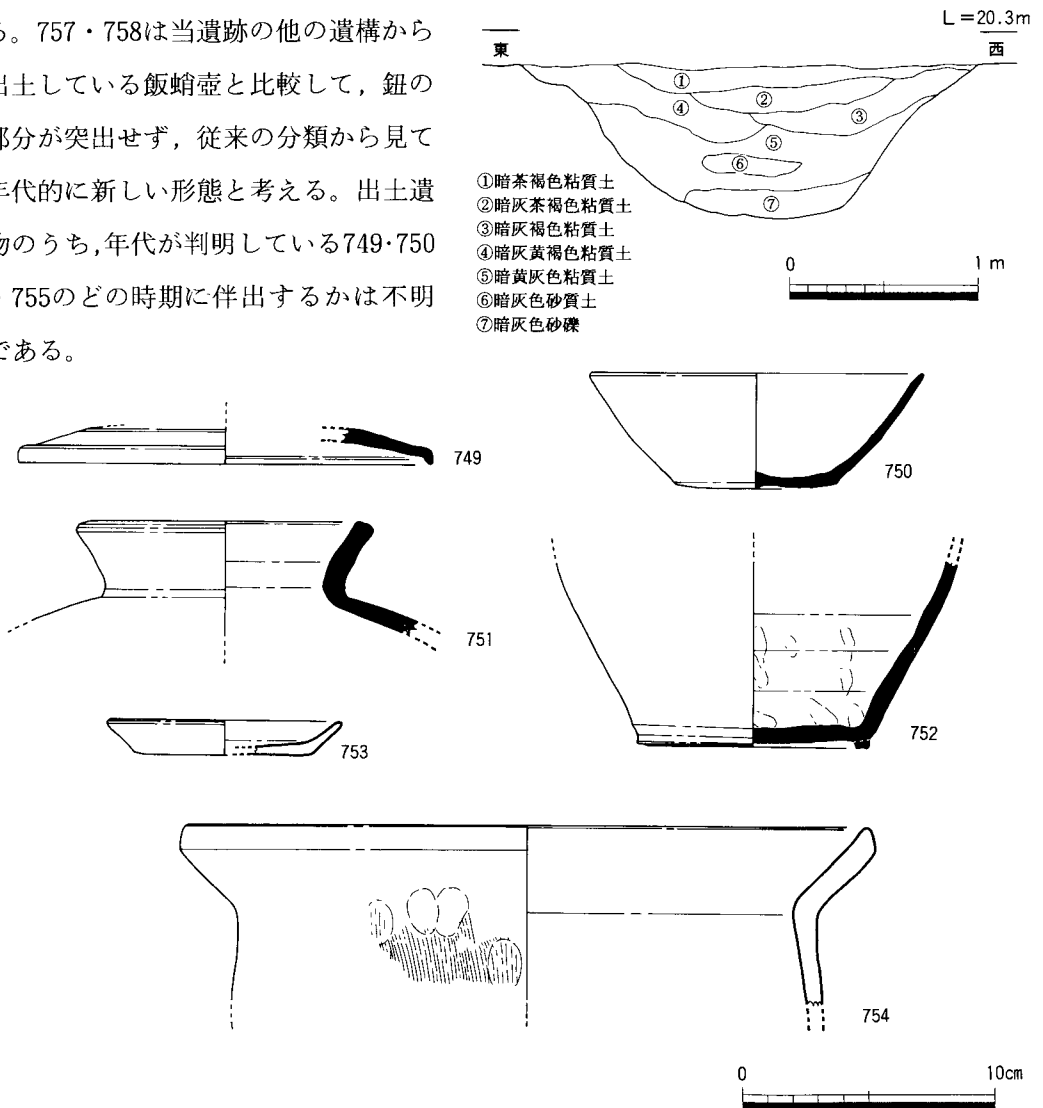
埋土は3層に分かれ、中層に黒褐色粘質土、上下層は灰色粘質土である。埋土からは弥生土器、土師器、須恵器、黒色土器、西村産瓦質土器、亀山焼、備前焼、白磁及び石鏃(745~748)が出土している。735~739は須恵器高台付坏である。740は須恵器壺である。741・742は飯蛸壺である。743は蛸壺である。744は土師器羽釜である。743は形態上蛸壺に分類している。735~737は8世紀代と考える。744は14世紀頃と考える。741~743の所属年代は不明である。



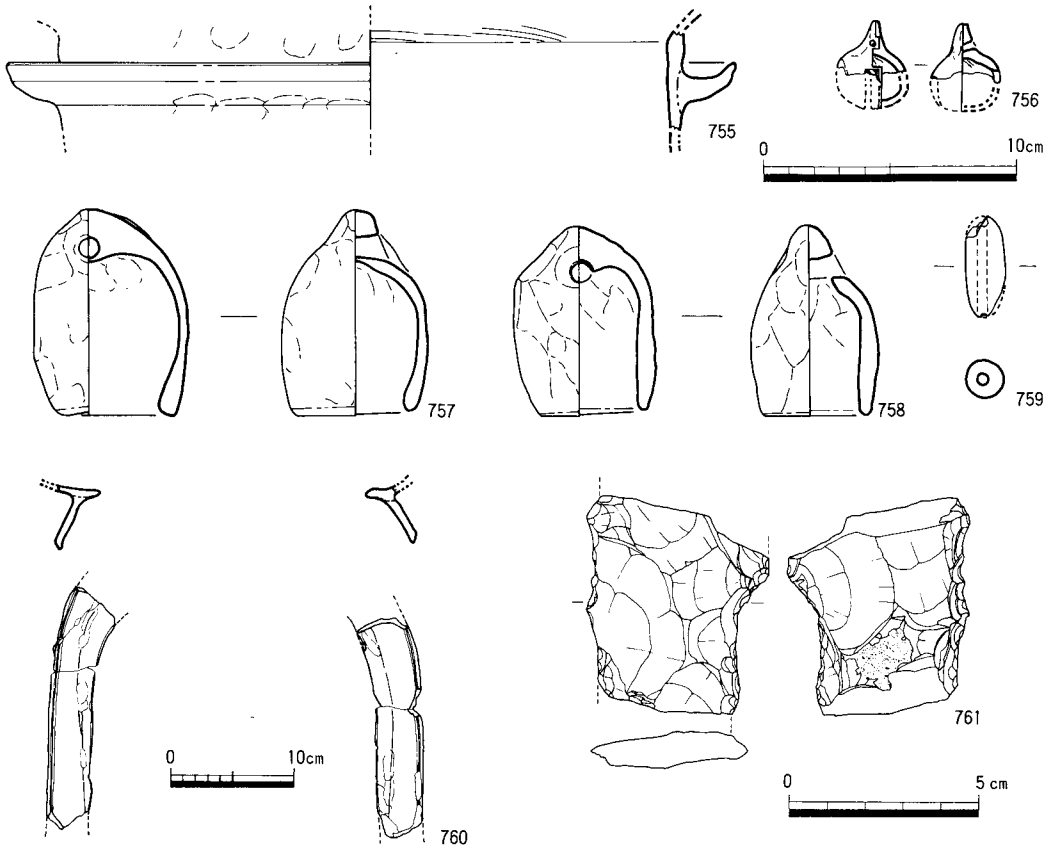
第203図 SD189断面図(1/40)及び出土土器(1/3)・石器(1/2)

SD191 (第204・205図)

埋土は大きく2層に分かれる。上層は自然堆積状況を示す黒褐色粘質土で下層は灰色粘質土層である。埋土から弥生土器、土師器、須恵器、黒色土器、西村産瓦質土器、丸瓦、石器(761)が出土している。須恵器は坏蓋(749)・坏(750)・壺(751・752)が、土師器は小皿(753)・甕(754)・羽釜(755)・竈(760)・土鈴(756)・飯蛸壺(757・758)・土錘(759)が出土している。756は、下半を欠損しているが、前後に四角い切り込みが見られること、鈕に円孔があることから土鈴と考えている。年代は、749が8世紀代と考え、750が9世紀代と考える。755は10世紀前半と考える。760は鏝の部分のみの出土である。757・758は当遺跡の他の遺構から出土している飯蛸壺と比較して、鈕の部分が突出せず、従来の分類から見て年代的に新しい形態と考える。出土遺物のうち、年代が判明している749・750・755のどの時期に伴出するかは不明である。

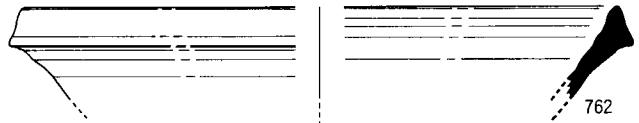


第204図 SD191断面図(1/40)及び出土土器(1)(1/3)



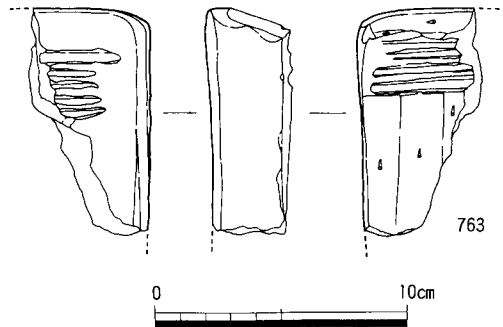
第205図 SD191出土土器(2) (1/3・1/6) 及び石器 (1/2)

SD194～SD203は関連のある溝跡と考える。いずれも埋土は灰色の粘質土で、非常に浅い溝跡である。



SD194 (第206図)

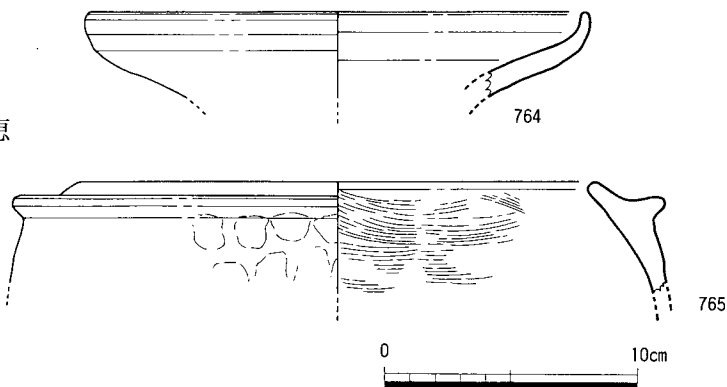
埋土から土師器, 須恵器, 西村産瓦質土器, 東播系須恵器及び瓦が出土している。762は東播系須恵器こね鉢である。763は不明土製品である。762は口縁部が拡張していることから14世紀の遺物と考えられる。763は表裏に深い条痕が認められる。瓦の可能性も考えたが, 類例がないため不明である。



第206図 SD194出土土器 (1/3)

SD196 (第207図)

埋土から土師器, 須恵器, 黒色土器, 瓦器, 東播系須恵器, 白磁, 瓦及び石包丁が出土している。土師器高坏?(764), 土師器羽釜(765)が出土している。764は下方に向かって伸びるため, 高坏か鉢であろうと考える。

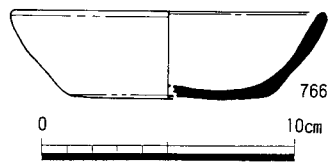


第207図 SD196出土土器(1/3)

形態は不明である。765は14世紀頃と考える。

SD202 (第208図)

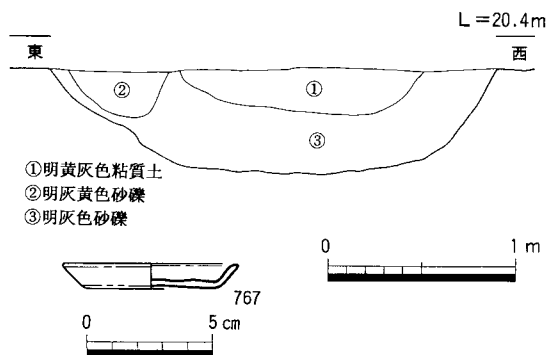
埋土から土師器, 須恵器及び西村産瓦質土器が出土している。須恵器は坏(766)が出土している。底部はヘラ切りである。



第208図 SD202出土土器(1/3)

SD204 (第209図)

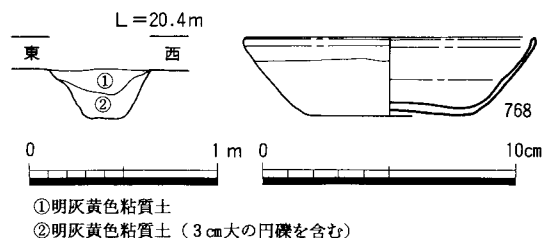
埋土は灰色系粘質土である。埋土から土師器, 須恵器, 西村産瓦質土器, 亀山焼及び瓦が出土している。767は土師器小皿である。底部はヘラ切りである。口縁部に煤の付着が見られることから灯明皿として使用されていたものと考えられる。



第209図 SD204断面図(1/40)及び出土土器(1/3)

SD208 (第210図)

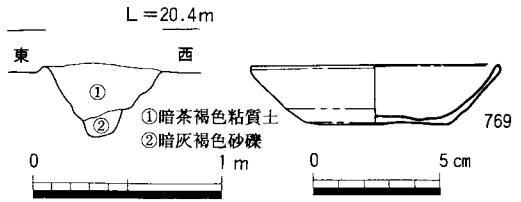
埋土は灰色系粘質土である。埋土から弥生土器, 土師器, 須恵器, 西村産瓦質土器, 丸瓦が出土している。768は瓦質土器坏である。底部はヘラ切りである。



第210図 SD208断面図(1/40)及び出土土器(1/3)

SD 2 1 0 (第211図)

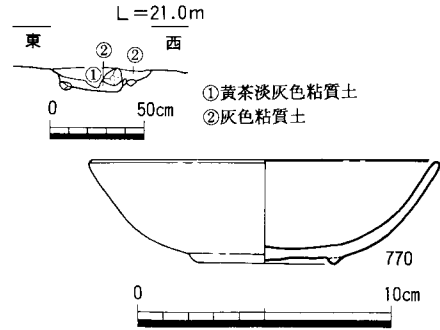
埋土は灰色系粘質土である。埋土から弥生土器、土師器及び須恵器が出土している。769は土師器坏である。底部はヘラ切りである。



第211図 SD 2 1 0 断面図 (1/40)
及び出土土器 (1/3)

SD 2 1 3 (第212図)

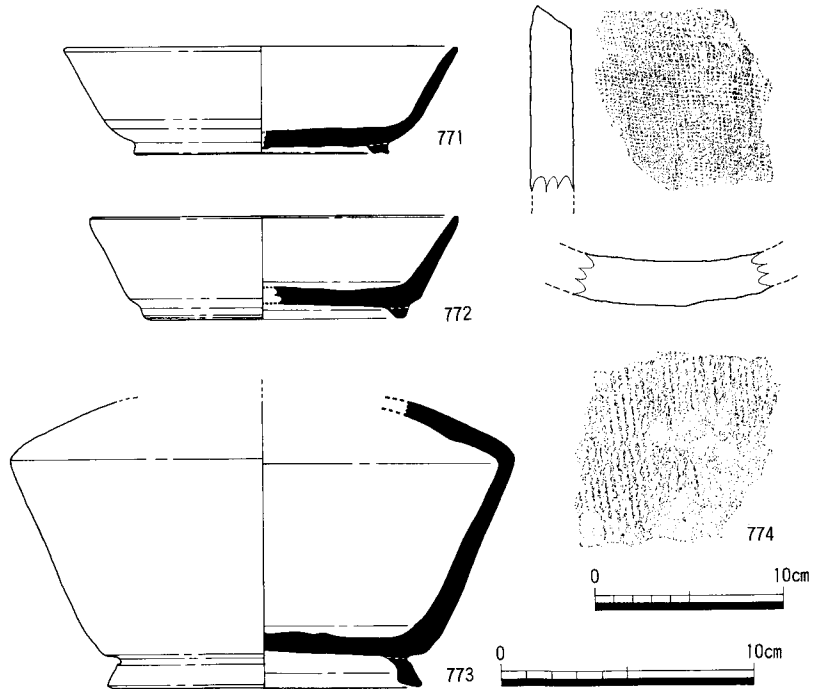
弥生土器、土師器、須恵器及びサヌカイト剥片が出土している。土師器は碗(770)が出土している。高台は蒲鋒状の断面を持つ。



第212図 SD 2 1 3 断面図 (1/40)
及び出土土器 (1/3)

SD 2 3 1 (第213図)

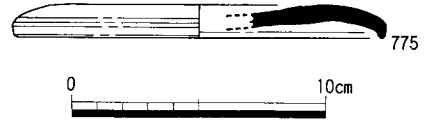
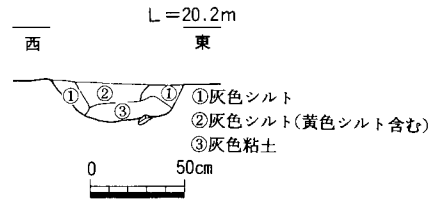
深さは30cmである。埋土は大きく2層に分かれる。上層は灰色粘質土で下層は茶色粘質土層である。埋土から、弥生土器、土師器、須恵器、西村産瓦質土器、青磁染付及び瓦が出土している。須恵器は坏(771・772)と長頸壺(773)が出土している。年代は8世紀と考える。青磁染付は1片のみであること及び埋土から考えて、埋没時期は当時期とし、青磁染付は混入品とする。下層が茶色粘質土であることから、奈良時代頃に埋没したものが鎌倉時代になって再掘削された可能性がある。



第213図 SD 2 3 1 出土土器 (1/3) 及び瓦 (1/4)

SD 2 4 9 (第214図)

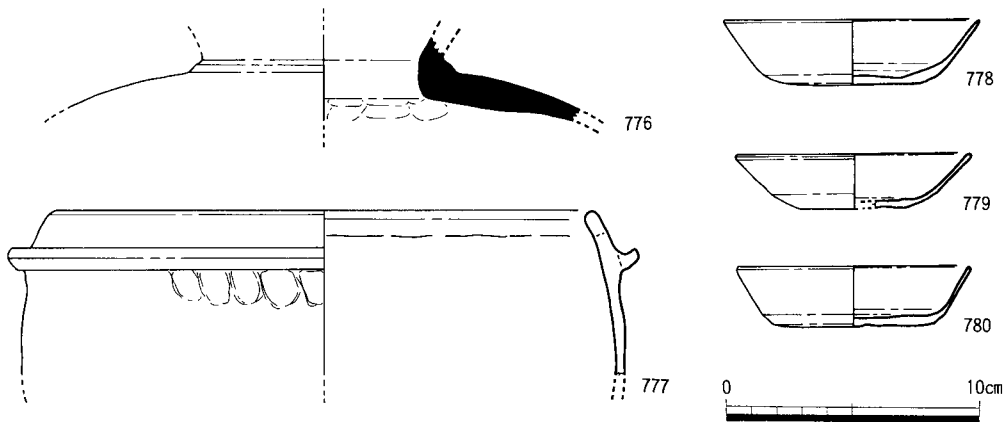
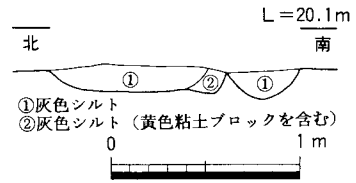
土師器, 須恵器及び黒色土器が出土している。須恵器は坏蓋 (775) が出土している。形態から8世紀代に比定される。埋土から当時期と考える。



第214図 SD 2 4 9 断面図 (1/40) 及び出土土器 (1/3)

SD 2 5 1 (第215図)

SE 0 4 と関連する溝であると考えられる。埋土から須恵器坏・壺 (776) ・甕, 土師器羽釜 (778), 土師器小皿 (778~780) ・坏・土鍋・土釜・こね鉢, 黒色土器A類破片, 西村産瓦質土器及び瓦質こね鉢が出土している。778~780は底部ヘラ切りである。遺物から考えて, この溝は鎌倉時代頃に埋没したものであろう。



第215図 SD 2 5 1 断面図 (1/40) 及び出土土器 (1/3)

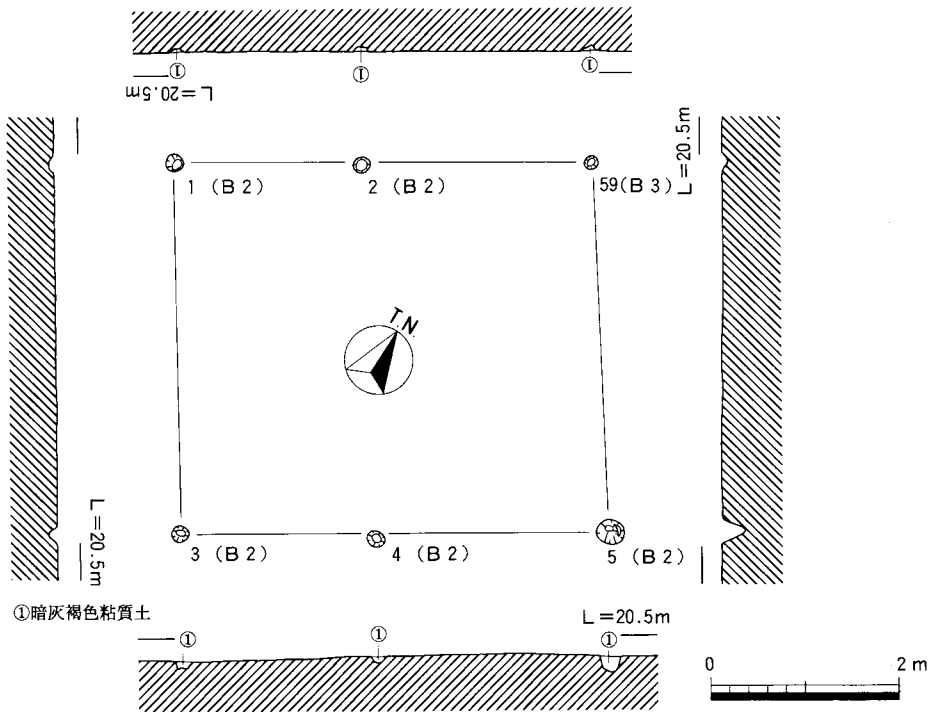
江戸時代以降

掘立柱建物跡（図版39）

A区西部に奈良時代の掘立柱建物群と同じ方向であるが、柱穴の大きさが小さく、柱穴埋土色が灰色である掘立柱建物群がある。SB02・03・04・06・14・15・16・18・19・25である。この建物群の中には近世陶磁器が柱穴埋土から出土するものが多いことから、いずれも近世の掘立柱建物跡であると考えられる。SB08は柱穴が大きく、また確実に近世と考えられる遺物は柱穴から出土していないものの、柱穴埋土色が灰色であること及び主軸方向が近世建物群の方向に一致することから、近世の建物と考える。

SB02（第216図）

B2・B3区画に位置する。柱穴は平面形が円形を呈し、径は15～30cm、深さは約4～16cmである。1間の長さは、短辺と長辺でかなり差がある。埋土は暗灰褐色粘質土である。遺物は出土していない。



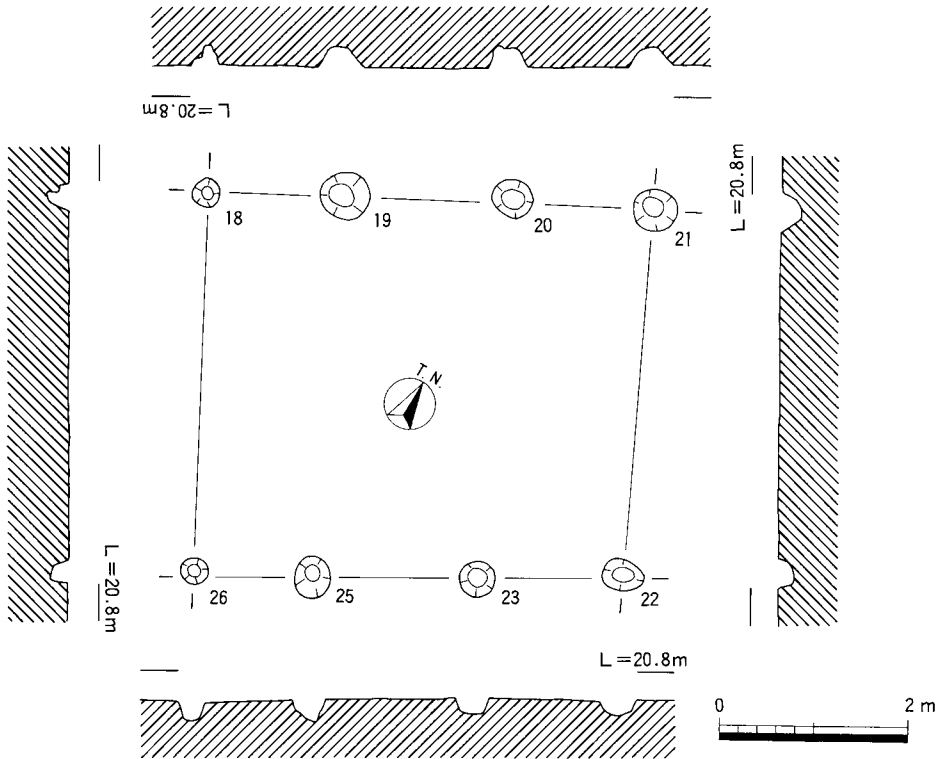
第216図 SB02平・断面図（1/80）

SB03 (第217図, 図版40)

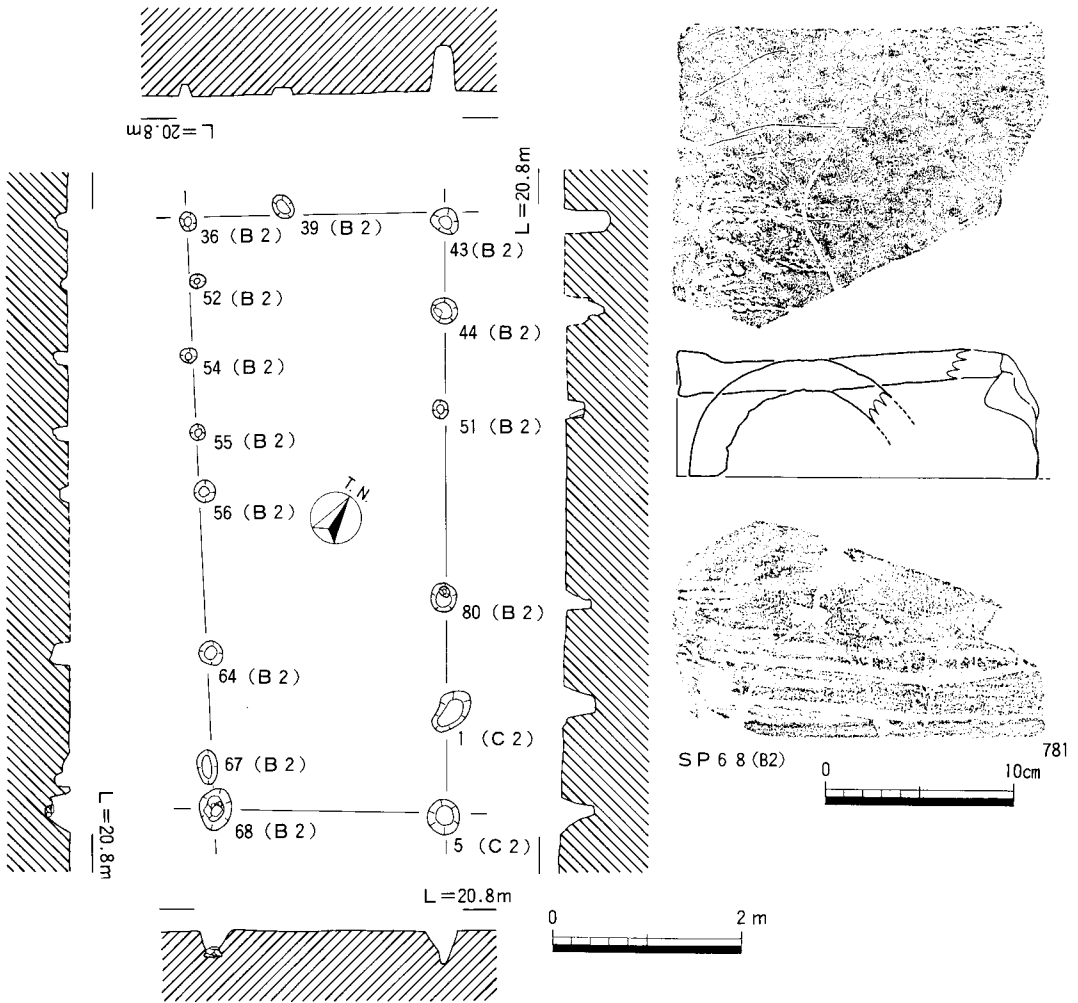
B2区画に位置する。柱穴は平面形が不整円形を呈し、径は約40cm、深さは約20cmである。埋土は暗灰色土である。遺物は出土していない。

SB04 (第218図, 図版40)

A区の最西端, B2・C2区画に位置する。柱間距離はばらばらである。柱穴は平面形が円形を呈しているが、大きさはばらばらで、径は約20cm、深さは約20~30cmである。埋土は明灰白色土である。SD08より新しい。柱穴から弥生土器, 土師器, 須恵器, 早島式土器及び素焼きの丸瓦が出土している。



第217図 SB03平・断面図 (1/80)



第218図 SB 0 4 平・断面図 (1/80) 及び出土瓦 (1/4)

SB 0 6 (第219図)

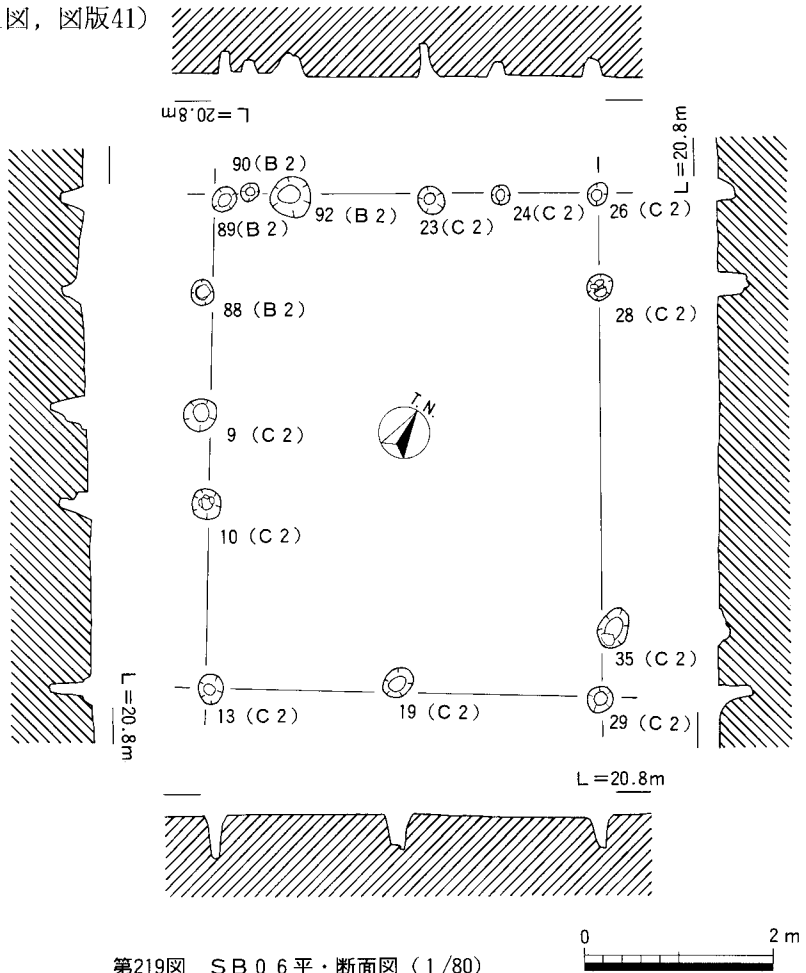
B2・C2区画に位置する。SB 0 4とSB 1 5の間に建てられている。柱間距離はばらばらで、0.7~2 mである。柱穴は平面形が円形を呈し、径は約30cm、深さは約30cmである。埋土は明灰白色土である。柱穴から弥生土器、土師器、須恵器、唐津焼が出土している。

SB08 (第220・221図, 図版41)

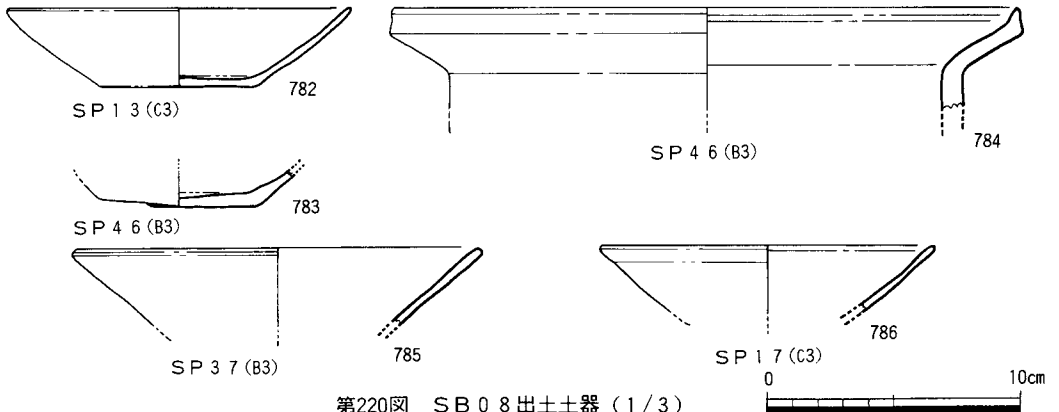
B3・B4・C3・C4区画

に位置する。複雑な構造の建物である。柱穴からは弥生土器, 土師器, 須恵器及び瓦質土器が出土している。782はC3 SP 1 3から, 783・784はB3 SP 4 6から出土している。B3 SP 3 7からは土師器坏(785)が, C3 SP 1 7から土師器坏(786)が出土している。土師器坏は782・783とも底部へラ切りである。土師器土鍋784は口縁

端部を上方に拡張している。長胴の甕の可能性もあるが、外面に粗いハケ調整が認められないことから土鍋と考える。年代は782が9世紀後半, 783が10世紀と考える。



第219図 SB06平・断面図(1/80)



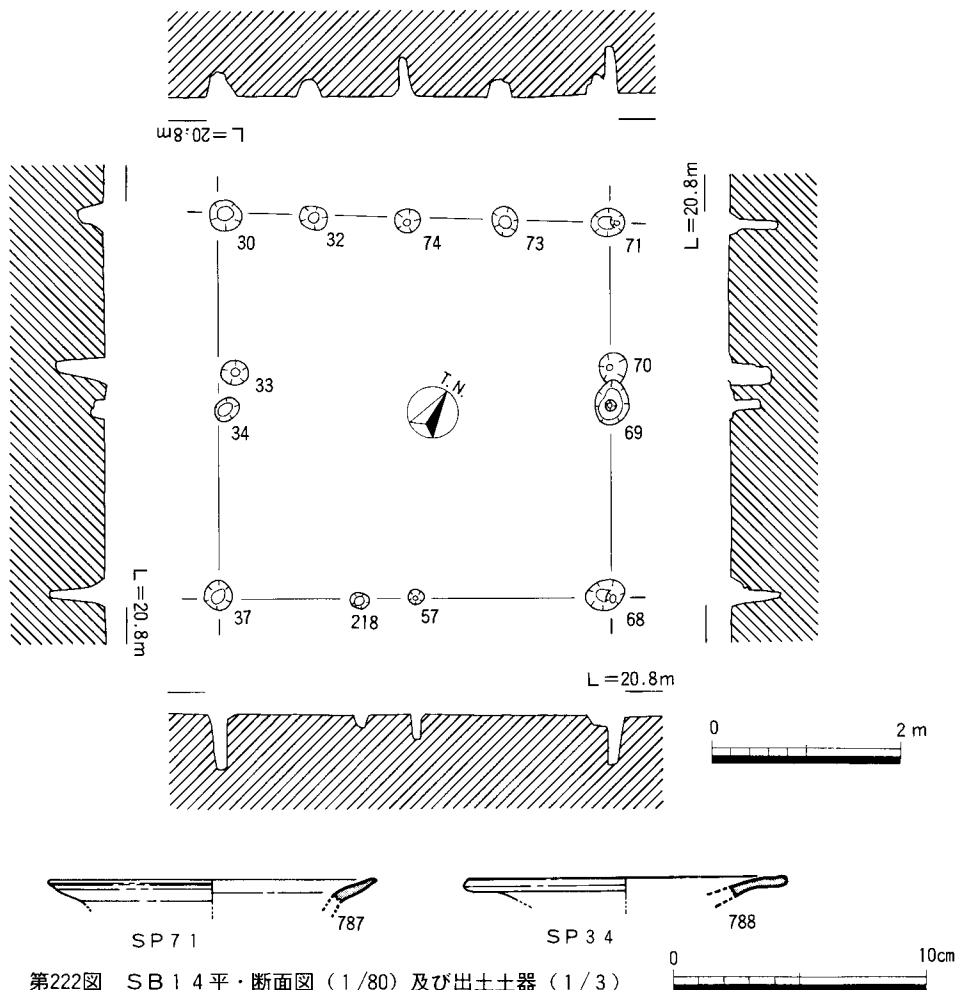
第220図 SB08出土土器(1/3)

SB 1 4 (第222図)

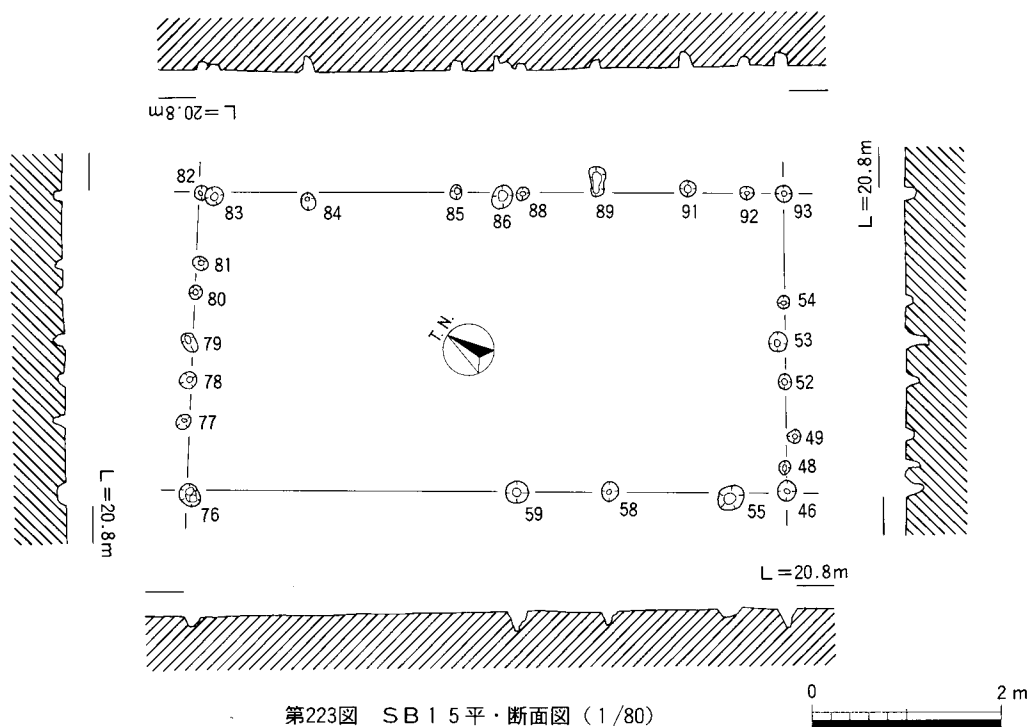
C2区画に位置する。SB 1 5と重なり合っている。柱間距離は、長辺で約1 m、短辺で2 mである。柱穴は平面形が円形を呈し、径は約30cm、深さは多少ばらつきがあるが約50 cmである。埋土は明灰白色土である。柱穴から弥生土器、土師器、須恵器、陶器及び染付が出土している。787・788は陶器の皿である。788は溝縁皿である。17世紀代の所産であろう。

SB 1 5 (第223図)

C2区画に位置する。柱間距離はばらばらで、短辺で約20cmから1.2mである。柱穴は平面形が円形を呈し、径は約15cm、深さは約10cmである。埋土は明灰白色土である。柱穴から弥生土器、土師器、陶器、青磁及びほうろくが出土している。

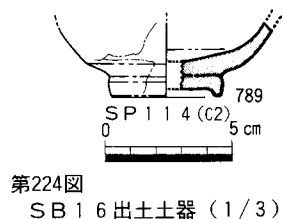


第222図 SB 1 4 平・断面図 (1/80) 及び出土土器 (1/3)



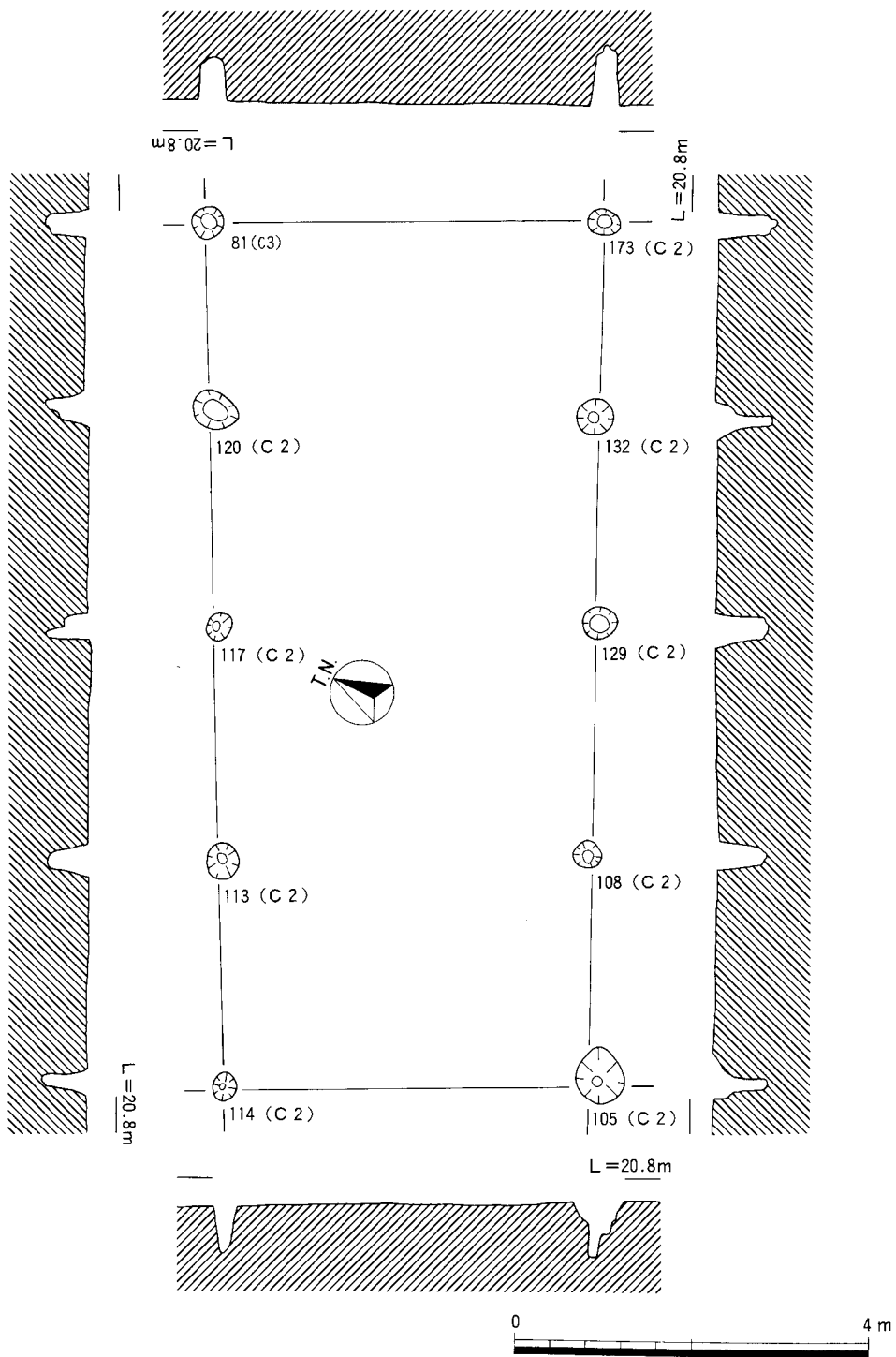
SB 16 (第224・225図, 図版41)

C2・C3区画に位置する。柱穴は平面形が不整形円形を呈し、径は約40cm、深さは約50cmである。埋土は暗灰色土及び明灰白色土である。柱穴から土師器、須恵器、陶器及び焼土が出上している。789は唐津焼の椀である。

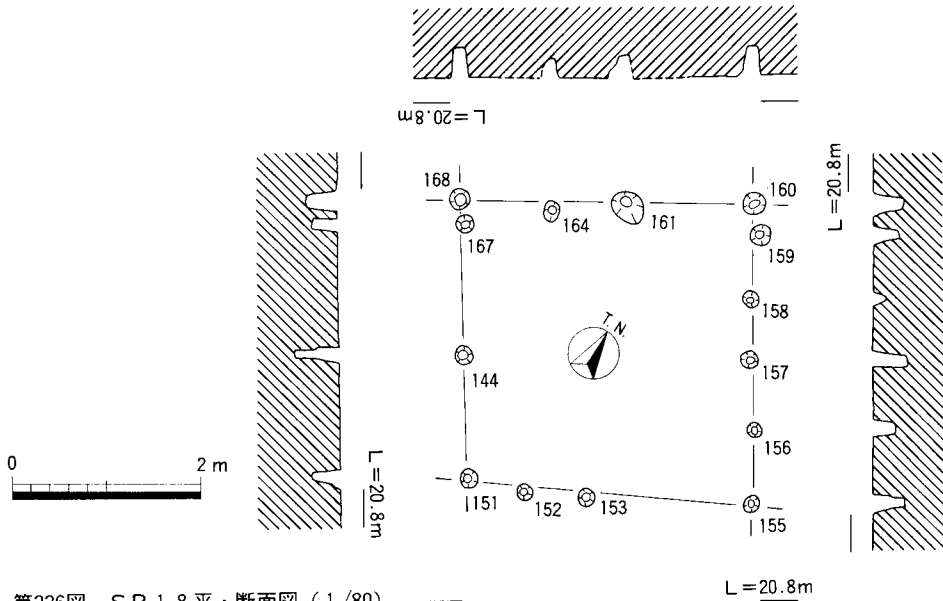


SB 18 (第226図)

C2区画に位置する。平面形はやや台形状である。柱間距離はばらばらで、30cmから1.7mである。柱穴は平面形が円形を呈し、大きさは径約20cm、深さは約35cmである。埋土は明灰白色土である。柱穴から土師器、須恵器及び近世頃のものと考えられる素焼きの土器が出土している。



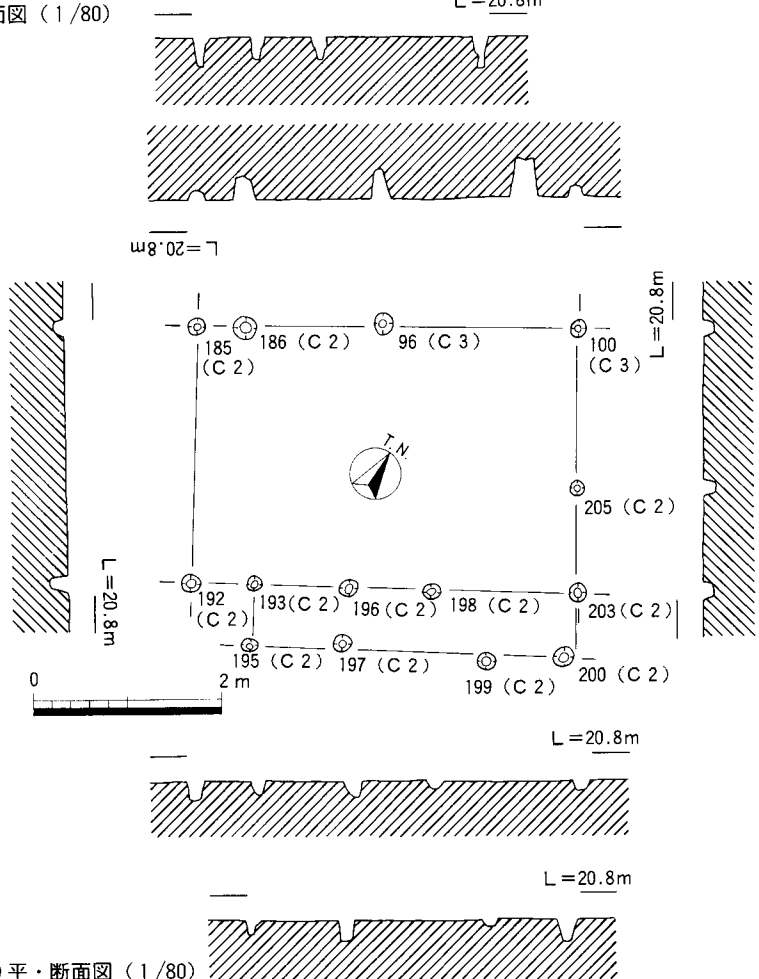
第225図 SB 16平・断面図 (1/80)



第226図 SB18平・断面図(1/80)

SB19 (第227図,
図版42)

C2・C3区画に位置する。1間×3間の付属施設がある。廂か廊下と考える。柱間距離はばらばらで、短辺で1.1~2.8m、長辺で50cm~2mである。柱穴は平面形が円形を呈し、径は約20cm、深さは約20cmである。埋土は明灰白色土である。柱穴から弥生土器、土師器、須恵器が出土している。



第227図 SB19平・断面図(1/80)

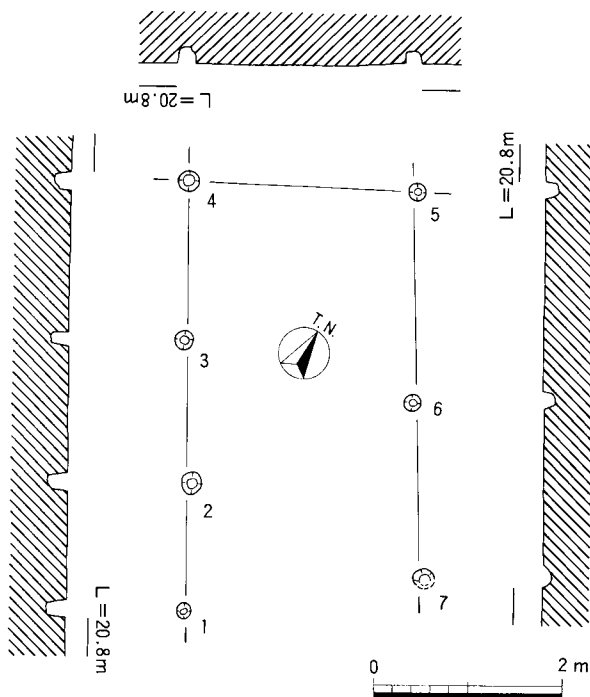
SB 2 5 (第228図, 図版42)

D2区画に位置する。柱穴は平面形が円形を呈し、径は20cm、深さは約15cmである。埋土は明灰白色土である。柱穴から須恵器が1点出土している。

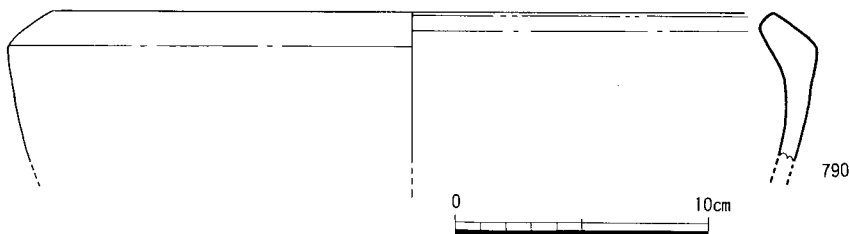
ピット

C2SP 1 6 6 (第229図)

土師器の火鉢(790)が出土している。



第228図 SB 2 5 平・断面図 (1/80)

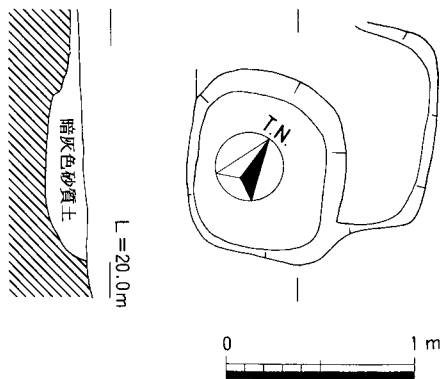


第229図 C2SP 1 6 6 出土土器 (1/3)

土坑

SK 0 1 (第230図)

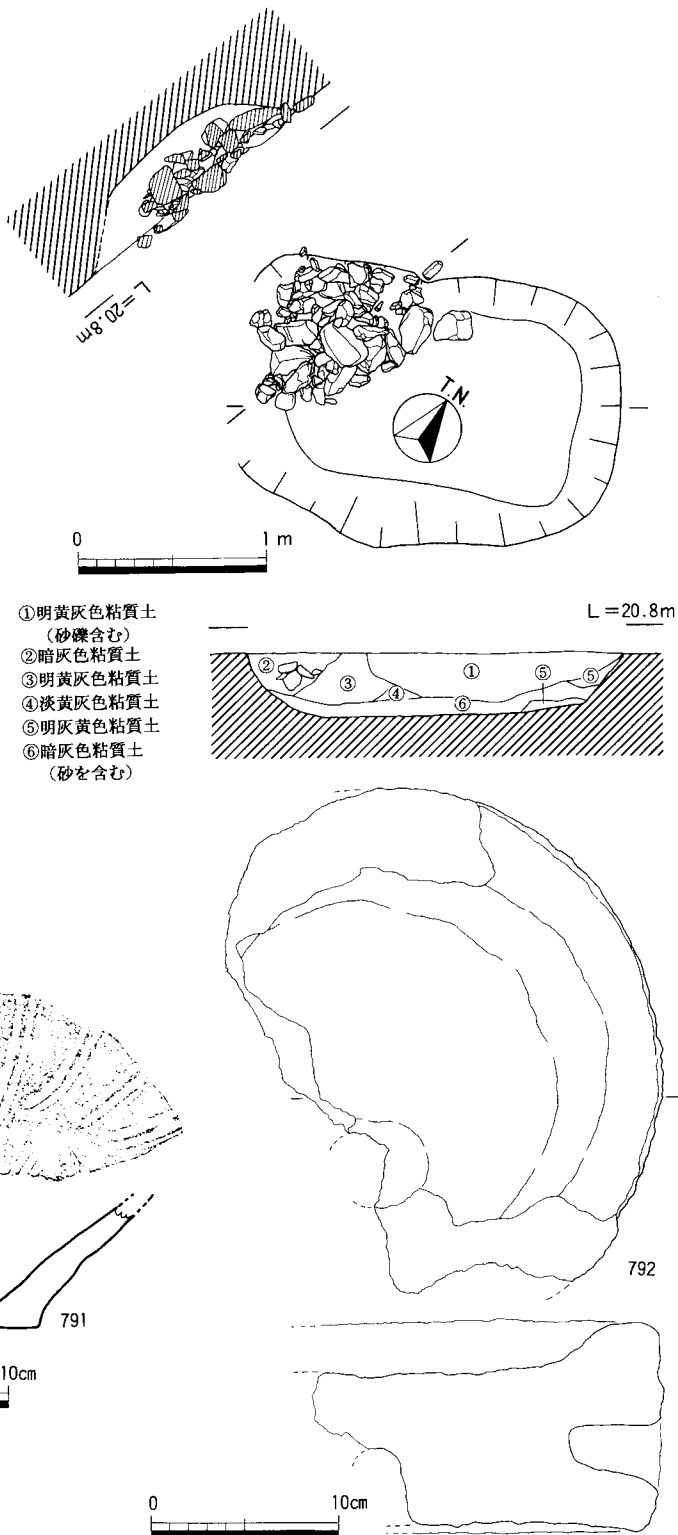
A3区画に位置する。埋土は灰色砂質土ブロックと基盤層である黄色粘質土ブロックが混じったもので、人為的に埋められたものである。遺物は出土していない。



第230図 SK 0 1 平・断面図 (1/40)

SK02 (第231図, 図版43)

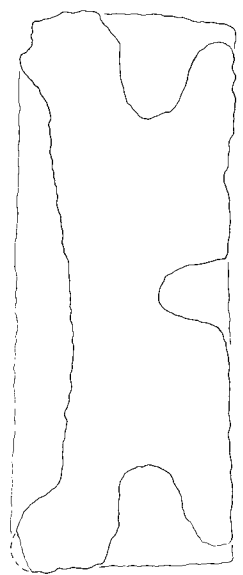
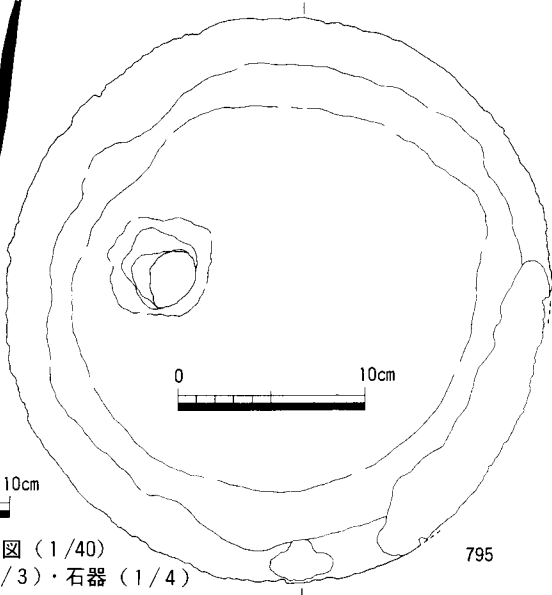
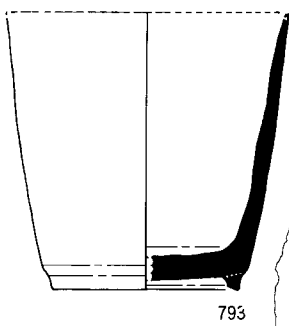
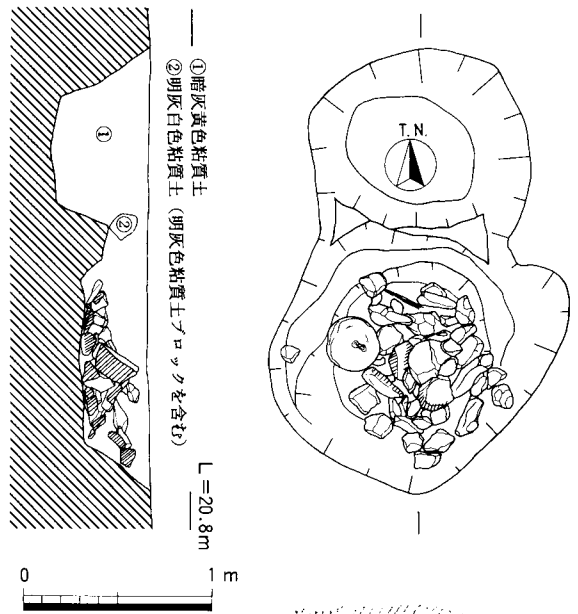
B1区画に位置し、調査区から西に広がっている。平面形は不整楕円形を呈し、深さは68cmである。一部に円礫が集中して出土している。平面形、断面形及び円礫の出土状況から、2つの土坑が重なっており、そのうち東側の土坑が新しいと考える。埋土は基盤層である黄色粘質土ブロックにわずかに灰色土が混じるような状況で、人為的に埋められたものである。埋土から土師器、須恵器及び石臼(792)が出土している。791は土師器器插鉢である。



第231図 SK02平・断面図(1/40)及び出土土器(1/3)・石器(1/4)

SK03 (第232図, 図版43・44)

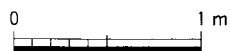
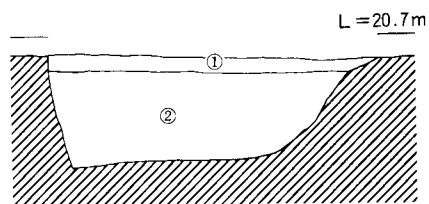
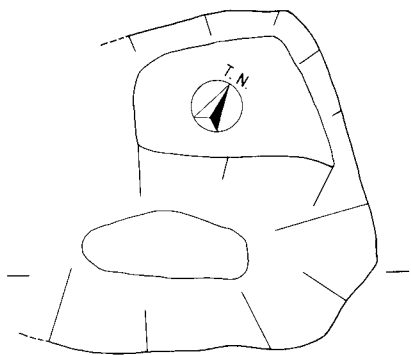
B1区画に位置する。2つの土坑が一部重なったものである。北の土坑をA, 南の土坑をBとする。Aは断面形からいわゆる野壺跡であると考え。埋土には礫及び基盤層の黄色系粘質土ブロックが混じることから人為的に埋められたものと考え。Bからは円礫や石臼(795)が捨てられた状態で出土している。埋土には基盤層の黄色系粘質土ブロックを含むことから人為的に埋められたと考える。AよりもBの方が新しい。埋土から土師器, 須恵器, 陶磁器等が出土しているが, AとBのどちらから出土したかは不明である。須恵器鉢(793), 備前焼插鉢(794)が出土している。



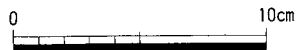
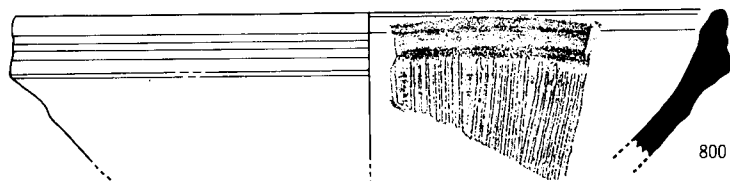
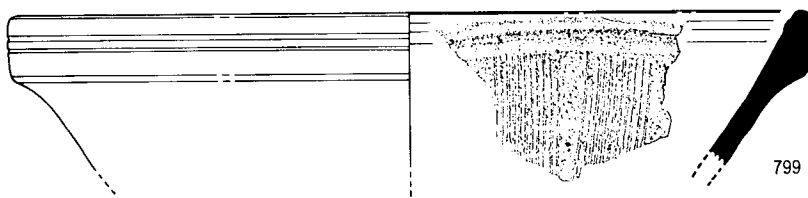
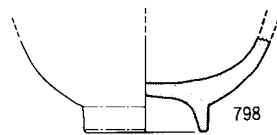
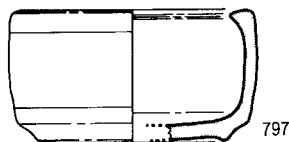
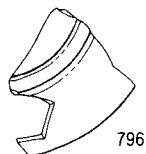
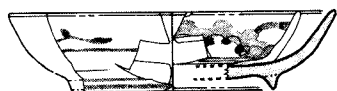
第232図 SK03平・断面図(1/40) 及び出土土器(1/3)・石器(1/4)

SK04 (第233図)

B1区画に位置し、調査区から西に広がる。SD08より新しい。平面形は不整楕円形を呈し、深さは60cmである。埋土は、円礫を多量に含む暗灰褐色砂質土である。埋土から土師器、須恵器及び陶磁器が出土している。陶磁器は、京焼風陶器碗(798)、染付皿(796)、青磁(797)、備前焼播鉢(799・800)等が出土している。799・800は江戸時代の所産と考える。



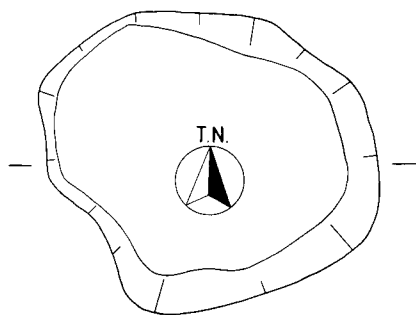
- ①暗灰黄色粘質土
- ②暗灰褐色砂質土(2~8cmの礫を多量に含む)



第233図 SK04平・断面図(1/40)及び出土土器(1/3)

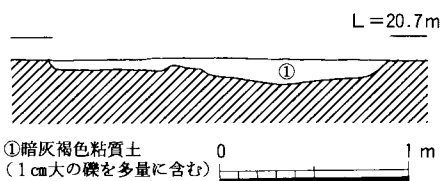
SK05 (第234図, 図版44)

B1・C1区画に位置する。埋土から土師器大甕, 須恵器, 瓦及びサヌカイト剥片が出土している。



SK06 (第235・236図, 図版45)

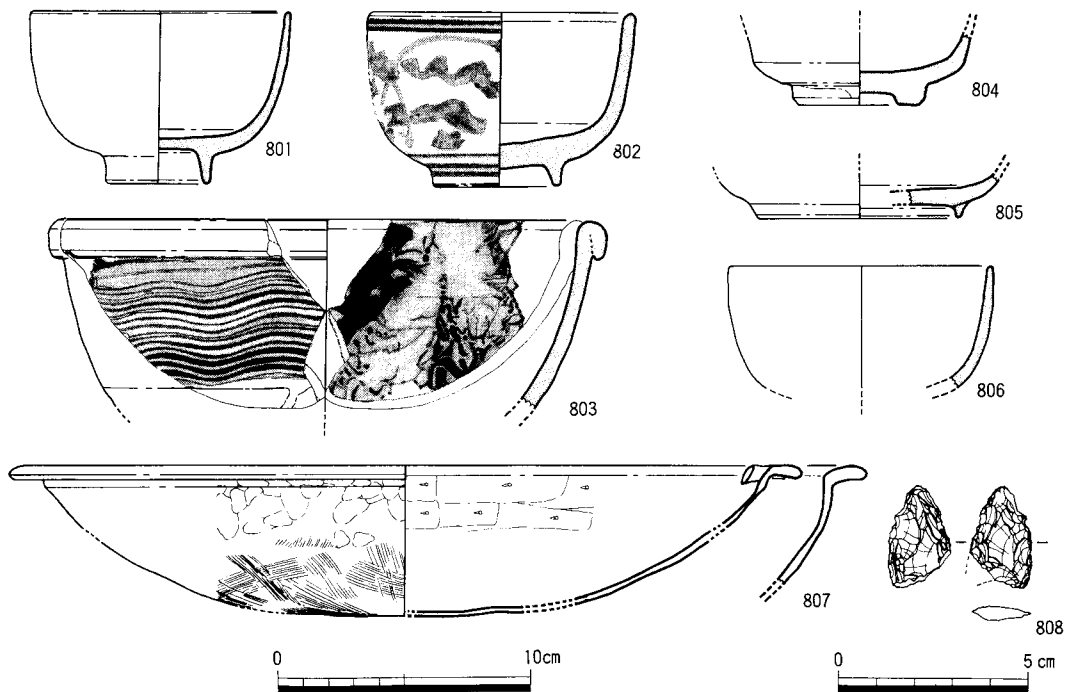
B2区画に位置し, 調査区より西側に拡がりをみる。平面形は不整形を呈し, 深さは32cmである。埋土は, 基本的には, 礫を含む暗灰褐色砂質土である。埋土から陶器椀 (801・802・806), 陶器鉢 (803), 青磁椀 (804), 青磁皿 (805), 土師器ほうろく (807) 及び石鏃等が出土している。801は無文, 802は陶胎染付, 803は唐津刷毛目鉢である。802の年代は18世紀と考える。



第234図 SK05平・断面図 (1/40)



第235図 SK06平・断面図 (1/40)



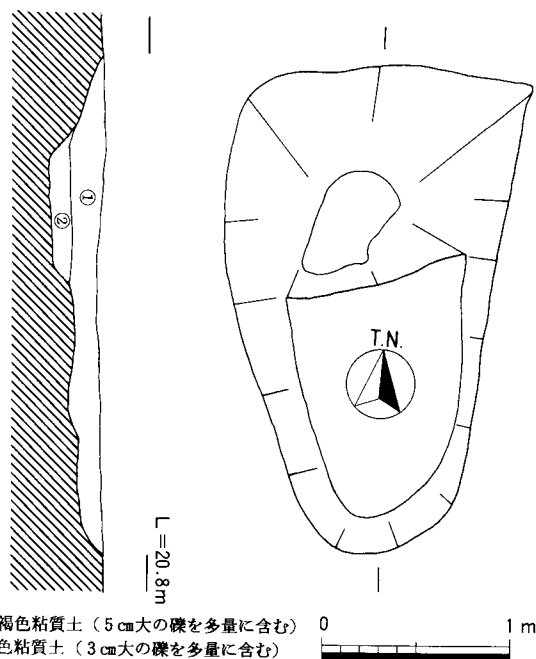
第236図 SK06出土土器（1/3）及び石器（1/2）

SK07（図版45）

B2区画に位置する。平面形，断面形とも不整形である。埋土からほうろく及び陶磁器等が出土している。

SK14（第237図，図版45）

C1・C2区画に位置する。円礫で埋まっている。いわゆる整理土坑と考える。土師器，須恵器，染付及び瓦が出土している。

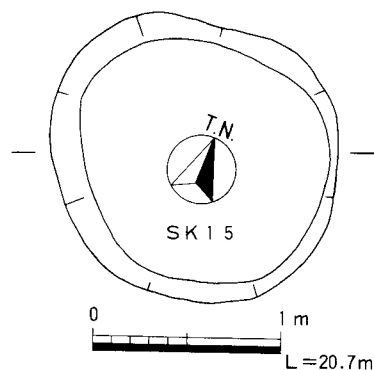


①暗灰褐色粘質土（5cm大の礫を多量に含む）
 ②黒褐色粘質土（3cm大の礫を多量に含む）

第237図 SK14平・断面図（1/40）

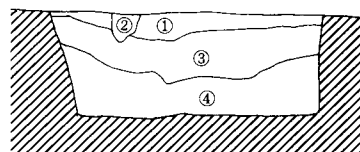
SK 1 5 (第238図, 図版46)

C2区画に位置する。埋土は灰色粘質土ブロックと基盤層である黄色粘質土ブロックが混じったもので、人為的に埋められたものである。埋土から土師器が出土している。いわゆる野壺と考える。



SK 1 6 (第239図, 図版46)

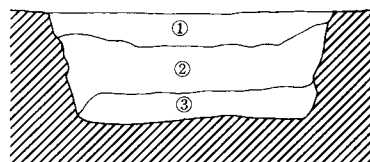
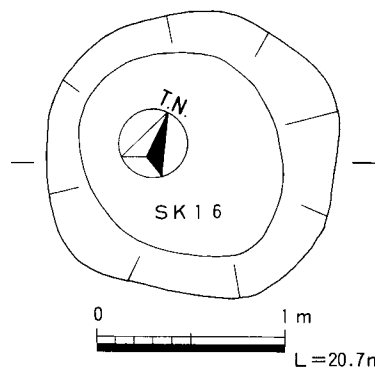
C2区画に位置する。埋土は灰色粘質土ブロックと基盤層である黄色粘質土ブロックが混じったもので、人為的に埋められたものである。埋土から土師器が出土している。いわゆる野壺と考える。



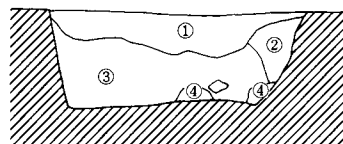
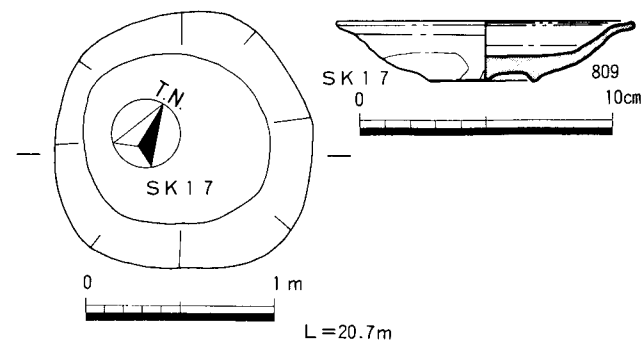
- ①暗黄色粘質土
- ②暗灰色粘質土
- ③明黄色粘質土 (明灰色粘質土ブロックを含む)
- ④暗黄色粘質土

SK 1 7 (第239図, 図版47)

C2区画に位置する。平面形は不整円形を呈し、深さは54cmである。埋土は灰色粘質土ブロックと基盤層である黄色粘質土ブロックが混じったもので、人為的に埋められたものである。埋土から土師器、須恵器及び陶器が出土している。809は唐津縁溝皿である。形態から17世紀前半と考える。



- ①暗灰色粘質土
- ②暗灰色粘質土 (黄色粘質土ブロックを含む)
- ③黄色粘質土 (白色粘質土ブロックを含む)

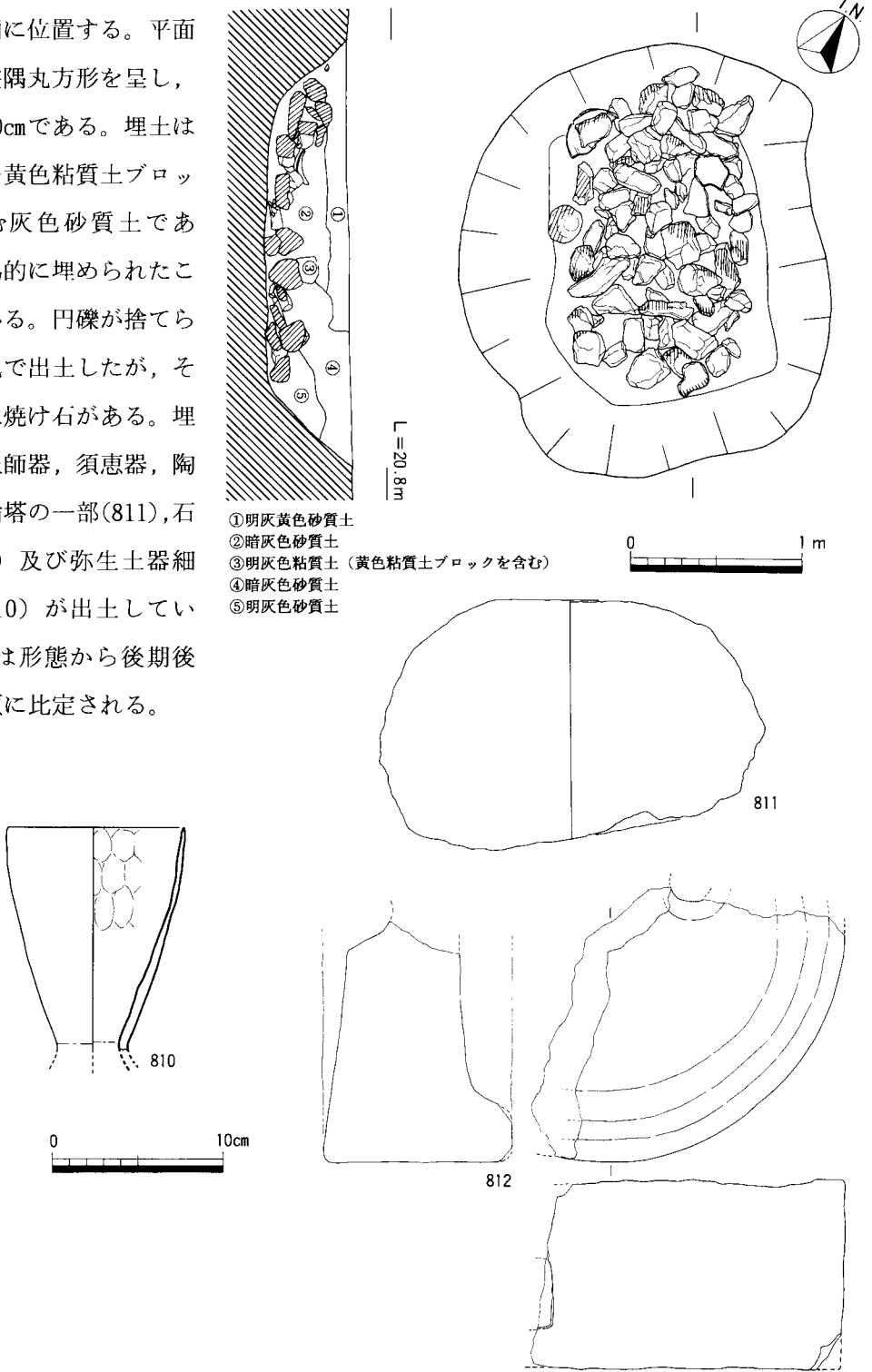


- ①明灰白色粘質土 (黄色粘質土ブロックを含む)
- ②黄色粘質土 (明灰白色粘質土ブロックを含む)
- ③黄色粘質土 (明灰白色及び白色粘質土ブロックを含む)
- ④青灰色粘土

第238図 SK 1 5・1 6・1 7 平・断面図 (1/40) 及び出土土器 (1/3)

SK18 (第239図, 図版47・48)

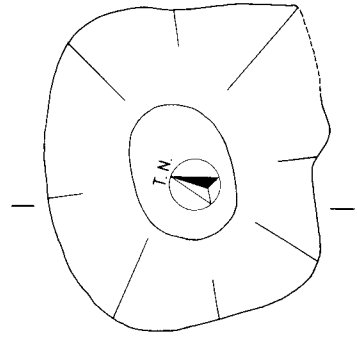
C2区画に位置する。平面形は不整隅丸方形を呈し、深さは50cmである。埋土は基盤層の黄色粘質土ブロックを含む灰色砂質土であり、人為的に埋められたことがわかる。円礫が捨てられた状況で出土したが、その中には焼け石がある。埋土から土師器、須恵器、陶器、五輪塔の一部(811)、石臼(812)及び弥生土器細頸壺(810)が出土している。810は形態から後期後半～末頃に比定される。



第239図 SK18平・断面図(1/40)及び出土土器・石器(1/4)

SK 19 (第240図, 図版48)

C2区画に位置する。平面形は隅丸方形を呈し、深さは82cmである。断面形から野壺と考える。埋土は、基盤層の黄色粘質土ブロックを含む灰色砂質土であることから、人為的に埋められたと考えることができる。埋土から須恵器高坏および唐津縁溝皿が出土している。

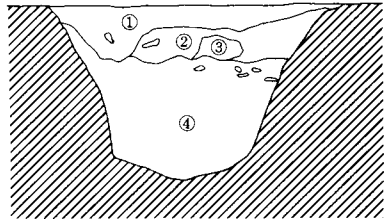


SK 19

L=20.8m

SK 20 (第240図, 図版49)

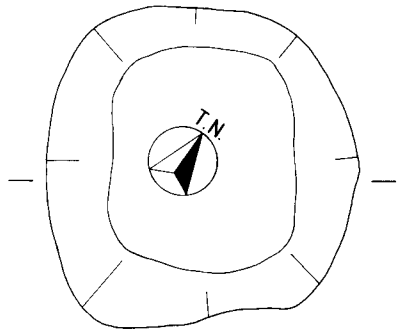
C2区画に位置する。埋土からは土師器の小破片が出土しているのみであるが、埋土が周辺の近世の土坑と同じであることから、当時期の遺構と考える。



- ①明灰黄色砂質土
- ②明灰色砂質土
- ③黄色粘質土
- ④暗灰褐色粘質土

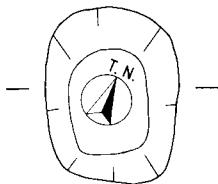
SK 21 (第240図, 図版49)

C2区画に位置する。埋土は灰色粘質土ブロックと黄色粘質土ブロックが混じり合う状況である。遺物は出土していないが、いわゆる近世以降の野壺と考える。



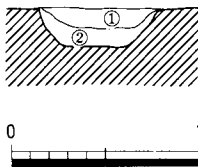
SK 21

L=20.7m



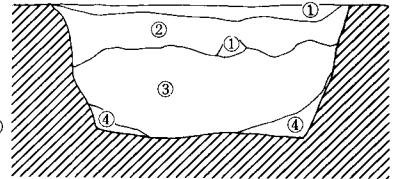
SK 20

L=20.7m



- ①明灰色砂質土
- ②明灰色粘質土
(黄色粘質土ブロックを含む)

- ①明灰白色粘質土
- ②明灰白色粘質土
(黄色粘質土ブロックを含む)
- ③黄色粘質土 (明灰白色粘質土ブロックを含む)
- ④青灰色粘土

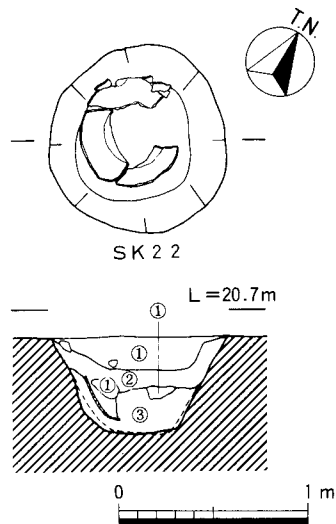


0 1 m

第240図 SK 19・20・21平・断面図 (1/40)

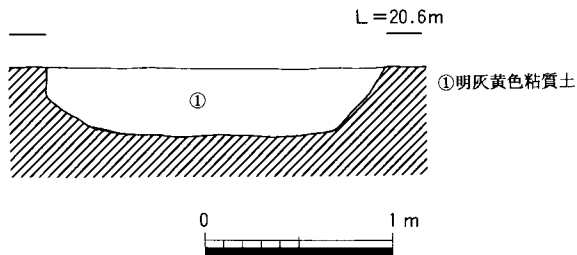
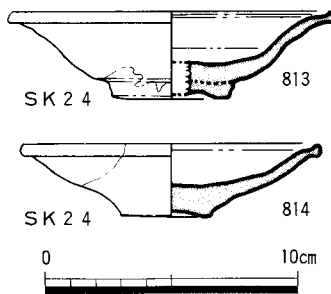
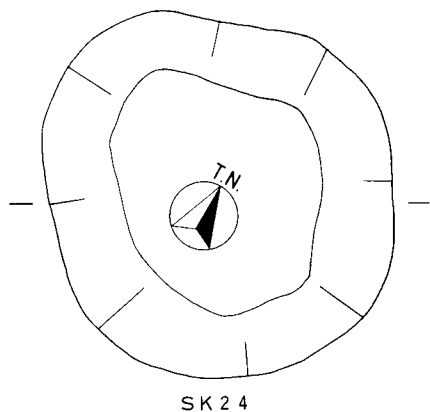
SK 2 2 (第241図, 図版50)

C2区画に位置する。平面形は不整円形を呈し、深さは50 cmである。土師器の大甕が置かれた状態で残存していた。いわゆる野壺である。埋土は灰色粘質土ブロックと基盤層である黄色粘質土ブロックが混じたもので、人為的に埋められたものである。埋土から土師器插鉢・火鉢、須恵器及び磁器が出土した。



SK 2 4 (第241図, 図版50)

C3区画に位置する。平面形は不整円形を呈し、深さは35 cmである。SD 0 9より新しい。埋土は基本的には、明灰黄色粘質土である。埋土から土師器、須恵器及び唐津縁溝皿(813・814)が出土している。形態から17世紀前半と考える。

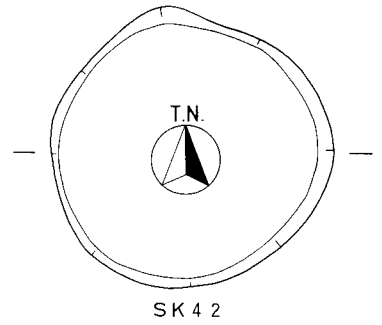


- ①明灰白色砂質土
- ②明灰白色砂質土(黄色粘土ブロックを含む)
- ③黄色粘質土(明灰白色粘質土ブロックを含む)

第241図 SK 2 2・2 4 平・断面図(1/40)及び出土土器(1/3)

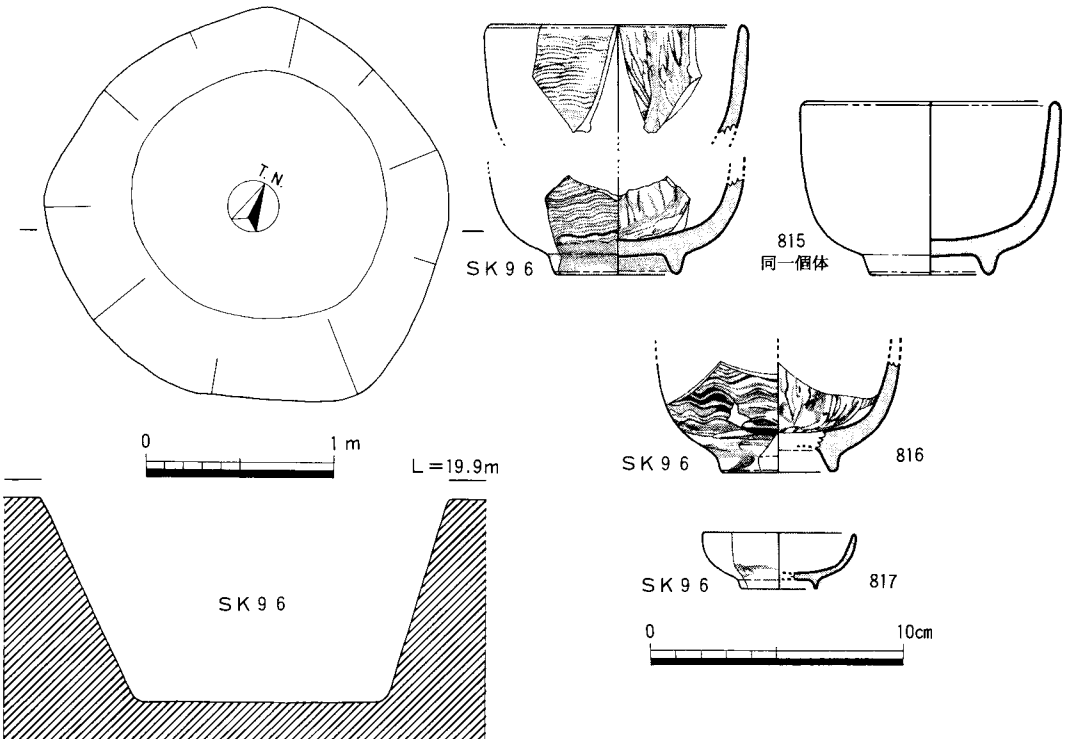
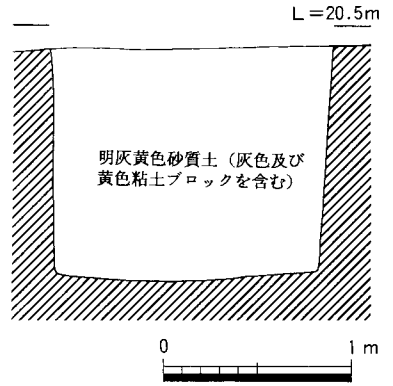
SK 4 2 (第242図)

E4区画に位置する。埋土は灰色粘質土ブロックと黄色粘質土ブロックが混じり合うような状況である。断面形態及び埋土の状況から考えて、いわゆる近世以降の野壺と考える。遺物は出土していない。



SK 9 6 (第242図, 図版51)

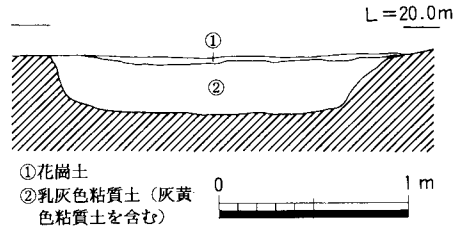
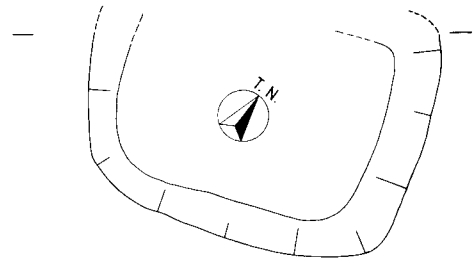
J13区画に位置する。円礫で埋まっている。埋土から土師器, 須恵器, 陶磁器, 瓦, 石鍋及びサスカイト剥片が出土している。陶磁器は唐津刷毛目碗(815・816)と染付小型碗(817)が出土している。815・816の形態から18世紀代と考える。



第242図 SK 4 2・9 6 平・断面図(1/40)及び出土土器(1/3)

SK 97 (第243図, 図版51)

J13区画に位置する。埋土は灰色粘質土ブロックと黄色粘質土ブロックが混じり合う状況である。埋土から弥生土器, 土師器, 須恵器, 西村産瓦質土器及びサヌカイト片が出土している。埋土の状況から考えていわゆる江戸時代以降の土坑と考える。

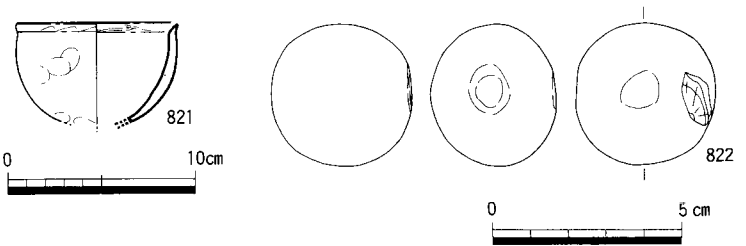
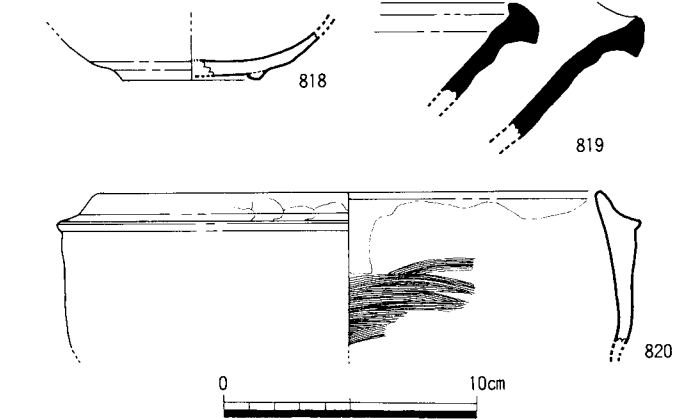
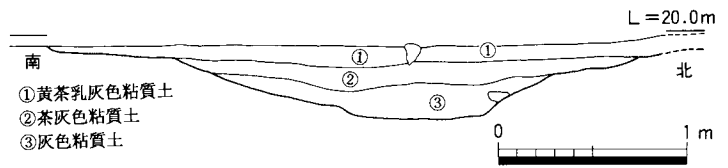


第243図 SK 97 平・断面図 (1/40)

溝跡

SD 2 2 5 (第244図)

埋土から弥生土器, 土師器, 須恵器, 黒色土器, 瓦器, 東播系須恵器, 西村産瓦質土器, 陶磁器, 瓦及びサヌカイト剥片等が出土している。西村産瓦質土器坏 (818), 須恵器片口鉢 (819), 弥生ミニチュア土器鉢 (821), 土師器羽釜 (820) が出土している。819は「東播系」と呼ばれるものである。年代は, 819が14世紀と考える。820は15~16世紀と考える。SD 2 3 0より新しく陶磁器が出土していることから, 江戸時代以降の埋没と考える。



第244図 SD 2 2 5 断面図 (1/40) 及び出土土器 (1/3・1/4)・石器 (1/2)

時期不明遺構

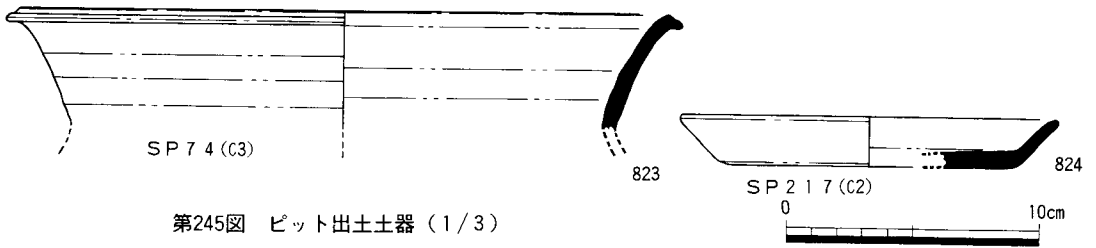
ピット

C3SP 7 4 (第245図)

須恵器甕口縁部 (823) が出土している。

C2SP 2 1 7 (第245図)

須恵質皿 (824) が出土している。



第245図 ピット出土土器 (1/3)

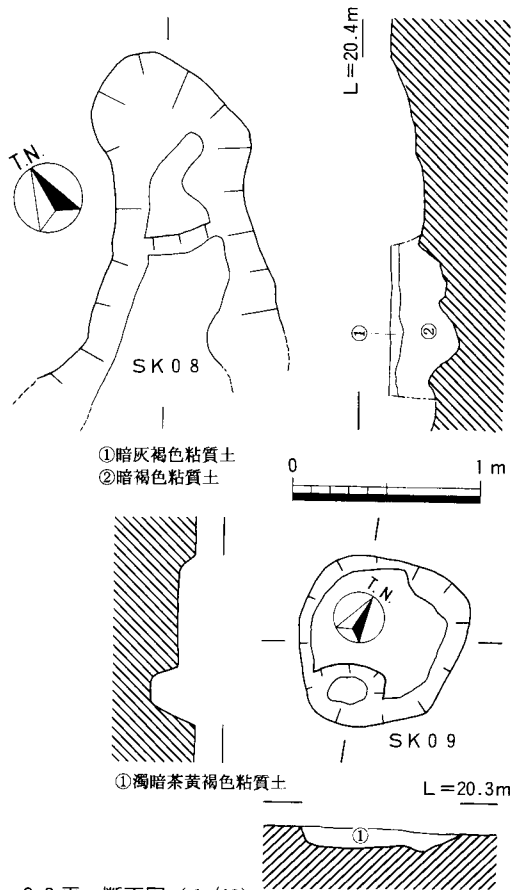
土坑

SK 0 8 (第246図)

B3区画に位置する。埋土から弥生土器、土師器皿が出土している。埋土から奈良・平安時代と考える。

SK 0 9 (第246図)

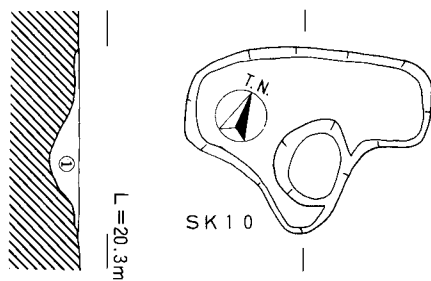
B3・B4区画に位置する。埋土は周辺の掘立柱建物跡の柱穴の埋土に似ている。遺物は出土していない。



第246図 SK 0 8・0 9平・断面図 (1/40)

SK 10 (第247図)

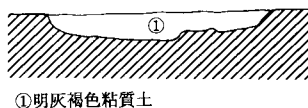
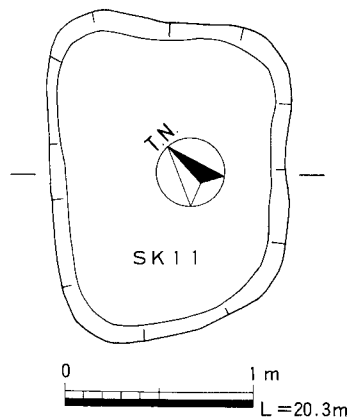
B4区画に位置する。平面形、断面形とも不整形である。遺物は出土していない。



①明灰黄色砂質土
(黄色粘土ブロックを含む)

SK 11 (第247図)

B4区画に位置する。SB 12より古いので、平安時代以前の遺構と考える。遺物は出土していない。



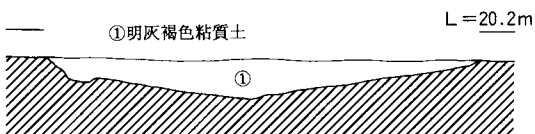
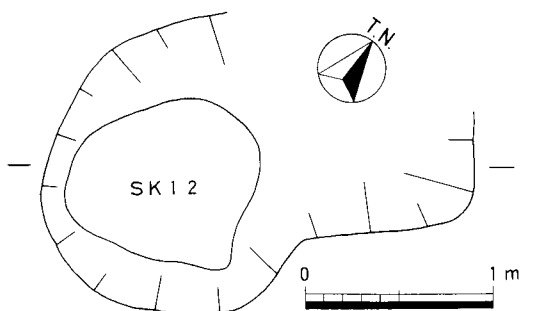
①明灰褐色粘質土

SK 12 (第247図)

B4区画に位置する。奈良時代と考えられるSK 13より古い。遺物は出土していない。

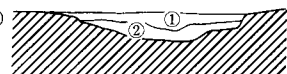
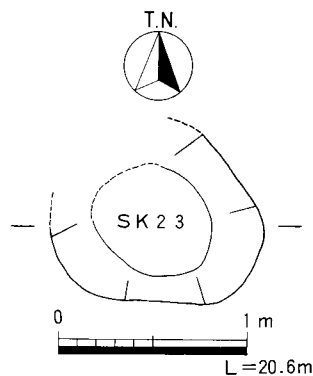
SK 23 (第247図, 図版52)

C3区画に位置する。埋土から弥生土器, 土師器及び須恵器が出土している。



①明灰褐色粘質土

L=20.2m



①明灰黄色粘質土
(5~8cmの礫を多く含む)
②明灰色砂質土

L=20.6m

第247図 SK 10・11・12・23 平・断面図 (1/40)

SK 2 5 (第248図)

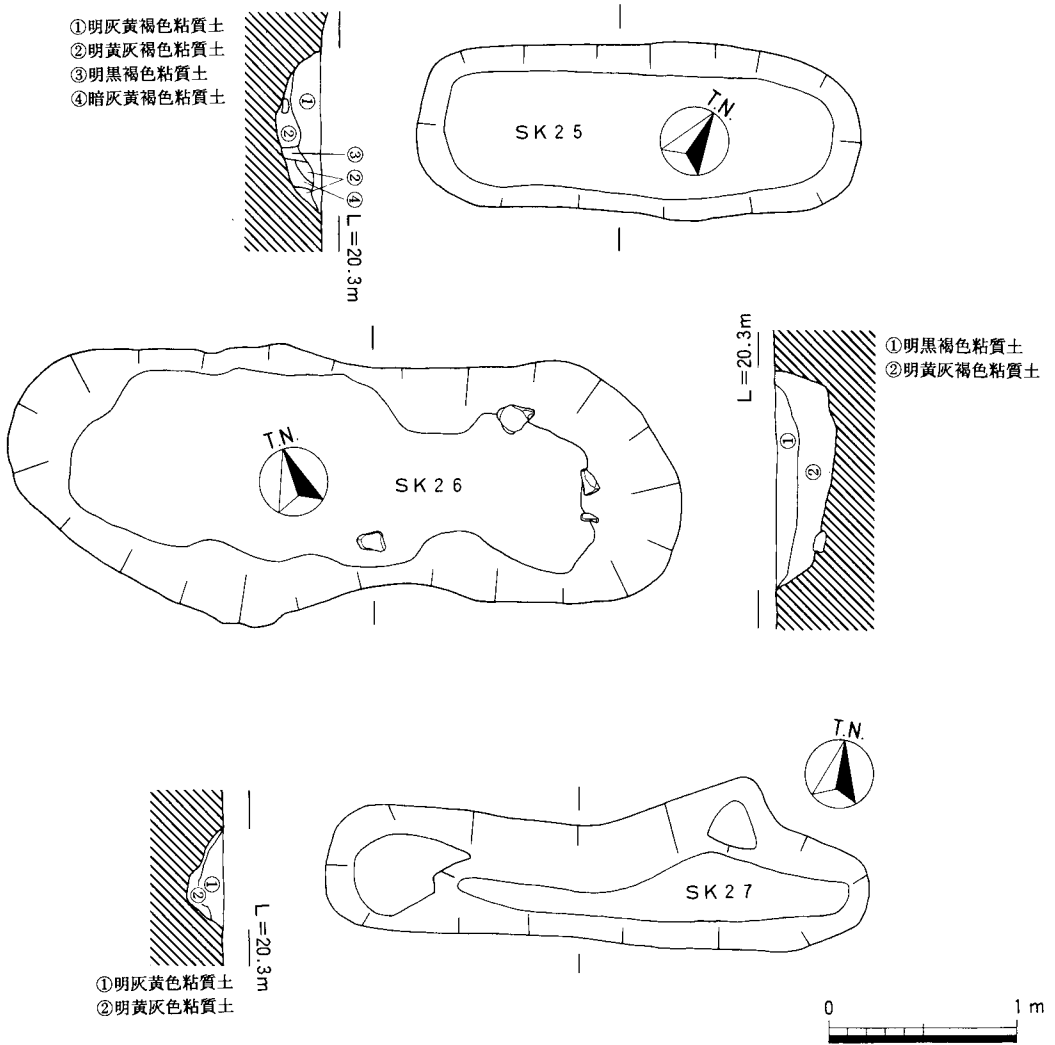
C3区画に位置する。埋土は黒褐色粘質土ブロックと基盤層の黄色粘質土ブロックが混じり合う状況である。埋土から弥生土器、土師器及び須恵器が出土している。

SK 2 6 (第248図)

C3区画に位置する。遺物は出土していない。

SK 2 7 (第248図)

C4区画に位置する。遺物は出土していない。



SK 28 (第249図)

D4区画に位置する。遺物は出土していない。埋土が基盤層土に酷似しているため、遺構埋土ではなく、変化した基盤層である可能性が高い。

SK 29 (第249図)

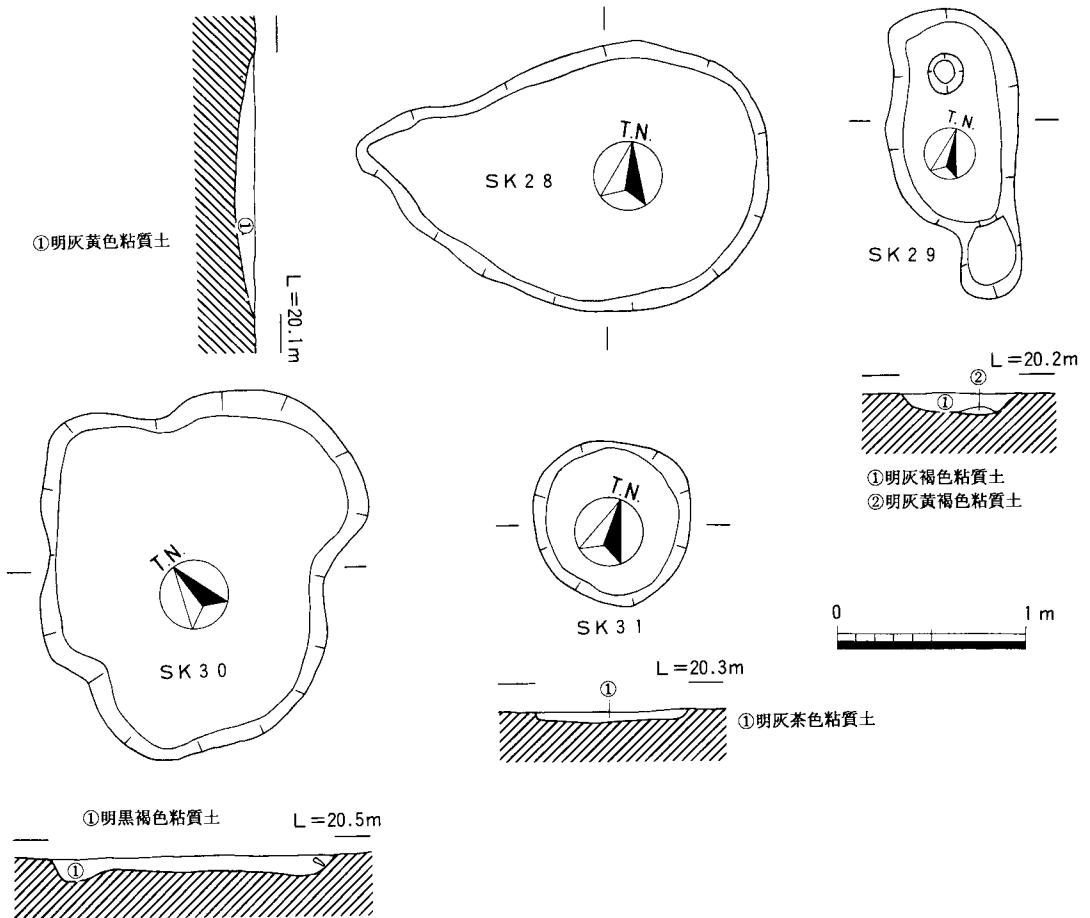
C5区画に位置する。遺物は出土していない。埋土から奈良・平安時代と考える。

SK 30 (第249図, 図版52)

D3区画に位置する。遺物は出土していない。

SK 31 (第249図)

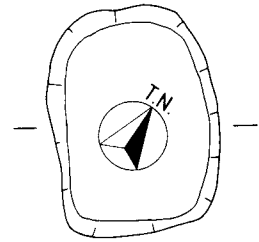
D5区画に位置する。弥生土器が出土している。



第249図 SK 28・29・30・31平・断面図 (1/40)

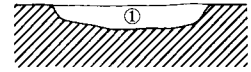
SK 3 2 (第250図)

D5区画に位置する。弥生土器及び土師器が出土している。



SK 3 2

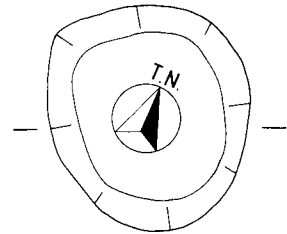
L = 20.3m



①暗灰褐色砂質土

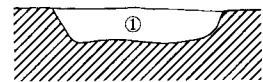
SK 3 3 (第250図)

D5区画に位置する。弥生土器，土師器及び須恵器が出土している。



SK 3 3

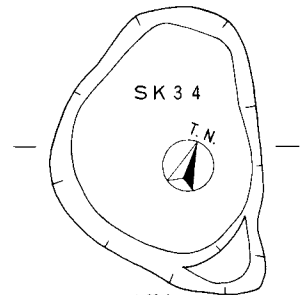
L = 20.3m



①暗灰褐色砂質土

SK 3 4 (第250図)

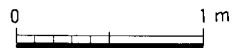
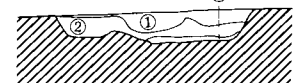
D5区画に位置する。埋土は大きく2層に分かれ，下層は黒褐色粘質土で，上層は灰茶色粘質土である。埋土から弥生土器及び須恵器が出土している。平安時代頃の遺構かと考えられる。



SK 3 4

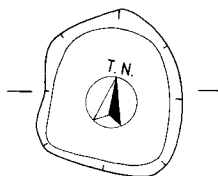
L = 20.3m

- ①暗灰茶褐色砂質土
- ②暗灰黒褐色粘質土
- ③暗灰褐色粘質土



SK 3 6 (第250図)

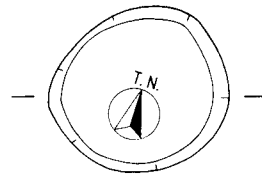
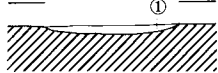
D5区画に位置する。形態・埋土等はSK 3 5と同じであり，遺構かどうかは疑問である。弥生土器が出土している。



SK 3 5

①暗灰黄褐色粘質土

L = 20.3m



SK 3 6

①暗灰黄褐色粘質土

L = 20.3m



第250図 SK 3 2・3 3・3 4・3 5・3 6平・断面図 (1/40)

SK 37 (第251図)

D5区画に位置する。平面形，断面形とも不整形である。埋土は暗茶褐色粘質土である。弥生土器及び土師器が出土している。

SK 38 (第251図)

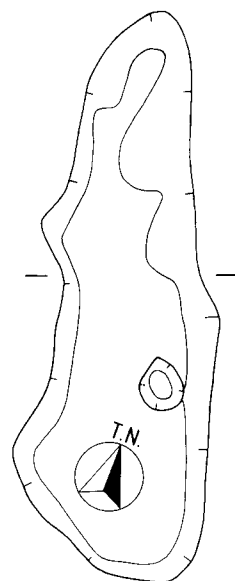
D6区画に位置する。深さの浅いもので，遺構かどうかは疑問がある。弥生土器及び土師器鍋が出土している。

SK 39 (第251図)

D6区画に位置する。埋土が基盤層土に酷似しているので，遺構埋土ではなく，変化した基盤層である可能性が高い。遺物は出土していない。

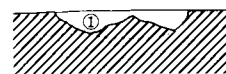
SK 40 (第251図)

E3区画に位置する。埋土からは弥生土器，土師器及び須恵器の小破片が出土している。

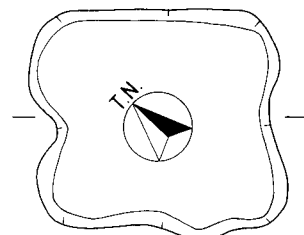


SK 37

L = 20.3m

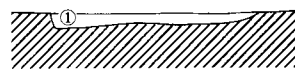


①暗茶褐色粘質土

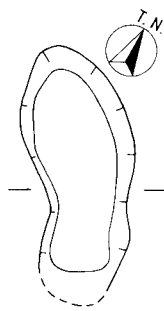


SK 38

L = 20.3m

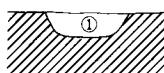


①明灰黄色粘質土

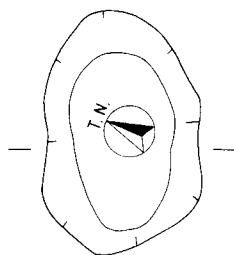


SK 39

L = 20.3m

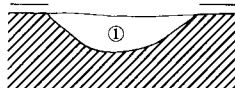


①濁暗灰黄褐色粘質土

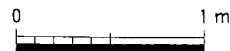


SK 40

L = 20.4m



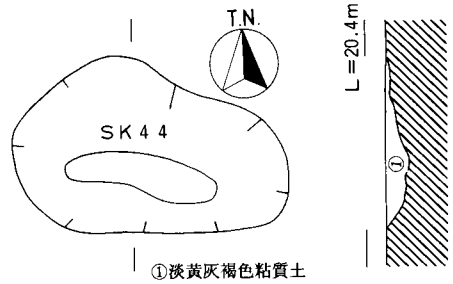
①暗黒褐色粘質土



第251図 SK 37・38・39・40平・断面図 (1/40)

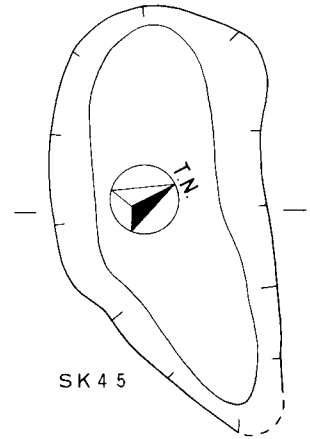
SK 4 4 (第252図)

F5区画に位置する。平面形，断面形ともに不整形である。遺物は出土していない。



SK 4 5 (第252図)

F5区画に位置する。遺物は出土していない。

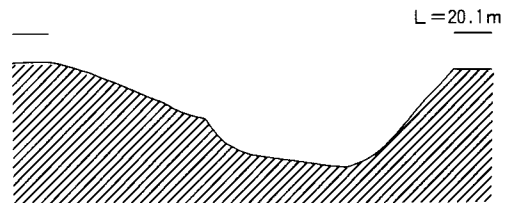
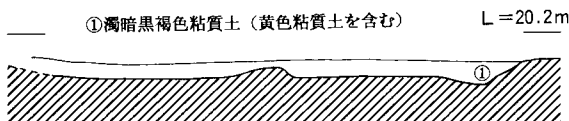
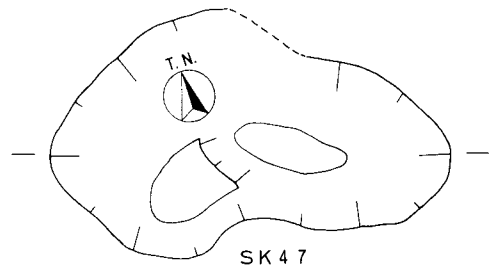
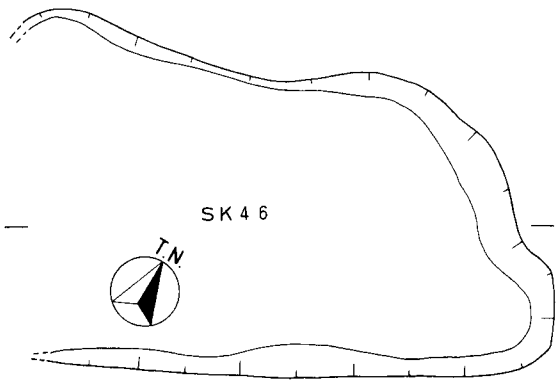
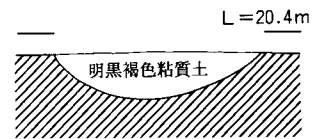


SK 4 6 (第252図)

E8区画に位置する。平面形は不整形を呈し，深さは5～10cmである。埋土は，基本的には，黒色粘質土である。埋土から弥生土器，土師器及び須恵器が出土している。時期は不明である。

SK 4 7 (第252図)

E8区画に位置する。平面形は不整形を呈し，深さは，50cmである。埋土は，黒色粘質土である。土師器破片が出土している。時期は不明である。

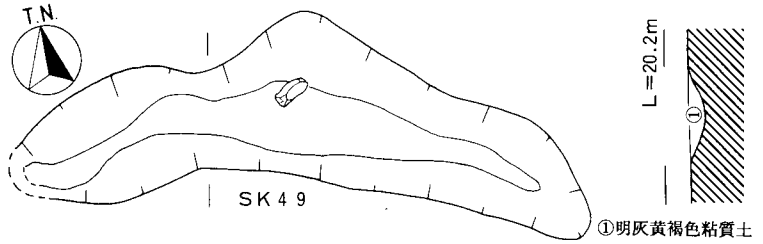


第252図 SK 4 4 ・ 4 5 ・ 4 6 ・ 4 7 平・断面図 (1/40)



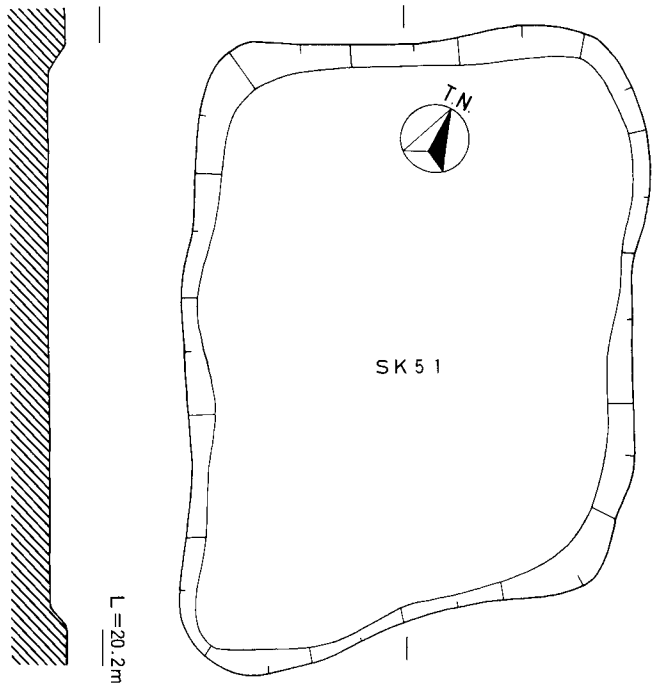
SK 49 (第253図)

F9区画に位置する。平面形は不整形を呈している。深さは10cmである。埋土は、明灰褐色粘質土である。埋土からサヌカイト剥片が出土している。時期は不明である。



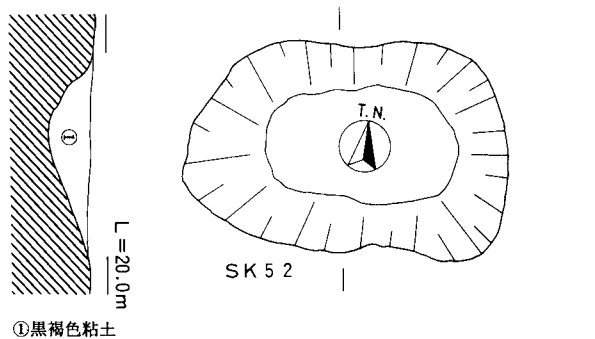
SK 51 (第253図)

G6区画に位置する。SD 153より新しい。平面形は不整形を呈し、深さは約10cmである。埋土は基盤層である黄色粘質土をブロック状に含む灰色粘質土である。埋土から弥生土器及び須恵器が出土している。時期は中世以降である。



SK 52 (第253図)

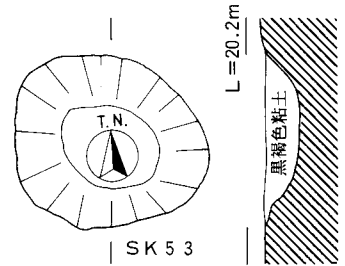
G7区画に位置する。平面形は不整楕円形を呈し、深さは約22cmである。埋土は、黒褐色粘質土である。遺物は出土していない。時期は不明である。



第253図 SK 49・51・52平・断面図 (1/40)

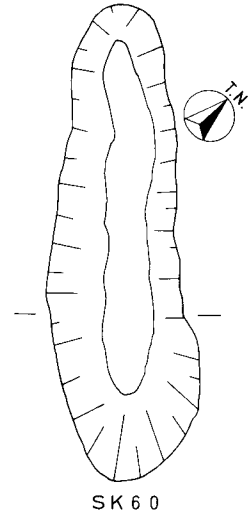
SK 5 3 (第254図)

G7区画に位置する。平面形は不整楕円形を呈し、深さは約20cmである。埋土は、黒褐色粘質土である。遺物は出土していない。時期は不明である。



SK 6 0 (第254図, 図版53)

H8区画に位置する。平面形は不整楕円形を呈し、深さは約30cmである。埋土は暗い灰茶褐色粘質土である。遺物は出土していない。時期は不明である。

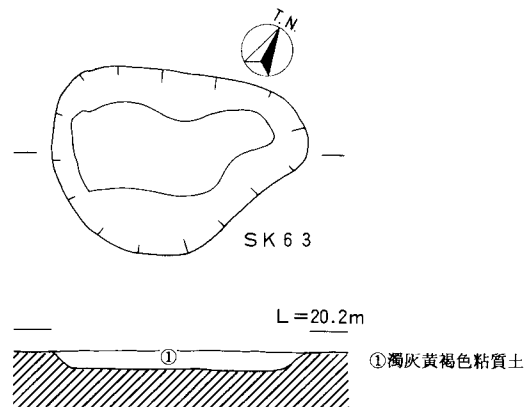
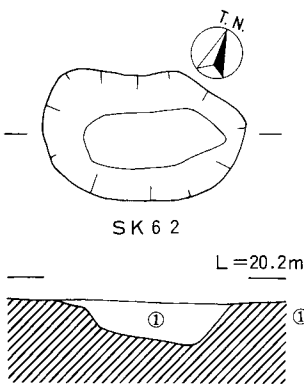


SK 6 2 (第254図)

G9区画に位置する。平面形は不整楕円形を呈し、深さは25cmである。埋土は、灰茶褐色粘質土である。遺物は出土していない。時期は不明である。

SK 6 3 (第254図)

G9区画に位置する。平面形は不整形を呈し、深さは約12cmである。埋土は、灰茶褐色粘質土である。埋土から土師器が出土している。時期は不明である。



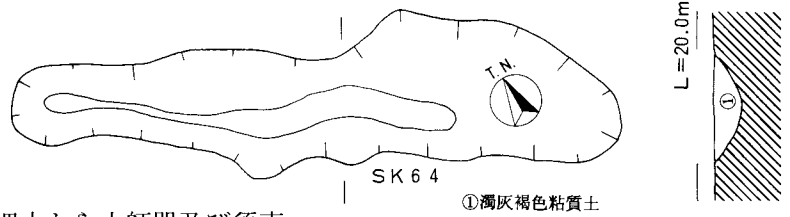
第254図 SK 5 3・6 0・6 2・6 3平・断面図 (1/40)



SK 6 4 (第255図)

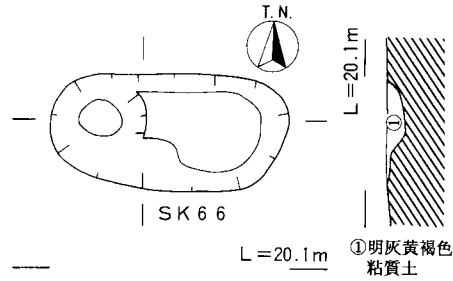
G9・G10区画に位置する。形態を考えると溝と

すべきかもしれない。埋土から土師器及び須恵器が出土している。



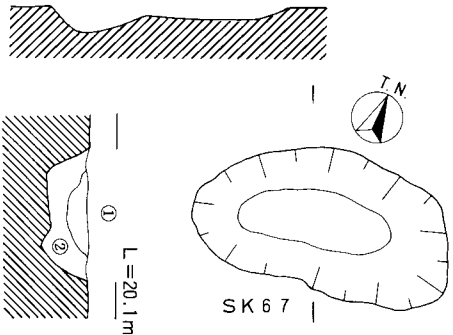
SK 6 6 (第256図)

G10区画に位置する。遺物は出土していない。



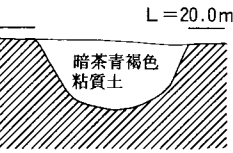
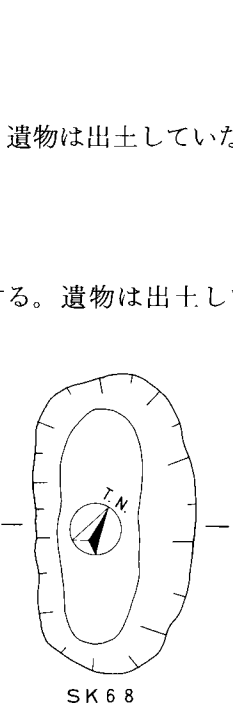
SK 6 7 (第256図)

G10区画に位置する。遺物は出土していない。



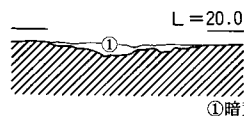
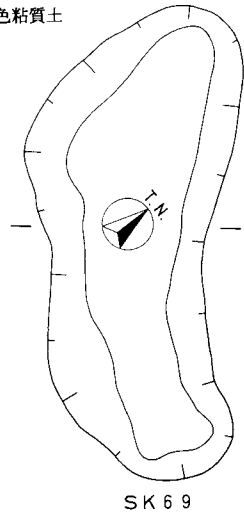
SK 6 8 (第256図)

G10区画に位置する。遺物は出土していない。



SK 6 9 (第256図)

G11・H11区画に位置する。遺物は出土していない。



第255図 SK 6 4・6 6・6 7・6 8・6 9平・断面図 (1/40)



SK 7 0 (第256図)

H10区画に位置する。埋土から弥生土器、土師器及び須恵器が出土している。埋土から奈良・平安時代と考える。

SK 7 1 (第256図)

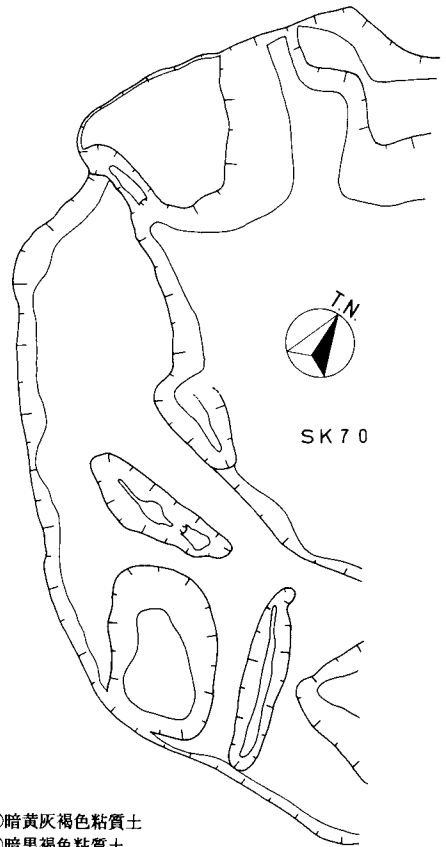
H10区画に位置する。埋土から弥生土器が出土している。

SK 7 2 (第256図, 図版53)

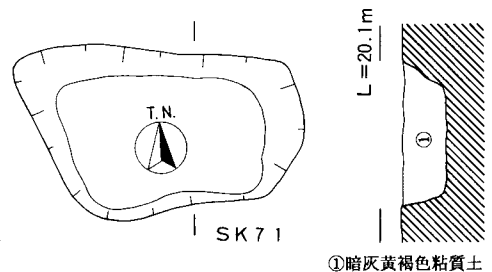
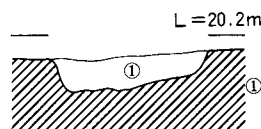
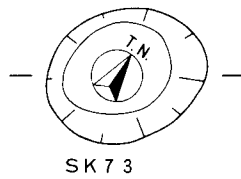
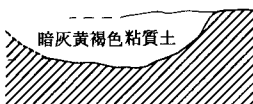
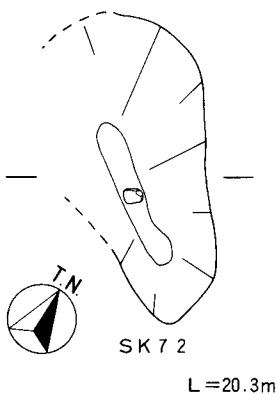
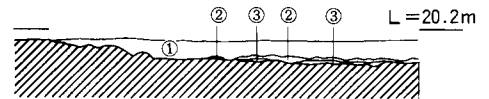
J9区画に位置する。遺物は出土していない。

SK 7 3 (第256図, 図版54)

J9区画に位置する。弥生土器及び土師器が出土している。



- ①暗灰黄褐色粘質土
- ②暗黒褐色粘質土
- ③暗灰黄褐色粘質土



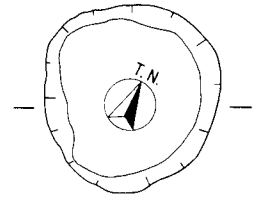
①暗灰黄褐色粘質土



第256図 SK 7 0・7 1・7 2・7 3平・断面図 (1/40)

SK 7 5 (第257図)

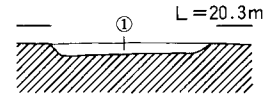
J10・K10区画に位置する。埋土から弥生土器が出土している。深さが浅いことから、遺構がどうか疑問である。



SK 7 5

SK 7 7 (第257図)

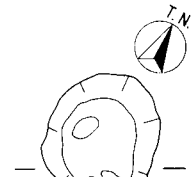
J10区画に位置する。遺物は出土していない。



①暗黄灰褐色粘質土

SK 7 8 (第257図)

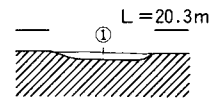
J10区画に位置する。遺物は出土していない。



SK 7 7

SK 7 9 (第257図)

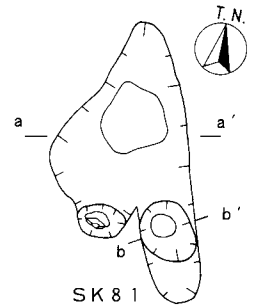
K11区画に位置する。土師器が出土している。深さが浅いので、遺構かどうか疑問である。



①明黄灰褐色粘質土

SK 8 1 (第257図)

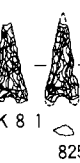
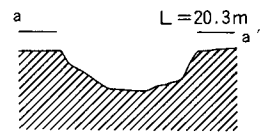
K10区画に位置する。土師器、須恵器及び石鏃(825)が出土している。



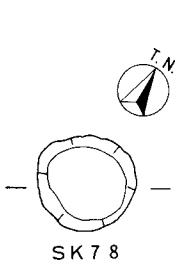
SK 8 1

SK 8 4 (第257図)

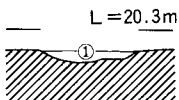
L11区画に位置する。遺物は出土していない。



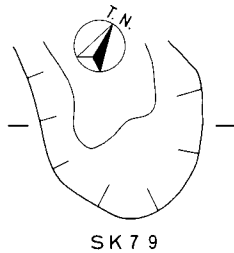
①暗茶褐色粘質土



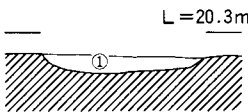
SK 7 8



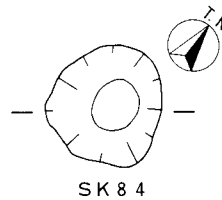
①暗灰褐色粘質土



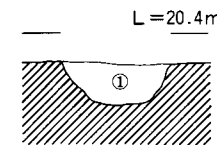
SK 7 9



①濁灰茶褐色粘質土



SK 8 4

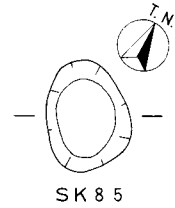


①暗灰茶褐色粘質土

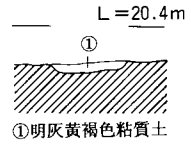
第257図 SK 7 5・7 7・7 8・7 9・8 1・8 4 平・断面図(1/40)及び出土石器(1/2)

SK 8 5 (第258図)

K11区画に位置する。埋土から土師器及び須恵器が出土している。深さが浅いので遺構かどうかは疑問である。

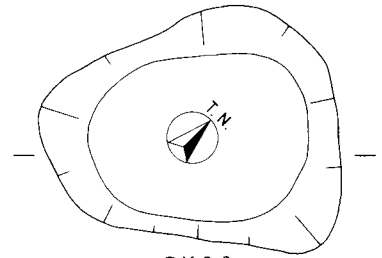


SK 8 5



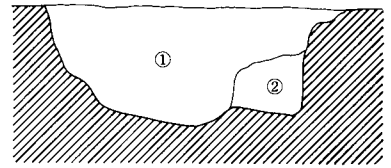
SK 8 6 (第258図)

I11・J11区画に位置する。埋土から弥生土器が出土している。



SK 8 6

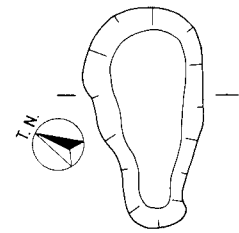
L=20.0m



①黄色、黒褐色及び乳灰色土ブロック
②乳黄色粘質土（砂粒を多く含む）

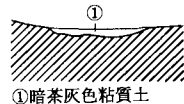
SK 9 1 (第258図)

J12区画に位置する。遺物は出土していない。



SK 9 1

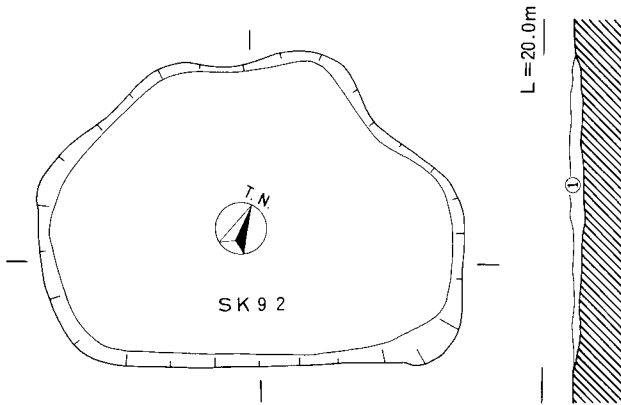
L=20.0m



①暗茶灰色粘質土

SK 9 2 (第258図)

J13区画に位置する。埋土から弥生土器、土師器及び須恵器が出土している。須恵器は坏蓋(826)が出土している。形態から8世紀代と考える。



SK 9 2

L=20.0m

L=20.2m

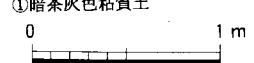


①黄茶乳灰色粘質土



SK 9 2

826

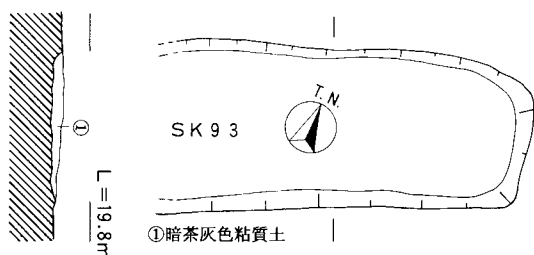


①暗茶灰色粘質土

第258図 SK 8 5・8 6・9 1・9 2平・断面図(1/40)及び出土土器(1/3)

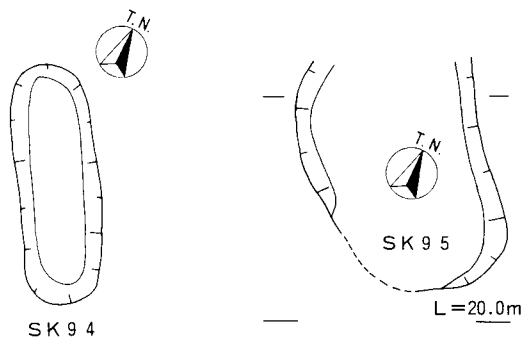
SK 9 3 (第259図)

J13区画に位置する。弥生土器及び土師器が出土している。



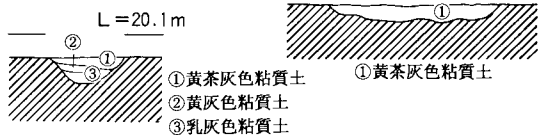
SK 9 4 (第259図)

J13区画に位置する。弥生土器が出土している。



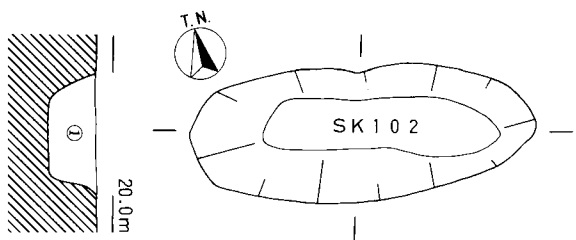
SK 9 5 (第259図)

J13区画に位置する。遺物は出土していない。



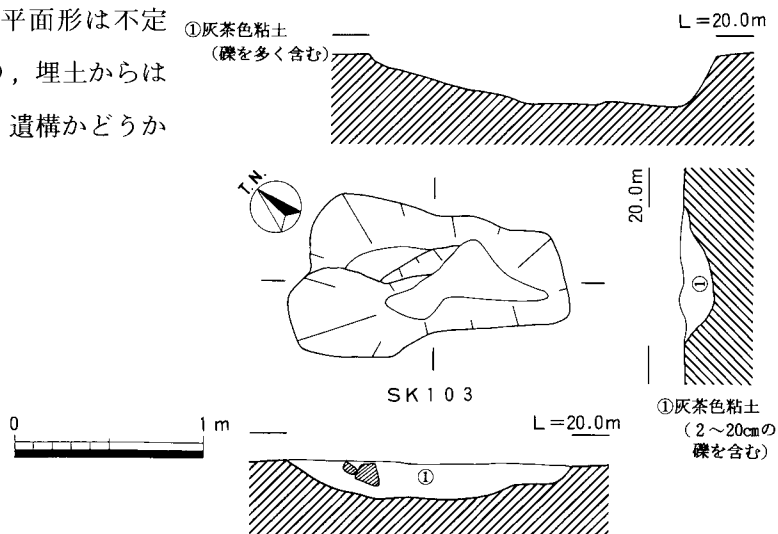
SK 1 0 2 (第259図, 図版54)

K12区画に位置する。埋土が基盤層より若干黒いのみで大きな違いはなく、また遺物が出土していないことから、遺構かどうかは疑問である。



SK 1 0 3 (第259図)

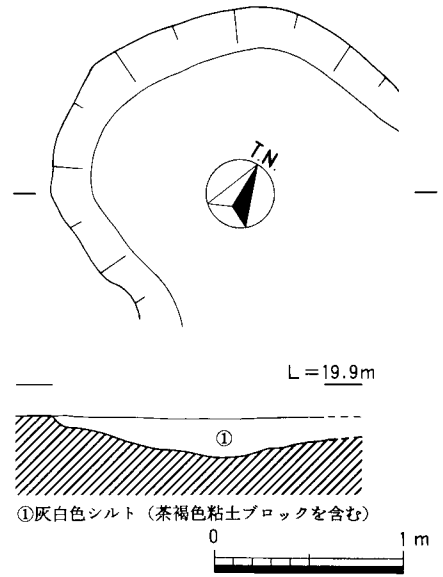
K12区画に位置する。平面形は不定形で、底面も凹凸があり、埋土からは遺物が出土していない。遺構かどうかは疑問である。



第259図 SK 9 3・9 4・9 5・1 0 2・1 0 3 平・断面図 (1/40)

SK104 (第260図)

L12区画に位置する。奈良時代頃にSD02が埋没してから後、掘削された遺構である。埋土は埋められた状況を示している。埋土の状況と埋土から土釜が出土していることから、中世以降の時期であろう。



第260図 SK104平・断面図 (1/40)

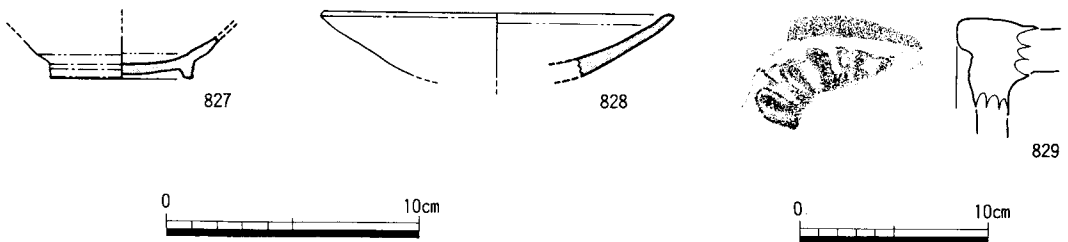
包含層及び出土位置不明遺物

緑釉陶器 (第261図)

827はD2区画の現耕作土から出土した緑釉陶器の皿である。京都産と考える。828はA区中央付近で出土した緑釉陶器の椀である。京都産と考える。

瓦 (第261図)

829はJ11区画で包含層から出土した軒丸瓦である。



第261図 包含層及び出土位置不明遺物(1) (1/3・1/4)

石器 (第262・263図)

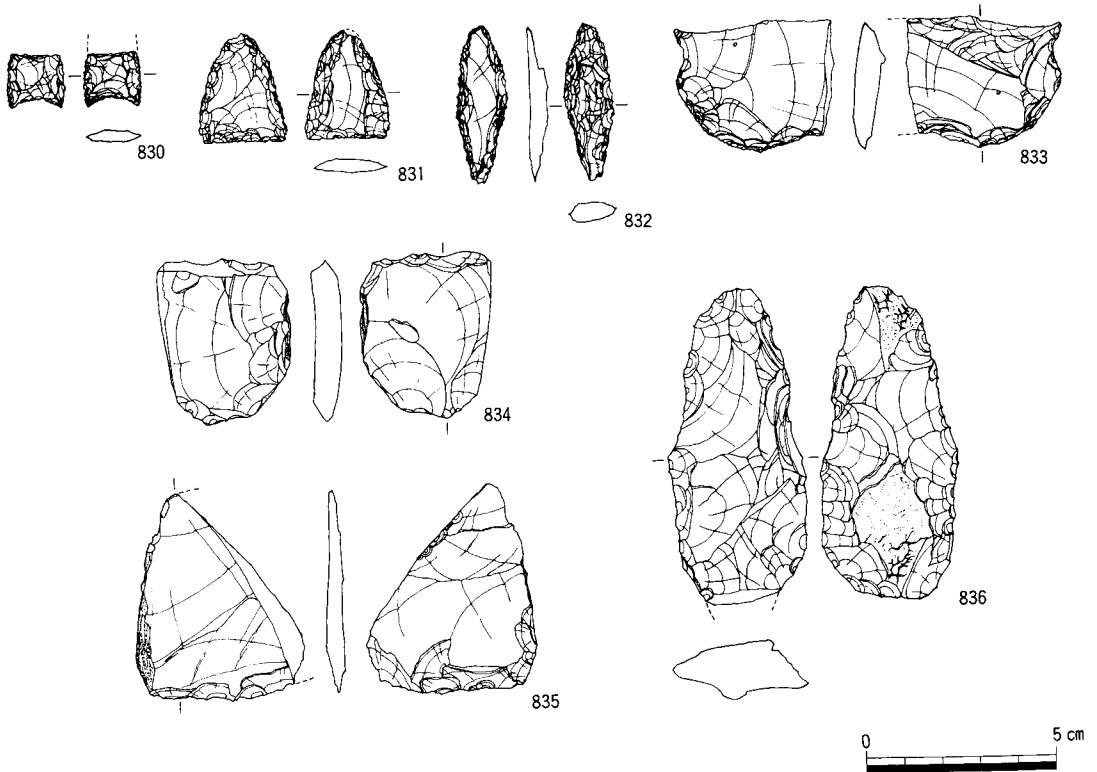
830・831はE4区画で包含層から出土した石鏃である。832はD4・E4区画境界付近から出土した石鏃である。833はC3区画から出土した石器である。834はD2区画から出土した石器である。835はV(F)区から出土した石器である。836は出土位置不明である。旧石器と考える。837はB2区画で出土した石器である。838は出土位置不明である。839はI11区画で包含層から出土した石器である。840はV②区包含層から出土した石器である。841はK13から出土した石器である。842は出土位置不明である。縁辺部に小さい抉りがある。843はJ12区画から出土した石器である。内面が焼けており、坩堝と考える。

鉄器 (第263図)

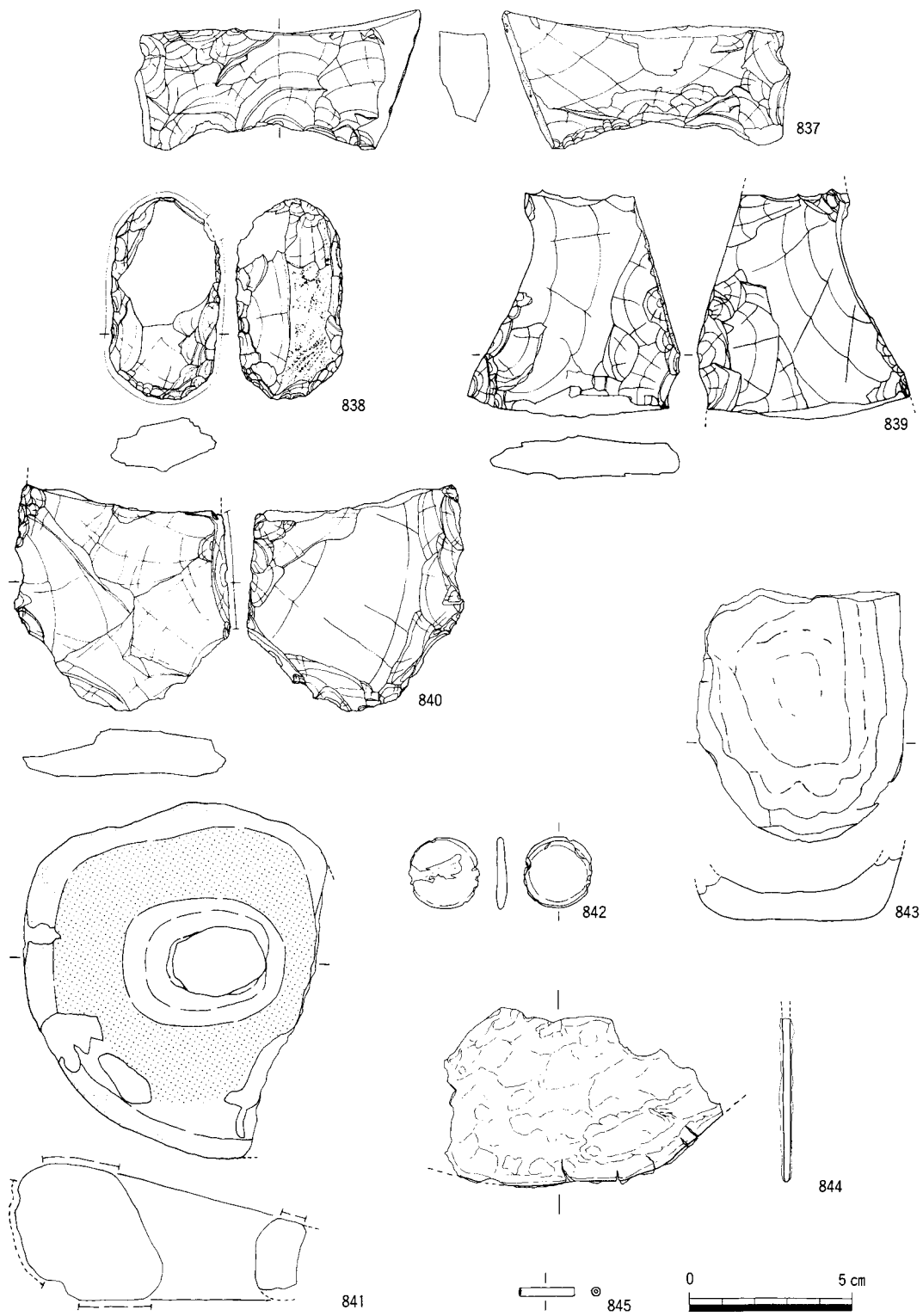
844はB区包含層から出土した鋤先と考えられる鉄器である。

管玉 (第264図)

845はB区調査時に排土中から採集したものである。



第262図 包含層及び出土位置不明遺物(2) (1/2)



第263 包含層及び出土位置不明遺物(3) (1/2)

第4章 総括

郡家原遺跡の時代ごとの変遷を報告して、総括とする。

弥生時代後期

A区東部分からB区にかけて、竪穴住居跡とそれに伴うと考えられる廃棄土坑がある。これらを囲むようにして溝跡が掘削されている。SD107とSD158からは、弥生時代後期の遺物が多量に出土している。このうち、SD158は溝肩部分が自然埋没により大きく広がっている。この溝上部からは、6世紀末から7世紀初頭に比定できる須恵器が出土しており、また溝の埋没後に奈良時代の掘立柱建物跡が建てられていることから、埋没年代は古墳時代終末頃と考えられる。この上部包含層以下の埋土からは、弥生時代後期に比例する支脚形土製品・壺・甕、ミニチュア土器等が多量に出土しており、この溝が確実に機能していた時期は弥生時代後期頃と考えるのが妥当である。また、ミニチュア土器の出土していることから、同流路で祭祀が行われた可能性もある。SH04・05・06はこの溝と同時期と考えられる。

SD107では、弥生時代後期の完形もしくは完形に近い壺・甕・支脚形土製品が大量に出土している。出土状況をみると、同タイプの土器を幅の狭い溝に集積した部分があり、人的作用が働いていたことは明らかである。なお、この溝と同時期の竪穴住居跡として、SH01・02・03が挙げられる。

出水状遺構は、3カ所にある。このうちSD78の湧水地点は、後世にも利用され最後はSD73として、鎌倉時代頃に完全埋没したと考えられる。

古墳時代

この時期の遺構はC区の掘立柱建物跡と竪穴住居跡を除いて、詳細な時期は不明である。SD77の掘削年代がこの時期にまで遡る可能性はないとはいえないが、この可能性を除けばこの時期に当遺跡では出水状遺構は存在せず、さらに南に水源が存在していると考えられる。またA・B区では溝跡に沿って掘立柱建物跡がある。

奈良時代

掘立柱建物跡群が3群出現する。3群とも建物の方向および棟数がほぼ同じであるこ

とから、ほぼ同時期に存在していたと考える。出水状遺構は2カ所存在する。

平安時代

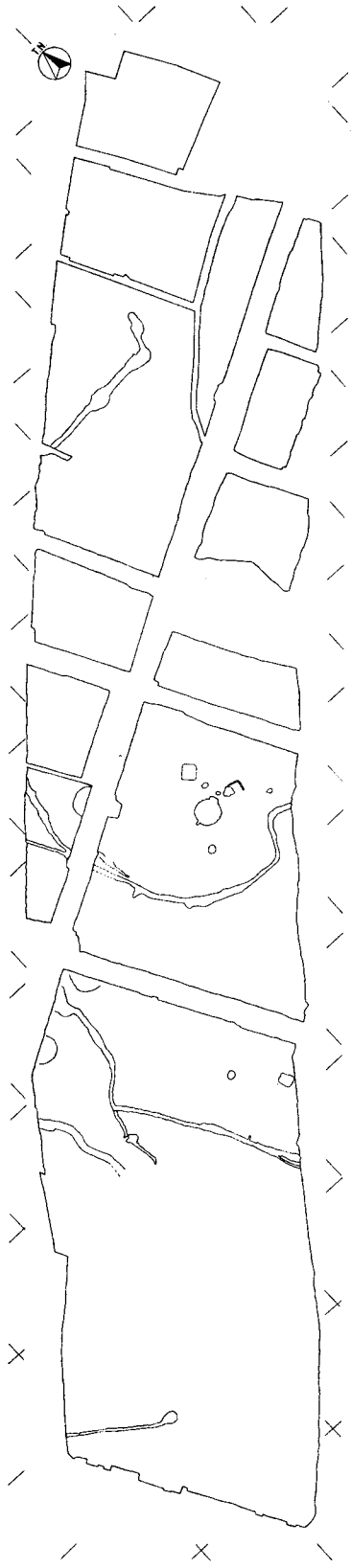
A地区でのみ建物跡がみられる。建物跡の詳細な時期は不明である。出水状遺構SD73が掘削されている。SD73からは墨書土器・緑釉陶器・斎串等の一般の生活ではほとんど使用されない遺物が出土している。墨書土器の出土からは、付近に識字層の存在が示唆される。緑釉陶器は京都産であることが、確認されている。近年香川県内では、四国横断自動車道建設に伴う発掘調査等の大規模な発掘調査が進むにつれて、緑釉陶器の出土する例が多くなっている。したがって今後より多くの緑釉陶器が発見されることが予測されるので、緑釉陶器が出土したからといって、中央政府と密接な関係にあるという従来の考えは、今後見直す必要がある。斎串の出土は祓えの儀式的存在を示すものであろう。

鎌倉時代

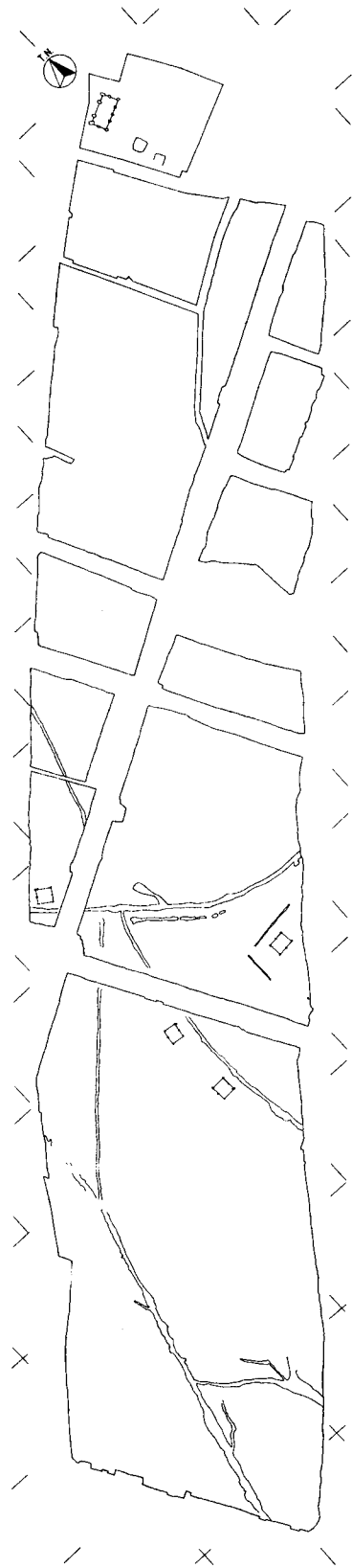
4群の掘立柱建物跡が存在する。どの群も集落の一部のみが検出されているに過ぎないので、全容は明らかではないが、いずれも方形区画の溝に囲まれた屋敷地を想定できる。またこの時期に推定条里地割の坪界線に位置する溝及びSD73が埋没している。

江戸時代以降

A区西に掘立柱建物跡群及び土坑群がみられる。この建物群の詳細な時期は不明である。



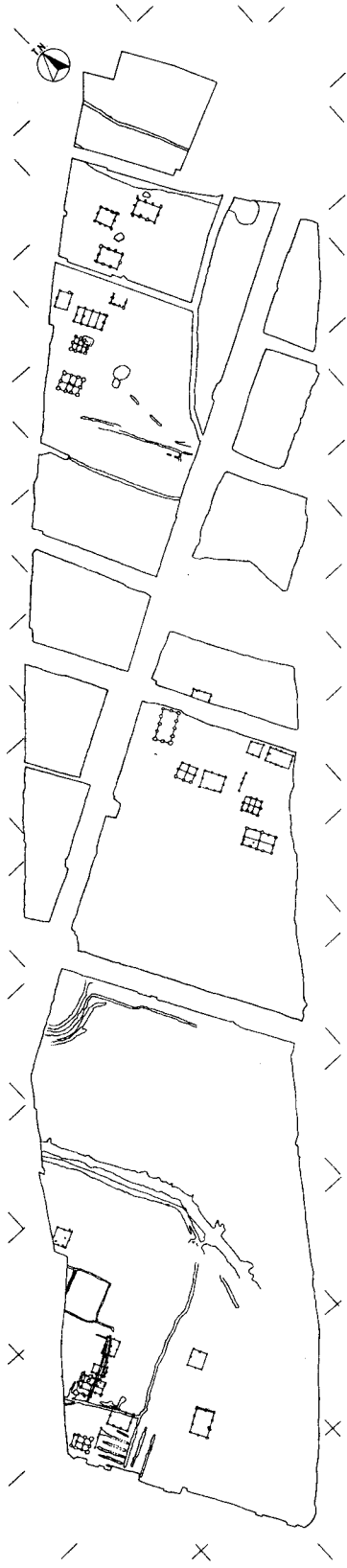
弥生時代後期



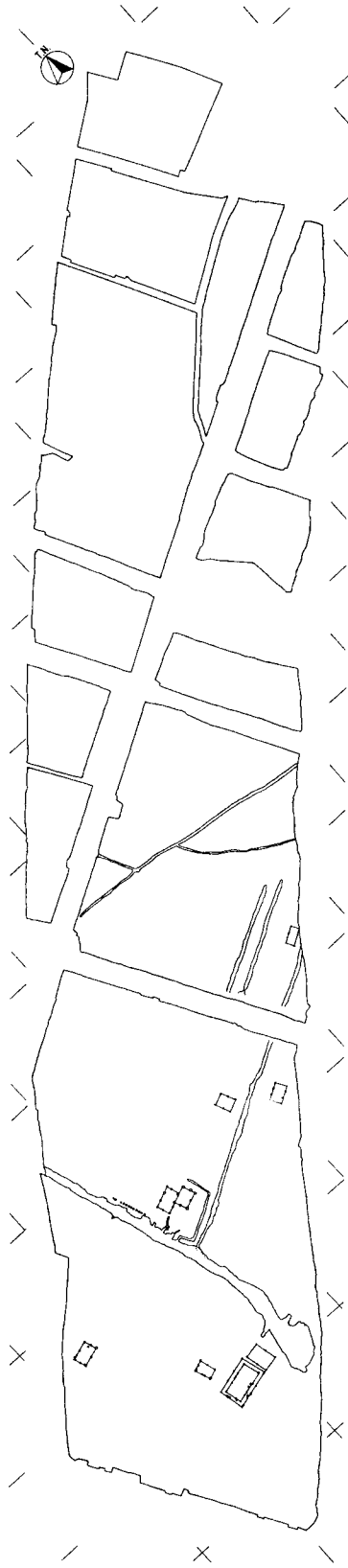
古墳時代



第264図 弥生時代及び古墳時代の遺構配置図（1/1,000）



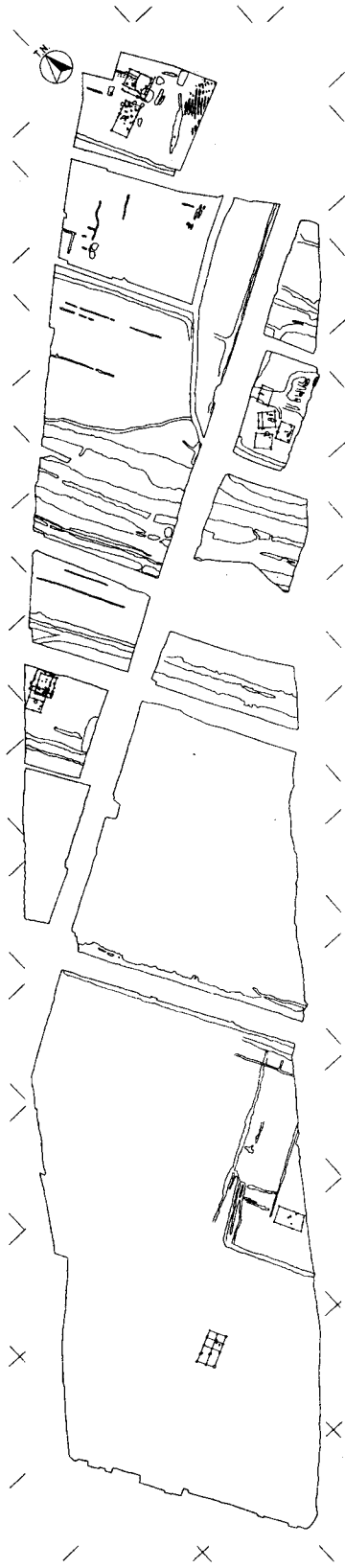
茶室時代



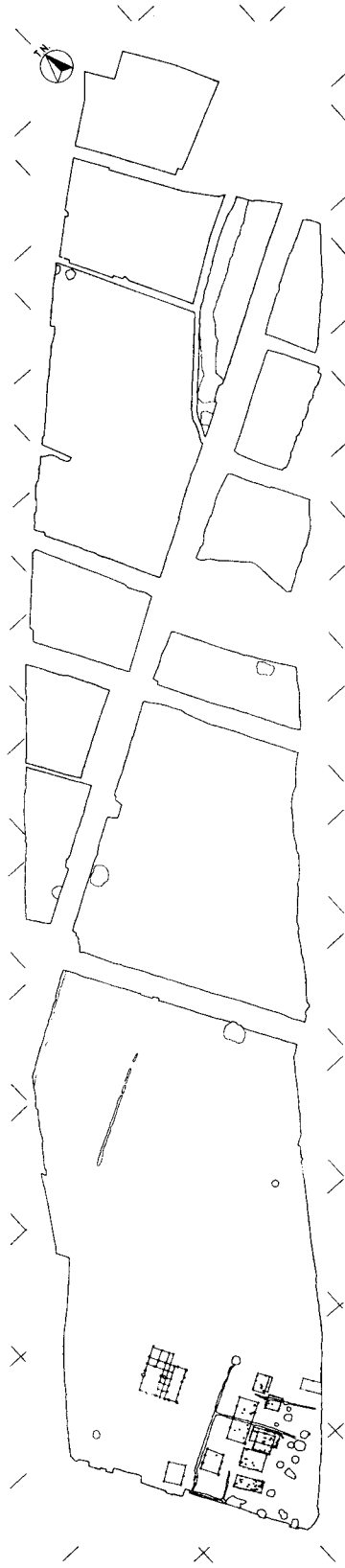
平家時代



第265図 茶室時代及び平家時代の遺構配置図 (1/1,000)



鎌倉時代



江戸時代以降



第266図 鎌倉時代及び江戸時代以降の遺構配置図 (1/1,000)

観察表及び一覧表

土器観察表

- ・色調は、農林水産省農林水産技術会議事務局監修・財団法人日本色彩研究所 色票監修『新版標準土色帖1992版』使用して表す。瓦の観察表についても同様である。
- ・残存率は遺物の図化部分に占める実物の割合であり、完形品に対する割合ではない。

遺構出土遺物一覧表 遺物名称は以下のような略号で表す。

- ・弥 弥生土器，土 土師器，須 須恵器，黒 黒色土器（AはA類，BはB類），瓦質 瓦質土器，台坏 高台付坏，西 西村産瓦質土器，東播 東播系須恵器，亀 亀山焼，備前 備前焼，唐津 唐津焼
- ・石器は特に表記のないものはサヌカイト製である。
- ・数値は破片の概数を示す。ただし明らかに同一個体である破片は1片とする。袋は20cm×30cmの大きさの袋に入る量を，箱は28リットル入りコンテナの箱数を表す。
- ・同一種類の遺物の器種の違いは「・」で表し，遺物種類の違いは「，」で表す。

遺構一覧表

- ・堅穴住居跡及び掘立柱建物跡一覧表の主軸方位の表記で，たとえばN24° Wは真北から24°西に偏った方向を表す。

土器観察表(1)

挿図	図版	番号	遺構名	遺物内容	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	内面調整	外面調整	残存率	備考	地区	調査遺構
17	55	1SH01	弥生土器	壺	17.9-	-	-	-	長石・石英 礫多, 角閃石 礫多 なし, 雲母 細砂多	橙色2.5YR6/6	堅	ハクハ, ココナ	ハクハ, ココナ	8/8		II区	SH02-6
17		2SH01	弥生土器	瓶	-	-	-	-	長石・石英 粗砂含む, 角閃石 粗砂含む 石 粗砂少, 雲母 細砂含む	橙色2.5YR6/6~ 暗灰色N3/0	軟	イナナ	指頭圧痕	8/8	焼成前穿孔 底部1箇所	II区	SH02-8
17		3SH01	弥生土器	底部	-	-	-	-	長石・石英 粗砂含む, 角閃石 粗砂多 石 なし, 雲母 粗砂多	5YR4/4	堅	ハクハ	ハクハ	2/8		II区	SH02-4
17		4SH01	弥生土器	底部	-	-	-	-	長石・石英 粗砂含む, 角閃石 粗砂多 石 細砂含む, 雲母 細砂多	5YR4/4 7.5YR6/3	堅	指頭圧痕, ハクハ	指頭圧痕, ハクハ	8/8		II区	SH02-5
17		5SH01	弥生土器	鉢	-	-	-	-	長石・石英 粗砂含む, 角閃石 粗砂多 石 なし, 雲母 細砂多	5YR6/6	堅	不明	指頭圧痕	8/8		II区	SH02-1
17		6SH01	弥生土器	注ぎ口付 鉢	29.6-	-	-	-	長石・石英 礫含む, 角閃石 礫多 細砂少, 雲母 細砂多	2.5YR6/6	堅	ハクハ	指頭圧痕, ココナ, ハクハ	1/8		II区	SH02-9
17	55	7SH01	弥生土器	高坏	19.1	13.1	-	-	長石・石英 礫多, 角閃石 礫多 なし, 雲母 細砂多	2.5YR4/4	堅	ハクハ	ハクハ, カナキ	8/8	穿孔8箇所	II区	SH02-3
17		8SH01	弥生土器	高坏	19.3-	-	-	-	長石・石英 礫少, 角閃石 礫多 なし, 雲母 細砂含む	R6/3~にぶい赤褐色 2.5YR5/4	堅	ハクハ	ココナ, カナキ	1/8		II区	SH02-2
17		9SH01	弥生土器	高坏	18.3-	-	-	-	長石・石英 礫含む, 角閃石 礫多 なし, 雲母 細砂多	5YR6/4 R6/3~にぶい橙色10Y	堅	ココナ	ココナ, ハクハ, カナキ	1/8		II区	SH02-7
18		11SH02	弥生土器	底部	-	-	-	-	長石・石英 礫含む, 角閃石 礫多 細砂少, 雲母 細砂多	7.5YR5/3	堅	ハクハ	指頭圧痕	8/8		II区	SH03-1
19		12SH03	弥生土器	甕	16.5-	-	-	-	長石・石英 粗砂含む, 角閃石 粗砂含む, 雲母 細砂含む	5YR4/4	堅	ココナ	ココナ	1/8		II区	SH01-4
19		13SH03	弥生土器	甕	14.9-	-	-	-	長石・石英 粗砂含む, 角閃石 粗砂多 石 細砂少, 雲母 細砂多	5YR4/3	堅	ハクハ	ココナ	8/2		II区	SH01-2
19		14SH03	弥生土器	鉢	19.7-	-	-	-	長石・石英 礫少, 角閃石 礫多 なし, 雲母 なし	2.5YR6/4~明褐色 7.5YR7/2	堅		ココナ, ハクハ, カナキ	1/8		II区	SH01-1
19		15SH03	弥生土器	甕	-	-	-	-	長石・石英 礫多, 角閃石 礫多 なし, 雲母 なし	灰褐色5YR4/2	堅	ハクハ	ハクハ	1/8		II区	SH01-3
21		16SH04	弥生土器	壺	21.8-	-	-	-	長石・石英 粗砂多, 角閃石 粗砂多 なし, 雲母 細砂多	赤褐色5YR4/6	堅	ハクハ	ハクハ	1/8		I区	SH02-8
21		17SH04	弥生土器	壺	25.8-	-	-	-	長石・石英 粗砂多, 角閃石 粗砂多 なし, 雲母 細砂多	暗褐色7.5YR3/3	堅	ココナ	ハクハ	1/8		I区	SH02-5
21		18SH04	弥生土器	甕	14.0-	-	-	-	長石・石英 粗砂少, 角閃石 粗砂多, 雲母 粗砂少	2.5YR6/4 にぶい橙色5YR6/4	堅	ハクハ	ハクハ	1/8		I区	SH02-9

土器観察表 (2)

挿図版番号	遺構名	遺物内容	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	内面調整	外面調整	残存率	備考	地区	調査遺構
21	19 SH04	弥生土器	甕	16.0	-	-	長石・石英粗砂含む、角閃石なし、雲母細砂多	褐色7.5YR4/3	堅	ヨコナ	ヨコナ	1/8		I区	SH02-12
21	20 SH04	弥生土器	甕	17.8	-	-	長石・石英 礫多、角閃石細砂含む、雲母細砂多	にぶい赤褐色5YR5/4~暗赤褐色5YR3/2	堅	ハナナリ	ヨコナ、ハナナ	3/8		I区	SH02-1
21	21 SH04	弥生土器	甕	17.3	-	-	長石・石英 礫少、角閃石粗~細砂多、雲母粗砂多	赤褐色5YR4/6~黒褐色5YR2/2	堅	指頭圧痕、ハナナ	指頭圧痕、ハナナ	4/8		I区	SH02-2
21	22 SH04	弥生土器	甕	13.9	-	-	長石・石英粗砂少	赤褐色5YR4/6	堅	指頭圧痕、ハナナ	指頭圧痕、ハナナ	6/8	内面煤付着	I区	SH02-4
21	23 SH04	弥生土器	甕	15.0	-	-	長石・石英粗砂含む、角閃石細砂わずかに含む、雲母細砂多	暗赤褐色5YR3/3	堅	指頭圧痕、ヨコナ	指頭圧痕、ヨコナ	1/8		I区	SH02-11
21	24 SH04	弥生土器	甕	10.5	-	-	長石・石英粗砂含む、角閃石細砂少、雲母粗砂多	にぶい赤褐色5YR4/3	堅	指頭圧痕、ハナナ	指頭圧痕、ハナナ	1/8		I区	SH02-6
21	25 SH04	弥生土器	鉢	22.4	11.1	6.1	長石・石英 礫多、雲母粗砂多	5YR4/3	堅	指頭圧痕、ハナナ	指頭圧痕、ハナナ	8/8		I区	SH02-3
21	26 SH04	弥生土器	鉢	17.2	7.2	3.8	長石・石英 礫多、角閃石明赤褐色なし、雲母なし	2.5YR5/6	堅	ヨコナ	ヨコナ、ハナナ	1/8		I区	SH02-13
21	27 SH04	弥生土器	底部	-	-	-	長石・石英粗砂多、角閃石なし、雲母細砂少	にぶい赤褐色5YR4/3	堅	マナ	指頭圧痕	8/8		I区	SH02-10
21	28 SH04	弥生土器	土器	1.9	2.9	1.9	長石・石英粗砂少、角閃石粗砂多	にぶい赤褐色5YR5/4	堅	指頭圧痕	指頭圧痕	8/8		I区	SH02-7
24	30 SH06	弥生土器	甕	19.0	-	-	長石・石英粗砂多、角閃石細砂少、雲母細砂少	明赤褐色2.5YR5/8	堅	指頭圧痕	指頭圧痕	2/8		I区	SH01-5
24	31 SH06	弥生土器	甕	12.8	17.1	-	長石・石英粗砂少、角閃石細砂少、雲母細砂少	明赤褐色5YR5/6	堅	指頭圧痕、ハナナ	指頭圧痕、ハナナ	8/8		I区	SH01-6
24	32 SH06	弥生土器	小型の甕	9.0	-	-	長石・石英粗砂多、角閃石なし、雲母なし	灰白色10YR8/2 淡橙色5YR8/4	堅	ハナナ、ヨコナ、イ	指頭圧痕、ヨコナ	8/8		I区	SH01-3
24	33 SH06	弥生土器	鉢	21.7	6.7	-	長石・石英粗砂多、角閃石細砂少、雲母細砂少	にぶい赤褐色5YR4/3	堅	ハナナ	指頭圧痕、ハナナ	4/8		I区	SH01-4
24	34 SH06	弥生土器	鉢	20.9	-	-	長石・石英粗砂含む、角閃石細砂含む、雲母細砂多	黒褐色7.5YR3/2	堅	ヨコナ、ハナナ	指頭圧痕、ハナナ	2/8		I区	SH01-2
24	35 SH06	弥生土器	鉢	15.3	5.0	-	長石・石英 礫多、角閃石なし、雲母なし	浅黄褐色7.5YR8/4	堅	ヨコナ	不明	8/8		I区	SH01-1

土器観察表 (3)

種別	図版番号	遺構名	遺物内容	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	内面調整	外面調整	残存率	備考	地区	調査遺構
25	57	3688SP12	弥生土器	三ツ子土器	4.3	5.5	1.7	長石・石英粗砂含む、角閃石なし、雲母細砂多	明赤褐色5YR5/6	堅	指頭圧痕、ココナリ	指頭圧痕、コナリ	7/8		I区南	SP25-1
27	37	SK50	弥生土器	甕	20.6	-	-	長石・石英粗砂含む、角閃石粗砂少、雲母粗砂多	にぶい橙色7.5YR6/4	堅	指頭圧痕、ココナリ	ココナリ、コナリ	1/8		I区	SK14-1
28	38	SK54	弥生土器	甕	13.7	-	-	長石・石英粗砂多、角閃石なし、雲母粗砂含む	10YR5/3	堅	コナリ	コナリ	1/8		I区	SK02-1
28	39	SK54	弥生土器	鉢	11.1	6.4	1.1	長石・石英粗砂多、角閃石粗砂含む	橙色7.5YR6/6	堅	指頭圧痕	指頭圧痕、コナリ	5/8		I区	SK02-2
28	40	SK54	弥生土器	鉢	13.3	-	-	長石・石英粗砂多、角閃石粗砂含む	にぶい黄褐色10YR6/3	堅	指頭圧痕	指頭圧痕	6/8		I区	SK02-3
30	42	SK56	弥生土器	甕	15.9	-	-	長石・石英粗砂含む、角閃石粗砂多	10YR5/3	堅	コナリ	コナリ、コナリ	2/8		I区	SK01-1
30	43	SK56	弥生土器	鉢	11.4	-	-	長石・石英粗砂多、角閃石粗砂多	5YR4/3	堅	コナリ	コナリ	6/8		I区	SK01-2
32	44	SK58	弥生土器	壺	14.0	-	-	長石・石英粗砂多、角閃石粗砂多	にぶい褐色7.5YR6/3~黒褐色7.5YR3/1	堅	コナリ	コナリ、コナリ	8/8	楠描文	I区	SK04-4
32	45	SK58	弥生土器	甕	15.4	25.5	3.2	長石・石英粗砂多、角閃石粗砂多	にぶい黄褐色10YR5/4	堅	指頭圧痕、ココナリ	ココナリ、コナリ	7/8		I区	SK04-6
32	46	SK58	弥生土器	甕	12.7	-	-	長石・石英粗砂多、角閃石粗砂多	黒褐色10YR2/3	堅	指頭圧痕、コナリ	コナリ	1/8		I区	SK04-2
32	47	SK58	弥生土器	甕	16.2	-	-	長石・石英粗砂多、角閃石粗砂多	にぶい褐色7.5YR5/4	堅	指頭圧痕、ココナリ	ココナリ、コナリ	1/8		I区	SK04-3
32	48	SK58	弥生土器	片口鉢	13.2	-	-	長石・石英粗砂多、角閃石粗砂多	褐色7.5YR4/3	堅	コナリ	コナリ	4/8		I区	SK04-1
32	49	SK58	弥生土器	高坏	23.2	-	-	長石・石英粗砂多、角閃石粗砂多	にぶい褐色7.5YR7/3	堅	コナリ	コナリ	8/8		I区	SK04-5
33	50	SK59	弥生土器	甕	15.0	22.2	4.2	長石・石英粗砂多、角閃石粗砂多	黒褐色7.5YR3/1	堅	指頭圧痕、ココナリ	ココナリ、コナリ	3/8	楠描文	I区	SK09-1
34	51	SD05	弥生土器	甕	14.8	-	-	長石・石英粗砂多、角閃石粗砂多	にぶい黄褐色10YR6/3	堅	コナリ	コナリ	3/8		Ⅲ区	SD17-1
36	52	SD78	弥生土器	壺	16.0	-	-	長石・石英粗砂多、角閃石粗砂多	にぶい褐色7.5YR6/4	堅	コナリ	コナリ	3/8		Ⅱ区	SD33-1
36	53	SD78	弥生土器	壺	15.9	-	-	長石・石英粗砂多、角閃石粗砂多	浅黄色2.5Y7/3	堅	回転ナリ	回転ナリ	5/8		Ⅱ区	SD33-2

土器観察表(4)

挿図版番号	遺構名	遺物内容	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	内面調整	外面調整	残存率	備考	地区	調査遺構
36	54SD78	弥生土器 甕		12.2	-	-	長石・石英粗砂多,角閃石粗砂少,雲母粗砂多	にぶい黄橙色 10YR6/4	堅	ヨコナギ,ハコナギ	ナギ	4/8		II区	SD33-3
38	55SD107	弥生土器 壺		13.9	29.2	5.9	長石・石英粗砂多,角閃石粗砂多 なし,雲母粗砂多	褐色7.5YR4/3	堅	ナギ	ヨコナギ,ナギ,ナギ ナギ	7/8	焼成後穿孔 1ヶ所	II区	SD10下層-68
38	56SD107	弥生土器 壺		17.1	-	-	長石・石英粗砂多,角閃石粗砂多 なし,雲母粗砂多	にぶい褐色 7.5YR5/4	堅	ヨコナギ,ナギ	ナギ	3/8		II区	SD10下層-21
38	57SD107	弥生土器 壺		13.4	-	-	長石・石英粗砂多,角閃石粗砂多 なし,雲母粗砂多	橙色7.5YR6/6~ にぶい黄褐色10YR5/3	堅	ヨコナギ,ナギ	ヨコナギ,ナギ	8/8		II区	SD10下層-80
38	58SD107	弥生土器 壺		16.8	-	-	長石・石英粗砂多,角閃石粗砂多 なし,雲母粗砂多	赤褐色5YR4/6	堅	ナギ,ヨコナギ	ナギ,ナギ	6/8	線刻	II区	SD10下層-73
38	59SD107	弥生土器 壺		19.8	-	-	長石・石英粗砂多,角閃石粗砂少 なし,雲母粗砂多	浅黄色2.5Y7/3	堅	ヨコナギ,ナギ	ナギ,ヨコナギ	6/8	刻み目	II区	SD10下層-20
38	60SD107	弥生土器 細頸壺		-	-	-	長石・石英粗砂多,角閃石粗砂多 なし,雲母粗砂多	にぶい黄褐色 10YR5/4	堅	指頭圧痕	板ナギ	7/8	焼成後穿孔 1ヶ所	II区	SD10下層-77
38	60SD107	弥生土器 壺		5.6	10.1	2.8	長石・石英粗砂多,角閃石粗砂多 なし,雲母細砂含む	にぶい黄褐色 10YR6/4	堅	ナギ,板ナギ	ナギ,ナギ	7/8		II区	SD10下層-64
38	60SD107	弥生土器 壺		9.5	9.5	2.1	長石・石英粗砂多,角閃石粗砂多 なし,雲母粗砂多	にぶい黄褐色 10YR6/4	堅	指頭圧痕,ヨコナギ,ナギ	ヨコナギ,ナギ,ナギ	7/8		II区	SD10下層-62
38	60SD107	弥生土器 壺		8.8	7.3	-	長石・石英粗砂含む,角閃石粗砂含む 粗砂含む,雲母粗砂含む	明赤褐色 2.5YR5/8	堅	指頭圧痕	ナギ	6/8		II区	SD10下層-82
38	60SD107	弥生土器 壺		11.8	17.5	4.8	長石・石英粗砂多,角閃石粗砂多,雲母粗砂多	にぶい黄褐色 10YR6/4	堅	指頭圧痕,ヨコナギ,ナギ	ヨコナギ,ナギ	7/8		II区	SD10下層-59
38	65SD107	弥生土器 壺		-	-	-	長石・石英粗砂多,角閃石粗砂多,雲母粗砂多 なし,雲母細砂含む	灰白色2.5YR8/2 ~褐色2.5YR6/6	堅	ヨコナギ,ハコナギ	ナギ	6/8		II区	SD10下層-22
39	66SD107	弥生土器 甕		15.1	21.1	3.3	長石・石英粗砂多,角閃石粗砂含む,雲母粗砂少	7.5YR5/3	堅	指頭圧痕,ナギ	ヨコナギ,ナギ,ナギ	6/8	胎土の異なる 粘土を使用	II区	SD10下層-51
39	67SD107	弥生土器 甕		16.4	25.0	3.5	長石・石英粗砂多,角閃石粗砂多 なし,雲母粗砂多	褐色7.5YR6/6~ 極暗褐色7.5YR2/3	堅	ハコナギ	ナギ,ナギ	2/8		II区	SD10下層-2
39	68SD107	弥生土器 甕		15.0	24.6	4.7	長石・石英粗砂含む,角閃石粗砂多 石なし,雲母粗砂多	にぶい黄褐色10YR7/4~ 灰黄褐色10YR4/2	堅	指頭圧痕,ヨコナギ,ナギ	ヨコナギ,ナギ,ナギ	4/8		II区	SD10下層-11
39	69SD107	弥生土器 甕		14.7	26.2	4.7	長石・石英粗砂多,角閃石粗砂多 なし,雲母粗砂多	にぶい黄褐色10YR6/3~ 灰褐色7.5YR4/2	堅	指頭圧痕,ナギ	ヨコナギ,ナギ	7/8		II区	SD10下層-57

土器観察表(5)

種図版番号	遺構名	遺物内容	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	内面調整	外面調整	残存率	備考	地区	調査遺構
39	70SD107	弥生土器 甕		15.7	23.1	4.4	長石・石英 礫多, 角閃石 粗砂多 なし, 雲母 粗砂多	黒褐色5YR2/1	堅	ハナメ, ハナズリ	ハナメ	8/8		II区	SD10下層-8
39	71SD107	弥生土器 甕		15.4	-	-	長石・石英 礫含む, 角閃石 粗砂多 なし, 雲母 粗砂多	にぶい黄色 2.5Y6/3	堅	ヨコナテ, ハナズリ	ヨコナテ, ハナメ	2/8		II区	SD10下層-19
39	72SD107	弥生土器 甕		17.2	-	-	長石・石英 粗砂多, 角閃石 粗砂多 粗砂含む, 雲母 粗砂多	にぶい褐色 7.5YR5/4	堅	ハナズリ	ヨコナテ, ハナメ	2/8		II区	SD10下層-12
40	73SD107	弥生土器 甕		12.6	18.1	2.9	長石・石英 粗砂多, 角閃石 粗砂多 なし, 雲母 粗砂多	黄褐色10YR5/3 ～灰黄褐色 10YR4/2	堅	ハナメ, ハナズリ	ヨコナテ, ハナメ	7/8		II区	SD10下層-74
40	74SD107	弥生土器 甕		13.0	16.8	4.0	長石・石英 粗砂多, 角閃石 粗砂多 なし, 雲母 粗砂多	褐色7.5YR4/4 ～黒褐色7.5YR3/2	堅	ヨコナテ, ハナメ, ハナズリ	ヨコナテ, ハナメ	7/8		II区	SD10下層-7
40	75SD107	弥生土器 甕		15.0	-	-	長石・石英 粗砂多, 角閃石 粗砂含む, 雲母 粗砂多	黒褐色7.5YR3/2 ～褐色7.5YR6/6	堅	ヨコナテ, ハナズリ	ヨコナテ, ハナメ	6/8		II区	SD10下層-3
40	76SD107	弥生土器 甕		14.2	-	-	長石・石英 粗砂多, 角閃石 粗砂含む なし, 雲母 粗砂含む	にぶい黄褐色10YR7/4 ～黒褐色10YR2/2	堅	マク	ハナメ	4/8		II区	SD10下層-5
40	77SD107	弥生土器 甕		15.8	27.7	3.8	長石・石英 粗砂多, 角閃石 粗砂少, 雲母 なし	黄褐色10YR5/6 ～黒褐色10YR2/3	堅	ユビナテ, ヨコナテ, ハナズリ	ヨコナテ, ハナメ	5/8		II区	SD10下層-48
40	78SD107	弥生土器 甕		17.4	-	-	長石・石英 粗砂多, 角閃石 粗砂多 なし, 雲母 粗砂多	褐色5YR6/6 ～にぶい黄褐色10YR6/4	堅	指頭圧痕, ヨコナテ, ハナズリ	ヨコナテ, ハナメ	5/8		II区	SD10下層-1
40	79SD107	弥生土器 甕		14.9	21.9	6.1	長石・石英 粗砂多, 角閃石 粗砂含む なし, 雲母 粗砂多	浅黄褐色 10YR8/3	堅	ユビナテ, ハナメ	ハナメ	7/8		II区	SD10下層-63
41	80SD107	弥生土器 甕		14.6	21.2	5.1	長石・石英 粗砂少, 角閃石 粗砂含む, 雲母 粗砂多	にぶい黄褐色 10YR6/4	堅	ハナメ, ハナズリ	ハナメ	6/8	口縁部は別胎土を用いている	II区	SD10下層-13
41	81SD107	弥生土器 甕		14.8	21.1	4.8	長石・石英 粗砂多, 角閃石 粗砂多 なし, 雲母 粗砂多	明褐色7.5YR5/6	堅	指頭圧痕, ハナメ, ハナズリ	ヨコナテ, ハナメ	7/8		II区	SD10下層-69
41	82SD107	弥生土器 甕		10.6	11.4	1.0	長石・石英 粗砂少 なし, 雲母 粗砂多	浅黄褐色 7.5YR8/4	堅	指頭圧痕, ハナズリ	指頭圧痕, ナナメ	7/8		II区	SD10下層-9
41	83SD107	弥生土器 甕		10.0	15.5	3.5	長石・石英 粗砂含む, 角閃石 粗砂含む 石 なし, 雲母 粗砂含む	褐色7.5YR7/6 ～にぶい黄褐色10YR7/3	堅	ヨコナテ, ハナズリ	ヨコナテ, ハナメ	6/8		II区	SD10下層-6
41	84SD107	弥生土器 甕		13.8	-	-	長石・石英 礫多, 角閃石 粗砂多 なし, 雲母 粗砂多	黒褐色7.5YR3/2 ～明褐色7.5YR5/6	堅	ハナズリ, ハナメ	ハナメ	4/8		II区	SD10下層-4

土器観察表(6)

挿図版	番号	遺構名	遺物内容	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	内面調整	外面調整	残存率	備考	地区	調査遺構
41	85	SD107	弥生土器 甕		14.0	-	-	長石・石英粗砂多,角閃石粗砂多,雲母細砂含む	にぶい,黄橙色10YR6/4	堅	マメ	ハケ	1/8		II区	SD10下層-18
41	86	SD107	弥生土器 甕		17.3	-	-	長石・石英粗砂多,角閃石粗砂多,雲母粗砂多なし	にぶい,黄褐色10YR5/4~にぶい,黄褐色10YR7/4	堅	ハケ	マメ	2/8		II区	SD10下層-17
41	87	SD107	弥生土器 甕		13.3	17.9	3.8	長石・石英粗砂含む,角閃石なし,雲母粗砂多	にぶい,黄褐色10YR6/4	堅	ハケ,ハケ	ヨコテ,ハケ	7/8		II区	SD10下層-52
41	88	SD107	弥生土器 甕		14.4	-	-	長石・石英粗砂含む,角閃石なし,雲母粗砂含む	10YR7/4	堅	指頭圧痕,ヨコヨコテ,マメ	ヨコヨコテ,マメ	5/8		II区	SD10下層-15
41	89	SD107	弥生土器 甕		13.3	19.8	4.7	長石・石英粗砂多,角閃石粗砂少,雲母粗砂多	にぶい,黄褐色10YR6/4~黒色10YR2/1	堅	ハケ	マメ	6/8		II区	SD10下層-16
42	90	SD107	弥生土器 甕		-	-	3.7	長石・石英粗砂多,角閃石なし,雲母粗砂多	にぶい,褐色7.5YR6/4~灰褐色7.5YR4/2	堅	マメ	マメ	8/8		II区	SD10下層-49
42	91	SD107	弥生土器 甕		-	-	4.8	長石・石英なし,角閃石なし,雲母なし,その他の粗砂多	浅黄褐色7.5YR8/3	堅	マメ	マメ	8/8	底部外面に葉脈痕あり	II区	SD10下層-58
42	92	SD107	弥生土器 甕		16.0	-	-	長石・石英粗砂含む,角閃石粗砂多,雲母粗砂含む	にぶい,黄褐色10YR7/4	堅	指頭圧痕,ヨコヨコテ,マメ	マメ,ヨコテ,ミカ	2/8		II区	SD10下層-14
42	93	SD107	弥生土器 鉢		8.2	3.1	3.7	長石・石英粗砂含む,雲母粗砂多	10YR5/3	堅	指頭圧痕	指頭圧痕	8/8		II区	SD10下層-31
42	94	SD107	弥生土器 鉢		10.5	4.5	3.6	長石・石英粗砂少,角閃石粗砂多	黒色10YR2/1	堅	マメ	マメ	8/8		II区	SD10下層-29
42	95	SD107	弥生土器 鉢		11.5	6.5	3.0	長石・石英なし,角閃石粗砂少,雲母粗砂多	にぶい,黄褐色10YR7/3	堅	ハケ	マメ	7/8		II区	SD10下層-78
42	96	SD107	弥生土器 鉢		-	-	3.6	長石・石英粗砂多,角閃石粗砂少,雲母粗砂多	10YR6/4	堅	ハケ	マメ	8/8		II区	SD10下層-81
42	97	SD107	弥生土器 鉢		14.6	5.2	3.5	長石・石英粗砂多,角閃石粗砂少,雲母粗砂含む	明赤褐色5YR5/6	堅	ハケ	ヨコテ,マメ	8/8		II区	SD10下層-66
42	98	SD107	弥生土器 鉢		13.0	6.8	4.5	長石・石英粗砂多,角閃石なし,雲母粗砂多	明赤褐色2.5YR5/6	堅	指頭圧痕,マメ	指頭圧痕,マメ	2/8		II区	SD10下層-25
42	99	SD107	弥生土器 鉢		15.0	8.1	3.2	長石・石英粗砂多,角閃石なし,雲母粗砂少	褐色2.5YR6/8	堅	マメ	マメ	2/8		II区	SD10下層-26
42	100	SD107	弥生土器 鉢		18.8	9.0	5.0	長石・石英粗砂多,角閃石なし,雲母粗砂多	にぶい,黄褐色10YR6/4	堅	指頭圧痕,マメ	ヨコテ,マメ	8/8		II区	SD10下層-75

土器観察表(7)

挿図	図版	番号	遺構名	遺物内容	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	内面調整	外面調整	残存率	備考	地区	調査遺構
42	64	101	SD107	弥生土器 鉢	鉢	16.8	8.8	2.6	長石・石英粗砂含む、角閃石なし、雲母粗砂多	にぶい黄褐色10YR6/4	堅	北行き、ハナメ	ヨコ行き、ハナメ	7/8		II区	SD10下層-54
42	64	102	SD107	弥生土器 鉢	鉢	17.6	7.7	3.3	長石・石英粗砂多、角閃石粗砂多、雲母粗砂多	にぶい黄褐色10YR5/4	堅	ヨコ行き、ハナメ	ヨコ行き、伊行き	7/8		II区	SD10下層-30
42	64	103	SD107	弥生土器 鉢	鉢	19.2	8.7	4.2	長石・石英粗砂多、角閃石なし、雲母粗砂少	赤褐色5YR4/6~にぶい黄色2.5Y6/4	堅	ハナメ、シカキ	ヨコ行き、ハナメ	5/8		II区	SD10下層-84
42	104	SD107	弥生土器 鉢	鉢	鉢	19.3	9.4	3.5	長石・石英粗砂多、角閃石なし、雲母粗砂多	にぶい黄色2.5Y6/3~明褐色7.5R5/4	堅	指頭圧痕、ヨコ行き、ハナメ	ヨコ行き、ハナメ	6/8		II区	SD10下層-32
43	64	105	SD107	弥生土器 鉢	鉢	17.4	10.5	4.1	長石・石英粗砂多、角閃石なし、雲母粗砂多	橙色5YR6/6	堅	ハナメ	ハナメ	7/8		II区	SD10下層-65
43	64	106	SD107	弥生土器 鉢	鉢	21.3	8.9	5.2	長石・石英粗砂多、角閃石なし、雲母粗砂含む	橙色5YR6/6	堅	ナメ	指頭圧痕、ヨコ行き、ハナメ	5/8		II区	SD10下層-27
43	65	107	SD107	弥生土器 鉢あるいは高坏	鉢	14.8	6.0		長石・石英粗砂含む、角閃石なし、雲母粗砂多	にぶい黄褐色10YR5/4	堅	指頭圧痕、ハナメ	指頭圧痕、ナメ	7/8		II区	SD10下層-33
43	65	108	SD107	弥生土器 台付鉢	鉢	13.2	8.2	5.2	長石・石英粗砂多、角閃石なし、雲母粗砂多	明褐色7.5YR5/6	堅	ハナメ、指頭圧痕	ハナメ、指頭圧痕	6/8		II区	SD10下層-28
43	65	109	SD107	弥生土器 鉢	鉢	15.3	8.6	5.1	長石・石英粗砂多、角閃石なし、雲母粗砂多	明褐色7.5YR5/6	堅	伊行き、ヨコ行き	ハナメ、ヨコ行き、ハナメ	5/8		II区	SD10下層-76
43	65	110	SD107	弥生土器 鉢	鉢	14.8	11.7	5.9	長石・石英粗砂多、角閃石なし、雲母粗砂多	にぶい黄褐色10YR6/4	堅	ヨコ行き、ハナメ	ヨコ行き、ハナメ	8/8		II区	SD10下層-47
43	65	111	SD107	弥生土器 甕	甕	12.8	11.5	5.3	長石・石英粗砂多、角閃石粗砂少、雲母粗砂多	橙色7.5YR6/6	堅	指頭圧痕、ハナメ	指頭圧痕、ヨコ行き、ハナメ	8/8		II区	SD10下層-10
43	65	112	SD107	弥生土器 片口鉢	片口鉢	24.5	18.7	6.5	長石・石英粗砂含む、角閃石粗砂少、雲母粗砂多	にぶい黄褐色10YR6/4	堅	ハナメ	ハナメ、ヨコ行き	7/8		II区	SD10下層-23
43	66	113	SD107	弥生土器 鉢	鉢	28.9	15.9	6.3	長石・石英粗砂多、角閃石粗砂多、雲母粗砂多	にぶい黄褐色10YR6/4	堅	ハナメ、ハナメ	ハナメ、ハナメ	6/8		II区	SD10下層-24
43	114	SD107	弥生土器 甕	甕	甕	19.5	16.6	1.0	長石・石英粗砂含む、角閃石なし、雲母粗砂少	にぶい黄褐色10YR7/3	堅	ハナメ、ハナメ	ハナメ	6/8		II区	SD10下層-37
43	66	115	SD107	弥生土器 甕	甕	21.0	21.3	1.3	長石・石英粗砂含む、角閃石なし、雲母粗砂多	にぶい黄褐色10YR6/4~明褐色7.5YR5/6	堅	北行き、ハナメ	ハナメ	5/8		II区	SD10下層-55
44	66	116	SD107	弥生土器 甕	甕	23.6	22.8	1.5	長石・石英粗砂含む、角閃石なし、雲母粗砂多	にぶい黄褐色10YR6/3	堅	ハナメ、シカキ	ハナメ	1/8		II区	SD10下層-38
44	66	117	SD107	弥生土器 高坏	高坏	23.3	17.1	19.1	長石・石英粗砂含む、角閃石粗砂多、雲母なし	にぶい黄褐色10YR5/4	堅	ヨコ行き、シカキ(斜格子状、斜格子状)、伊行き、ハナメ	ヨコ行き、シカキ(斜格子状)	7/8	穿孔脚部上部3箇所下部3箇所	II区	SD10下層-50

土器観察表(8)

挿図 図版 番号	遺構名	遺物内容	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	内面調整	外面調整	残存率	備考	地区	調査遺構
44	66 118SD107	弥生土器 弥生土器	高坏	24.3	-	-	長石・石英粗砂多、角閃石粗砂多、雲母なし	にぶい褐色 7.5YR6/3	堅	ヨコナ	ヨコナ、ウツナ、 リ、シナキ(格子 状)	5/8		II区	SD10下層- 56
44	66 119SD107	弥生土器	高坏	23.0	-	-	長石・石英粗砂少、角閃石なし、雲母粗砂多	橙色5YR6/6~浅 黄色2.5Y7/3	堅	シナキ	シナキ、ハナ、ウツナ ズリ	6/8		II区	SD10下層- 79
44	120SD107	弥生土器	高坏	22.2	-	-	長石・石英粗砂少、角閃石なし、雲母粗砂多	浅黄色2.5Y7/3	堅	シナキ	ウツナ、リ	2/8		II区	SD10下層- 34
44	121SD107	弥生土器	高坏	24.3	-	-	長石・石英粗砂多、角閃石なし、雲母粗砂含む	にぶい橙色 7.5YR6/4	堅	ヲナ	ヨコナ、ウツナ、 シナキ	6/8		II区	SD10下層- 67
44	122SD107	弥生土器	高坏	-	14.4	-	長石・石英粗砂含む、角閃石なし、雲母粗砂少	にぶい褐色 7.5YR6/4	堅	ヲナ	ヨコナ、ウツナ	6/8	穿孔4所	II区	SD10下層- 70
44	123SD107	弥生土器	高坏	-	16.2	-	長石・石英粗砂含む、角閃石なし、雲母粗砂多	にぶい黄褐色 10YR7/4	堅	ヲナ	ウツナ	5/8	穿孔4所	II区	SD10下層- 36
44	124SD107	弥生土器	高坏	-	16.3	-	長石・石英粗砂多、角閃石なし、雲母粗砂含む	にぶい黄褐色 10YR6/4	堅	ウツナ	ウツナ	6/8	穿孔4所	II区	SD10下層- 35
45	67 125SD107	弥生土器	支脚	8.8	13.7	9.6	長石・石英粗砂多、角閃石粗砂含む、雲母粗砂多	にぶい黄褐色 10YR6/3	堅	ヨコナ、ウツナ	ヨコナ、ウツナ	8/8	刻み目	II区	SD10下層- 53
45	67 126SD107	弥生土器	支脚	10.1	13.8	10.3	長石・石英粗砂多、角閃石粗砂含む、雲母粗砂多	にぶい黄色 2.5Y6/3	堅	ウツナ	ウツナ、ヨコナ	8/8	刻み目	II区	SD10下層- 39
45	67 127SD107	弥生土器	支脚	7.8	13.6	11.0	長石・石英粗砂多、角閃石なし、雲母粗砂含む	にぶい黄褐色10 YR6/3~にぶい橙 色7.5YR6/4	堅	ウツナ	ウツナ	8/8	刻み目	II区	SD10下層- 83
45	67 128SD107	弥生土器	支脚	6.4	11.7	8.3	長石・石英粗砂多、角閃石粗砂多、雲母粗砂多	にぶい黄褐色 10YR6/3	堅	ウツナ	ウツナ	8/8	刻み目	II区	SD10下層- 44
45	67 129SD107	弥生土器	支脚	6.4	14.8	11.5	長石・石英粗砂少、角閃石粗砂多、雲母粗砂多	橙色5YR6/6~ナ リ、黒色5Y3/1	堅	ウツナ	指頭圧痕	7/8	刻み目	II区	SD10下層- 41
45	67 130SD107	弥生土器	支脚	6.7	11.6	8.8	長石・石英粗砂多、角閃石粗砂含む、雲母粗砂多	にぶい黄褐色 10YR6/3	堅	ウツナ、ヨコナ	ウツナ、ヨコナ	8/8	刻み目	II区	SD10下層- 45
45	68 131SD107	弥生土器	支脚	5.2	5.1	7.6	長石・石英粗砂含む、角閃石なし、雲母粗砂多	にぶい褐色 7.5YR6/4	堅	ウツナ	指頭圧痕	8/8		II区	SD10下層- 42
45	68 132SD107	弥生土器	支脚	6.3	8.0	8.0	長石・石英粗砂多、角閃石粗砂多、雲母粗砂多	にぶい黄褐色 10YR5/3	堅	指頭圧痕、 ウツナ	指頭圧痕、 ウツナ	8/8		II区	SD10下層- 72
45	68 133SD107	弥生土器	支脚	6.1	6.7	6.7	長石・石英粗砂含む、角閃石粗砂含む、雲母粗砂多	暗灰黄色 2.5Y5/2	堅	ウツナ	指頭圧痕	8/8		II区	SD10下層- 46

土器観察表 (9)

種図版番号	遺構名	遺物内容	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	内面調整	外面調整	残存率	備考	地区	調査遺構
45	68 134SD107	弥生土器 支脚	支脚	-	8.7	10.0	長石・石英粗砂多, 角閃石なし, 雲母粗砂多	にぶい黄褐色 10YR5/4	堅	ハクメ	ツヅ	8/8		II区	SD10下層-61
45	68 135SD107	弥生土器 支脚	支脚	6.1	9.0	9.4	長石・石英粗砂含む, 角閃石なし, 雲母粗砂多	にぶい黄褐色 10YR5/3	堅	ハクメ, ハクメ	ツヅ	8/8		II区	SD10下層-43
45	67 136SD107	弥生土器 支脚	支脚	15.6	18.0	13.8	長石・石英粗砂多, 角閃石なし, 雲母粗砂多	にぶい黄褐色 10YR5/4	堅	ハクメ, ハクメ	ツヅ	4/8		II区	SD10下層-40
46	137SD107	弥生土器 壺	壺	22.9	-	-	長石・石英粗砂多, 角閃石なし, 雲母粗砂多	赤褐色2.5YR4/6	堅	ヨナテ	ヨナテ, ハクメ	3/8		II区	SD10上層-10
46	67 138SD107	弥生土器 壺	壺	15.6	-	-	長石・石英粗砂多, 角閃石粗砂含む, 雲母粗砂多	にぶい橙色7.5YR7/3~にぶい黄褐色10YR6/4	堅	指頭圧痕, ヨコナテ, ハクメ	ヨコナテ, ツヅ, ハクメ	5/8	線刻(頸部内面)輪積一段のみ違う粘土を使用	II区	SD10上層-9
46	139SD107	弥生土器 壺	壺	15.8	-	-	長石・石英粗砂少, 角閃石なし, 雲母粗砂含む	にぶい黄褐色 10YR7/2	堅	ヨコナテ, ハクメ	ヨコナテ, ハクメ	1/8		II区	SD10上層-13
46	140SD107	弥生土器 壺	壺	16.3	-	-	長石・石英粗砂含む, 角閃石なし, 雲母粗砂多	にぶい黄褐色 10YR6/3	堅	ハクメ	ヨコナテ, ハクメ	1/8		II区	SD10上層-11
46	68 141SD107	弥生土器 壺	壺	21.3	-	-	長石・石英粗砂多, 角閃石粗砂多, 雲母粗砂多	赤褐色2.5YR4/6	堅	ツヅ	ハクメ	6/8		II区	SD10上層-41
46	68 142SD107	弥生土器 壺	壺	16.0	-	-	長石・石英粗砂多, 角閃石粗砂含む, 雲母粗砂多	にぶい赤褐色 5YR5/4	堅	指頭圧痕, ヨコナテ, ツヅ	ヨコナテ, ハクメ	6/8		II区	SD10上層-48
46	68 143SD107	弥生土器 壺	壺	19.2	-	-	長石・石英粗砂多, 角閃石粗砂少, 雲母粗砂含む	にぶい黄褐色 10YR7/3	堅	ヨコナテ, ハクメ	ヨコナテ, ハクメ	6/8	刻み目凸帯	II区	SD10上層-51
46	68 144SD107	弥生土器 甕	甕	12.2	17.7	-	長石・石英粗砂多, 角閃石粗砂少, 雲母粗砂多	にぶい黄褐色 10YR6/3	堅	ヨコナテ, ハクメ	ハクメ	7/8		II区	SD10上層-43
47	145SD107	弥生土器 甕	甕	16.6	-	-	長石・石英粗砂含む, 角閃石粗砂少, 雲母粗砂多	暗褐色10YR3/3	堅	ハクメ	ツヅ	2/8		II区	SD10上層-2
47	146SD107	弥生土器 甕	甕	14.4	-	-	長石・石英粗砂多, 角閃石粗砂少, 雲母粗砂多	にぶい黄褐色 10YR6/3	堅	ハクメ	ツヅ	2/8		II区	SD10上層-1
47	147SD107	弥生土器 甕	甕	17.0	-	-	長石・石英粗砂多, 角閃石粗砂多, 雲母粗砂多	にぶい黄褐色10YR5/4~黒褐色7.5YR3/2	堅	ツヅ	ツヅ	6/8		II区	SD10上層-50
47	148SD107	弥生土器 甕	甕	16.0	-	-	長石・石英粗砂多, 角閃石粗砂多, 雲母粗砂多	明褐色7.5YR5/6~黒褐色7.5YR3/2	堅	ツヅ	ツヅ	2/8		II区	SD10上層-3
47	149SD107	弥生土器 甕	甕	14.0	-	-	長石・石英粗砂多, 角閃石粗砂多, 雲母粗砂多	にぶい褐色7.5YR5/4~黒褐色7.5YR3/2	堅	ハクメ, ハクメ	ハクメ, ヨコナテ	3/8		II区	SD10上層-6

土器観察表 (10)

種	図版	番号	遺構名	遺物内容	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	内面調整	外面調整	残存率	備考	地区	調査遺構
47		150	SD107	弥生土器 甕		13.5	-	-	長石・石英粗砂多, 角閃石粗砂多 なし, 雲母粗砂多	褐色7.5YR4/4	堅	ヘアースリ, ココナ子	ヘアースリ, ココナ子	3/8		II区	SD10上層-4
47		151	SD107	弥生土器 甕		19.2	-	-	長石・石英粗砂多, 角閃石粗砂多 なし, 雲母粗砂多	暗褐色7.5YR3/4 ~黒色7.5YR1.7/1	堅	ヘアースリ	ヘアースリ	4/8		II区	SD10上層-8
47		152	SD107	弥生土器 甕		17.2	24.0	3.8	長石・石英粗砂多, 角閃石粗砂多 なし, 雲母粗砂多	明赤褐色5YR5/6 ~暗赤褐色5YR3/2	堅	コヒナ子, ココナ子, ヘアースリ	コヒナ子, ココナ子, ヘアースリ	4/8		II区	SD10上層-47
48	69	153	SD107	弥生土器 甕		13.6	19.7	5.7	長石・石英粗砂多, 角閃石粗砂多 なし, 雲母なし	明褐灰色7.5YR7/2 ~橙色5YR7/8	堅	指頭圧痕, ヘアースリ	指頭圧痕, ヘアースリ	6/8		II区	SD10上層-7
48	69	154	SD107	弥生土器 甕		11.4	17.4	3.5	長石・石英粗砂多, 角閃石粗砂多 粗砂含む, 雲母粗砂含む	にぶい褐色7.5YR6/3	堅	ヘアースリ	ヘアースリ	7/8		II区	SD10上層-46
48	69	155	SD107	弥生土器 甕		12.9	26.8	4.0	長石・石英粗砂多, 角閃石粗砂多 なし, 雲母粗砂多	にぶい褐色7.5YR5/3	堅	指頭圧痕, ココナ子, ヘアースリ	指頭圧痕, ココナ子, ヘアースリ	3/8		II区	SD10上層-5
48		156	SD107	弥生土器 甕		-	-	3.7	長石・石英粗砂多, 角閃石粗砂多 粗砂含む, 雲母粗砂含む	にぶい黄褐色10YR7/4~黒色5Y3/1	堅	ヘアースリ	ヘアースリ	3/8		II区	SD10上層-35
48	69	157	SD107	弥生土器 鉢		9.9	5.9	2.8	長石・石英粗砂少, 角閃石粗砂多 なし, 雲母粗砂多	にぶい黄褐色10YR4/3	堅	ヘアースリ	指頭圧痕	4/8		II区	SD10上層-21
48	69	158	SD107	弥生土器 鉢		13.1	7.3	3.9	長石・石英粗砂多, 角閃石粗砂多 なし, 雲母粗砂多	にぶい褐色7.5YR5/4	堅	ヘアースリ	ヘアースリ, 指頭圧痕	7/8		II区	SD10上層-19
48	70	159	SD107	弥生土器 鉢		9.9	5.5	1.8	長石・石英粗砂多, 角閃石粗砂多 粗砂含む, 雲母粗砂多	にぶい黄褐色10YR5/4	堅		指頭圧痕	6/8		II区	SD10上層-22
48	70	160	SD107	弥生土器 鉢		12.6	7.6	2.0	長石・石英粗砂多, 角閃石粗砂多 粗砂含む, 雲母粗砂含む	にぶい黄褐色10YR7/4	堅	ヘアースリ, ヘアースリ	ヘアースリ	7/8		II区	SD10上層-17
48	161	SD107	弥生土器 鉢			11.0	-	-	長石・石英粗砂多, 角閃石粗砂多 なし, 雲母粗砂多	明赤褐色5YR5/6	堅	ヘアースリ	ヘアースリ, ココナ子	7/8		II区	SD10上層-18
48	162	SD107	弥生土器 鉢			-	-	3.4	長石・石英粗砂多, 角閃石粗砂多 なし, 雲母粗砂多	にぶい黄褐色10YR7/4	堅	板子, ココナ子	ココナ子	4/8		II区	SD10上層-23
48	163	SD107	弥生土器 鉢			12.8	5.4	4.0	長石・石英粗砂多, 角閃石粗砂多 なし, 雲母粗砂多	褐色7.5YR6/6~にぶい黄褐色10YR6/4	堅	ヘアースリ	ヘアースリ, ヘアースリ	3/8		II区	SD10上層-15
48	70	164	SD107	弥生土器 鉢		14.6	7.1	4.1	長石・石英粗砂多, 角閃石粗砂多 粗砂含む, 雲母粗砂含む	にぶい黄褐色10YR6/4	堅	ヘアースリ	ヘアースリ	7/8		II区	SD10上層-20
48	70	165	SD107	弥生土器 鉢		14.7	9.0	-	長石・石英粗砂多, 角閃石粗砂多 なし, 雲母粗砂多	にぶい赤褐色5YR4/4	堅	ヘアースリ	ヘアースリ, ヘアースリ	8/8		II区	SD10上層-49

土器観察表 (11)

挿図版番号	遺構名	遺物内容	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	内面調整	外面調整	残存率	備考	地区	調査遺構
48	70	166	SD107	鉢	16.7	8.2	5.9	長石・石英粗砂多, 角閃石粗砂多 なし, 雲母粗砂多	堅	ハツカスリ, ハツカ	マフ	6/8		II区	SD10上層-14
48	167	SD107	鉢	19.4	11.2	6.3	長石・石英粗砂多, 角閃石粗砂多 なし, 雲母粗砂多	明赤褐色5YR5/6	堅	ハツカスリ		2/8		II区	SD10上層-25
48	168	SD107	高坏	14.8	-	-	長石・石英粗砂含む, 角閃石なし, 雲母粗砂多	にぶい黄褐色10YR4/3~橙色5YR6/6	堅	ナシ		3/8		II区	SD10上層-16
48	70	169	SD107	甗	14.5	7.5	2.0	長石・石英粗砂含む, 角閃石粗砂含む, 雲母粗砂多	堅	ハツカ	ナシ	6/8		II区	SD10上層-36
49	70	170	SD107	鉢	16.9	-	長石・石英粗砂多, 角閃石粗砂多 なし, 雲母粗砂多	橙色5YR6/6~暗灰色2.5Y4/2	堅	ヨコナシ, ハツカ, ミカキ	ヨコナシ, ハツカ	2/8		II区	SD10上層-29
49	171	SD107	鉢	23.1	12.0	1.0	長石・石英粗砂多, 角閃石なし, 雲母粗砂少	にぶい黄褐色10YR7/4	軟	マフ	ハツカ	4/8		II区	SD10上層-28
49	172	SD107	鉢	22.6	-	-	長石・石英粗砂含む, 角閃石なし, 雲母粗砂多	にぶい黄褐色10YR7/4	堅	ハツカ	ヨコナシ, ハツカ	2/8		II区	SD10上層-26
49	71	173	SD107	鉢	32.0	-	長石・石英粗砂多, 角閃石粗砂含む, 雲母粗砂多	にぶい褐色7.5YR5/4	堅	マフ	ヨコナシ, ハツカ, ミカキ	2/8		II区	SD10上層-24
49	174	SD107	鉢	50.5	-	-	長石・石英粗砂多, 角閃石なし, 雲母粗砂多	にぶい黄褐色10YR7/4~黄灰色2.5Y4/1	堅	ヨコナシ	ヨコナシ, ハツカ	1/8		II区	SD10上層-30
50	175	SD107	高坏	22.9	-	-	長石・石英粗砂多, 角閃石粗砂多, 雲母粗砂含む	橙色7.5YR6/6	堅	ハラミカキ(斜格子状), ハツカスリ	ハラミカキ(斜格子状)	4/8		II区	SD10上層-34
50	176	SD107	高坏	23.8	-	-	長石・石英粗砂多, 角閃石粗砂多, 雲母なし	灰黄褐色10YR5/2~赤褐色5YR4/6	堅	マフ	マフ	2/8		II区	SD10上層-32
50	177	SD107	高坏	21.8	-	-	長石・石英粗砂含む, 角閃石粗砂多, 雲母粗砂多	赤褐色5YR4/6	堅	ミカキ	ヨコナシ, ミカキ	2/8		II区	SD10上層-31
50	178	SD107	高坏	-	-	18.1	長石・石英粗砂含む, 角閃石粗砂含む, 雲母粗砂多	にぶい黄褐色10YR7/4	堅	マフ	ハツカ, ナシ	8/8	穿孔3ヶ所	II区	SD10上層-33
50	179	SD107	高坏	-	-	11.8	長石・石英粗砂多, 角閃石粗砂少, 雲母粗砂多	にぶい赤褐色5YR5/4~灰黄色2.5Y6/2	堅	ハツカ	ハツカ, ハツカスリ	7/8	穿孔4ヶ所, 凹盤充填	II区	SD10上層-42
50	71	180	SD107	支脚	8.1	15.8	13.0	長石・石英粗砂多, 角閃石なし, 雲母粗砂多	堅	ハツカ	指頭圧痕, ハツカ	8/8		II区	SD10上層-37
50	71	181	SD107	支脚	8.6	14.0	11.4	長石・石英粗砂多, 角閃石なし, 雲母なし	堅	ハツカ	指頭圧痕, ハツカ	7/8	刻み目	II区	SD10上層-45

土器観察表 (12)

挿図	図版	番号	遺構名	遺物内容	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	内面調整	外面調整	残存率	備考	地区	調査遺構
50	71	182	SD107	弥生土器 支脚	支脚	8.0	13.9	10.7	長石・石英粗砂多, 角閃石なし, 雲母粗砂含む	にぶい黄褐色 10YR5/3	堅		指頭圧痕, ハツ	7/8		Ⅱ区	SD10上層-39
50	183	SD107	弥生土器	支脚	支脚	7.4	-	-	長石・石英粗砂含む, 角閃石なし, 雲母粗砂含む	にぶい黄褐色 10YR5/3	堅	ハツ, 行	指頭圧痕, ハツ	7/8	刻み目	Ⅱ区	SD10上層-44
50	71	184	SD107	弥生土器	支脚	5.2	8.9	7.8	長石・石英粗砂含む, 角閃石なし, 雲母粗砂多	赤褐色2.5YR4/6	堅	ハツ	指頭圧痕	4/8		Ⅱ区	SD10上層-38
50	71	185	SD107	弥生土器	支脚	6.3	5.7	8.2	長石・石英粗砂含む, 角閃石なし, 雲母粗砂多	にぶい黄褐色 10YR5/3	堅	ハツ	指頭圧痕, ハツ	7/8		Ⅱ区	SD10上層-40
50	71	186	SD107	弥生土器	支脚	6.4	5.5	6.4	長石・石英粗砂含む, 角閃石粗砂少, 雲母粗砂多	にぶい黄褐色 10YR5/3	堅	ハツ	ハツ	8/8		Ⅱ区	SD10上層-27
50	71	187	SD107	弥生土器	支脚	4.2	4.9	9.7	長石・石英粗砂多, 角閃石なし, 雲母粗砂多	赤褐色5YR4/6	堅	ハツ	ハツ	6/8		Ⅱ区	SD10上層-12
51	72	188	SD107	弥生土器	壺	16.2	-	-	長石・石英粗砂含む, 角閃石粗砂少, 雲母粗砂多	にぶい橙色 7.5YR7/3	堅	ユビナリ, ヨコヨコナリ, ハツ	ハツ	5/8		Ⅱ区	SD10-93
51	72	189	SD107	弥生土器	壺	17.4	25.4	5.9	長石・石英粗砂多, 角閃石粗砂少, 雲母粗砂多	明赤褐色2.5YR5/8~にぶい黄褐色10YR7/3	堅	指頭圧痕, ヨコナリ, ハツ, ハツ	ヨコナリ, ハツ, ハツ	8/8	線刻	Ⅱ区	SD10-71
51	190	SD107	弥生土器	壺	壺	-	-	5.0	長石・石英粗砂含む, 角閃石なし, 雲母粗砂含む	暗褐色7.5YR3/3	堅	ハツ	ハツ, ハツ	3/8	実測図なし 拓本のみ	Ⅱ区	SD10
51	191	SD107	弥生土器	壺	壺	-	-	4.9	長石・石英粗砂多, 角閃石なし, 雲母粗砂多	橙色5YR6/6	堅	ハツ	ハツ, ハツ	2/8	実測図なし 拓本のみ	Ⅱ区	SD10
51	192	SD107	弥生土器	壺	壺	20.2	-	-	長石・石英粗砂多, 角閃石なし, 雲母粗砂含む	にぶい橙色 7.5YR6/4	堅	ヨコナリ, ハツ, ハツ	ヨコナリ, ハツ, ハツ	7/8		Ⅱ区	SD10-121
51	72	193	SD107	弥生土器	壺	16.8	-	-	長石・石英粗砂多, 角閃石粗砂少, 雲母粗砂含む	にぶい橙色 7.5YR7/4	堅	指頭圧痕, ヨコナリ, ハツ, ハツ	ヨコナリ, ハツ, ハツ	6/8	焼成後穿孔 1ヶ所	Ⅱ区	SD10-105
51	194	SD107	弥生土器	壺	壺	17.8	-	-	長石・石英粗砂含む, 角閃石粗砂少, 雲母粗砂含む	にぶい黄褐色 10YR7/2	堅	ハツ, ヨコナリ	ヨコナリ, ハツ, ハツ	2/8		Ⅱ区	SD10-37
51	195	SD107	弥生土器	壺	壺	14.7	-	-	長石・石英粗砂含む, 角閃石粗砂少, 雲母粗砂含む	にぶい橙色 7.5YR7/3	堅	ハツ	ハツ	4/8		Ⅱ区	SD10-32
51	196	SD107	弥生土器	壺	壺	20.8	-	-	長石・石英粗砂多, 角閃石粗砂含む, 雲母粗砂多	赤褐色2.5YR4/6	堅	ユビナリ, ハツ	ユビナリ, ハツ, ハツ	3/8		Ⅱ区	SD10-104
51	197	SD107	弥生土器	壺	壺	17.8	-	-	長石・石英粗砂多, 角閃石粗砂少, 雲母粗砂多	褐色2.5YR6/6	堅	ハツ	ハツ	2/8		Ⅱ区	SD10-39

土器観察表 (13)

挿図版番号	遺構名	遺物内容	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	内面調整	外面調整	残存率	備考	地区	調査遺構
52	72	198 SD107	弥生土器 壺	15.6	32.0	3.3	長石・石英粗砂多, 角閃石粗砂少, 雲母粗砂多	にぶい赤褐色2.5YR5/4	堅	指頭圧痕, ハナ	ハナ	7/8		Ⅱ区	SD10-72
52		199 SD107	弥生土器 壺	-	-	6.4	長石・石英 礫多, 角閃石粗砂少, 雲母粗砂含む	にぶい橙色7.5YR7/3	堅	ヒナナ, ココナ指頭圧痕, ハナ	ココナ指頭圧痕, ハナ	7/8		Ⅱ区	SD10-103
52		200 SD107	弥生土器 壺	15.1	-	-	長石・石英粗砂多, 角閃石粗砂多	にぶい褐色7.5YR5/4	堅	ココナ	ココナ, ハナ	7/8		Ⅱ区	SD10-31
52		201 SD107	弥生土器 壺	14.6	-	-	長石・石英粗砂多, 角閃石粗砂多, 雲母粗砂多	にぶい褐色5YR6/4	堅	指頭圧痕, ココナ	ココナ, ハナ	6/8		Ⅱ区	SD10-33
52		202 SD107	弥生土器 壺	19.1	-	-	長石・石英粗砂含む, 角閃石粗砂多	赤褐色2.5YR4/6 ~ にぶい褐色7.5YR6/4	堅	ココナ, イナナ	ココナ	6/8		Ⅱ区	SD10-36
52		203 SD107	弥生土器 壺	16.2	-	-	長石・石英粗砂含む, 角閃石粗砂少, 雲母粗砂多	にぶい橙色5YR7/4 ~ 暗赤灰色7.5YR3/1	堅	ハナ, ココナ	ハナ, ココナ	3/8		Ⅱ区	SD10-38
52		204 SD107	弥生土器 壺	18.2	-	-	長石・石英粗砂多, 角閃石粗砂少, 雲母粗砂多	にぶい褐色5YR6/3	堅	ココナ, ハナ, イナナ	ココナ, ハナ	1/8		Ⅱ区	SD10-40
52		205 SD107	弥生土器 壺	16.0	-	-	長石・石英粗砂多, 角閃石粗砂多	黒褐色7.5YR3/1	堅	ココナ, ハナ	ココナ, ハナ	2/8		Ⅱ区	SD10-34
52		206 SD107	弥生土器 甕	14.6	-	-	長石・石英粗砂多, 角閃石粗砂少, 雲母粗砂多	にぶい赤褐色5YR5/4 ~ 暗赤褐色5YR3/2	堅	指頭圧痕, ハナ	ハナ, ココナ, ココナ	5/8		Ⅱ区	SD10-14
53		207 SD107	弥生土器 壺	23.9	-	-	長石・石英 礫多, 角閃石粗砂少	にぶい赤褐色2.5YR5/4	堅	ナナ	ハナ	6/8	円形浮文2コ ずつ7所	Ⅱ区	SD10-35
53		208 SD107	弥生土器 壺	-	-	6.9	長石・石英 礫多, 角閃石粗砂多, 雲母粗砂多	明赤褐色2.5YR5/6 ~ 暗赤灰色2.5YR3/1	堅	ナナ	ハナ, ナナ	4/8		Ⅱ区	SD10-127
53		209 SD107	弥生土器 ミナト土器	8.2	-	-	長石・石英粗砂含む, 角閃石粗砂多, 雲母粗砂多	にぶい赤褐色5YR5/4	堅	ナナ	ココナ, ナナ	1/8		Ⅱ区	SD10-66
53		210 SD107	弥生土器 壺	-	-	-	長石・石英粗砂含む, 角閃石粗砂多, 雲母粗砂含む	にぶい褐色7.5YR5/4 ~ 褐色10YR4/1	堅	指頭圧痕, ハナ	ハナ, ハナ, ナナ	1/8		Ⅱ区	SD10-70
53		211 SD107	弥生土器 甕	-	-	6.8	長石・石英粗砂多, 角閃石粗砂少, 雲母粗砂多	赤褐色2.5YR4/6	堅	指頭圧痕, ハナ	指頭圧痕, ハナ	8/8	穿孔1所	Ⅱ区	SD10-95
54	72	212 SD107	弥生土器 甕	15.8	29.8	4.7	長石・石英粗砂含む, 角閃石粗砂多	明赤褐色2.5YR5/6 ~ 暗赤灰色10R3/1	堅	指頭圧痕, ココナ, ハナ, ナナ	ココナ, ハナ, ココナ (上部)	6/8		Ⅱ区	SD10-113

土器観察表 (14)

挿図番号	遺構名	遺物内容	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	内面調整	外面調整	残存率	備考	地区	調査遺構
54	73 213SD107	弥生土器 甕	甕	15.8	25.5	5.1	長石・石英 粗砂多, 角閃石 なし, 雲母 細砂含む	褐色5YR7/6~黒 褐色7.5YR2/2	堅	指頭圧痕, コ ナリ, ナリ, イナ リ, ナリ	ヨコナリ, ナリ	3/8	底部穿孔	II区	SD10-18
54	73 214SD107	弥生土器 甕	甕	15.6	26.0	4.4	長石・石英 粗砂多, 角閃石 なし, 雲母 粗砂多	明赤褐色2.5YR 5/6~暗赤灰色 2.5YR3/1	堅	ヨコナリ, ナリ, ナ リ, ナリ	ヨコナリ, ナリ, ナ リ	8/8		II区	SD10-75
54	73 215SD107	弥生土器 甕	甕	15.3	23.8	5.0	長石・石英 粗砂含む, 角閃 石 なし, 雲母 粗砂多	明赤褐色5YR5/6 ~極暗赤褐色 2.5YR2/2	堅	指頭圧痕, コ ナリ, ナリ	ヨコナリ, ナリ	6/8	底部被熱	II区	SD10-111
54	73 216SD107	弥生土器 甕	甕	13.7	20.6	4.2	長石・石英 礫多, 角閃石 粗砂含む, 雲母 粗砂多	赤褐色5YR4/6	堅	ヨコナリ, 指頭 圧痕, ナリ	ヨコナリ, ナリ	8/8	底部被熱	II区	SD10-99
54	73 217SD107	弥生土器 甕	甕	12.8	17.7	3.5	長石・石英 礫多, 角閃石 なし, 雲母 粗砂多	褐色7.5YR4/4	堅	ナリ, ナリ, ナリ	ナリ	7/8		II区	SD10-109
54	218SD107	弥生土器 甕	甕	14.4	23.2	3.9	長石・石英 礫多, 角閃石 なし, 雲母 粗砂少	明赤褐色 2.5YR5/8	堅	ヨコナリ, ナリ	ヨコナリ, ナリ	4/8		II区	SD10-17
54	219SD107	弥生土器 甕	甕	12.5	-	-	長石・石英 粗砂含む, 角閃 石 なし, 雲母 粗砂多	にぶい褐色 7.5YR5/3	堅	ナリ, ナリ, ナリ	ナリ	4/8		II区	SD10-24
55	73 220SD107	弥生土器 甕	甕	13.6	21.4	4.2	長石・石英 粗砂多, 角閃石 なし, 雲母 粗砂多	褐色7.5YR4/3	堅	ヨコナリ, ナリ, ナ リ, ナリ	ヨコナリ, ナリ	7/8	底部被熱	II区	SD10-16
55	221SD107	弥生土器 甕	甕	11.4	-	-	長石・石英 少, 角閃石 粗 砂多, 雲母 粗砂多	赤褐色5YR4/6~ 黒褐色7.5YR3/2	堅	ヨコナリ, ナリ, イ ナリ	ヨコナリ, ナリ	8/8		II区	SD10-129
55	74 222SD107	弥生土器 甕	甕	13.8	-	-	長石・石英 粗砂多, 角閃石 なし, 雲母 粗砂多	にぶい黄褐色 10YR5/3	堅	ヨコナリ, ナリ, ナ リ	ヨコナリ, ナリ	7/8		II区	SD10-116
55	223SD107	弥生土器 甕	甕	17.4	-	-	長石・石英 粗砂多, 角閃石 なし, 雲母 粗砂多	にぶい褐色5YR 7/4~にぶい赤褐 色5YR4/3	堅	ナリ, ナリ	ナリ	1/8	体部上半と下 半は別胎土と 考えられる	II区	SD10-10
55	74 224SD107	弥生土器 甕	甕	13.0	19.6	-	長石・石英 礫多, 角閃石 粗砂含む, 雲母 粗砂多	褐色5YR6/6	堅	ヨコナリ, ナリ, ナ リ, ナリ	ヨコナリ, ナリ	6/8		II区	SD10-100
55	225SD107	弥生土器 甕	甕	15.2	-	-	長石・石英 粗砂含む, 角閃 石 なし, 雲母 粗砂多	赤褐色5YR4/8~ 黒褐色5YR2/1	堅	ヨコナリ, ナリ, ナ リ, ナリ	ヨコナリ, ナリ	6/8		II区	SD10-27
55	226SD107	弥生土器 甕	甕	14.2	-	-	長石・石英 礫多, 角閃石 なし, 雲母 粗砂多	にぶい褐色 7.5YR5/3	堅	ヨコナリ, ナリ, ナ リ, ナリ	ヨコナリ, ナリ	6/8		II区	SD10-90
55	227SD107	弥生土器 甕	甕	12.4	-	-	長石・石英 礫多, 角閃石 粗砂含む, 雲母 粗砂多	赤褐色2.5YR4/6	堅	指頭圧痕, ナリ ナリ	ヨコナリ, ナリ	3/8		II区	SD10-2
56	228SD107	弥生土器 甕	甕	19.0	-	-	長石・石英 粗砂多, 角閃石 粗砂含む, 雲母 粗砂多	明赤褐色 2.5YR5/8	堅	指頭圧痕, コ ナリ, ナリ	ヨコナリ, ナリ	4/8		II区	SD10-15

土器観察表 (15)

挿図版番号	遺構名	遺物内容	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	内面調整	外面調整	残存率	備考	地区	調査遺構
56	229SD107	弥生土器 甕	甕	15.0	-	-	長石・石英 粗砂多, 角閃石 なし, 雲母 粗砂多	橙色5YR6/6~灰 褐色5YR4/2	堅	指頭圧痕	ハナ	4/8		II区	SD10-23
56	230SD107	弥生土器 甕	甕	16.9	-	-	長石・石英 礫多, 角閃石 粗砂少 雲母 粗砂多	明赤褐色5YR5/6	堅	ハナズリ, 指頭 圧痕, ハナ	ハナズリ, ハナ	2/8		II区	SD10-21
56	231SD107	弥生土器 甕	甕	15.0	-	-	長石・石英 粗砂多, 角閃石 細砂含む, 雲母 粗砂多	にぶい褐色 7.5YR5/4	堅	ヨコジ, ハナズリ リ	ヨコジ, ハナ	6/8		II区	SD10-1
56	232SD107	弥生土器 甕	甕	15.0	-	-	長石・石英 粗砂多, 角閃石 なし, 雲母 粗砂多	にぶい橙色 5YR6/4	堅	指頭圧痕, ハ ナ, ハナズリ, ヨ コジ	ハナ, ヨコジ	8/8		II区	SD10 19
56	233SD107	弥生土器 甕	甕	14.7	-	-	長石・石英 粗砂多, 角閃石 なし, 雲母 粗砂多	にぶい褐色7.5 YR5/4~赤褐色 2.5YR4/8	堅	ハナズリ, ハナ ズリ	ハナズリ, ハナ	6/8		II区	SD10-26
56	234SD107	弥生土器 甕	甕	14.5	-	-	長石・石英 粗砂含む, 角閃 石 細砂多, 雲母 細砂多	赤褐色5YR4/8	堅	ヨコジ, イナジ	ヨコジ, ハナ	2/8		II区	SD10-4
56	235SD107	弥生土器 甕	甕	15.3	-	-	長石・石英 粗砂多, 角閃石 なし, 雲母 なし	赤色10R5/6	軟	ナナ	ヨコジ, ハナ	2/8		II区	SD10-8
56	236SD107	弥生土器 甕	甕	15.9	-	-	長石・石英 粗砂含む, 角閃 石 粗砂少, 雲母 粗砂多	赤褐色5YR4/6	堅	ハナズリ	ハナ, ハナ	5/8		II区	SD10-29
56	237SD107	弥生土器 甕	甕	13.8	-	-	長石・石英 粗砂多, 角閃石 なし, 雲母 粗砂多	にぶい褐色7.5 YR6/4~黒褐色 5YR2/2	堅	ハナ, ハナズリ	ヨコジ, ハナ, ハ ナ	4/8		II区	SD10-28
57	238SD107	弥生土器 甕	甕	15.5	-	-	長石・石英 粗砂多, 角閃石 なし, 雲母 粗砂多	暗赤褐色5YR3/2 ~にぶい黄褐色 10YR5/3	堅	ハナズリ	ハナ, ヨコジ	4/8		II区	SD10 13
57	239SD107	弥生土器 甕	甕	11.4	9.6	3.0	長石・石英 礫含む, 角閃石 なし, 雲母 粗砂多	浅黄褐色 7.5YR8/3	堅	ハナ, ハナズリ	ハナ	3/8		II区	SD10-20
57	74 240SD107	弥生土器 甕	甕	12.8	18.3	3.0	長石・石英 粗砂少, 角閃石 なし, 雲母 細砂多	浅黄褐色7.5YR8/4 ~褐色5YR4/1	堅	ハナ, ハナズリ	ヨコジ, ハナ	6/8		II区	SD10-118
57	74 241SD107	弥生土器 甕	甕	12.7	16.9	4.5	長石・石英 礫含む, 角閃石 なし, 雲母 細砂多	極暗赤褐色7.5Y R2/3~にぶい黄 褐色10YR6/3	堅	ハナ, ヨコジ	ハナ, ヨコジ, ハ ナズリ	4/7/8		II区	SD10-89
57	74 242SD107	弥生土器 甕	甕	12.7	15.0	3.8	長石・石英 なし, 角閃石 礫多	浅黄褐色 10YR8/3	堅	指頭圧痕, ヨ コジ, ハナ, ヨコ ジ, イナジ	ヨコジ, ハナ, イ ナ	1/8/8		II区	SD10-122
57	243SD107	弥生土器 甕	甕	12.9	-	-	長石・石英 粗砂多, 角閃石 なし, 雲母 粗砂多	にぶい赤褐色 5YR4/4	堅	ヨコジ, ハナ, ハ ナズリ	ハナ	6/8		II区	SD10-25

土器観察表 (16)

挿図版	番号	遺構名	遺物内容	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	内面調整	外面調整	残存率	備考	地区	調査遺構
57	244	SD107	弥生土器	甕	11.7	13.9	-	長石・石英粗砂含む、角閃石なし、雲母粗砂少	灰白色5YR8/2	堅	指頭圧痕、ヘアースリ	ヘアースリ	6/8		II区	SD10-22
57	74	245	SD107	弥生土器	甕	11.3	14.4	3.3長石・石英なし、角閃石なし、雲母なし	灰白色7.5YR8/2	堅	ヘアースリ	ヘアースリ	6/8		II区	SD10-125
57	246	SD107	弥生土器	甕	9.9	-	-	長石・石英粗砂多、角閃石粗砂含む、雲母粗砂多	にぶい褐色7.5YR5/4	堅	ヘアースリ	ヘアースリ	1/8		II区	SD10-3
57	247	SD107	弥生土器	甕	12.6	-	-	長石・石英粗砂多、角閃石粗砂含む、雲母粗砂多	暗褐色7.5YR3/4 ～黒褐色7.5YR3/2	堅	ヘアースリ	ヘアースリ	2/8		II区	SD10-6
57	248	SD107	弥生土器	甕	10.6	-	-	長石・石英粗砂多、角閃石なし、雲母粗砂多	明赤褐色5YR5/6	堅	ヘアースリ、ヘアースリ	ヘアースリ	4/8		II区	SD10-5
57	249	SD107	弥生土器	甕	12.0	-	-	長石・石英粗砂多、角閃石粗砂少、雲母粗砂多	明赤褐色5YR5/6	堅	ヨコナギ、ヘアースリ	ナギ、ヘアースリ	2/8		II区	SD10-7
57	75	250	SD107	弥生土器	甕	-	4.0	長石・石英粗砂多、角閃石粗砂多	明赤褐色2.5YR5/6～にぶい褐色7.5YR5/4	堅	指頭圧痕、ヨコナギ、イナギ	ヨコナギ、ヘアースリ	8/8		II区	SD10-85
57	75	251	SD107	弥生土器	甕	10.2	12.2	3.4長石・石英粗砂含む、角閃石粗砂少、雲母粗砂多	暗赤褐色2.5YR3/4	堅	ヘアースリ	ヘアースリ	8/8		II区	SD10-87
57	75	252	SD107	弥生土器	甕	8.3	8.4	2.7長石・石英粗砂少、角閃石粗砂少、雲母粗砂多	にぶい褐色7.5YR7/3～にぶい褐色5YR6/4	堅	指頭圧痕、ヘアースリ	ヘアースリ、ヨコナギ、ヨコナギ、イナギ、ヘアースリ	7/8		II区	SD10-79
58	253	SD107	弥生土器	甕	15.6	-	-	長石・石英粗砂少、角閃石粗砂多	暗赤褐色2.5YR3/3	堅	指頭圧痕、ヨコナギ、ヘアースリ	ヘアースリ、ヨコナギ	4/8		II区	SD10-92
58	254	SD107	弥生土器	甕	16.8	-	-	長石・石英粗砂多、角閃石粗砂多	赤褐色5YR4/6	堅	ヘアースリ	ヘアースリ	8/8		II区	SD10-12
58	75	255	SD107	弥生土器	甕	14.9	24.4	4.8長石・石英粗砂多、角閃石粗砂多	にぶい赤褐色5YR5/4	堅	ヘアースリ、ヨコナギ、ヨコナギ、イナギ、指頭圧痕、ヘアースリ	ヘアースリ	7/8	焼成後穿孔1ヶ所	II区	SD10-102
58	75	256	SD107	弥生土器	甕	14.7	22.0	4.1長石・石英粗砂多、角閃石粗砂多	にぶい褐色7.5YR6/3	堅	ヘアースリ	ヘアースリ、ヨコナギ	7/8		II区	SD10-128
58	257	SD107	弥生土器	甕	14.0	-	-	長石・石英粗砂含む、角閃石粗砂多、雲母粗砂多	明赤褐色5YR5/6 ～暗赤褐色5YR3/2	堅	指頭圧痕、ヘアースリ	ヘアースリ、ヨコナギ	6/8		II区	SD10-97
58	75	258	SD107	弥生土器	甕	12.5	21.4	4.4長石・石英粗砂多、角閃石粗砂多	暗赤褐色5YR3/2	堅	指頭圧痕、ヘアースリ	ヘアースリ	7/8		II区	SD10-123

土器観察表 (17)

挿図 番号	図版 番号	遺構名	遺物内容	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	内面調整	外面調整	残存率	備考	地区	調査遺構
58	76	259SD107	弥生土器 甕	甕	13.1	21.7	4.1	長石・石英 粗砂多,角閃石 なし,雲母 粗砂多	にぶい赤褐色 5YR5/3	堅	指頭圧痕,ハク スリ,ハクスリ	指頭圧痕,ハク スリ,ハクスリ	7/8		II区	SD10-91
59	260SD107	弥生土器 甕	弥生土器 甕	甕	14.8	-	-	長石・石英 粗砂含む,角閃 石なし,雲母 粗砂多	褐色7.5YR4/4	堅	指頭圧痕,ホ ク,ハクスリ,ハ クスリ,ヨコナ リ	指頭圧痕,ホ ク,ハクスリ,ハ クスリ,ヨコナ リ	7/8		II区	SD10-94
59	76	261SD107	弥生土器 甕	甕	14.3	24.4	4.4	長石・石英 なし,角閃石 なし,雲母 なし,その他 礫多	にぶい赤褐色 2.5YR4/3	軟	指頭圧痕,ヨ コナリ,イナ リ	指頭圧痕,ヨ コナリ,イナ リ	8/8		II区	SD10-126
59	76	262SD107	弥生土器 甕	甕	11.6	16.8	5.0	長石・石英 粗砂含む,角閃 石なし,雲母 粗砂多	にぶい褐色7.5Y R6/4~暗赤褐色 2.5YR3/2	堅	指頭圧痕,ハ クスリ,ハクス リ	指頭圧痕,ハ クスリ,ハクス リ	8/8		II区	SD10-120
59	263SD107	弥生土器 甕	弥生土器 甕	甕	10.7	-	-	長石・石英 粗砂含む,角閃 石なし,雲母 粗砂多	にぶい赤褐色 5YR5/4	堅	ハクスリ,ハ クスリ	ハクスリ,ハ クスリ	3/8		II区	SD10-9
59	76	264SD107	弥生土器 甕	甕	13.2	27.0	4.5	長石・石英 粗砂少,角閃石 粗砂多,雲母 粗砂多	明赤褐色5YR5/6 極暗赤褐色5YR 2/3	堅	指頭圧痕,ヨ コナリ,ハクス リ	指頭圧痕,ヨ コナリ,ハクス リ,ハクスリ	8/8		II区	SD10-76
59	265SD107	弥生土器 甕	弥生土器 甕	甕	14.1	-	5.0	長石・石英 礫含む,角閃石 粗砂含む,雲母 粗砂多	暗赤褐色 2.5YR3/3	堅	指頭圧痕,ハ クスリ,ヨコナ リ	指頭圧痕,ハ クスリ,ヨコナ リ	2/8		II区	SD10-30
59	266SD107	弥生土器 鉢	弥生土器 鉢	鉢	18.8	-	-	長石・石英 粗砂含む,角閃 石粗砂多,雲母 なし	にぶい褐色 5YR7/4	堅	指頭圧痕,ハ クスリ,ハクス リ	指頭圧痕,ハ クスリ,ハクス リ,ハクスリ	1/8		II区	SD10-11
60	267SD107	弥生土器 鉢	弥生土器 鉢	鉢	15.0	5.8	3.5	長石・石英 粗砂含む,角閃 石粗砂少,雲母 なし	淡褐色5YR8/3	堅	マツ	指頭圧痕,マ ツ	2/8		II区	SD10-56
60	76	268SD107	弥生土器 鉢	鉢	12.0	5.4	2.9	長石・石英 粗砂多,角閃石 なし,雲母 粗砂含む	灰白色5YR8/2~ にぶい黄褐色10 YR7/2	堅	エビナリ,ヨ コナリ	エビナリ,ヨ コナリ	8/8		II区	SD10-86
60	76	269SD107	弥生土器 鉢	鉢	10.2	4.9	3.3	長石・石英 粗砂多,角閃石 なし,雲母 なし	褐色2.5YR7/6~ にぶい黄褐色10 YR7/3	堅	イナリ	イナリ	8/8		II区	SD10-80
60	77	270SD107	弥生土器 鉢	鉢	10.7	4.1	3.4	長石・石英 粗砂多,角閃石 粗砂少,雲母 粗砂多	赤褐色2.5YR4/6	堅	マツ	マツ	1/8		II区	SD10-42
60	77	271SD107	弥生土器 鉢	鉢	14.5	6.3	4.2	長石・石英 粗砂含む,角閃 石粗砂含む,雲母 粗砂多	にぶい褐色 7.5YR5/3	堅	ハクスリ	ハクスリ	4/8		II区	SD10-115
60	77	272SD107	弥生土器 鉢	鉢	16.6	7.4	5.0	長石・石英 礫少,角閃石 粗砂少,雲母 粗砂多	暗赤褐色 2.5YR3/4	堅	エビナリ,ヨ コナリ,ハクス リ	エビナリ,ヨ コナリ,ハクス リ	7/8		II区	SD10-110
60	273SD107	弥生土器 鉢	弥生土器 鉢	鉢	14.7	7.6	4.6	長石・石英 粗砂多,角閃石 なし,雲母 粗砂多	にぶい赤褐色 5YR4/3	堅	不明	不明	6/8		II区	SD10-46

土器観察表 (18)

挿図	図版	番号	遺構名	遺物内容	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	内面調整	外面調整	残存率	備考	地区	調査遺構
60		274	SD107	弥生土器 鉢	鉢	15.0	6.3	4.3	長石・石英 礫多, 角閃石 粗砂多	明赤褐色5YR5/6	堅	ツツ	ツツ	2/8		II区	SD10-47
60		275	SD107	弥生土器 鉢	鉢	15.8	-	-	長石・石英 粗砂含む, 角閃石 粗砂多	にぶい褐色 7.5YR5/4	堅	ツツ	ツツ	2/8		II区	SD10-54
60		276	SD107	弥生土器 鉢	鉢	18.0	7.5	3.8	長石・石英 粗砂多, 角閃石 粗砂多	にぶい赤褐色 2.5YR5/4 ~ 黄褐色 2.5Y5/3	堅	ツツ, イツツ	指頭圧痕, ツツ	4/8		II区	SD10-107
60		277	SD107	弥生土器 鉢	鉢	16.9	8.0	3.2	長石・石英 礫含む, 角閃石 粗砂多	にぶい橙色 7.5YR6/4	堅	ツツ, イツツ	指頭圧痕, ツツ	3/8		II区	SD10-48
60	77	278	SD107	弥生土器 鉢	鉢	18.5	-	-	長石・石英 礫多, 角閃石 粗砂多	明赤褐色 2.5YR5/6	堅	ツツ	ツツ	6/8		II区	SD10-43
60		279	SD107	弥生土器 鉢	鉢	18.4	9.8	-	長石・石英 粗砂多, 角閃石 粗砂多	にぶい黄色 2.5Y 6/3 ~ にぶい橙色 7.5YR6/4	堅	ツツ	ツツ	4/8		II区	SD10-114
60	77	280	SD107	弥生土器 鉢	鉢	23.1	9.5	4.3	長石・石英 粗砂多, 角閃石 粗砂多	にぶい褐色 7.5YR5/4	堅	ツツ	ツツ, 棒状	5/8		II区	SD10-44
60		281	SD107	弥生土器 鉢	鉢	19.7	-	-	長石・石英 粗砂含む, 角閃石 粗砂多	にぶい褐色 7.5YR6/3	堅	ツツ, イツツ	具によるツツ	2/8		II区	SD10-55
60		282	SD107	弥生土器 鉢	鉢	21.6	12.7	5.6	長石・石英 粗砂多, 角閃石 粗砂多	橙色5YR6/6 ~ にぶい褐色 7.5YR 6/4	堅	ツツ	ツツ	2/8		II区	SD10-45
60		283	SD107	弥生土器 鉢	鉢	21.8	-	-	長石・石英 粗砂含む, 角閃石 粗砂多	にぶい黄褐色 10YR6/4	堅	ツツ, イツツ	ツツ, ツツ	2/8	穿孔1カ所	II区	SD10-49
61	77	284	SD107	弥生土器 鉢	鉢	15.7	11.2	4.1	長石・石英 粗砂多, 角閃石 粗砂多	赤褐色5YR4/6	堅	ツツ	ツツ	7/8		II区	SD10-117
61	77	285	SD107	弥生土器 鉢	鉢	19.4	8.3	-	長石・石英 粗砂多, 角閃石 粗砂多	にぶい褐色5YR6/4 ~ 黒褐色5YR2/2	堅	ツツ, イツツ	ツツ, ツツ	6/8		II区	SD10-119
61		286	SD107	弥生土器 鉢	鉢	37.4	-	-	長石・石英 粗砂多, 角閃石 粗砂多	にぶい褐色7.5Y R5/3 ~ 赤褐色2.5 YR4/6	堅	ツツ, イツツ	ツツ, ツツ	2/8		II区	SD10-52
61		287	SD107	弥生土器 鉢	鉢	35.4	-	-	長石・石英 粗砂多, 角閃石 粗砂多	にぶい褐色7.5Y R5/4 ~ 灰褐色7.5 YR4/2	堅	ツツ, イツツ	ツツ, ツツ	2/8		II区	SD10-53
61		288	SD107	弥生土器 甌	甌	19.0	-	-	長石・石英 粗砂少, 角閃石 粗砂多	にぶい赤褐色 5YR5/4	堅	ツツ	ツツ	8/4		II区	SD10-51
61		289	SD107	弥生土器 甌	甌	17.0	-	-	長石・石英 粗砂少, 角閃石 粗砂多	褐色7.5YR4/3 ~ 黒褐色10YR3/2	堅	ツツ	ツツ	1/8		II区	SD10-41

土器観察表 (19)

棟図版番号	遺構名	遺物内容	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	内面調整	外面調整	残存率	備考	地区	調査遺構
61	78	290SD107	甌	17.3	18.2	3.1	長石・石英粗砂含む、角閃石なし、雲母粗砂多	暗褐色7.5YR3/3 ～にぶい赤褐色5YR5/4	堅	ナメ、イナナ、ハナカスリ	指頭圧痕、ユビナ、ナメ	7/8	穿孔1ヶ所	II区	SD10-101
61		291SD107	甌	-	-	-	長石・石英粗砂含む、角閃石なし、雲母粗砂多	にぶい橙色7.5YR7/4	堅	ハナカスリ	指頭圧痕、イナナ	8/8		II区	SD10-59
62	78	292SD107	弥生土器 高坏	25.5	14.4	14.9	長石・石英粗砂少、雲母粗砂少	にぶい橙色7.5YR7/4	堅	ヨコナ、シカキ、ハナカスリ	ヨコナ、ハナカスリ	5/8	穿孔脚上部3ヶ所下部3ヶ所	II区	SD10-106
62		293SD107	弥生土器 高坏	22.4	-	-	長石・石英粗砂含む、角閃石粗砂少、雲母なし	にぶい橙色2.5YR6/3	堅	ナメ	ナメ	6/8		II区	SD10-108
62		294SD107	弥生土器 高坏	22.5	-	-	長石・石英粗砂含む、角閃石粗砂小、雲母細砂含む	橙色5YR6/6	堅	ヨコナ、ハナカスリ(斜格子状)	ヨコナ、ハナカスリ	8/8		II区	SD10-77
62		295SD107	弥生土器 高坏	21.3	-	-	長石・石英粗砂含む、角閃石粗砂多、雲母粗砂少	にぶい赤褐色2.5YR4/4	堅	ヨコナ、ハナカスリ	ヨコナ、ハナカスリ	4/8		II区	SD10-58
62		296SD107	弥生土器 高坏(?)	13.8	-	-	長石・石英粗砂多、角閃石なし、雲母粗砂多	極暗赤褐色2.5YR2/3	堅	ナメ	指頭圧痕、ハナカスリ	4/8		II区	SD10-50
62	78	297SD107	弥生土器 高坏	11.9	8.3	14.8	長石・石英粗砂少、角閃石なし、雲母粗砂多	にぶい赤褐色2.5YR4/4	堅	ヨコナ、ナメ、ハナカスリ	ヨコナ、ナメ	6/8	穿孔3ヶ所	II区	SD10-74
62	78	298SD107	弥生土器 高坏	10.7	8.9	14.8	長石・石英粗砂多、角閃石粗砂含む、雲母粗砂少	赤色10R5/6	堅	ナメ	ナメ	5/8	穿孔4ヶ所	II区	SD10-96
62		299SD107	弥生土器 高坏	-	-	14.8	長石・石英粗砂含む、角閃石なし、雲母粗砂多	明赤褐色5YR5/6	堅	ヨコナ、ナメ、ハナカスリ	ヨコナ、ナメ、ハナカスリ	7/8	穿孔は貫通しているもの3ヶ所、穿孔後粘土を詰めて穴をふさいだもの3ヶ所	II区	SD10-57
62	78	300SD107	弥生土器 支脚	7.6	17.2	11.5	長石・石英粗砂含む、角閃石なし、雲母粗砂多	にぶい橙色2.5YR6/4	堅	ナメ、ヒナナ	指頭圧痕、ナメ	8/8	刻み目	II区	SD10-60
62	78	301SD107	弥生土器 支脚	9.4	17.8	12.6	長石・石英粗砂多、角閃石なし、雲母粗砂多	にぶい橙色5YR5/3	堅	ナメ	指頭圧痕、ユビナ、ナメ	7/8	刻み目	II区	SD10-82
62		302SD107	弥生土器 支脚	6.9	16.5	11.7	長石・石英粗砂含む、角閃石なし、雲母粗砂含む	にぶい橙色5YR6/4～暗赤褐色2.5YR3/3	堅	ナメ	指頭圧痕、ナメ	7/8	刻み目	II区	SD10-61

土器観察表 (20)

種	図版	番号	遺構名	遺物内容	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	内面調整	外面調整	残存率	備考	地区	調査遺構
62	78	303	SD107	弥生土器 支脚	支脚	7.6	13.6	9.9	長石・石英粗砂多, 角閃石粗砂多, 雲母粗砂多	にぶい赤褐色 5YR4/4	堅	指頭圧痕, ハナ	ハナ	7/8		Ⅱ区	SD10-65
62	79	304	SD107	弥生土器 支脚	支脚	9.3	14.2	11.6	長石・石英粗砂多, 角閃石粗砂多, 雲母粗砂多	暗赤褐色2.5YR 3/3~暗赤色7.5 YR3/6	堅	ハナ	ハナ, コナ	7/8		Ⅱ区	SD10-83
62	79	305	SD107	弥生土器 支脚	支脚	8.7	12.7	12.0	長石・石英粗砂少, 角閃石粗砂多, 雲母粗砂多	にぶい赤褐色 5YR5/4	堅	ハナ	ハナ	8/8		Ⅱ区	SD10-81
62	79	306	SD107	弥生土器 支脚	支脚	7.4	13.2	9.8	長石・石英粗砂多, 角閃石粗砂多, 雲母粗砂多	暗赤褐色 2.5YR3/2	堅	ハナ	ハナ	6/8		Ⅱ区	SD10-84
62	79	307	SD107	弥生土器 支脚	支脚	7.0	13.4	10.9	長石・石英粗砂多, 角閃石粗砂多, 雲母粗砂多	明赤褐色5YR5/6	堅	北ナ	指頭圧痕, コ ナ, コナ ナ, ナナ, ナ	コ 6/8		Ⅱ区	SD10-124
63	79	308	SD107	弥生土器 支脚	支脚	7.7	13.3	10.7	長石・石英粗砂多, 角閃石粗砂多, 雲母粗砂多	灰褐色7.5YR6/2	堅	北ナ	ハナ	ハナ 8/8		Ⅱ区	SD10-78
63	79	309	SD107	弥生土器 支脚	支脚	6.0	12.0	9.2	長石・石英粗砂多, 角閃石粗砂少, 雲母粗砂多	にぶい黄褐色 10YR5/3	堅		指頭圧痕, ナ	ナ 5/8		Ⅱ区	SD10-88
63	79	310	SD107	弥生土器 支脚	支脚	-	9.3	10.8	長石・石英粗砂多, 角閃石粗砂多, 雲母粗砂多	褐色7.5YR4/4	堅	ハナ	ナ	7/8		Ⅱ区	SD10-73
63	79	311	SD107	弥生土器 支脚	支脚	-	7.5	8.4	長石・石英粗砂多, 角閃石粗砂多, 雲母粗砂多	にぶい黄褐色 10YR5/4	堅	ハナ	ハナ	6/8		Ⅱ区	SD10-63
63	79	312	SD107	弥生土器 支脚	支脚	5.4	5.2	8.4	長石・石英粗砂多, 角閃石粗砂多, 雲母粗砂多	灰赤色2.5YR4/2	堅	指頭圧痕, ナ	指頭圧痕	7/8		Ⅱ区	SD10-62
63	79	313	SD107	弥生土器 支脚	支脚	5.2	5.2	9.0	長石・石英粗砂多, 角閃石粗砂少, 雲母粗砂多	にぶい黄褐色 10YR4/3	堅	ハナ	ナ	7/8		Ⅱ区	SD10-64
63	79	314	SD107	弥生土器 支脚	支脚	5.5	5.8	5.7	長石・石英粗砂多, 角閃石粗砂多, 雲母粗砂多	にぶい黄褐色 10YR5/4	堅	北ナ	北ナ, 指頭 圧痕	北ナ 8/8		Ⅱ区	SD10-112
63	79	315	SD107	弥生土器 製塩土器	製塩土器	-	-	3.3	長石・石英粗砂多, 角閃石粗砂多, 雲母粗砂多	にぶい黄褐色 10YR5/4	堅	ナ	ナ	7/8		Ⅱ区	SD10-68
63	80	316	SD107	弥生土器 船形土製 品	船形土製 品	-	-	-	長石・石英粗砂少, 角閃石粗砂少, 雲母粗砂多	黄褐色7.5YR7/8	堅	ハナ	ハナ	6/8		Ⅱ区	SD10-69
63	80	317	SD107	弥生土器 船形土製 品	船形土製 品	-	-	-	長石・石英粗砂多, 角閃石粗砂多, 雲母粗砂多	淡黄褐色 10YR8/3	堅	ハナ	ハナ	5/8		Ⅱ区	SD10-67
64	320	SD150		弥生土器 甕	甕	11.5	-	-	長石・石英粗砂少, 角閃石粗砂多, 雲母粗砂多	にぶい黄褐色 10YR6/3	堅	指頭圧痕, ナ ナ	指頭圧痕, ナ ナ	2/8		Ⅰ区	SD22 流路 A-2
64	321	SD150		弥生土器 甕	甕	14.0	-	-	長石・石英粗砂少, 角閃石粗砂多, 雲母粗砂多	にぶい褐色 7.5YR5/4	堅	ナ	ナ	1/8		Ⅰ区	SD22 流路 A-9

土器観察表 (21)

種	図版	番号	遺構名	遺物内容	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	内面調整	外面調整	残存率	備考	地区	調査遺構
64		322	SD150	弥生土器 鉢	鉢	25.9	-	-	長石・石英粗砂含む、角閃石・細砂少、雲母細砂少	にぶい赤褐色 5YR4/4	堅	ヨコナデ、ハナメ	指頭圧痕	2/8		I区	SD22 流路 A-7
64		323	SD150	弥生土器 鉢	鉢	17.2	-	-	長石・石英礫含む、角閃石・粗砂少、雲母細砂多	にぶい褐色 7.5YR5/4	堅	マツ	ハナメ	1/8		I区	SD22 流路 A-4
64		324	SD150	弥生土器 椀	椀	9.0	2.1	4.2	長石・石英粗砂多、角閃石・細砂少、雲母細砂含む	にぶい赤褐色 5YR5/4	堅	指頭圧痕	指頭圧痕	2/8		I区	SD22 流路 A-3
64	80	325	SD150	弥生土器 椀	椀	10.1	3.2	-	長石・石英粗砂少、角閃石・細砂含む、雲母細砂多	にぶい褐色 7.5YR6/3	堅	指頭圧痕	指頭圧痕	8/8		I区	SD22 流路 A-13
64		326	SD150	弥生土器 支脚	支脚	-	-	-	長石・石英礫含む、角閃石・粗砂含む、雲母細砂多	にぶい橙褐色7.5YR7/3 ～黒褐色7.5YR3/2	堅	マツ	マツ	8/8		I区	SD22 流路 A-12
64		327	SD150	弥生土器 甗	甗	-	-	0.9	長石・石英粗砂含む、角閃石・細砂少、雲母細砂含む	にぶい赤褐色 5YR5/4	堅	ハナメ	ハナメ	8/8		I区	SD22 流路 A-5
64		328	SD150	弥生土器 ミナチュツ器	ミナチュツ器	-	-	1.9	長石・石英粗砂含む、角閃石・石なし、雲母細砂多	灰褐色7.5YR4/2	堅	マツ	マツ	8/8		I区	SD22 流路 A-11
64		329	SD150	弥生土器 製塩土器	製塩土器	-	-	-	長石・石英礫含む、角閃石・粗砂含む、雲母細砂多	にぶい橙褐色 7.5YR6/4	堅	ハナメ	ハナメ	8/8		I区	SD22 流路 A-1
64		330	SD150	弥生土器 製塩土器	製塩土器	-	-	-	長石・石英粗砂含む、角閃石・石細砂少、雲母粗砂含む	灰黄褐色 10YR4/2	堅	マツ	マツ	8/8		I区	SD22 流路 A-10
64		331	SD150	須恵器 須恵器	須恵器	11.8	3.8	-	粗砂を少量含む	灰色N6/0	堅	回転ナデ、仕上げナデ	回転ナデ、仕上げナデ	4/8		I区	SD22 流路 A-6
64		332	SD150	須恵器 須恵器	須恵器	10.9	-	-	砂粒を含まず	青灰色5PB5/1	堅	回転ナデ	回転ナデ	1/8		I区	SD22 流路 A-8
65		80	336	SD158	弥生土器 壺	壺	14.9	-	長石・石英礫含む、角閃石・石なし、雲母粗砂多	黒褐色7.5YR3/1 ～赤褐色5YR5/4	堅	指頭圧痕、ハナメ、ヨコナデ	指頭圧痕、ハナメ、ヨコナデ	7/8	凸帯文あり	I区	SD22流路B 土器集中 A(下層)-1
65		80	337	SD158	弥生土器 壺	壺	17.6	-	長石・石英礫多、角閃石・粗砂含む、雲母細砂含む	にぶい褐色 7.5YR6/3	堅	ヨコナデ、マツ	ヨコナデ、マツ	7/8		I区	SD22流路B 土器集中 A-5
65		338	SD158	弥生土器 壺	壺	14.5	-	-	長石・石英礫多、角閃石・石なし、雲母細砂含む	暗赤褐色 2.5YR3/2	堅	ヨコナデ、マツ	マツ	8/8		I区	SD22流路B 土器集中 A-4
65		339	SD158	弥生土器 壺	壺	21.7	-	-	結晶片岩礫少、長石・石英礫少、角閃石なし、雲母なし	浅黄褐色 7.5YR8/3	軟	マツ	マツ	6/8		I区	SD22流路B 土器集中 A-6
65	80	340	SD158	弥生土器 壺	壺	-	-	3.8	長石・石英粗砂含む、角閃石・石なし、雲母粗砂多	灰褐色7.5YR4/2 ～にぶい赤褐色 5YR5/4	堅	指頭圧痕、ハナメ、ヨコナデ	指頭圧痕、ハナメ、ヨコナデ	8/8	焼成後穿孔	I区	SD22流路B 土器集中 A(下層)-2

土器観察表 (22)

挿図	図版	番号	遺構名	遺物内容	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	内面調整	外面調整	残存率	備考	地区	調査遺構
65	81	341	SD158	弥生土器	甕	16.2	25.0	5.3	長石・石英 礫多, 角閃石 粗砂少, 雲母 粗砂多	黒褐色 10YR2/2 ~にぶい黄褐色 10YR5/3	堅	指頭圧痕, ハナリ メ, コナリ, ハナリ 痕, コナリ, ハナ リ	指頭圧痕, ハナ リ, コナリ, ハナ リ	4/8		I 区	SD22流路B 土器集中 A-2
65	81	342	SD158	弥生土器	甕	16.4	16.9	1.2	長石・石英 礫多, 角閃石 粗砂多, 雲母 粗砂多	にぶい赤褐色 5YR4/3 ~ 暗赤褐 色 5YR3/2	堅	指頭圧痕, ハナ リ, コナリ, ハナ リ	指頭圧痕, ハナ リ, コナリ, ハナ リ	2/8		I 区	SD22流路B 土器集中 A-3
65	81	343	SD158	弥生土器	甕	13.2	16.6	5.6	長石・石英 礫多, 角閃石 粗砂多, 雲母 粗砂多	淡赤褐色 2.5YR7/4	堅	指頭圧痕, ハナ リ, コナリ, ハナ リ	指頭圧痕, ハナ リ, コナリ, ハナ リ	4/8		I 区	SD22流路B 土器集中 A-1
65	81	344	SD158	弥生土器	鉢	18.1	10.1	4.0	長石・石英 礫多, 角閃石 粗砂多, 雲母 粗砂少	にぶい褐色 7.5YR5/4	堅	指頭圧痕, ハナ リ, コナリ, ハナ リ	指頭圧痕, ハナ リ, コナリ, ハナ リ	4/8		I 区	SD22流路B 土器集中 A(下層)-3
65	81	345	SD158	弥生土器	鉢	18.8	9.9	4.2	長石・石英 礫多, 角閃石 粗砂多, 雲母 粗砂多	にぶい褐色 7.5YR5/3	堅	指頭圧痕, ハナ リ, コナリ, ハナ リ	指頭圧痕, ハナ リ, コナリ, ハナ リ	3/8		I 区	SD22流路B 土器集中 A-7
65	81	346	SD158	弥生土器	鉢	14.5	6.0	6.0	長石・石英 礫多, 角閃石 粗砂多, 雲母 粗砂少	にぶい赤褐色 5YR4/4	堅	指頭圧痕, ハナ リ, コナリ, ハナ リ	指頭圧痕, ハナ リ, コナリ, ハナ リ	4/8		I 区	SD22流路B 土器集中 A-10
65	81	347	SD158	弥生土器	鉢	11.0	5.3	2.8	長石・石英 礫少, 雲母 粗砂多	にぶい褐色 7.5YR6/3	堅	指頭圧痕, ハナ リ, コナリ, ハナ リ	指頭圧痕, ハナ リ, コナリ, ハナ リ	3/8		I 区	SD22流路B 土器集中 A(下層)-4
65	82	348	SD158	弥生土器	鉢	8.3	3.8	1.6	長石・石英 粗砂多, 雲母 粗砂多	にぶい赤褐色 5YR4/4	堅	指頭圧痕, ハナ リ, コナリ, ハナ リ	指頭圧痕, ハナ リ, コナリ, ハナ リ	8/8		I 区	SD22流路B 土器集中 A-9
65	82	349	SD158	弥生土器	鉢	9.3	2.8	5.5	長石・石英 礫多, 角閃石 粗砂多, 雲母 粗砂多	褐色 7.5YR4/4	堅	指頭圧痕, ハナ リ, コナリ, ハナ リ	指頭圧痕, ハナ リ, コナリ, ハナ リ	7/8		I 区	SD22流路B 土器集中 A-8
66	82	350	SD158	弥生土器	高坏	24.5	-	-	長石・石英 礫多, 角閃石 粗砂多, 雲母 粗砂多	褐色 7.5YR4/4	堅	指頭圧痕, ハナ リ, コナリ, ハナ リ	指頭圧痕, ハナ リ, コナリ, ハナ リ	6/8		I 区	SD22流路B 土器集中 A-11
66		351	SD158	弥生土器	高坏	25.5	-	-	長石・石英 粗砂多, 雲母 粗砂少	褐色 7.5YR4/4	堅	指頭圧痕, ハナ リ, コナリ, ハナ リ	指頭圧痕, ハナ リ, コナリ, ハナ リ	3/8		I 区	SD22流路B 土器集中 A-12
66		352	SD158	弥生土器	高坏	-	-	15.0	長石・石英 粗砂少, 角閃石 粗砂多, 雲母 粗砂多	褐色 5YR4/6 ~ 褐 灰色 10YR4/1	堅	指頭圧痕, ハナ リ, コナリ, ハナ リ	指頭圧痕, ハナ リ, コナリ, ハナ リ	3/8		I 区	SD22流路B 土器集中 A-13

土器観察表 (23)

種	図版	番号	遺構名	遺物内容	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	内面調整	外面調整	残存率	備考	地区	調査遺構
66	82	353	SD158	弥生土器 高坏	8.6	4.3	2.9	長石・石英 粗砂少, 雲母 粗砂多	角閃石 粗砂少, 雲母 粗砂多	にぶい褐色 7.5YR5/4	堅	ハナメ	指頭圧痕, ココ ナメ	3/8		I区	SD22流路B 土器集中 A-14
66	82	354	SD158	弥生土器 支脚	-	14.9	9.4	長石・石英 粗砂少, 雲母 粗砂多	角閃石 粗砂少, 雲母 粗砂多	暗赤褐色5YR3/3	堅	指頭圧痕	指頭圧痕, ハナ メ	8/8		I区	SD22流路B 土器集中 A-19
66	82	355	SD158	弥生土器 支脚	6.7	13.1	9.4	長石・石英 粗砂含む, 雲母 粗砂多	角閃石 粗砂多	赤褐色5YR4/6	堅	ハナメ		6/8		I区	SD22流路B 土器集中 A-15
66	82	356	SD158	弥生土器 支脚	-	12.3	9.4	長石・石英 粗砂含む, 雲母 粗砂多	角閃石 粗砂多	暗赤褐色 2.5YR3/2	堅	指頭圧痕, ハナ メ	指頭圧痕	7/8		I区	SD22流路B 土器集中 A-17
66	83	357	SD158	弥生土器 支脚	-	7.8	7.5	長石・石英 粗砂多, 雲母 粗砂多	角閃石 粗砂多	赤褐色5YR4/6~ 灰褐色5YR4/2	堅	指頭圧痕	指頭圧痕	8/8		I区	SD22流路B 土器集中 A-18
66	83	358	SD158	弥生土器 支脚	-	6.8	7.2	長石・石英 粗砂多, 雲母 粗砂多	角閃石 粗砂多	灰赤色2.5YR4/2	堅	指頭圧痕	指頭圧痕	8/8		I区	SD22流路B 土器集中 A-16
67	83	359	SD158	弥生土器 壺	18.1	26.6	5.9	長石・石英 粗砂多, 雲母 粗砂多	角閃石 粗砂多	暗赤褐色10R5/2	堅	指頭圧痕, ハナ メ	指頭圧痕, ココ ナメ	8/8		I区	SD22流路B 土器集中 B-6
67	360	SD158	弥生土器 壺	24.3	-	-	長石・石英 粗砂少, 雲母 粗砂多	角閃石 粗砂少	にぶい黄褐色10 YR6/3~暗褐色 7.5YR3/3	堅	シカキ, ハナ メ	シカキ, ハナ メ	8/8		I区	SD22流路B 土器集中 B-7	
67	83	361	SD158	弥生土器 壺	25.2	-	-	長石・石英 粗砂少, 雲母 粗砂多	角閃石 粗砂少	にぶい赤褐色 5YR4/3	堅	ハナメ	ハナメ, ココ ナメ	8/8		I区	SD22流路B 土器集中 B-8
67	83	362	SD158	弥生土器 壺	29.2	-	-	長石・石英 粗砂多, 雲母 粗砂多	角閃石 粗砂多	褐色7.5YR4/4	堅	ハナメ, ナメ	ハナメ, ココ ナメ	8/8		I区	SD22流路B 土器集中 B-9
67	363	SD158	弥生土器 甕	13.8	-	-	長石・石英 粗砂含む, 雲母 粗砂多	角閃石 粗砂多	にぶい赤褐色 5YR5/4	堅	指頭圧痕, ハナ メ, ハナメナリ	指頭圧痕, ハナ メ, ココナメ	7/8		I区	SD22流路B 土器集中 B(下層)-1	
67	83	364	SD158	弥生土器 甕	13.3	20.7	3.9	長石・石英 粗砂少, 雲母 粗砂多	角閃石 粗砂少	褐色5YR4/4~暗 赤褐色5YR3/2	堅	ハナメナリ	ナメ, ハナメ, ココ ナメ	8/8		I区	SD22流路B 土器集中 B-2

土器観察表 (24)

挿図	図版	番号	遺構名	遺物内容	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	内面調整	外面調整	残存率	備考	地区	調査遺構
67	84	365	SD158	弥生土器 甕		15.4	21.6	2.3	長石・石英 礫含む、角閃石 なし、雲母 細砂少	にぶい褐色7.5YR R5/4～黒褐色5YR 2/2	堅	指頭圧痕、エッジ ナシ	エッジナシ	8/8		I区	SD22流路B 土器集中 B-1
67	84	366	SD158	弥生土器 甕		11.0	13.1	-	長石・石英 礫多、角閃石 なし、雲母 細砂含む	褐色5YR4/4	堅	ナシ	ナシ	6/8		I区	SD22流路B 土器集中 B-3
67	67	367	SD158	弥生土器 甕		-	-	-	長石・石英 粗砂含む、角閃 石なし、雲母 細砂含む	褐色5YR4/4～に ぶい黄褐色10YR 5/3	堅	指頭圧痕、エッジ ナシ	エッジナシ	6/8		I区	SD22流路B 土器集中 B-4
67	67	368	SD158	弥生土器 甕		14.7	-	-	長石・石英 粗砂含む、角閃 石粗砂少、雲母 細砂含む	褐色7.5YR4/4	堅	ナシ	エッジナシ	4/8		I区	SD22流路B 土器集中 B-5
67	84	369	SD158	弥生土器 鉢		11.8	7.0	-	長石・石英 礫多、角閃石 なし、雲母 細砂多	褐色7.5YR4/3	堅	エッジナシ	ナシ	6/8		I区	SD22流路B 土器集中 B-12
67	84	370	SD158	弥生土器 鉢		6.7	6.2	-	長石・石英 粗砂含む、角閃 石なし、雲母 粗砂多	灰黄褐色 10YR6/2	堅	エッジナシ	エッジナシ	6/8		I区	SD22流路B 土器集中 B-13
68	84	371	SD158	弥生土器 鉢		18.7	6.9	4.1	長石・石英 礫多、角閃石 なし、雲母 細砂少	暗赤褐色 2.5YR3/2	堅	エッジナシ	エッジナシ	8/8		I区	SD22流路B 土器集中 B-11
68	85	372	SD158	弥生土器 鉢		18.0	-	-	長石・石英 礫含む、角閃石 なし、雲母 細砂少	褐色7.5YR4/3	軟	エッジナシ	指頭圧痕、エッジ ナシ	7/8		I区	SD22流路B 土器集中 B-10
68	85	373	SD158	弥生土器 鉢		15.7	4.2	-	長石・石英 粗砂含む、角閃 石なし、雲母 細砂含む	にぶい赤褐色5Y R4/3～にぶい褐 色7.5YR5/4	堅	エッジナシ	エッジナシ	6/8		I区	SD22流路B 土器集中 B-18
68	67	374	SD158	弥生土器 高坏	高坏	18.9	-	-	長石・石英 礫多、角閃石 なし、雲母 なし	極暗赤褐色 2.5YR2/3	軟	エッジナシ	エッジナシ	2/8		I区	SD22流路B 土器集中 B-14
68	67	375	SD158	弥生土器 高坏	高坏	13.6	-	-	長石・石英 礫含む、角閃石 粗砂含む、雲母 細砂少	にぶい赤褐色 5YR4/4	堅	エッジナシ、横斜 エッジナシ	エッジナシ、横斜 エッジナシ	2/8		I区	SD22流路B 土器集中 B(下層)2
68	85	376	SD158	弥生土器 支脚	支脚	-	14.3	10.0	長石・石英 粗砂含む、角閃石 なし、雲母 細砂多	にぶい黄褐色 10YR5/3	堅	指頭圧痕、エッジ ナシ	エッジナシ	8/8		I区	SD22流路B 土器集中 B-17

土器観察表 (25)

挿図	図版	番号	遺構名	遺物内容	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	内面調整	外面調整	残存率	備考	地区	調査遺構
68	85	377	SD158	弥生土器	支脚	8.0	13.3	11.5	長石・石英 礫少, 角閃石 なし, 雲母 粗砂多	にぶい赤褐色 2.5YR4/3	堅	指頭圧痕, ハナ ナナ	指頭圧痕, ハナ ナ	8/8	刻み目	I区	SD22流路B 土器集中 B-15
68	85	378	SD158	弥生土器	支脚	7.9	12.1	9.5	長石・石英 粗砂少, 角閃石 なし, 雲母 粗砂多	灰褐色7.5YR5/2 ~にぶい橙色 7.5YR7/3	堅	ゴビナナ, ナナ	ナナ	6/8		I区	SD22流路B 土器集中 B(下層)-3
68	85	379	SD158	弥生土器	支脚	6.6	14.4	11.5	長石・石英 粗砂含む, 角閃 石なし, 雲母 細砂多	橙色2.5YR6/6~ にぶい橙色5YR 6/3	堅	ハナナ, ナナ	ハナナ, 指頭圧 痕	7/8	貫通してい ない穴 刻 み目	I区	SD22流路B 土器集中 B 16
68	380	SD158	弥生土器	ミナコ 器	ニナコ 器	-	-	2.2	長石・石英 粗砂含む, 角閃 石なし, 雲母 粗砂含む	灰褐色7.5YR5/2	堅	ゴビナナ	指頭圧痕, コ ビナナ	8/8		I区	SD22流路B 土器集中 B-19
68	381	SD158	弥生土器	弥生土器	底部	-	-	4.5	長石・石英 粗砂多, 角閃石 なし, 雲母 粗砂多	灰黄色2.5Y7/2	堅			4/8	実測図なし -拓本のみ	I区	SD22流路B 土器集中 B(2)
68	382	SD158	弥生土器	弥生土器	壺	-	-	-	長石・石英 粗砂多, 角閃石 なし, 雲母 なし	にぶい黄褐色 10YR7/3	堅	ゴビナナ	ナナ	1/8	実測図なし -拓本のみ	I区	SD22流路B 土器集中 B(2)
69	383	SD158	弥生土器	弥生土器	壺	14.5	-	-	長石・石英 礫多, 角閃石 粗砂多, 雲母 粗砂少	赤褐色10R6/6	軟	イナナ	ナナ	6/8		I区	SD22流路B 土器集中 C(下層)-1
69	85	384	SD158	弥生土器	壺	19.6	-	-	長石・石英 礫多, 角閃石 なし, 雲母 粗砂含む	橙色2.5YR7/8	軟	指頭圧痕, コ コナナ	指頭圧痕, ハナ ナナ	3/8		I区	SD22流路B 土器集中 C-1
70	86	385	SD158	弥生土器	壺	14.4	-	-	長石・石英 粗砂含む, 角閃 石なし, 雲母 なし	にぶい褐色 7.5YR5/4	堅	指頭圧痕, ミ ナナ	指頭圧痕, ミ ナナ, ナナ	8/8	刻み目凸帯 文, 波状文	I区	SD22流路B 土器集中 C-2
70	386	SD158	弥生土器	弥生土器	支脚	9.0	13.7	10.4	長石・石英 礫含む, 角閃石 なし, 雲母 粗砂多	褐色7.5YR4/4	堅	指頭圧痕, ハ ナ	指頭圧痕, ハ ナ	7/8	刻み目 穿 孔2カ所	I区	SD22流路B 土器集中 C-3
70	387	SD158	弥生土器	弥生土器	製塩土器	-	-	3.2	長石・石英 粗砂多, 角閃石 なし, 雲母 なし	にぶい黄褐色 10YR6/4	堅	指頭圧痕, 板 状具による 刺突	指頭圧痕	8/8		I区	SD22流路B 土器集中 C-9
70	388	SD158	弥生土器	弥生土器	製塩土器	-	-	2.1	長石・石英 礫含む, 角閃石 なし, 雲母 粗砂含む	暗赤褐色 2.5YR5/8	軟	指頭圧痕, イ ナ	指頭圧痕	6/8		I区	SD22流路B 土器集中 C-11

土器観察表 (26)

種	図版	番号	遺構名	遺物内容	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	内面調整	外面調整	残存率	備考	地区	調査遺構
70	86	389	SD158	弥生土器	ニッチャ7土器(壺)	6.1	8.0	3.2	長石・石英 礫少, 角閃石 細砂少, 雲母 細砂含む	にぶい橙色 7.5YR7/3	堅	指頭圧痕, ヨコナリ	指頭圧痕, ハナナリ	7/8		I区	SD22流路B 土器集中 C-4
70		390	SD158	弥生土器	ニッチャ7土器(底部)	-	-	2.3	長石・石英 礫含む, 角閃石 なし, 雲母 なし	橙色2.5YR7/8	軟	指頭圧痕	指頭圧痕	5/8		I区	SD22流路B 土器集中 C-10
70	86	391	SD158	弥生土器	ニッチャ7土器(壺)	4.1	4.5	1.9	長石・石英 粗砂含む, 角閃石 なし, 雲母 細砂少	明褐色 7.5YR7/2	堅	指頭圧痕	指頭圧痕	7/8		I区	SD22流路B 土器集中 C-5
70	86	392	SD158	弥生土器	ニッチャ7土器(鉢)	7.4	4.0	3.7	長石・石英 礫少, 角閃石 細砂少, 雲母 粗砂多	にぶい黄褐色 10YR5/3	堅	ヨコナリ, ハナナリ	ナナリ, ハナナリ	6/8		I区	SD22流路B 土器集中 C-6
70	86	393	SD158	弥生土器	ニッチャ7土器(底部)	-	-	4.0	長石・石英 礫多, 角閃石 なし, 雲母 粗砂多	にぶい赤褐色 5YR4/4	堅	指頭圧痕	指頭圧痕	8/8		I区	SD22流路B 土器集中 C-8
70	86	394	SD158	弥生土器	ニッチャ7土器(形土製品)	-	-	-	長石・石英 粗砂少, 角閃石 粗砂少, 雲母 粗砂少	にぶい黄褐色 10YR7/3	堅	指頭圧痕	指頭圧痕	8/8		I区	SD22流路B 土器集中 C-7
71		396	SD158	弥生土器	ニッチャ7土器(甕)	6.6	-	-	長石・石英 粗砂含む, 角閃石 なし, 雲母 細砂多	にぶい褐色 7.5YR5/3	堅	ナナリ, ハナナリ	ナナリ, ハナナリ	3/8	稲もみの圧痕	I区	SD22流路 B-1
71	86	397	SD158	弥生土器	ニッチャ7土器(鉢)	4.8	2.3	2.4	長石・石英 礫含む, 角閃石 なし, 雲母 粗砂少	黄灰色2.5Y5/1	軟	剥落	剥落	8/8		I区	SD22流路 B-2
71	86	398	SD158	弥生土器	底部	-	-	8.4	長石・石英 礫多, 角閃石 なし, 雲母 なし	黒褐色7.5YR2/2 ~明赤褐色2.5YR5/6	堅	不明	ハナナリ	3/8	葉脈の圧痕	I区	SD22流路 B-3
73	86	406	SD160	弥生土器	壺	16.7	-	-	長石・石英 粗砂多, 角閃石 粗砂少, 雲母 粗砂多	にぶい褐色 7.5YR5/4	堅	指頭圧痕, ヨコナリ	ヨコナリ, ハナナリ	3/8		I区	SD22 その 他-2
73	87	407	SD160	弥生土器	壺	-	-	-	長石・石英 粗砂多, 角閃石 なし, 雲母 粗砂多	にぶい橙色 7.5YR6/4	堅	指頭圧痕, ハナナリ	ハナナリ	8/8	穿孔1加所	I区	SD22 その 他-3
73	87	408	SD160	弥生土器	壺	16.5	-	-	長石・石英 礫多, 角閃石 粗砂含む, 雲母 粗砂多	にぶい褐色 7.5YR6/4	堅	指頭圧痕, ヨコナリ	ハナナリ	7/8	刻み目 歯文	I区	SD22 その 他-4
73		409	SD160	弥生土器	甕	17.2	-	-	長石・石英 礫多, 角閃石 なし, 雲母 粗砂多	にぶい赤褐色5YR4/3 ~暗赤褐色5YR3/2	堅	ハナナリ, 指頭圧痕, ヨコナリ	指頭圧痕, ハナナリ	5/8		I区	SD22 その 他-1

土器観察表 (27)

挿図版 番号	遺構名	遺物内容	器種	口径器高	底径	胎土	色調	焼成	内面調整	外面調整	残存率	備考	地区	調査遺構
73	87 410SD160	弥生土器 鉢	鉢	19.6	9.2	長石・石英 礫多, 角閃石 細砂少, 雲母 粗砂多	にぶい赤褐色 5YR4/4	堅	ナシ	ヘアズリ, ナシ	7/8		I 区	SD22 その 他-6
73	87 411SD160	弥生土器 鉢	鉢	34.4	-	長石・石英 礫多, 角閃石 粗砂含む, 雲母 粗砂多	にぶい褐色 7.5YR5/4	堅	指頭圧痕, ナシ ヘアズリ	ヨコナシ, ナシ, ナシ	2/8		I 区	SD22 その 他-5
73	412SD160	弥生土器 高坏	高坏	15.0	-	長石・石英 礫含む, 角閃石 細砂含む, 雲母 細砂多	にぶい褐色7.5Y R5/4, 明赤褐色 5YR5/6	堅	ミガキ (四分 割)	ヨコナシ, ナシ, ナシ ミガキ (四分 割)	8/8		I 区	SD22 その 他-8
73	87 413SD160	弥生土器 高坏	高坏	21.3	14.5	長石・石英 礫含む, 角閃石 粗砂含む, 雲母 粗砂多	にぶい橙色 7.5YR6/4	堅	ヨコナシ, ナシ, ナシ ヘアズリ	ヨコナシ, ナシ, ナシ ヘアズリ	7/8	穿孔4箇所	I 区	SD22 その 他-10
73	87 414SD160	弥生土器 高坏	高坏	23.0	15.4	長石・石英 礫含む, 角閃石 なし, 雲母 粗砂多	にぶい褐色 7.5YR6/3	堅	ヘアズリ	指頭圧痕, ナシ ヘアズリ	5/8	穿孔4箇所	I 区	SD22 その 他-7
73	87 415SD160	弥生土器 高坏	高坏	25.2	-	長石・石英 粗砂多, 角閃石 粗砂含む, 雲母 細砂多	にぶい黄褐色 10YR5/3	堅	ヘアズリ	ヨコナシ, ナシ	8/8	穿孔2箇所	I 区	SD22 その 他-9
74	88 416SD160	弥生土器 ミニチャツ土 器	ミニチャツ土 器	-	-	2.4 長石・石英 粗砂少, 角閃石 なし, 雲母 粗砂多	にぶい褐色5YR 4/4~極暗赤褐色 2.5YR2/2	堅	指頭圧痕	指頭圧痕	3/8		I 区	SD22 その 他-12
74	88 417SD160	弥生土器 器	ミニチャツ土 器	-	-	4.0 長石・石英 粗砂少, 角閃石 細砂少, 雲母 粗砂多	褐色7.5YR4/3~ 赤褐色5YR4/6	堅	指頭圧痕, ナシ	ヘアズリ	3/8		I 区	SD22 その 他-11
74	88 418SD160	弥生土器 紡錘車	紡錘車	3.9	1.2	長石・石英 細砂含む, 角閃 石なし, 雲母 なし	橙色2.5YR7/6	堅	指頭圧痕	指頭圧痕	7/8		I 区	SD22 その 他-13
74	419SD160	弥生土器 支脚	支脚	-	-	長石・石英 礫少, 雲母 細砂多	灰褐色7.5YR4/2	堅	指頭圧痕	指頭圧痕	2/8		I 区	SD22-1
74	88 420SD160	弥生土器 (?)	支脚	-	-	長石・石英 粗砂多, 角閃石 細砂少, 雲母 細砂多	にぶい黄褐色 10YR5/3	堅	指頭圧痕	指頭圧痕	1/8		I 区	SD22-3
74	421SD160	弥生土器 壺	壺	-	-	長石・石英 粗砂含む, 角閃 石なし, 雲母 なし	暗赤褐色5YR3/2 ~にぶい黄褐色 10YR5/3	堅	ヘアズリ	ヘアズリ	1/8	実測図なし -拓本のみ	I 区	SD22-その 他
74	422SD160	須恵器 坏	坏	11.7	-	粗砂を含む	灰白色N7/0	堅	回転ナシ	回転ナシ	1/8		I 区	SD22-2
74	423SD150, 15 8.159	弥生土器 壺	壺	22.5	-	長石・石英 粗砂含む, 角閃 石なし, 雲母 粗砂多	暗赤褐色 2.5YR3/6	堅	ヘアズリ	ヘアズリ	2/8		I 区	SD22 上部 包含層 1
74	424SD150, 15 8.159	弥生土器 壺	壺	16.3	-	長石・石英 礫多, 角閃石 粗砂含む, 雲母 粗砂多	赤褐色5YR4/6	堅	指頭圧痕, ナシ ヘアズリ	ヘアズリ, ナシ	3/8		I 区	SD22 上部 包含層 2
74	88 425SD150, 15 8.159	弥生土器 鉢	鉢	7.5	4.5	2.1 長石・石英 粗砂含む, 角閃 石 粗砂含む, 雲母 粗砂多	にぶい赤褐色 5YR4/4	堅	ヘアズリ	ヨコナシ, ナシ	2/8		I 区	SD22 上部 包含層 3
77	88 442SD216	弥生土器 甕	甕	12.2	-	4.0 長石・石英 礫含む, 角閃石 なし, 雲母 粗砂多	にぶい黄褐色 10YR6/4	堅	指頭圧痕, ナシ ヘアズリ	ヘアズリ, ナシ	8/8	剥落痕	V 区	SD03-3

土器観察表 (28)

挿図 版号	番号	遺構名	遺物内容	器種	口径	高	底径	胎土	色調	焼成	内面調整	外面調整	残存率	備考	地区	調査遺構
77	89	443SD216	弥生土器 甕	甕	15.7	-	-	長石・石英粗砂多,角閃石 なし,雲母粗砂多	淡黄色2.5Y8/3	堅	指頭圧痕,ハ ナ,ハナリ	ヨコナリ,フキ, ハ	1/6,8		V区	SD03-1
77	89	444SD216	弥生土器 甕	甕	9.8	10.9	3.0	長石・石英粗砂含む,角閃 石なし,雲母粗砂多	黒褐色7.5YR3/1 ~暗赤-7 褐色 2.5Y3/3	堅	指頭圧痕,ハ ナ,ハナリ	指頭圧痕,ハ ナ,フキ,ハナ	1/2,8		V区	SD03-2
77	445SD216	弥生土器 甕	甕	甕	8.5	8.9	3.3	長石・石英粗砂多,角閃石 なし,雲母粗砂多	にぶい黄褐色 10YR5/3	堅	板ナリ,指頭 圧痕,ヨコナリ	ハナ,ヨコナリ	7/8		V区	SD03-4
82	446SB33	ERSP2	弥生土器 支脚	支脚	-	-	-	長石・石英粗砂含む,角閃 石なし,雲母粗砂多	褐色7.5YR4/4	堅	ヒナリ	フキ	1/8		I区	SB10-1
84	447SB59	L14SP28	須恵器 環	環	12.8	4.4	6.2	粗砂を多く含む	青灰色5B6/1~ 灰白色N8/0	堅	回転ナリ,仕 上げナリ	回転ナリ,ハ ナリ	1/2,8		V区	SB01①-1
87	449SD133	須恵器 高台付環	須恵器 高台付環	高台付環	-	-	-	砂粒をほとんど含まず	灰白色7.5Y8/1	堅	回転ナリ,仕 上げナリ	回転ナリ	1/8		II区	SD09-2
87	89	450SD133	弥生土器 ミニチュア土器	ミニチュア土器	4.9	5.0	1.4	長石・石英粗砂多,角閃石 なし,雲母粗砂含む	にぶい黄褐色 10YR5/4	堅	指頭圧痕	フキ,ナリ	8/8		II区	SD09-1
89	451SD164	弥生土器 支脚	弥生土器 支脚	支脚	-	-	-	長石・石英粗砂多,角閃石 なし,雲母粗砂多	にぶい黄褐色 10YR5/3	堅	指頭圧痕	指頭圧痕	8/8		I区	SD25-1
90	452SB01	A3SP3	陶器 椀	椀	-	-	-	4.8砂粒を含まず	釉:淡黄色5Y8/3, 胎土:淡黄色2.5Y 8/3	堅	施軸	施軸(高台臺 付け部分を 除いて)	4/8		III区	SB22-1
93	453SB09	B4SP24	須恵器 環(?)	環(?)	12.0	-	-	細砂を含む	灰白色N8/0	堅	回転ナリ	回転ナリ	1/8		III区	SB18-1
93	89	454SB09	須恵器 高台付環	高台付環	12.4	4.5	9.2	砂粒をほとんど含まない	青灰色5B6/1	堅	回転ナリ,仕 上げナリ	回転ナリ,回 転ハナリ,回 転ナリ(底部)	4/8		III区	SB18-2
99	456B4SP13	須恵器 高台付環	須恵器 高台付環	高台付環	-	-	-	細砂を多く含む	灰白色N7/0~灰 白色7.5Y8/1	堅	回転ナリ	回転ナリ	1/8		III区	SP07-1
102	457SB38	H8SP14	須恵器 環(底部)	環(底部)	-	-	-	粗砂をわずかに含む	青灰色5B5/1	堅	回転ナリ,仕 上げナリ	回転ナリ	1/8		I区	SB02-2
102	458SB38	G6SP6	備前焼 播鉢	播鉢	30.0	-	-	粗砂を多く含む	黒色7.5YR2/1	堅	おろし目		1/8		I区	SB02-1
103	89	459SB39	須恵器 環蓋	環蓋	14.6	-	-	粗砂含む	明青灰色 10B67/1	堅	回転ナリ,仕 上げナリ	回転ナリ,回 転ハナリ	4/8		I区	SB08-2
103	460SB39	G8SP13	土師器 環	環	13.2	-	-	粗砂を含む	橙色5YR7/8	軟	フキ	フキ	1/8		I区	SB08-1
106	461SB42	H8SP9	弥生土器 鉢	鉢	11.5	-	-	長石・石英粗砂多,角閃石 なし,雲母なし	にぶい赤褐色 5YR4/4	堅	ヨコナリ	指頭圧痕, ヨコナリ	1/8		I区	SB06-1

土器観察表 (29)

挿図	図版番号	遺構名	遺物内容	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	内面調整	外面調整	残存率	備考	地区	調査遺構
116	89	462SB58 K13SP76	須恵器 坏	坏	13.6	3.3	9.6	細砂を含む	灰白色N8/0	堅	回転行	回転行, 回転 転ヘラツスリ, 回 転行(底部)	2/8	火だすき	V区 ②	SK02②-1
116	90	463SB58 K13SP88	土師器 皿	皿	16.6	1.9	12.8	粗砂をわずかに含む	橙色2.5YR7/6~ 灰白色10YR8/2	堅	回転行	回転行	2/8	朱(赤10R 4/8)	V区 ②	SK02②-2
117	464	K13SP55	須恵器 高台付坏	高台付坏	-	-	9.8	粗砂をわずかに含む	灰白色10Y7/1~ 青灰色5B6/1	堅	回転行, 仕 上げ行	回転行	1/8		V区 ②	SP81-1
117	465	K13SP56	須恵器 坏蓋	坏蓋	19.6	-	-	砂粒をほとんど含まず	青灰色5B5/1	堅	回転行	回転行	1/8		V区 ②	SP90-1
117	466	K13SP71	須恵器 坏	坏	13.6	-	-	細砂を多く含む	灰白色7.5Y8/1	堅	回転行	回転行	1/8		V区 ②	SP105-1
119	467	SK88	須恵器 坏蓋	坏蓋	14.1	-	-	粗砂を含む	青灰色5PB6/1	堅	回転行	回転行	1/8		V区 (F)	SK01-2
119	468	SK88	須恵器 坏蓋	坏蓋	17.9	-	-	粗砂を含む	青灰色5PB6/1	堅	回転行	回転行, 回 転ヘラツスリ?	1/8		V区 (F)	SK01-1
121	90	469SK89	須恵器 高台付坏	高台付坏	15.0	3.9	10.5	細砂を含む	灰白色10Y7/1	堅	回転行, 仕 上げ行	回転行, ヘラ ツスリ, 回転行	2/8		V区 (F)	SK02-5
121	90	470SK89	土師器 皿	皿	16.0	-	13.7	砂粒を含まず	赤色10R4/8	軟	マツ	マツ	2/8	朱	V区 (F)	SK02-1
121	90	471SK89	土師器 皿	皿	16.8	-	12.4	砂粒を含まず	赤色10R4/8	軟	マツ	マツ	2/8	朱	V区 (F)	SK02-4
121	90	472SK89	土師器 皿	皿	16.0	2.6	13.2	砂粒を含まず	赤色10R4/8	軟	回転行	回転行	2/8	朱わずかに 残存	V区 (F)	SK02-3
121	473	SK89	土師器 皿	皿	18.3	-	-	粗砂をわずかに含む	灰白色7.5Y8/2	軟	マツ	マツ	1/8		V区 (F)	SK02-2
124	90	474SK101	須恵器 高台付坏	高台付坏	18.0	4.4	10.9	粗砂を多く含む	暗灰色N3/0~灰 白色2.5Y8/1	軟	回転行	回転行, 回 転ヘラツスリ	2/8		V区 ②	SK01-3
124	90	475SK101	須恵器 高台付坏	高台付坏	13.7	4.3	10.2	粗砂を多く含む	灰白色7.5Y7/1	軟	回転行	回転行	2/8		V区 ②	SK01-2
124	90	476SK101	須恵器 坏蓋	坏蓋	-	-	16.0	粗砂を多く含む	灰白色7.5Y7/1	軟	回転行	回転行	2/8		V区 ②	SK01-4
124	90	477SK101	土師器 皿	皿	16.0	3.9	13.2	粗砂を含む	赤色10R4/8	軟	マツ	マツ(全体的), マツ(部分的)	4/8	朱	V区 ②	SK01-1
126	90	478SD77	須恵器 高台付坏	高台付坏	15.8	4.1	10.5	粗砂及び礫を含む	明青灰色5PB7/1	堅	回転行, 仕 上げ行	回転行	3/8		Ⅲ区 C-8	SD05 流路

土器観察表 (30)

種図	図版	番号	遺物名	遺物内容	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	内面調整	外面調整	残存率	備考	地区	調査遺構
126	91	479	須恵器	高台付坏	16.9	6.8	12.8	粗砂及び礫を含む	胎土	暗灰色R3/0～灰白色N8/0	堅	回転ナデ、仕上げナデ	回転ナデ	6/8	爪形痕(外面)	Ⅲ区	SD05流路 C-6
126	91	480	須恵器	高台付坏	12.5	4.4	8.9	粗砂を含む		灰白色N7/0	堅	回転ナデ、仕上げナデ	回転ナデ、ハナダ	7/8		Ⅲ区	SD05流路 C-7
126	91	481	須恵器	坏	12.2	4.8	10.7	粗砂及び礫を含む		灰白色10Y7/1	堅	回転ナデ、仕上げナデ	回転ナデ、ハナダ	4/8		Ⅲ区	SD05流路 C-5
126	91	482	須恵器	壺	10.2	26.0	10.2	粗砂及び礫を含む		灰白色N8/0	堅	回転ナデ	回転ナデ	5/8	自然釉	Ⅲ区	SD05流路 C-2
126	91	483	須恵器	長頸壺	-	-	9.9	粗砂を含む		灰白色N8/0	堅	回転ナデ	回転ナデ、ナデ	8/8		Ⅲ区	SD05流路 C-4
126	91	484	須恵器	子持長頸壺	-	-	-	礫を含む		黄灰色2.5Y5/1	堅	回転ナデ	回転ナデ	8/8	子壺6ヶ所	Ⅲ区	SD05流路 C-3
126	91	485	須恵器	壺	-	-	10.1	粗砂を含む		灰白色N7/0	堅	回転ナデ、仕上げナデ	回転ナデ、板ナデ	8/8	自然釉	Ⅲ区	SD05流路 C-1
126	91	486	土師器	皿	21.4	2.5	18.1	細砂を含む		灰白色2.5Y8/2	軟	回転ナデ、仕上げナデ	回転ナデ、ハナダ	2/8		Ⅲ区	SD05流路 C-10
126	92	487	土師器	皿	19.7	-	16.0	砂粒を含まず		淡黄色2.5Y8/3	堅	回転ナデ、仕上げナデ	強いナデ、ハナダ	1/8		Ⅲ区	SD05流路 C-9
127	488	SD77	弥生土器	甗	5.1	-	-	長石・石英粗砂多、角閃石なし、雲母粗砂含む		にぶい黄褐色10YR6/4	堅	ナデ	指頭圧痕	6/8		Ⅲ区	SD05流路 C-11
127	489	SD77	弥生土器	ミチャツ器	-	-	-	長石・石英粗砂多、角閃石なし、雲母なし		浅黄褐色7.5YR8/4	軟	ナデ	ナデ	2/8		Ⅲ区	SD05流路 C-12
129	492	SD30	須恵器	高台付坏	-	-	10.0	砂粒をほとんど含まず		灰白色N7/0	堅	回転ナデ、仕上げナデ	回転ナデ	1/8		Ⅲ区	SD20-2
129	493	SD30	土師器	甗	29.1	-	-	粗砂及び礫を多く含む		にぶい黄褐色10YR7/4 黒褐色10YR3/2	堅	ナデ	ナデ	2/8	奈良時代	Ⅲ区	SD20-1
130	92	494	須恵器	坏蓋	11.4	4.4	5.2	粗砂を多く含む		青灰色5PB5/1	堅	回転ナデ	回転ナデ、回転ハナダ	7/8	坏の可能性あり	Ⅱ区	SD67-1
131	92	495	須恵器	坏	15.3	4.6	12.8	細砂を多く含む		青灰色5BG6/1	堅	回転ナデ	回転ナデ、回転ハナダ	1/8		Ⅲ区	SD35-1
132	496	SD115	須恵器	壺	-	-	10.8	砂粒をほとんど含まず		灰白色N8/0～灰黄色2.5Y6/2	堅	回転ナデ、仕上げナデ	回転ナデ	2/8	自然釉	Ⅱ区	SD37-1
133	92	497	須恵器	鉢	15.7	5.2	10.5	砂粒を含まず		青灰色5PB6/1	堅	回転ナデ、仕上げナデ	回転ナデ、ハナダ	2/8	火だすき	V区	SD18-1
133	92	498	土師器	高台付皿	21.8	3.2	15.1	粗砂をわずかに含む		浅黄褐色10YR8/3～橙色2.5YR6/8	軟	回転ナデ	回転ナデ	1/8		V区	SD18-2

土器観察表 (31)

挿図版番号	遺構名	遺物内容	器種	口径器高底径	胎土	色調	焼成	内面調整	外面調整	残存率	備考	地区	調査遺構
136 92	499SD248	須恵器	環蓋	16.8 4.2	粗砂及び礫を多く含む	灰白色10Y8/1	軟	回転行	ツツ	2/8		V区	SD02-10
136	500SD248	須恵器	環蓋	16.0	粗砂を多く含む	灰白色N8/0	堅	回転行, 仕上上げ行 (板行)	回転行	2/8		V区	SD02-37
136	501SD248	須恵器	環蓋	14.0	粗砂を含む	青灰色5B5/1	堅	仕上上げ行, 回転行	回転行	1/8		V区	SD02-2
136	502SD248	須恵器	環蓋	18.0	細砂を多く含む	暗青灰色5B4/1	堅	回転行	回転行	1/8		V区	SD02-39
136 93	503SD248	須恵器	環蓋	15.0	粗砂を含む	灰白色N8/0	堅	回転行, 仕上上げ行 (板行)	回転行, 同	2/8		V区	SD02-38
136	504SD248	須恵器	環蓋	14.8	礫をわずかに含む	青灰色5B6/1	堅	回転行, 仕上上げ行	回転行, 同	4/8		V区	SD02-36
136 93	505SD248	須恵器	環蓋	15.0	粗砂を多く含む	青灰色5PB6/1	堅	回転行	回転行	2/8		V区	SD02-18
136	506SD248	須恵器	環蓋	16.0	粗砂を多く含む	灰色N6/0	堅	回転行	回転行	1/8		V区	SD02-16
136 93	507SD248	須恵器	環蓋	16.9	礫を含む	灰白色N7/0	堅	回転行, 仕上上げ行	回転行	2/8		V区	SD02-20
136	508SD248	須恵器	高台付環	13.4 4.0	9.6細砂を含む	明青灰色5PB7/1	堅	回転行	回転行, 同	1/8		V区	SD02-25
136	509SD248	須恵器	高台付環	-	10.2粗砂を含む	青灰色10B65/1	堅	回転行, 仕上上げ行	回転行, 同	1/8	火だすき	V区	SD02-3
136 93	510SD248	須恵器	高台付環	16.5 3.4	11.2砂粒を含まず	灰白色N7/0	堅	回転行, 仕上上げ行	回転行, 同	2/8		V区	SD02-26
136	511SD248	須恵器	高台付環	-	10.8粗砂及び礫を含む	灰色N6/0	堅	回転行, 仕上上げ行	回転行, 同	2/8		V区	SD02-1
136	512SD248	須恵器	高台付環	-	9.2粗砂を含む	灰白色N7/0	堅	回転行, 仕上上げ行	回転行, 同	5/8		V区	SD02-21
136 93	513SD248	須恵器	環	11.5 3.5	7.6粗砂及び礫を含む	灰色N5/0~灰色10Y6/1	堅	回転行, 仕上上げ行	回転行, 同	5/8		V区	SD02-7
136 93	514SD248	須恵器	環	10.6 4.8	7.0粗砂及び礫を含む	青灰色5PB6/1	堅	回転行, 仕上上げ行	回転行	1/8		V区	SD02-22
136	515SD248	須恵器	環	13.0 2.7	9.2粗砂を含む	灰白色2.5Y8/1	堅	回転行	回転行	1/8		V区	SD02-27
136 93	516SD248	須恵器	環	11.6 3.3	7.0粗砂を含む	灰色N5/0~灰白色7.5Y8/1	堅	回転行, 仕上上げ行	回転行, 同	1/8		V区	SD02-35

土器観察表 (32)

插图版	番号	遺構名	遺物内容	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	内面調整	外面調整	残存率	備考	地区	調査遺構
136	517	SD248	須恵器	坏	10.6	3.2	7.8	粗砂を含む	灰白色7.5Y8/1	軟	ツマツ	ツマツ	2/8		V区	SD02-33
136	518	SD248	須恵器	坏	13.8	3.4	10.0	粗砂を含む	灰白色7.5Y8/1	軟	回転ナデ, 仕上げナデ	回転ナデ, ハラキリ, 板ナデ	1/8		V区	SD02-34
136	93	519	SD248	須恵器	皿	15.8	2.6	11.8	砂粒をほとんど含まず	堅	回転ナデ	回転ナデ, ハラキリ, ナデ	2/8	火だすき	V区	SD02-4
136	94	520	SD248	須恵器	皿	15.4	2.5	12.5	砂粒を含まず	堅	回転ナデ	回転ナデ, ハラキリ, ナデ	2/8	火だすき	V区	SD02-41
136	521	SD248	須恵器	皿	16.0	-	13.6	粗砂を含む	暗青灰色5B4/1	堅	回転ナデ	回転ナデ	1/8		V区	SD02-40
136	522	SD248	須恵器	皿	18.9	3.1	14.6	粗砂を含む	灰白色7.5Y7/1	堅	回転ナデ, 仕上げナデ	回転ナデ, 仕	1/8		V区	SD02-5
137	523	SD248	須恵器	壺	20.9	-	-	粗砂を含む	灰白色N8/0	堅	回転ナデ, 海波残	回転ナデ, 青行残, ナデ	1/8	自然釉	V区	SD02-14
137	94	524	SD248	須恵器	壺	9.2	-	砂粒を含まず	灰白色N8/0	堅	回転ナデ	回転ナデ	1/8	自然釉	V区	SD02-24
137	94	525	SD248	須恵器	高台付壺	-	8.8	粗砂をわずかに含む	灰白色N8/0	堅	回転ナデ	回転ナデ, 回転ハラスリ	4/8	自然釉	V区	SD02-11
137	526	SD248	須恵器	壺	-	-	-	粗砂を含む	暗灰色N3/0~明青灰色5P87/1	堅	回転ナデ	回転ナデ, ハラキリ, ナデ	4/8		V区	SD02-32
137	527	SD248	須恵器	壺	-	-	6.2	粗砂を含む	灰色10Y4/1~灰白色2.5Y8/1	堅	回転ナデ	回転ナデ	1/8		V区	SD02-23
137	528	SD248	須恵器	壺	-	-	8.0	細砂を含む	灰色N4/0~灰白色7.5Y8/1	堅	回転ナデ	回転ナデ	3/8		V区	SD02-17
137	529	SD248	須恵器	壺	-	-	10.8	粗砂を多く含む	暗青灰色5B3/1~青灰色5P85/1	堅	回転ナデ	回転ナデ, 格子目残	2/8		V区	SD02-31
137	94	530	SD248	土師器	坏	12.4	3.5	6.1	粗砂を含む	軟	ツマツ	ツマツ, ハラキリ(底部)	2/8		V区	SD02-9
137	94	531	SD248	土師器	坏	14.0	3.7	10.0	粗砂を含む	軟	回転ナデ	回転ナデ, ハラキリ, 回転ナデ	2/8		V区	SD02-29
137	532	SD248	土師器	高台付坏	-	-	8.8	細砂を含む	橙色5YR7/6	軟		指頭圧痕	1/8		V区	SD02-30
137	533	SD248	土師器	坏	-	-	7.2	粗砂及び礫を含む	橙色2.5YR7/8	軟	ツマツ	ツマツ	8/8		V区	SD02-15
137	534	SD248	土師器	坏	12.4	4.0	8.2	粗砂を多く含む	黒褐色10YR2/2~黒褐色10YR3/2	軟	ヨコナデ	ヨコナデ	1/8		V区	SD02-28

土器観察表 (33)

挿図版	図番号	遺構名	遺物内容	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	内面調整	外面調整	残存率	備考	地区	調査遺構	
137	535	SD248	土師器	皿	17.9	1.8	13.8	粗砂を多く含む	灰白色2.5Y8/2	堅	回転	回転、仕上げ	1/8		V区	SD02-6	
137	536	SD248	土師器	皿	19.6	-	17.0	粗砂を含む	淡黄色2.5Y8/3	堅	回転、暗文	回転、暗文	1/8	朱	V区	SD02-8	
137	537	SD248	亀山焼	甕	33.5	-	-	粗砂及び礫を含む	灰白色2.5GY8/1	堅	回転	回転、格子目	1/8		V区	SD02-13	
138	538	SD248	土師器	甕	21.6	-	-	粗砂を多く含む	灰白色7.5Y8/2	堅	回転	回転(把手部分)、ナ	1/8		V区	SD02-12	
138	539	SD248	土師器	環	11.0	2.1	7.2	粗砂を含む	灰白色2.5Y8/2	軟	ナ	ナ、指頭圧痕	5/8		V区	SE03-1	
138	540	SD248	黒色土器	椀	-	-	7.6	粗砂を含む	黒色N1.5/0~橙 色5YR6/6	軟	ナ	ナ、ナ	8/8		V区	SE03-2	
140	544	SB12 B4SP94	須恵器	高台付環	14.5	4.5	12.1	粗砂含む	灰白色10Y8/1	軟	回転	回転、ナ	3/8		Ⅲ区	SB19-2	
140	545	SB12 B4SP90	須恵器	高台付環	15.3	3.8	12.0	細砂を含む	明青灰色5B7/1	堅	回転	回転	1/8		Ⅲ区	SB19-1	
143	546	SB20 D3SP2	土師器	環	15.2	-	-	細砂を多く含む	灰白色2.5Y8/2	堅	回転	回転	2/8		Ⅲ区	SB10-1	
143	547	SB20 D3SP3	土師器	小皿	8.8	1.6	5.8	細砂を含む	灰白色2.5Y8/2	堅	回転	回転、ナ	6/8		Ⅲ区	SB10-3	
143	548	SB20 D3SP3	土師器	小皿	8.1	1.2	6.5	細砂を含む	灰白色2.5Y8/1~ 灰白色10Y8/2	堅	回転	回転、ナ	8/8		Ⅲ区	SB10-4	
143	549	SB20 D3SP3	中国産青磁	皿	-	-	4.4	粗砂をわずかに含む	釉:明緑灰色5G 7/1.胎土:灰白色 10Y8/1	堅	櫛歯文、施軸	底部糸切り、 底面無軸	2/8		Ⅲ区	SB10-2	
151	96	551	D4SP3	須恵器	長頸壺	7.3	19.0	9.9	粗砂及び礫を含む	灰色N4/0~紫灰 色5P6/1	堅	回転	回転、回転、 ナ、ナ	8/8	内・外面肌 あれ	Ⅲ区	SP05-2
153	114	552	SD73	白磁	椀	-	5.9	砂粒を含まず	釉:灰白色7.5Y8/ 2.胎土:7.5Y8/1	堅	施軸、貫入	底部は無軸	3/8	削り出し高 台	Ⅲ区	SD05 流路 C-12	
153	96	553	SD73	須恵器	高台付環	13.6	3.9	10.0	粗砂及び細砂を多く含む	灰色N6/0	堅	ナ	4/8		Ⅲ区	SD05 流路 C-3	
153	554	SD73	須恵器	環	12.3	3.7	6.8	粗砂及び礫を含む	灰色N5/0~灰白 色7.5Y8/1	堅	回転	回転、ナ、 ナ、板状圧痕	1/8	火だすき	Ⅲ区	SD05流路C 板-3	

土器観察表 (34)

挿図	図版	番号	遺構名	遺物内容	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	内面調整	外面調整	残存率	備考	地区	調査遺構
153		555	SD73	土師器 土師器 (早島式 土器)	椀	12.4	4.7	5.2	粗砂及び礫を含む	灰白色7.5Y8/2	軟	ヨコナデ	ヨコナデ	1/8		Ⅲ区	SD05流路C 板-2
153	97	556	SD73	瓦質土器	小皿	8.3	1.8	6.4	砂粒を含まず	灰色N4/0	軟	回転ナデ、板ナ デ、板ナ	回転ナデ、ハラ キリ、板ナ	7/8		Ⅲ区	SD05流路C 板-1
153	114	557	SD73	龍泉系青 磁	椀	15.6	-	-	砂粒を含まず	軸:オリーブ、灰色 10Y6/2、胎土:灰 白色N8/0	堅	施軸	施軸	1/8		Ⅲ区	SD05流路C 板-22
153	97	558	SD73	須恵器	坏	12.3	3.4	7.3	粗砂及び細砂を含む	青灰色5B5/1	堅	回転ナデ	回転ナデ、ハラ キリ	4/8	火だすき	Ⅲ区	SD05流路 C-2
153	97	559	SD73	須恵器	皿	17.3	2.8	14.5	粗砂を含む	灰白色7.5Y8/1	堅	回転ナデ	回転ナデ、回 転ハキリ、ナ	3/8		Ⅲ区	SD05流路 C-13
153	97	560	SD73	須恵器	高台付坏	15.8	3.8	8.8	粗砂を多く含む	灰白色7.5Y8/1	軟	回転ナデ、仕 上げナデ	回転ナデ、仕 マツ、回転ハラ キリ	2/8		Ⅲ区	SD05流路 C-6
153	98	561	SD73	黒色土器	内黒椀	15.3	4.6	7.4	粗砂及び細砂を含む	黒色N2/0～明赤 褐色2.5YR5/8	堅	回転ナデ、暗 文	回転ナデ	1/8	朱	Ⅲ区	SD05流路 C-8
153	98	562	SD73	瓦器	椀	15.2	3.6	5.0	粗砂及び礫を含む	灰色N4/0	堅	回転ナデ、暗 文	指頭圧痕、回 転ナ	1/8		Ⅲ区	SD05流路C 板-24
153	98	563	SD73	瓦器	椀	17.0	-	-	粗砂わずかに含む	灰色N4/0	軟	回転ナデ、暗 文	指頭圧痕、指 頭圧痕	1/8		Ⅲ区	SD05流路 C-11
153	97	564	SD73	瓦器	小皿	8.8	1.9	2.4	砂粒を含まず	灰色N4/0	軟	回転ナデ、仕 上げナデ、一 条の暗文	回転ナデ、指 7/8			Ⅲ区	SD05流路C 板-23
153	114	565	SD73	墨書須恵 器	坏	14.4	5.8	6.6	粗砂を含む	灰白色7.5Y8/1	堅	回転ナデ、仕 上げナデ	回転ナデ、回 転ハラキリ、板 ナ、板状圧痕	1/8		Ⅲ区	SD05流路C 板-7
153	98	566	SD73	黒色土器 A類	椀	14.8	5.7	6.0	粗砂をわずかに含む	黒色N2/0～ぶ い、黄褐色10YR7/3 にぶい黄褐色10Y R4/3～黒色N2/0	軟	シナキ	回転ナデ、口 縁部ハミガキ	1/8	貼り付け高 台	Ⅲ区	SD05流路C 板-9
153		567	SD73	黒色土器 A類	椀	15.4	-	-	粗砂及び礫を含む	R4/3～黒色N2/0	堅	回転ナデ、ミガ キ	回転ナデ	1/8		Ⅲ区	SD05流路C 板-4
153	114	568	SD73	緑釉陶器	椀	-	-	7.8	粗砂を含む	軸:明ホリ7、灰色 2.5GY7/1、胎土: 浅黄色2.5Y7/3	堅	施軸	施軸(鼻付以 外)、底部ハキ リ	6/8	内面に重ね 焼痕、削り 出し高台	Ⅲ区	SD05流路C 板-19
153	115	569	SD73	緑釉陶器	耳皿	8.3	3.6	6.3	細砂を含む	軸:炭灰緑色、胎 土:灰白色7.5Y 7/1	堅	回転ナデ、施 軸	回転ナデ、ハ キリ、底部以 外は施軸	3/8		Ⅲ区	SD05流路C 板-5

土器観察表 (35)

挿図	図版	番号	遺構名	遺物内容	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	内面調整	外面調整	残存率	備考	地区	調査遺構
154	98	570SD73	須恵器	高台付坏	13.6	4.7	10.0	粗砂をわずかに含む		青灰色5B5/1	堅	回転	回転, 回転	5/8		Ⅲ区	SD05 流路 C-4
154	97	571SD73	須恵器	坏	12.4	3.6	7.1	粗砂を含む		黒色5Y2/1~浅黄色2.5Y7/3	堅	回転	回転, 回転	3/8		Ⅲ区	SD05 流路 C-1
154	115	572SD73	墨書土師器	坏	12.8	3.3	6.9	砂粒を含まず		淡黄色2.5Y8/3	軟	回転	回転	1/8		Ⅲ区	SD05 流路 C-6
154	573SD73	墨書土師器	坏	-	-	-	粗砂少量		赤-7褐色2.5Y4/3	堅	回転	回転	1/8		Ⅲ区	SD05 流路 C	
154	98	574SD73	土師器	高台付皿	20.8	2.9	17.3	粗砂を多く含む		灰白色2.5Y8/2	堅	回転	回転	2/8		Ⅲ区	SD05 流路 C-10
154	99	575SD73	土師器	碗	15.6	5.2	7.5	粗砂を含む		灰白色5Y8/2	軟	回転	回転	1/8	貼り付け高台	Ⅲ区	SD05 流路 C
154	115	576SD73	墨書須恵器	坏	11.8	3.6	7.7	粗砂をわずかに含む		灰白色7.5Y8/1	軟	回転	回転	1/8		Ⅲ区	SD05 流路 C 板-17
154	115	577SD73	墨書須恵器	坏	12.9	3.0	7.9	粗砂を含む		暗灰色N3/0~灰白色7.5Y8/1	堅	回転	回転	7/8	火だすき	Ⅲ区	SD05 流路 C 板-18
154	98	578SD73	須恵器	坏	11.5	3.8	7.4	粗砂を多く含む		灰白色N8/0	堅	回転	回転	1/8	火だすき	Ⅲ区	SD05 流路 C 板-25
154	99	579SD73	須恵器	皿	13.5	1.8	9.9	粗砂を多く含む		灰色10Y5/1	堅	回転	回転	2/8		Ⅲ区	SD05 流路 C-5
154	580SD73	土師器	坏	12.8	3.5	6.4	粗砂をわずかに含む		灰白色7.5Y8/2~赤-7黄色5Y6/4	堅	回転	回転	2/8		Ⅲ区	SD05 流路 C 板-10	
154	98	581SD73	土師器	坏	13.0	3.5	6.7	砂粒をほとんど含まず		褐色10YR4/4	堅	回転	回転	1/8		Ⅲ区	SD05 流路 C 板-11
154	99	582SD73	土師器	皿	14.4	1.7	10.3	粗砂をわずかに含む		黒褐色10YR3/2~黒色N2/0	軟	回転	回転	3/8		Ⅲ区	SD05 流路 C 板-12
154	583SD73	緑釉陶器	碗	-	-	-	7.4粗砂をわずかに含む		軸:4Y1-7灰色10Y5/2~淡黄色7.5Y8/3.胎土:淡黄色2.5Y7/3	堅	回転	施釉	4/8	削り出し高台	Ⅲ区	SD05 流路 C 板 20	
154	99	584SD73	須恵器	高台付坏	17.6	6.0	12.0	礫を含む		灰色N6/0	堅	回転	回転	4/8	爪形痕(底部外面)及び墨の付着	Ⅲ区	SD05 流路 C 板-13
154	99	585SD73	土師器	坏	18.6	2.7	14.5	砂粒を含まず		灰白色5Y8/2	堅	回転	回転	2/8		Ⅲ区	SD05 流路 C 板-14

土器観察表 (36)

挿図版番号	遺構名	遺物内容	器種	口径器高底径	胎土	色調	焼成	内面調整	外面調整	残存率	備考	地区	調査遺構
154	99 586SD73	土師器	皿	22.2 2.7 17.0	粗砂をわずかに含む	灰白色5Y8/2	軟	回転ナリ、暗文	回転ナリ	2/8		Ⅲ区	SD05 流路C-9
154	587SD73	須恵器	坏蓋	15.8	粗砂及び礫を含む	青灰色10B65/1	堅	回転ナリ、板ナリ	回転ナリ、板ナリ	2/8		Ⅲ区	SD05 流路C 板-15
154	588SD73	土師器	皿	14.8 3.4 11.6	粗砂をわずかに含む	にぶい橙色7.5YR7/4	堅	回転ナリ	回転ナリ	1/8		Ⅲ区	SD05 流路C 板-16
157	99 610SD91	弥生土器	壺	21.0	長石・石英 礫多、角閃石なし、雲母 粗砂多	明赤褐色5YR5/6	堅	コナリ	コナリ	2/8		Ⅱ区	SD04-1
161	99 611C2SP14	土師器	椀	11.3 3.5 4.3	細砂を含む	灰白色2.5Y8/2	堅	仕上げナリ	回転ナリ	4/8		Ⅲ区	SP05-1
162	612SB43 G10SP37	瓦質土器	坏	13.2	細砂を含む	灰白色10Y8/1~灰色N5/0	堅	回転ナリ	回転ナリ	1/8		I 区	SB11-2
162	613SB43 G10SP37	土師器	坏	9.1	細砂を多く含む	灰白色2.5Y8/2	堅	回転ナリ	回転ナリ	1/8		I 区	SB11-1
162	99 614SB43 G10SP37	土師器	小皿	7.9 1.2 6.2	細砂を多く含む	浅黄橙色7.5YR8/4	堅	回転ナリ	回転ナリ、ナリ	3/8		I 区	SB11 3
166	615G9SP14	須恵器	皿	16.0	1.6 12.8 粗砂を含む	灰白色7.5Y8/1	堅	回転ナリ	回転ナリ	1/8		I 区	SP26-1
167	57 616G9SP15	土師器	小皿	8.1 1.3 6.6	細砂を多く含む	灰白色2.5Y8/2	堅	回転ナリ	回転ナリ、回転ナリ(板目がナリ)	1/8		I 区	SP29-1
167	100 617G10SP10	土師器	小皿	7.2 1.2 5.3	細砂を多く含む	灰白色2.5Y8/2	堅	ナリ	回転ナリ、ナリ、板状圧痕	8/8		I 区	SP14-1
167	100 618G10SP15	土師器	小皿	7.0 0.9 5.3	細砂をわずかに含む	灰白色5Y8/2	堅	回転ナリ、仕上げナリ	回転ナリ、ナリ、板状圧痕	4/8		I 区	SP75-1
167	100 619G10SP39	土師器	坏	11.4 3.2 5.7	粗砂を多く含む	灰白色7.5Y8/1	堅	ナリ	ナリ、ナリ	8/8		I 区	SP49-1
167	620G10SP73	須恵器	坏蓋	17.6	砂粒を含まず	灰色N6/0	堅	回転ナリ、仕上げナリ	回転ナリ	1/8	外面肌あれ	I 区	SP56-1
169	621SB48 K10SP28	土師器	坏	10.0	細砂を多く含む	灰白色7.5YR8/2	堅	回転ナリ	回転ナリ	1/8		IV区	SP37-1
173	622SB60 L14SP91	土師器	坏	10.6 2.5 6.7	細砂を含む	赤橙色10R6/8	堅	回転ナリ	回転ナリ、ナリ	2/8		V 区	SP116-1
173	100 623SB60 L14S P199.200	土師器	注ぎ口付 坏	10.0 2.8 5.9	粗砂を含む	橙色2.5YR6/8	軟	回転ナリ	回転ナリ	8/8		V 区	SP82・83-1
173	624SB60 L14SP86	瓦質土器	坏	11.8	細砂を含む	灰白色10Y8/1~灰色N5/0	堅	回転ナリ	回転ナリ	1/8		V 区	SP59-1

土器観察表 (37)

挿図版	図版番号	遺構名	遺物内容	器種	口径器高	底径	胎土	色調	焼成	内面調整	外面調整	残存率	備考	地区	調査遺構
173	625SB60 L14SP80	土師器	土釜の脚部	土釜の脚部	-	-	粗砂及び細砂を多く含む	黒褐色7.5YR3/2	堅	ハメ		8/8		V区	SP99-1
174	627SB61 L14SP132	土師器	小皿	小皿	6.8	1.0	5.9細砂を含む	灰白色2.5Y8/2	堅	回転ナデ	回転ナデ、ハナキリ	2/8		V区	SP38-1
174	628SB61 L14SP132	土師器	小皿	小皿	7.0	-	5.7細砂をわずかに含む	灰白色2.5Y8/2	堅	回転ナデ、仕上げナデ	回転ナデ、仕上げナデ、ハナキリ	3/8		V区	SP38-2
174	629SB61 L14SP142	土師器	環	環	9.8	2.1	5.5細砂を多く含む	淡赤褐色2.5YR7/4～灰黄色2.5Y6/2	軟	マメ	マメ、ハナキリ	4/8		V区	SP24-1
174	630SB61 L14SP138	土師器	環	環	10.4	2.4	6.3粗砂を多く含む	灰白色2.5Y8/2	堅	回転ナデ、仕上げナデ	回転ナデ、仕上げナデ、板状圧痕、ハナキリ	8/8		V区	SP21-3
174	631SB61 L14SP138	土師器	小皿(?)	小皿(?)	10.8	-	6.5細砂を含む	赤10R5/8	堅	回転ナデ	回転ナデ	1/8	朱	V区	SP21-1
174	632SB61 L14SP138	土師器	環	環	10.2	2.7	6.0粗砂及び細砂を含む	灰白色2.5Y8/2	堅	回転ナデ、仕上げナデ	回転ナデ、仕上げナデ、ハナキリ	1/8		V区	SP21-2
174	633SB61 L14SP142	土師器	土釜の脚部	土釜の脚部	-	-	細砂を含む	黒褐色7.5YR3/2	堅		指頭圧痕	8/8		V区	SP24-2
176	634J10SP4	土師器	小皿	小皿	7.2	1.1	5.3粗砂及び礫を含む	灰白色7.5Y8/1	堅	回転ナデ、仕上げナデ	回転ナデ、仕上げナデ、ハナキリ	1/8		IV区	SP4-1
176	635K10SP9	瓦質土器	環(?)	環(?)	12.2	-	細砂を含む	暗灰色N3/0～灰白色7.5Y8/1	堅	回転ナデ	回転ナデ	1/8		IV区	SP22-1
177	636K10SP19	青磁	壺	壺	9.0	-	砂粒を含まず	釉:明緑灰色7.5GY7/1.胎土:灰白色N8/0	堅	施軸	施軸	1/8		IV区	SP30-1
178	637L14SP45	土師器	環	環	10.5	2.6	6.0細砂を多く含む	橙色2.5YR7/8	軟	マメ	マメ	4/8		V区	土器集中1
178	638L14SP45	土師器	環	環	10.6	2.7	6.8粗砂をわずかに含む	橙色2.5YR7/6	軟	回転ナデ	回転ナデ、ハナキリ	4/8		V区	土器集中2
178	639L14SP45	土師器	環	環	9.4	1.9	6.9細砂を含む	浅黄褐色7.5YR8/4	軟	回転ナデ、仕上げナデ	回転ナデ、仕上げナデ、ハナキリ、板状圧痕	7/8		V区	土器集中3
178	640L14SP45	土師器	環	環	9.8	2.4	5.8細砂を多く含む	橙色2.5YR7/6	軟	回転ナデ	回転ナデ、ハナキリ	7/8		V区	土器集中4
178	641L14SP45	土師器	環	環	10.1	2.5	6.1砂粒をあまり含まず	淡橙色5YR8/4	軟	回転ナデ	回転ナデ、ハナキリ	7/8		V区	土器集中5

土器観察表 (38)

挿図	図版	番号	遺構名	遺物内容	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	内面調整	外面調整	残存率	備考	地区	調査遺構
178	115	642L14SP45	土師器	土師器	坏	9.6	2.2	5.2	細砂を多く含む	橙色5YR7/6	軟	マツ	回転子、ヘア キリ	7/8		V区	土器集中6
178	115	643L14SP45	土師器	土師器	坏	9.2	1.9	6.5	細砂を多く含む	橙色2.5YR7/6	軟	回転子	回転子、ヘア キリ、板状圧痕	2/8		V区	SP土器集 中7
178		644L14SP45	須恵器	須恵器	高台付坏	-	-	-	11.0	灰白色N8/0	堅	回転子	回転子	1/8		V区	SP01-1
179	116	648L14SP48	土師器	土師器	坏	9.5	2.2	6.4	粗砂を多く含む	淡橙色5YR8/4	堅	回転子	回転子、ヘア キリ	8/8		V区	SP213-1
179	116	649L14SP48	土師器	土師器	坏	9.7	2.2	6.1	細砂を多く含む	灰白色7.5Y8/2	堅	マツ	マツ、ヘア キリ、ヘア キリ(底部)	8/8		V区	SP213-2
179	116	650L14SP48	土師器	土師器	坏	9.5	2.2	5.9	細砂を多く含む	灰白色7.5Y8/2	堅	回転子	回転子、板 状圧痕(底 部)、ヘア キリ	8/8		V区	SP213-3
179	116	651L14SP48	土師器	土師器	坏	9.7	2.2	5.3	粗砂を多く含む	灰白色5Y8/2~浅 黄橙色7.5YR8/3	軟	マツ	マツ(底部)、 ヘア キリ、ヘア キリ	8/8		V区	SP213-4
179	116	652L14SP48	土師器	土師器	坏	9.9	2.2	6.2	砂粒をほとんど含まず	淡橙色5YR8/4	堅	回転子	回転子、ヘア キリ	8/8		V区	SP213-5
179	116	653L14SP48	土師器	土師器	坏	9.6	2.1	4.8	細砂を多く含む	灰白色5Y8/1	堅	回転子	回転子、ヘア キリ	8/8		V区	SP213-6
179	116	654L14SP48	土師器	土師器	坏	9.9	2.1	6.0	細砂を多く含む	灰白色7.5Y8/2	堅	回転子	回転子、回 転子	8/8		V区	SP213-7
179	116	655L14SP48	土師器	土師器	坏	9.5	2.2	6.0	細砂を多く含む	灰白色5Y8/2	堅	回転子	回転子、回 転子、回 転子、回 転子	8/8		V区	SP213-8
179	116	656L14SP48	土師器	土師器	坏	9.8	2.1	6.0	細砂を多く含む	灰白色7.5Y8/2	堅	回転子	回転子、回 転子、回 転子、回 転子	8/8		V区	SP213-9
179	116	657L14SP48	土師器	土師器	坏	9.6	2.1	5.5	細砂を多く含む	灰白色7.5Y8/2	堅	回転子	回転子、回 転子	8/8		V区	SP213-10
179	116	658L14SP48	土師器	土師器	坏	9.4	2.0	6.1	細砂を多く含む	灰白色7.5Y8/2	堅	回転子	回転子、回 転子、回 転子	8/8		V区	SP213-11
180		659L14SP67	土師器	土師器	坏	9.4	3.1	6.4	細砂を含む	灰白色2.5Y8/2	堅	回転子	回転子、ヘア キリ、板状 圧痕	1/8		V区	SP68-1
180		660L14SP70	土師器	土師器	土釜	15.6	-	-	細砂を多く含む	淡黄色2.5Y8/3 ~にぶい褐色 7.5YR5/4	堅	ヨコ子、ヘア キリ	指頭圧痕、 押え(口縁 部)	1/8		V区	SP44-1
180		661L14SP169	土師器	土師器	羽釜	20.2	-	-	粗砂及び細砂を多く含む	暗褐色7.5YR3/3~ 黄橙色7.5YR8/8	堅	ヨコ子、ヘア キリ	指頭圧痕、ヨ コ子、ヘア キリ	1/8	煤	V区	SP238-2

土器観察表 (39)

種図	版番号	遺構名	遺物内容	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	内面調整	外面調整	残存率	備考	地区	調査遺構
180	100	662L14SP173	土師器	小皿	10.7	2.4	6.2	細砂を多く含む	灰白色2.5Y8/2	堅	回転ナ	回転ナ、ハナ リ、板状圧痕	2/8		V区	SP22-1
180		663L14SP173	土師器	土釜の脚部	-	-	-	細砂を多く含む	灰白色2.5Y8/2	堅		指頭圧痕	8/8		V区	SP22-2
180		664L14SP169	土師器	土釜の脚部	-	-	-	細砂を多く含む	黒褐色7.5YR3/2 ～橙色2.5YR6/8	堅		ハナ、指頭圧痕	8/8	煤	V区	SP238-1
182		666SK48	土師器	坏	14.5	-	-	細砂を多く含む	浅黄橙色 7.5YR8/3	軟	回転ナ	回転ナ	1/8		I区	SK10-1
183	101	667SK61	土師器	坏	10.8	3.0	8.2	粗砂を多く含む	灰褐色7.5YR4/2	軟	回転ナ	回転ナ、ハナ ナ	2/8		I区	SK13-1
183	102	668SK61	土師器	小皿	6.8	1.0	5.4	細砂を多く含む	灰白色2.5Y8/2	軟	回転ナ	回転ナ	2/8		I区	SK13-5
183	101	669SK61	土師器	坏	11.0	3.3	5.9	細砂を多く含む	灰黄色2.5Y7/2	軟	回転ナ	回転ナ	2/8		I区	SK13-6
183	102	670SK61	土師器	坏	10.4	2.8	6.6	細砂を多く含む	赤褐色10R6/8～ 灰黄色2.5Y7/2	軟	回転ナ	回転ナ	2/8		I区	SK13-2
183	102	671SK61	土師器	坏	10.6	2.8	7.0	粗砂を多く含む	浅黄橙色 7.5YR8/3	軟	回転ナ	回転ナ、ハナ リ、板目圧痕	1/8		I区	SK13-4
183	102	672SK61	土師器	坏	12.0	2.5	8.1	粗砂を多く含む	浅黄橙色 7.5YR8/4	軟	回転ナ	回転ナ	3/8		I区	SK13-8
183	103	673SK61	瓦質土器	坏	15.1	3.8	10.0	粗砂及び礫をわずかに含む	灰色N4/0～灰白 色7.5Y8/1	堅	回転ナ、ハナ ナ	回転ナ、ハナ ナ	1/8		I区	SK13-3
184	103	675SK65	土師器	坏	10.8	3.0	6.7	細砂を多く含む	灰白色7.5Y8/1	軟	回転ナ	回転ナ	1/8		I区	SK22-1
185	103	676SK76	土師器	土釜	20.0	-	-	粗砂を多く含む	黒褐色5YR3/1～ 灰白色2.5Y8/2	堅	回転ナ、指 頭圧痕	指頭圧痕、回 転ナ、(格子 目ナ)	2/8	煤付着	IV区	SK06-1
188		677SK08	土師器	小皿	10.4	-	6.4	粗砂を含む	灰白色2.5Y8/2	堅	回転ナ	回転ナ	2/8		V区	SK03-1
192	103	678SE04	土師器	坏	10.7	2.6	6.9	粗砂をわずかに含む	灰白色7.5Y8/1	堅	回転ナ	回転ナ	2/8		V区	SE01-1
193	103	682SD83		ふいこの羽口	-	-	10.3	粗砂を含む	灰白色7.5Y8/2	軟	回転ナ	回転ナ	4/8	上部が加熱 されている	Ⅲ区	SD11-1
193	116	683SD83	龍泉窯系 青磁	碗	-	-	5.0	砂粒を含まず	釉:灰綠色,胎 土:灰白色N8/0	堅	施釉	胎付及び高 台内面は無 釉、蓮弁文	8/8	1-5類	Ⅲ区	SD11-2
193	116	684SD83	龍泉窯系 青磁	碗	-	-	5.0	砂粒を含まず	釉:淡灰綠色,胎 土:灰白色N8/0	堅	施釉	胎付及び高 台内面は無 釉	4/8	1-5類	Ⅲ区	SD11-3

土器観察表 (40)

種図	図版	番号	遺構名	遺物内容	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	内面調整	外面調整	残存率	備考	地区	調査遺構
194		685SD124	須恵器	高台付坏	15.0	4.1	10.9	粗砂を多く含む	胎土	青灰色5PB6/1	堅	回転ナ	回転ナ	2/8		II区	SD16-1
195	103	687SD136	須恵器	高台付坏	14.3	4.7	10.0	細砂を含む		灰白色N7/0	堅	回転ナ	回転ナ, 回転ナ, 回転ナ, 回転ナ	8/8		II区	SP04-1
196		688SD140	弥生土器	甕	13.2	-	-	長石・石英 隣多, 角閃石にふい, 雲母 細砂多なし		にふい, 黄褐色10YR5/4~黒褐色10YR3/2	堅	コナリ, ナラシナリ, ナラシ	回転ナ	5/8		II区	SD01-1
196		689SD148	須恵器	坏蓋	-	-	-	細砂を含む		灰色N6/0	堅	回転ナ	回転ナ	1/8		I区	SD10-3
196		690SD148	須恵器	坏蓋	-	-	-	細砂を含む		灰白色5Y7/2	軟	回転ナ	回転ナ	1/8		I区	SD10-7
196		691SD148	須恵器	坏	-	-	7.3	粗砂を含む		明青灰色5PB7/1 ~灰白色N8/0	堅	回転ナ	回転ナ	1/8		I区	SD10-6
196		692SD148	須恵器	坏	-	-	12.0	粗砂をわずかに含む		灰白色N8/0~灰色N4/0	堅	板ナ	回転ナ	1/8		I区	SD10-8
196		693SD148	須恵器	坏	-	-	-	砂粒を含まず		灰色N5/0~灰白色N7/0	堅	回転ナ	回転ナ	1/8		I区	SD10-9
196		694SD148	土師器	坏	-	-	6.2	粗砂を含む		淡黄色5Y8/3	軟	ナ	ナ	1/8		I区	SD10-5
196		695SD148	須恵器	長頸壺	8.4	-	-	粗砂を含む		にふい, 赤褐色2.5YR4/3	堅	回転ナ	回転ナ	1/8		I区	SD10-4
196		696SD148	須恵器	甕	-	-	-	粗砂を含む		灰白色7.5Y8/1	堅	回転ナ	回転ナ, 櫛描波状文	1/8		I区	SD10-1
196	103	697SD148	黒色土器A類	碗	-	-	7.6	粗砂を含む		黒色2.5Y2/2~灰白色2.5Y8/2	軟	暗文	回転ナ	6/8		I区	SD10-10
196	116	698SD148	青磁	皿	9.9	-	-	砂粒を含まず		種: 明緑灰色5G7/1, 胎土: 灰白色10Y8/1	堅	施釉, 櫛描文	施釉	1/8		I区	SD10-2
197		702SD145	須恵器	壺	9.5	-	-	粗砂をわずかに含む		灰白色N7/0	堅	回転ナ	回転ナ	4/8	自然釉	II区	SD03-1
199	104	703SD175	須恵器	坏蓋	17.8	3.0	-	粗砂を多く含む		灰白色10Y8/1	軟	ナ	ナ	1/8		V区	SD35 流路 F-B-1
199		704SD175	須恵器	坏蓋	15.0	-	-	粗砂を含む		明赤褐色2.5YR5/6~灰色N5/0	堅	回転ナ, 仕上げナ	回転ナ, 仕上げナ	1/8		IV区	SD35-1
199		705SD175	須恵器	高台付坏	18.0	3.7	13.3	粗砂を含む		灰白色N8/0~灰白色5Y5/1	堅	回転ナ, 仕上げナ	回転ナ, 仕上げナ	1/8		IV区	SD35-4
199		706SD175	須恵器	高台付坏	-	-	11.7	粗砂を含む		灰色7.5Y4/1~灰白色7.5Y8/1	堅	回転ナ	回転ナ	1/8		IV区	SD35-7
199		707SD175	須恵器	高台付坏	-	-	9.1	粗砂を含む		灰白色N7/0	堅	回転ナ	回転ナ	2/8		IV区	SD35-5

土器観察表 (41)

挿図版番号	遺構名	遺物内容	器種	口径器高	底径	胎土	色調	焼成	内面調整	外面調整	残存率	備考	地区	調査遺構	
199	708SD175	須恵器	高台付坏	-	9.7	粗砂を含む	灰色N4/0~灰白色N7/1	堅	回転↑, 仕上げ↑	回転↑, 仕上げ↑	2/8		IV区	SD35-6	
199	709SD175	須恵器	坏	12.8	3.2	粗砂及び細砂を多く含む	灰白色N7/1	堅	回転↑, 仕上げ↑	回転↑, 仕上げ↑	2/8		IV区	SD35-9	
199	104	710SD175	土師器	15.4	4.2	粗砂を含む	灰白色10YR8/2	軟	回転↑	回転↑	2/8		V区	SD35 流路	
199	711SD175	土師器	坏	12.0	3.3	粗砂を含む	灰白色10YR8/2	軟	回転↑	回転↑, 回転↑	3/8		F A 1	IV区	SD35-8
199	712SD175	土師器	甕	27.5	-	粗砂を含む	黒褐色10YR2/3 ~にぶい黄褐色 10YR6/3	堅	指頭圧痕, 回転↑	回転↑, 回転↑	1/8		IV区	SD35-3	
199	104	713SD175	土師器	37.0	18.0	粗砂を多く含む	灰白色2.5Y8/2 ~灰黄褐色10YR 4/2	堅	回転↑	指頭圧痕, 回転↑	8/8	煤(部分的) 底部は熱を 受けている	IV区	SD35-10	
199	714SD175	土師器	甗	-	-	粗砂及び礫を多く含む	明赤褐色 2.5YR5/6	軟	指頭圧痕	指頭圧痕			IV区	SD35-2	
201	104	718SD187	東播系須 恵器	30.0	-	粗砂を含む	灰白色N7/0	堅	回転↑	回転↑	1/8		IV区	SD21-1	
201	719SD187	龜山焼	甕	-	-	粗砂を含む	黒色N2/0	堅	回転↑, 回転↑	指頭圧痕, 回転↑ 格子 目々付	1/8		IV区	SD21-2	
201	117	720SD187	唐津焼	12.0	-	砂粒を含まず	釉: 灰白色10Y 7/2, 胎土: 灰白色 N8/0	堅	施釉	施釉	1/8		V区	SD21-2	
201	117	721SD187	陶器	-	-	4.7砂粒を含まず	釉: 淡黄色5Y8/3, 胎土: 淡黄色2.5 Y8/3	堅	施釉, 貫入	施釉, 貫入	8/8		V区	SD21-1	
201	722SD187	緑釉陶器	椀	-	-	8.5粗砂を含む	明緑灰色 7.5GY8/1	軟	マツ	施釉	1/8		V区	SD21	
202	727SD188	須恵器	壺	-	-	9.8礫を含む	暗青灰色5PB4/1	堅	回転↑	回転↑, 回転↑	4/8		V区	SD20-3	
202	728SD188	須恵器	壺	-	-	9.0粗砂を含む	明青灰色5B7/1	堅	回転↑	回転↑	1/8		V区	SD20-1	
202	729SD188	土師器	椀	-	-	4.8粗砂を多く含む	灰白色5Y8/1	堅	仕上げ↑	仕上げ↑	5/8		IV区	SD20-2	
202	104	730SD188	土師器	12.6	3.3	6.5粗砂を含む	浅黄褐色 10YR8/3	軟	マツ	マツ	1/8		V区	SD20-2	

土器観察表 (42)

種図	図版	番号	遺構名	遺物内容	器種	口径器高	底径	胎土	色調	焼成	内面調整	外面調整	残存率	備考	地区	調査遺構
202		731	SD188	土師器 土師器	環	10.0	2.6	6.6粗砂を少量含む	灰白色2.5Y8/2	堅	回転ナリ	回転ナリ, ハナ	1/8		IV区	SD20-1
203		735	SD189	須恵器	高台付環	11.4	5.4	7.7砂粒を含まず	灰白色N7/0	堅	回転ナリ, 仕上げナリ	回転ナリ	1/8		V区	SD19-1
203	105	736	SD189	須恵器	高台付環	14.4	4.4	9.5粗砂をわずかに含む	青灰色5PB6/1	堅	回転ナリ, 仕上げナリ	回転ナリ, ハナ	1/8		IV区	SD19-3
203	105	737	SD189	須恵器	高台付環	15.2	4.3	11.0粗砂を含む	灰白色N8/0	堅	回転ナリ, 仕上げナリ	回転ナリ, 回	2/8		V区	SD19-3
203		738	SD189	須恵器	高台付環	-	-	9.6砂粒を含まず	青灰色5B6/1	堅	仕上げナリ	回転ナリ	5/8		IV区	SD19-4
203		739	SD189	須恵器	高台付環	-	-	9.6細砂を含む	青灰色5B6/1	堅	回転ナリ, 仕上げナリ	回転ナリ	3/8		V区	SD19-4
203		740	SD189	須恵器	壺	10.7	-	砂粒を含まず	灰白色N8/0	堅	回転ナリ, 仕上げナリ	回転ナリ, 平	1/8	自然釉	V区	SD19-5
203		741	SD189	土師器	蛸壺	-	-	粗砂を多量に含む	にぶい橙色 7.5YR6/4	堅	海渡ナリ	指頭圧痕	8/8		IV区	SD19-2
203		742	SD189	土師器	蛸壺	-	-	粗砂を多量に含む	にぶい橙色 7.5YR6/4	堅		指頭圧痕	8/8		IV区	SD19-1
203	105	743	SD189	土師器	蛸壺	12.0	-	礫を多く含む	にぶい黄橙色 10YR7/4	堅	指頭圧痕, 仕上げナリ	指頭圧痕, コ	8/8		V区	SD19-6
203		744	SD189	土師器	土釜	24.4	-	粗砂を多量に含む	灰白色2.5Y8/2	堅	仕上げナリ	指頭圧痕	2/8		V区	SD19-2
204		749	SD191	須恵器	環蓋	16.6	-	粗砂を含む	青灰色5PB6/1	堅	回転ナリ	回転ナリ	1/8		V区	SD02-2
204	105	750	SD191	須恵器	環	13.2	4.6	6.6粗砂を含む	青灰色5B6/1	堅	回転ナリ, 仕上げナリ	回転ナリ, ハナ	4/8	火だすき	V区	SD02-3
204		751	SD191	須恵器	壺	10.7	-	粗砂を含む	青灰色5PB6/1	堅	回転ナリ	回転ナリ, 平	4/8		V区	SD02-4
204		752	SD191	須恵器	壺	-	-	9.3細砂を含む	暗青灰色10B63/1 ~灰白色N7/0	堅	指頭圧痕, 回転ナリ	指頭圧痕, 回	4/8		IV区	SD02-1
204		753	SD191	土師器	小皿	9.2	1.4	7.1細砂を含む	灰白色7.5Y8/1~ 浅黄褐色10YR8/4	堅	回転ナリ	回転ナリ, ハナ	2/8		IV区	SD02-4
204		754	SD191	土師器	甗	27.3	-	粗砂を多く含む	黒褐色7.5YR3/1 ~にぶい黄褐色 10YR7/2	堅	回転ナリ	指頭圧痕, 回	1/8		IV区	SD02-6
205		755	SD191	土師器	羽釜	-	-	粗砂を多く含む	黒褐色7.5YR3/1 ~灰黄色2.5Y7/2	堅	回転ナリ, 仕上げナリ	指頭圧痕, 回	1/8		IV区	SD02-5

土器観察表 (43)

挿図版番号	遺構名	遺物内容	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	内面調整	外面調整	残存率	備考	地区	調査遺構
205 105	756SD191	土師器	土鈴	-	-	-	細砂を含む	灰白色5Y8/2	堅	不明	不明	3/8		V区	SD02-1
205 106	757SD191	土師器	蛸壺	4.4	8.4	-	粗砂を多く含む	淡橙色5YR8/4	軟	指頭圧痕、上げナリ	指頭圧痕、上げナリ	8/8	上部穿孔1ヶ所	IV区	SD02-2
205 106	758SD191	土師器	蛸壺	4.1	7.7	-	粗砂を多く含む	浅黄褐色7.5YR8/3	堅	指頭圧痕	指頭圧痕	8/8	上部穿孔1ヶ所	IV区	SD02-3
205 105	759SD191	土師器	土鍾	長41	径16	-	礫を含む	橙色2.5YR6/8	軟	ナリ	ナリ	7/8		V区	SD02-5
205	760SD191	土師器	甕	-	-	-	粗砂及び礫を多く含む	黒褐色10YR2/3 ~にぶい黄褐色10YR7/3	堅	ナリ	ナリ		煤付着	IV区	SD02-7
206 104	762SD194	東播系須恵器	こね鉢	24.0	-	-	細砂を多く含む	灰白色2.5Y7/1	堅	回転ナリ	回転ナリ	1/8		IV区	SD11-1
206 106	763SD194	不明	-	-	-	粗砂を多く含む	橙色5YR6/8	堅	回転ナリ	回転ナリ	8/8	内・外面布目痕あり、瓦か	IV区	SD11-2	
207	764SD196	土師器	鉢	20.0	-	-	粗砂を含む	灰白色2.5Y8/2	堅	回転ナリ	回転ナリ	1/8		IV区	SD09-1
207	765SD196	土師器	土釜	20.6	-	-	粗砂を多く含む	灰白色7.5YR8/2	堅	回転ナリ	指頭圧痕	1/8		IV区	SD09-2
208	766SD202	須恵器	坏	12.4	3.5	8.1	粗砂を含む	灰白色N7/0	堅	回転ナリ、仕上げナリ	回転ナリ、上げナリ	2/8		IV区	SD14-1
209 106	767SD204	土師器	小皿	7.0	1.0	5.7	粗砂を含む	灰白色2.5Y8/2	軟	回転ナリ	回転ナリ、回転6/8	6/8	灯明皿か?	IV区	SD07-1
210 106	768SD208	瓦質土器	坏	11.6	3.1	6.8	粗砂を含む	灰白色5Y8/2~ 灰色N6/0	軟	回転ナリ	回転ナリ、板圧痕	3/8	外面口縁部黒色(重ね焼き)	IV区	SD05-1
211 106	769SD210	土師器	坏	9.9	2.4	5.8	粗砂を多く含む	灰白色2.5Y8/2	軟	回転ナリ	回転ナリ、上げナリ	3/8	内・外面底部に朱がかかっている	IV区	SD01-1
212 107	770SD213	土師器	椀	13.9	4.1	5.4	細砂を多く含む	淡橙色5YR8/3~ 灰白色7.5Y8/1	軟	回転ナリ	ナリ	8/8		V区	SD07-1
213 107	771SD231	須恵器	高台付坏	15.8	4.2	10.4	粗砂を多く含む	灰白色N8/0	堅	回転ナリ、仕上げナリ	回転ナリ、回転2/8	2/8		V区	SD16-3
213	772SD231	須恵器	高台付坏	14.8	4.1	10.0	粗砂を多く含む	灰白色2.5Y8/1	堅	回転ナリ	回転ナリ、回転4/8	4/8		V区	SD16-2
213 107	773SD231	須恵器	壺	-	-	12.2	粗砂を含む	灰白色7.5Y8/1	堅	回転ナリ	回転ナリ、回転8/8	8/8		V区	SD16-1
214 107	775SD249	須恵器	坏蓋	14.8	-	-	粗砂を含む	青灰色10B6G/1	堅	回転ナリ、仕上げナリ	回転ナリ、板ナリ	2/8		V区	SD04-1

土器観察表 (44)

挿図	図版	番号	遺構名	遺物内容	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	内面調整	外面調整	残存率	備考	地区	調査遺構
215		776	SD251	須恵器	甕	-	-	-	粗砂を多く含む	灰白色N8/0	堅	指頭圧痕、回転	回転	2/8	自然釉(体部上方)	V区	SD03-1
215		777	SD251	土師器	土釜	21.8	-	-	粗砂を多く含む	灰赤色2.5YR4/2	堅	回転	指頭圧痕、回転	1/8		V区	SD03-5
215	108	778	SD251	土師器	杯	10.4	2.6	5.1	粗砂を多く含む	灰白色7.5Y8/2	堅	回転、仕上げ	回転、仕上げ	8/8		V区	SD03-3
215		779	SD251	土師器	杯	9.5	2.2	4.2	粗砂を多く含む	灰白色10YR8/2	堅	回転	回転	2/8		V区	SD03-2
215	108	780	SD251	土師器	坏	9.5	2.4	6.6	細砂を多く含む	灰白色7.5Y8/2	堅	回転	回転	4/8		V区	SD03-4
220	108	782	SB08	土師器	坏	13.7	3.2	6.4	粗砂を多く含む	橙色2.5YR7/6~ 灰白色2.5Y8/2	軟	回転	回転	1/8		Ⅲ区	SB12-3
220		783	SB08	土師器	坏	-	-	6.4	粗砂を含む	灰白色10YR8/2	堅	回転	回転	8/8		Ⅲ区	SB12-2
220		784	SB08	土師器	土鍋	25.0	-	-	粗砂及び礫を多く含む	にぶい黄褐色10YR5/3~ 黒褐色10YR2/3	堅	回転	回転	1/8		Ⅲ区	SB12-1
220		785	SB08	土師器	坏	16.2	-	-	粗砂を多く含む	橙色2.5YR7/8	堅	回転	回転	1/8		Ⅲ区	SP08-1
220		786	SB08	土師器	坏	13.4	-	-	粗砂を含む	灰白色10Y8/1	堅	回転	回転	1/8		Ⅲ区	SP39-1
222	117	787	SB14	陶器	皿	13.2	-	-	砂粒を含まず	釉:にぶい黄色 2.5Y6/3.胎土: 浅黄色5Y7/4	堅	施釉	施釉	1/8		Ⅲ区	SB07-2
222	117	788	SB14	唐津焼	灰釉縁溝皿	12.5	-	-	砂粒を含まず	釉:赤褐色 胎土:灰白色10Y6/2.胎土: 灰白色10Y8/1	堅	施釉	施釉	1/8		Ⅲ区	SB07-1
224	117	789	SB16	唐津焼	灰釉椀	-	-	4.4	粗砂をわずかに含む	釉:明緑灰色10GY8/1.胎土:浅黄 橙色7.5YR8/3	堅	施釉	底部付近無釉及び回転	4/8		Ⅲ区	SB08-1
229		790	C2SP166	土師器	火鉢(?)	29.0	-	-	粗砂及び細砂を多く含む	灰白色10YR8/2	堅	回転	回転	1/8		Ⅲ区	SP81-1
231		791	SK02	土師器	搦鉢	-	-	12.1	細砂を多く含む	灰白色2.5Y8/2	軟	おろし目(4条1単位)	指頭圧痕	1/8	断面に煤付着	Ⅲ区	SK14-1
232	117	793	SK03	須恵器	鉢	-	-	7.4	粗砂及び細砂を多く含む	暗灰色N3/0~青 灰色5PB6/1	堅	回転、仕上げ	回転	3/8		Ⅲ区	SK09-1

土器観察表 (45)

挿図 番号	図版 番号	遺構名	遺物内容 備前焼	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	内面調整	外面調整	残存率	備考	地区	調査遺構
232	794	SK03	備前焼	播鉢	-	-	13.3	腰をわずかに含む	暗青灰色5PB4/1 ～明青灰色5PB 7/1	堅	おろし目	底面に砂の 痕跡	1/8		Ⅲ区	SK09-2
233	118	796	染付	皿	13.1	3.2	8.0	砂粒を含まず	釉:明緑灰色10GY 8/1.胎土:白色	堅	施釉	高台台部分 以外は施釉	1/8		Ⅲ区	SK15-4
233	118	797	青磁	香炉	9.0	5.3	7.2	砂粒を含まず	釉:明灰緑色,胎 土:白色	堅	施釉,貫入	底部蛇の目 釉剥ぎ,施 釉,貫入	1/8		Ⅲ区	SK15-1
233	798	SK04	京焼風陶 器	椀	-	-	4.7	砂粒を含まず	浅黄色2.5Y7/4	堅	施釉	施釉	7/8		Ⅲ区	SK15
233	118	799	備前焼	播鉢	31.4	-	-	粗砂及び細砂を多く含む	にぶい赤色 7.5R4/4	堅	おろし目		1/8		Ⅲ区	SK15-2
233	118	800	備前焼	播鉢	28.4	-	-	細砂を多く含む	暗褐色7.5YR3/4 ～褐色2.5YR7/6	堅	おろし目		1/8		Ⅲ区	SK15-3
236	118	801	陶器	椀	10.2	6.2	4.0	砂粒を含まず	釉:浅黄色2.5Y 7/4.胎土:淡黄色 5Y8/4	堅	施釉,貫入	施釉,貫入,高 台台部分 のみ無釉	3/8		Ⅲ区	SK10-2
236	118	802	陶胎染付	椀	10.3	7.0	5.1	砂粒を含まず	釉:明青灰色5BG 7/1.胎土:灰白色 10Y8/1	堅	施釉,貫入	施釉,貫入	5/8		Ⅲ区	SK10-1
236	118	803	唐津焼	刷毛目鉢	21.0	-	-	細砂を含む	釉:灰白色7.5B8/2 胎土:赤色10B5/6	堅	口縁端部を 除いて施釉	口縁端部を 除いて施釉	2/8		Ⅲ区	SK10-3
236	118	804	唐津焼	灰軸椀	-	-	4.8	砂粒を含まず	釉:4Y-7*灰色10 Y6/2.胎土:灰白 色N8/0	堅	無釉	底部をのぞ いて施釉,貫 入	2/8		Ⅲ区	SK10-5
236	118	805	青磁	皿	-	-	8.0	砂粒を含まず	釉:明緑灰色10GY 8/1.胎土:白色	堅	部分的に無 釉	施釉	2/8		Ⅲ区	SK10-4
236	806	SK06	陶器	椀	10.3	-	-	砂粒を含まず	黄褐色2.5Y5/4	堅	施釉	施釉	1/8		Ⅲ区	SK10
236	108	807	土師器	ほうろく	42.0	8.0	-	細砂を多く含む	にぶい黄褐色10 YR4/3～黒褐色10 YR2/2	堅	ヘアスリ	指頭圧痕,コ ナテ,ウメ	3/8	煤,把手2ヶ 所2穴ずつ	Ⅲ区	SK10-6
238	119	809	唐津焼	灰軸縁溝 皿	11.8	2.5	4.4	砂粒を含まず	釉:黄褐色2.5Y 5/3.胎土:にぶい 橙色5YR7/3	堅	施釉,砂目	底部付近は 無釉	4/8	釉が焼成不 良で白色化 している	Ⅲ区	SK03-1
239	810	SK18	弥生土器	壺	10.2	-	-	長石・石英粗砂多,角閃石 粗砂少,雲母細砂少	にぶい黄褐色 10YR5/4	堅	指頭圧痕	7/7	6/8		Ⅲ区	SK11-1

土器観察表 (46)

挿図	図版番号	遺構名	遺物内容	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	内面調整	外面調整	残存率	備考	地区	調査遺構
241	119	813SK24	唐津焼 灰釉縁溝 皿	灰釉縁溝 皿	12.6	3.5	4.6	砂粒を含まず	釉:灰白色2.5GY 8/1.胎土:灰白色 10Y8/1	堅	施釉	施釉,底部は 無釉	3/8		Ⅲ区	SK12-1
241	119	814SK24	唐津焼 灰釉縁溝 皿	灰釉縁溝 皿	11.8	2.9	3.7	砂粒を含まず	釉:白色~極暗褐 色(発色せず)5YR 2/2.胎土:灰白色 10Y8/2	堅	施釉	口縁部付近 のみ施釉	2/8		Ⅲ区	SK12-2
242	119	815SK96	唐津焼	灰釉碗	10.0	-	4.8	細砂をわずかに含む	釉:淡黄色5Y 8/3.胎土:暗紫灰 色5RP3/1	堅	施釉	畳付部分以 外は施釉	3/8		V区 (F)	SK10-3
242	119	816SK96	唐津焼	刷毛目碗	-	-	4.5	砂粒を含まず	釉:灰白色7.5Y 8/2.胎土:暗紫 灰色5P3/1	堅	施釉	畳付部分以 外は施釉	2/8		V区 (F)	SK10-1
242	119	817SK96	染付	小皿	6.0	2.3	3.1	砂粒を含まず	釉:明緑灰色10G Y8/1.胎土:白色	堅	施釉	畳付部分以 外は施釉	2/8		V区 (F)	SK10-2
244	818	SD225	西村産瓦 質土器	碗	-	-	5.5	砂粒をほとんど含まず	青灰色5PB6/1~ 灰白色2.5Y8/1	堅	回転ナギ,仕 上げナギ	回転ナギ	3/8		V区 F	SD31-1
244	104	819SD225	東播系須 恵器	片口鉢	-	-	-	細砂を含む	緑灰色5G5/1	堅	回転ナギ	回転ナギ	1/8	煤付着	V区 F	SD31-2
244	820	SD225	土師器	土釜	20.0	-	-	粗砂を含む	黒褐色10YR2/3	堅	ハタメ	指頭圧痕	1/8	煤付着	V区 F	SD31-4
244	821	SD225	弥生土器	鉢	8.6	-	-	長石・石英粗砂含む,角閃 石なし,雲母なし	にぶい,黄褐色 10YR6/4	堅	ハタメ	指頭圧痕,ハ 刺突文	2/8		V区 F	SD31-3
245	823	C3SP74	須恵器	瓿	26.0	-	-	細砂を多く含む	暗青灰色3PB4/1	堅	回転ナギ	回転ナギ	1/8		Ⅲ区 F	SP34-1
245	824	C2SP217	須恵器	皿	15.0	2.0	12.0	細砂を含む	灰色N6/0	堅	回転ナギ	回転ナギ,回 転ハタメナリ,回 転ナギ(底部)	1/8		Ⅲ区	SP132-1
258	826	SK92	須恵器	坏蓋	17.5	-	-	粗砂を含む	青灰色5PB6/1	堅	回転ナギ	回転ナギ	1/8		V区 (F)	SK06-1
261	827		緑釉陶器	碗	-	-	5.5	細砂を含む	灰白色2.5GY8/1	軟	施釉	施釉	3/8		Ⅲ区	D2耕作土, 床土
261	828		緑釉陶器	皿	14.0	-	-	細砂を含む	灰白色7.5Y7/2~ 4-7黒色10Y3/1	堅	施釉	施釉	1/8	洛西産	Ⅲ区 中区	
114	846	SD73	緑釉	碗	-	-	-	細砂を含む	釉:灰白色10Y 7/2.胎土:青灰色 10BG5/1	堅	施釉	施釉	1/8	写真のみ	Ⅲ区	SD05流路C

土器観察表 (47)

挿図	図版	番号	遺構名	遺物内容	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	内面調整	外面調整	残存率	備考	地区	調査遺構
	114	847	SD73	緑釉	椀	-	-	-	細砂を含む	釉:オリーブ灰色 10Y4/2, 胎土:青 灰色5PB6/1	堅	施釉	施釉	1/8	写真のみ	Ⅲ区	SD05流路C
	116	848	SD83	青磁	椀	-	-	-	砂粒を含まず	釉:オリーブ灰色 10Y5/2, 胎土:灰 白色N8/0	堅	施釉	施釉	1/8	写真のみ	Ⅲ区	SD11
	116	849	SD83	青磁	椀	-	-	-	砂粒を含まず	釉:明緑灰色5C 7/1, 胎土:灰白色 N8/0	堅	施釉	施釉	1/8	写真のみ	Ⅲ区	SD11
	119	850	SD92	緑釉	皿	-	-	-	細砂を含む	釉:灰白色7.5Y 7/2, 胎土:青灰白 5PB6/1	堅	施釉	施釉	1/8	写真のみ	Ⅲ区	SD61
	120	851	SB06 C2SP13	陶器	刷毛目皿	-	-	-	細砂を含む	釉:オリーブ灰色 2.5GY6/1, 胎土: 灰白色10Y7/1	堅	施釉	施釉	1/8	写真のみ	Ⅲ区	SB06㊦
	118	852	SK04	染付	椀	-	-	-	砂粒を含まず	釉:灰白色7.5Y 8/1, 胎土:白色	堅	施釉	施釉	1/8	写真のみ	Ⅲ区	SK15
	117	853	SK03	唐津焼	皿	-	-	5.0	砂粒を含まず	釉:オリーブ灰色 7.5Y5/3, 胎土: 灰白色10Y8/1	堅	施釉	施釉, 底部は 無釉	2/8	写真のみ	Ⅲ区	SK09
	118	856	SK04	染付	椀	-	-	-	砂粒を含まず	釉:淡明緑灰色 胎土:白色	堅	施釉	施釉	1/8	写真のみ	Ⅲ区	SK15

平瓦観察表

挿図	図版	報告番号	報告遺構名	器種	長さ(cm)	口端幅(cm)	狭端幅(cm)	厚さ(cm)	凸面調整	凹面調整	側面調整	側面調整	端面調整	胎土	色調	焼成	調査時遺構名
128	92	491SD17		平瓦	(13.9)	-	-	2.6	縄目状 布目痕自然釉	布目痕自然釉	布目痕自然釉	布目痕自然釉	布目痕自然釉	粗砂含む	灰白色N7/1	堅	Ⅲ区SD29
213	107	774SD231		平瓦	(11.0)	-	-	2.5	縄目状 布目痕自然釉	布目痕自然釉	-	布目痕自然釉	布目痕自然釉	粗砂含む	灰白色N7/0～ 青灰色PR6/1	須臾質堅	V区F K11 SD16

丸瓦観察表

挿図	図版	番号	遺構名	器種	長さ(cm)	筒部長(cm)	玉縁長(cm)	筒部径(cm)	玉縁径(cm)	厚さ(cm)	凸面	凹面	側面	端面	胎土	色調	焼成	調査時遺構名
183	103	674SK61		丸瓦	(11.5)	-	-	11.0	-	1.8	縄目 外	布目 痕	不明	-	細砂 含む	黒褐色7.5VR3/1 ～灰白色2.5Y8/2	堅	I区北SK13
218	108	781SB04		丸瓦	(14.6)	-	-	13.0	-	2.4	縄目 外	布目 痕	不明	片	粗砂 含む	黒褐色7.5VR3/1 ～灰白色2.5Y8/2	堅	Ⅲ区SB05④
261	108	829		軒丸瓦	(3.5)	-	-	-	-	-	摩滅	摩滅	-	-	粗砂 含む	灰色N5/0	軟	V区F J-11包 含層掘削

石器観察表(1)

挿図番号	図版番号	報告番号	報告遺構名	器種	現長(cm)	現幅(cm)	現厚(cm)	重量(g)	石材	調査区	遺構名	備考
17		10 SH01		石皿	18.2	13.1	3.9	1,255.9	砂岩	II区	SH02	
21	109	29 SH04		石刀	1.55	6.0	1.1	11.36	砂岩	I区	南GS壁穴上面SH02	
28	109	41 SK54		石鏃	3.5	1.9	0.4	2.64	砂岩	I区	SK02	
63	109	318 SD107		石鏃	1.95	1.55	0.35	0.77	砂岩	II区	SD10	
63	109	319 SD107		石刀	5.3	6.4	0.75	34.04	砂岩	II区	北SD10上層	
64	112	333 SD150		尖頭器	6.3	1.80	1.0	12.71	砂岩	I区	北SD29	
64	110	334 SD150		2次加工ある剥片	2.65	5.6	0.75	13.69	砂岩	I区	SD22G7流路A第1層or上部包含層?	
64	110	335 SD150		不明	5.3	4.9	1.85	42.76	砂岩	I区	SD22G7流路A第1層	
70	110	395 SD158		石鏃	2.1	0.9	0.15	0.52	砂岩	I区	SD22H7流路B上器集中C	
72	110	399 SD158		石鏃	1.4	1.7	0.25	0.60	砂岩	I区	SD22流路B	
72	110	400 SD158		石包丁	4.2	3.2	0.55	8.99	砂岩	I区	SD22流路B	
72	110	401 SD158		石匙	5.2	4.4	0.7	12.39	安山岩?	I区	SD22F7流路B	
72	110	402 SD158		石刀	7.65	3.1	0.65	19.04	砂岩	I区	SD22流路B	
72	110	403 SD158		石刀	4.1	9.2	1.7	55.54	砂岩	I区	SD22流路B	
72	110	404 SD158		石剣	11.6	3.8	0.95	61.85	砂岩	I区	SD22F7流路B	
72	110	405 SD158		石戈	9.4	6.3	1.15	87.95	砂岩	I区	SD22流路B	
74	111	426 SD150・158・159		石鏃	1.75	1.35	0.2	0.58	砂岩	I区	SD22	
74	111	427 SD151・162		石鏃	1.9	1.05	0.4	0.79	砂岩	I区	北SD22畦①、④層	
74	111	428 SD150・158・159		不明	3.0	2.45	0.4	2.67	砂岩	I区	SD22H7上部包含層	
74	111	429 SD150・158・159		石斧	2.1	3.6	0.5	3.64	砂岩	I区	SD22上部包含層	
74	111	430 SD150・158・159		石斧	3.1	4.0	1.0	8.53	砂岩	I区	SD22(G7)上部包含層	
74	111	431 SD150・158・159		石斧	4.25	3.6	1.2	20.59	砂岩	I区	SD22F8上部包含層	
75	111	432 SD151・SD162		石包丁	4.25	3.1	0.7	8.50	砂岩	I区	北SD22第5層	
75	111	433 SD150・158・159		石刀	3.5	5.8	0.65	15.16	砂岩	I区	SD22H7上部包含層	
75	111	434 SD151・SD162		石斧(?)	4.0	5.35	1.1	26.81	砂岩	I区	北SD22第5層	
75	111	435 SD150・158・159		不明	5.8	5.95	1.4	48.35	砂岩	I区	SD22F7上部包含層	
75	111	436 SD151・162		不明	5.6	6.0	2.2	83.96	砂岩	I区	SD22第5層	
75	111	437 SD150・158・159		石斧(?)	6.9	6.7	1.0	61.10	砂岩	I区	SD22上部包含層	
75	111	438 SD150・158・159		石斧	6.8	8.1	1.6	99.80	砂岩	I区	SD22F7上部包含層	
76	111	439 SD150・158・159		抉入石器	5.4	9.8	1.6	98.51	砂岩	I区	SD22F7上部包含層	
76	111	440 SD151・162		不明	6.1	11.55	1.2	138.06	砂岩	I区	北SD22第3層	

石器觀察表(2)

挿図番号	図版番号	報告番号	報告遺構名	器種	現長(cm)	現幅(cm)	現厚(cm)	重量(g)	石材	調査区	遺構名	備考
76	111	441	SD151・162	砥石	7.45	3.50	2.6	100.51		I区北	SD22第1層	
87	109	448	SD133	石鏃	1.9	1.4	0.25	0.63	打削片	II区	SD09	
127	109	490	SD77	石鏃	1.3	0.7	0.2	0.15	打削片	III区	SD05流路C	
138		541	SD248	石鏃	2.2	2.3	0.3	1.8	打削片	V区②	SD02②黑色粘土層	
145		550	SB26 D5SP22	打製石包丁	3.1	2.0	0.5	51.3	打削片	II区	SB08①	
181		665	SK41	石鍋	-	-	-	113.71	滑石	II区	SK04	口径27.4cm
196	112	699	SD148	石鏃	1.75	1.9	0.35	0.91	打削片	I区	SD10第2層	
196	112	700	SD148	石鏃	2.45	1.7	0.25	0.77	打削片	I区	SD10第3層(砂層)	
196	112	701	SD148	石斧	3.1	4.1	0.4	9.63	打削片	I区	SD10第2層	
199	112	715	SD175	石鏃	2.8	1.65	0.4	1.75	打削片	IV区	SD35	
199	112	716	SD175	石鏃	1.8	1.6	0.25	0.75	打削片	IV区	SD35	
200	112	717	SD176	石斧	4.4	5.75	0.9	38.84	打削片	IV区	SD34	
201	112	723	SD187	石鏃	1.9	1.3	0.15	0.52	打削片	IV区F	SD21第1層	
201	112	724	SD187	石鏃	1.9	1.95	0.6	2.47	打削片	V区F	SD21第1層	
201	112	725	SD187	石鏃	2.55	2.0	0.3	1.28	打削片	IV区	SD21第1層	
201	112	726	SD187	有舌尖頭器	6.15	2.65	0.8	12.33	打削片	V区F	SD21第4層	
202	112	732	SD188	石鏃	1.85	1.5	0.35	0.58	河質安山岩(含打削片石安山岩)	IV区	SD20第2層	
202	112	733	SD188	石鏃	2.15	1.9	0.35	1.19	打削片	IV区	SD20	
202	112	734	SD188	石鏃	4.8	2.7	0.35	4.60	打削片	IV区	SD20第1層	
203	112	745	SD189	石鏃	1.8	1.6	0.25	1.11	打削片	V区F	SD19	
203	112	746	SD189	石鏃	1.9	1.6	0.3	0.6	打削片	V区F	SD19②	
203	112	747	SD189	石鏃	2.15	1.4	0.2	0.58	打削片	IV区	SD19	
203	112	748	SD189	石鏃	2.0	1.55	0.35	0.92	打削片	IV区	SD19第1層	
205	112	761	SD150・158・159	石戈(?)	6.75	4.9	1.0	31.13	打削片	IV区	SD02第3層	
231		792	SK02	石臼(上)	-	-	-	-	-	III区	SK14	最大径30.2cm 最大高11.0cm
232		795	SK03	石臼(上)	-	-	-	-	-	III区	SK09	最大径26.75cm 最大高11.65cm
236	109	808	SK06	石鏃	2.7	1.7	0.4	1.93	打削片	III区	SK10	

石器観察表 (3)

挿入番号	図版番号	報告番号	報告遺構名	器種	現長(cm)	現幅(cm)	現厚(cm)	重量(g)	石材	調査区	遺構名	備考
239		811	SK18	五輪塔	-	-	-	-		Ⅲ区	SK11②	最大幅28.5cm 最大高13.8cm
239		812	SK18	石臼(上)	-	-	-	-	凝灰岩	Ⅲ区	SK11②	最大径28.2cm 最大高11.0cm
244		822	SD225	不明	3.75	3.75	3.25	64.80		V区	FD31⑤	
257	109	825	SK81	石鏃	2.1	0.95	0.35	0.60		Ⅳ区	SK09	
262	113	830		石鏃	1.45	1.6	0.25	0.86		Ⅱ区	E4包含層	
262	113	831		石鏃	2.85	2.3	0.3	2.64		Ⅱ区	E4包含層	
262	113	832		石鏃	4.15	1.3	0.4	2.66		Ⅱ区	E3~E4杭畦	
262	113	833		石包丁	3.45	4.1	0.75	13.69		Ⅲ区	C3	
262	113	834		不明	4.0	3.55	0.75	18.24		Ⅲ区	D2床上	
262	113	835		スライパ ^o	5.55	4.55	0.6	15.02		V区	F 包含層	
262	113	836		尖頭器	8.4	3.6	1.6	50.55			不明	
263	113	837		不明	4.3	8.95	1.6	74.44		Ⅲ区	B2	
263	113	838		不明	6.25	3.35	1.5	39.87			不明	
263	113	839		不明	6.9	6.6	1.25	82.25		V区	I11暗灰色土層	
263	113	840		石斧	6.95	6.75	1.25	81.61		V区	② 包含層	
263		841		不明	10.85	14.45	4.0	452.23		V区	② 包含層	
263	113	842		不明	2.15	2.15	0.35	2.22			表探	
263		843		るつぼ	-	6.5	-	92.59	砂岩	V区	F 包含層	残存高1.95cm
263	120	845		管玉	1.75	-	-	0.21	碧玉	I区	排土中	径0.25cm
	109	855	SD46・47・73・77・79	スライパ ^o	3.7	6.95	0.85	24.85		Ⅲ区	SD05	

金属器観察表

挿入番号	図版番号	報告番号	報告遺構名	種類	器種	長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	重量(g)	材質	調査時遺構名
95		455	SB11 B4 SP52	鉄器	刀子	3.7	1.7	0.3	3.3	鉄	Ⅲ区SB16⑤
138		542	SD248	鉄器	鋤先	2.1	5.1	1.1	27.5	鉄	V区②SD02
173		626	SB60 L14 SP6	鉄器	不明	1.6	4.0	0.7	5.4	鉄	V区①SP154
178	120	645	L14SP45	青銅器	銅錢	2.3	-	0.15	1.86	銅	V区①SP01
178		646	L14SP45	鉄器	刀子	7.1	1.2	0.2	5.2	鉄	V区①SP01
179	120	647	L14SP48	青銅器	銅錢	2.5	-	0.15	1.52	銅	V区①SP213
194		686	SD124, 129	鉄器	不明	4.9	1.0	0.5	6.5	鉄	Ⅱ区SD16
263		844		鉄器	鋤先	5.5	8.7	0.2	31.5	鉄	I区包含層

木器観察表

挿図番号	図版番号	報告番号	報告遺構名	器種	現長(cm)	現幅(cm)	現厚(cm)	調査区	遺構名
138		543	SD248	杭	8.1	1.8	-	V区F	SE01第2層
155	120	589	SD73	斎串	18.8	1.8	0.3	Ⅲ区	SD05流路C砂層
155		590	SD73	斎串	9.4	1.2	0.2	Ⅲ区	SD05流路C暗灰茶褐色砂礫層
155		591	SD73	斎串	4.3	1.0	0.3	Ⅲ区	SD05流路C暗灰茶褐色砂礫層
155		592	SD73	斎串	5.6	1.1	0.2	Ⅲ区	SD05流路C暗灰茶褐色砂礫層
155		593	SD73	不明	4.2	1.3	0.3	Ⅲ区	SD05流路C砂層
155		594	SD73	不明	14.5	2.1	0.2	Ⅲ区	SD05流路C砂層
155		595	SD73	斎串(?)	6.9	1.9	0.2	Ⅲ区	SD05流路C砂層
155		596	SD73	不明	9.2	1.2	0.3	Ⅲ区	SD05流路C砂層
155		597	SD73	不明	9.5	1.4	0.3	Ⅲ区	SD05流路C砂層
155		598	SD73	不明	12.3	9.5	-	Ⅲ区	SD05流路C最下層
155		599	SD73	曲物	16.0	3.6	0.7	Ⅲ区	SD05流路C砂層
155		600	SD73	曲物	4.8	3.6	0.5	Ⅲ区	SD05流路C砂層
155		601	SD73	曲物	11.2	3.4	0.3	Ⅲ区	SD05流路C暗灰茶褐色砂礫層
155		602	SD73	曲物	6.3	2.2	0.3	Ⅲ区	SD05流路C砂層
155		603	SD73	曲物	2.7	1.6	0.4	Ⅲ区	SD05流路C砂層
155		604	SD73	曲物	3.0	1.4	0.4	Ⅲ区	SD05流路C砂層
156		605	SD73	不明	23.8	3.1	-	Ⅲ区	SD05流路C砂層
156		606	SD73	杭	22.4	3.4	-	Ⅲ区	SD05流路C砂層
156		607	SD73	杭	18.8	3.0	-	Ⅲ区	SD05流路C砂層
156		608	SD73	杭	15.0	4.5	-	Ⅲ区	SD05流路C畦除去最下層
156		609	SD73	杭	15.4	3.2	-	Ⅲ区	SD05流路C畦除去最下層
192		679	SE04	不明	10.1	3.4	0.6	V区①	SE01
192		680	SE04	不明	9.8	4.0	0.6	V区①	SE01
192		681	SE04	不明	10.9	3.7	0.6	V区①	SE01

竪穴住居跡一覧表

遺構名	主軸方位	平面形	長軸長(m)	短軸長(m)	深さ(m)	面積(m ²)	主柱穴	炉	竈	バット	壁溝	挿図	図版	調査時遺構名
SH01		円形	6.72		0.36	35.45		○		○	○	16	8	Ⅱ区SH02
SH02		円形	6.24		0.31	30.57			○	○	○	18		Ⅱ区SH03
SH03	N24° W	方形	3.16	2.60	0.04	8.22					○	19	9	Ⅱ区SH01
SH04	N65.5° E	円形	6.52	5.76	0.48	26.04		○	○			20	9	I区SH02
SH05	N13° E	方形		2.92							○	22	10	I区SH03
SH06	N45° E	方形	3.52	3.20	0.28	17.02					○	23	10	I区SH01
SH07	N25° W	方形	2.34	2.03	0.17	4.75	3					78	16	V区①SK01
SH08	N23.5° W	方形	2.86	2.80	0.12	8.00	2	○				79	17	V区①SK02

掘立柱建物跡一覧表(1)

遺構名	構造(間×間)	桁行(m)	梁行(m)	面積(m ²)	主軸方位	挿図	図版	調査時遺構名
SB01	2×2	3.10	2.73	8.46	N30° W	90		Ⅲ区SB22
SB02	2×1	4.54	3.96	17.98	N56.5° E	216		Ⅲ区SB24
SB03	3×1	4.73	4.08	19.30	N60° E	217	40	Ⅲ区SB04
SB04	7×3	6.37	2.75	17.52	N33° W	218	40	Ⅲ区SB05
SB05	3×2	5.88	4.02	23.64	N58.5° E	91		Ⅲ区SB23
SB06	4×5	5.36	4.20	22.51	N32° W	219		Ⅲ区SB06
SB07	3×2	4.97	3.83	19.04	N27.5° W	92		Ⅲ区SB25
SB08	6×5	8.5	7.8	66.3	N28.5° W	221	41	Ⅲ区SB12
SB09	3×2	4.37	3.57	15.60	N62° E	93		Ⅲ区SB18
SB10	3×2	4.84	2.92	14.13	N26.5° W	94		Ⅲ区SB17
SB11	2×1	3.03	2.31	7.00	N28.5° W	95		Ⅲ区SB16
SB12	2×2	4.72	2.95	13.92	N73° E	140	30	Ⅲ区SB19
SB13	2×2	3.82	3.13	11.96	N62.5° E	96	20	Ⅲ区SB15
SB14	4×2	4.16	4.08	16.97	N60° E	222		Ⅲ区SB07
SB15	7×6	6.37	3.16	20.13	N31° W	223		Ⅲ区SB03
SB16	4×1	9.73	4.43	43.10	N61° E	225	41	Ⅲ区SB08
SB17	3×1	7.65	3.98	30.45	N74.5° E	141	30	Ⅲ区SB01
SB18	5×3	3.19	3.03	9.67	N32.5° W	226		Ⅲ区SB02
SB19	4×2	4.11	2.72	11.18	N60° E	227	42	Ⅲ区SB09
SB20	2×1	5.31	3.63	19.28	N12° W	142	31	Ⅲ区SB10
SB21	1×1	3.76	2.72	10.23	N18.5° W	144	20	Ⅲ区SB27
SB22	2×2	4.09	3.47	14.19	N64° E	97	20	Ⅲ区SB13
SB23	4×2	7.58	4.05	30.70	N65° E	159	20	Ⅲ区SB14
SB24	2×2	3.83	3.34	12.79	N66.5° E	98	21	Ⅲ区SB21
SB25	×1		2.40		N30° W	228	42	Ⅲ区SB11
SB26	2×2	4.00	3.08	12.32	N70° E	145	31	Ⅱ区SB08
SB27	3×2	5.03	3.12	15.69	N67° E	146	31	Ⅱ区SB07
SB28	4×2	6.45	3.74	24.12	N27° W	160	34	Ⅱ区SB01
SB29	2×1	3.60	2.94	10.58	N24° W	147	32	Ⅱ区SB09
SB30	2×1	3.64	3.33	12.12	N2° W	80		Ⅱ区SB10
SB31	2×1	3.47	2.79	9.68	N8° E	81	17	Ⅱ区SB06
SB32	3×1	4.08	2.68	10.93	N62° E	148	32	Ⅱ区SB04

掘立柱建物跡一覧表(2)

遺構名	構造(間×間)	桁行(m)	梁行(m)	面積(m ²)	主軸方位	挿図	図版	調査時遺構名
SB33	2×1	3.42	3.12	10.67	N35.5° E	82	18	I区北SB10
SB34	3×1	3.89	1.85	7.20	N59° E	149	33	I区SB09
SB35	2×1	3.88	3.08	11.95	N84° E	83	18	I区SB07
SB36	4×2	6.85	3.84	26.30	N30° W	100	21	I区SB05
SB37	3×2	3.90	3.26	12.71	N28.5° W	101	22	I区SB04
SB38	3×2	4.88	3.59	17.52	N30° W	102	22	I区SB02
SB39	2×2	3.83	3.50	13.41	N27° W	103		I区SB08
SB40	4×2	7.05	3.92	27.64	N60° E	104	23	I区SB01
SB41	2×1	3.04	2.94	8.94	N29° W	105	23	I区SB03
SB42	4×2	5.55	3.00	16.65	N27° W	106	23	I区SB06
SB43	2×4	4.88	3.64	17.76	N63° E	163		I区北SB11
SB44	3×2	5.30	3.98	21.09	N66° E	164	34	I区北SB12
SB45	3×2	4.64	3.81	17.68	N59° E	165	34	I区北SB13
SB46	3×	4.17			N29.5° W	107	24	IV区SB03
SB47	1×1	3.76	3.30	12.41	N41.5° W	168		IV区SB04
SB48	3×2	3.76	3.16	11.88	N64° E	169		IV区SB05
SB49	2×2	3.76	3.64	13.69	N49° W	170		IV区SB02
SB50	2×1	3.86	2.68	10.34	N62° E	171		IV区SB01
SB51	3×2	4.40	3.51	15.44	N29° W	109	24	V区F SB01
SB52	3×2	3.24	2.79	9.04	N27° W	110	25	V区F SB02
SB53	4×2	6.6	3.5	23.1	N28° W	111	25	V区F SB03
SB54	2×1	3.75	3.05	11.44	N62° E	112	26	V区F SB05
SB55	3×2	3.06	2.41	7.37	N26.5° W	113	26	V区F SB04
SB56	3×2	4.88	3.60	17.57	N27° W	114	27	V区②SB03
SB57	3×2	4.08	4.50	18.36	N24° W	115	27	V区②SB01
SB58	3×2	5.56	3.76	20.91	N27° W	116	28	V区②SB02
SB59	4×2	6.96	3.6	25.06	N63° E	84	19	V区①SB01
SB60	8×2	7.52	3.72	27.97	N68° E	172		V区①SB02
SB61	2×1	4.28	3.36	14.38	N34° W	175		V区①SB03

土坑一覧表(1)

遺構名	長軸長(m)	短軸長(m)	深さ(m)	挿図	図版	調査時地区名	調査時遺構名
SK01		1.30	0.21	230		Ⅲ区	SK33
SK02		1.50	0.35	231	43	Ⅲ区	SK14
SK03	2.35	1.60	0.52	232	43	Ⅲ区	SK09
SK04		1.80	0.60	233		Ⅲ区	SK15
SK05	1.81	1.60	0.08	234	44	Ⅲ区	SK08
SK06	4.24		0.33	235	45	Ⅲ区	SK10
SK07	3.68	1.7	0.12			Ⅲ区	SK16・17
SK08		1.02	0.32	246		Ⅲ区	SK38
SK09	0.91	0.90	0.26	246		Ⅲ区	SK02'
SK10	1.35	1.00	0.29	247		Ⅲ区	SK24
SK11	1.78	1.28	0.12	247		Ⅲ区	SK25

土坑一覽表(2)

遺構名	長軸長(m)	短軸長(m)	深さ(m)	挿図	図版	調査時地区名	調査時遺構名
SK12	2.30	1.58	0.21	241		Ⅲ区	SK22
SK13	4.52	2.70	0.14	118		Ⅲ区	SK23
SK14	2.60	1.60	0.39	237	45	Ⅲ区	SK07
SK15	1.54	1.54	0.56	238	46	Ⅲ区	SK06
SK16	1.57	1.52	0.63	238	46	Ⅲ区	SK05
SK17	1.40	1.36	0.50	238	47	Ⅲ区	SK03
SK18	2.50	2.16	0.50	239	47	Ⅲ区	SK11②
SK19	1.72	1.54	0.82	240	48	Ⅲ区	SK11①
SK20	0.94	0.72	0.19	240	49	Ⅲ区	SK04
SK21	1.68	1.66	0.75	240	49	Ⅲ区	SK02
SK22	0.99	0.94	0.51	241	50	Ⅲ区	SK01
SK23	1.14		0.15	247	52	Ⅲ区	SK13
SK24	1.96	1.88	0.37	241	50	Ⅲ区	SK12
SK25	2.37	0.96	0.24	248		Ⅲ区	SK20
SK26	3.58	1.50	0.33	248		Ⅲ区	SK21
SK27	2.88	0.92	0.20	248		Ⅲ区	SK26
SK28	2.18	1.44	0.10	249		Ⅲ区	SK31
SK29	1.55	0.72	0.16	249		Ⅲ区	SK30
SK30	1.96	1.77	0.18	249	52	Ⅲ区	SK18
SK31	0.88	0.84	0.05	249		Ⅲ区	SK34
SK32	1.21	0.90	0.12	250		Ⅲ区	SK36
SK33	1.22	1.06	0.18	250		Ⅲ区	SK37
SK34	1.60	1.22	0.17	250		Ⅱ区	SK09
SK35	0.90	0.78	0.03	250		Ⅱ区	SK10
SK36	0.93	0.92	0.04	250		Ⅱ区	SK11
SK37	3.04	1.04	0.16	251		Ⅱ区	SK12
SK38	1.35	1.24	0.09	251		Ⅱ区	SK14
SK39	1.38	0.60	0.14	251		Ⅱ区	SK13
SK40	1.31	0.88	0.35	251		Ⅱ区	SK05
SK41	2.72	0.92	0.33	181		Ⅱ区	SK04
SK42	1.52	1.52	1.26	242		Ⅱ区	SK03
SK43		1.72	0.25	26		Ⅱ区	SK01
SK44	1.49	0.94	0.10	252		Ⅱ区	SK08
SK45	2.28	1.16	0.24	252		Ⅱ区	SK02
SK46		1.18	0.10	252		I区北	SK11
SK47	2.12	1.31	0.56	252		I区北	SK12
SK48	1.26	0.66	0.12	182		I区北	SK10
SK49	3.04	1.00	0.14	253		I区北	SK15
SK50			0.35	27		I区北	SK14
SK51	3.38	2.42	0.09	253		I区	SK03
SK52	1.73	1.13	0.25	253		I区	SK08
SK53	1.03	0.92	0.20	254		I区	SK07
SK54		1.66	0.25	28	11	I区	SK02
SK55		0.56	0.37	29		I区	SK10
SK56	2.36	2.20	0.18	30		I区	SK01
SK57	1.17	0.66	0.24	31	12	I区	SK05
SK58	1.54	1.12	0.20	32	12	I区	SK04
SK59	1.46	0.96	0.14	33	13	I区	SK09
SK60	2.52	0.81	0.26	254	53	I区	SK06

土坑一覽表(3)

遺構名	長軸長(m)	短軸長(m)	深さ(m)	挿図	図版	調査時地区名	調査時遺構名
SK61			0.32	183		I区北	SK13
SK62	1.08	0.68	0.24	254		I区北	SK16
SK63	1.36	0.99	0.14	254		I区北	SK17
SK64	3.24	0.76	0.23	255		I区北	SK21
SK65	1.02	0.82	0.50	184		I区北	SK22
SK66	1.26	0.62	0.14	255		I区北	SK20
SK67	1.42	0.76	0.33	255		V区F	SK19
SK68	1.58	0.86	0.32	255		V区F	SK18
SK69	2.50	1.10	0.11	255		V区F	SK17
SK70	4.42		0.28	256		V区F	SK13
SK71	1.52	0.92	0.28	256		V区F	SK15
SK72			0.40	256	53	IV区	SK01
SK73	0.86	0.69	0.34	256	54	IV区	SK02
SK74	0.80	0.54	0.26	185		IV区	SK03
SK75	1.00	0.96	0.09	257		IV区	SK04
SK76		1.52	0.17	185		IV区	SK06
SK77	0.70	0.63	0.06	257		IV区	SK07
SK78	0.53	0.50	0.05	257		IV区	SK05
SK79		0.91	0.14	257		IV区	SK11
SK80		0.94	0.19	185		IV区	SK10
SK81	1.50	0.74	0.21	257		IV区	SK09
SK82	0.58	0.50	0.09	257		IV区	SK13
SK83	1.22	1.09	0.19	186		IV区	SK12
SK84	0.66	0.62	0.24	257		IV区	SK14
SK85	0.59	0.45	0.07	258		IV区	SK15
SK86	1.62	1.36	0.58	258		V区F	SK12
SK88	2.00	1.64	0.74	119		V区F	SK01
SK89	3.72	2.88	0.73	121	28	V区F	SK02
SK90	2.50	1.74	0.09	122		V区F	SK04
SK91	1.18	0.64	0.08	258		V区F	SK05
SK92	2.26	1.68	0.08	258		V区F	SK06
SK93		0.84	0.06	259		V区F	SK07
SK94	1.28	0.43	0.13	259		V区F	SK08
SK95		0.96	0.10	259		V区F	SK09
SK96	2.16	2.12	0.92	242		V区F	SK10
SK97	1.84		0.30	243		V区F	SK11
SK98	1.60	1.16	0.16	186	36	V区②	SK04
SK99	1.54	1.26	0.14	186	36	V区②	SK03
SK100	2.16	1.44	0.28	123	29	V区②	SK02
SK101	1.68	1.10	0.31	124	29	V区②	SK01
SK102	1.84	0.72	0.27	259	54	V区②	SK07
SK103	1.50	0.86	0.22	259	55	V区②	SK05
SK104		1.82	0.21	260		V区②	SK06
SK105	1.02	0.52	0.12	187		V区①	SK11
SK106	1.76	0.86	0.06	187		V区①	SK08
SK107	2.06	1.04	0.06	187		V区①	SK05
SK108	3.10	2.96	0.21	188	37, 38	V区①	SK03西部
SK109	4.38	2.96	0.11	189	37, 38	V区①	SK03東部
SK110	1.76	1.73	0.19	190		V区①	SK04

遺構出土遺物一覧表(1)

報告遺構名	出土遺物	調査区	調査時遺構名
SH01	弥壺1・鉢1・高坏3・小片1/2箱, 砂岩石皿1	Ⅱ区	SH02
SH02	弥5袋	Ⅱ区	SH03
SH03	弥2袋	Ⅱ区	SH01
SH04	弥ミチヲ土器1・小片1箱, スクイハ [°] -1	Ⅰ区	SH02
SH05	弥1袋	Ⅰ区	SH03
SH06	弥1箱, 須台坏1(7~8世紀)・坏蓋1	Ⅰ区	SH01
SH07	須甕1	V区①	SK01
SH08	土坏椀1・甕1・小片2	V区①	SK02
SB01 A3 SP002	弥2, 須1	Ⅲ区	A3 SP04
SB01 A3 SP003	陶器椀1	Ⅲ区	SB22-6
SB01 A3 SP005	弥5	Ⅲ区	A3 SP03
SB01 A3 SP008	弥3	Ⅲ区	A3 SP01
SB01 A3 SP011	弥1	Ⅲ区	SB22-1
SB01 A3 SP012	弥4	Ⅲ区	A3 SP06
SB04 B2 SP044	土1	Ⅲ区	SB05-14
SB04 B2 SP054	土播鉢1	Ⅲ区	SB05-4
SB04 B2 SP068	土1, 丸瓦1	Ⅲ区	SB05-9
SB04 B2 SP080	土1	Ⅲ区	SB05-12
SB04 C2 SP001	弥土5, 須1	Ⅲ区	SB05-11
SB04 C2 SP005	須1, 土2	Ⅲ区	SB05-10
SB05 B2 SP094	土1, 須1	Ⅲ区	SB23-9
SB05 B3 SP028	染付皿1(近世末以降)	Ⅲ区	SB23-1
SB06 B2 SP088	弥1	Ⅲ区	B2 SP29 SB06
SB06 C2 SP009	弥土1	Ⅲ区	SB06-3
SB06 C2 SP012	土1, 唐津焼1	Ⅲ区	SB06-6
SB06 C2 SP013	土1	Ⅲ区	SB06-7
SB06 C2 SP019	土1(野壺)	Ⅲ区	SB06-8
SB06 C2 SP023	土3	Ⅲ区	SB06-14
SB06 C2 SP028	弥1, 土釜1・小片1	Ⅲ区	SB06-11
SB06 C2 SP029	土3, 須1	Ⅲ区	SB06-9
SB07 B3 SP009	弥3, 土1	Ⅲ区	SB25-1
SB08	弥5, 須2	Ⅲ区	SB12関係トット
SB08 B3 SP034	土1	Ⅲ区	SB12-28
SB08 B3 SP035	弥1	Ⅲ区	SB12-29
SB08 B3 SP037	土坏1・坏椀3・小片2, 須甕1	Ⅲ区	B3 SP08 SB12
SB08 B3 SP040	土1	Ⅲ区	SB12-22
SB08 B3 SP041	弥3, 須坏1	Ⅲ区	SB12-23
SB08 B3 SP042	弥4, 須1	Ⅲ区	SB12-24
SB08 B3 SP043	弥2, 土1, 瓦質1	Ⅲ区	SB12-16
SB08 B3 SP045	須2	Ⅲ区	SB12-18
SB08 B3 SP046	弥1, 土坏4・土鍋1	Ⅲ区	SB12-10
SB08 B3 SP047	弥1	Ⅲ区	SB12-11
SB08 B3 SP048	弥2, 須坏蓋1	Ⅲ区	SB12-12
SB08 B3 SP049	弥4	Ⅲ区	SB12-7
SB08 B3 SP050	土2	Ⅲ区	SB12-1
SB08 B3 SP054	弥土2	Ⅲ区	SB12-4
SB08 B3 SP055	弥2, 須2	Ⅲ区	SB12-5
SB08 C3 SP012	弥1, 土3	Ⅲ区	SB12-30
SB08 C3 SP013	弥2, 土坏1・小片1, 須1	Ⅲ区	SB12-31

遺構出土遺物一覧表(2)

報告遺構名	出土遺物	調査区	調査時遺構名
SB08 C3 SP014	弥2	Ⅲ区	SB12-32
SB08 C3 SP016	弥2	Ⅲ区	SB12-33
SB08 C3 SP017	弥1, 土坏1・小片5	Ⅲ区	C3 SP39 SB12
SB08 C3 SP019	弥5	Ⅲ区	SB12-26
SB08 C3 SP020	土1	Ⅲ区	SB12-25
SB08 C3 SP021	弥3, 土1, 須1	Ⅲ区	SB12-19
SB08 C3 SP024	弥7, 土2	Ⅲ区	SB12-13
SB08 C3 SP028	弥1, 須甕1	Ⅲ区	SB12-9
SB08 C3 SP029	弥5, 須1	Ⅲ区	SB12-15
SB08 C3 SP030	弥2, 土大甕4, 須2	Ⅲ区	SB12-21
SB08 C3 SP031	弥1	Ⅲ区	SA01-2 SB12
SB08 C3 SP033	弥1, 須坏1	Ⅲ区	SA01-3 SB12
SB08 C3 SP034	弥1, 土1, 須壺1・小片2	Ⅲ区	SA01-4 SB12
SB09 B4 SP010	弥数点, 土面取脚高坏1, 須坏1・台坏1・小片1	Ⅲ区	SB18-6
SB09 B4 SP012	弥3	Ⅲ区	SB18-7
SB09 B4 SP012	土14, 須坏1・小片3	Ⅲ区	SK01'
SB09 B4 SP022	弥8	Ⅲ区	SB18-4
SB09 B4 SP024	弥9, 須坏1	Ⅲ区	SB18-3
SB09 B4 SP026	土坏1・皿1(暗文), 須坏3	Ⅲ区	SB18-2
SB09 B4 SP031	弥1, 須甕3	Ⅲ区	SB18-1
SB09 B4 SP033	弥2	Ⅲ区	B4 SP62
SB10 B4 SP019	弥4, 土1	Ⅲ区	SB17-5
SB10 B4 SP020	弥1	Ⅲ区	SB17-4
SB10 B4 SP028	弥1	Ⅲ区	SB17-3
SB10 B4 SP029	土3	Ⅲ区	SB17-2
SB11 B4 SP034	弥1	Ⅲ区	SB16-3
SB11 B4 SP052	弥2, 鉄刀子1	Ⅲ区	SB16-5
SB11 B4 SP053	須坏1	Ⅲ区	SB16-4
SB12 B4 SP087	弥7	Ⅲ区	SB19-7
SB12 B4 SP090	弥2, 須台坏1	Ⅲ区	SB19-1
SB12 B4 SP091	弥3	Ⅲ区	SB19-2
SB12 B4 SP094	弥3, 須台坏1	Ⅲ区	SB19-6
SB12 B4 SP102	須甕2	Ⅲ区	SB19-5
SB12 B4 SP103	須台坏1・小片2	Ⅲ区	SB19-4
SB13 B4 SP064	弥1	Ⅲ区	SB15-6
SB13 B4 SP066	土1	Ⅲ区	SB15-5
SB13 B4 SP070	弥6	Ⅲ区	SB15-8
SB13 B4 SP081	弥2	Ⅲ区	SB15-1
SB13 B4 SP083	弥1	Ⅲ区	SB15-3
SB14 C2 SP030	土1	Ⅲ区	SB07-1
SB14 C2 SP032	炭	Ⅲ区	SB07-14
SB14 C2 SP034	唐津縁溝皿1	Ⅲ区	SB07-3
SB14 C2 SP037	須坏1, 染付(近世)1	Ⅲ区	SB07-4
SB14 C2 SP056	土1(ほうろく?)	Ⅲ区	SB07-5
SB14 C2 SP069	弥土3	Ⅲ区	SB07-9
SB14 C2 SP071	陶器皿1	Ⅲ区	SB07-11
SB15 C2 SP046	陶器1(唐津?)	Ⅲ区	SB03-4
SB15 C2 SP058	青磁1, ほうろく1	Ⅲ区	SB03-3
SB15 C2 SP078	土1	Ⅲ区	SB03-21

遺構出土遺物一覧表(3)

報告遺構名	出土遺物	調査区	調査時遺構名
SB15 C2 SP083	土1	Ⅲ区	SB03-17
SB15 C2 SP086	弥土3	Ⅲ区	SB03-14
SB15 C2 SP093	弥1	Ⅲ区	SB03-9
SB16 C2 SP105	土3, 焼土	Ⅲ区	SB08-10
SB16 C2 SP108	土插鉢1(二次熱)・小片1, 須1	Ⅲ区	SB08-9
SB16 C2 SP114	唐津椀1	Ⅲ区	SB08-1
SB16 C2 SP173	土釜1	Ⅲ区	SB08-6
SB17 C2 SP122	弥3, 須1	Ⅲ区	SB01-11
SB17 C2 SP123	弥数点, 土数点	Ⅲ区	SB01-2
SB17 C2 SP182	弥数点, 土数点, 須2	Ⅲ区	SB01-3
SB17 C2 SP188	弥1	Ⅲ区	SB01-13
SB17 C3 SP077	須壺1	Ⅲ区	C3 SP03 SB01
SB17 C3 SP079	弥4	Ⅲ区	SB01-1
SB17 C3 SP085	弥3	Ⅲ区	SB01-8
SB17 C3 SP095	須1	Ⅲ区	SB01-4
SB17 C3 SP101	弥4, 須坏1	Ⅲ区	SB01-5
SB17 C3 SP102	弥1, 土1	Ⅲ区	SB01-14
SB17 C3 SP103	弥土数片	Ⅲ区	SB01-15
SB17 C3 SP107	土小皿1	Ⅲ区	SB01-16
SB17 C3 SP108	弥5, 須1	Ⅲ区	SB01-6
SB17 C3 SP114	弥2	Ⅲ区	C3 SP18 SB01
SB17 C3 SP115	弥4, 須甕1	Ⅲ区	SB01-7
SB17 C3 SP116	弥土数片, 須1	Ⅲ区	SB01-17
SB18 C2 SP144	須甕1	Ⅲ区	SB02-9
SB18 C2 SP153	土1	Ⅲ区	SB02-12
SB18 C2 SP160	須1	Ⅲ区	SB02-5
SB18 C2 SP164	近世素焼土器1	Ⅲ区	SB02-6
SB19 C3 SP098	弥1, 須甕1	Ⅲ区	SB09-11
SB19 C3 SP186	土2	Ⅲ区	SB09-13
SB20 D3 SP001	弥4	Ⅲ区	SB10-4
SB20 D3 SP002	土坏1	Ⅲ区	SB10-5
SB20 D3 SP003	土小皿2・小片10(糸切り底あり), 中国産青磁皿1	Ⅲ区	SB10-6
SB20 D3 SP105	弥1, 土3	Ⅲ区	SB10-2
SB21 C3 SP042	弥11, 土5, 甕2・小片1	Ⅲ区	C3N SP10
SB21 C3 SP042	須2	Ⅲ区	C3 SP43 SB27
SB21 C3 SP044	弥3, 土1	Ⅲ区	C3 SP45 SB27
SB21 C3 SP048	弥1	Ⅲ区	C3 SP50 SB27
SB21 C3 SP051	土坏1	Ⅲ区	SB13-5 SB27
SB22 C3 SP054	弥1, 須2	Ⅲ区	SB13-1
SB22 C3 SP058	弥4	Ⅲ区	SB13-9
SB23	土1	Ⅲ区	SB14関係ヒット
SB23 C3 SP050	須坏1	Ⅲ区	SB14-7
SB23 C3 SP052	弥1	Ⅲ区	SB14-1
SB23 C3 SP056	弥1, 土1	Ⅲ区	SB14-2
SB23 C3 SP059	弥2, 土1	Ⅲ区	SB14-8
SB23 C3 SP061	弥1, 土2	Ⅲ区	SB14-3
SB23 C3 SP062	弥2, 土3	Ⅲ区	SB14-9
SB23 C3 SP063	弥2, 土2, 須1	Ⅲ区	SB14-12
SB23 C3 SP065	弥2	Ⅲ区	SB14-5

遺構出土遺物一覽表(4)

報告遺構名	出土遺物	調査区	調査時遺構名
SB23 C3 SP067	土坏1	Ⅲ区	SB14-15
SB23 C3 SP069	弥6, 土5, 須1, 西椀1	Ⅲ区	SB14-13
SB24 C5 SP001	弥1	Ⅲ区	SB21-3
SB24 C5 SP008	弥2	Ⅲ区	SB21-7
SB25 D2 SP002	須1	Ⅲ区	SB11-5
SB26 D4 SP016	弥数10, 須坏1・甕1	Ⅱ区	SB08-7
SB26 D4 SP017	弥10数片	Ⅱ区	SB08-6
SB26 D5 SP022	弥10数片, 打製石包丁	Ⅱ区	SB08-1
SB26 D5 SP023	弥4	Ⅱ区	SB08-8
SB26 D5 SP028	弥数10	Ⅱ区	SB08-2
SB26 D5 SP029	弥10数片, 須壺1	Ⅱ区	SB08-3
SB26 D5 SP030	弥10, 土坏1	Ⅱ区	SB08-4
SB26 D5 SP031	弥10数片	Ⅱ区	SB08-5
SB27 C3 SP047	弥13, 土13, 須1	Ⅲ区	C3 SP49
SB27 D5 SP015	弥2, 須1	Ⅱ区	SB07-1
SB27 D5 SP016	弥2, 須1	Ⅱ区	SB07-9
SB27 D5 SP017	弥3	Ⅱ区	SB07-8
SB27 D5 SP018	弥6	Ⅱ区	SB07-2
SB27 D5 SP021	弥11	Ⅱ区	SB07-7
SB27 D5 SP024	弥24, 須坏1	Ⅱ区	SB07-3
SB27 D5 SP026	弥5	Ⅱ区	SB07-4
SB27 D5 SP027	弥20	Ⅱ区	SB07-5
SB28 E3 S0027	弥2, 土2	Ⅱ区南	SB01-4
SB28 E3 SP023	土1	Ⅱ区南	SB01-5
SB28 E3 SP029	弥2	Ⅱ区	SB01-6
SB28 E3 SP031	弥2, 土1, 黒2	Ⅱ区	SB01-7
SB28 E4 SP002	弥5	Ⅱ区	SB01-9
SB28 E4 SP003	弥2	Ⅱ区	SB01-10
SB28 E4 SP003	弥1	Ⅱ区	SP68
SB28 E4 SP008	土小皿2・坏1・小片4	Ⅱ区	SB01-3
SB28 E4 SP011	弥3, 土1	Ⅱ区	SB01-1
SB29 E5 SP012	弥1	Ⅱ区	SB09-3
SB29 E5 SP019	弥18, 土1	Ⅱ区	SP12
SB29 E5 SP021	弥5	Ⅱ区	SB09-4
SB30 E5 SP020	弥4	Ⅱ区	SB10-1
SB30 E5 SP023	弥11	Ⅱ区	SB10-3
SB30 E5 SP026	弥8	Ⅱ区	SB10-6
SB31 E6 SP007	弥鉢1	Ⅱ区	SB06-4
SB32 F5 SP003	弥1	Ⅱ区	SP14
SB32 F5 SP004	弥2	Ⅱ区南	SB04 SP07
SB32 F5 SP005	弥7, 土2	Ⅱ区南	SB04 SP06
SB32 F5 SP007	弥6	Ⅱ区南	SB04 SP08
SB32 F5 SP008	弥8, 土2	Ⅱ区	SB04北東隅 SP109
SB33 E8 SP002	弥高坏1・小片6	I区北	SB10-6
SB33 E8 SP008	弥1	I区北	SB10-2
SB34 G6 SP011	弥2	I区	SB09-1
SB34 G6 SP012	弥1	I区	SB09-7
SB35 G6 SP001	弥11	I区	SB07-3
SB35 G6 SP002	弥1	I区	SB07-2

遺構出土遺物一覧表(5)

報告遺構名	出土遺物	調査区	調査時遺構名
SB35 G6 SP003	弥12	I区	SB07-1
SB35 G6 SP004	弥壺3・小片25	I区	SB07-6
SB35 G6 SP006	弥18	I区	SB07-4
SB36	弥21	I区	SB05
SB36 G7 SP005	弥8	I区	SB05-10
SB36 G7 SP006	弥2, 須坏蓋1	I区	SB05-9
SB36 G7 SP007	弥2	I区	SB05-8
SB36 G7 SP008	弥5	I区	SB05-7
SB36 G7 SP009	弥7	I区	SB05-6
SB36 G7 SP010	弥5, 土赤彩皿1	I区	SB05-5
SB36 G7 SP013	弥1	I区	SB05-18
SB36 G7 SP015	弥2	I区	SB05-11
SB36 G7 SP016	弥9, 須坏蓋1	I区	SB05-1
SB36 G7 SP017	弥3	I区	SB05-2
SB36 G7 SP018	弥4	I区	SB05-3
SB36 G7 SP019	弥16, 土2, 須坏1・坏蓋1	I区	SB05-16
SB36 H7 SP001	弥1	I区	SB05-4
SB37	弥1	I区	SB04
SB37 H7 SP004	弥1	I区	SB04-6
SB37 H7 SP006	弥20, 須坏1	I区	SB04-7
SB37 H7 SP011	弥2, 土1	I区	SB04-2
SB37 H7 SP012	弥6, 須坏蓋1	I区	SB04-3
SB37 H7 SP014	弥10	I区	SB04-4
SB38 G8 SP006	弥4, 堺搦鉢?1	I区	SB02-2
SB38 G8 SP009	弥甕1・小片8, 土1	I区	SB02-9
SB38 H8 SP010	弥4	I区	SB02-8
SB38 H8 SP014	須台坏1	I区	SB02-4
SB39 G8 SP013	弥2, 須坏蓋1	I区	SB08-1
SB39 G8 SP015	弥2	I区	SB08-7
SB39 G8 SP017	弥6, 土坏1	I区	SB08-9
SB39 G8 SP020	弥5, 土坏1, 須甕1	I区	SB08-2
SB39 G8 SP021	弥1	I区	SB08-5
SB40 G8 SP038	弥5, 土2	I区	SB01-7
SB40 G8 SP039	弥2	I区	SB01-6
SB40 G8 SP040	弥6	I区	SB01-8
SB40 G8 SP041	弥3	I区	SB01-9
SB40 G9 SP004	弥8	I区	SB01-12
SB40 H8 SP018	弥4	I区	SB01-4
SB40 H9 SP001	弥12	I区	SB01-3
SB40 H9 SP002	弥18, 土1	I区	SB01-2
SB40 H9 SP003	弥31	I区	SB01-1
SB41 H8 SP006	弥1	I区	SB03-1
SB42	弥鉢1	I区	SB06
SB42 H7 SP024	弥4	I区	SB06 P11
SB43 F10 SP001	弥1, 須坏蓋1・小片1	I区北	SB11-1
SB43 G10 SP013	土1, 須坏皿1	I区北	SP17 SB11
SB43 G10 SP029	土1	I区北	SP15 SB11
SB43 G10 SP030	弥1, 土坏1・小片1	I区北	SB11-2
SB43 G10 SP037	土小皿1・坏1・小片3, 西坏1	I区北	SB11-3

遺構出土遺物一覧表(6)

報告遺構名	出土遺物	調査区	調査時遺構名
SB43 G10 SP038	弥1	I 区北	SP48 SB11
SB43 G10 SP047	土坏椀1・小片2	I 区北	SP63 SB11
SB44 G10 SP027	弥2	I 区北	SB12-6
SB44 G10 SP031	弥3, 土1, 黒1	I 区北	SB12-4
SB44 G10 SP033	須坏1	I 区北	SB12-5
SB44 G10 SP046	土3	I 区北	SB12-7
SB44 G10 SP066	弥4, 須坏1	I 区北	SB12-9
SB44 G10 SP079	弥1, 土皿1・小片1	I 区北	SB12-1
SB44 G10 SP083	須坏1	I 区北	SB12-3
SB45 G10 SP022・023	弥2, 土2	I 区北	SB13-9
SB45 G10 SP028	弥1, 須坏1	I 区北	SB13-10
SB45 G10 SP032	弥1	I 区北	SB13-1
SB45 G10 SP051	弥1, 土坏1	I 区北	SB13-8
SB45 G10 SP058	弥2	I 区北	SB13-7
SB45 G10 SP076	弥2	I 区北	SB13-4
SB45 G10 SP078	弥1	I 区北	SB13-2
SB46 H8 SP019	弥1, 土1	IV 区	SB03 1
SB46 H9 SP006	弥2	IV 区	SB03-5
SB47 J10 SP007	土坏椀皿2・小片4, 黒B2	IV 区	SP07 SB04
SB47 K10 SP019	土坏1	IV 区	SP19 SB04
SB48 K10 SP002	土坏椀5・坏皿2・小片8	IV 区	SP23 SB05
SB48 K10 SP007	土坏1・坏皿1・小片1	IV 区	SP21 SB05
SB48 K10 SP009	土2, 須1	IV 区	SP22
SB48 K10 SP024	土坏椀1・椀1(瓦質あるいは内黒?)・小片2	IV 区	SP33 SB05
SB48 K10 SP028	土椀1・皿坏椀1・坏椀2・小片9, 須坏椀2・甗1	IV 区	SP37 SB05
SB48 K10 SP26	土坏椀3・赤彩小皿1・小片6, 須甗1	IV 区	SP35 SB05
SB49 K10 SP033	土坏2・小片1	IV 区	SB02 1
SB50 K11 SP001	土7, 瓦質2	IV 区	SB01-2
SB50 K11 SP007	弥3, 土小皿1・小片4, 須坏1	IV 区	SB01-4
SB51 I12 SP003	弥2	V 区F	SB01 3
SB51 I12 SP005	弥2	V 区F	SB01-8
SB51 I12 SP006	弥甗1	V 区F	SB01-12
SB51 I12 SP009	弥1	V 区F	SB01-9
SB51 I12 SP012	弥4, 土椀1・小片1, 陶器1, 染付(現代)1, 青磁1, 白磁1	V 区F	SB01-7
SB52 J12 SP005	弥9	V 区F	SB02-1
SB52 J12 SP009	弥7	V 区F	SB02-8
SB52 J12 SP012	弥3	V 区F	SB02-10
SB52 J12 SP014	弥2	V 区F	SB02-5
SB53 J12 SP025	弥1	V 区F	SB03-4
SB53 J12 SP026	弥1	V 区F	SB03-6
SB53 J12 SP027	弥1, 須甗1	V 区F	SB03-10
SB53 J12 SP029	弥1	V 区F	SB03-8
SB53 J13 SP003	弥3	V 区F	SP09
SB53 J13 SP005	弥2	V 区F	SP08
SB53 J13 SP008	弥1	V 区F	SB03-7
SB55 J12 SP044	弥2, 須1	V 区F	SB04-1
SB55 J12 SP045	弥2	V 区F	SB04-2
SB55 J12 SP047	弥2, 須壺1	V 区F	SB04 4

遺構出土遺物一覧表(7)

報告遺構名	出土遺物	調査区	調査時遺構名
SB55 J12 SP048	弥1	V区F	SB04-6
SB55 J12 SP049	弥7, 土1, 須1	V区F	SB04-5
SB55 J12 SP050	弥1, 須1	V区F	SB04-7
SB56 J13 SP028	弥1	V区②	SB03-7 SP63
SB56 J13 SP029	土坏皿1	V区②	SB03-7' SP63の中
SB56 J13 SP035	弥15, 土15, 須壺1	V区②	SB03-8 SP60
SB56 J13 SP036・037・038	弥3, 須甕1・小片1	V区②	SB03-9 SP39
SB56 J13 SP039	弥1, 土2, 須1	V区②	SB03-10 SP142
SB56 K13 SP005	弥2	V区②	SB03-6 SP65
SB56 K13 SP006	弥3, 須坏1	V区②	SB03-5 SP66
SB56 K13 SP009	弥4, 須1	V区②	SB03-2 SP74
SB56 K13 SP010	弥1	V区②	SB03-1 SP42西
SB56 K13 SP010	弥4	V区②	SB03-1 SP42
SB57 K13 SP036	弥2	V区②	SB01-9 SP26
SB57 K13 SP037	土1, 須坏1	V区②	SB01-8 SP27
SB57 K13 SP038	弥1	V区②	SB01-7 SP28
SB57 K13 SP039	弥2	V区②	SB01-6' SB01-4北 SP29 の北
SB57 K13 SP039・040	弥2, 須坏蓋1	V区②	SP29
SB57 K13 SP040	弥2, 土暗文皿1	V区②	SP29南
SB57 K13 SP041	弥3	V区②	SB01-5' SP30北
SB57 K13 SP042	弥1, 須坏1	V区②	SP30南
SB57 K13 SP044	弥3	V区②	SB01-4' SB01-6中
SB57 K13 SP044・045	土1	V区②	SP31
SB57 K13 SP045	土1, 須坏1	V区②	SP31南
SB57 K13 SP047	須1	V区②	SB01-3' SP32北
SB57 K13 SP047	弥2, 土1, 須坏2	V区②	SB01-7北, SB01-3' SP32
SB57 K13 SP047	弥2	V区②	SB01-3 SP32中央
SB57 K13 SP049	弥5, 土3	V区②	SB01-2 SP33
SB57 K13 SP051	弥2, 須1	V区②	SB01-1 SP34
SB58 K13 SP076	弥4	V区②	SP114
SB58 K13 SP078	弥1, 土皿(暗文)1・暗文皿1・小片1, 須坏1, 坏蓋1	V区②	SB02-9 SP108
SB58 K13 SP079	弥2, 須甕1	V区②	SB02-8 SP117西
SB58 K13 SP080	弥1, 土2, 須坏1	V区②	SP117
SB58 K13 SP081	土皿1	V区②	SB02-7 SP118
SB58 K13 SP082	弥2	V区②	SB02-6 SP119
SB58 K13 SP083	弥5, 土1	V区②	SB02-5 SP120
SB58 K13 SP085	弥1, 土坏1	V区②	SB02-3' SP123
SB58 K13 SP087	弥5, 土2	V区②	SB02-2' SP125
SB58 K13 SP088	弥2, 土4, 須坏1	V区②	SP126
SB58 K13 SP090	弥1	V区②	SB02-10 SP112
SB59 K14 SP009	弥2, 須台坏1・小片1, 烧土	V区①	SB01-7 SP145
SB59 K14 SP011	弥1	V区①	SB01-11 SB01-8 SP141
SB59 K14 SP012	弥1	V区①	SB01-9 SP135
SB59 L14 SP028	須坏1	V区①	SB01-3柱拔跡

遺構出土遺物一覧表(8)

報告遺構名	出土遺物	調査区	調査時遺構名
SB59 L14 SP028	弥2	V区①	SB01-5 SP214
SB60 L14 SP001	土1	V区①	SP281
SB60 L14 SP004	須坏1	V区①	SP153 SB02
SB60 L14 SP005	土1	V区①	SP294 SB02
SB60 L14 SP006	土1, 不明鉄器	V区①	SP154 SB02
SB60 L14 SP012	土1	V区①	SP261
SB60 L14 SP079	土坏1・小片1	V区①	SP103 SB02
SB60 L14 SP080	土2	V区①	SP100 SB02
SB60 L14 SP080	土釜1・小片1	V区①	SP99 SB02
SB60 L14 SP082	土4	V区①	SP64
SB60 L14 SP083	須1	V区①	SP283
SB60 L14 SP086	西坏1	V区①	SP59 SB02
SB60 L14 SP088	土小皿1・小片2	V区①	SP113 SB02
SB60 L14 SP091	土坏1・坏皿1・坏碗4・小片3, 西1, 烧土	V区①	SP116 SB02
SB60 L14 SP199	土皿1	V区①	SP83 SB02
SB60 L14 SP199・200	土坏1	V区①	SP82、SP83 SB02
SB60 L14 SP200	土坏1・小片12	V区①	SP82 SB02
SB61 L14 SP081	土坏1	V区①	SP290 SB02
SB61 L14 SP130	土1	V区①	SP29
SB61 L14 SP132	土小皿2・坏1	V区①	SP38 SB03
SB61 L14 SP133	土4	V区①	SP286
SB61 L14 SP136	土1, 須1	V区①	SK03西部集石下ヒット3 SB03
SB61 L14 SP137	土釜鍋1・小片2, 須台坏1	V区①	SK03西部集石ヒット7 SB03
SB61 L14 SP138	土坏3, 烧土4	V区①	SP21 SB03
SB61 L14 SP142	土坏3・釜1・小片4	V区①	SP24 SB03
SB61 L14 SP143	土2	V区①	SP30
SA02 C3 SP037	須坏1	Ⅲ区	C3 SP44
SA03 C5 SP016	弥4	Ⅲ区	SA02-1
SA03 C5 SP017	弥3	Ⅲ区	SA02-2
SA03 D5 SP002	土1	Ⅲ区	SA02-4
SA03 D5 SP005	弥1, 須坏1	Ⅲ区	SA02-6
SA03 D5 SP006	須坏1	Ⅲ区	SA02-7
SA03 D5 SP010	弥1	Ⅲ区	SA02-11
SA04 H7 SP018	弥13	I区	SA01-1
SA04 H7 SP019	弥8, 土1	I区	SA01-2
SA04 H8 SP001	弥9	I区	SA01-3
SA04 H8 SP002	弥8, 須坏1	I区	SA01-4
B2 SP028	弥12, 須坏1・小片2	Ⅲ区	B2 SP07
B2 SP041	炭	Ⅲ区	B2 SP23
B2 SP063	土1	Ⅲ区	B2 SP56
B2 SP066	土1	Ⅲ区	B2 SP54
B2 SP070	土2, 唐津縁溝皿1	Ⅲ区	B2 SP50
B2 SP073	弥1, 土1	Ⅲ区	B2 SP48
B2 SP074	土2	Ⅲ区	B2 SP51
B2 SP076	弥2, 須1	Ⅲ区	B2 SP55
B2 SP097	弥2, 須台坏1(8世紀後半)・小片2	Ⅲ区	B2 SP08
B3 SP031	弥4, 土1	Ⅲ区	B3 SP12

遺構出土遺物一覧表(9)

報告遺構名	出土遺物	調査区	調査時遺構名
B3 SP056	弥1	Ⅲ区	B3 SP03
B3 SP057	弥2	Ⅲ区	B3 SP02
B3 SP058	弥5, 須1	Ⅲ区	B3 SP01
B4 SP002	土2	Ⅲ区	B4 SP63
B4 SP005	弥1	Ⅲ区	SB20-2
B4 SP006	土1	Ⅲ区	SB20-3
B4 SP008	土1	Ⅲ区	B4 SP43
B4 SP013	須台坏1	Ⅲ区	B4 SP07
B4 SP021	土坏碗1・小片1	Ⅲ区	B4 SP42
B4 SP023	弥鉢1・小片1, 須1	Ⅲ区	B4 SP40
B4 SP030	弥1	Ⅲ区	SB16-6 SBではない
B4 SP056	土1	Ⅲ区	B4 SP08
B4 SP074	土1	Ⅲ区	B4 SP12
B4 SP075	弥5	Ⅲ区	B4 SP51
B4 SP079	弥1	Ⅲ区	B4 SP52
B4 SP080	弥1	Ⅲ区	B4 SP53
B4 SP096	弥1	Ⅲ区	B4 SP25
B4 SP097	土釜1	Ⅲ区	B4 SP56
B4 SP112	弥1	Ⅲ区	B4 SP18
B4 SP114	弥1	Ⅲ区	B4 SP16
C1 SP007	土6	Ⅲ区	C1 SP06
C1 SP008	土1	Ⅲ区	C1 SP07
C2 SP016	弥3	Ⅲ区	C2 SP50
C2 SP020	土1	Ⅲ区	C2 SP13
C2 SP025	弥5, 土1	Ⅲ区	C2 SP41
C2 SP027	弥土2, 鉄絵文様の陶器1	Ⅲ区	C2 SP138
C2 SP031	土3	Ⅲ区	C2 SP46
C2 SP039	土1	Ⅲ区	C2 SP14
C2 SP041	土釜1	Ⅲ区	C2 SP15
C2 SP043	土1	Ⅲ区	C2 SP120
C2 SP050	須1	Ⅲ区	C2 SP21
C2 SP062	土小皿1	Ⅲ区	C2 SP28
C2 SP064	土1	Ⅲ区	C2 SP26
C2 SP100	土皿1・小片1	Ⅲ区	C2 SP42
C2 SP102	弥2	Ⅲ区	C2 SP44
C2 SP103	土1	Ⅲ区	C2 SP126
C2 SP104	須1	Ⅲ区	C2 SP125
C2 SP111	土1	Ⅲ区	C2 SP56
C2 SP119	弥2, 土2	Ⅲ区	C2 SP61
C2 SP124	弥5, 土坏1・小片2	Ⅲ区	C2 SP128
C2 SP128	土1	Ⅲ区	C2 SP68
C2 SP139	土大甕数10片・鍋1・小片1, 唐津縁溝皿1	Ⅲ区	C2 SP77
C2 SP141	土1	Ⅲ区	C2 SP106
C2 SP147	土1	Ⅲ区	C2 SP114
C2 SP170	土1, 須1	Ⅲ区	C2 SP79
C2 SP174	弥1	Ⅲ区	C2 SP127
C2 SP180	弥1	Ⅲ区	C2 SP130
C2 SP184	須1	Ⅲ区	C2 SP85
C2 SP202	土1, 須甕1	Ⅲ区	C2 SP90

遺構出土遺物一覧表(10)

報告遺構名	出土遺物	調査区	調査時遺構名
C2 SP206	弥1, 土1	Ⅲ区	C2 SP95
C2 SP207	土1, 須1	Ⅲ区	C2 SP99
C2 SP212	土4	Ⅲ区	C2 SP124
C2 SP215	土1, 陶器碗1, 青磁染付碗1, いぶし焼き平瓦1	Ⅲ区	C2 SP123
C3 SP022	弥9, 土小皿1・坏1・小片3, 須2	Ⅲ区	C3 SP36
C3 SP032	土2	Ⅲ区	C3 SP38
C3 SP039	弥4, 須1	Ⅲ区	C3 SP47
C3 SP046	弥2	Ⅲ区	C3 SP48
C3 SP068	弥1	Ⅲ区	C3N SP30
C3 SP070	土1	Ⅲ区	C3 SP31
C3 SP074	土1, 須1	Ⅲ区	C3 SP34
C3 SP074	弥5, 土3, 須甕2・小片5	Ⅲ区	C3N SP34
C3 SP082	土1, 須1	Ⅲ区	C3 SP08
C3 SP086	土1	Ⅲ区	C3 SP15
C3 SP087	弥2, 土小皿1, 黒A1	Ⅲ区	C3 SP24
C3 SP091	弥1	Ⅲ区	C3 SP12
C3 SP092	弥1	Ⅲ区	C3 SP11
C3 SP119	須坏蓋1・小片2	Ⅲ区	C3 SP07
C4 SP007	弥1	Ⅲ区	C4 SP06
D3 SP005	弥1, 土2	Ⅲ区	D3 SP01
D4 SP014	弥19	Ⅲ区	D4 SP15
D5 SP019	弥1	Ⅲ区	D5 SP03
D5 SP032	弥37	Ⅱ区	D5 SP01
D5 SP034	弥3	Ⅱ区	D5 SP02
D6 SP003	弥1	Ⅱ区	D6 SP3 1層
D6 SP005	弥7	Ⅱ区	D6 SP06
D6 SP006	弥1, 土1	Ⅱ区	D6 SP04
D6 SP007	弥2	Ⅱ区	D6 SP05
E3 SP002	弥6, 土小皿1・小片2	Ⅱ区南	SB02-1
E3 SP004	弥4, 土3	Ⅱ区南	SP98
E3 SP006	弥3	Ⅱ区南	SB02-2
E3 SP007	弥1, 土1	Ⅱ区	SP96
E3 SP009	弥1, 土坏2・小片7, 黒B1, 須1	Ⅱ区南	SP94
E3 SP011	弥2, 土椀坏2, 須鉢1, 烧土	Ⅱ区南	SP90
E3 SP012	弥2, 土1	Ⅱ区南	SP92
E3 SP014	須坏1	Ⅱ区南	SB02-3
E3 SP016	弥2	Ⅱ区南	SB02-5
E3 SP017	弥1	Ⅱ区	SP87
E3 SP018	弥1, 西椀1	Ⅱ区南	SB02-4
E3 SP019	土坏椀1	Ⅱ区	SP85
E3 SP019	弥4, 土坏1	Ⅱ区南	SP85
E3 SP020	弥1	Ⅱ区南	SP82
E3 SP028	弥3	Ⅱ区	SP83
E3 SP032	土1	Ⅱ区	SP72
E3 SP033	土3	Ⅱ区	SP74
E4 SP004	弥1	Ⅱ区	SP63
E4 SP006	弥1	Ⅱ区	SP61
E4 SP013	弥2	Ⅱ区	SP60
E4 SP016	弥4	Ⅱ区	SP57

遺構出土遺物一覧表 (11)

報告遺構名	出土遺物	調査区	調査時遺構名
E4 SP016	弥3, 土椀1・坏1	Ⅱ区南	SP57
E4 SP022	土1	Ⅱ区南	SP110
E4 SP025	弥2	Ⅱ区	SP52
E4 SP027	土1	Ⅱ区	SP54
E4 SP028	弥4	Ⅱ区南	SP51
E4 SP029	弥1	Ⅱ区南	SP107
E4 SP030	桃の種	Ⅱ区南	SP50
E4 SP033	須高坏1	Ⅱ区	SP33
E4 SP039	弥1	Ⅱ区	SP46
E4 SP042	弥6, 土2	Ⅱ区	SP25
E4 SP047	土2	Ⅱ区	SP26
E4 SP049	弥8	Ⅱ区	SP21
E5 SP003	弥5, 土1	Ⅱ区南	SP39
E5 SP004	弥1	Ⅱ区南	SP38
E5 SP005	弥7	Ⅱ区南	SP37
E5 SP008	弥8	Ⅱ区南	SP36
E5 SP009	弥1	Ⅱ区南	SP22
E5 SP010	弥9	Ⅱ区南	SP17
E5 SP011	弥2	Ⅱ区南	SP16
E5 SP016	弥3	Ⅱ区	SP10
E5 SP024	弥2	Ⅱ区	SP55
E6 SP003	弥2	Ⅱ区	E-6 SP03
E7 SP004	弥2	Ⅱ区	E7 SP03
E8 SP006	弥2	I区北	SP03
E8 SP012	土1, 陶器1	I区北	SP04
F5 SP001	弥2	Ⅱ区	SP01
F5 SP002	弥2	Ⅱ区南	SP112
F6 SP002 OR SP003	弥1, 土1	I区	SP48 or SP49
G10 SP004	弥2	I区北	SP93
G10 SP005	土3, 須坏皿1	I区北	SP19
G10 SP007	土1	I区北	SP18
G10 SP008	土坏皿1・小片2	I区北	SP37
G10 SP009	弥2	I区北	SP13
G10 SP011	弥9, 土坏皿36・小皿1, 須坏1・鉢1・小片1	I区北	SP12
G10 SP012	弥3	I区北	SP16
G10 SP015	弥3, 土坏皿3・椀1・小片2, 須坏2	I区北	SP75
G10 SP017	弥5, 土坏3・坏椀3・小片6, 須坏1・甕1	I区北	SP76
G10 SP021	弥3	I区北	SP90
G10 SP022	土1	I区北	SP91
G10 SP024	須坏蓋1・小片2	I区北	SP67
G10 SP025	弥1・土2	I区北	SP66
G10 SP049	弥3	I区北	SP70
G10 SP054	弥2, 土皿1・坏椀1・坏1・小片7, 須坏椀1	I区北	SP81
G10 SP055	土坏椀皿1・小片1, 須1	I区北	SP74
G10 SP056	土1	I区北	SP64
G10 SP061	弥1	I区北	SP88
G10 SP073	土1	I区北	SP56
G10 SP084	土坏皿1	I区北	SP69

遺構出土遺物一覧表(12)

報告遺構名	出土遺物	調査区	調査時遺構名
G10 SP085	須坏1	I区北	SP47
G7 SP004	弥2	I区	SB05-13
G7 SP014	弥3, 須坏蓋1	I区	SB05-12
G8 SP023	弥4, 須坏蓋1	I区	SH04①
G8 SP026	弥4, 須坏1	I区	SH04⑥
G8 SP031	弥2	I区	SP09
G8 SP032	弥1, 須坏蓋1	I区	SP06
G8 SP037	弥2, 須坏蓋1	I区	SH04②
G9 SP008	弥3	I区北	SP23
G9 SP011	弥5, 土小皿2・小片1	I区北	SP92
G9 SP012	弥3, 土坏皿8	I区北	SP28
G9 SP013	弥5, 土8, 須3, 東播こね鉢1	I区北	SP27
G9 SP014	弥5, 須甕1	I区北	SP26
G9 SP015	土碗坏5・小片6	I区北	SP29
G9 SP017	弥1	I区北	SP33
G9 SP018	弥1, 土坏皿坏2・小片4, 須1	I区北	SP35
G9 SP019	土坏1・坏皿3	I区北	SP31
G9 SP021	弥4, 土坏皿3・坏碗1・小片3, 須1	I区北	SP34
G9 SP023	土坏碗2・坏皿1・小片8	I区北	SP36
G9 SP025	土坏2	I区北	SP38
G9 SP026	弥1, 土坏皿碗1・小片2	I区北	SP39
G9 SP027	弥1	I区北	SP21
H7 SP020	弥4	I区	SP40
H7 SP021	弥5, 土1	I区	SP37
H8 SP011	土皿(暗文)1・小片2, 須台坏1	I区	SP23
H8 SP011	弥5, 須1	I区	SP23
H8 SP013	弥13, 土6, 須8, 青磁1, 染付1, 明治16年製硬貨	I区	SP20
H8 SP031	弥1, 土1	I区	SP09
J10 SP001	弥1	IV区	SP01
J10 SP004	弥2, 土4	IV区	SP4
J10 SP013	土坏碗2・小片1	IV区	SP82
J10 SP014	土坏碗1・碗1・小片5	IV区	SP02
J10 SP021	土坏碗皿1・小片1	IV区	SP09
J12 SP001	弥2	V区F	SP12
J12 SP003	弥2	V区F	SP11
J12 SP018	弥1	V区F	SP03 SK04南西1mのt°ト
J12 SP039	弥1	V区F	SP04
J12 SP042	弥3	V区F	SP05
J12 SP043	弥1	V区F	SP06
J13 SP001	弥2	V区F	SP10
J13 SP014	弥1	V区F	SP07
J13 SP031	土3, 須坏蓋1	V区②	SP56
J13 SP033	土1	V区②	SP58
J13 SP044	土1, 須坏碗1(瓦質?)	V区②	SP54
J13 SP052	土坏皿碗1・小片2, 須坏2・小片1	V区②	SP12
J13 SP054	土8	V区②	SP15
J13 SP056	土3	V区②	SP09
J13 SP061	土坏碗1・須1	V区②	SP06
K10 SP008	弥1	IV区	SP92

遺構出土遺物一覽表 (13)

報告遺構名	出土遺物	調査区	調査時遺構名
K10 SP010	土坏皿1・小片2	Ⅳ区	SP24
K10 SP012	土坏碗1・坏皿1・坏1・小片2, 須碗鉢1・小片1	Ⅳ区	SP78
K10 SP013	土坏碗1・小片5	Ⅳ区	SP84
K10 SP019	土1	Ⅳ区	SP30
K10 SP021	坏皿碗1・小片1	Ⅳ区	SP77
K10 SP023	土1	Ⅳ区	SP32
K10 SP029	土師質平瓦1	Ⅳ区	SP73
K10 SP030	土坏1, 須台坏1	Ⅳ区	SP72
K10 SP031	土坏皿1	Ⅳ区	SP17
K10 SP032	弥1	Ⅳ区	SP97
K10 SP034	土小皿1	Ⅳ区	SP74
K10 SP036	土2	Ⅳ区	SP76
K10 SP039	土2, 須坏碗2(瓦質?)	Ⅳ区	SP96
K10 SP043	土坏碗1・碗1・小片3	Ⅳ区	SP15
K10 SP045	土1	Ⅳ区	SP89
K10 SP048	土碗1(瓦質?)	Ⅳ区	SP93
K10 SP050	土4	Ⅳ区	SP40
K10 SP053	土坏碗1・小片1	Ⅳ区	SP94
K10 SP055	土坏碗2・坏碗皿1・小片3, 須1	Ⅳ区	SP44
K10 SP056	弥1	Ⅳ区	SP87
K10 SP057	土坏碗2・坏皿1・小片2	Ⅳ区	SP45
K10 SP059	土4, 須鉢2	Ⅳ区	SP49
K10 SP062	弥4, 土坏碗1・小片10	Ⅳ区	SP52
K10 SP25	土坏碗1(瓦質?)・坏碗1・小片16	Ⅳ区	SP34
K10 SP27	弥1, 土坏2・坏碗1・小片3	Ⅳ区	SP36
K11 SP004	土坏碗皿1・小片5, 須1	Ⅳ区	SP46
K11 SP006	土1	Ⅳ区	SP79
K13 SP002	土1, 須坏1	Ⅴ区②	SP67
K13 SP004	土1	Ⅴ区②	SP71
K13 SP026	土1	Ⅴ区②	SP25
K13 SP027	土3, 須甕1	Ⅴ区②	SP52
K13 SP029	弥10, 土2	Ⅴ区②	SP76
K13 SP030	須坏1	Ⅴ区②	SP77
K13 SP048	弥1	Ⅴ区②	SP32南
K13 SP053	土2	Ⅴ区②	SP82
K13 SP054	土1, 須甕1	Ⅴ区②	SP83
K13 SP056	土1, 須1	Ⅴ区②	SP90
K13 SP059	土1	Ⅴ区②	SP99
K13 SP066	土1	Ⅴ区②	SP102
K13 SP067	土鉢甕1・小片12	Ⅴ区②	SP101
K13 SP070	土1, 須坏皿1・小片3	Ⅴ区②	SP104
K13 SP071	弥1, 土1, 須1	Ⅴ区②	SP105
K13 SP072	土1	Ⅴ区②	SP106
K13 SP073	土5	Ⅴ区②	SP107
K13 SP074	弥1	Ⅴ区②	SP109
K13 SP077	弥1	Ⅴ区②	SP113
K14 SP003	土坏碗皿1・小片3	Ⅴ区①	SP157
K14 SP006	土坏碗1	Ⅴ区①	SP267
K14 SP018	土坏碗1・小片1	Ⅴ区①	SP134

遺構出土遺物一覧表(14)

報告遺構名	出土遺物	調査区	調査時遺構名
K14 SP020	土釜鍋1	V区①	SP129
L11 SP005	土坏1・小片1	IV区	SP60
L11 SP006	土1, 須坏皿1	IV区	SP61
L11 SP007	須甕1	IV区	SP65
L11 SP009	弥1, 土坏皿1・小片2, 須坏1	IV区	SP59
L11 SP011	土椀坏皿3・坏2・皿坏2・小片3	IV区	SP64
L11 SP056	土坏1	IV区	SP56
L13 SP002	土2	V区①	SP296
L13 SP004	土釜1・小片4, 須1	V区①	SP275
L13 SP011	土鍋1	V区①	SP220
L13 SP013	土4	V区①	SP299
L13 SP014	土釜1	V区①	SK02西南隅を切るピット
L13 SP016	弥1, 土坏1・坏皿1・釜鍋1	V区①	SP208
L13 SP017	土1	V区①	SP200
L13 SP018	焼土	V区①	SP199
L13 SP026	土1	V区①	SP298
L13 SP029	須坏1	V区①	SP192
L13 SP030	土1	V区①	SP188
L13 SP036	土小皿1・坏椀1・坏皿1・小片1	V区①	SP187
L13 SP040	土小皿1	V区①	SP186
L13 SP048	土1, 焼土	V区①	SP175
L14 SP002	土1	V区①	SP282
L14 SP003	土坏1・小片1	V区①	SP263
L14 SP007	須甕1	V区①	SP155
L14 SP011	土1	V区①	SP215
L14 SP013	土2	V区①	SP151
L14 SP014	土1	V区①	SP150
L14 SP016	土羽釜1・小片4	V区①	SP147
L14 SP017	土羽釜1・小片1	V区①	SP146
L14 SP020	土1	V区①	SP137
L14 SP029	土7, 須甕1・坏坏蓋1・小片1	V区①	SP94
L14 SP030	土皿坏1・鉢1	V区①	SP93
L14 SP034	土1	V区①	SP244
L14 SP035	須1	V区①	SP211
L14 SP044	土1	V区①	SP96
L14 SP045	土坏12	V区①	SP01
L14 SP046	土小皿1・椀皿坏1・小片1	V区①	SP95
L14 SP048	土坏12	V区①	SP213
L14 SP049	土3, 須甕1	V区①	SP222
L14 SP050	土釜鍋2・小片4	V区①	SP104
L14 SP051	土2	V区①	SP252
L14 SP053	土4	V区①	SP102
L14 SP054	土坏1	V区①	SP101
L14 SP058	西1	V区①	SP80
L14 SP061	土1, 須甕1	V区①	SP72
L14 SP062	土坏皿1	V区①	SP70
L14 SP063	土坏椀3・坏1・小片7, 土師質平瓦1	V区①	SP73
L14 SP064	須1	V区①	SP76
L14 SP067	土1	V区①	SP67-68

遺構出土遺物一覧表 (15)

報告遺構名	出土遺物	調査区	調査時遺構名
L14 SP068	土坏1	V区①	SP69
L14 SP069	土19	V区①	SP66
L14 SP071	土3	V区①	SP46
L14 SP073	土坏1	V区①	SP65
L14 SP075	土坏碗2・坏碗皿1・釜1・小片4	V区①	SP125
L14 SP076	土1, 須1	V区①	SP285
L14 SP077	土坏皿1・小片1, 須1	V区①	SP284
L14 SP083	弥2, 土16, 須甕1	V区①	SP122
L14 SP092	土坏1	V区①	SP111
L14 SP093	須甕1	V区①	SP291
L14 SP094	土3	V区①	SP110
L14 SP098	土赤彩皿1・赤彩坏碗1・小皿1・小片21, 須甕1	V区①	SP109
L14 SP101	土2	V区①	SP89
L14 SP113	土1	V区①	SP117
L14 SP116	坏碗1・釜鍋1	V区①	SP121
L14 SP117	土3	V区①	SP119
L14 SP118	土2	V区①	SP120
L14 SP121	須甕1	V区①	SP56
L14 SP129	土坏1・小片3	V区①	SP210
L14 SP141	土坏碗1	V区①	SP08
L14 SP145	土碗坏1, 須甕1・小片1	V区①	SP09
L14 SP146	土皿坏3・小皿1・小片4	V区①	SP05
L14 SP149	土2, 西坏碗1	V区①	SP240
L14 SP153	土1	V区①	SK03西集石ヒ°ット6
L14 SP154	弥1	V区①	SK03西ヒ°ット5
L14 SP156	烧土	V区①	SP35
L14 SP160	土坏碗1	V区①	SP33
L14 SP161	土4, 西坏碗1	V区①	SP31
L14 SP167	土4	V区①	東部集石下ヒ°ット1
L14 SP169	土坏碗6・坏8・小皿2・坏皿2・釜鍋5・釜1・小片11, 須坏碗1・小片1	V区①	SP238
L14 SP171	土小皿1・坏碗1・小片7, 須甕1	V区①	SP239
L14 SP172	土坏1・小片9	V区①	SP306
L14 SP173	土坏碗16・坏皿3・小皿1・坏6・小片9, 須鉢1・坏1	V区①	SP22
L14 SP174	土19	V区①	SP23
L14 SP176	土坏碗1・烧土1	V区①	SP03
L14 SP180	土9	V区①	SP06
L14 SP181	土1, 須坏1・小片1, 黒B1	V区①	SP07
L14 SP191	土鍋1・小片6, 須坏蓋1, 烧土	V区①	SP15
L14 SP193	土皿(暗文)1	V区①	SP12
L14 SP194	土1	V区①	SP280
L14 SP202	土坏皿1, 烧土	V区①	SP233
M13 SP006	土1, 須甕1・小片1	V区①	SP164
SK002	土搦鉢2・小片14, 須皿2・小片2, 石白2	Ⅲ区	SK14
SK003	土釜1・搦鉢1・甕1・小片20, 須碗1・壺1・甕1・小片7, 備前搦鉢2, 青磁1, 不明鉄片1, 石白1, #ｽｶｲﾄ2	Ⅲ区	SK09
SK004	土鉢5・搦鉢2・羽釜3・ほうろく1・大甕8・小片40, 須1, 瓦質香炉?1, 鉄釉陶器1, 京焼き風陶器碗1・小片1, 唐津刷毛目碗1, 陶器搦鉢1, 肥前系染付皿1, 染付1, 青磁香炉1, 陶器德利1・花瓶1, 備前搦鉢2	Ⅲ区	SK15
SK005	土大甕1・小片3, 須坏1・小片2, いぶし焼き瓦2, #ｽｶｲﾄ1	Ⅲ区	SK08

遺構出土遺物一覧表 (16)

報告遺構名	出土遺物	調査区	調査時遺構名
SK006	土搦鉢5・釜1・ほうろく7・大甕10・竈1・小片数10, 須台坏1・小片2, 唐津刷毛目椀2・鉢1, 唐津灰釉椀1, 京焼き風陶器椀3, 唐津縁溝皿1, 備前搦鉢3, 染付10数, 陶胎染付椀1・小片2, 青磁皿1, 陶器椀2, いぶし焼き平瓦1, 石鉢1	Ⅲ区	SK10
SK007	土ほうろく17・釜1・小片20, 須3, 備前搦鉢2, 唐津灰釉2, 唐津刷毛目2, 染付2, 陶胎染付1	Ⅲ区	SK16
SK007	弥5, 土3	Ⅲ区	SK17
SK008	弥4, 土皿2(暗文)・小片2	Ⅲ区	SK38
SK013	弥1, 土20, 須台付坏2・小片2	Ⅲ区	SK23
SK014	土釜1・小片4, 須1, 肥前系染付椀1, いぶし焼き平瓦3	Ⅲ区	SK07上部
SK015	土甕1・小片2	Ⅲ区	SK06
SK016	坏1・土釜1・釜鍋1・甕1・小片2	Ⅲ区	SK05
SK017	土甕2・小片4, 須甕1・小片1, 唐津縁溝皿1	Ⅲ区	SK03
SK018	弥細頸壺1, 土大甕1・三足甕1・小片2, 須1, 陶器1, 五輪塔1, 石白1	Ⅲ区	SK11②
SK019	須高坏1, 唐津縁溝皿1	Ⅲ区	SK11①
SK020	土8	Ⅲ区	SK04
SK022	土大甕1・搦鉢1・火鉢1・小片4, 須2, 磁器1	Ⅲ区	SK01
SK024	土大甕12・ほうろく10数・搦鉢1・小片3, 須2, 唐津縁溝皿2	Ⅲ区	SK12
SK025	弥1, 土坏1・小片5, 須坏1・台坏1・甕1・小片1	Ⅲ区	SK20
SK031	弥壺1・小片2	Ⅲ区	SK34
SK032	弥1, 土6	Ⅲ区	SK36
SK033	弥18, 土赤彩皿1・皿坏1・甕1・小片4, 須坏蓋1・甕1	Ⅲ区	SK37
SK034	弥20, 須甕1	Ⅱ区	SK09
SK036	弥4	Ⅱ区	SK11
SK037	弥1袋, 土甕1・小片1	Ⅱ区	SK12
SK038	弥1, 土鍋1 近世	Ⅱ区	SK14
SK040	弥3, 土2, 須1	Ⅱ区	SK05
SK041	弥高坏1・小片8, 土皿(暗文)1・小片1, 滑石製石鍋1	Ⅱ区	SK04
SK043	弥壺甕1・小片20	Ⅱ区	SK01
SK046	弥15, 土2, 須1	I区北	SK11
SK047	土4	I区北	SK12
SK048	弥10, 土坏4・椀坏1・釜1・小片18, 須坏1, 西坏椀1	I区北	SK10
SK049	*効付2	I区北	SK15
SK050	弥甕1・小片4袋	I区北	SK14
SK051	弥1袋, 須台坏1, 鉄滓1	I区	SK03
SK054	弥甕1・鉢1・小片2袋, 石鉢1	I区	SK02
SK055	弥1	I区	G7 SK10
SK056	弥甕1・鉢1・小片4袋	I区	SK01
SK057	弥1袋	I区	SK05
SK058	弥甕5・壺甕1・鉢1・高坏1・小片4袋, 土1, 須台坏1	I区	SK04
SK059	弥甕1・高坏1・小片3袋	I区	SK09
SK061	弥数10, 土坏7・椀2・皿2・坏4・坏椀19・釜1・小片1袋, 須坏4・小片12, 西坏1・坏椀2, 丸瓦2	I区北	SK13
SK063	土2	I区北	SK17
SK064	土皿坏1・須坏1	I区北	SK21
SK065	土坏椀3・坏4・小片3	I区北	SK22
SK070	弥2, 土1, 須台坏1・坏皿1	V区F	SK13
SK070	弥30, 土坏1・皿1・小片8, 須坏1・鉢1・甕1・小片2	V区F	SK13
SK070?	弥高坏1・小片2	V区F	SK13?

遺構出土遺物一覧表 (17)

報告遺構名	出土遺物	調査区	調査時遺構名
SK071	弥4	V区F	SK15
SK073	弥1, 土坏椀1	IV区	SK02
SK074	土小皿2・坏椀1・坏皿2・小片7	IV区	SK03
SK075	弥2	IV区	SK04
SK076	弥3, 土椀1・坏椀1・坏皿1・播鉢1・坏1・釜1・小片27, 須坏1・小片1	IV区	SK06
SK079	土1	IV区	SK11
SK080	土坏1・坏椀2・坏皿1・小片14, 西坏椀3, 須惠質平瓦1	IV区	SK10
SK081	土3, 須甕1, 石鏝1	IV区	SK09
SK082	土坏椀1・坏皿1・小片4, 西坏椀1	IV区	SK13
SK085	土1, 須1	IV区	SK15
SK086	弥壺1・小片36	V区F	SK12
SK087	弥15, 須坏1・小片1	V区F	SK03-2 1層
SK088	弥26, 土1, 須台坏1・坏蓋4・小片1	V区F	SK01
SK089	土坏椀2・坏皿1・小片4, 須坏1, 東播こね鉢1	IV区	SK12
SK089	弥甕1・小片2袋, 土羽釜1・皿(暗文)10, 須台坏4・坏3・甕6・小片14	V区F	SK02
SK090	弥6, 須坏1・台坏1・小片2	V区F	SK04
SK092	弥22, 土1, 須坏蓋1・蓋1・小片1	V区F	SK06
SK093	弥3, 土1	V区F	SK07
SK094	弥2	V区F	SK08
SK096	土小皿2・坏1・鉢2・大甕29・釜3・小片19, 須甕3・小片1, 唐津灰釉皿(砂目)1, 唐津刷毛目椀4, 備前播鉢2, 陶器(灰釉)3, 京焼風陶器1, 陶器(鉄釉)1, 陶器灯明皿2, 肥前系染付椀1・德利1・蛇の目釉剥き皿1, 白磁德利1・坏1・紅皿1, いぶし焼き瓦1・平瓦12・丸瓦3, 石鍋1, 埴付2	V区F	SK10
SK097	弥8, 土小皿1・甕1・坏椀1・小片8, 須坏蓋2・坏1・甕3・小片5, 西坏椀1, 埴付1	V区F	SK11
SK098	弥甕1, 土甕2・赤彩皿3・小片1袋, 須坏?1・甕3	V区②	SK04
SK099	弥4, 土台付皿(暗文)1・坏椀11・坏皿椀4・坏皿4・椀1・鍋釜1・甕鍋1・小片30, 須坏3・甕1・小片4, 西椀1	V区②	SK03
SK100	弥40, 土26, 須坏蓋3・台坏1・小片3	V区②	SK02
SK101	弥25, 土皿19(暗文)・竈1・小片5, 須台坏2・坏蓋1・坏4・甕3・小片3	V区②	SK01
SK104	土釜1・小片15, 須坏蓋2・壺2・甕1・小片6	V区②	SK06
SK105	土坏皿1・小片3	V区①	SK11
SK106	土坏皿1・坏椀1・鍋釜1・鍋1・小片9, 須1	V区①	SK08
SK107	土坏皿1・坏椀6・甕1・釜1・坏1・小片3, 焼土	V区①	SK05
SK108	弥1, 土釜鍋6・釜4・坏椀9・坏皿3・坏4・羽釜1・坏椀皿1・小片10, 須甕4・小片6・坏3・台坏1, 西坏椀2	V区①	SK03西部集石
SK108・109	土坏2・坏皿2・釜1・小片2, 須甕4	V区①	SK03
SK109	弥3, 土坏5・坏椀5・坏皿3・坏椀皿1・釜1・釜鍋5・小片13, 須坏1・小片4, 西坏椀1	V区①	SK03東部集石
SK110	土釜1・坏3・坏椀1・釜鍋1・坏皿椀1・小片39, 須台坏1・小片5, 西坏椀1	V区①	SK04
SE01	土大甕7・鍋1・羽釜1・小片6, 須甕1, 土師質丸瓦1・平瓦6, いぶし焼き丸瓦13・平瓦13・その他6, 埴質瓦1, 埴付1, 寛永通宝1, 鉄鋤先1	II区	SE01
SE03	弥壺18・小片1, 土大甕6・土管1・小片2, 須1, 肥前系染付椀1・蛇の目釉剥き皿1, いぶし焼き平瓦65・丸瓦14・その他3	I区	SE01
SE04	土小皿4・椀1・坏1・小片2, 須坏蓋1・坏1, 曲物1	V区①	SE01
SD002	弥6, 須1	III区	SD74
SD003	弥6, 須坏1	III区	SD75
SD005	弥甕2・小片1袋	III区	SD17
SD006	土3, 須坏蓋1	III区	SK35

遺構出土遺物一覧表(18)

報告遺構名	出土遺物	調査区	調査時遺構名
SD007	弥13	Ⅲ区	SD19
SD008	弥1袋, 土坏椀2・釜2・播鉢1・釜鍋2・小片45・鉢1, 須坏蓋2・甕1・皿1・小片6, 染付蛇の目釉剥き皿1, 白磁1, 磁器1	Ⅲ区	B2 SD07
SD008	弥77, 土坏1・鉢2・播鉢1・釜3・小片4, 須坏1・蓋1・壺1・甕2・小片4	Ⅲ区	SD07
SD009	弥5, 大甕1・釜鍋2・小片11, 須2, 陶器3(植木鉢?), #3411	Ⅲ区	SD02
SD010	弥5, 須甕1・小片1, 磁器1	Ⅲ区	SD01
SD014	弥6, 須坏1・坏蓋1	Ⅲ区	SD76
SD015	弥24, 土甕1・赤彩皿1・坏椀1・小片6, 須坏3・甕1・小片2	Ⅲ区	SD77
SD016	弥4, 須坏1	Ⅲ区	SD79
SD017	弥3, 須台坏2・坏1	Ⅲ区	SD32
SD017	弥30, 土2, 須台坏2・壺2, 須惠質平瓦1	Ⅲ区	SD29
SD018	弥8, 須坏蓋2	Ⅲ区	SD73
SD020・029	弥18, 須坏1・坏蓋1・小片1	Ⅲ区	SD18
SD021・030	弥60, 土甕1・赤彩皿2・鉢1・小片1, 須坏2・壺1・台坏2・甕2・小片4	Ⅲ区	SD20
SD022	弥9, 須1(瓶?)	Ⅲ区	SD80
SD023	弥9, 土赤彩皿2・小片2, 須坏1	Ⅲ区	SD81
SD032・035・036	弥2, 須甕1	Ⅲ区	SD21
SD034	弥1, 須蓋1	Ⅲ区	SD22
SD038	弥8	Ⅲ区	SD70
SD041・042	弥3, 土釜鍋1・小片2	Ⅲ区	SD03
SD045	土坏皿1, 鉄銭1	Ⅲ区	SD04
SD046	弥3, 土椀1・坏2・坏椀1, 須円盤高台坏1	Ⅲ区	SD05流路A
SD046・047・073・077・079	スレハ° -	Ⅲ区	SD05
SD047	弥20	Ⅲ区	SD05流路B
SD048	弥1, 土5, 須坏1・小片4, 陶胎染付1, 磁器1	Ⅲ区	SD51
SD049	土坏椀皿1・坏1・小片4	Ⅲ区	SK19
SD051	弥4	Ⅲ区	SD34
SD052	弥2袋	Ⅲ区	SD33
SD054・055・062	弥14, 土坏2・小片14, 須坏1・甕1・小片2	Ⅲ区	SD26
SD056	土坏1	Ⅲ区	SD28
SD066	弥13, 甕1	Ⅲ区	SD39
SD071	弥20, 須甕1・坏4・小片4	I区北	SD26
SD071	弥1袋	Ⅲ区	SD53
SD072	弥30	I区	SD11
SD072	弥1袋, 須壺1	Ⅲ区	SD54
SD073	弥1箱, 土坏668・皿12・赤彩皿4・台皿1・小皿8・椀26・鍋釜500・甕19・小片375, 須皿14・坏400・台坏20・坏蓋20・鉢6・罌1・甕225・壺53・小片78, 黒A椀15・小片29, 西椀8・鉢2・小片2, 瓦器椀6, 東播鉢2, 結晶片岩1	Ⅲ区	SD05流路C
SD074	弥4	Ⅲ区	SD69
SD075	弥1箱, 須1	Ⅲ区	SD52
SD075	須坏蓋1	Ⅱ区	SD67
SD075	弥3袋, 須2	Ⅲ区	SD67
SD076	弥14	Ⅲ区	SD68
SD077	弥1袋	Ⅲ区	SD66
SD077	弥5箱, 土坏6・皿36・赤彩皿4・鍋釜30・甕9・小片16, 須台坏18・坏71・坏蓋27・皿8・鉢1・壺3・甕16・小片23, 黒A1, 西1	Ⅲ区	SD05流路C'
SD078	弥壺2・甕1・小片2箱, 須かえり付き坏1・小片1	Ⅱ区	SD33

遺構出土遺物一覧表 (19)

報告遺構名	出土遺物	調査区	調査時遺構名
SD080	弥甌1・小片1袋, 土坏2・小片2, 須坏2・小片1	Ⅲ区	SD35
SD083	弥50, 土小皿1・坏20・釜3・甕1・甗2・小片50, 須台坏1・甕4・坏5・小片10, 西椀1, 龍青椀2, 須恵質平瓦1, ふいごの羽口1	Ⅲ区	SD11
SD085	弥3	Ⅲ区	SD12
SD086	弥1	Ⅲ区	SD13
SD087	須2	Ⅲ区	SD55
SD089	弥1	Ⅲ区	SD64
SD090	弥10	Ⅲ区	SD65
SD091	弥50	Ⅲ区	SD63
SD091	弥壺1・11袋, 須壺2・坏1・小片2	Ⅱ区	SD04
SD091	弥5袋, 須甕1・坏1, 小片1	Ⅲ区	SD46
SD091	弥1袋	I区	SD09
SD092	弥1/2袋, 土坏椀1・釜1・台皿(暗文)1	Ⅲ区	SD61
SD092	弥33, 須3	Ⅲ区	SD47
SD096	弥16, 土坏椀1, 須甕1・小片2	Ⅲ区	SD59
SD098	弥1袋	Ⅲ区	SD45
SD098・100・101・102・103	土釜1	Ⅱ区	SD11
SD099	弥7	Ⅲ区	SD44
SD101	弥1袋, 土釜1・小片4, 須円盤高台坏1・甕1・小片1	Ⅲ区	SD43
SD102	弥40, 須坏1・小片2, 坏椀1	Ⅲ区	SD42
SD103	弥1袋	Ⅲ区	SD41
SD106	弥30	Ⅱ区	SD30
SD107	弥40箱	Ⅱ区	SD10
SD109	弥1	Ⅲ区	SK29
SD112	弥壺甕1・小片22	Ⅱ区	SK16(最終)
SD113	弥22, 土鍋釜1・羽釜1・大甕2・土釜1, 小片3, 須甕2・小片1, 備前播鉢2・甕1, 堺播鉢1, 陶胎染付1, 肥前系染付椀7, 肥前系染付皿2・坏1, 陶器(灰釉)椀1, 鉄釉陶器1, 瓦いぶし焼き平瓦10・丸瓦31, 土師質平瓦2, #ｽｶｲﾄﾞ1, 不明鉄器1, ふいごの羽口	Ⅱ区	SD40
SD114	弥1袋	Ⅱ区	SD34
SD115	弥1袋, 須壺1・甕1	Ⅱ区	SD37
SD116	弥1袋, 須坏蓋1	Ⅱ区	SD38
SD117	弥1袋, 須壺1	Ⅱ区	SD39
SD124・129	須台坏1, 不明鉄器1	Ⅱ区	SD16
SD132	弥7	Ⅱ区	SK06
SD133	弥ニテ7土器1・小片3袋, 須坏3・台坏1・小片4, 石鏝1	Ⅱ区	SD09
SD133	弥40	I区	SD12
SD135	弥1袋, 須坏(高坏?)1	Ⅱ区	SD08
SD136	須台坏1	Ⅱ区	SD27
SD140	弥甕1・小片4袋, 土羽釜1・椀2, 須台坏1・坏2・壺1・小片1	Ⅱ区	SD01
SD141	弥12	Ⅱ区	SD41
SD142	弥30	Ⅱ区	SD07
SD143・144	弥1袋, 土皿1・坏1・坏椀1・羽釜1・小片10, 須坏1・小片16	Ⅱ区	SD05
SD145	弥3袋, 土坏椀1・坏皿1・小片5, 須坏1・壺2・小片6	Ⅱ区	SD03
SD147	弥支脚1	Ⅱ区	SD06
SD148	弥1	I区	SD10'
SD148	弥12, 土坏1・羽釜4・小片1, 須坏蓋7・坏6・台坏1・壺1・甕14・小片35, 黒A椀1, 青磁1, 肥前系染付2, 染付1(近現代), 石鏝2, 石斧1	I区	SD10

遺構出土遺物一覽表 (20)

報告遺構名	出土遺物	調査区	調査時遺構名
SD149	弥3袋, 土羽釜1・甕1, 須坏蓋4・甕2・坏2・小片10, #刃付1	I 区	SD01
SD150	弥30, #17型石器1	I 区北	SD29
SD150	弥6箱, 須惠器2	I 区	SD22流路A
SD151	弥50, 須1	I 区	SD16
SD151・162	弥2袋, 長頸壺2・台坏2・小片12	I 区北	SD28
SD152	弥40	I 区	SD14
SD153	弥4袋, 須坏1・坏蓋1・小片1	I 区	SD05
SD153	弥2袋, 須1	I 区	SD03
SD154	弥4袋, 肥前系染付德利1	I 区	SD04
SD155	弥1袋	I 区	SD15
SD156	弥15	I 区	SD13
SD157	弥3袋	I 区	SD17
SD158	弥50箱	I 区	SD22流路B
SD161	弥36	I 区	SD20
SD164	弥高坏1・支脚1・小片4, 土小皿1, 須台坏1, 唐津刷毛目碗1	I 区北	SD25
SD164	弥30	I 区北	SD25(SK14内)
SD165	弥6	I 区北	SD23
SD166	弥15	I 区北	SD24
SD168	弥6, 須1	I 区北	SD30
SD169	弥6	I 区	SD06
SD170	弥34, 土2, 須台坏1・小片1	I 区	SD02
SD172	土2	I 区北	SK18
SD173	土坏1・碗1・坏碗5・皿1・小片13, 須1	I 区北	SK19
SD175	土台坏1	V 区F	SD35流路A
SD175	弥1袋, 土皿3・赤彩皿1・坏2・碗3・甕30・釜1・鍋1・小片1袋, 須坏1・坏蓋2・台坏1・小片12, 黒B碗1, 瓦質10	V 区F	SD35
SD175	弥5袋, 土台皿(暗文)14・赤彩皿3・小皿2・坏14・坏蓋1・碗11・釜2・甕1・甕1・鍋1・飯蛸壺1・小片2袋, 須坏23・台坏28・坏蓋11・壺10・甕10・小片78, 西碗2, 石鏝2, 鉄釘?8, 鉄鎌?1, 鉄刀子1	IV 区	SD35
SD175・177	須坏蓋1	V 区F	SD35流路B
SD176	弥74, 須坏1・高坏1・壺1	V 区F	SD34
SD176	弥1袋, 石斧1	IV 区	SD34
SD181	須台坏1	V 区F	SD33
SD182	土碗1	V 区F	SD32
SD183	弥4, 磨製石器1	V 区F	SD36
SD185	弥7	IV 区	SD23
SD185	弥24, 土坏5・坏皿1・碗1・小片21, 須甕1・小片3	V 区F	SD23
SD186	弥20, 土羽釜1, #刃付1	V 区F	SD22
SD187	弥56, 土皿1・坏7・坏皿5, 碗4・釜1・小片45, 須坏4・台坏2・壺5・甕9・小片3, 緑釉陶器1, 唐津縁溝皿1, 京焼風陶器碗1, 石鏝1, 有舌尖頭器1, #刃付1	V 区F	SD21
SD187	弥73, 土釜3・坏1・碗5・羽釜1・小片60, 須壺1・甕1・小片17, 東播こね鉢2, 亀甕1, 須惠質平瓦1, 石鏝2	IV 区	SD21
SD187・SD188	弥4, 土3, 須坏1	V 区F	SD20・SD21
SD188	弥70・土坏4・坏皿2・碗1・羽釜1・釜1・甕2・小片2袋, 須坏5・壺12・甕20・小片30, 陶胎染付碗1(混入), 唐津刷毛目陶器?1	V 区F	SD20
SD188	弥1袋, 土羽釜4・坏9・碗2・小片54, 須台坏2・壺3・坏1・高坏1・甕10・小片36, 西碗3・皿1, ヲガ?1, 石鏝2, 瓦質安山岩石鏝1	IV 区	SD20

遺構出土遺物一覧表 (21)

報告遺構名	出土遺物	調査区	調査時遺構名
SD189	弥5袋, 土皿1・皿(暗文)1・坏14・坏皿60・赤彩脚面取高坏1・椀11・甕1・釜2・羽釜4・飯蛸壺2・小片32, 須台坏6・坏蓋5・坏13・壺4・短頸壺1・甕36・小片46, 西椀4, 龟甕3, 白磁1, 石鉢2, 瓦片1	IV区	SD19
SD189	弥3袋, 土赤彩皿1・皿(暗文)1・皿坏9・坏4・椀7・甕1・釜4・羽釜1・蛸壺1・小片1袋, 須坏13・坏蓋7・台坏7・壺15・甕29・鉢1・小片35, 黒A椀2, 西椀2・小片1, 鉄釉陶器1・備前1, 石鉢1・石鉢3	V区F	SD19
SD190	弥1袋, 土台皿(暗文)2・赤彩台皿1・坏1・坏皿16・小片18, 須坏1・坏蓋2・壺1・甕1・小片2	V区F	SD18
SD191	弥2袋, 土皿(暗文)2・皿2・赤彩皿2・坏4・椀1・甕1・釜3・羽釜3・竈1・鉢1・鉢1・小片71, 須坏6・台坏2・坏蓋5・甕24・壺8・鉄鉢1・小片21, 黒A椀1, 青磁1(耕作土中), 瓦片3	V区F	SD02
SD191	弥1袋, 土小皿1・釜2・椀2・皿坏8・羽釜2・竈2・甕1・飯蛸壺2・小片1袋, 須台坏1・坏椀7・壺1・甕13・小片24, 黒A椀2, 西椀1, いぶし焼き丸瓦1, 不明石器1	IV区	SD02
SD193	弥1, 土坏皿10・小片15, 須坏2・小片2, 東播こね鉢1	IV区	SD18
SD194	土小皿9・坏8・坏皿100・釜10・小片40, 須甕3・こね鉢1・坏3・小片11, 西椀3, 東播こね鉢1, 土師質瓦1	IV区	SD11
SD194	土坏皿39・釜4・小片41, 須坏1・甕1・鉢1・小片6, 西1, 瓦器1	IV区	SD08
SD194	土小皿1・坏皿10・小片2, 須1, 西椀1	IV区	SD10
SD195	土坏1・坏皿5, 須1	IV区	SD16
SD196・203	土坏皿2袋・椀3・甕1・釜4・不明1・小片63, 須甕10・こね鉢1・坏1・小片34, 西椀8, 黒A椀1・B1, 瓦器1, 東播こね鉢1・白磁1, 土師質丸瓦1・平瓦1, 植木鉢2, 石包丁1	IV区	SD09
SD199	土坏皿9・釜1, 須坏1	IV区	SD12
SD200	土坏1・坏皿20・皿1・椀1・小片4, 須甕2・小片1	IV区	SD13
SD200・203	弥11, 土小皿1・坏2・坏皿20, 須甕1・壺1・小片2	IV区	SD13, SD09切り合い部畦
SD201	弥5, 土坏皿13・坏2・椀1・小片1, 西椀1	IV区	SD15
SD202	土坏2・坏皿17・小片2, 須坏1, 西椀1	IV区	SD14
SD202・203	弥1, 土坏1・坏皿8・小片1	IV区	SD09・SD14切り合い部畦
SD204	土小皿1・坏皿115・釜6・鍋3・鉢1・椀2・竈1・小片10, 須壺?2・甕1・坏椀1・坏1・小片13, 龟甕1, 西椀2・皿1, 瓦質丸瓦1	IV区	SD07
SD205	土坏7・坏皿2	IV区	SD17
SD207	弥13, 土3・釜1, 須甕4・小片2	IV区	SD03
SD208	弥8, 土坏皿60・鉢1・小片10, 須甕1・坏3・こね鉢1・小片7, 西坏1・椀23, 瓦質丸瓦1	IV区	SD05
SD209	弥5, 土1, 須1	IV区	SD04
SD210	弥13, 土坏1・皿坏1袋・釜3・鍋甕1・小片50, 須坏2・甕1・台坏1・小片22	IV区	SD01
SD211	土坏皿50・釜1・釜鍋1・小片9, 須甕3・坏2・小片9, 龟甕1	IV区	SD06
SD212	弥2, 須罍1	V区F	SD17
SD213	弥13, 土椀1・坏椀1・小片5, 須坏2・坏蓋1・台坏1・壺1・甕3・小片2, 瓦片1	V区F	SD07
SD216	弥壺2・甕2・小片1/2箱, 須2, 土坏1・ほうろく1	V区F	SD03
SD217	弥2, 土2, 須壺1	V区F	SD12
SD218	弥1, 須坏蓋1・甕1	V区F	SD13
SD223	弥2, 土竈1	V区F	SD11
SD224・SD231	弥84, 土皿2・坏皿26・椀2・坏9・甕鉢7・鍋1・釜5・小片152, 須坏6・坏蓋2・台坏4・壺2・甕13・小片10, 西椀3・皿2・小片6, 青磁染付1(混入), 土師質平瓦1, 須恵質平瓦2, 瓦片2	V区F	SD16

遺構出土遺物一覧表 (22)

報告遺構名	出土遺物	調査区	調査時遺構名
SD225	弥鉢1・小片10, 土坏12・坏皿23・鍋1・椀8・釜17・小片101, 須坏14・台坏5・坏蓋5・こね鉢2・壺1・甕35・小片35, 黒A椀1・B椀1, 瓦器1, 東播系こね鉢1, 蛇の目釉剥ぎ染付1, 染付1, 陶器(緑釉)1, 西椀19・皿1, 瓦質鉢1・小片4, 土師質丸瓦2・平瓦1, 須惠質平瓦1, 瓦質丸瓦1, *ヌカ仕4, 烧石1, 玉石1	V区F	SD31
SD226	弥9	V区F	SD15
SD227	弥1	V区F	SD14
SD229	弥83, 土坏皿2・坏2・台皿(暗文)2・鍋1・椀3・小片40, 甕8・坏4・坏蓋4・台坏4・小片49, 西椀1, 瓦器1・土師質平瓦1, 須壺1・鉢1, 石鍬2, *ヌカ仕1	V区F	SD01
SD242	土1	V区㊟	SD11
SD243	土30, 須坏4・坏蓋1・小片1	V区㊟	SD12
SD248	弥3, 土坏1・坏皿2・竈1・小皿1・甕1・小片22, 須台坏1・坏皿2・甕1・小片9, 黒A椀2, *ヌカ仕1, 木器1	V区F	SE01
SD248	弥5, 土4, 須台付壺1, 瓦質羽釜5	V区F	SE01
SD248	弥蛸壺2・小片2, 土皿13(暗文)・坏21・台坏3・坏皿2・蓋1・甕2・鍋1・釜1・羽釜3・竈2・甑1・小片9袋, 須皿15・坏163・台坏53・坏蓋103・高坏1・壺61・壺蓋1・短頸壺3・甕213・初期須惠器1・小片143, 黒B坏2, 西椀2, 亀甕1, 肥前系染付6, 青磁2, 陶胎染付椀1, 白磁1, 京焼き風陶器1, *ヌカ仕3, 石鍬2, 鉄鋤先1	V区㊟	SD02
SD249	土坏4・小片59, 須坏2・台坏3・坏蓋3・壺蓋1・甕6・小片16, 黒A2	V区㊟	SD04
SD250	土皿2・坏3・暗文皿1・赤彩皿1・坏皿1・小片82, 須坏1・小片8	V区㊟	SD01
SD251	土皿8・坏40・坏皿80・こね鉢3・鍋3・釜22・小片46, 須台坏1・壺2・甕5・小片14, 黒A1, 西坏1・坏椀1, 瓦質こね鉢1	V区㊟	SD03
SD268	土坏7・坏皿4・釜2・小片9, 須甕3, 西椀1, 烧土	V区㊟	SD05
SD269	土坏1	V区㊟	SD09
SD270	釜1・小片1, 烧土	V区㊟	SD06
SD272	土坏皿1	V区㊟	SD08

圖 版



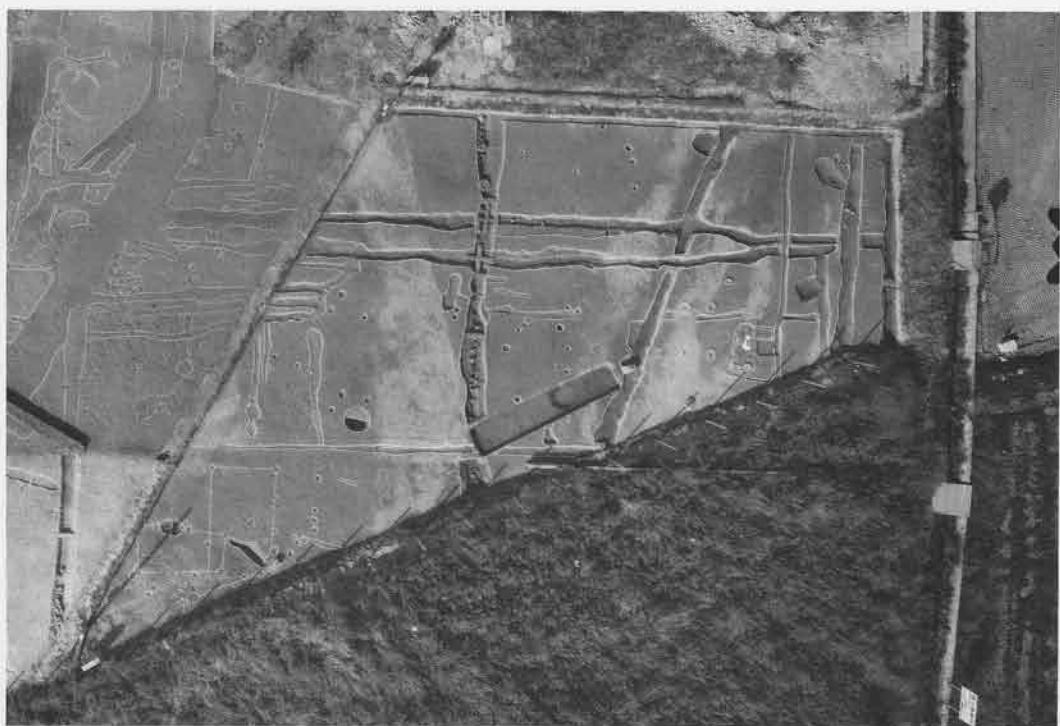
I区 空中写真



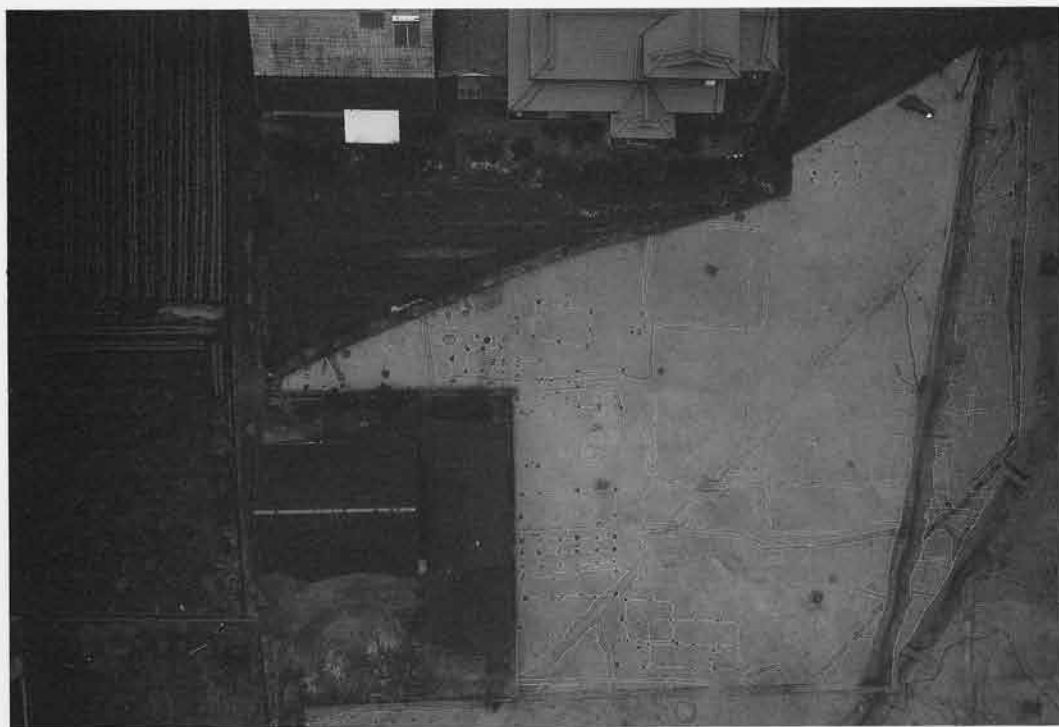
I区北 空中写真



Ⅱ区北 空中写真



Ⅱ区南 空中写真

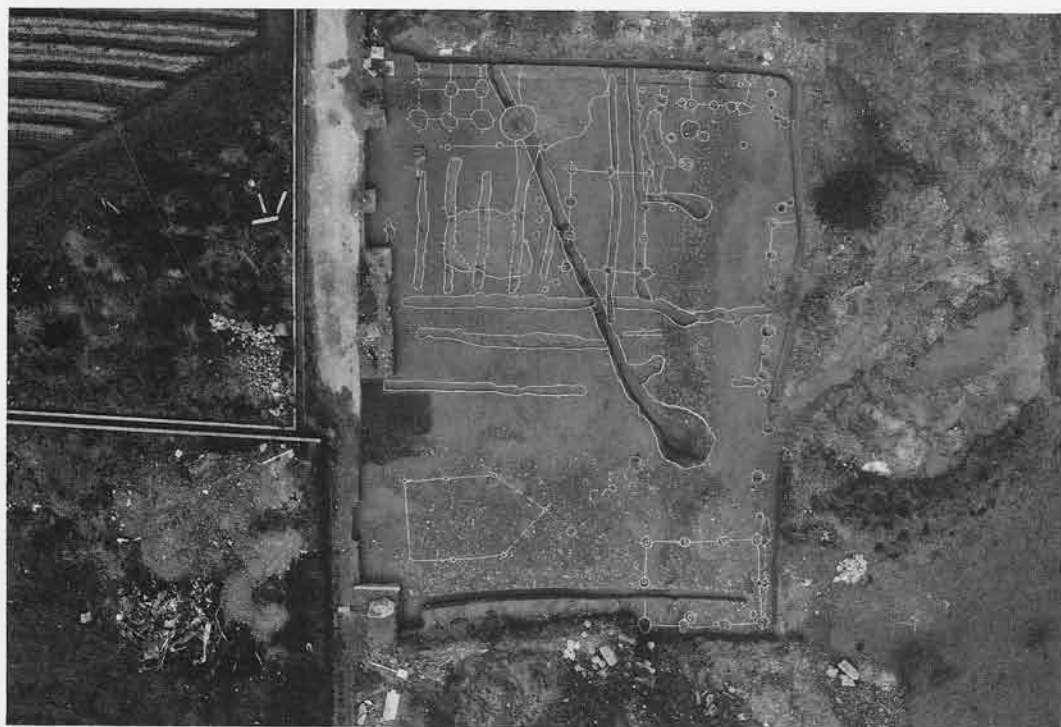


Ⅲ区北 空中写真



Ⅲ区南 空中写真

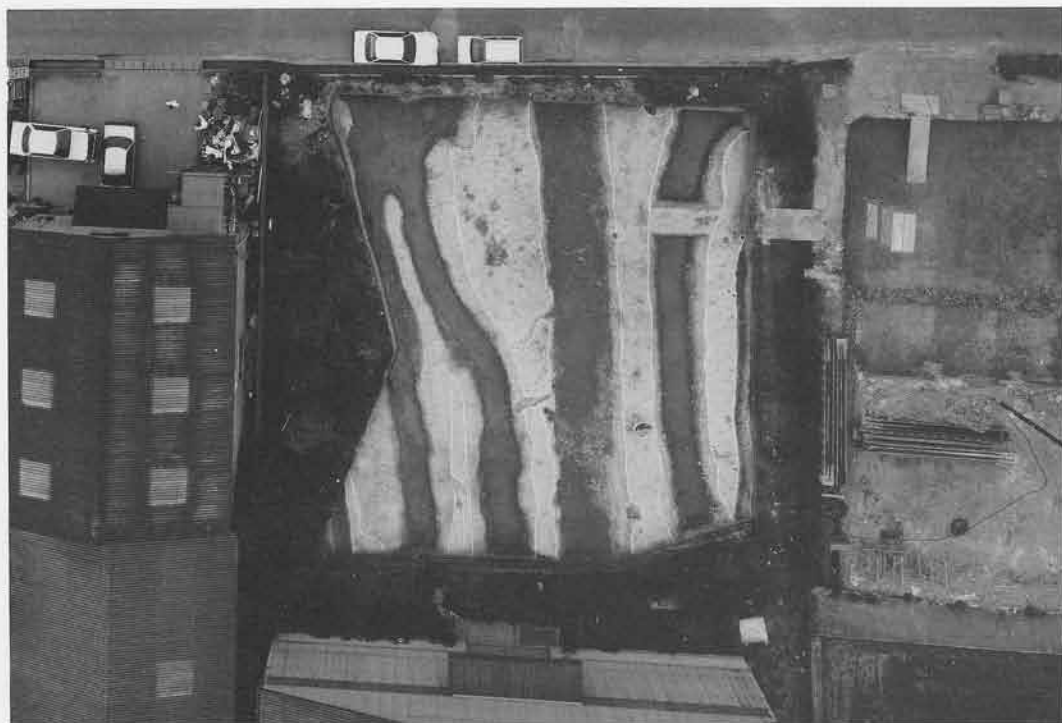
图版 4



Ⅲ区 空中写真



Ⅳ区西 空中写真



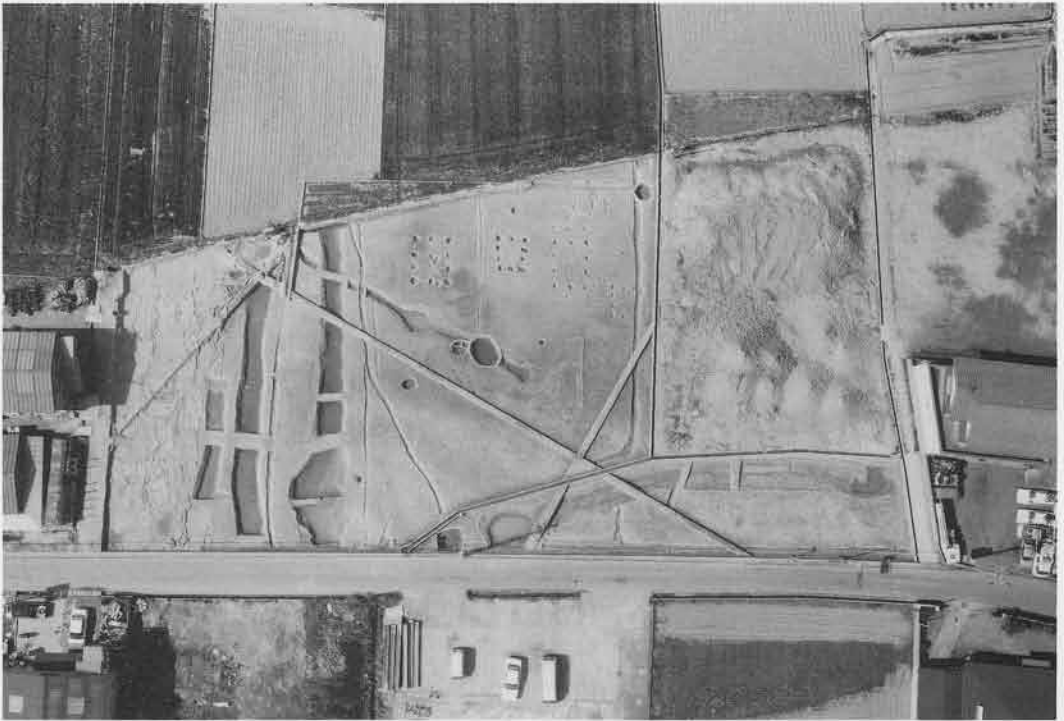
M区中 空中写真



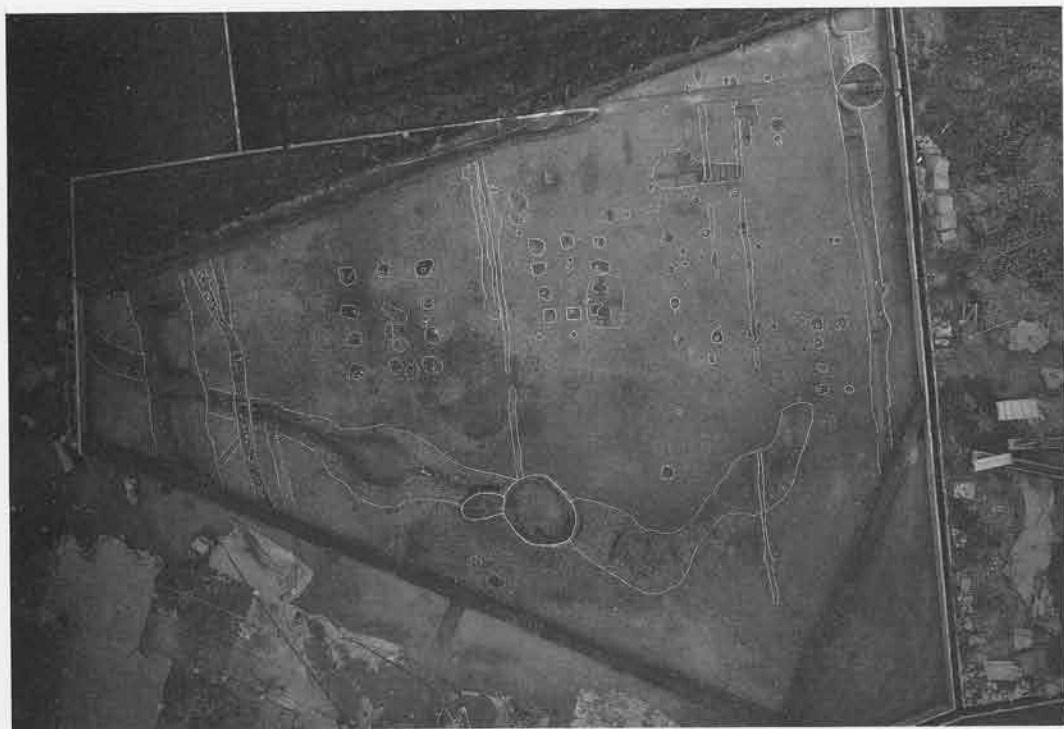
M区東 空中写真



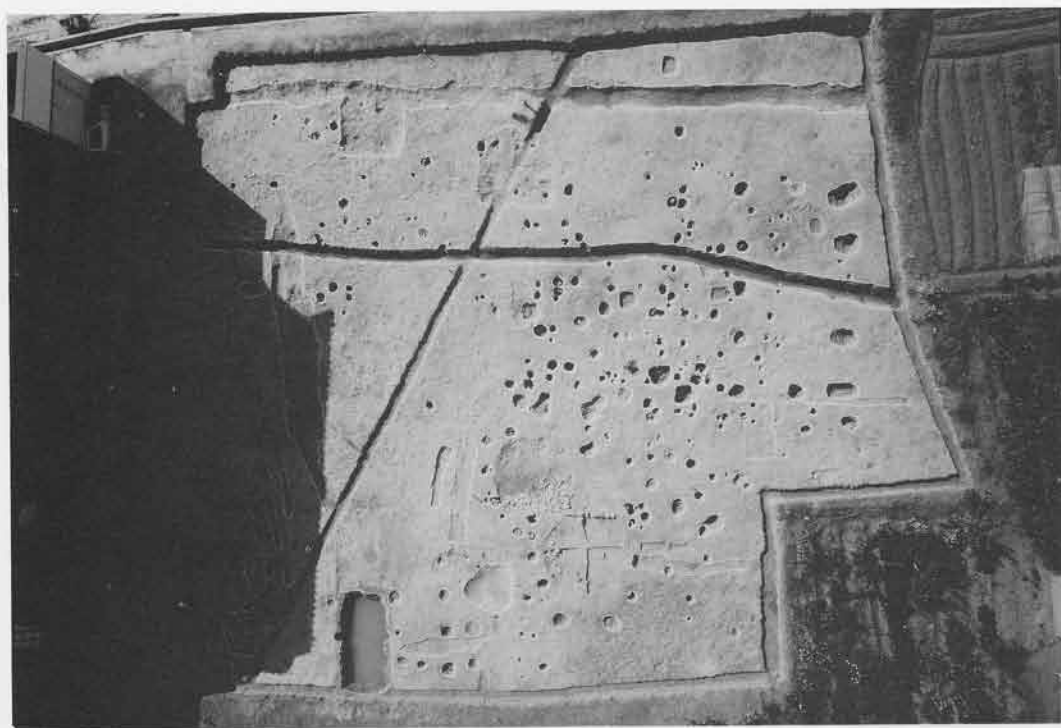
V区(F)西 空中写真



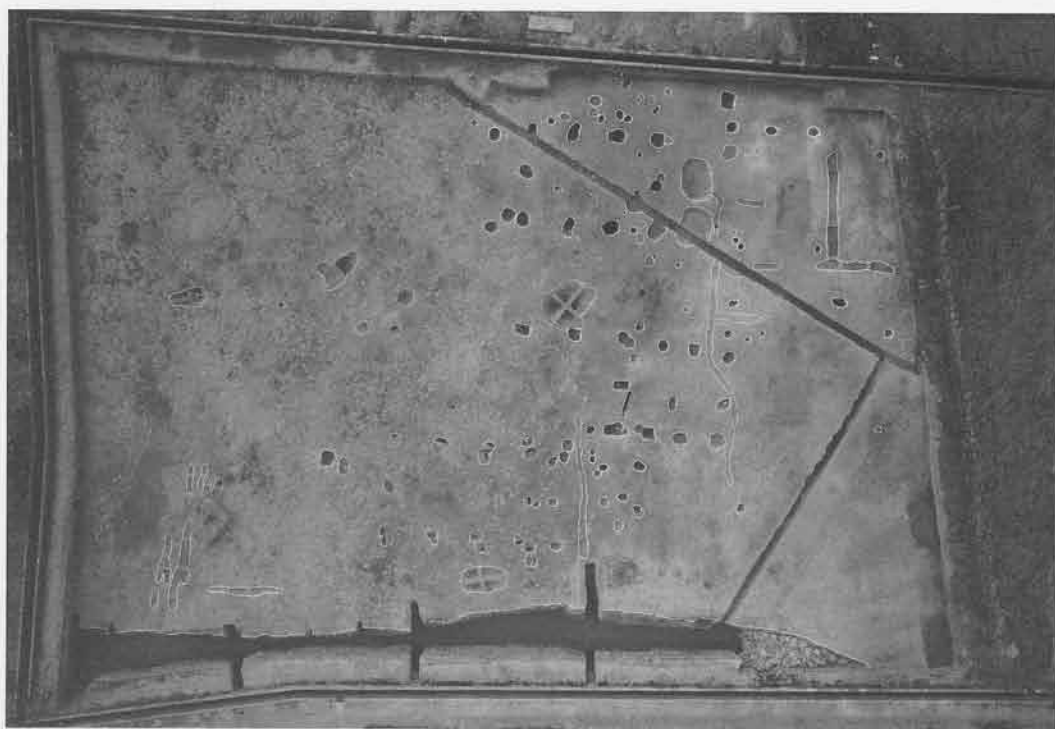
V区(F)東 空中写真



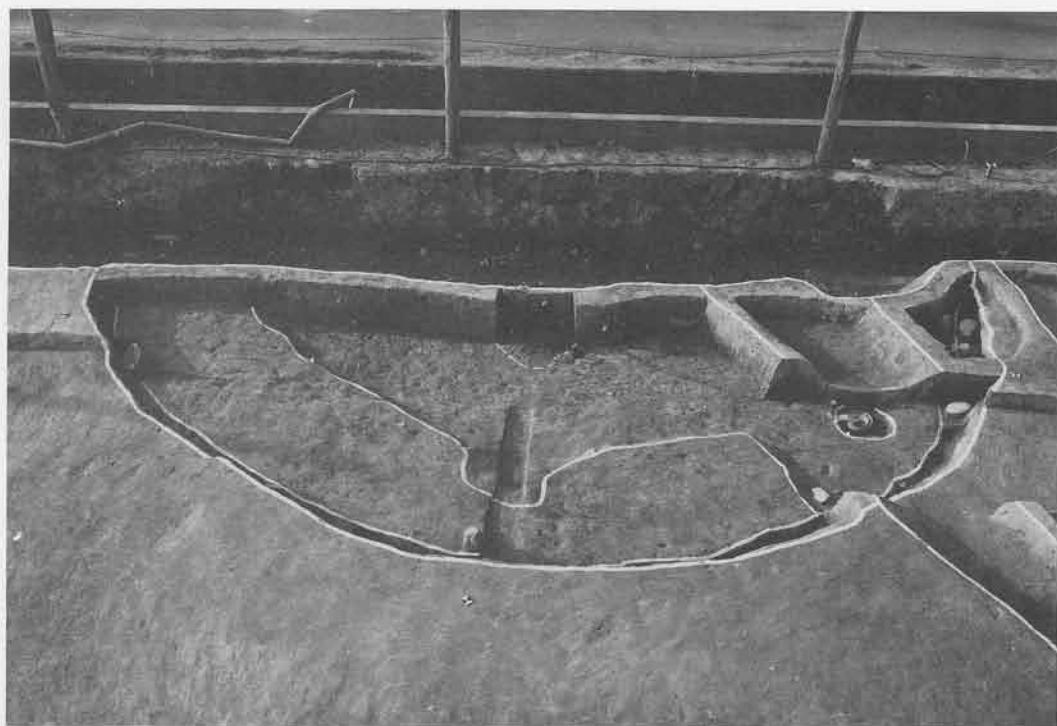
V区(F)東 空中写真



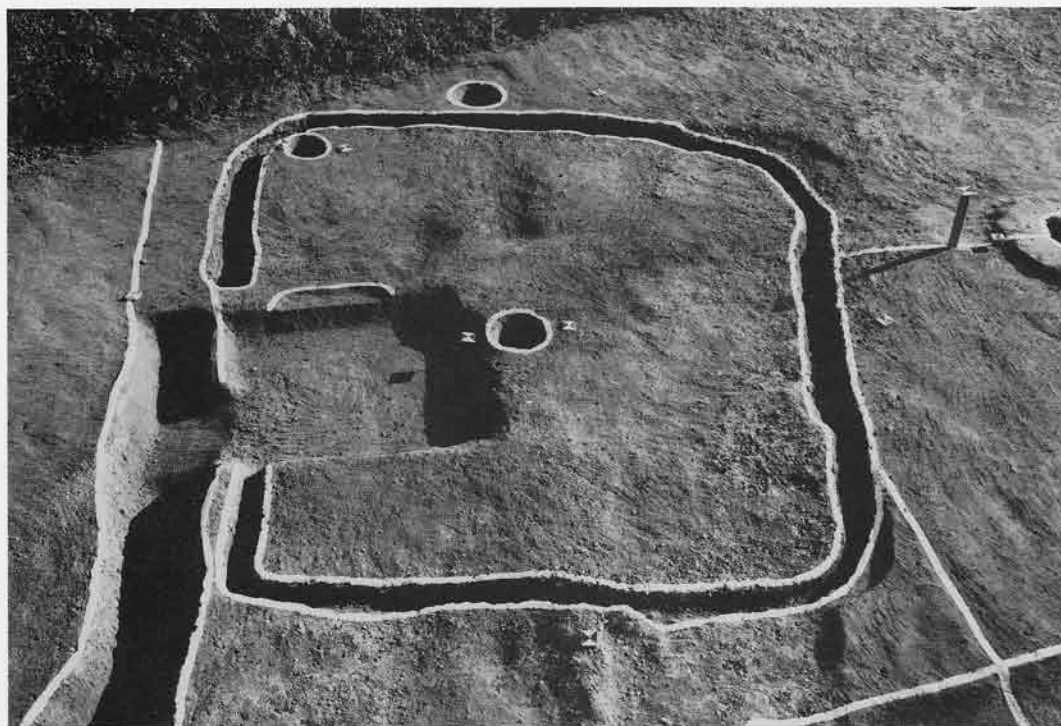
V区① 空中写真



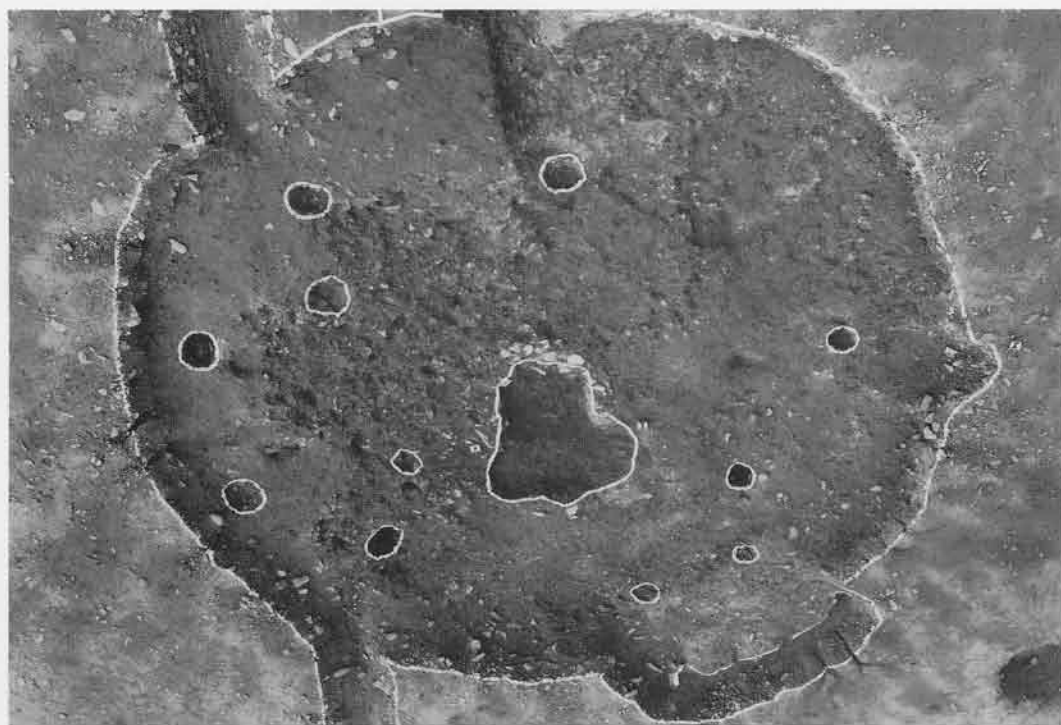
V区② 空中写真



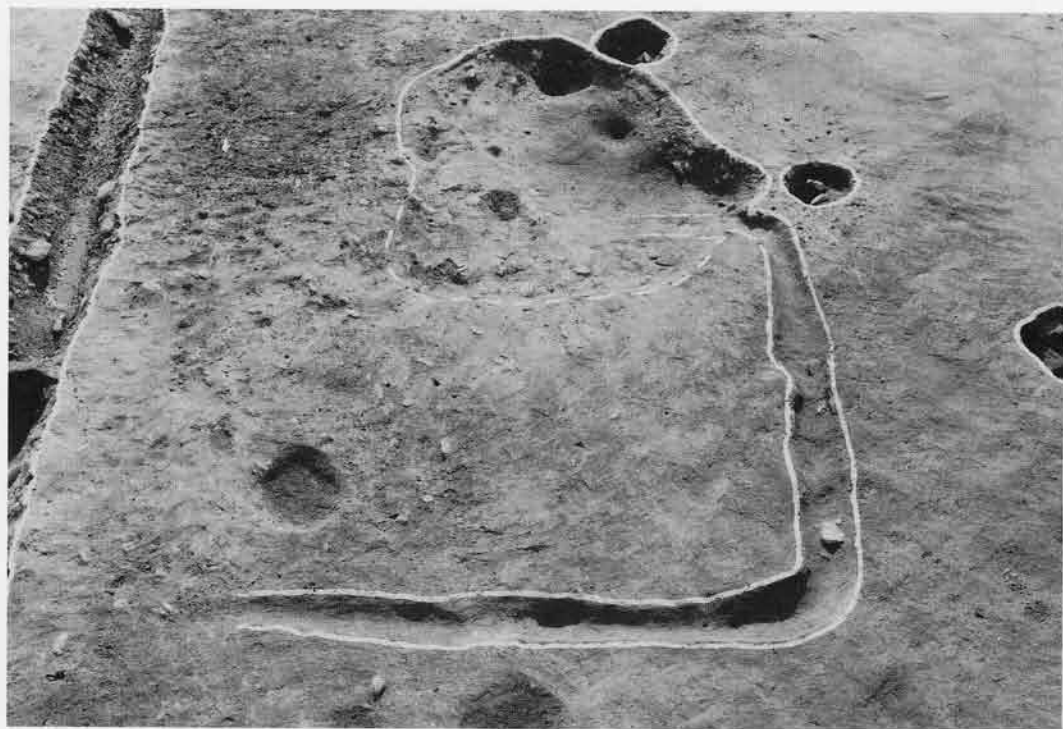
SH01 完掘 南から



SH03 完掘 北から



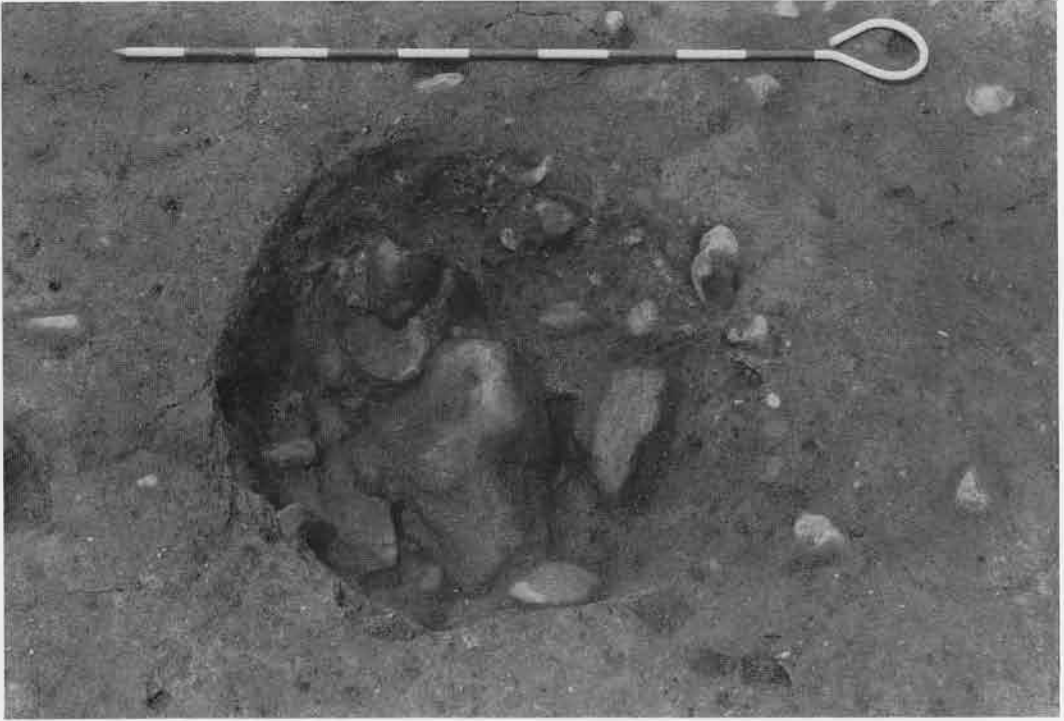
SH04 完掘 西から



SH05 完掘 東から



SH06 遺物出土状況 南から



G8SP12 遺物出土状況



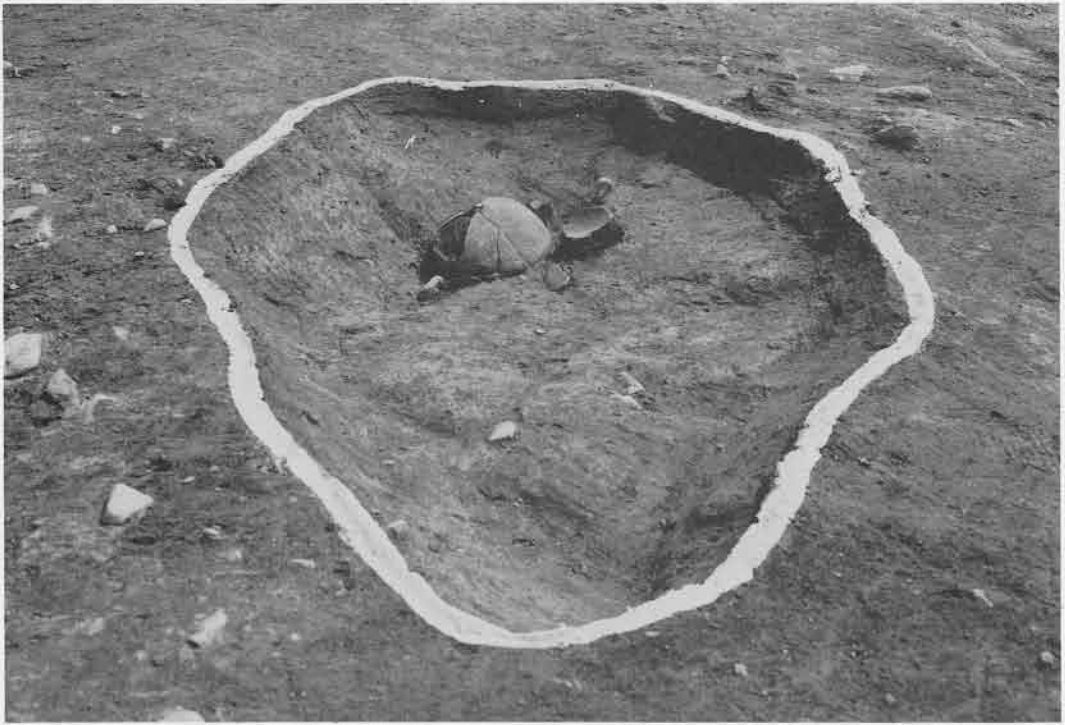
SK54 遺物出土状況 南から



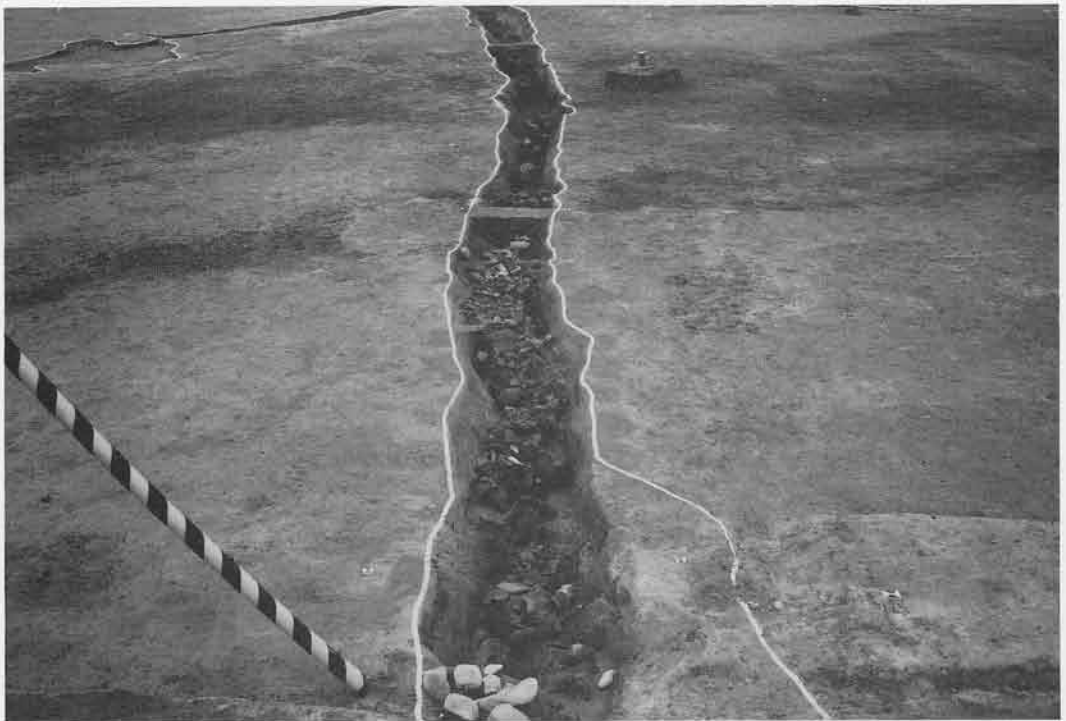
SK 5 7 遺物出土状況 南から



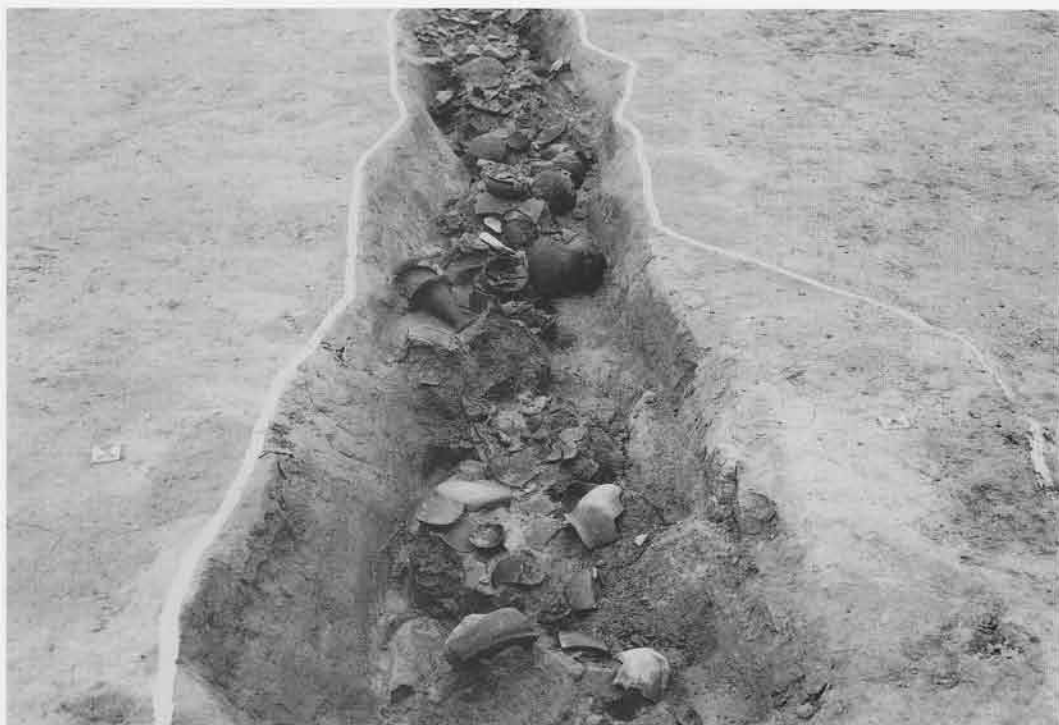
SK 5 8 遺物出土状況 南から



SK59 遺物出土状況 北西から



SD107 遺物出土状況 南から



SD107 遺物出土状況 南から



SD107 下層遺物出土状況 南から



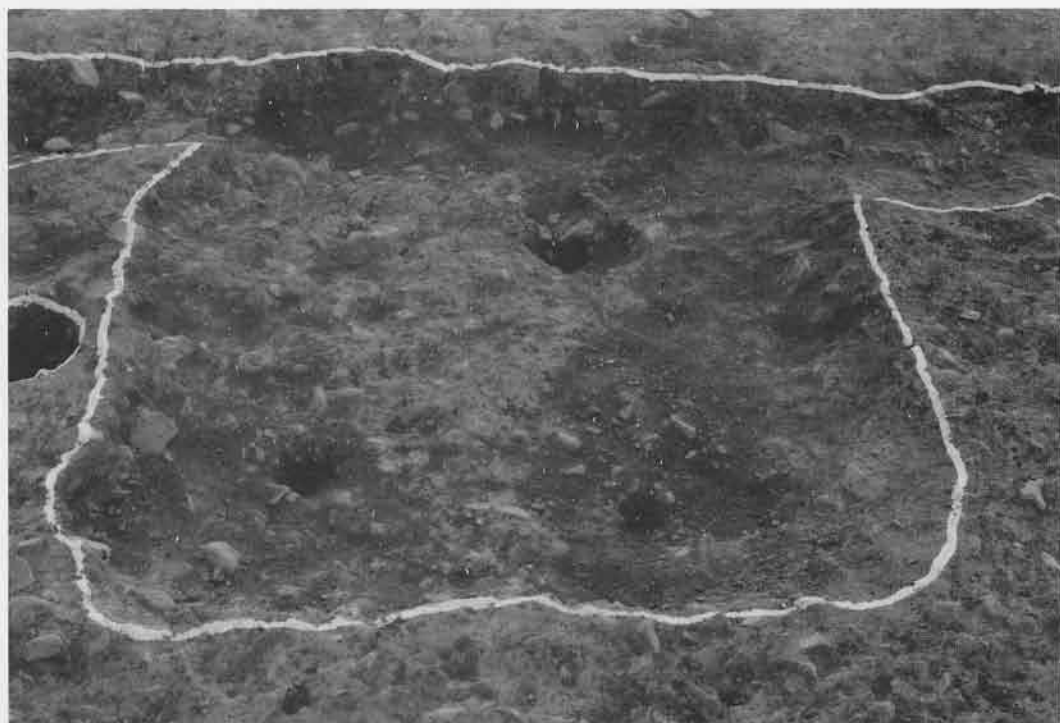
SD107 下層遺物出土状況 東から



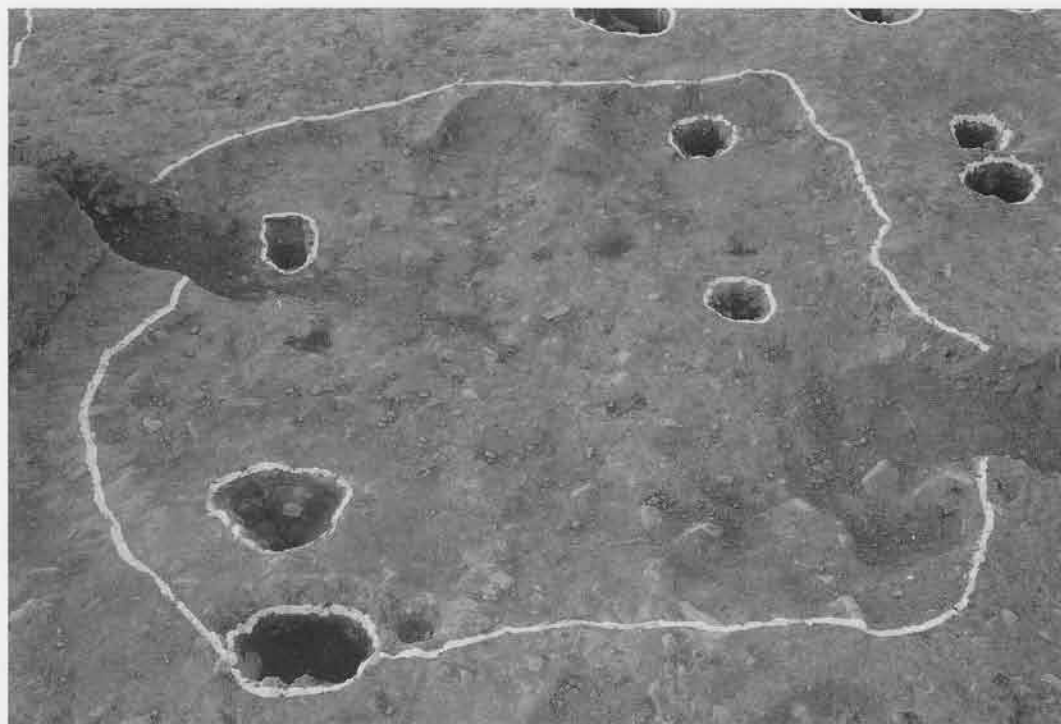
SD107 調査風景 南から



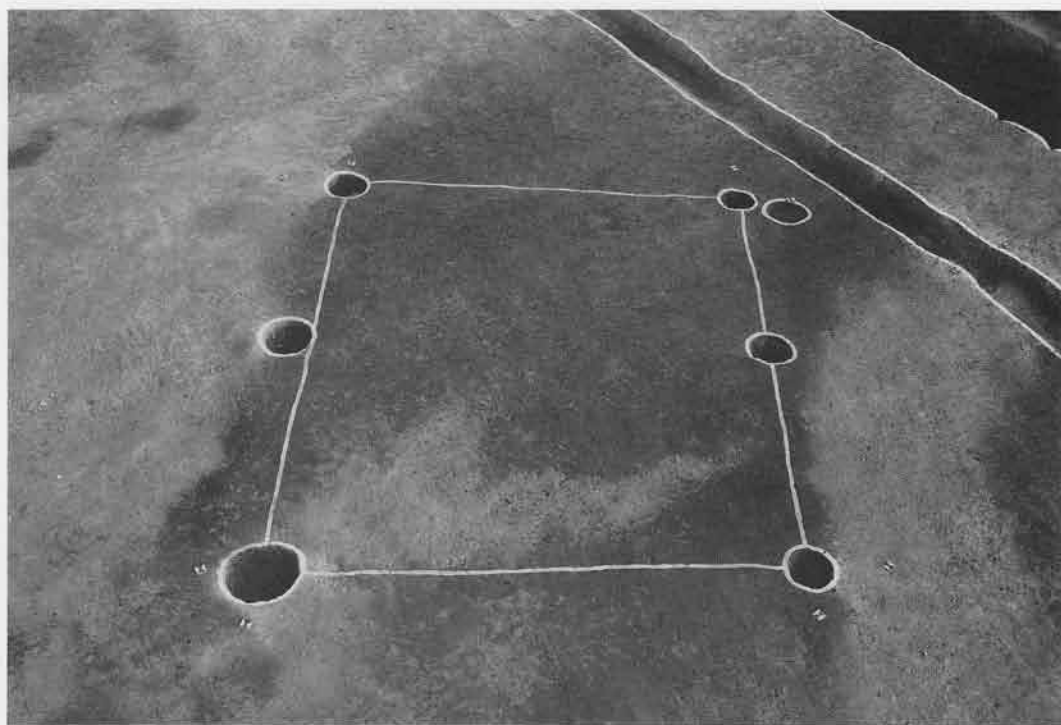
SD158 土器集中A 西から



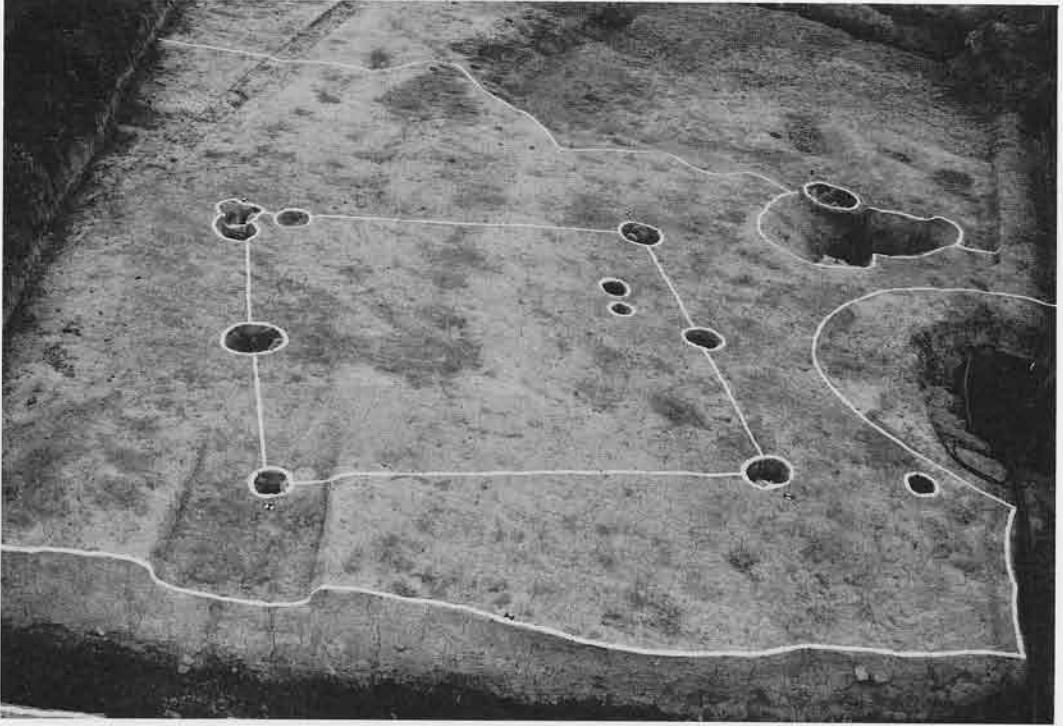
SH07 完掘 東から



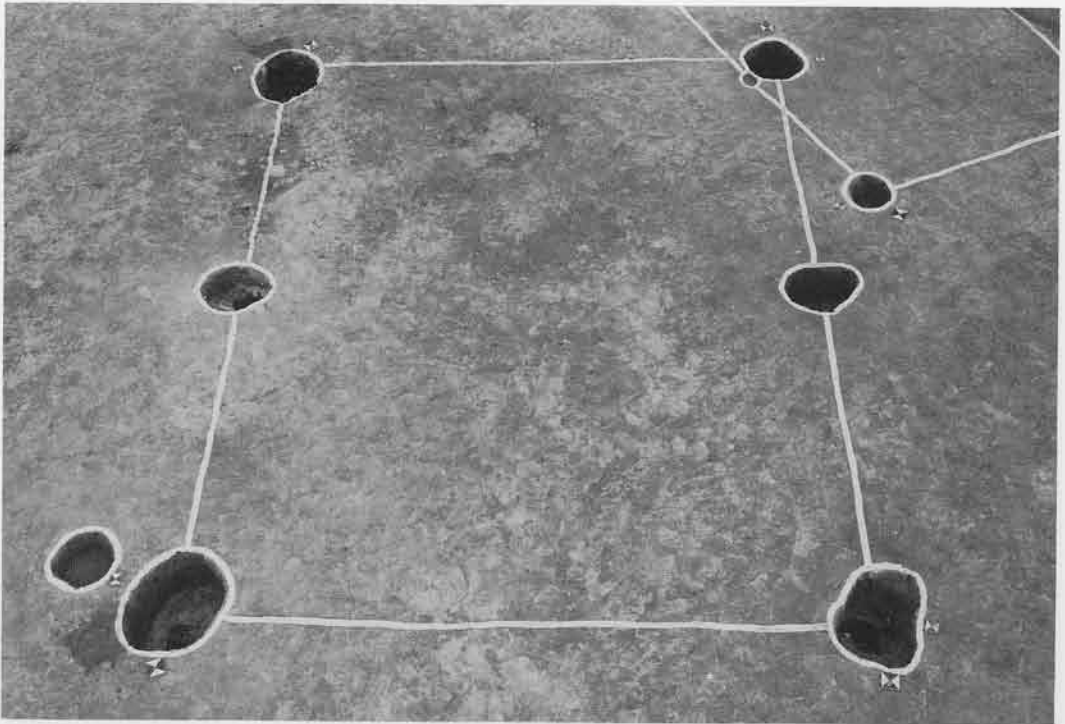
SH08 完掘 南から



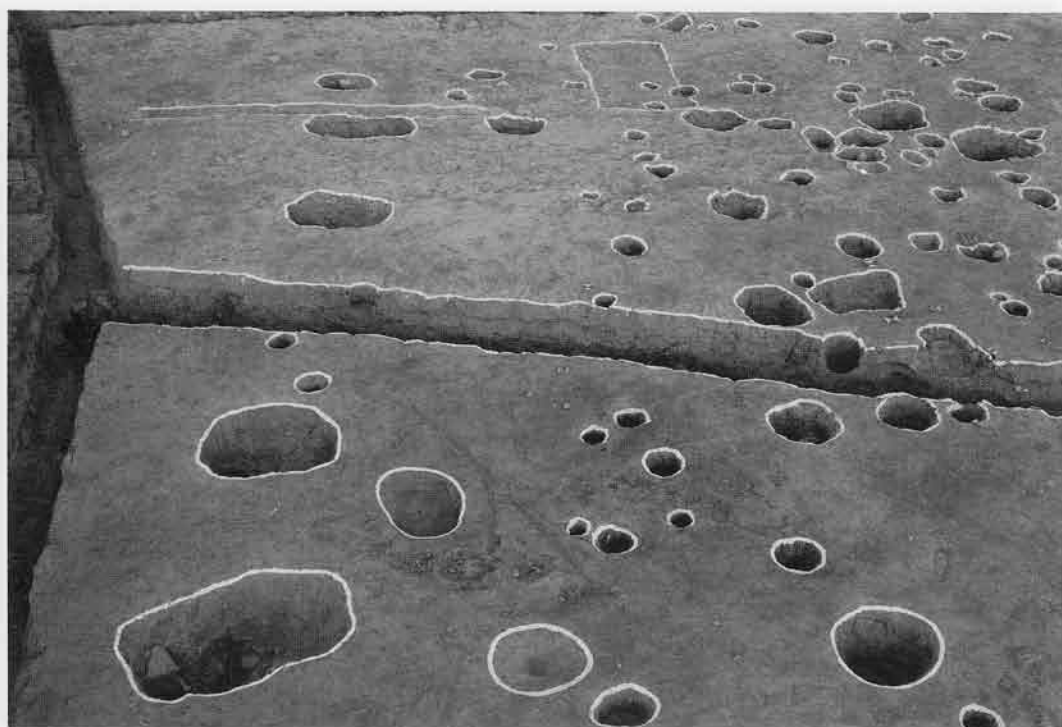
SB31 完掘 南から



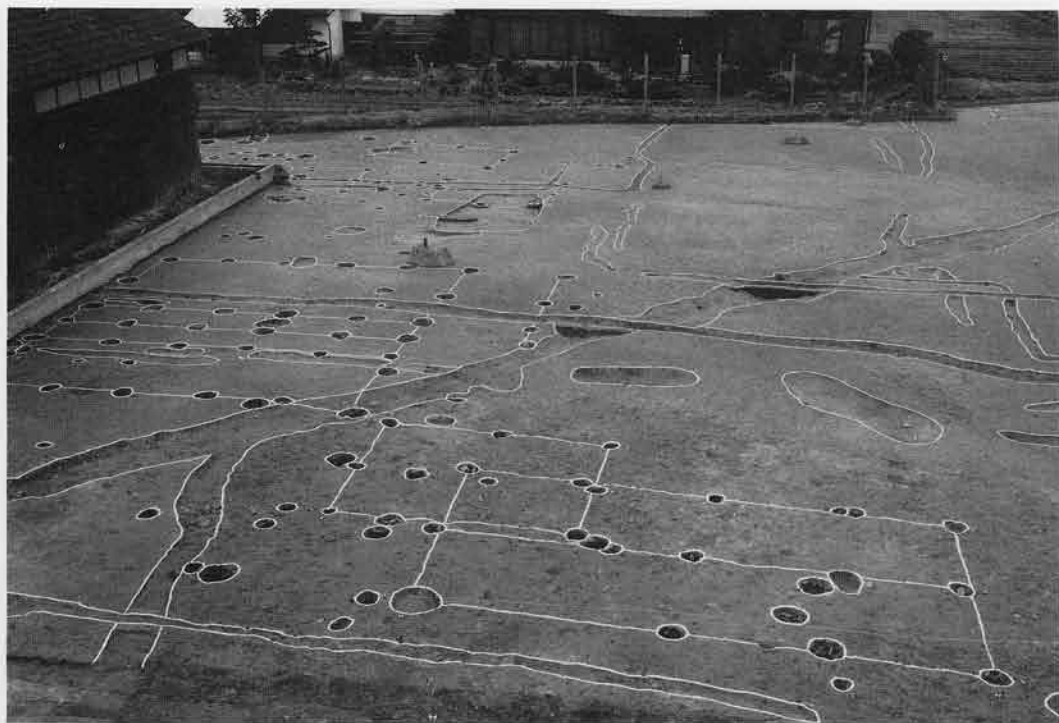
SB 33 完掘 西から



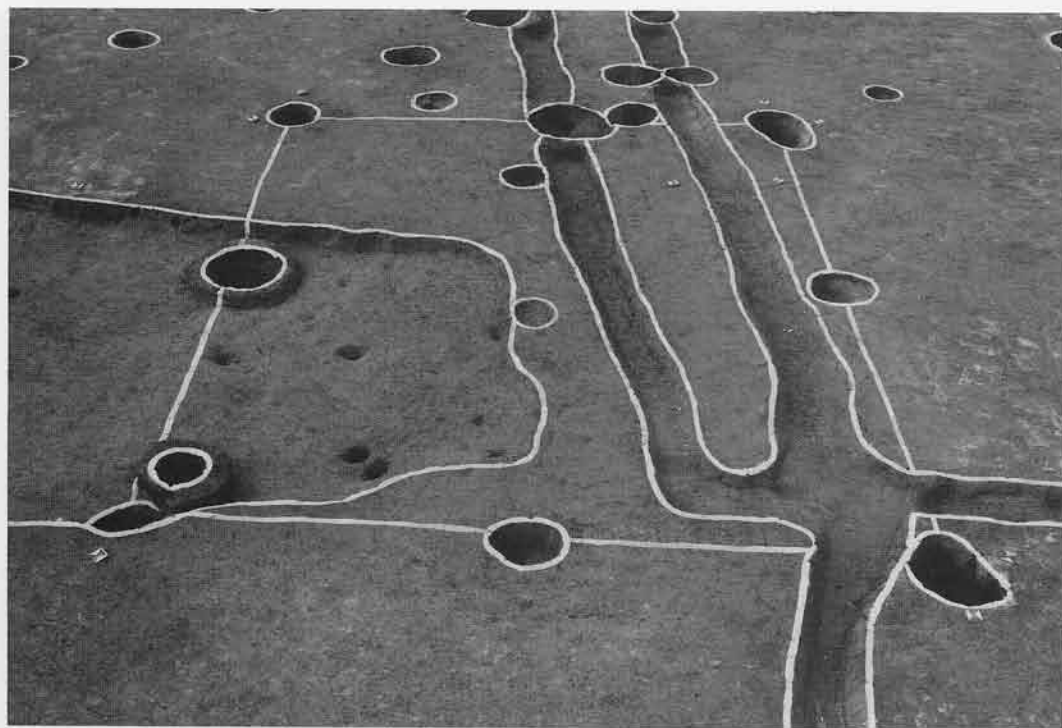
SB 35 完掘 西から



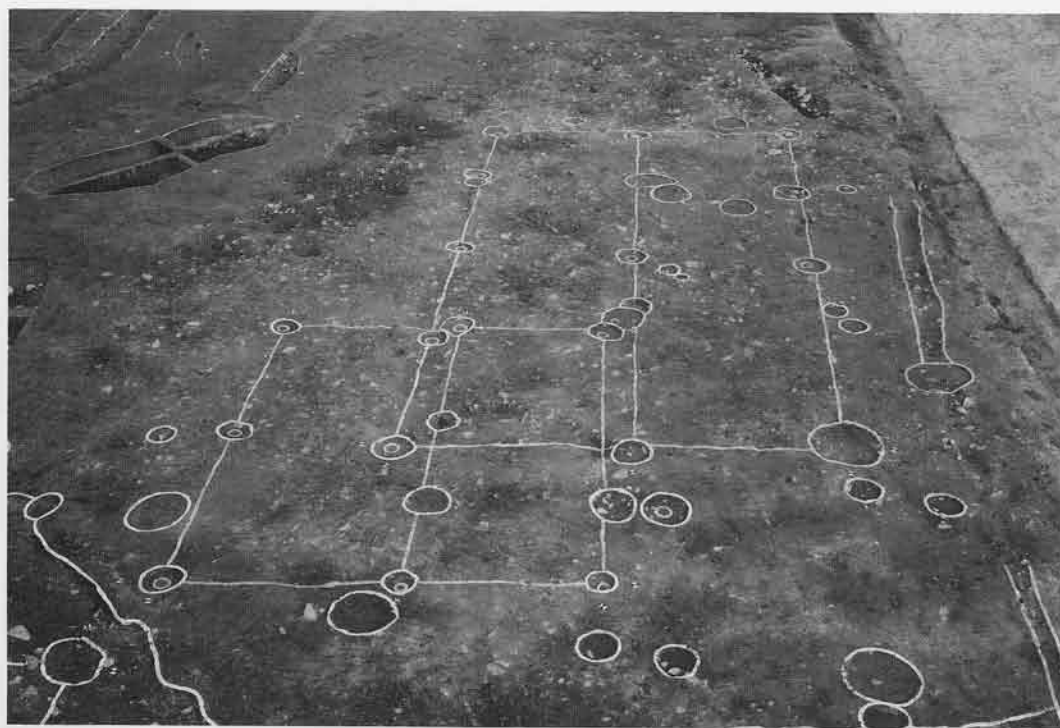
SB59 完掘 西から



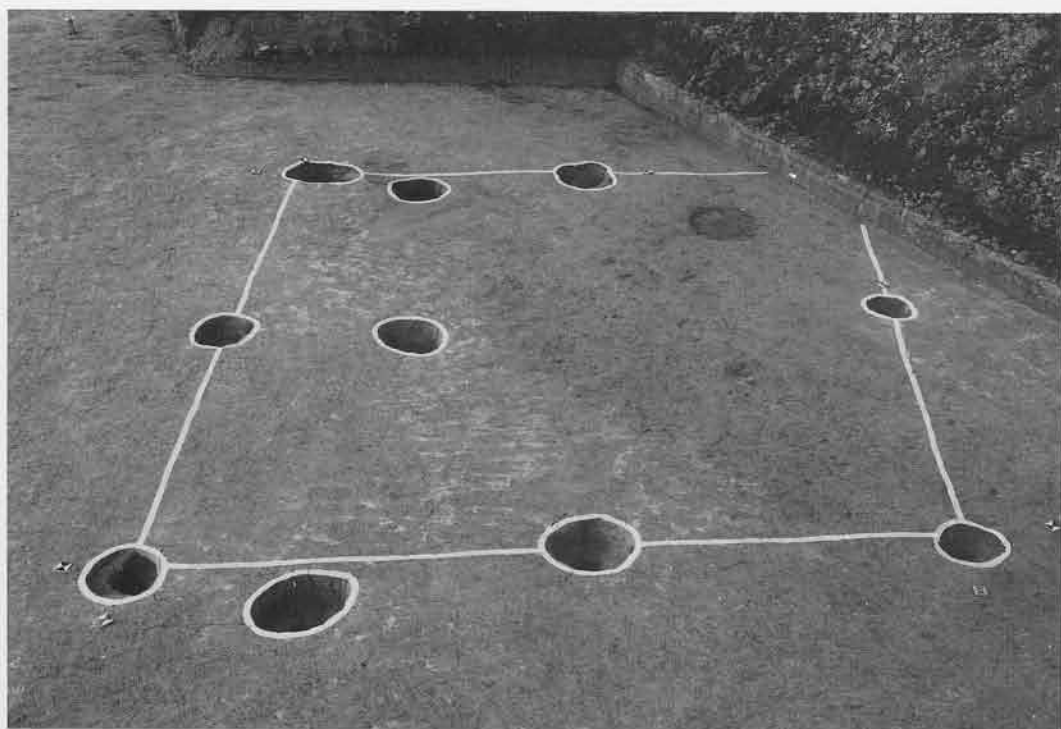
A区 建物群 南から



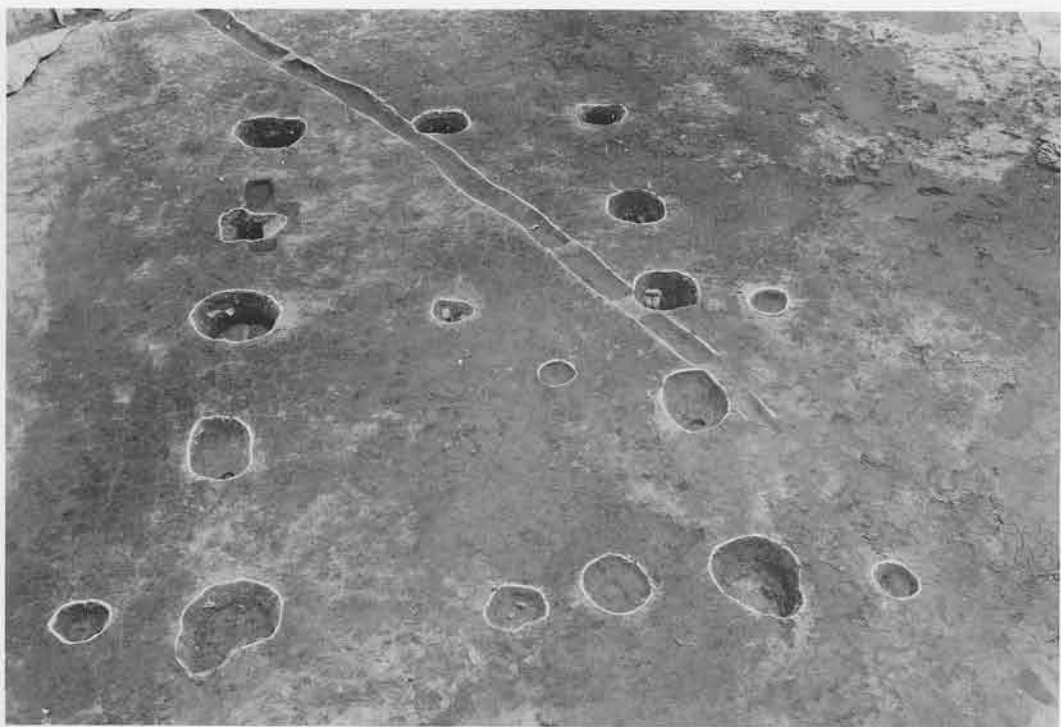
SB13 完掘 東から



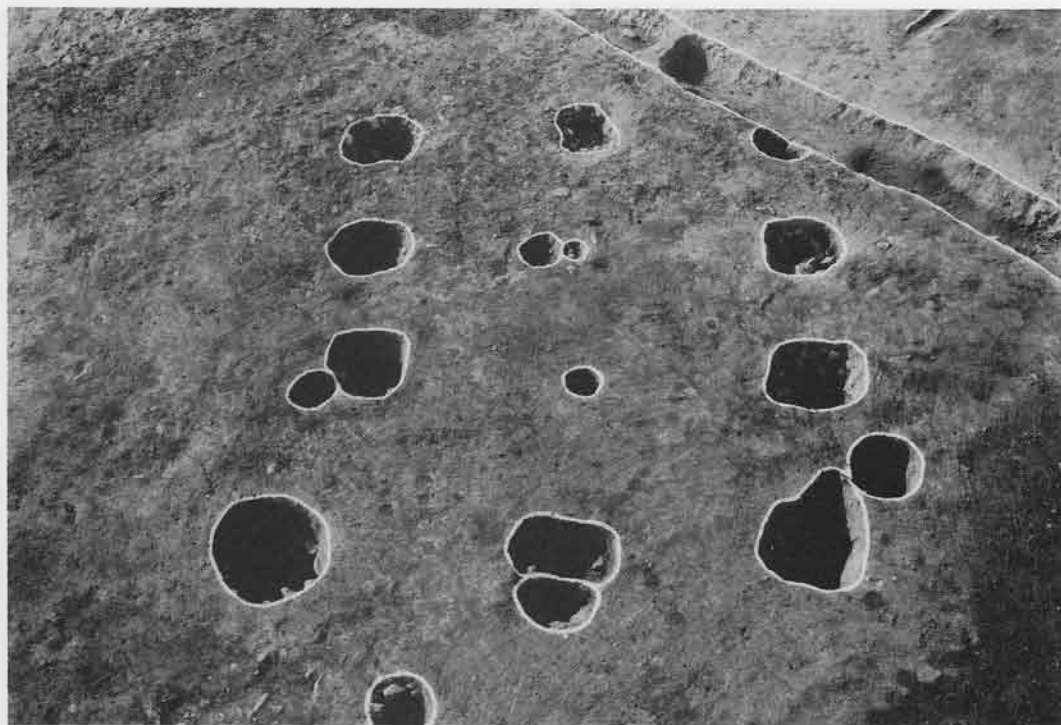
SB21・22・23 柱痕検出状況 西から



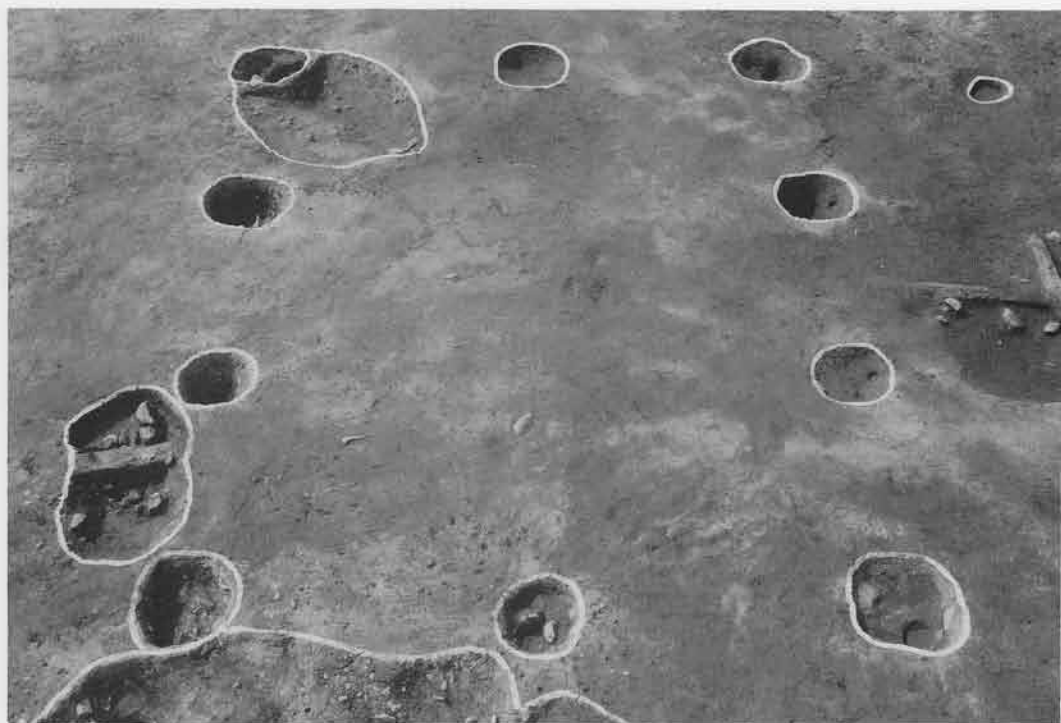
SB 2 4 完掘 東から



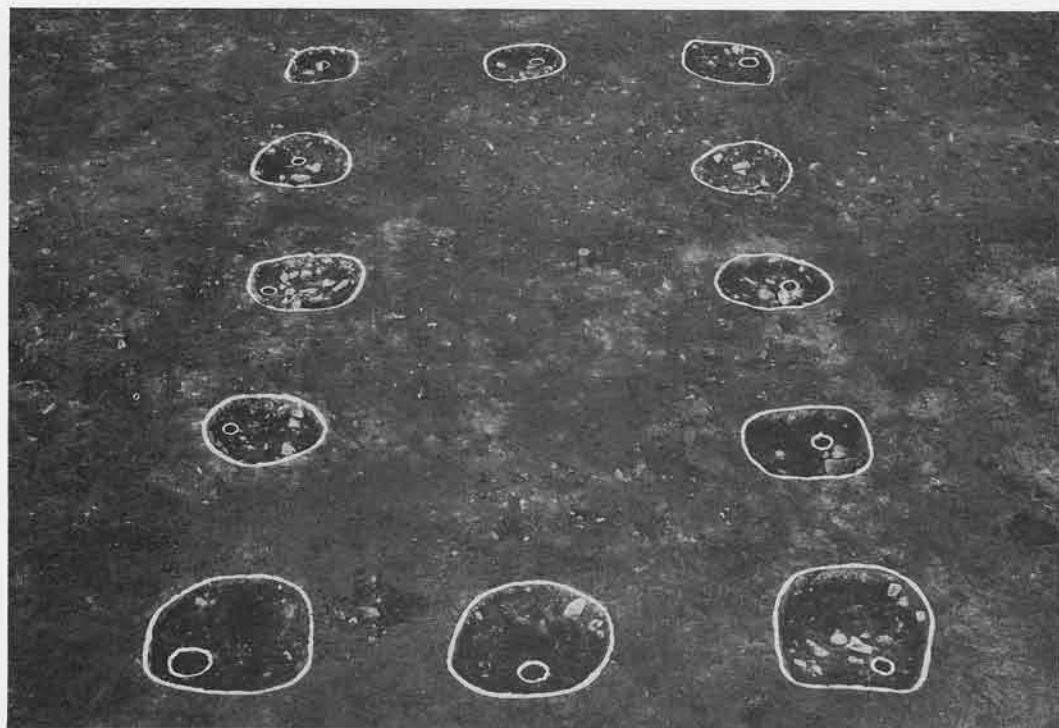
SB 3 6 完掘 北から



SB 37 完掘 南から



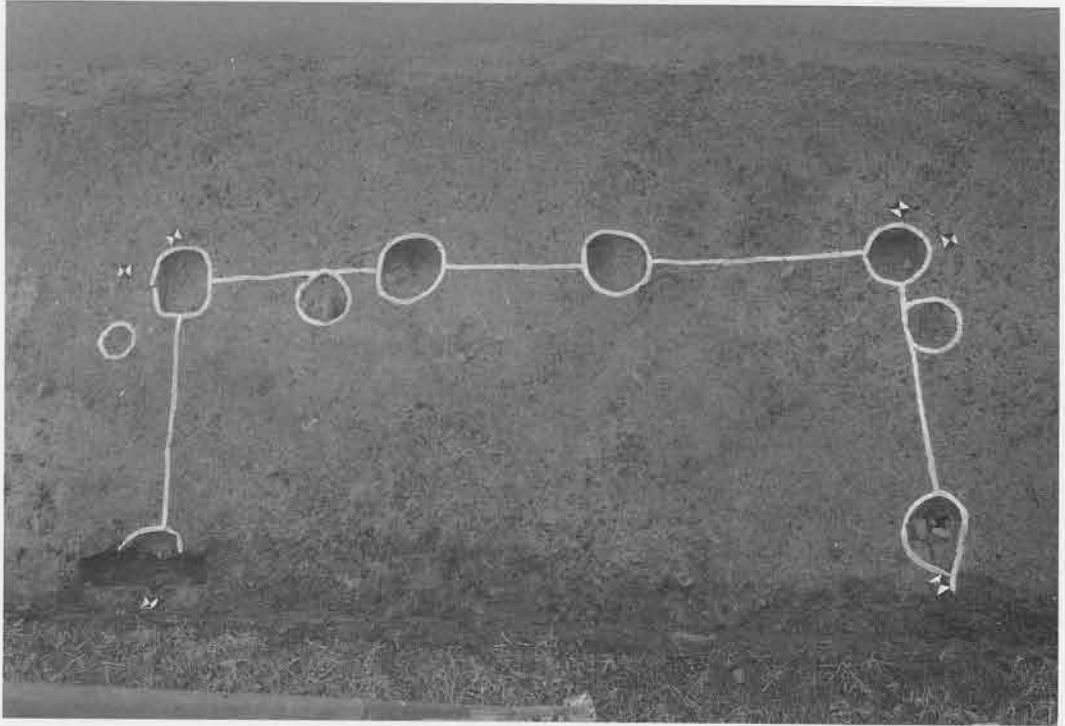
SB 38 完掘 南から



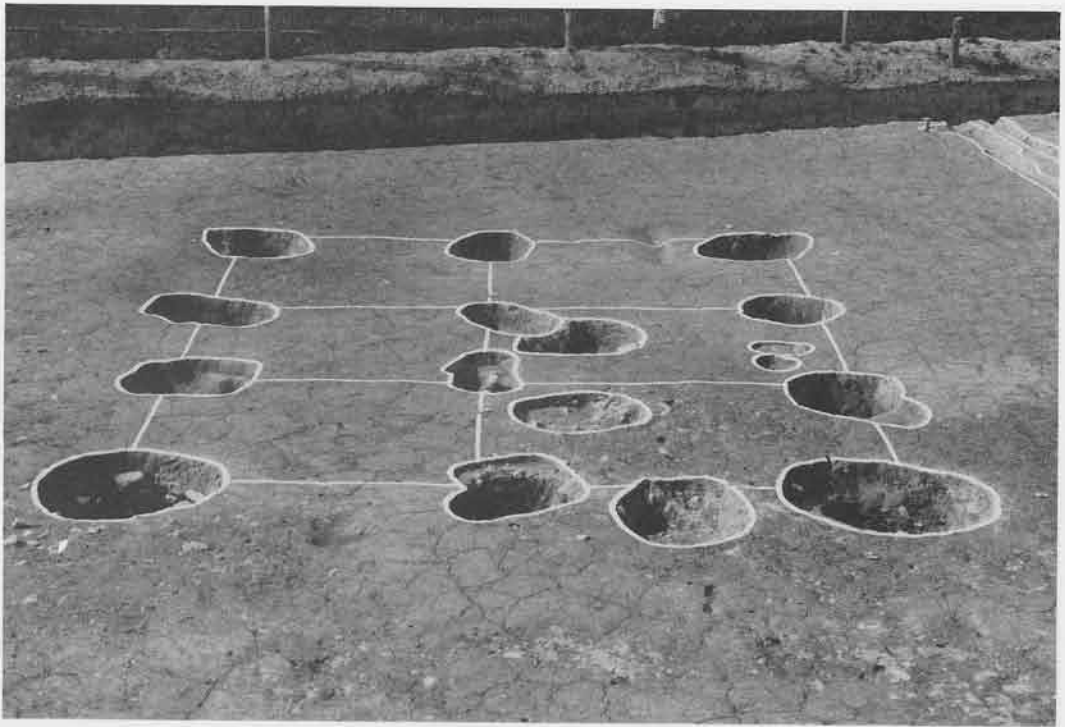
SB40 柱痕検出状況 西から



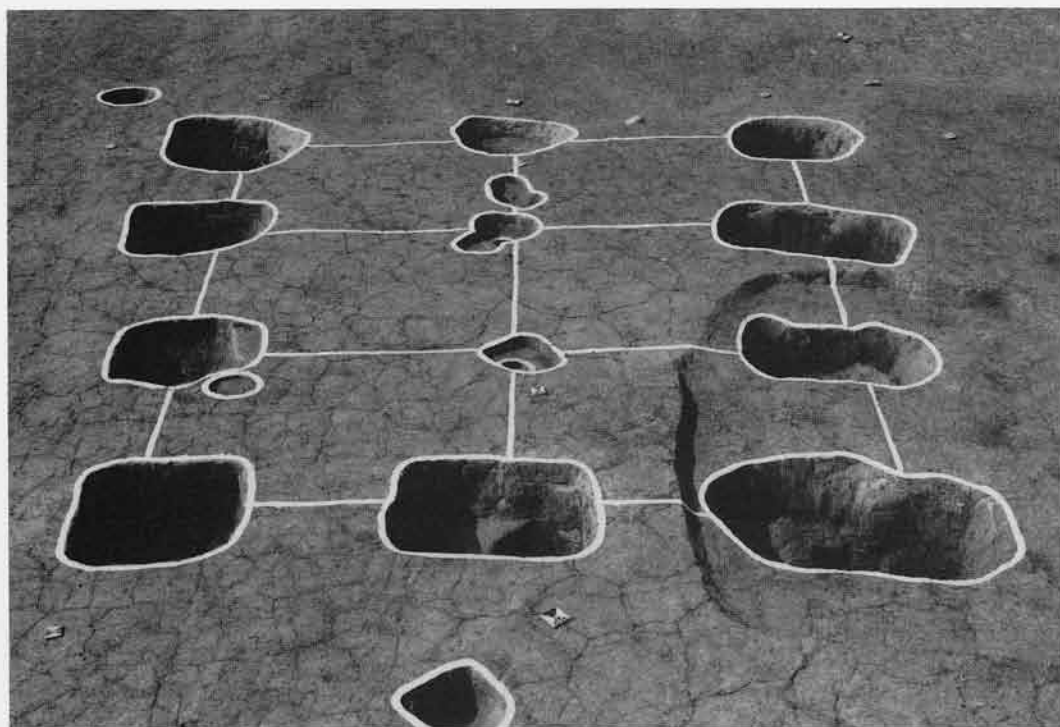
SB41・42 完掘 北から



SB46 完掘 西から



SB51 完掘 南から



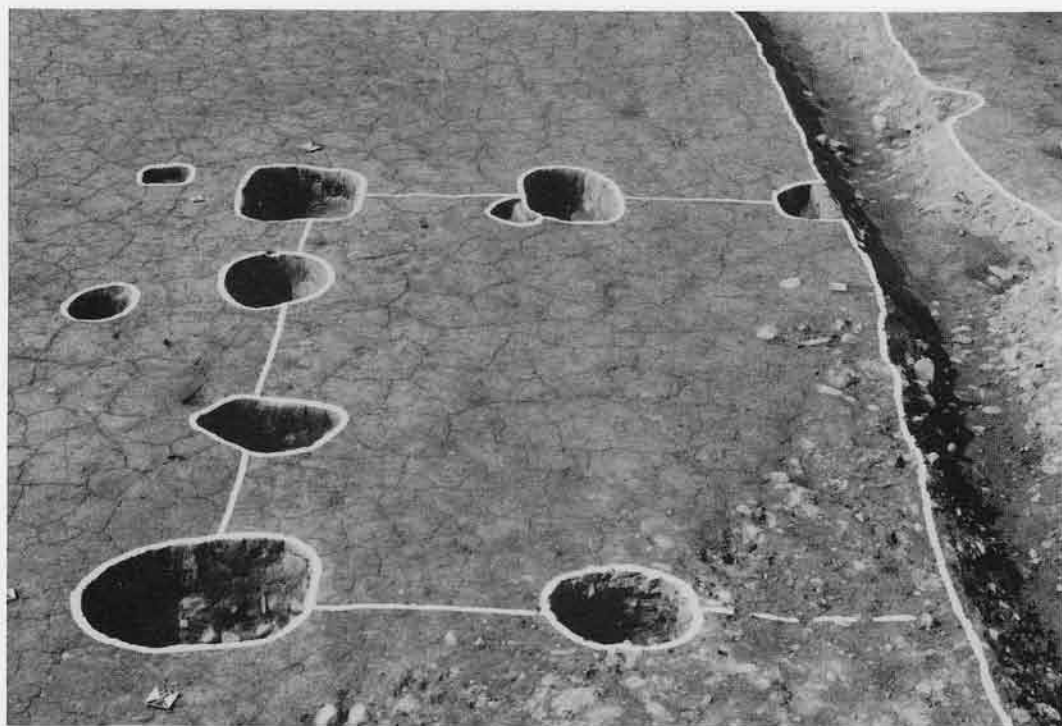
SB 52 完掘 南から



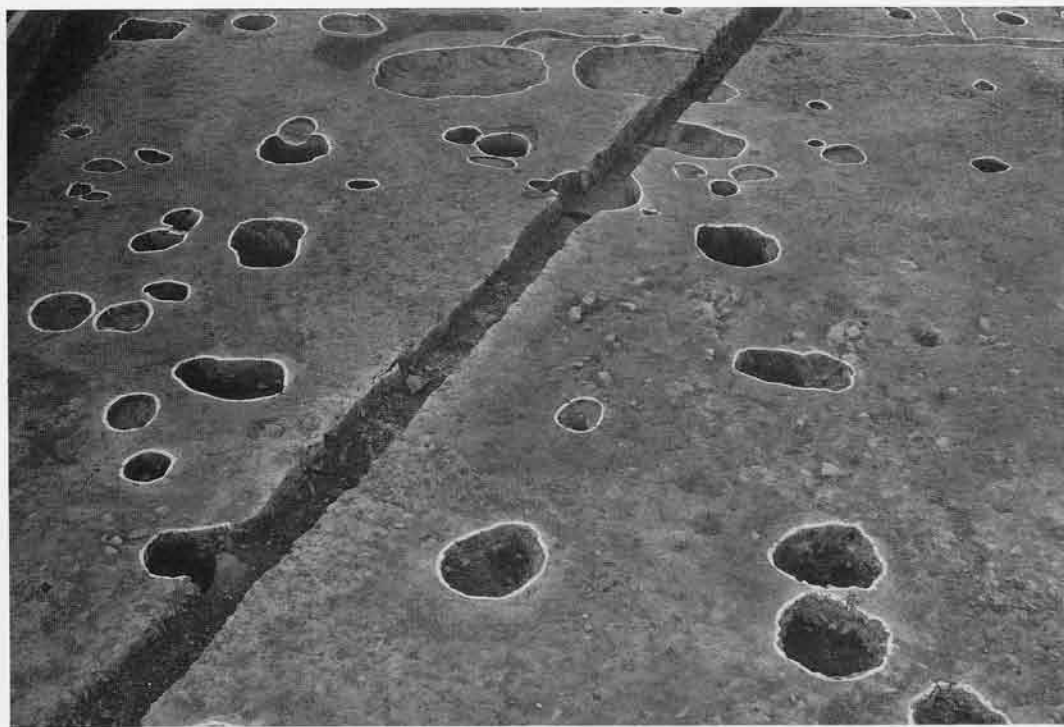
SB 53 完掘 南から



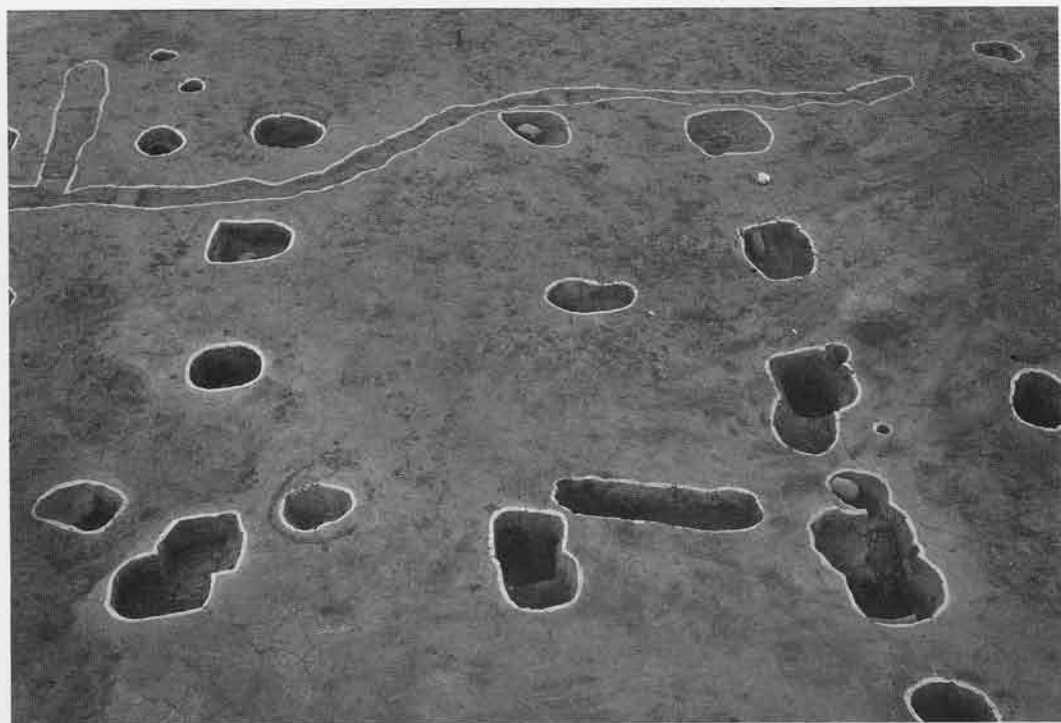
SB54 完掘 南から



SB55 完掘 南から



SB56 完掘 南から



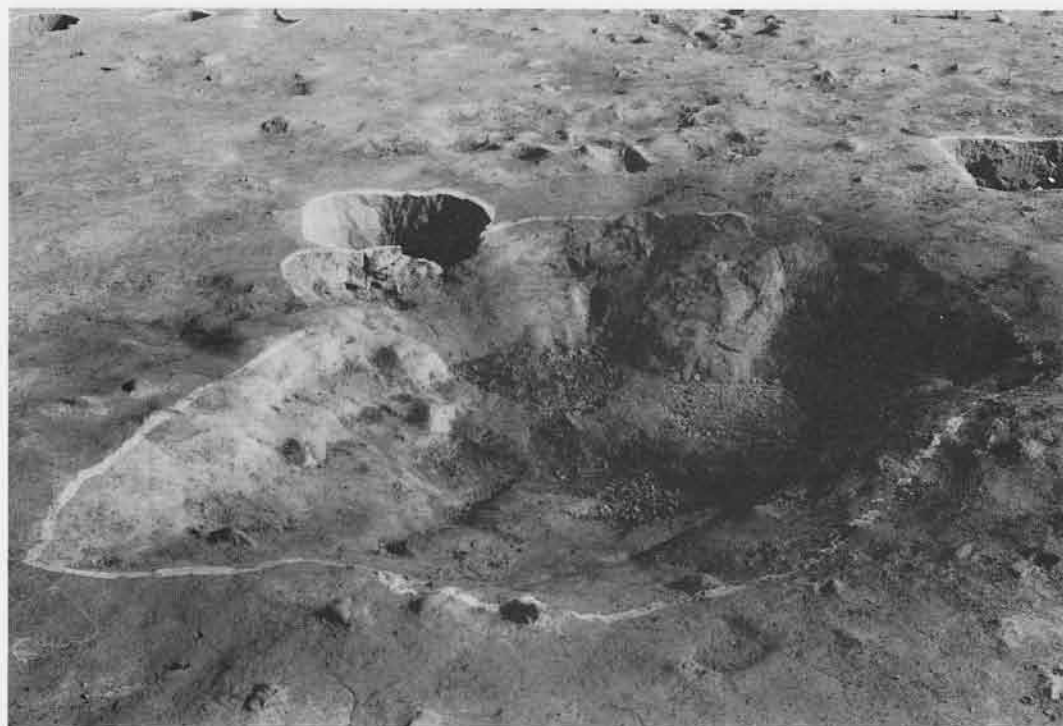
SB57 完掘 南から



SB58 完掘 南から



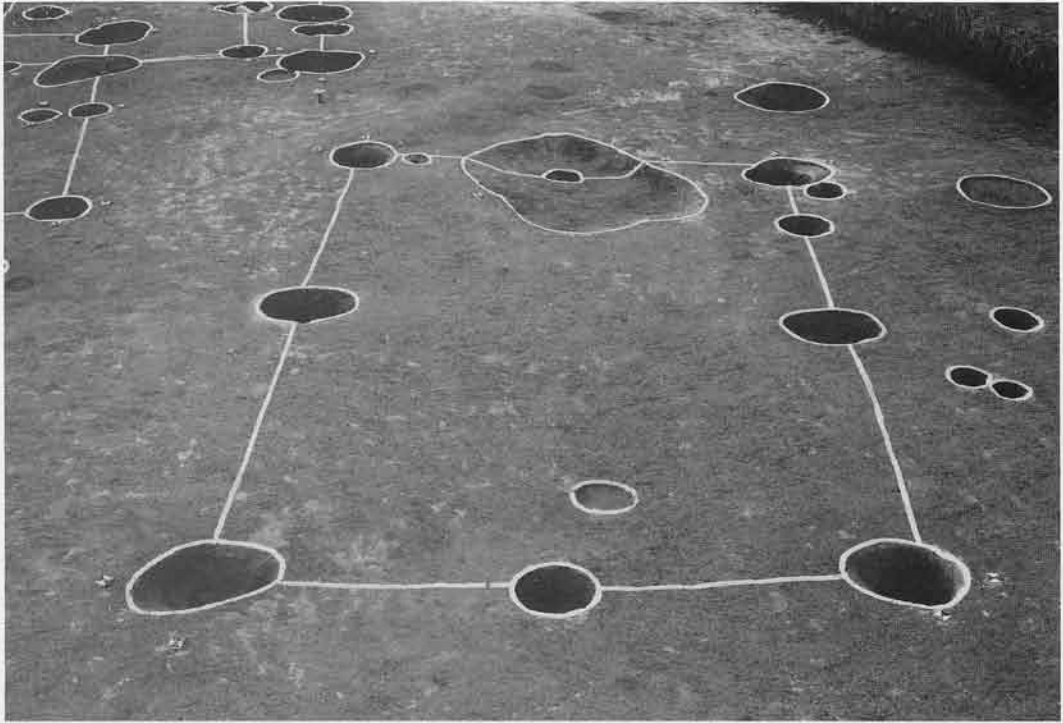
SK89 断面 南東から



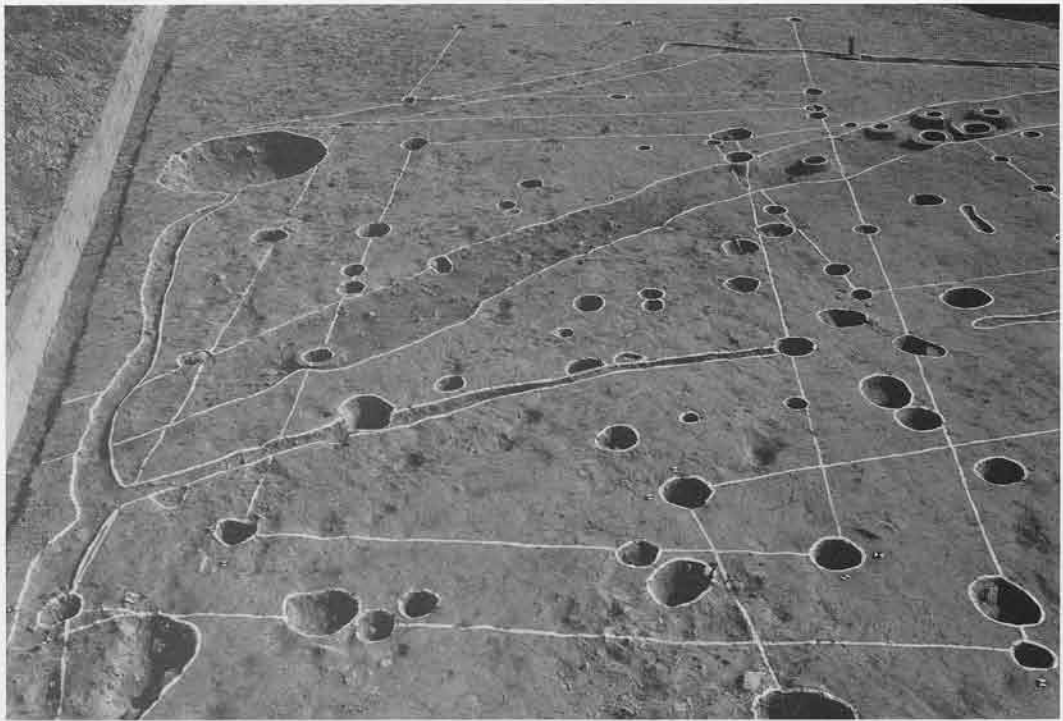
SK100 完掘 西から



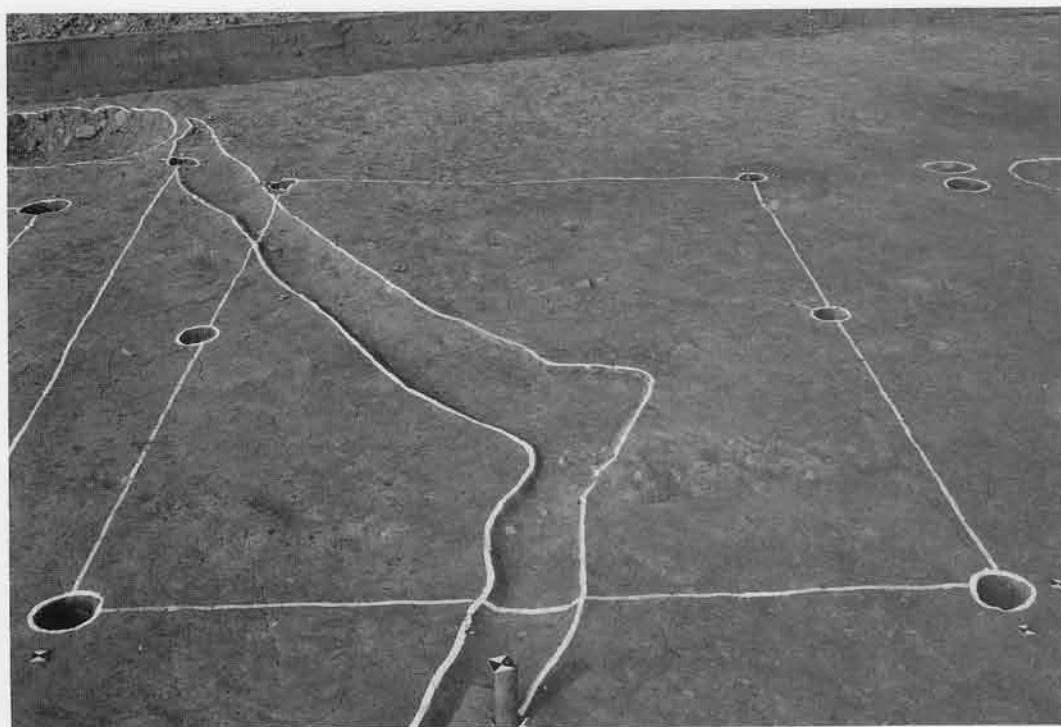
SK101 完掘 南から



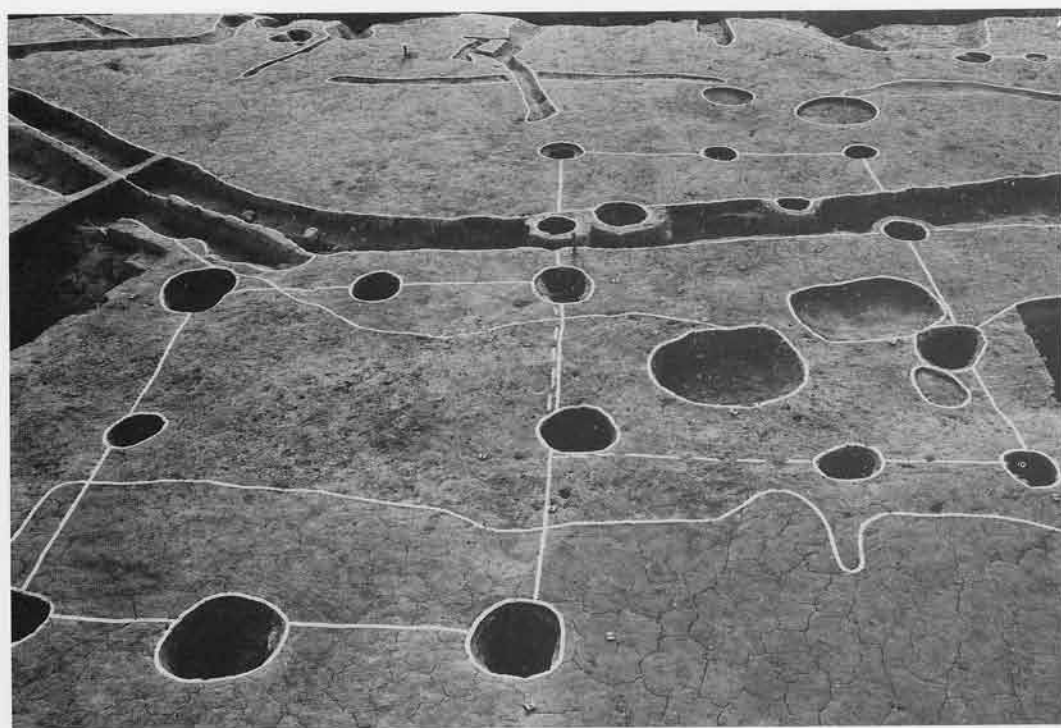
SB12 完掘 東から



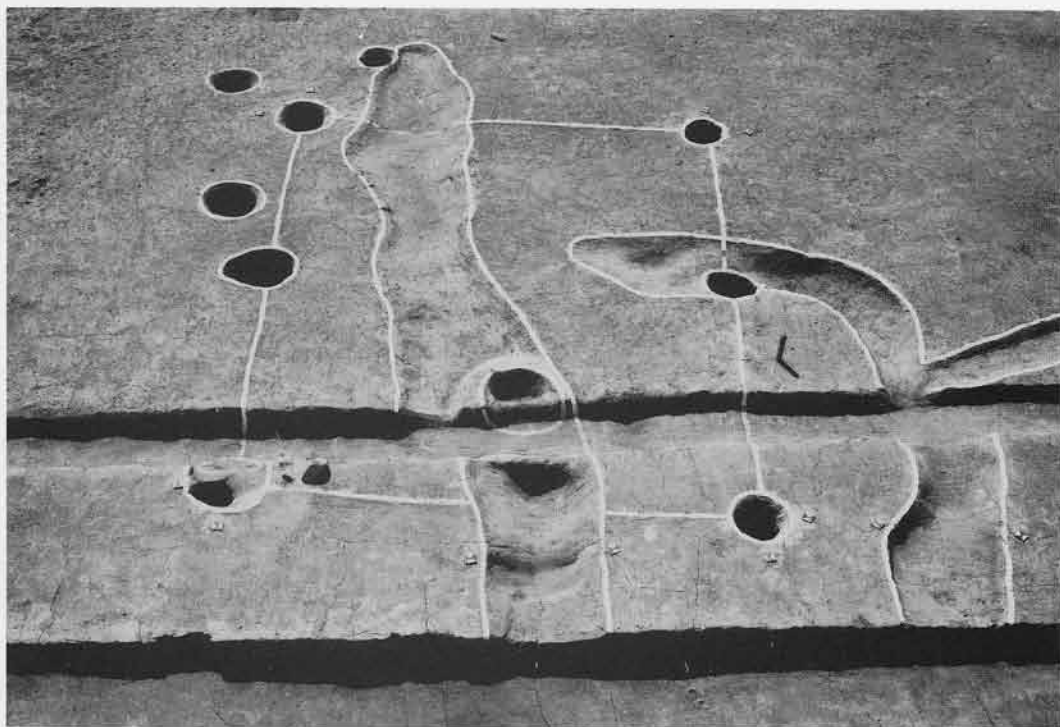
SB17 完掘 西から



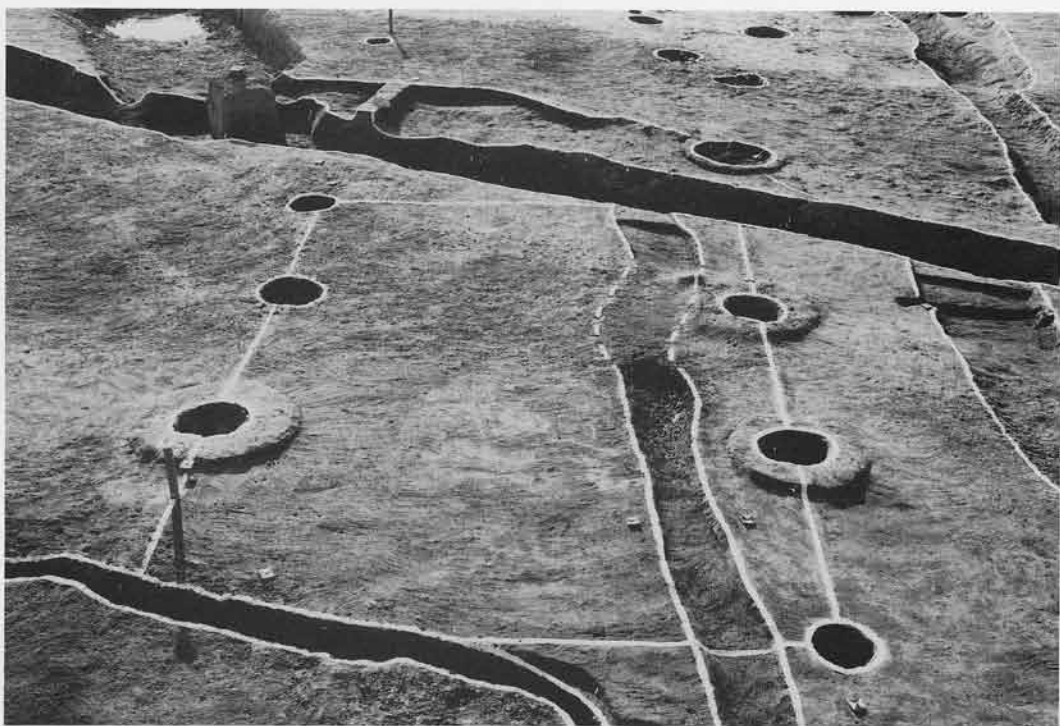
SB20 完掘 南から



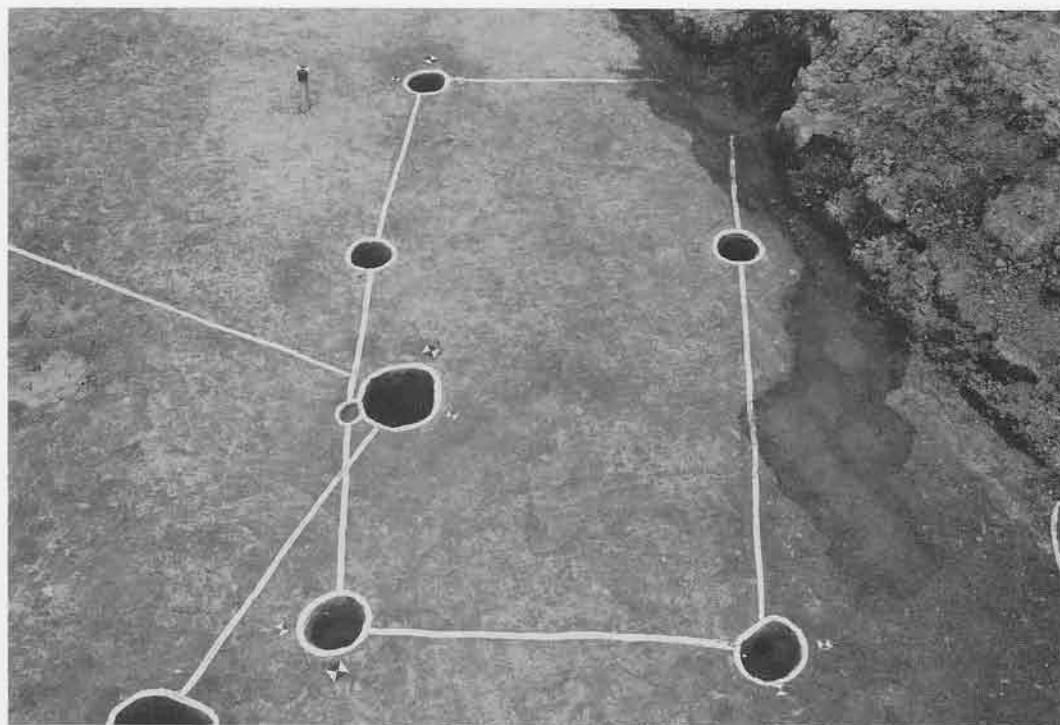
SB26・27 完掘 東から



SB 29 完掘 北から



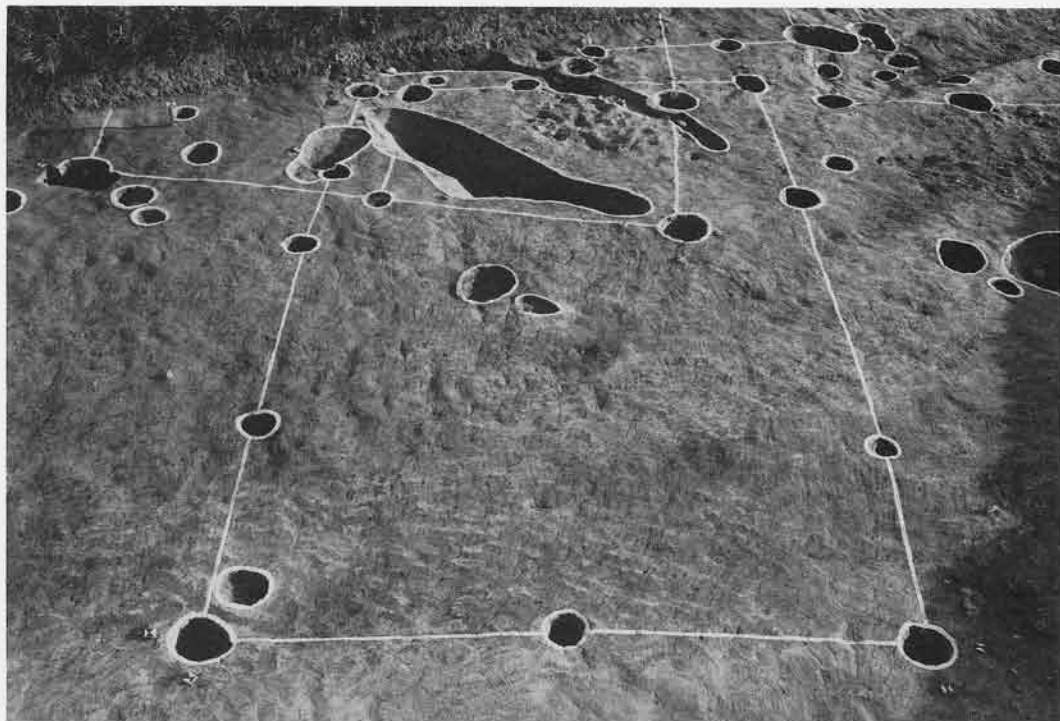
SB 32 完掘 東から



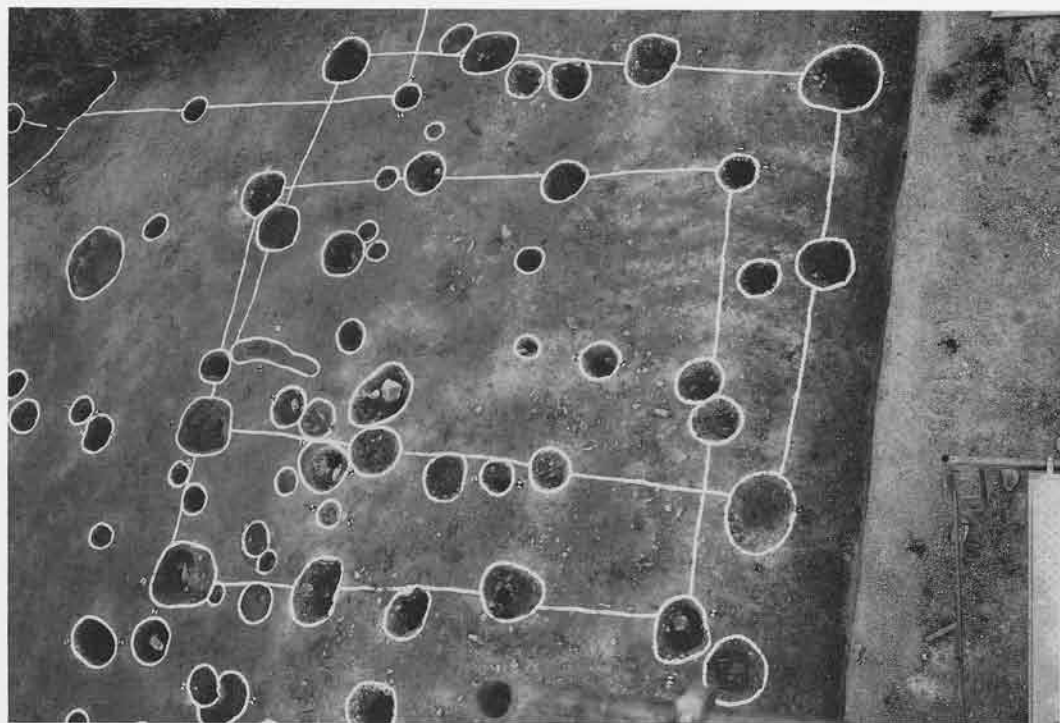
SB34 完掘 西から



D4 SP3 遺物出土状況 南から



SB28 完掘 北から



SB44・45 完掘 東から



L14 SP 4 5 遺物出土状況 北から



L14 SP 4 8 遺物出土状況 北から



SK98 完掘 北から



SK99 完掘 北から



SK108・109 礎出土状況 西から



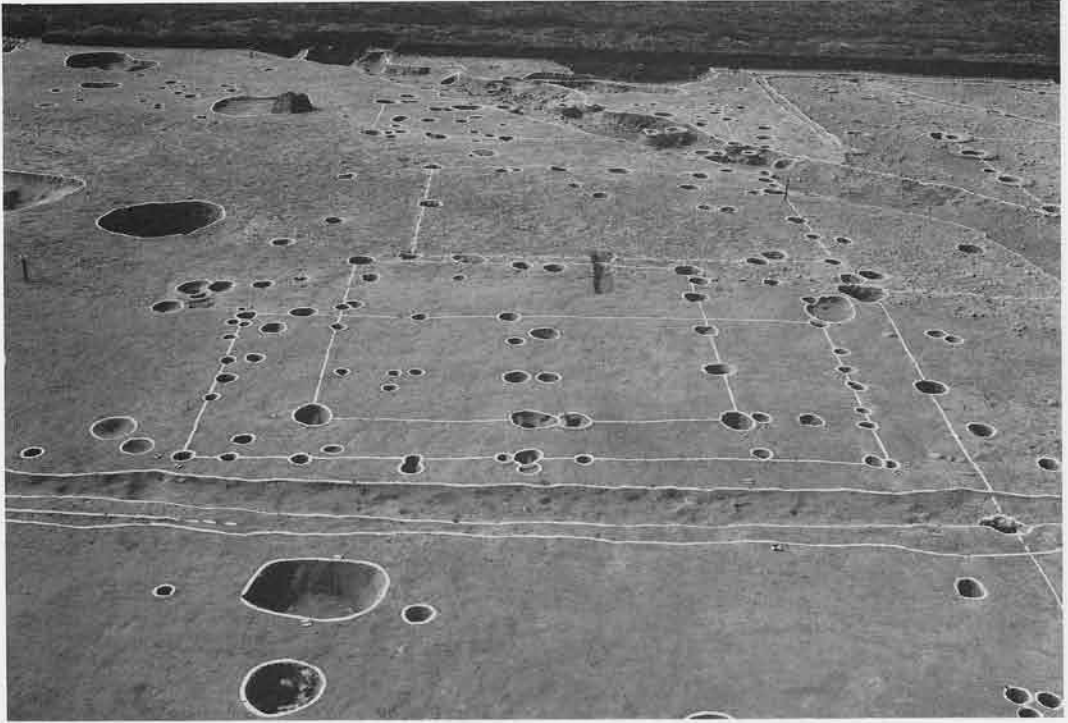
SK108・109 完掘 西から



SE04 完掘 西から



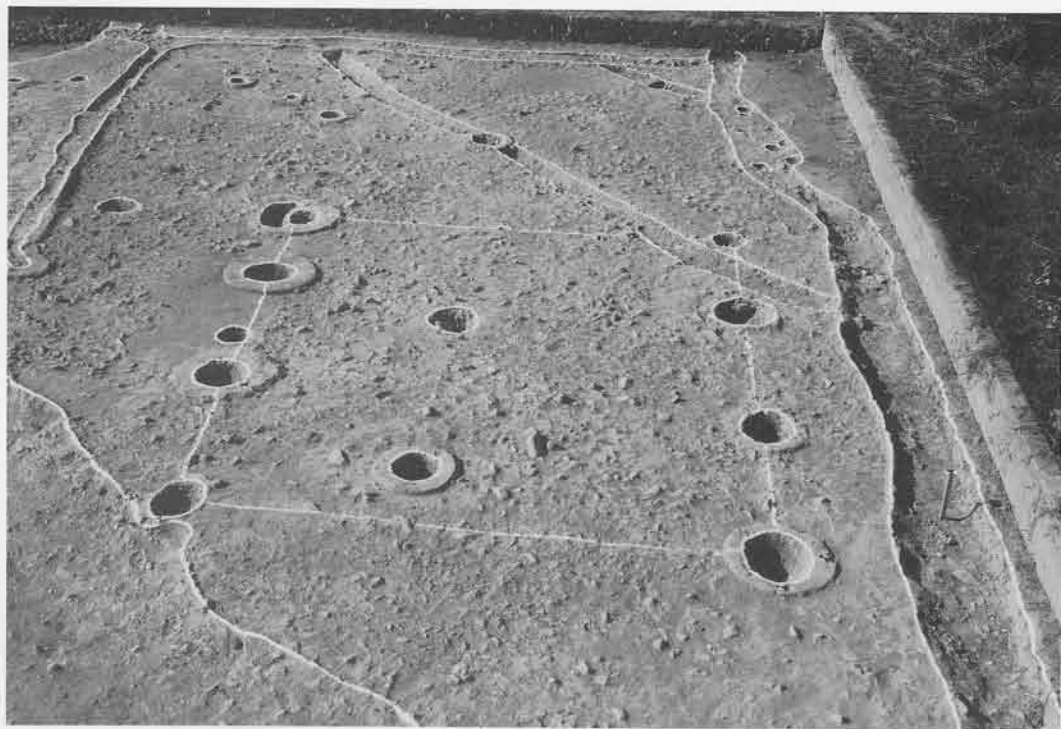
鋤溝跡 完掘 東から



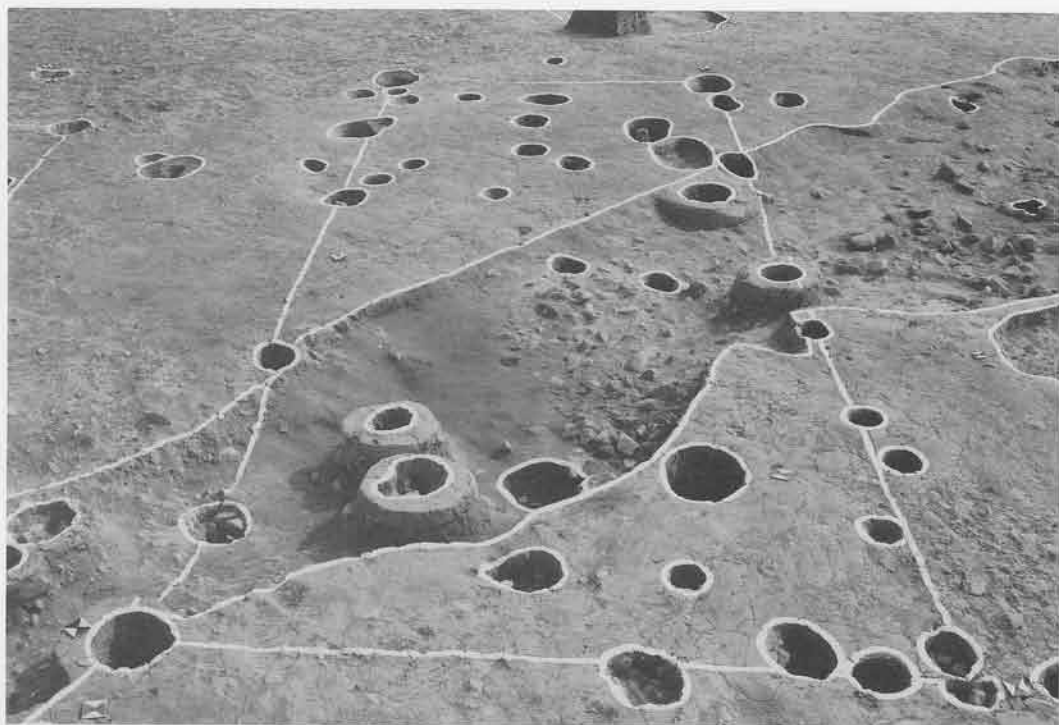
近世掘立柱建物群 西から



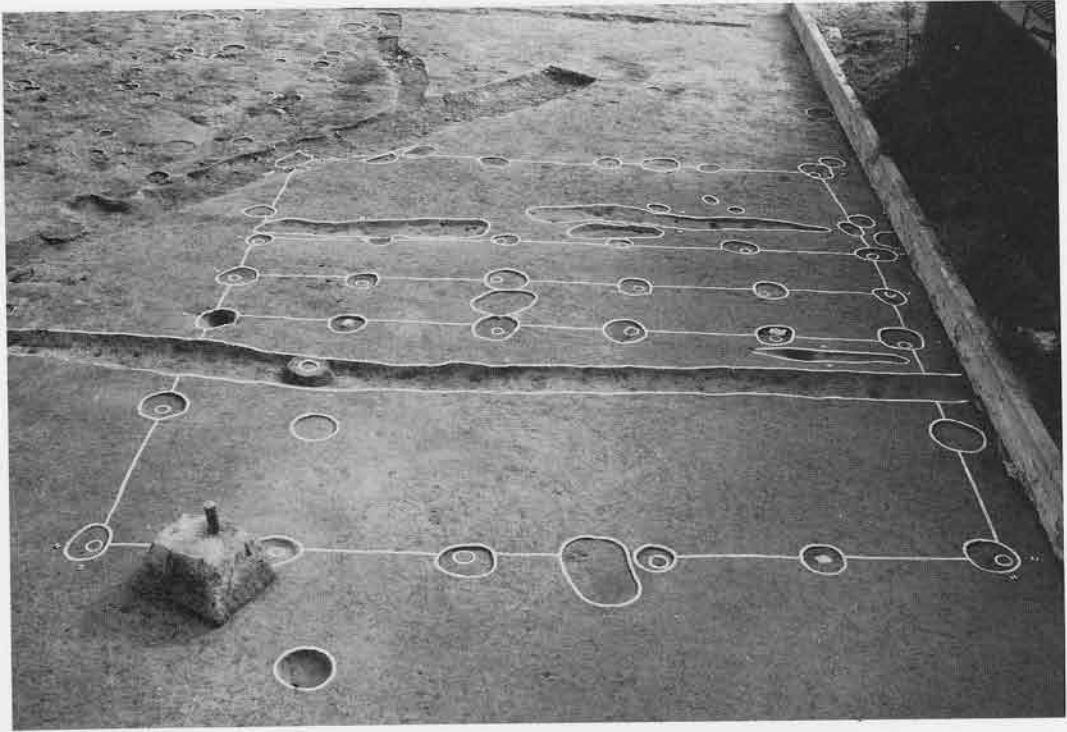
近世掘立柱建物群 東から



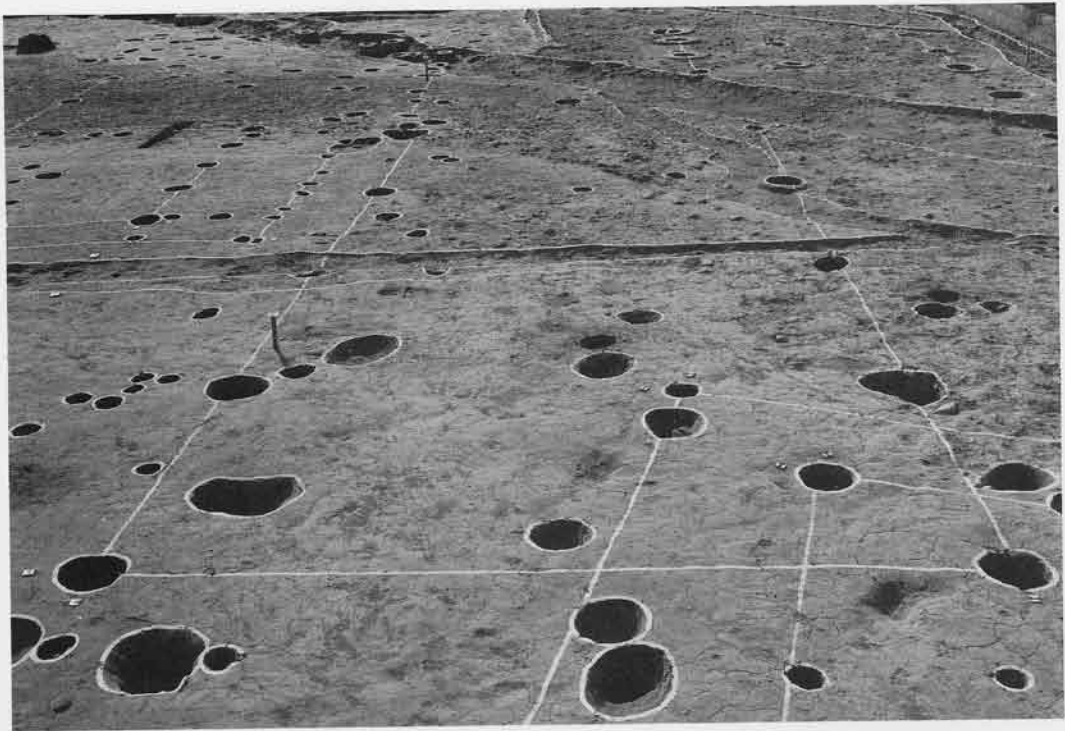
SB03 完掘 東から



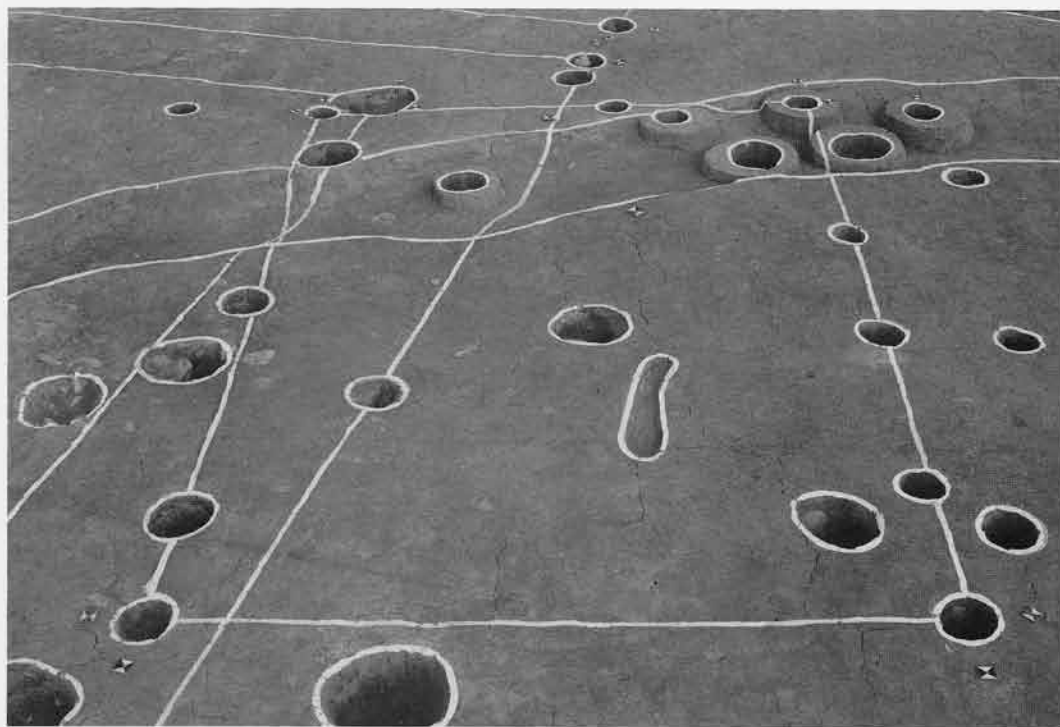
SB04 完掘 北から



SB08 柱痕検出状況 北から



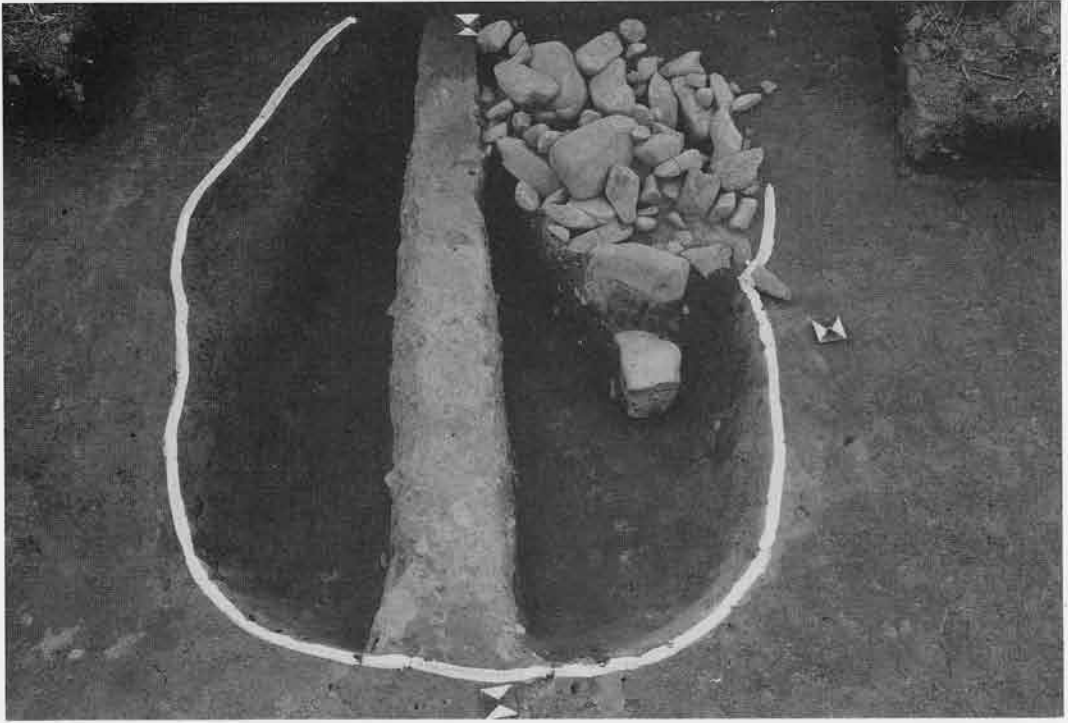
SB16 完掘 東から



SB19 完掘 西から



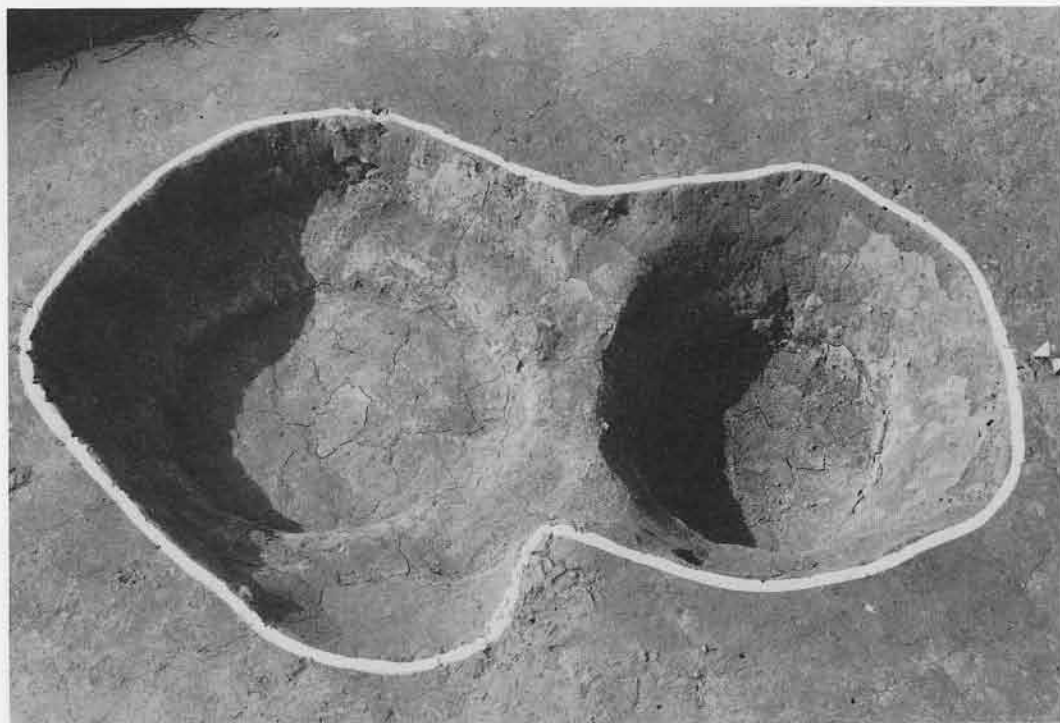
SB25 完掘 北から



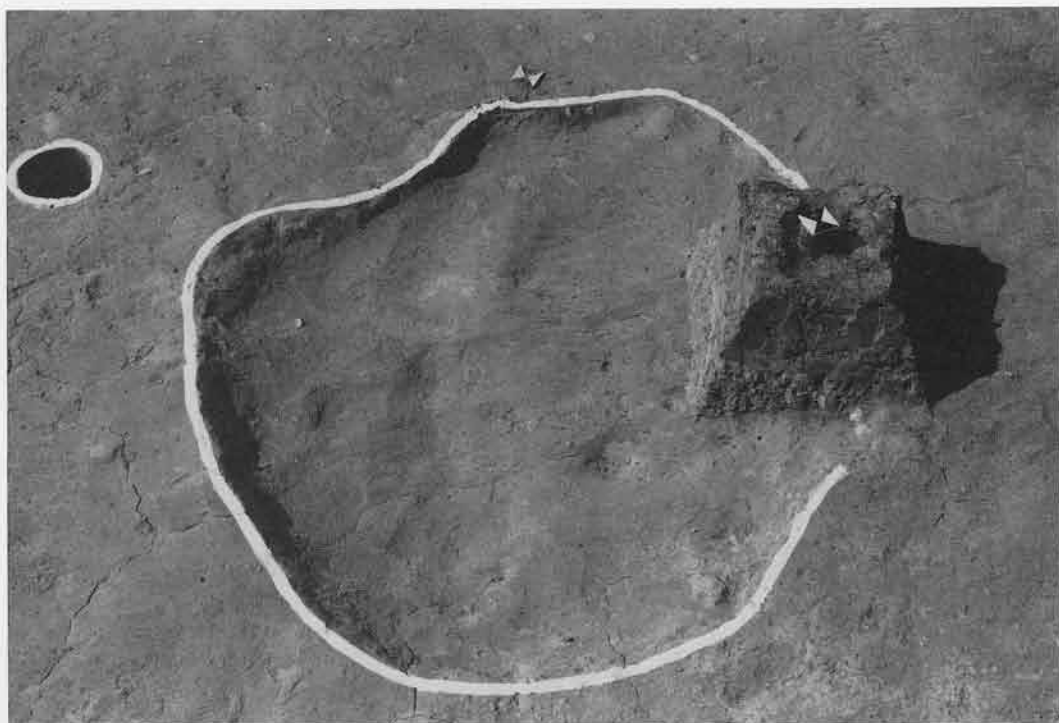
SK02 礫出土状況 東から



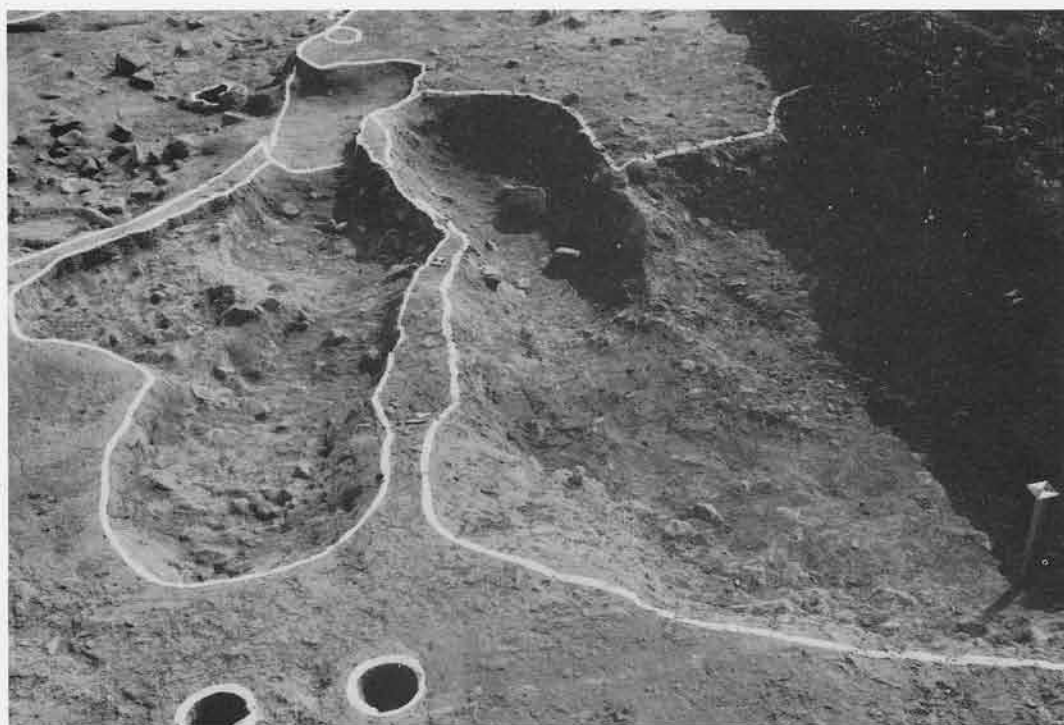
SK03 遺物出土状況 南から



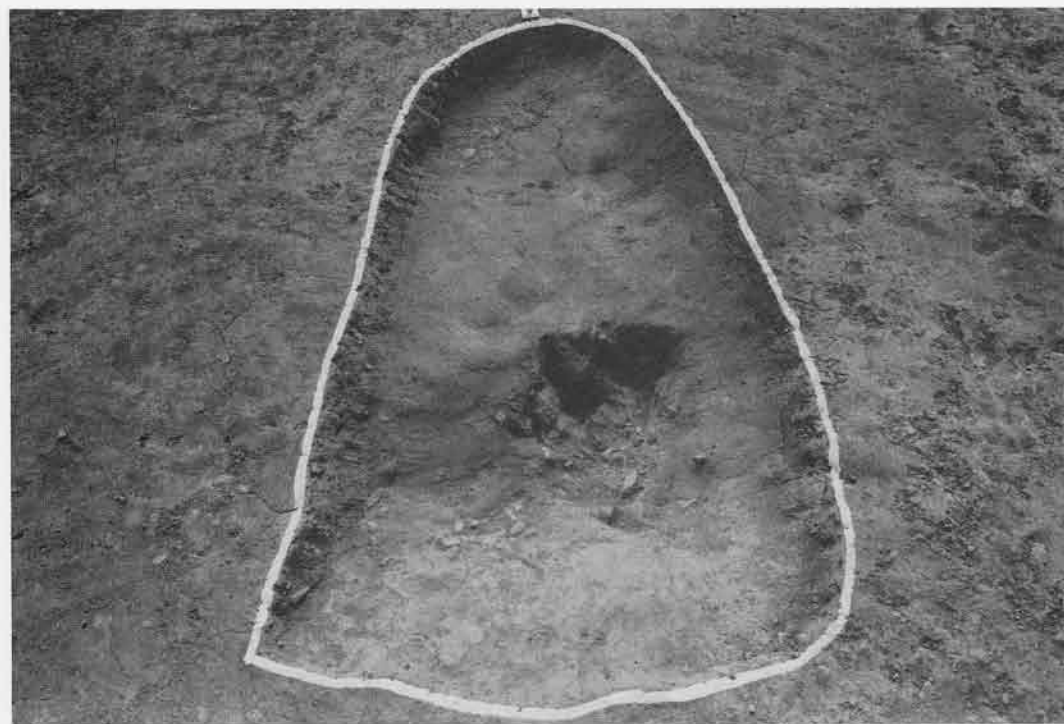
SK03 完掘 東から



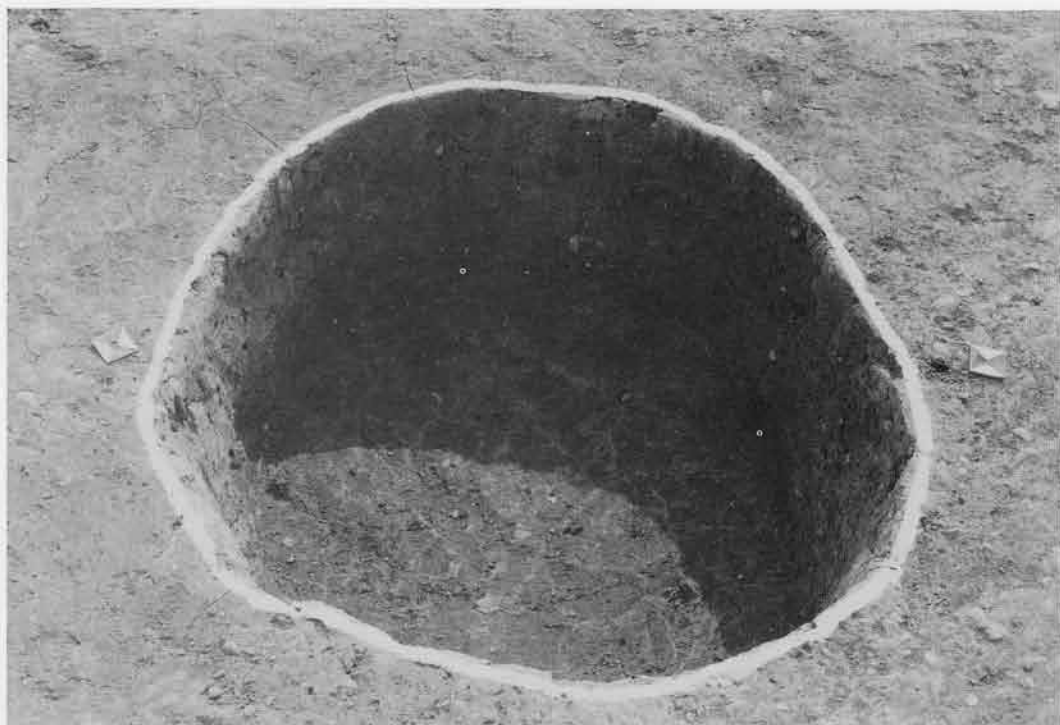
SK05 完掘 東から



SK06・07 完掘 北から



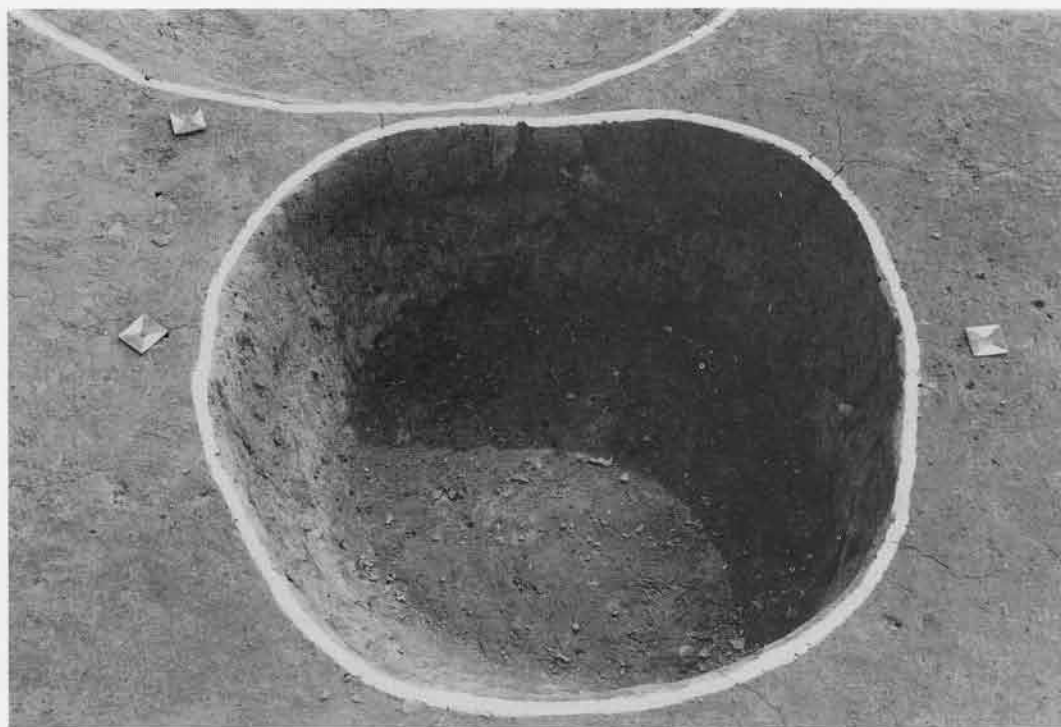
SK14 完掘 北から



SK15 完掘 北から



SK16 完掘 北から



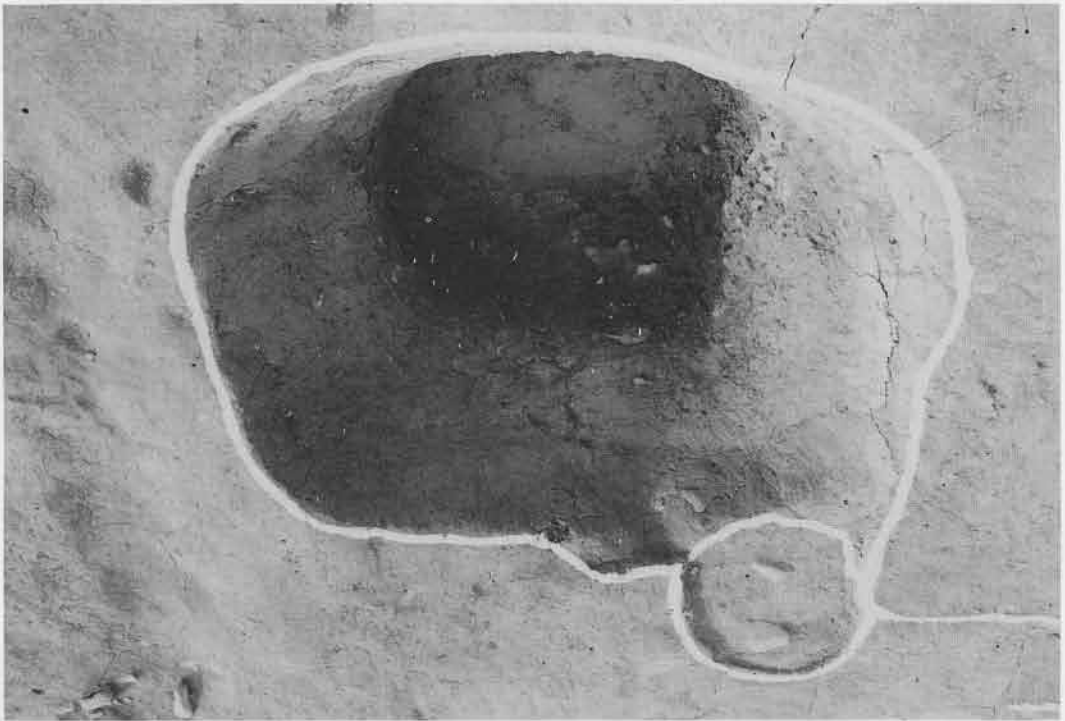
SK17 完掘 北から



SK18 遺物出土状況 南から



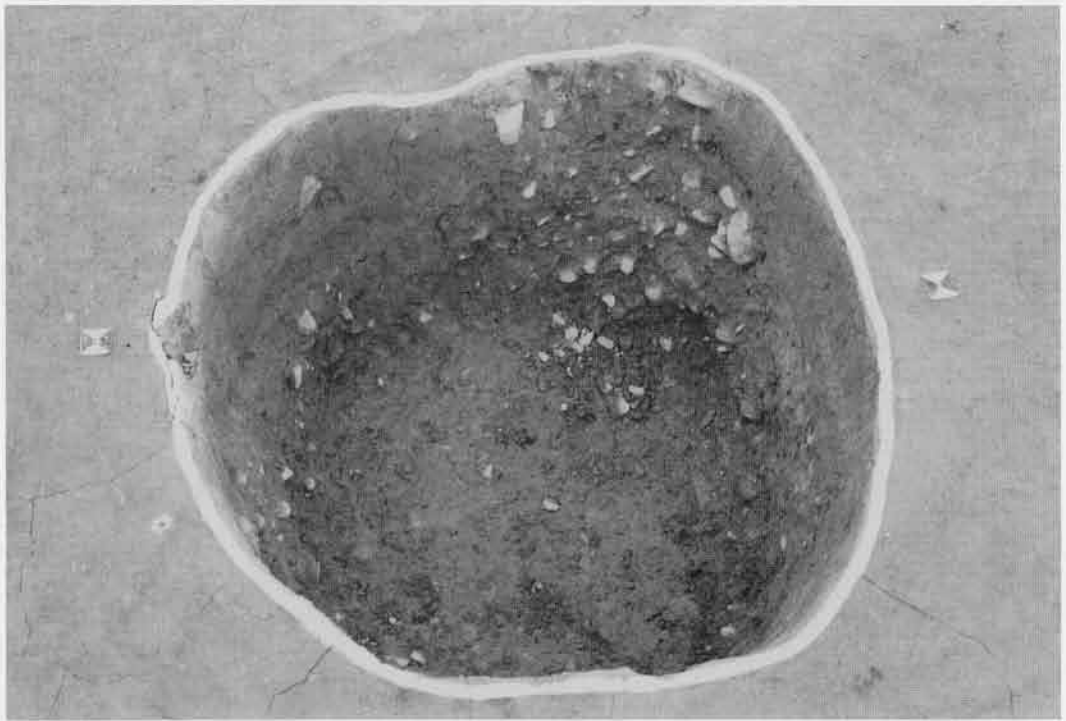
SK18 完掘 北から



SK19 完掘 北から



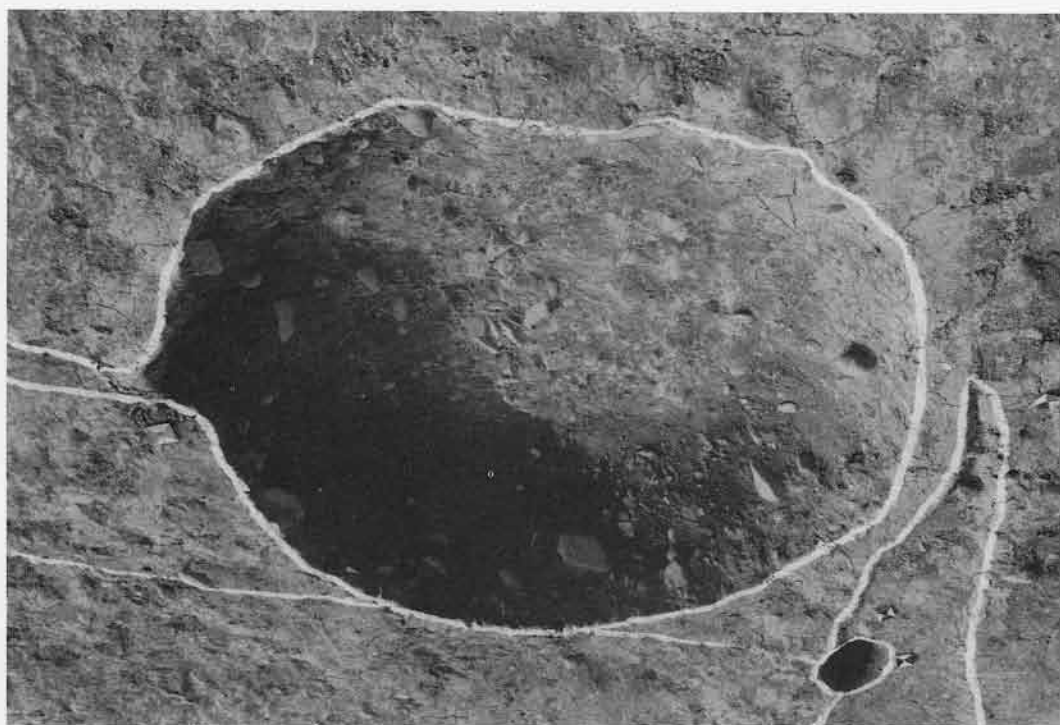
SK 20 完掘 北から



SK 21 完掘 北から



SK 2 2 大甕出土状況 北から



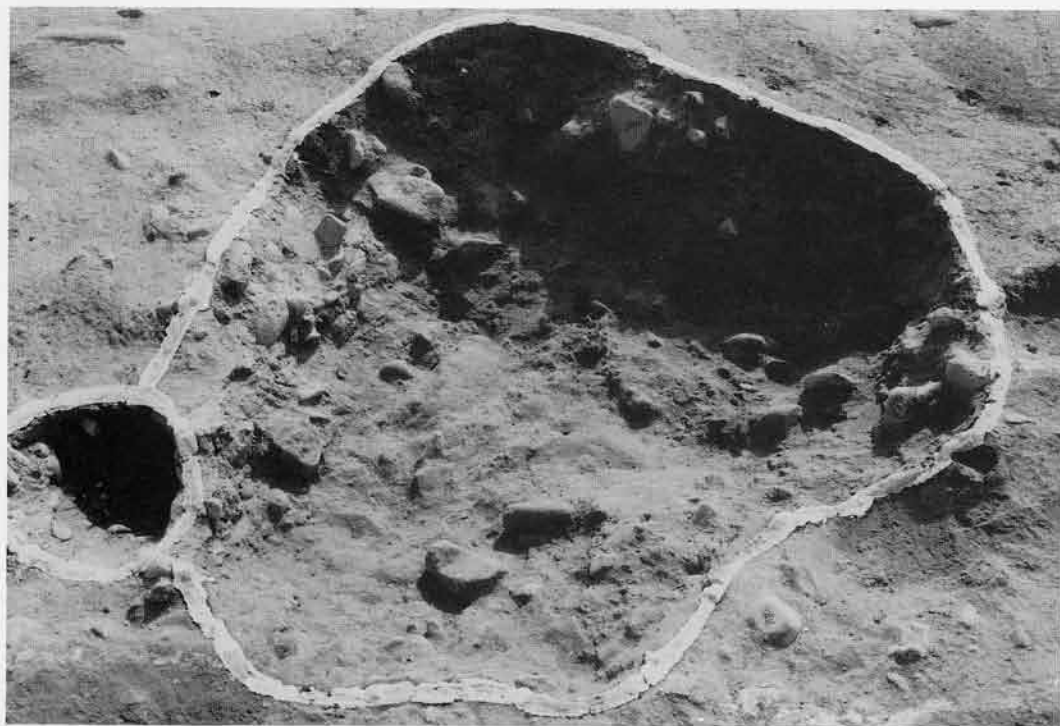
SK 2 4 完掘 北から



SK 96 断面 南から



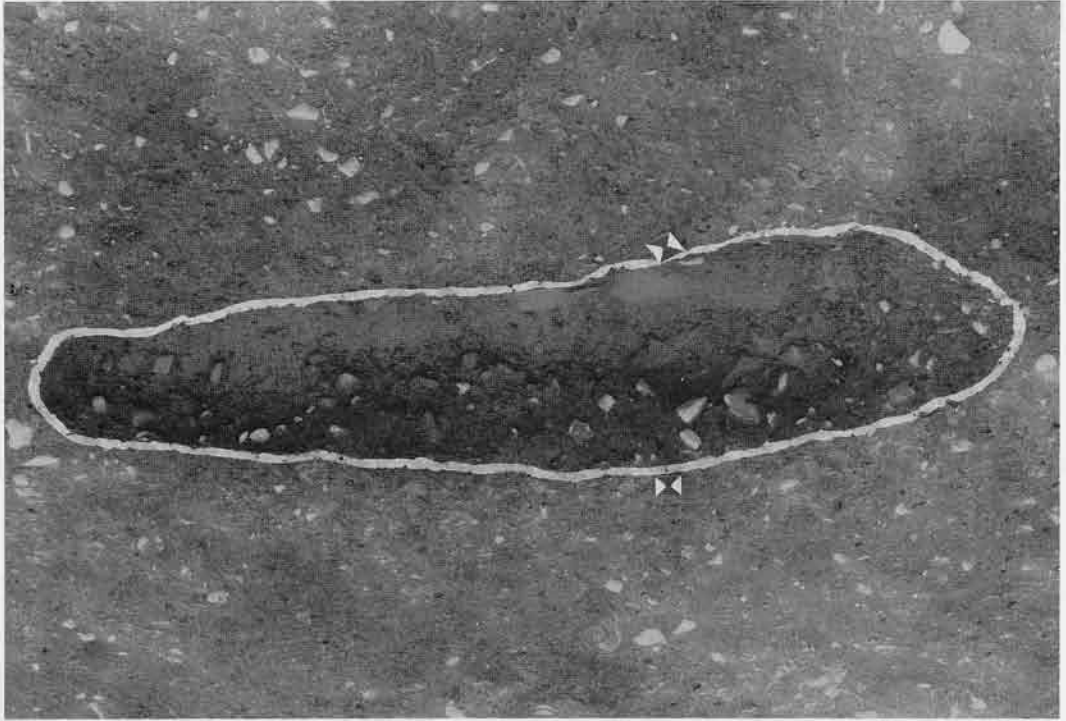
SK 97 完掘 南から



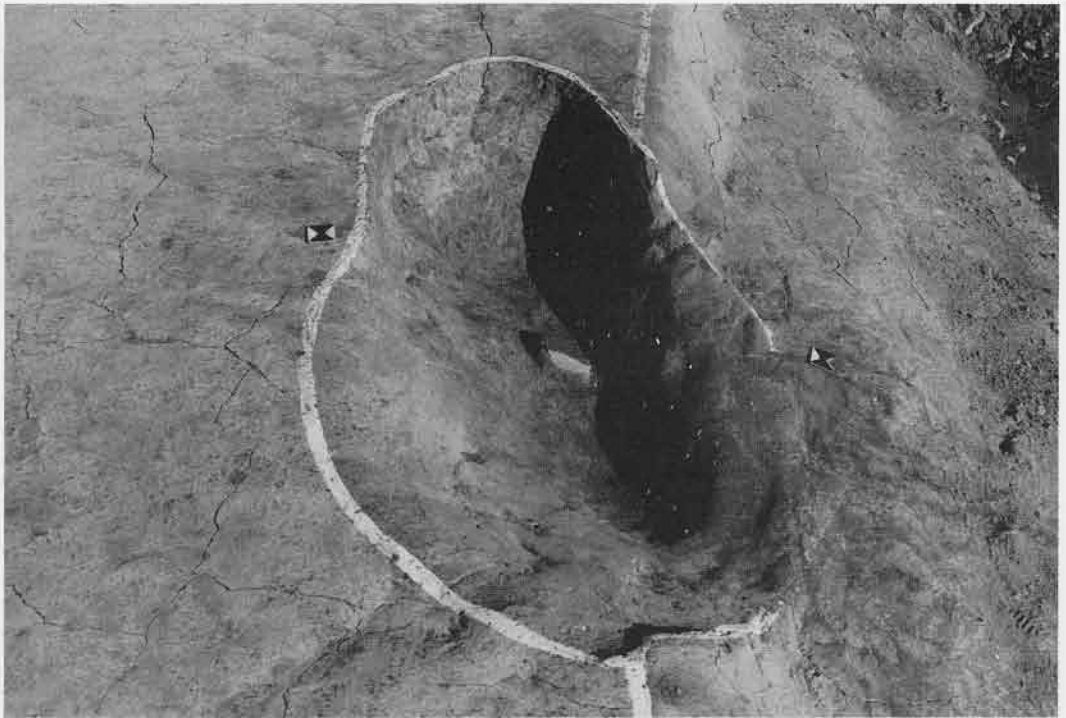
SK 23 完掘 北から



SK 30 完掘 北から



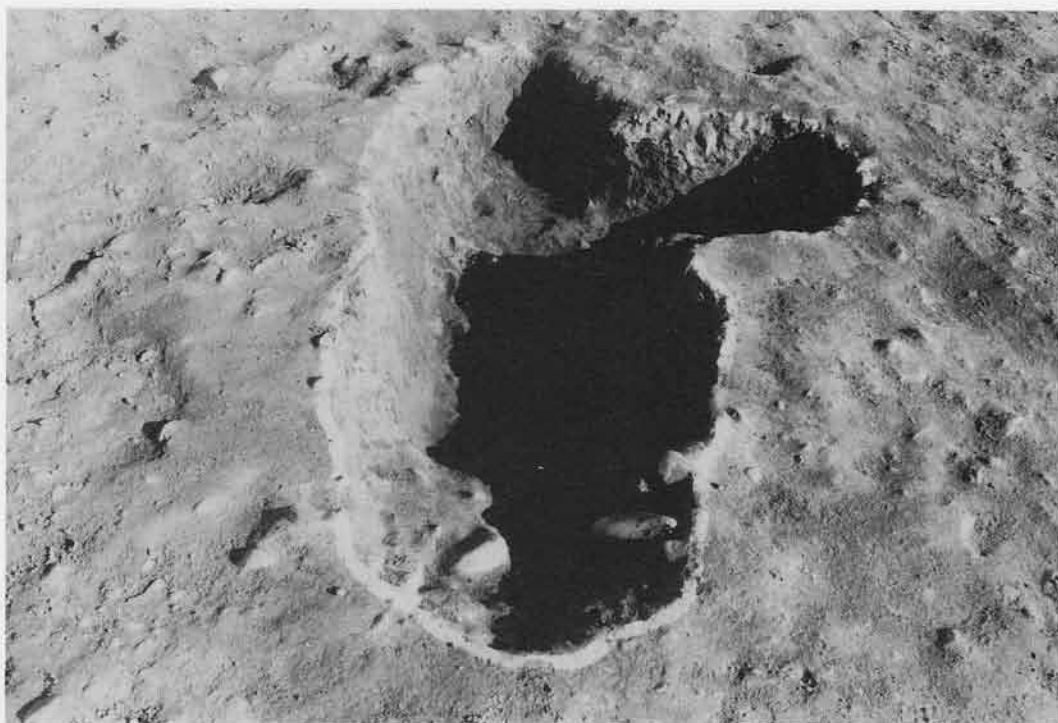
SK60 完掘 北から



SK72 完掘 北から



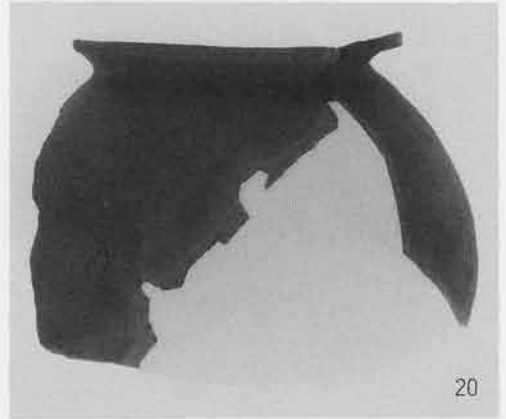
SK73 完掘 北から

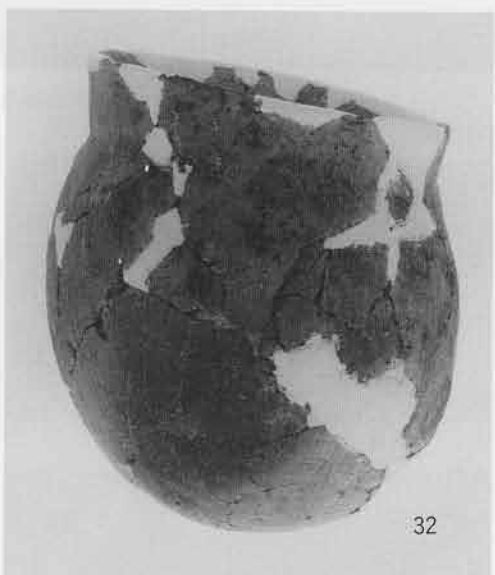
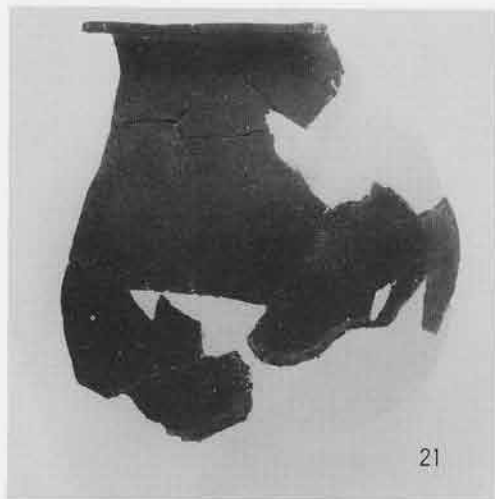


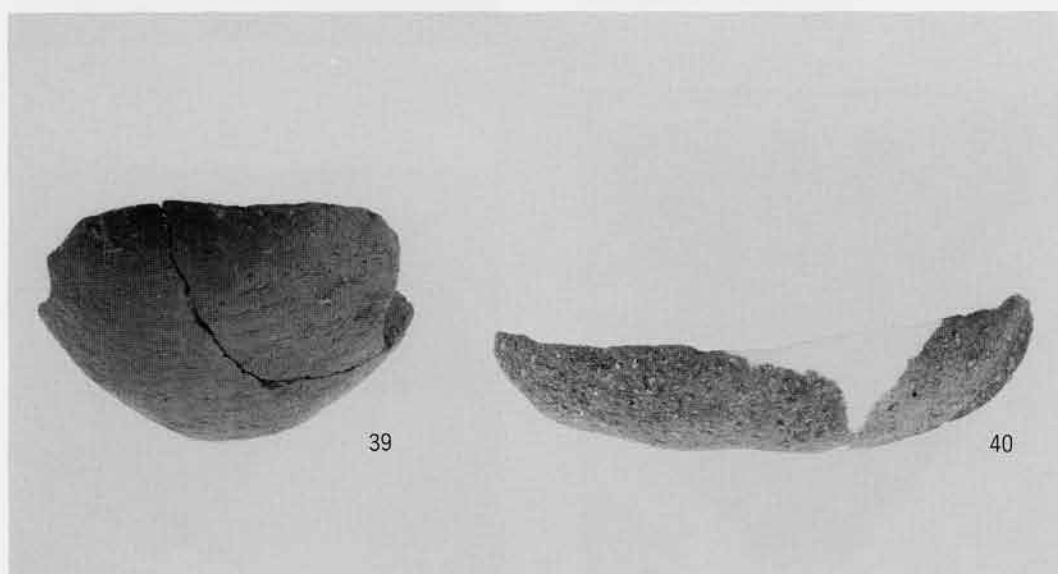
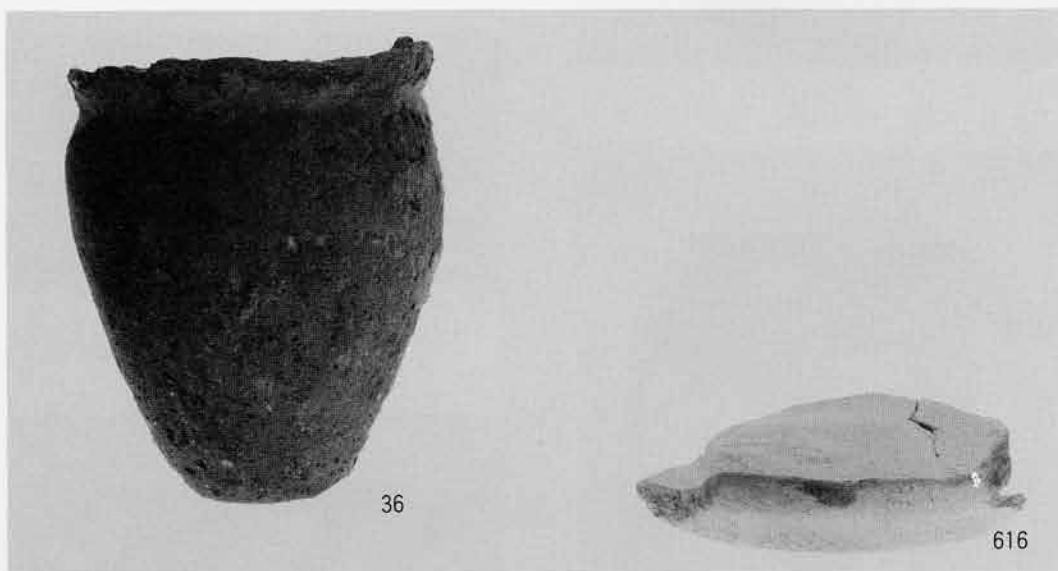
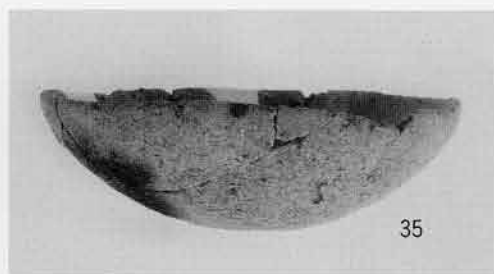
SK102 完掘 西から

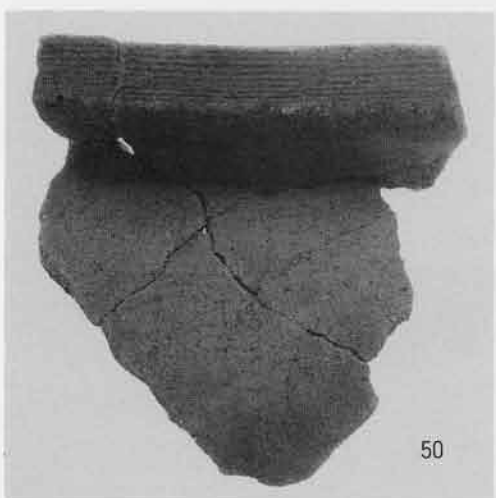
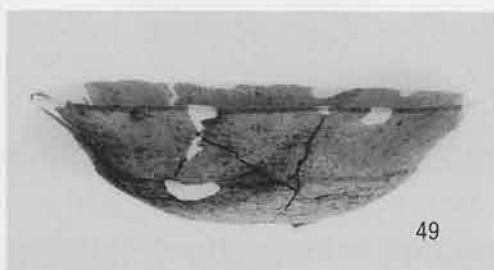
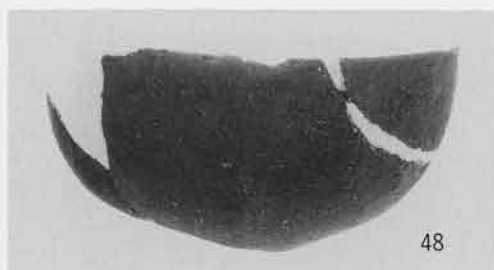
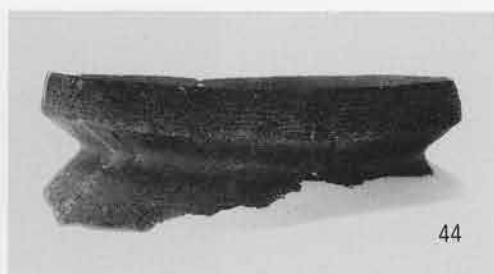
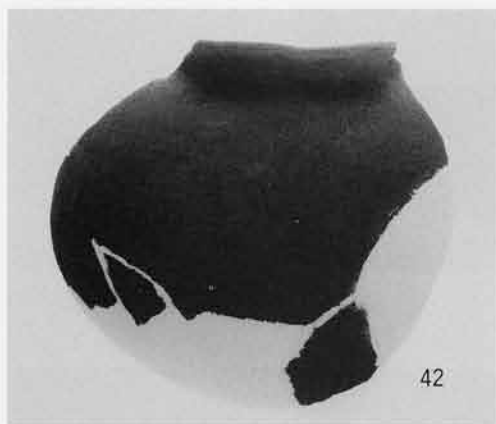


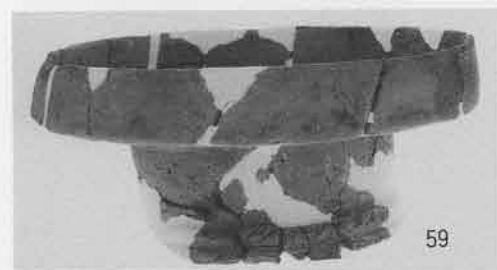
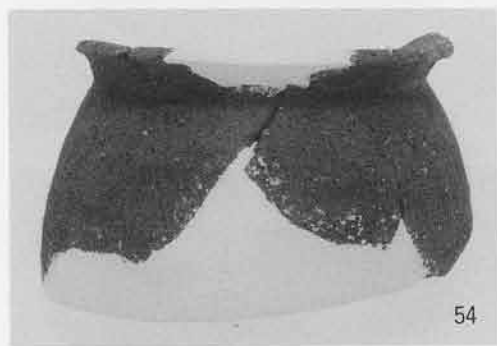
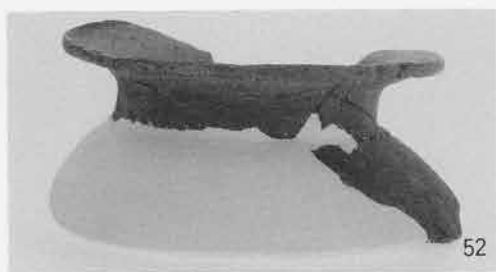
SK103 完掘 東から

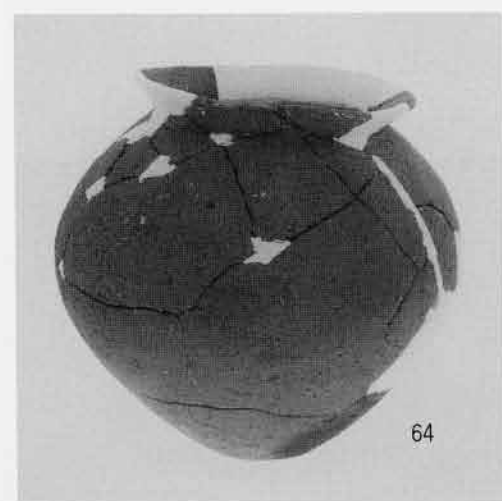
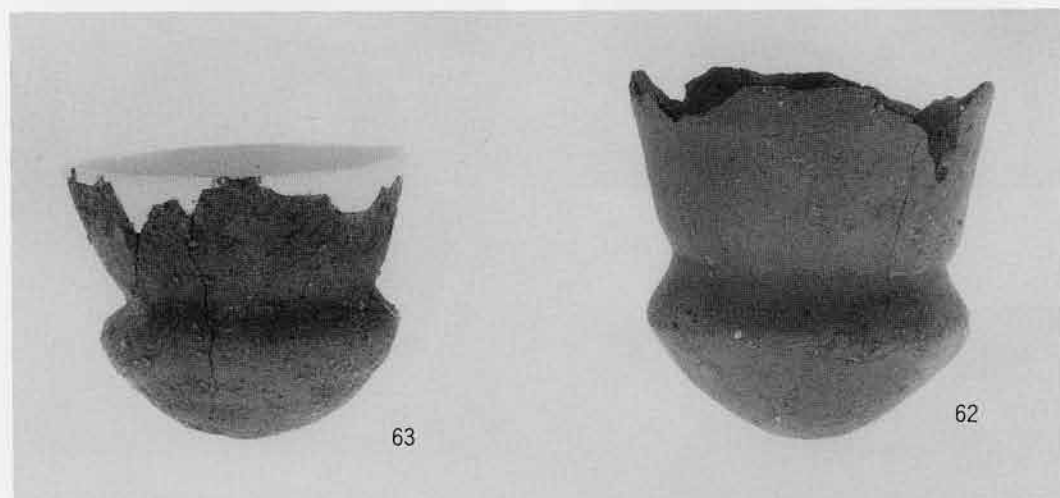
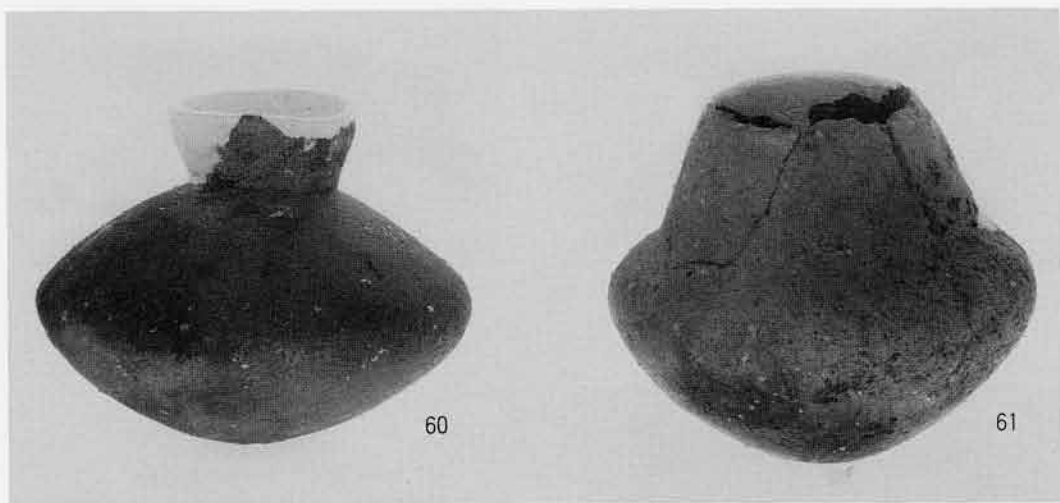


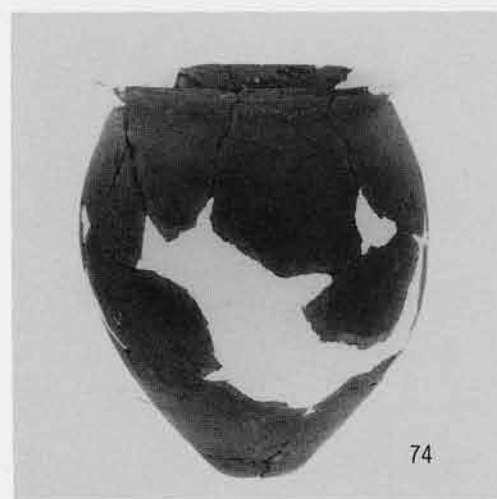
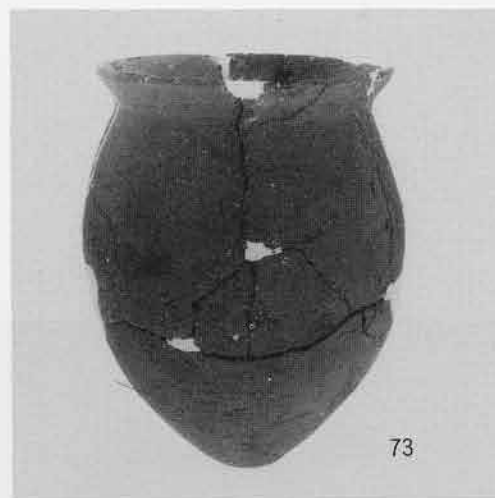
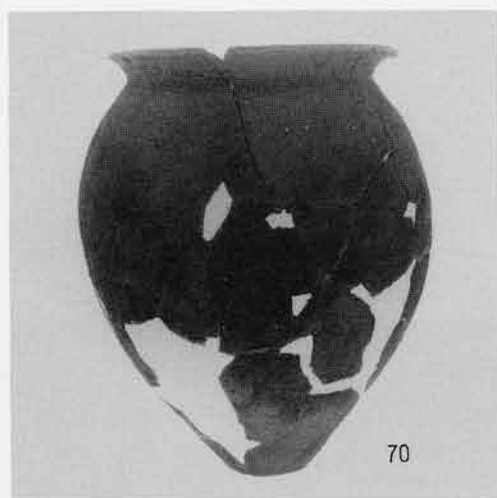


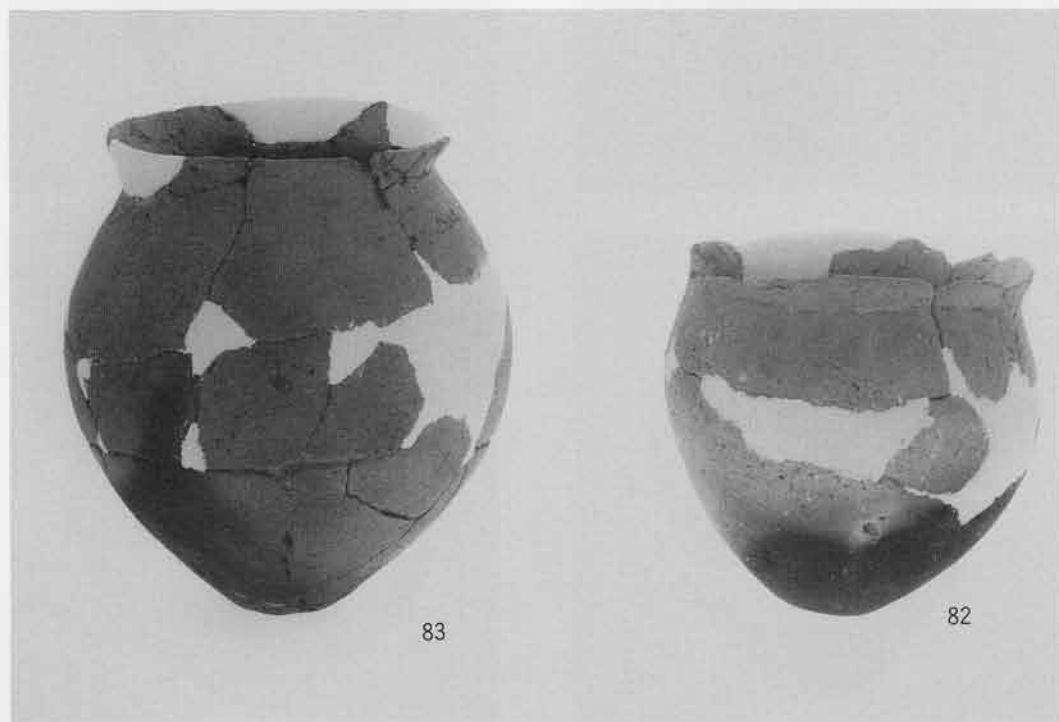
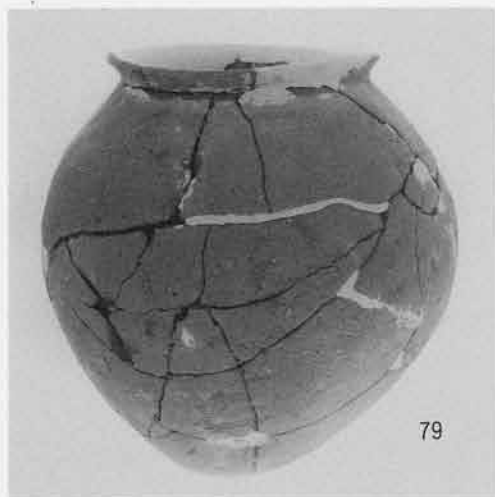


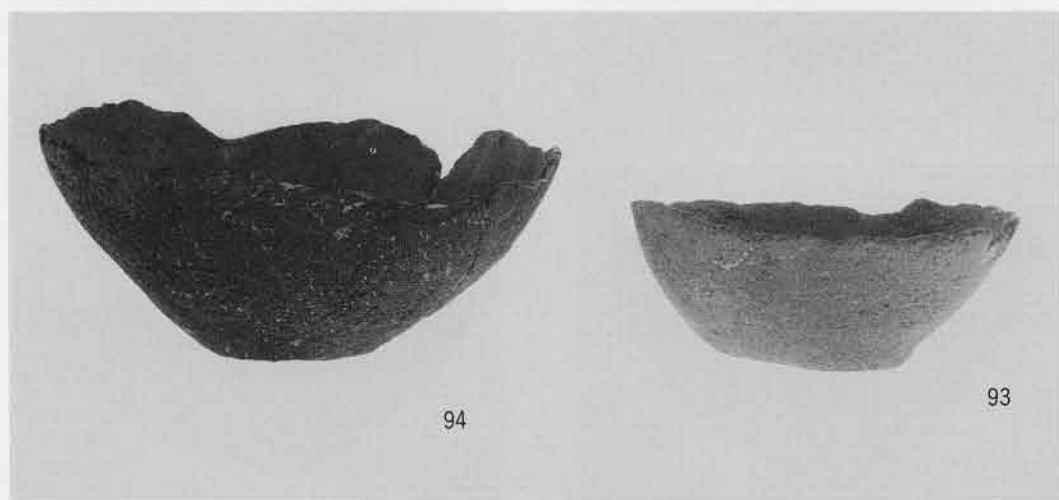
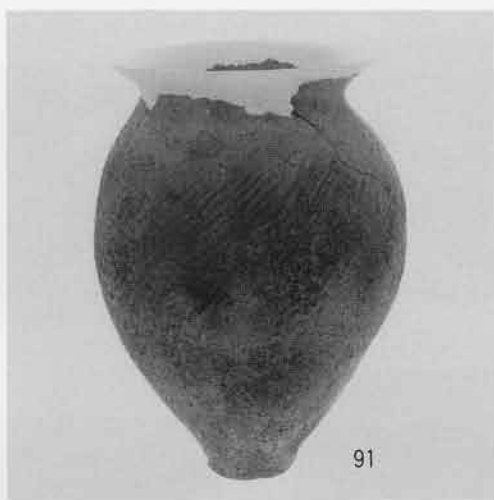
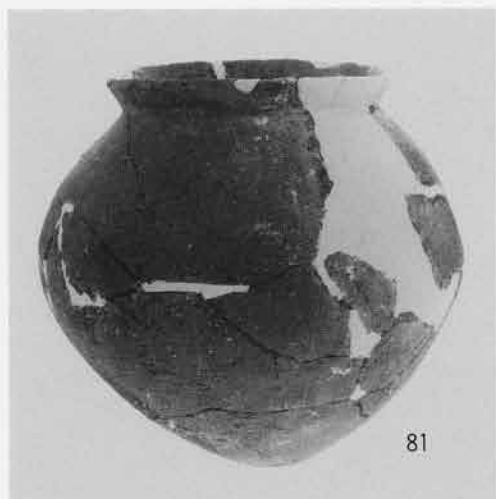


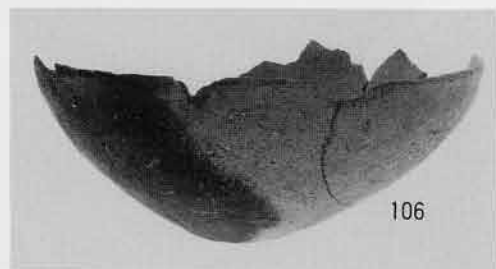
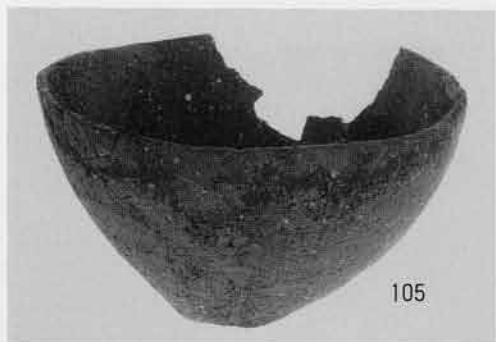
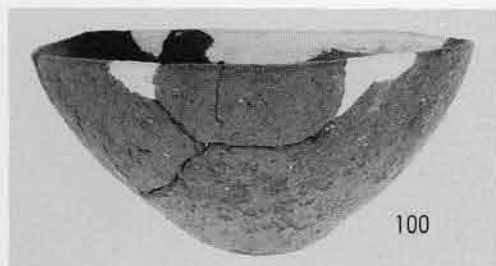
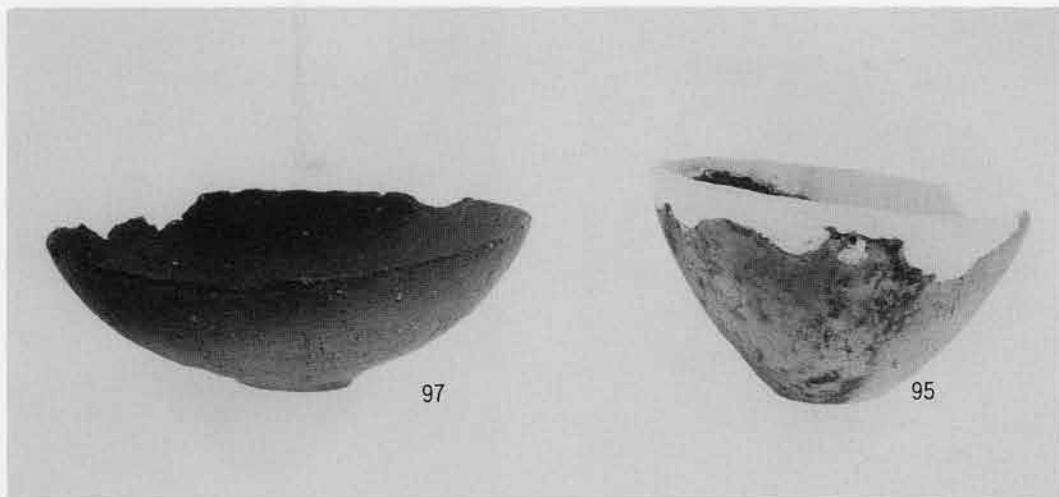


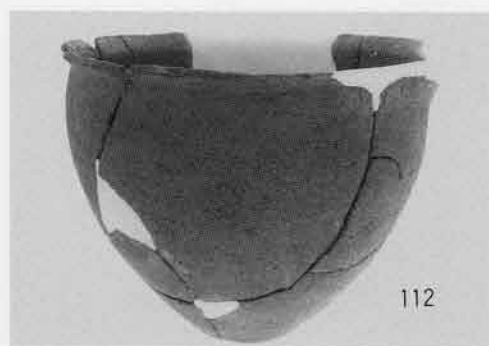
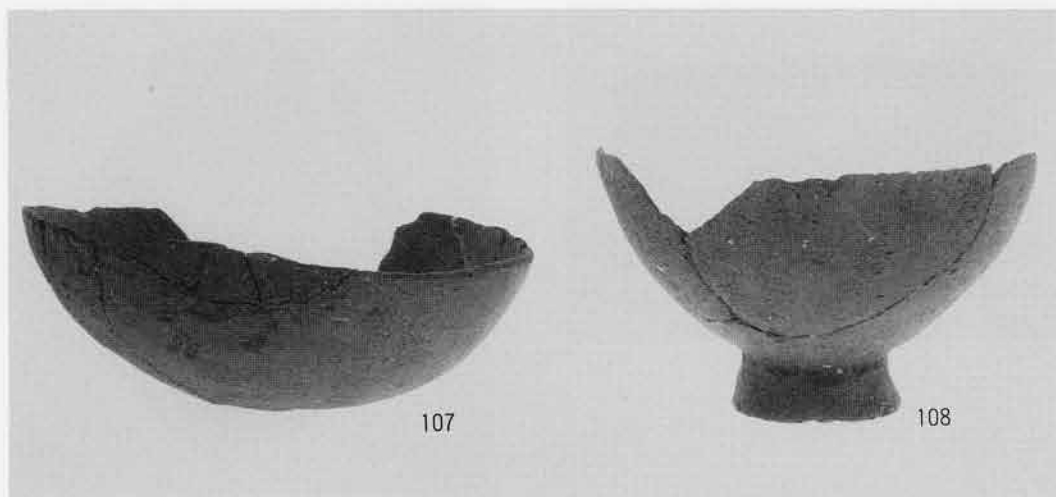


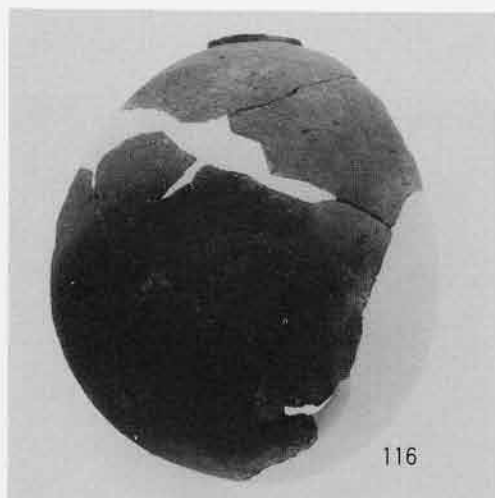
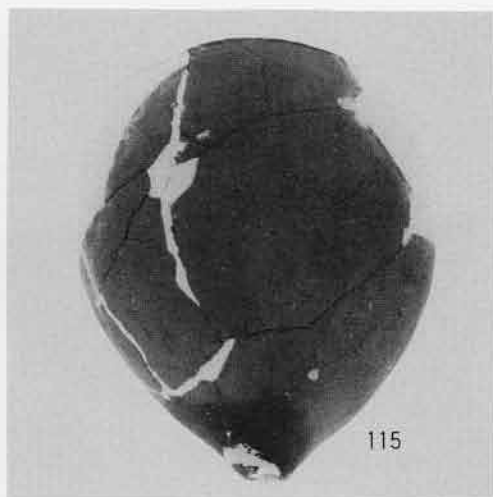
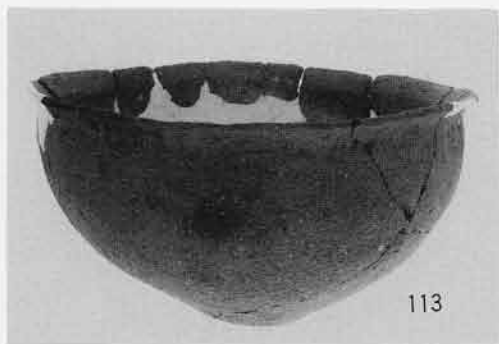


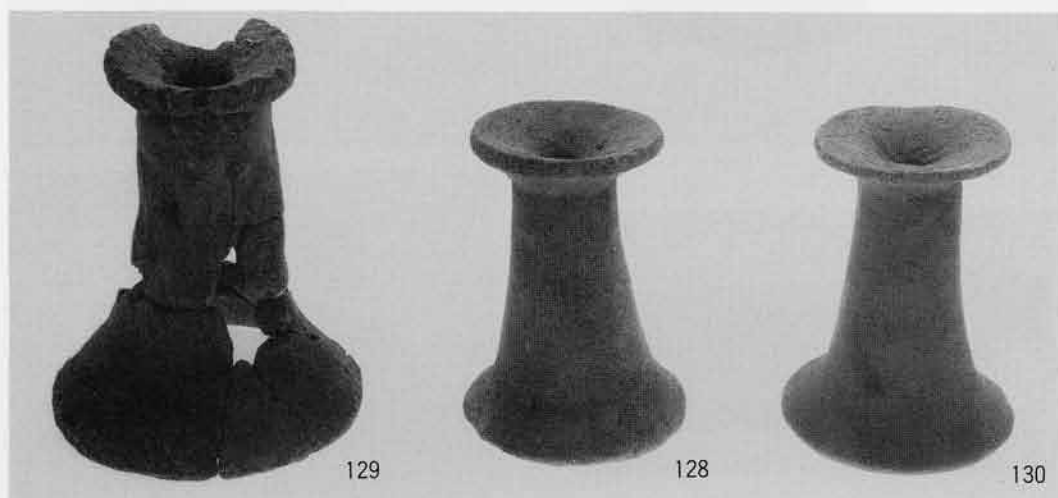
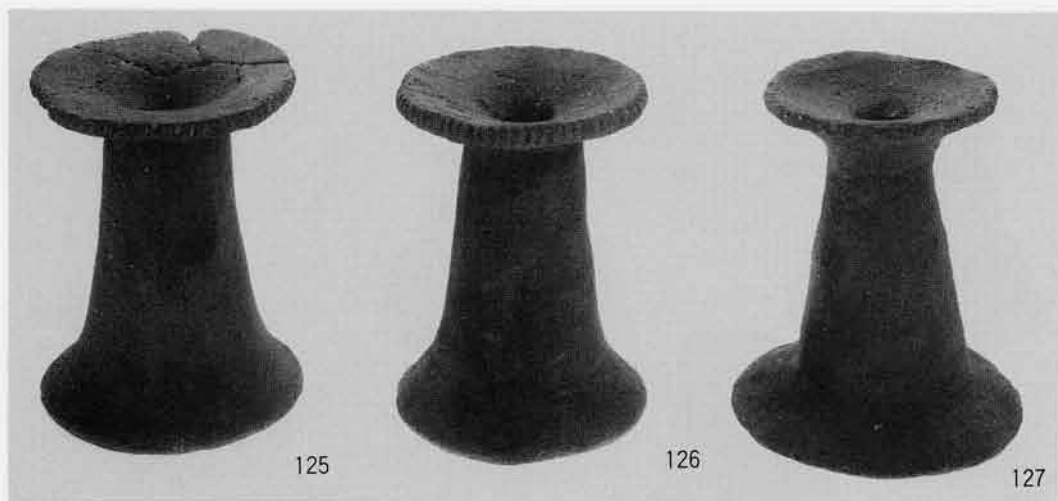


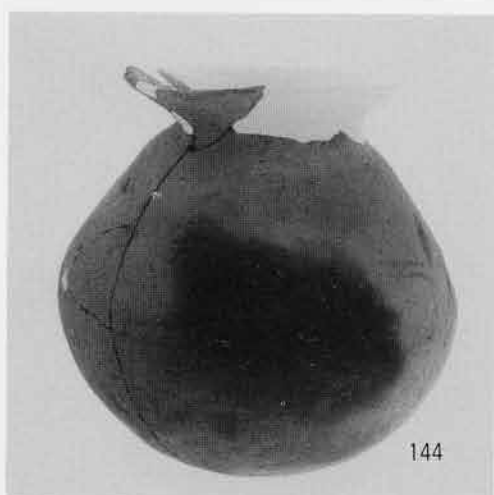
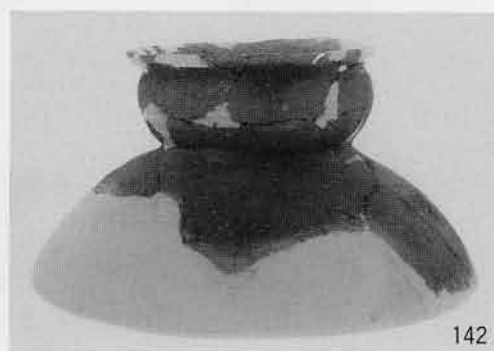
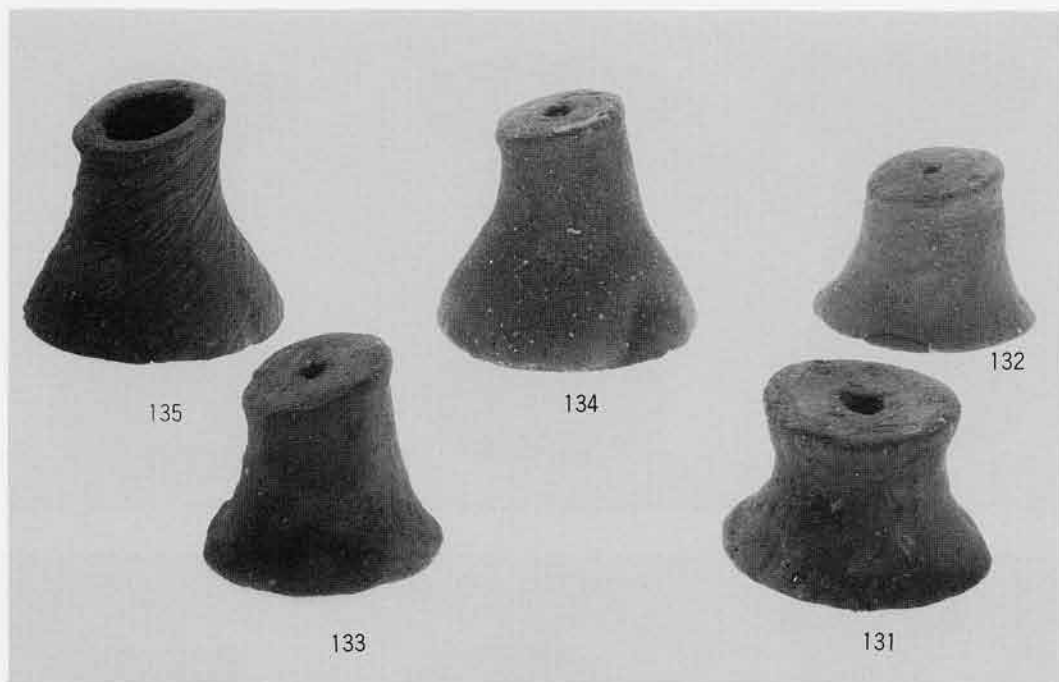


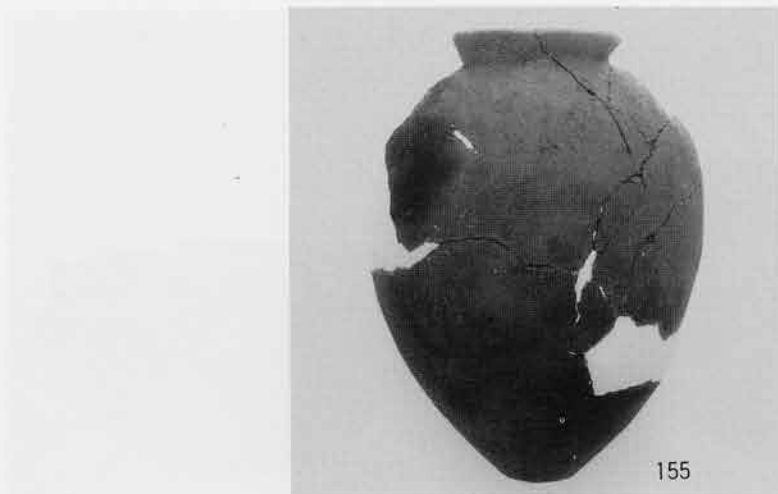
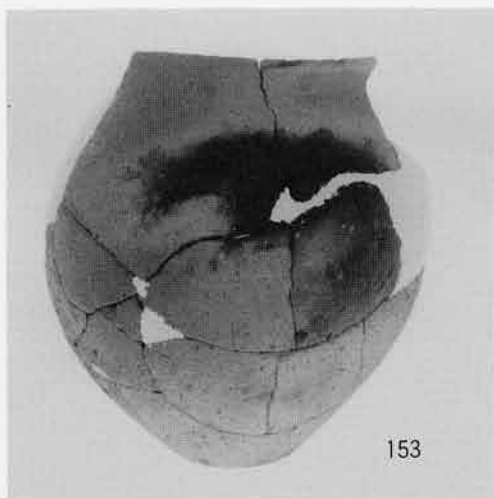


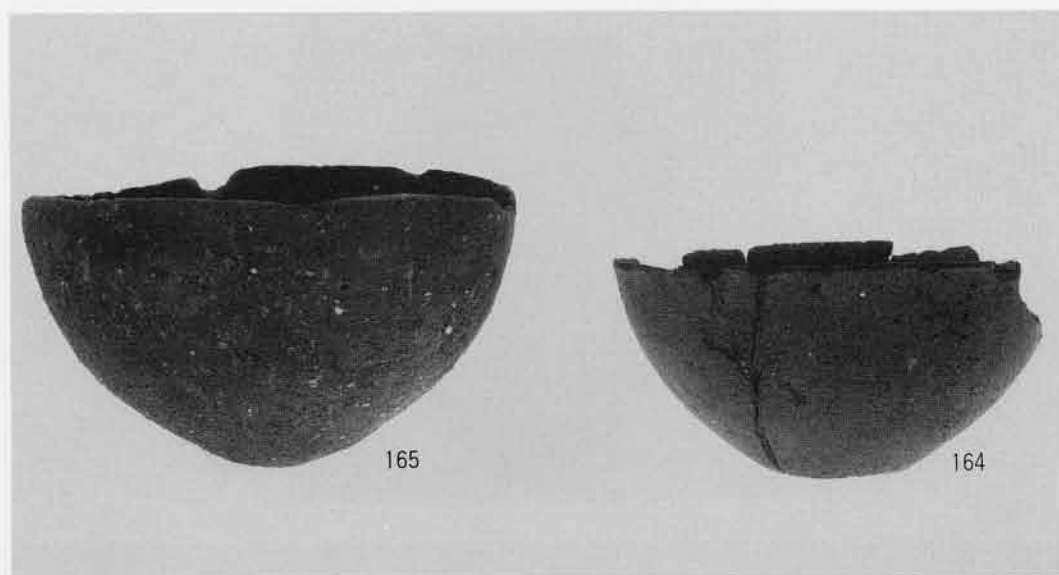
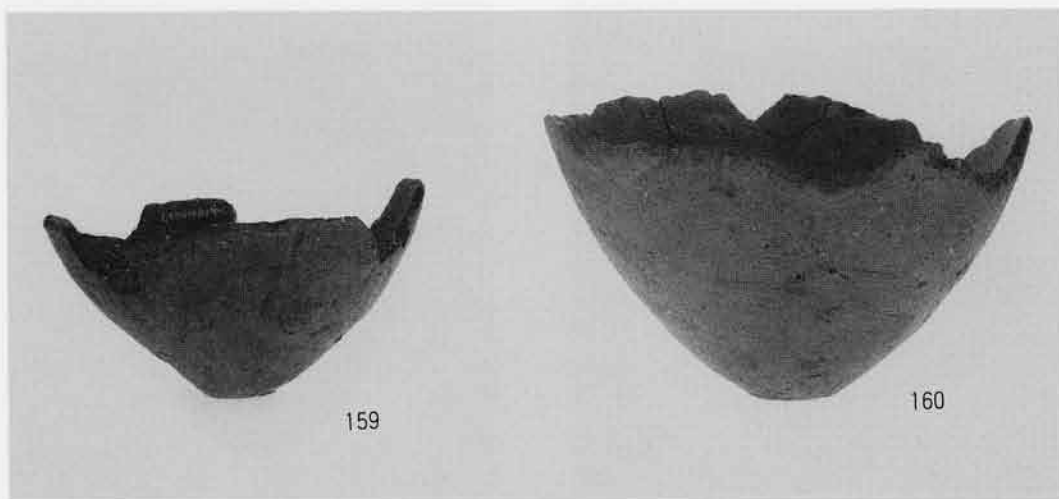


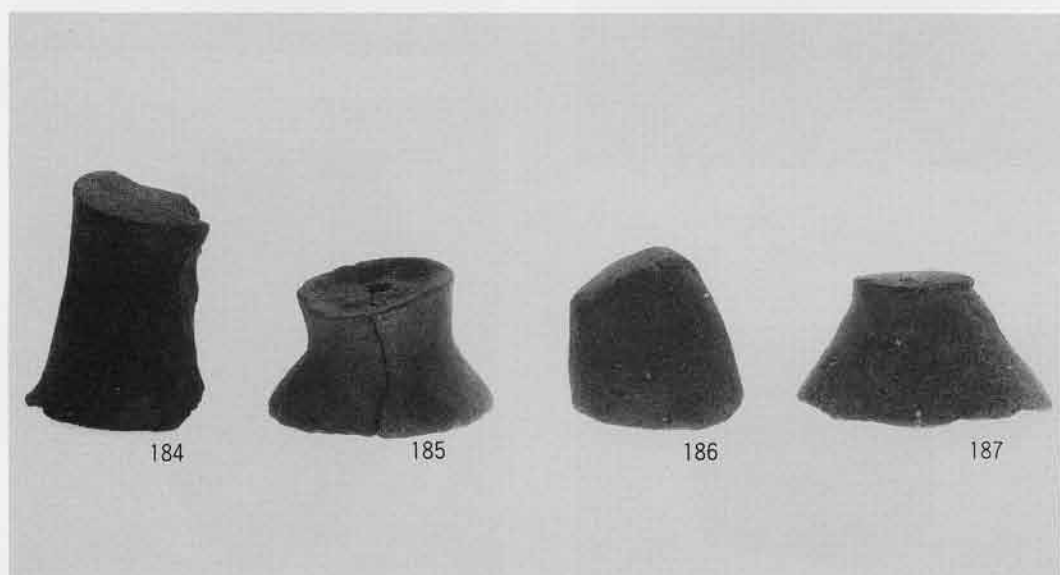
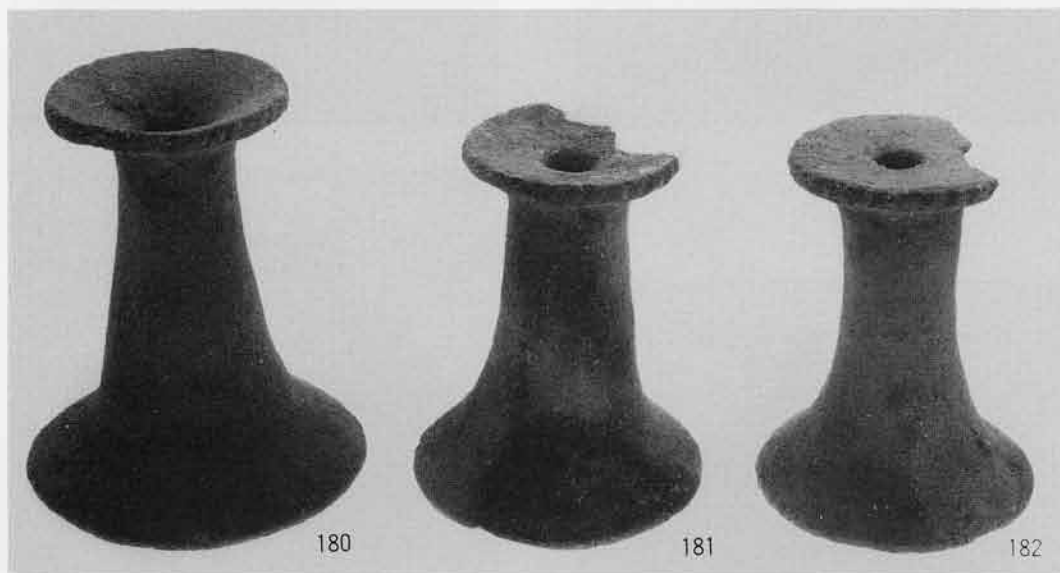




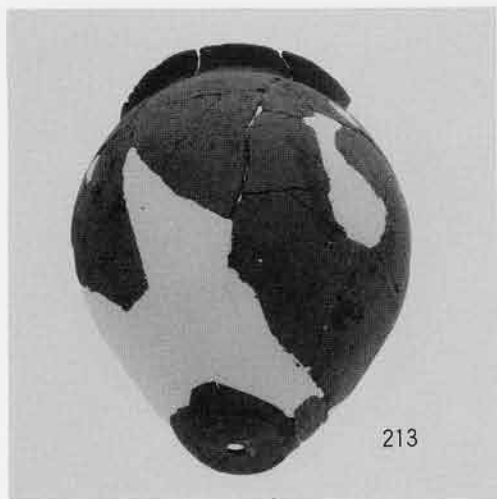


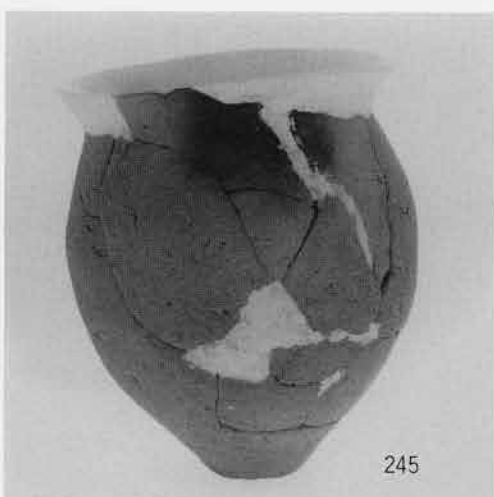
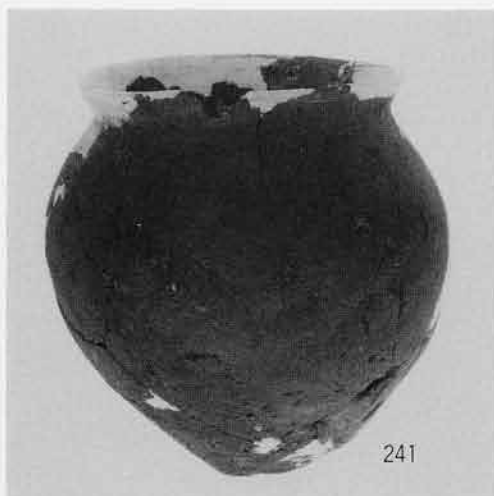
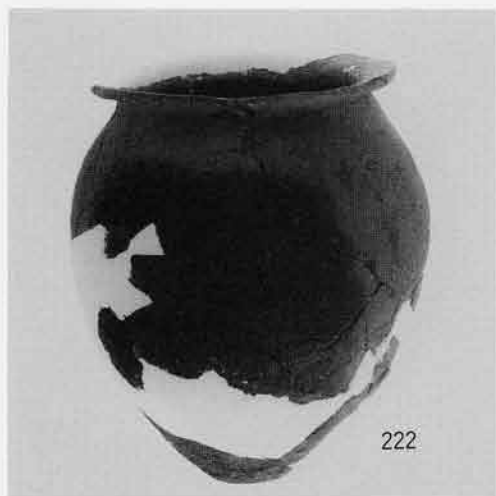


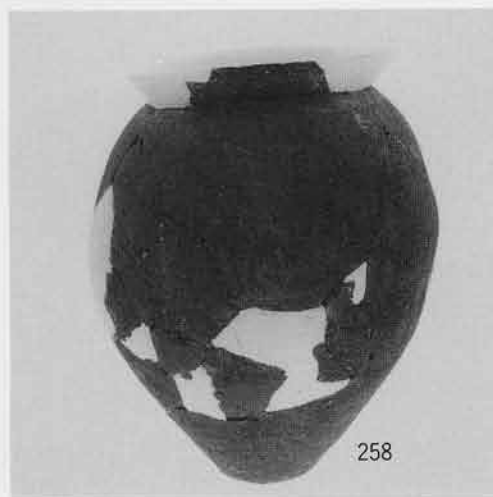
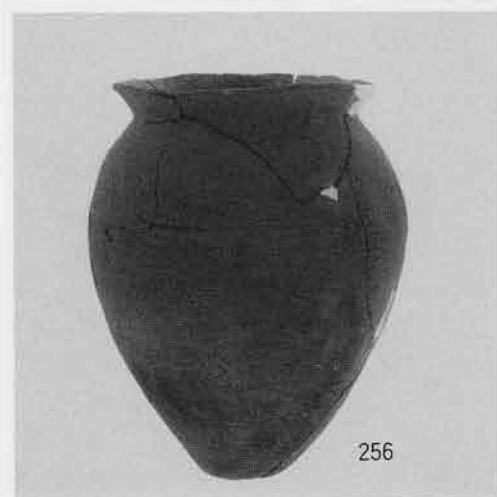
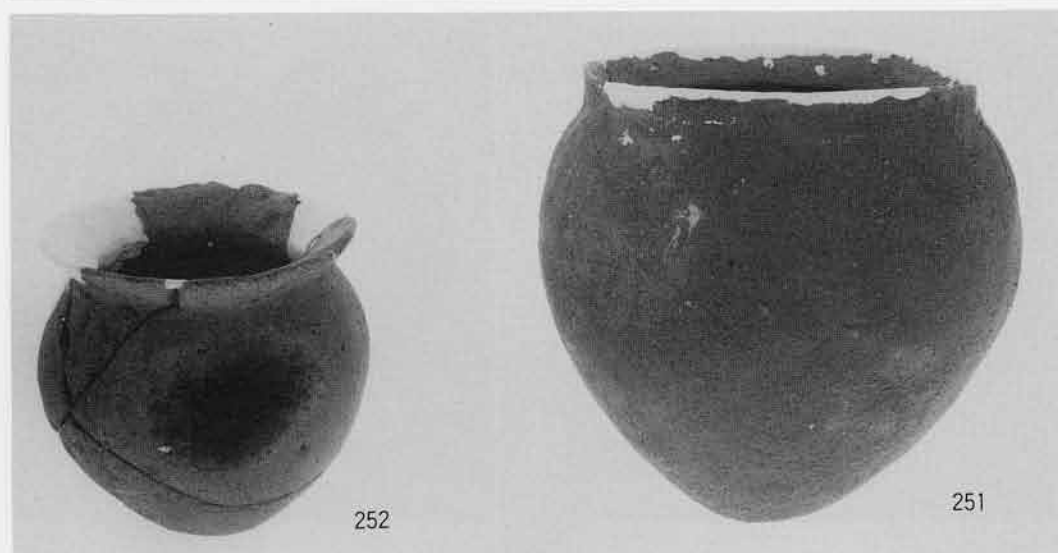


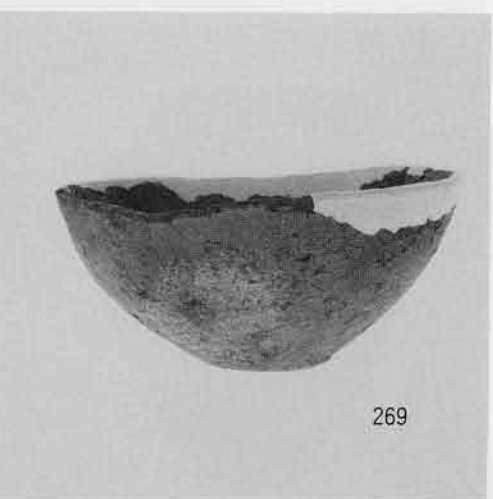
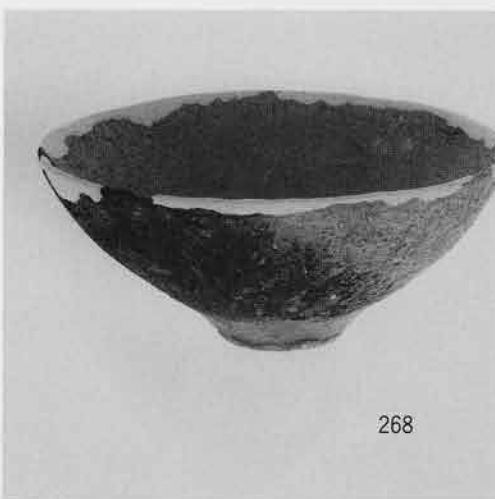
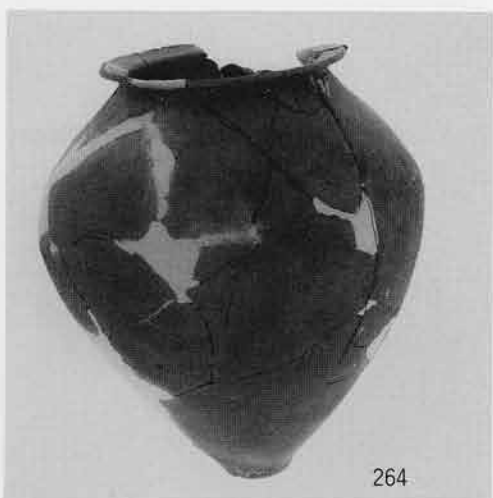


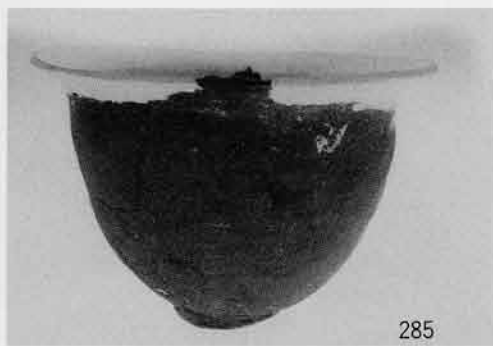
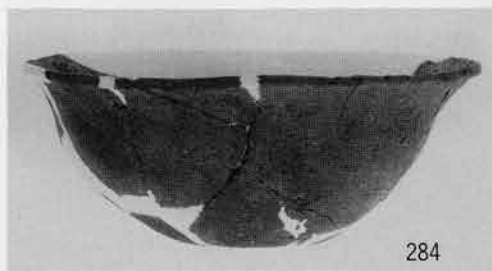
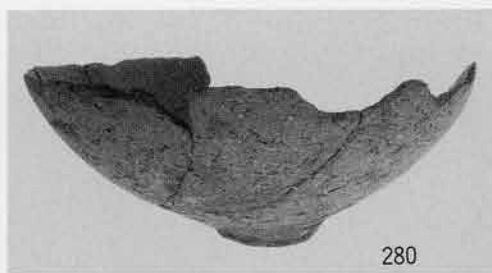
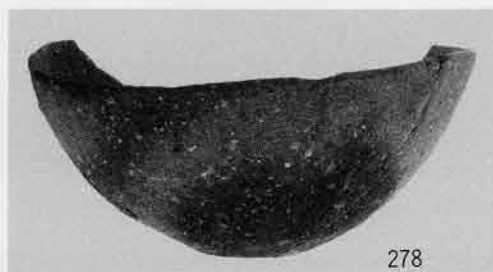
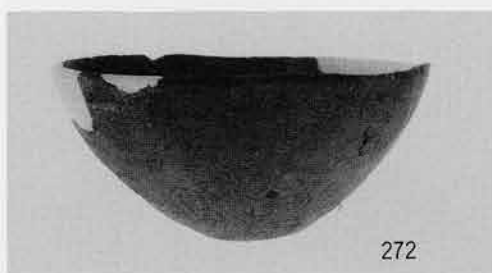
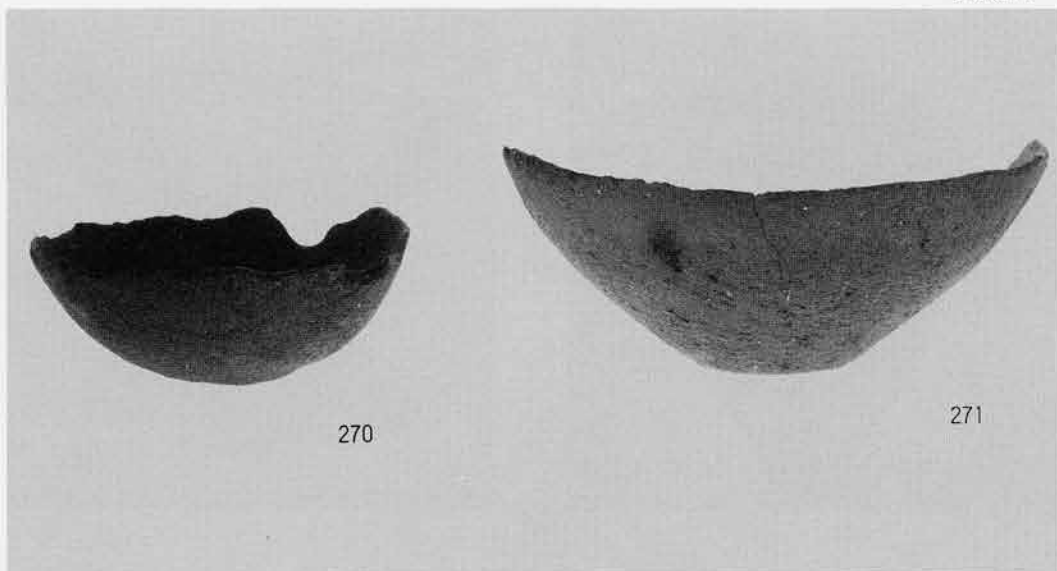


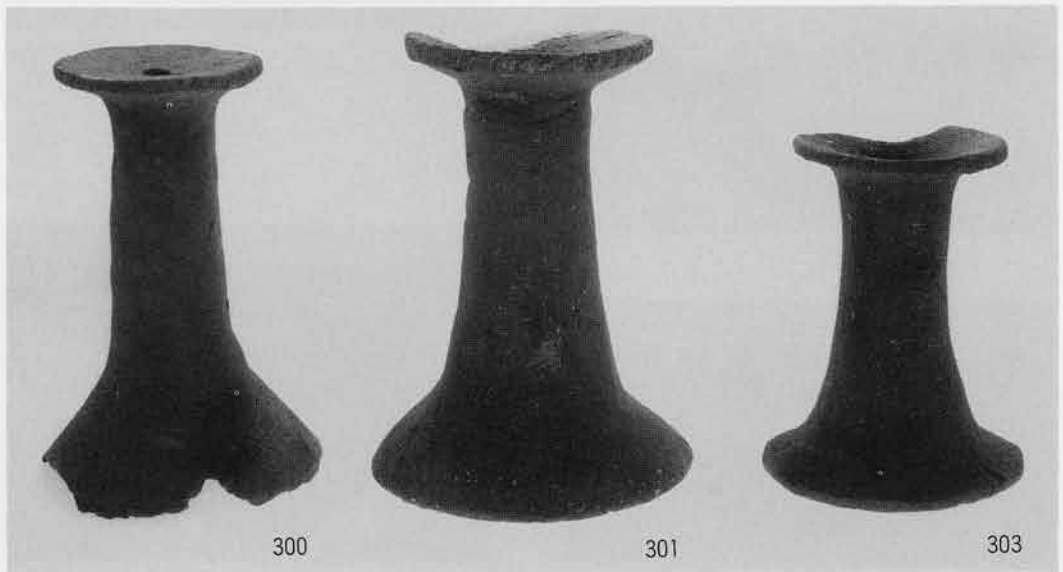


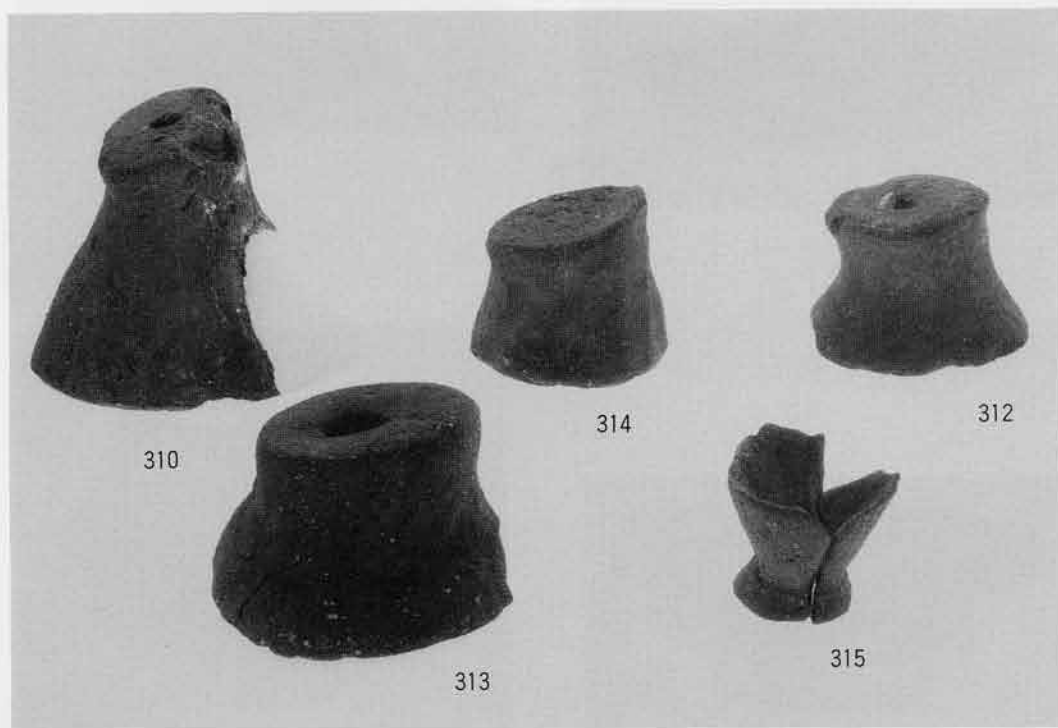
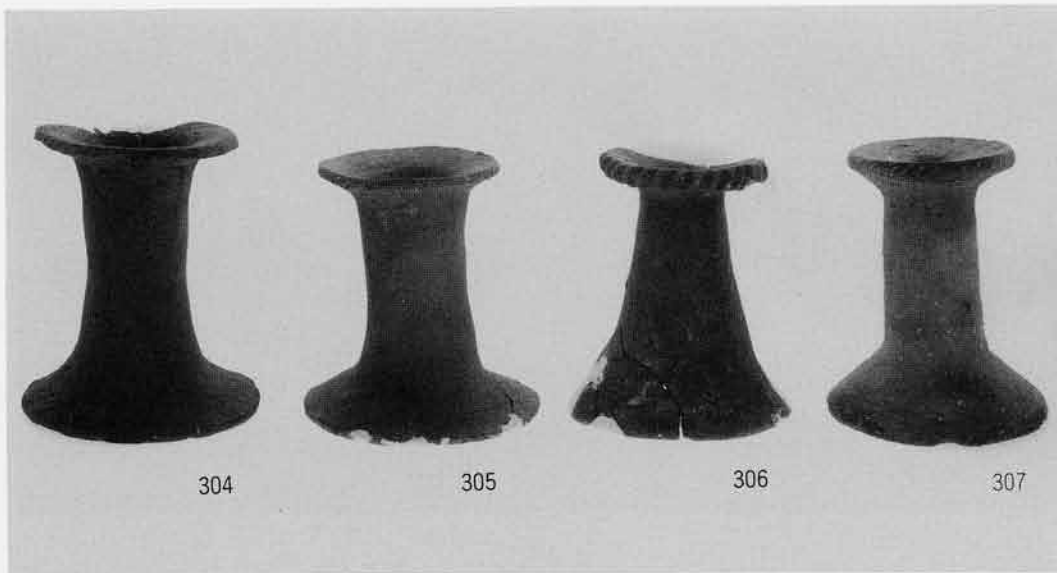


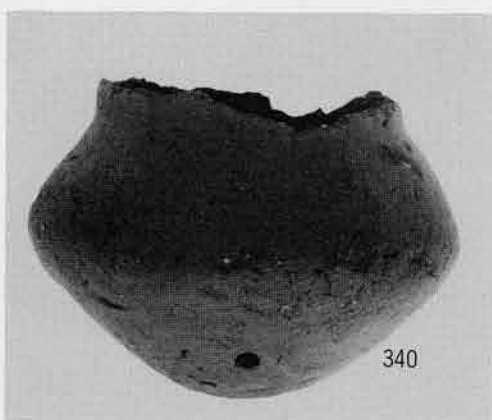
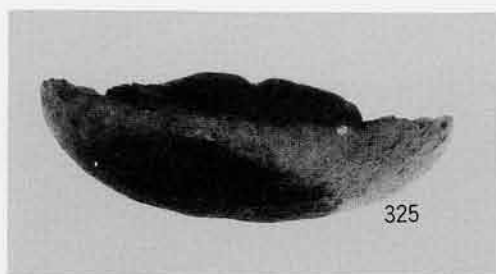
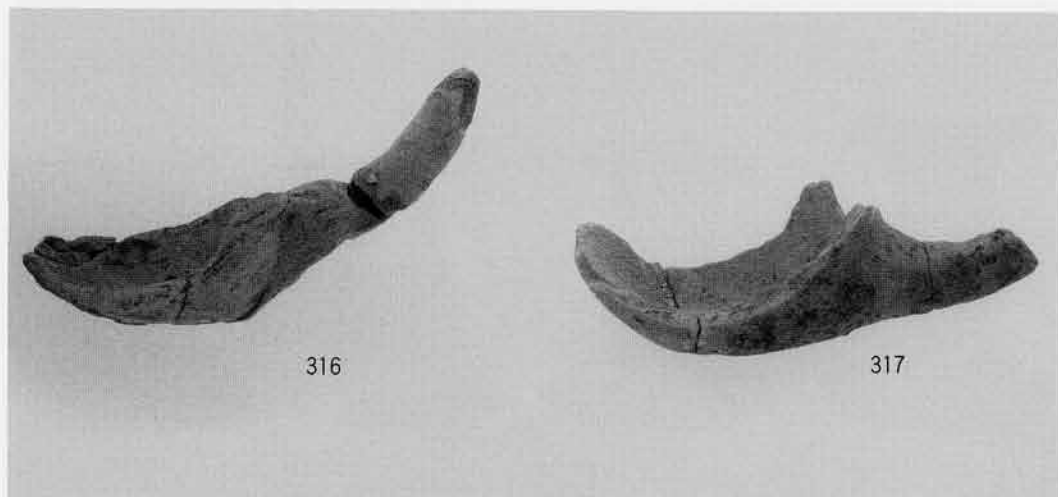


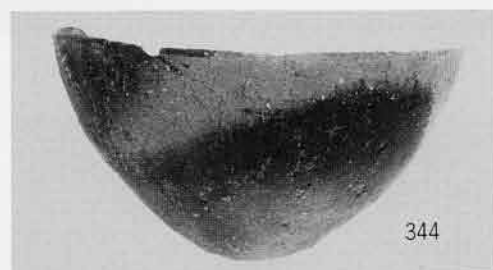
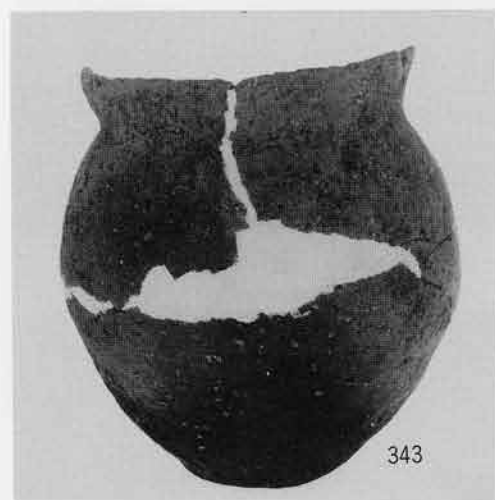
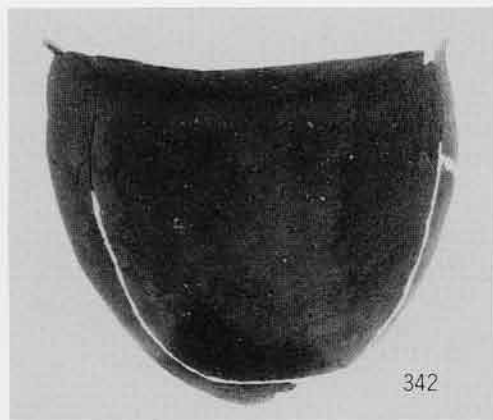


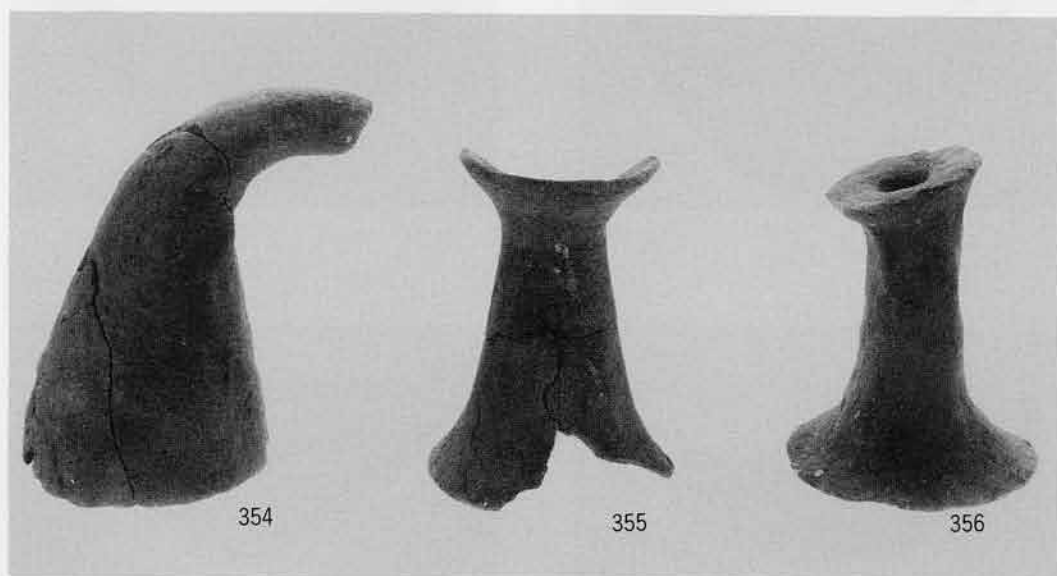
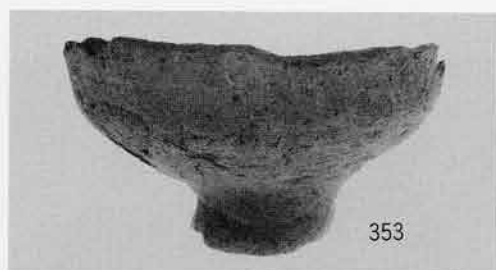
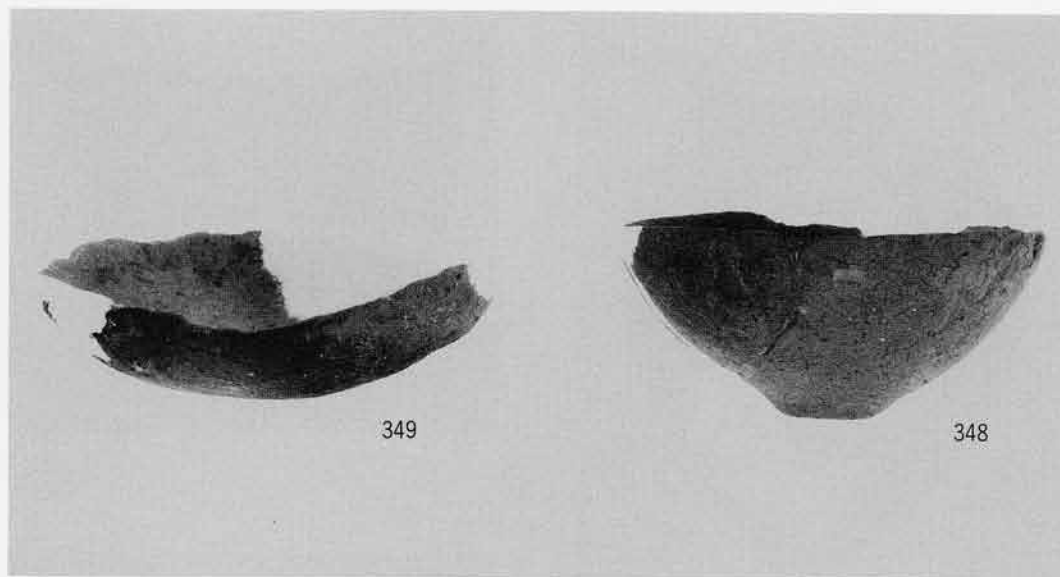


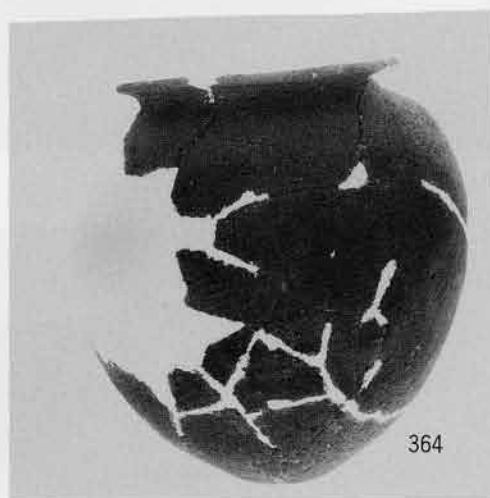
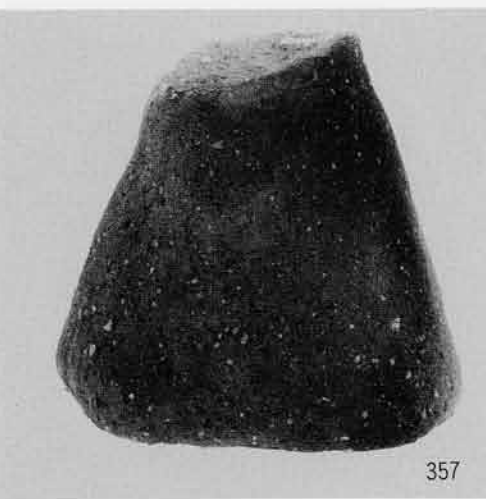
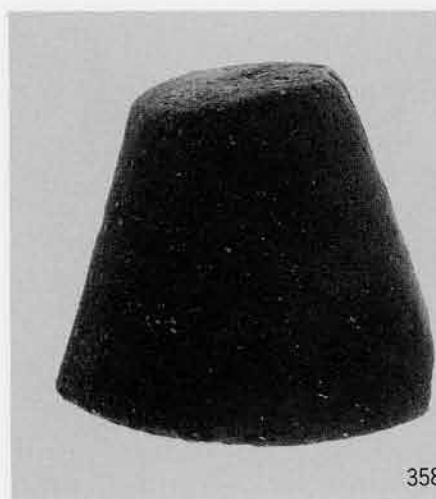


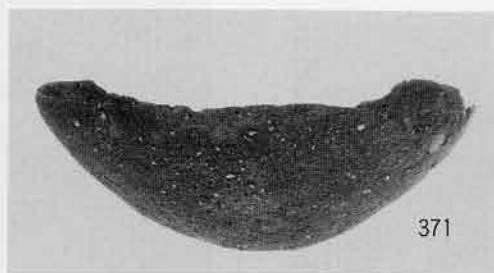
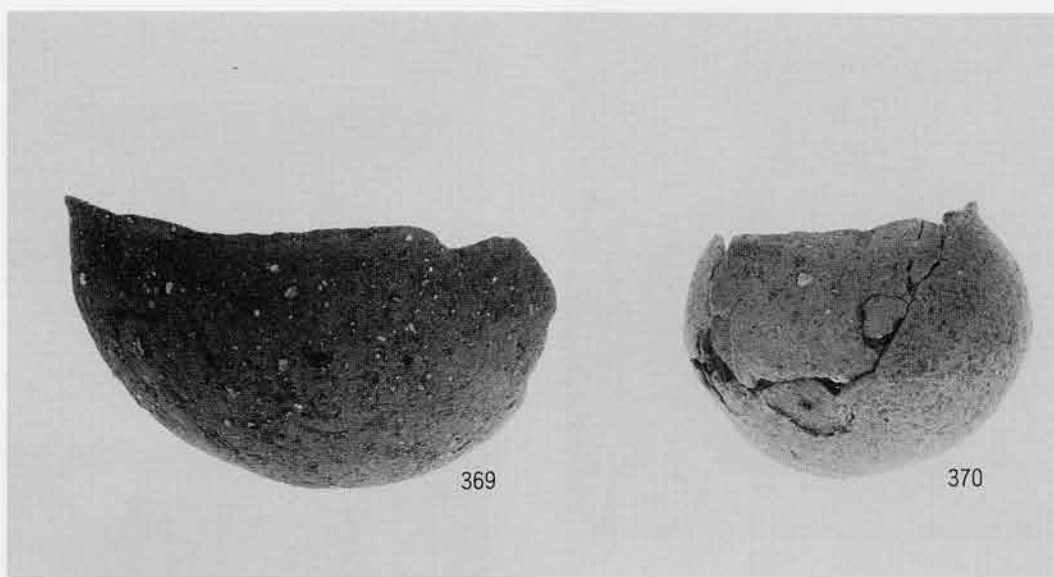
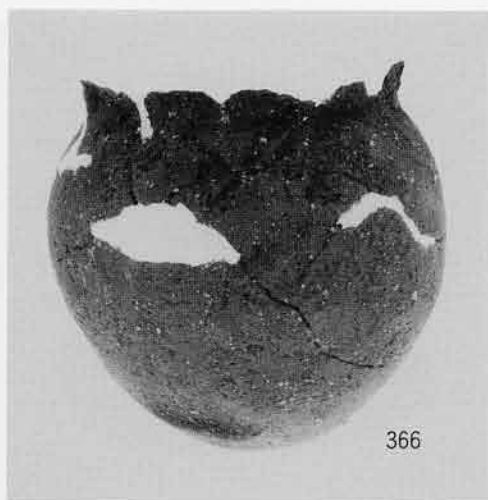
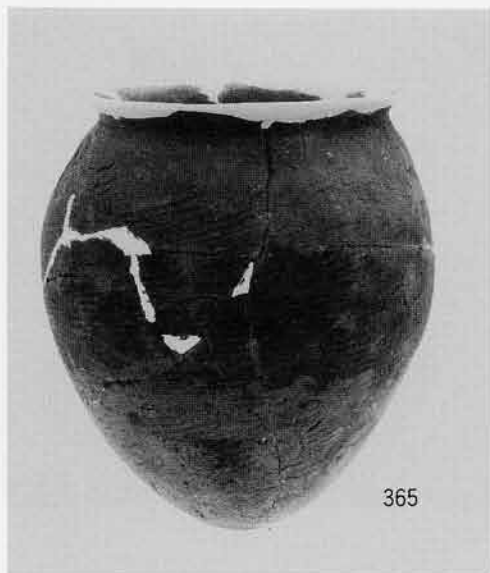


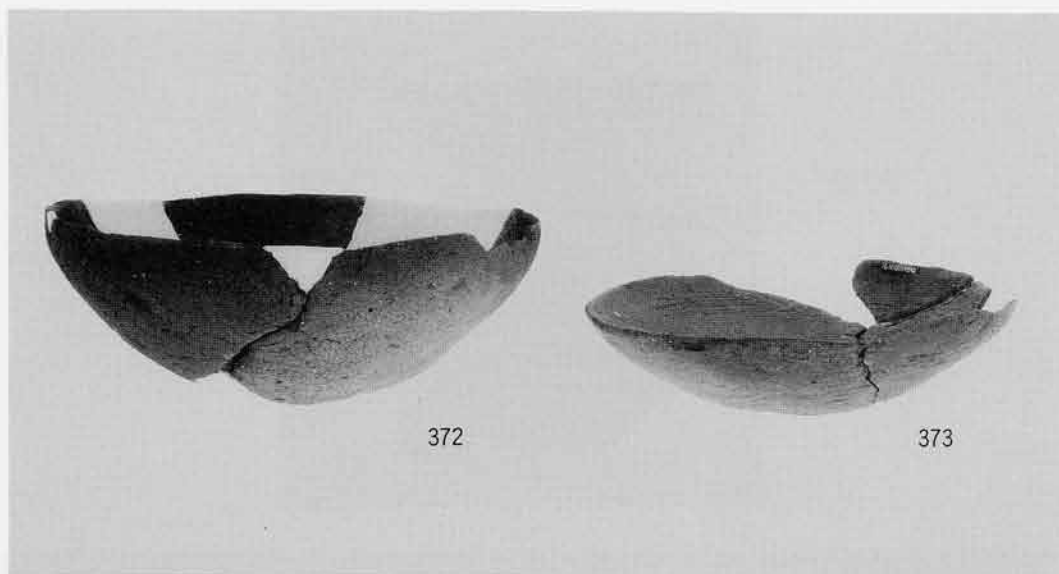


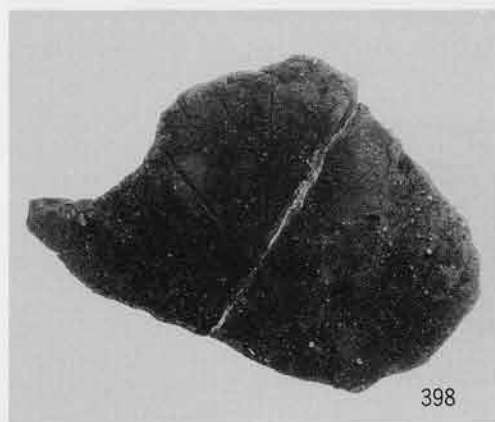
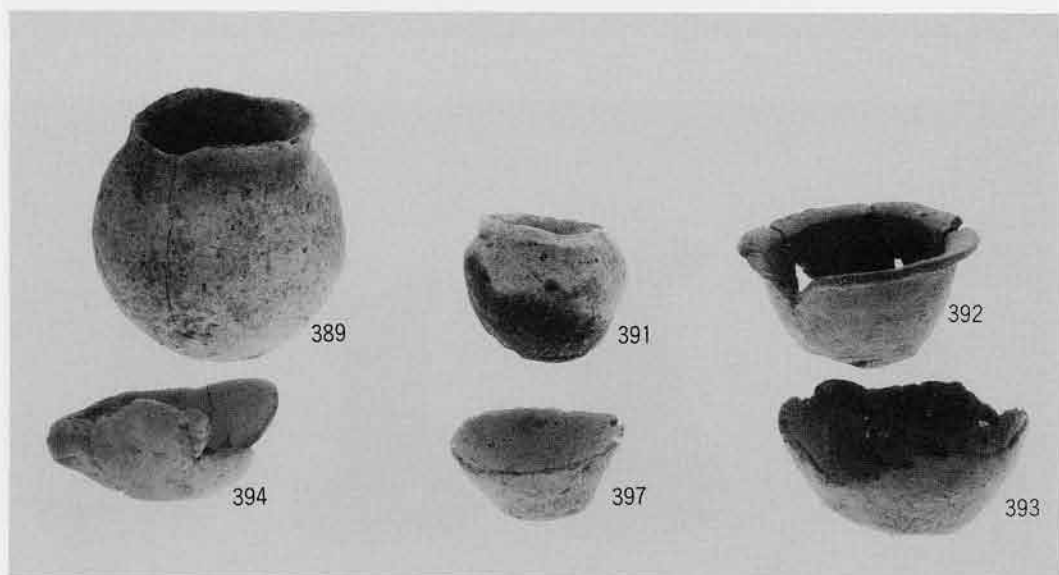
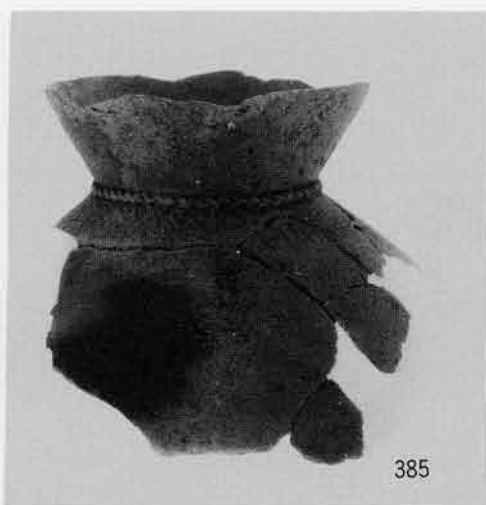


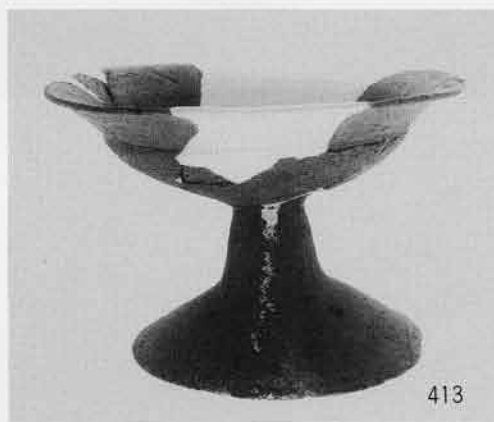
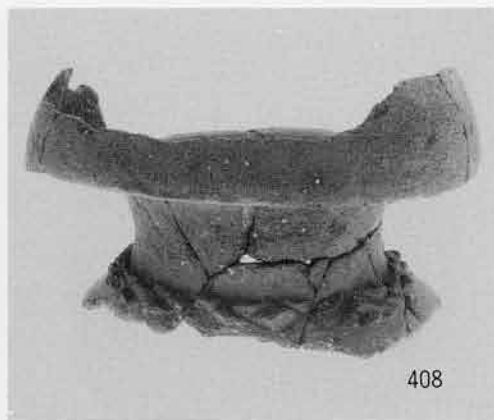


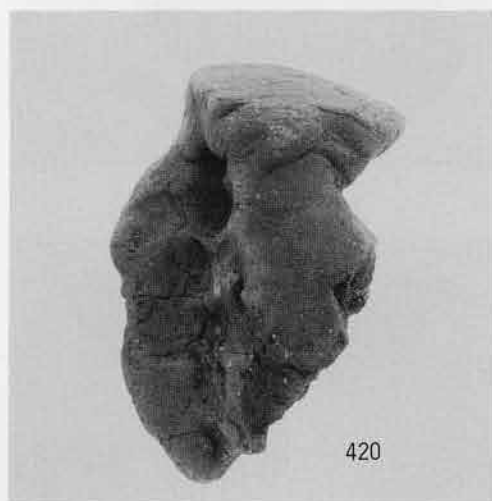
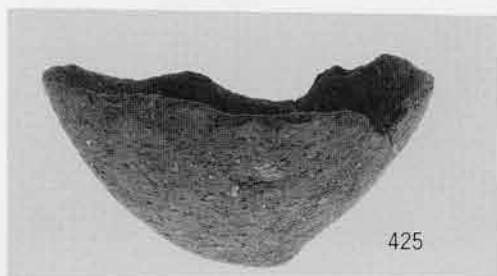
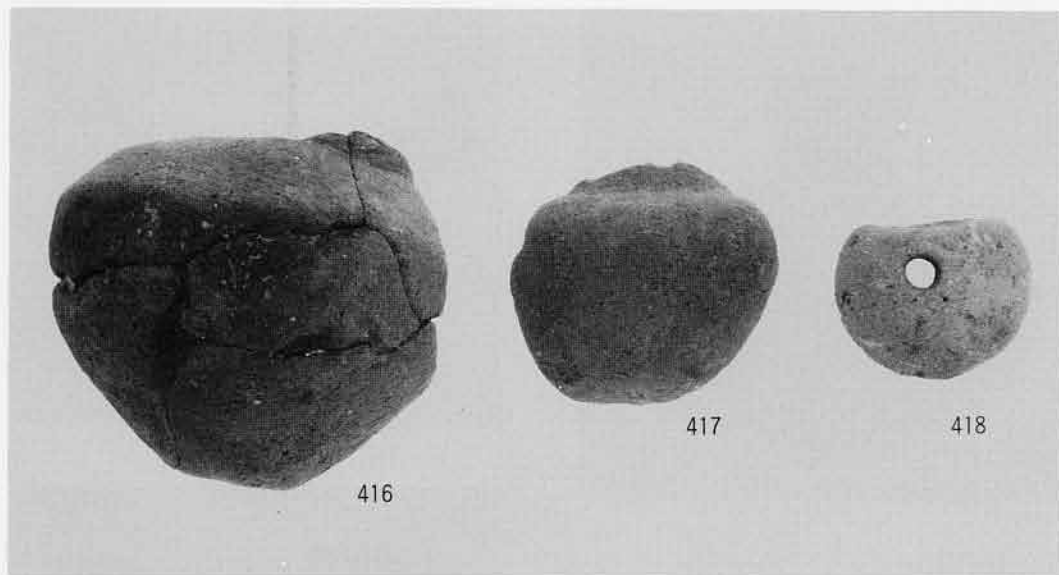


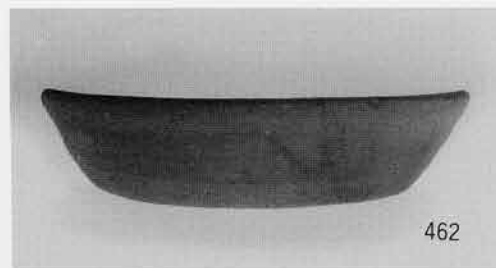
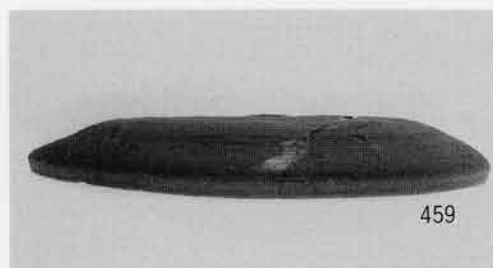
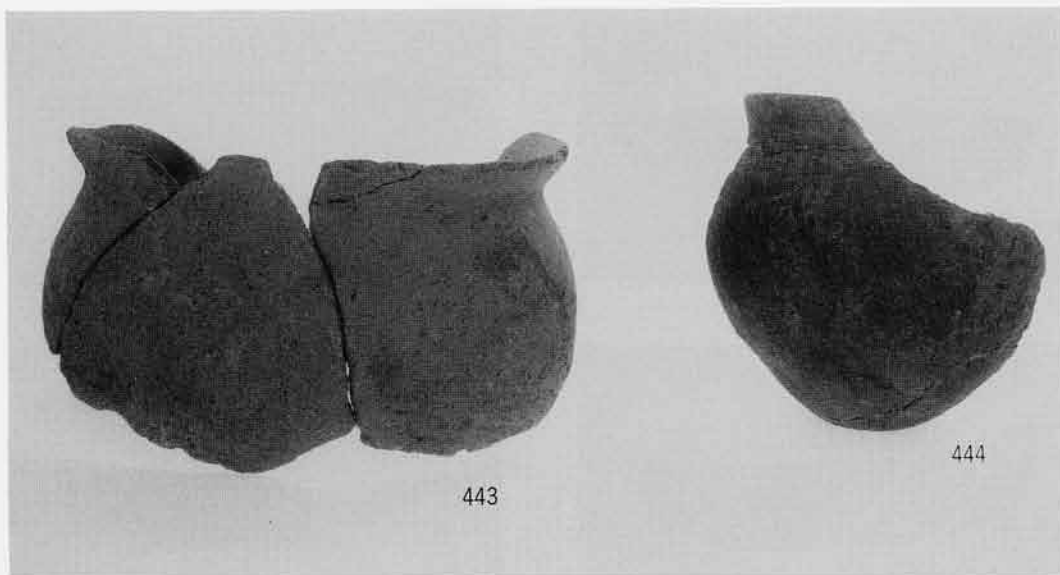




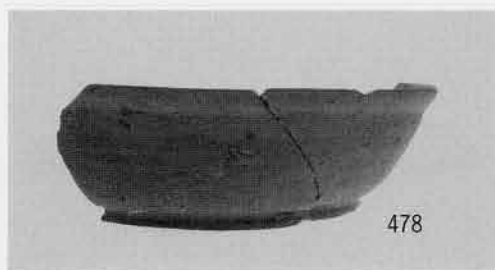
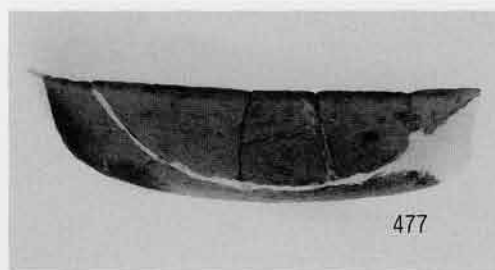
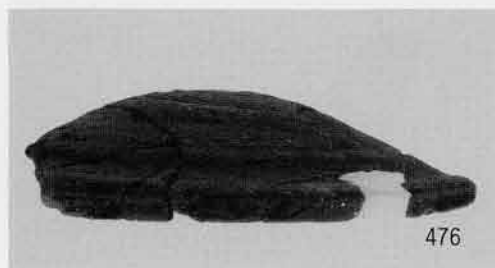
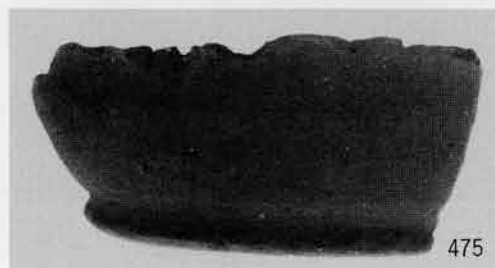
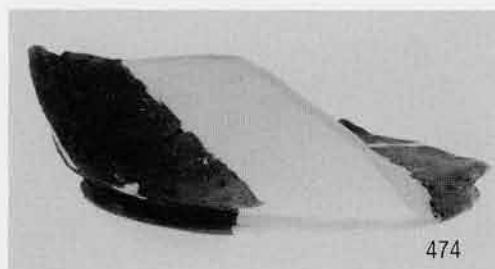
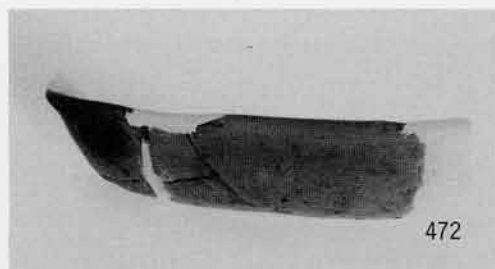
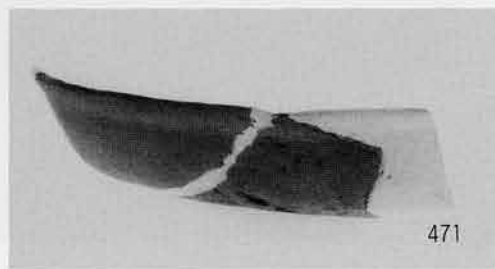
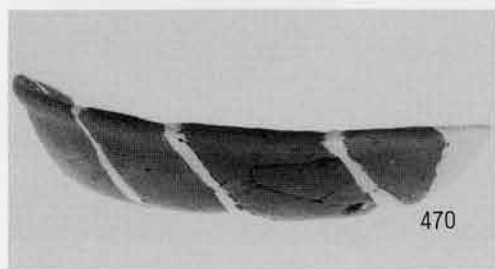
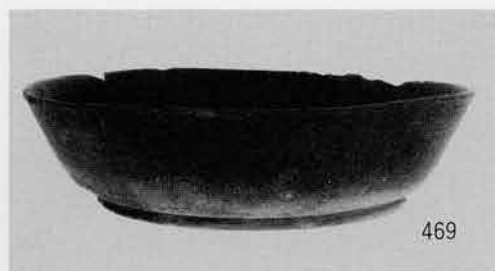
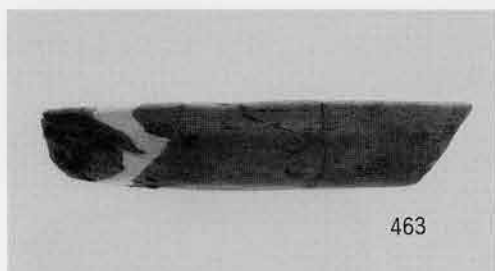


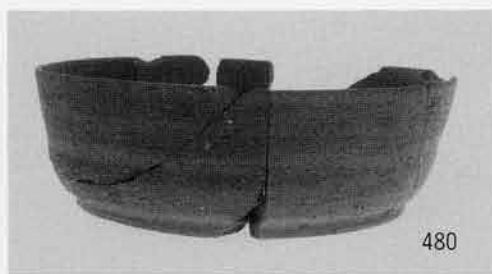
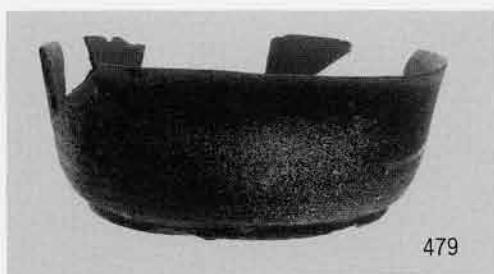


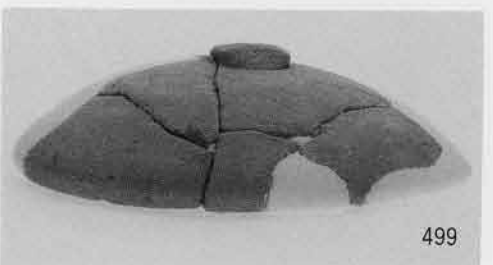
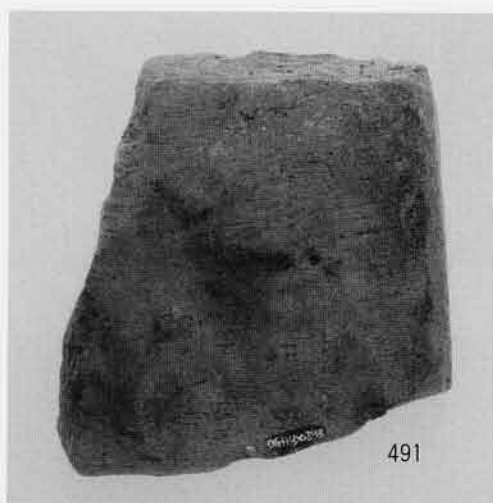
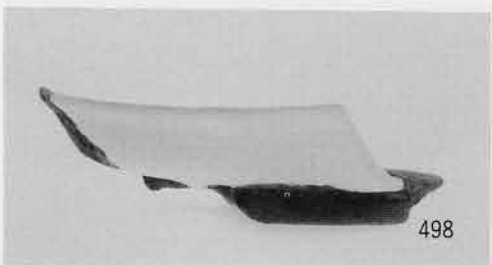


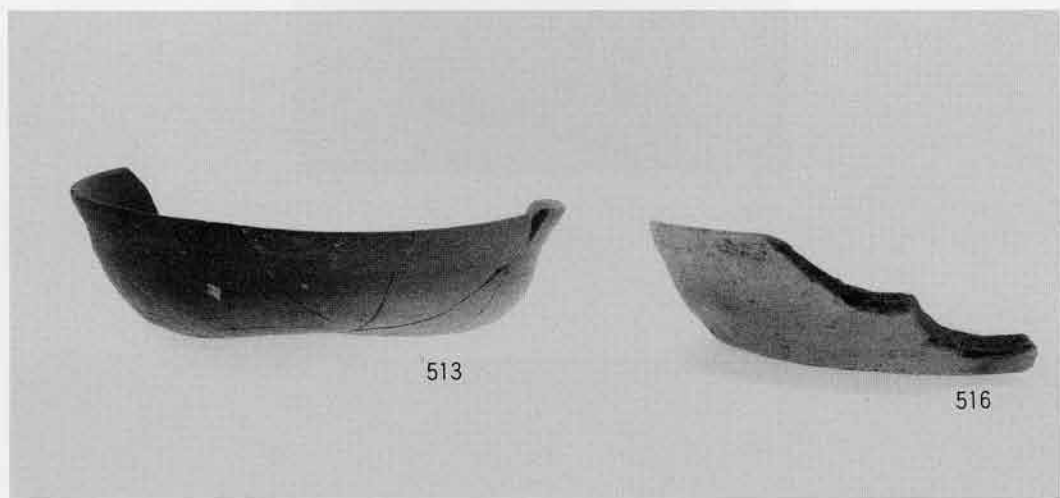
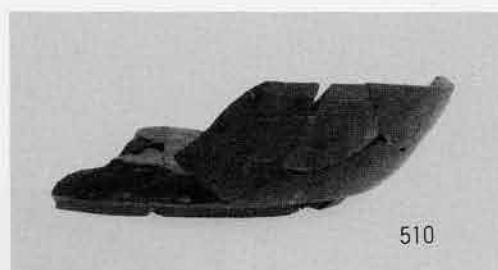
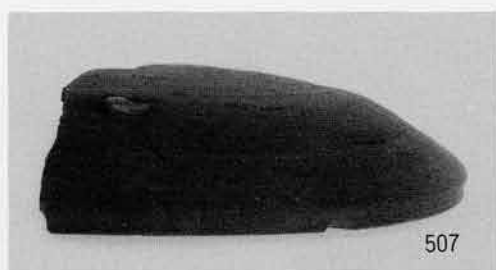
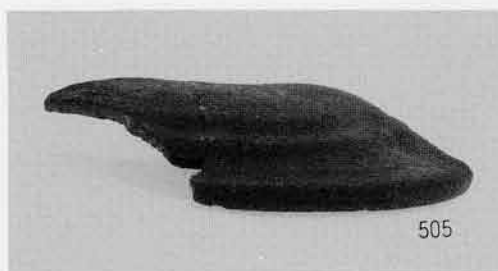
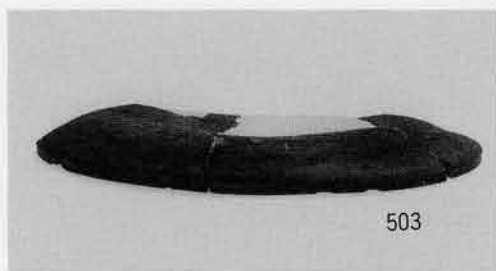


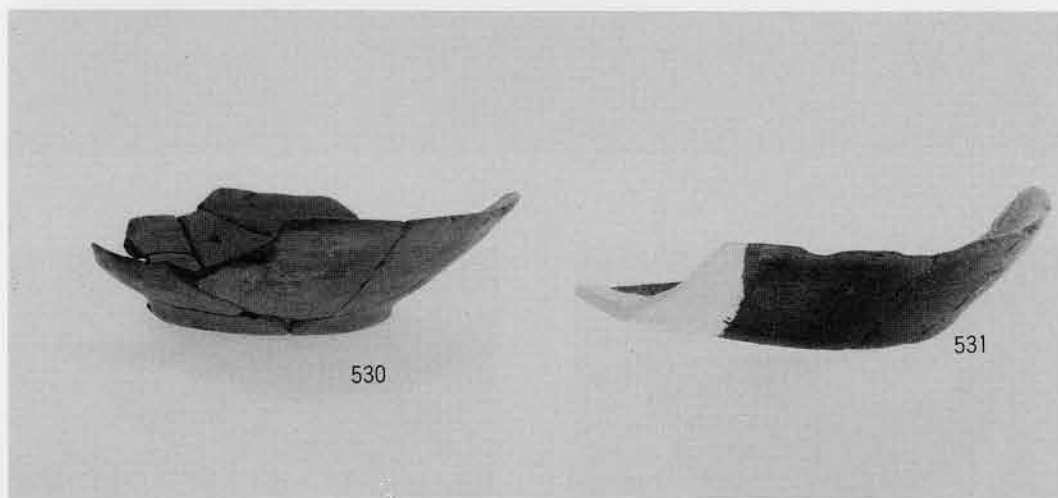
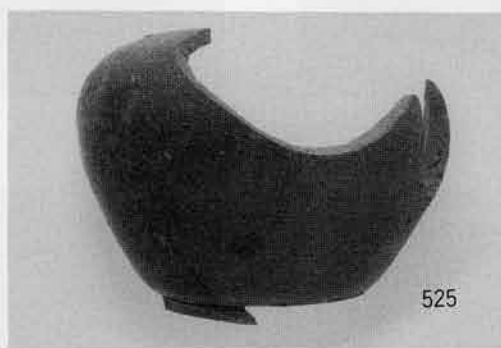
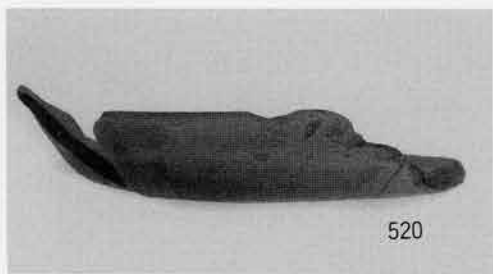
图版90

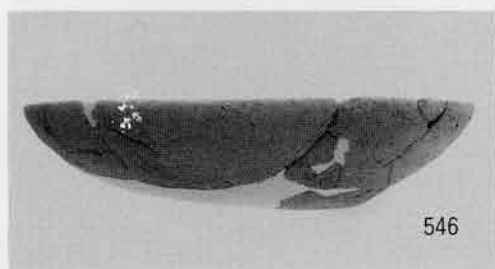
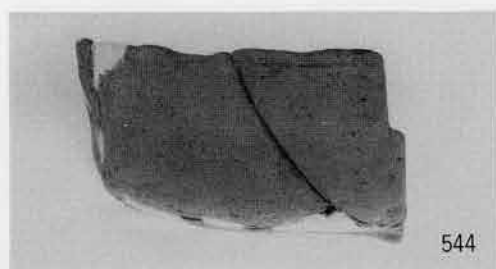
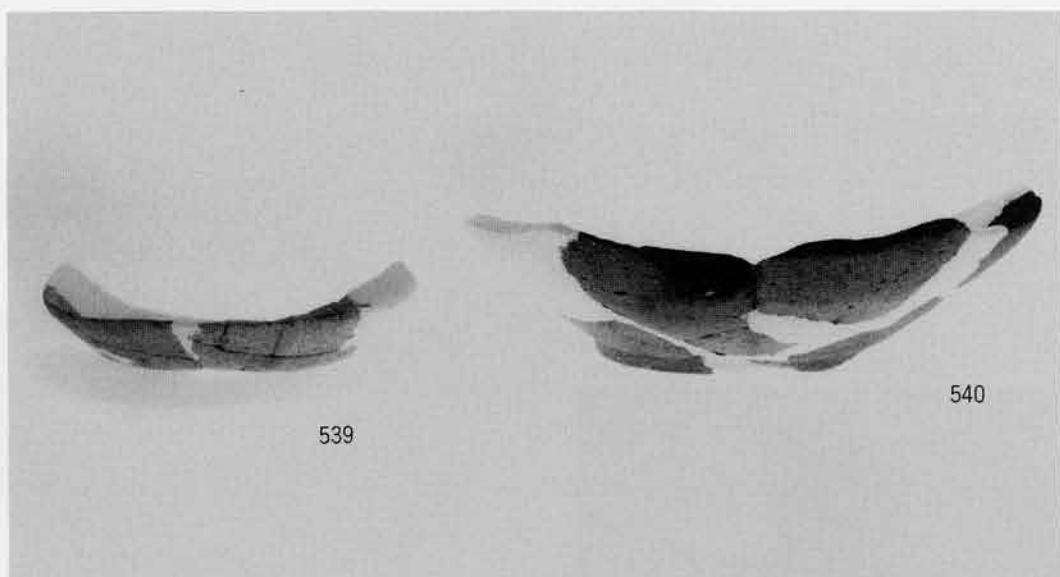
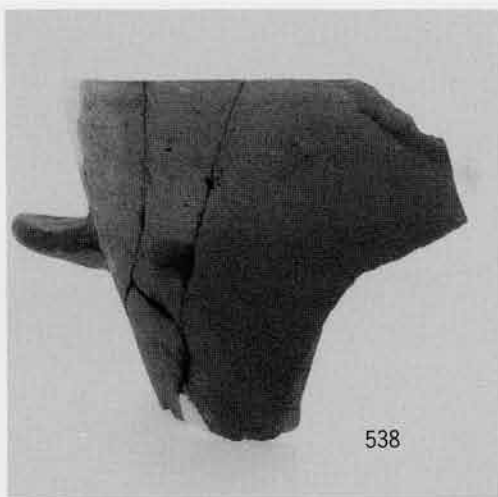


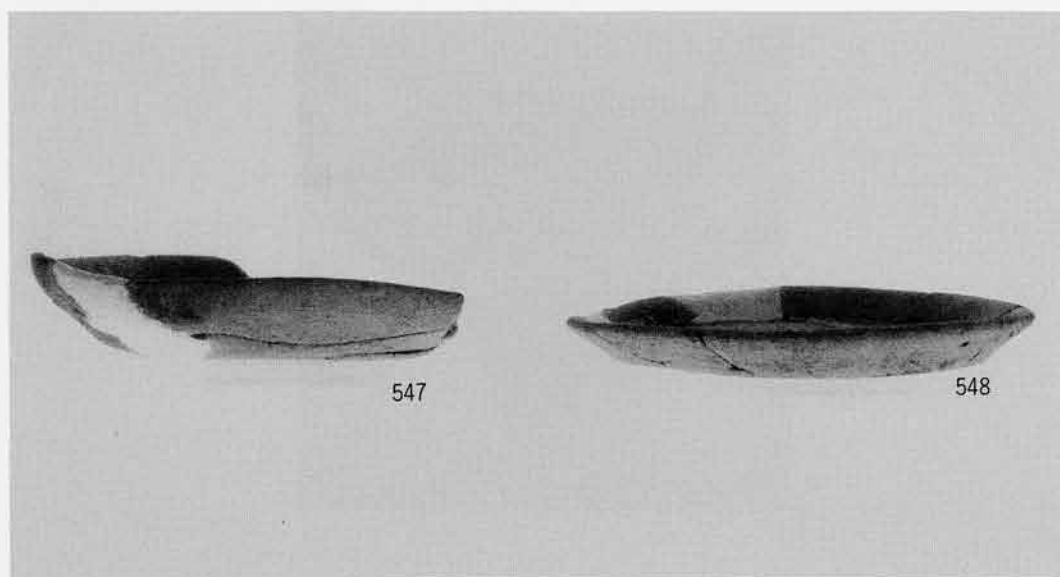


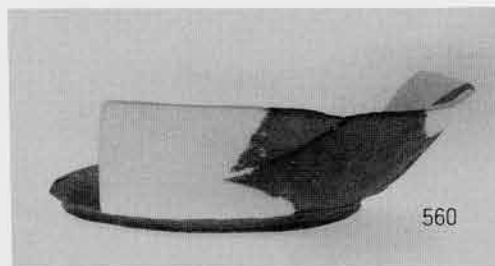
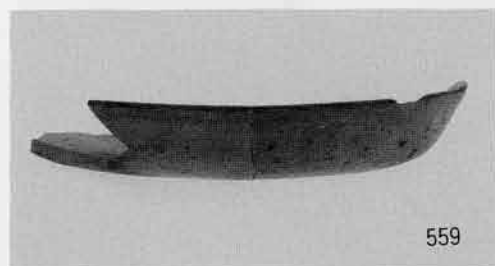
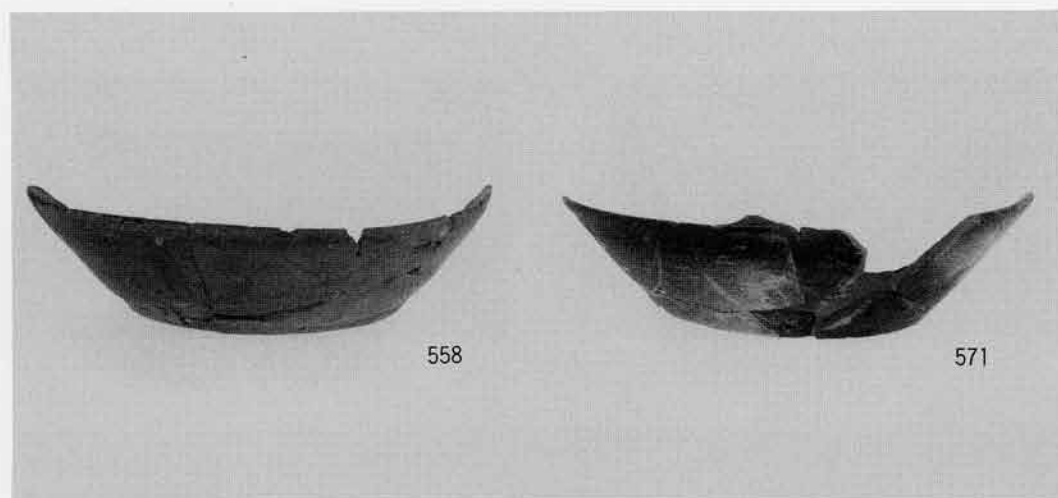
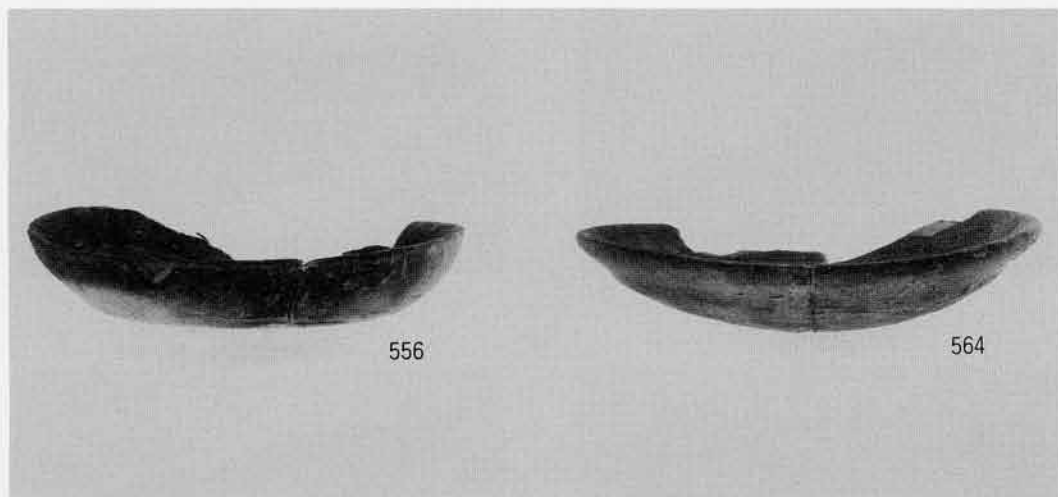


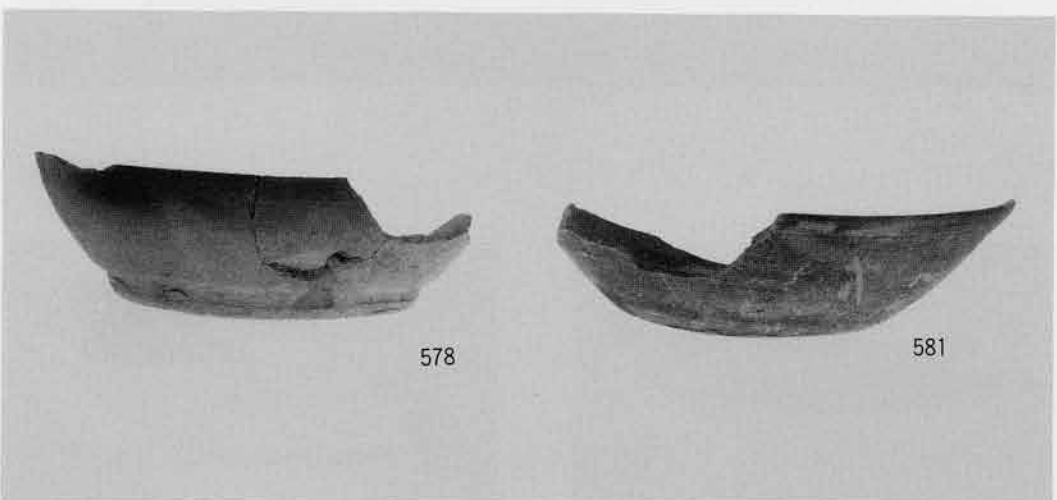
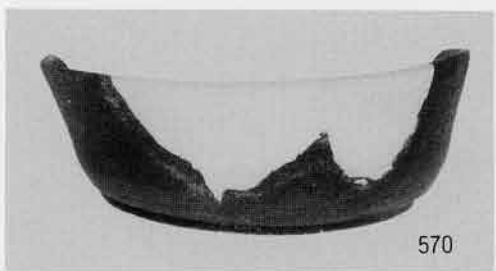
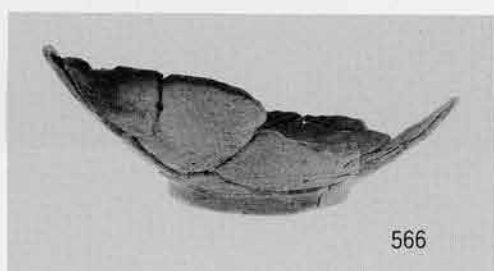
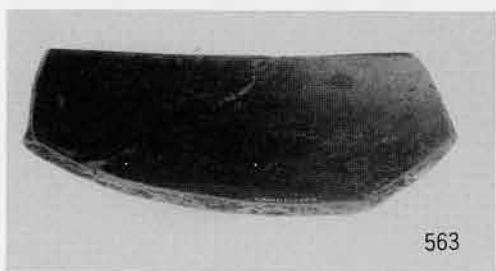
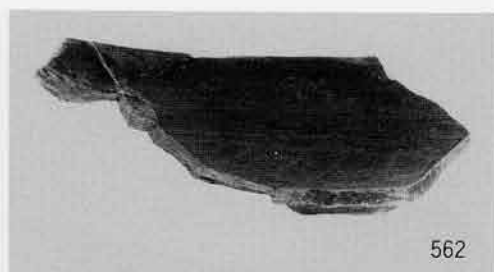


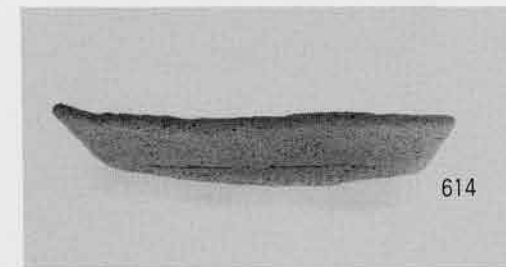
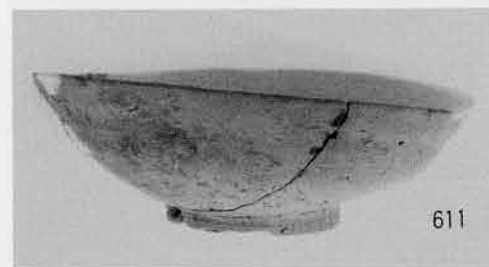
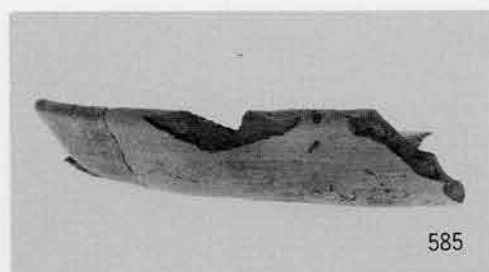
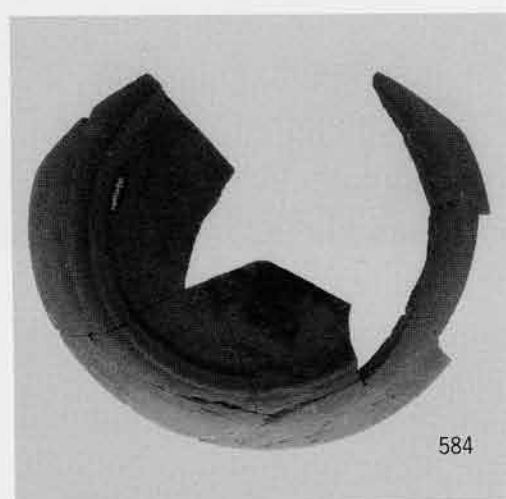
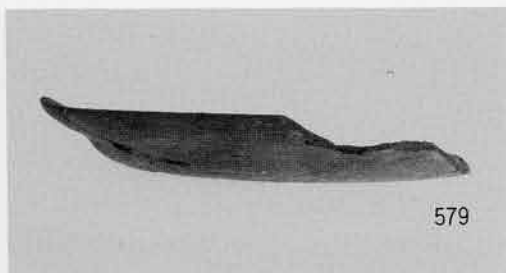


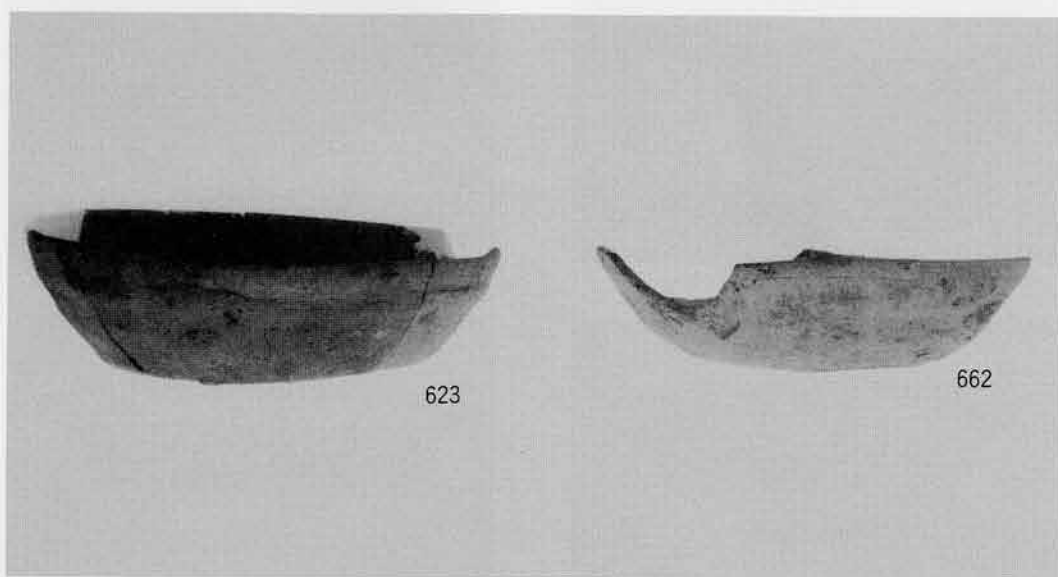
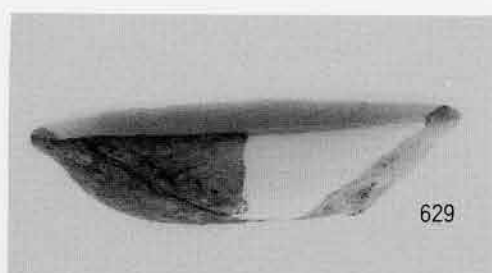
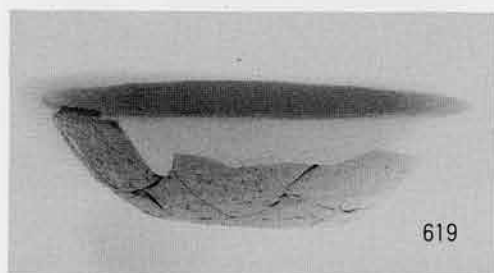
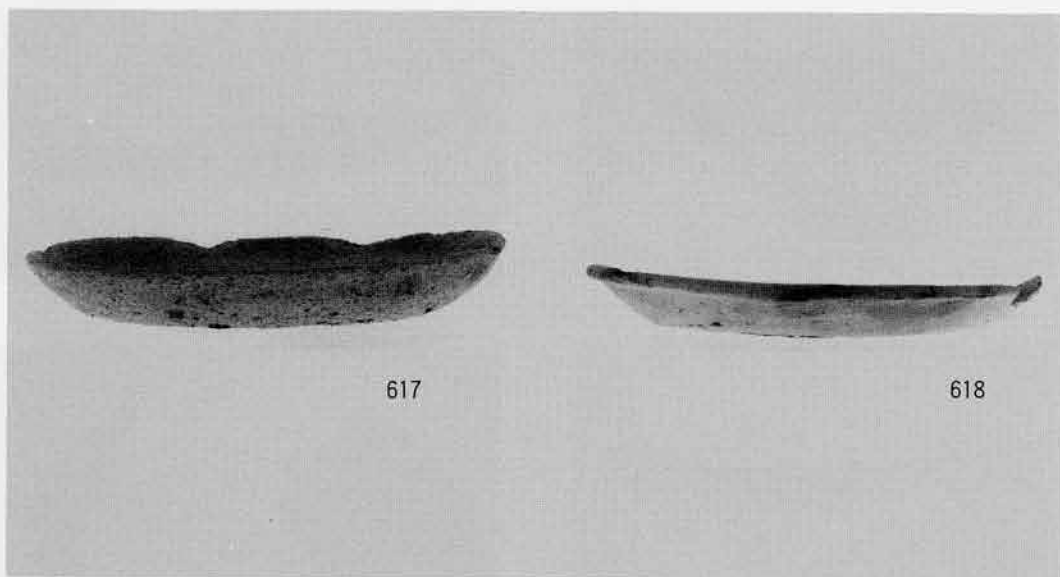


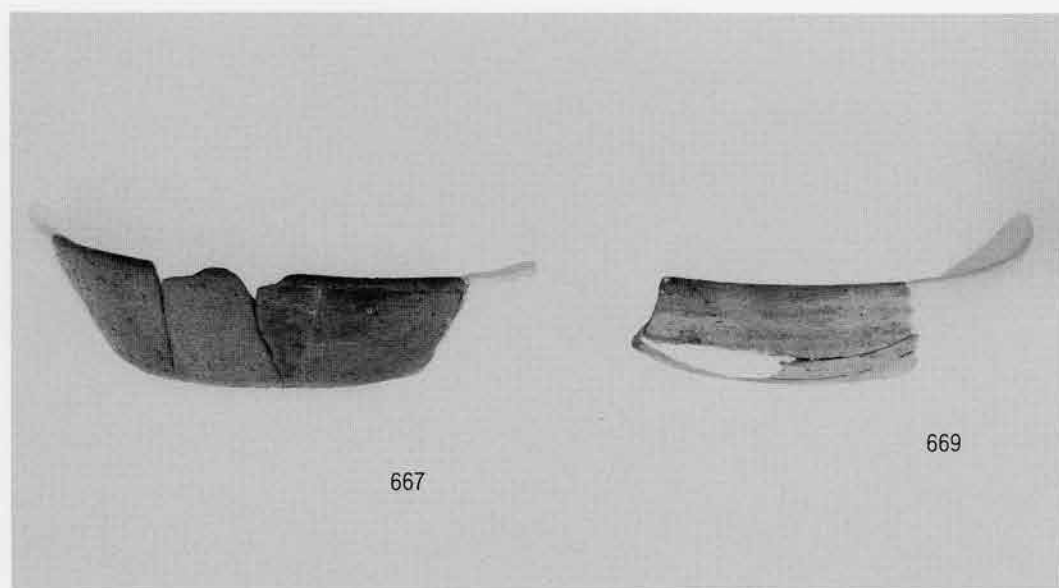
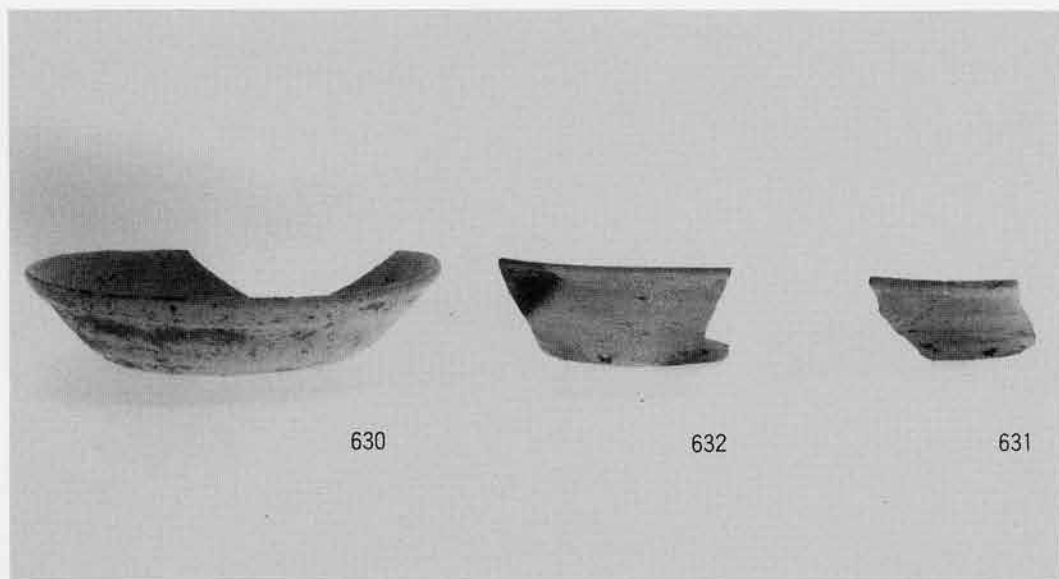


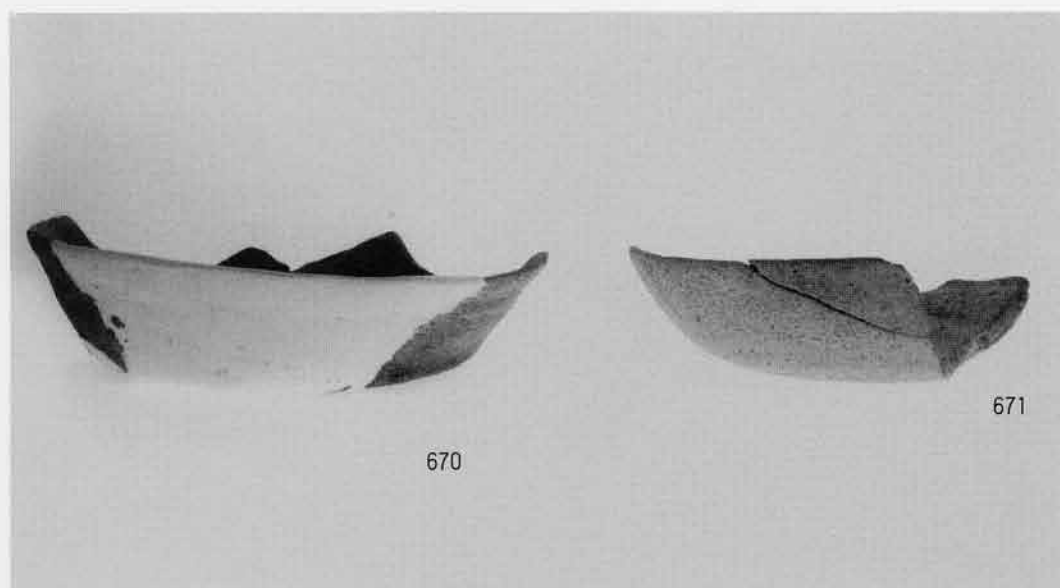
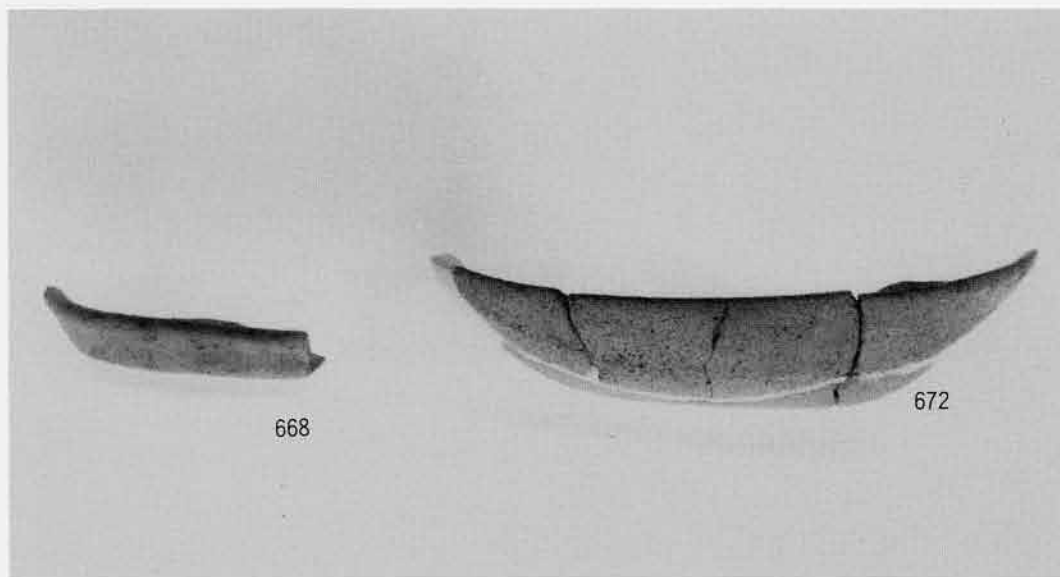


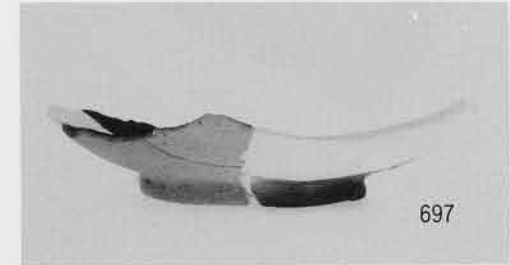
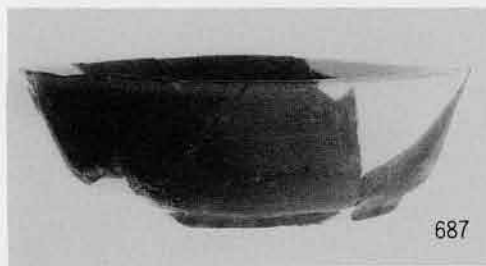
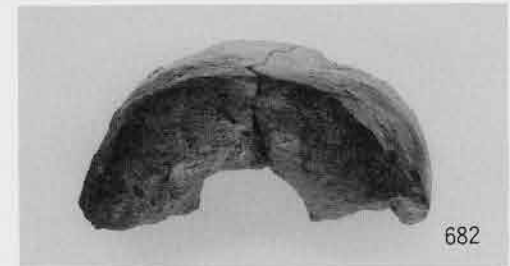
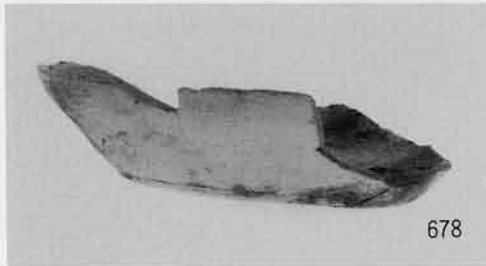
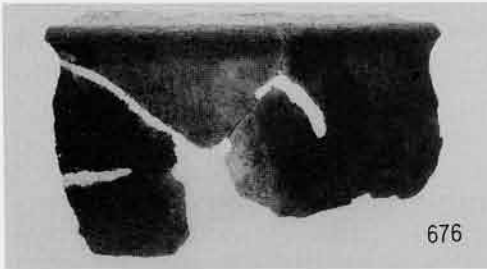
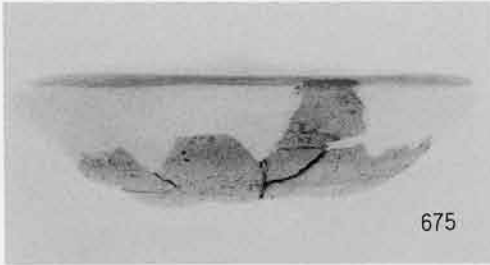
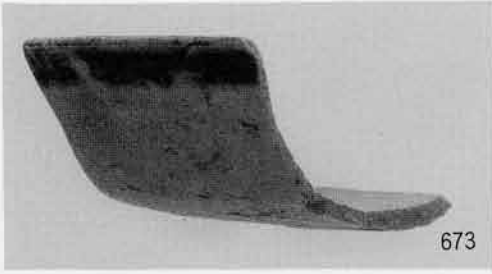


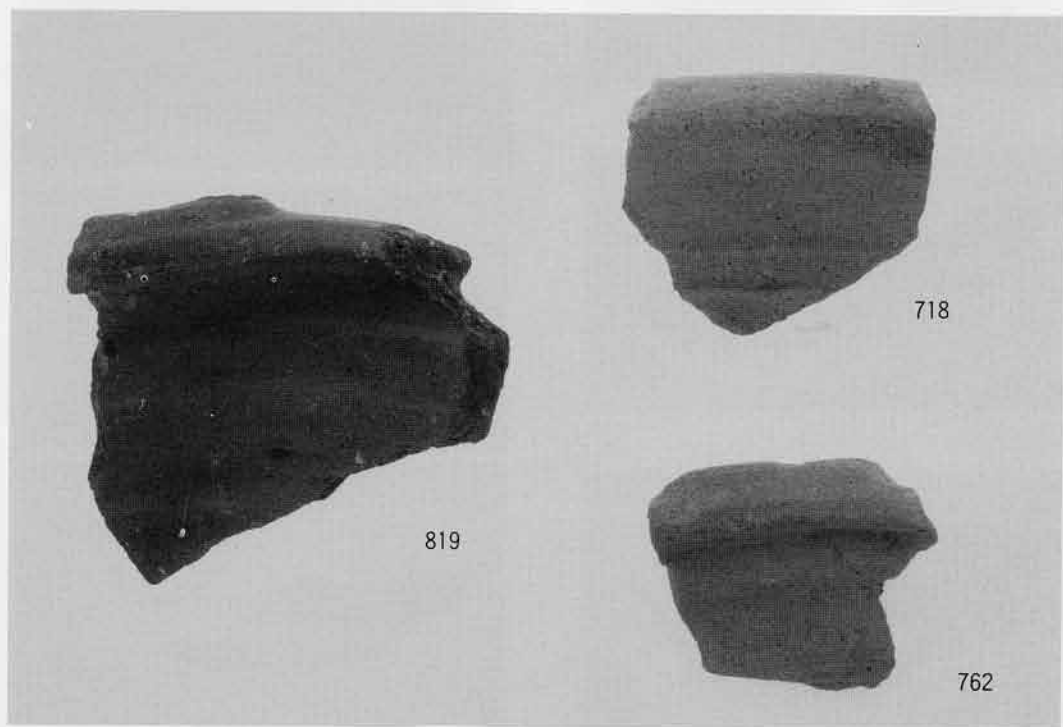
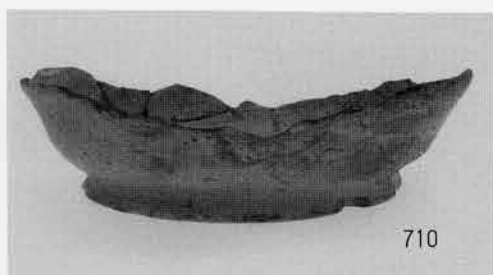


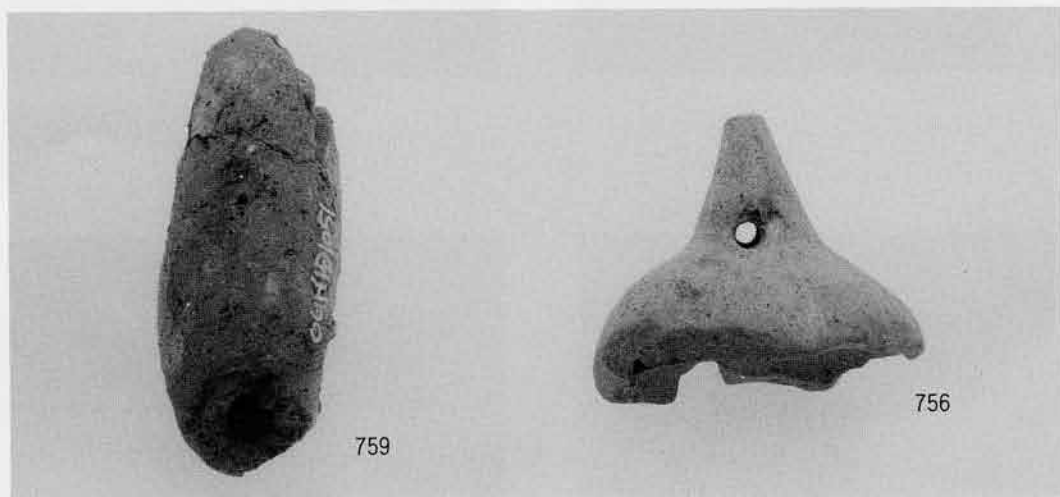
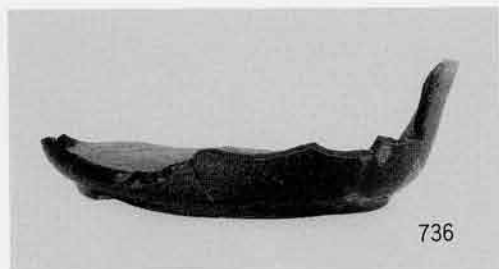


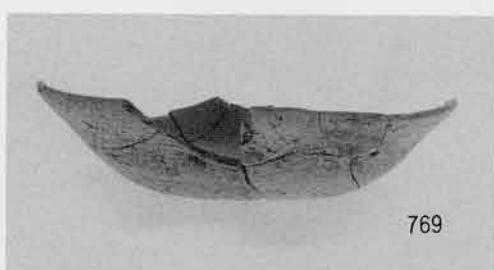
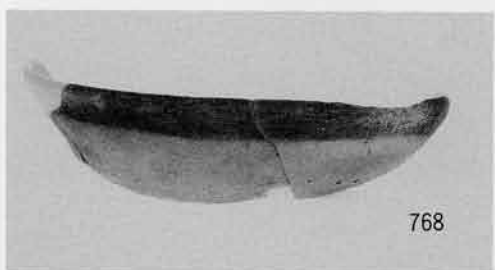
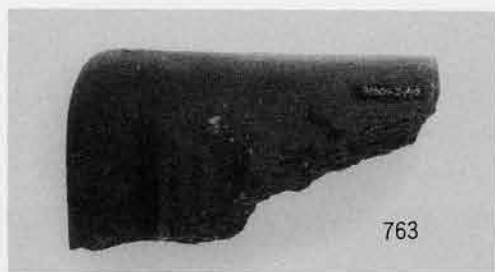
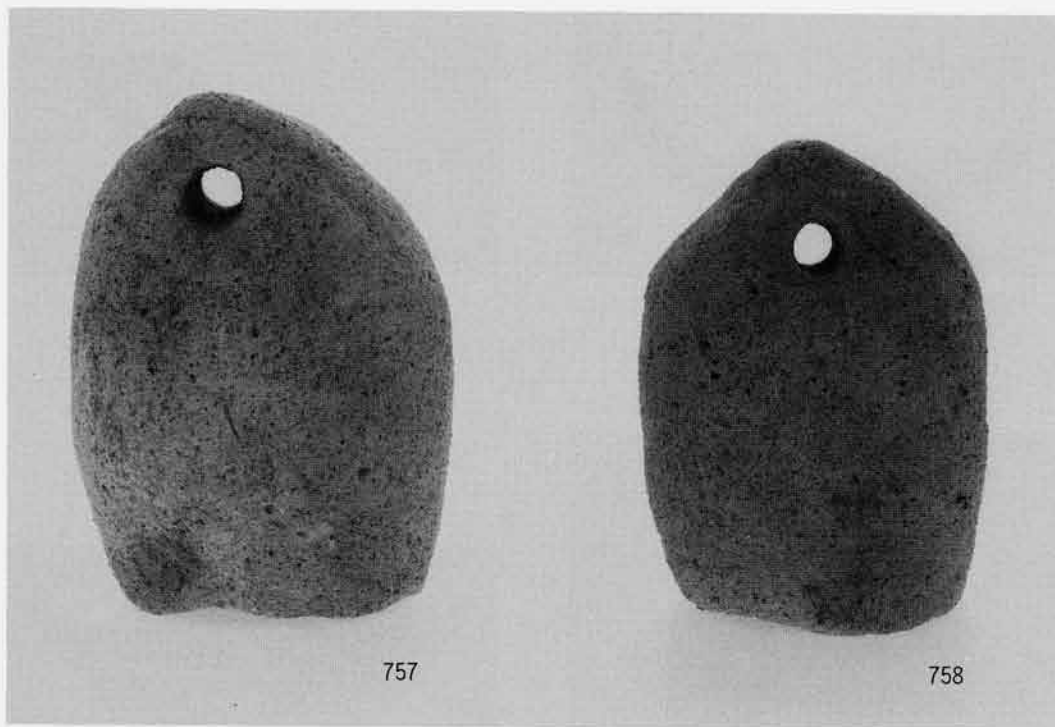


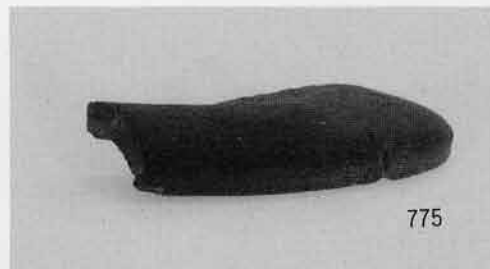
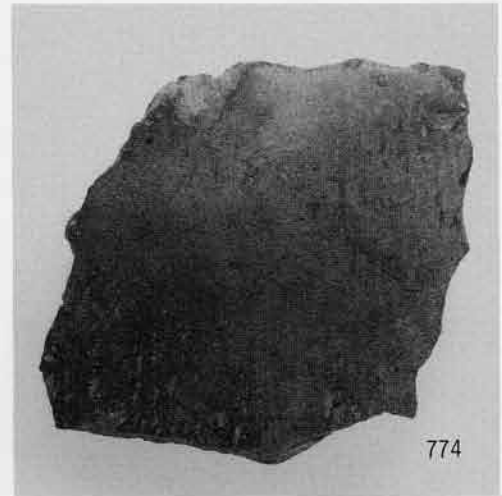
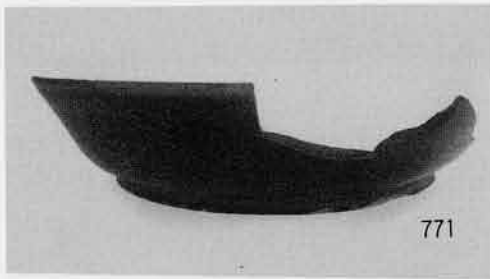
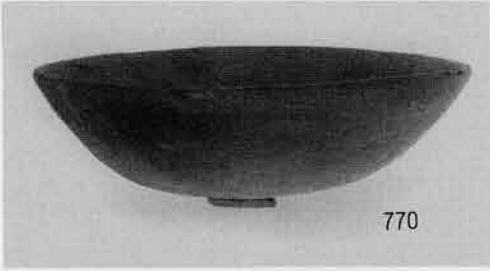


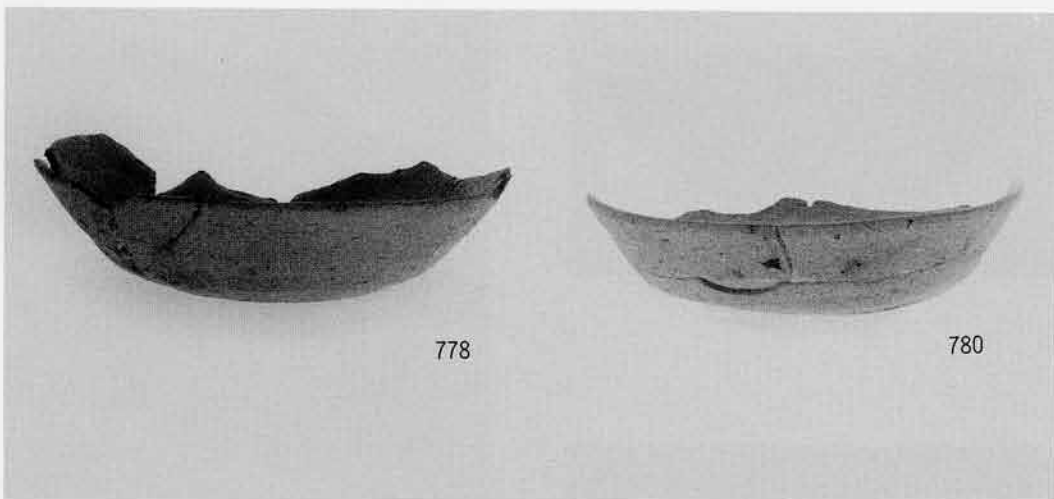










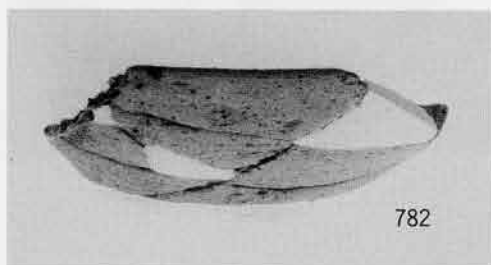


778

780



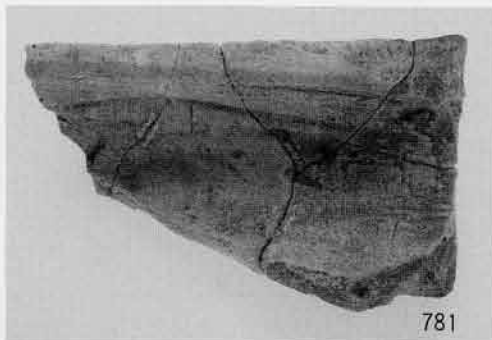
781



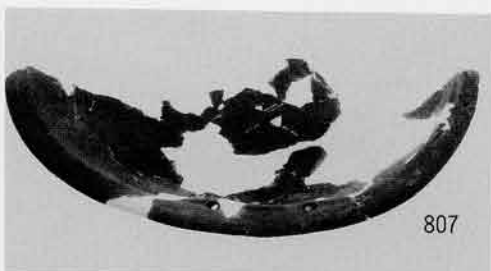
782



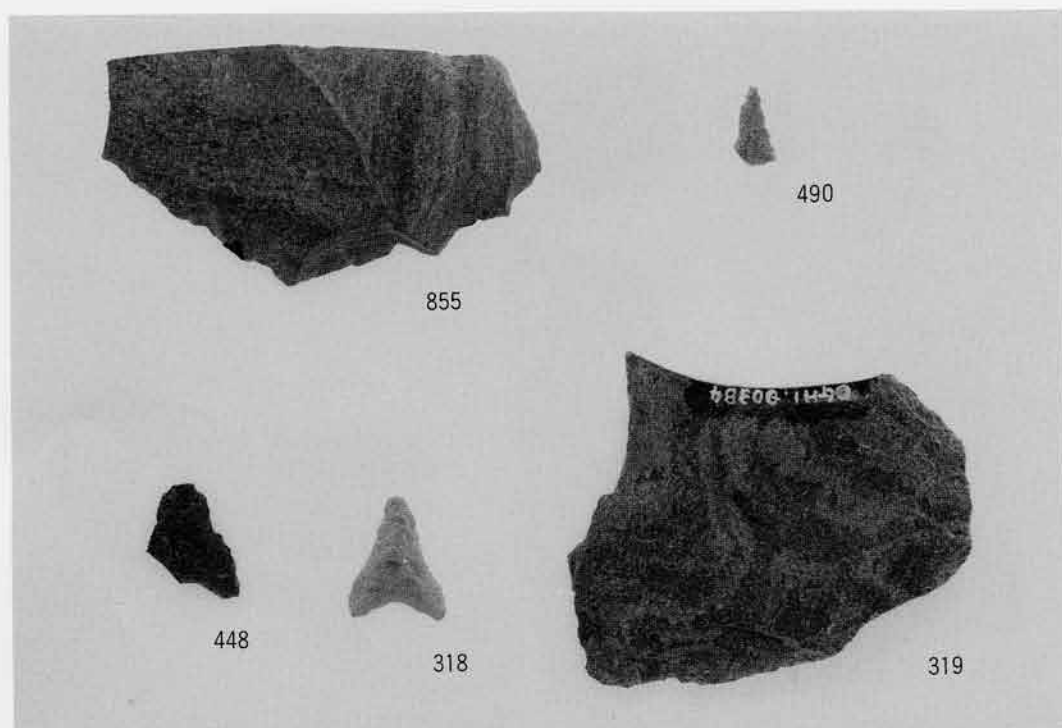
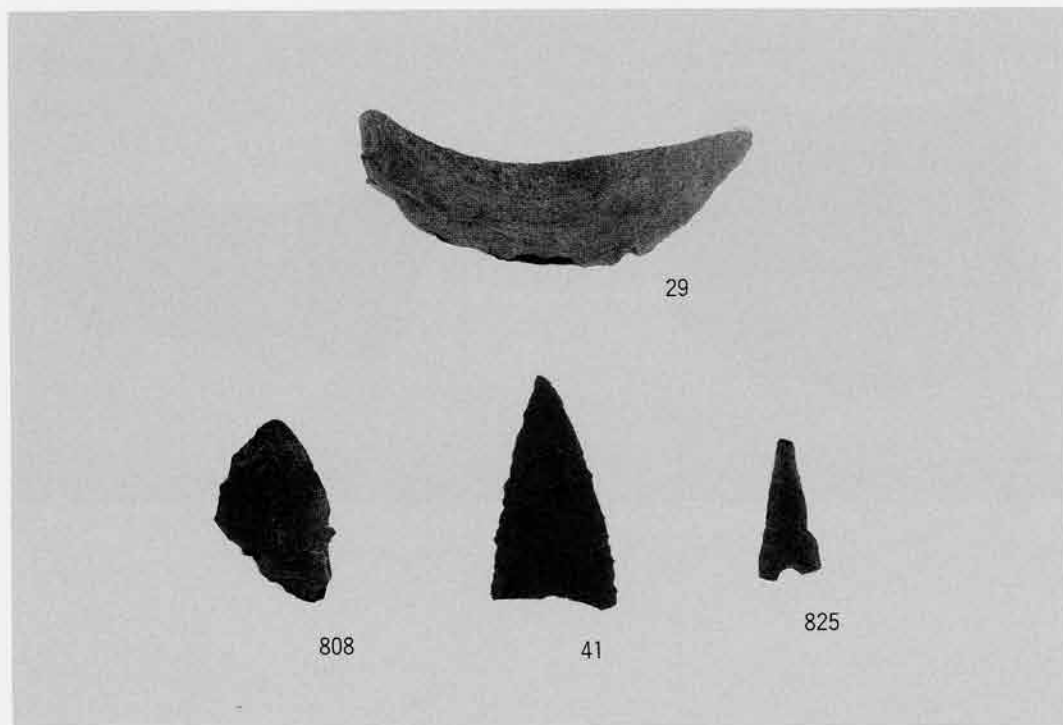
829

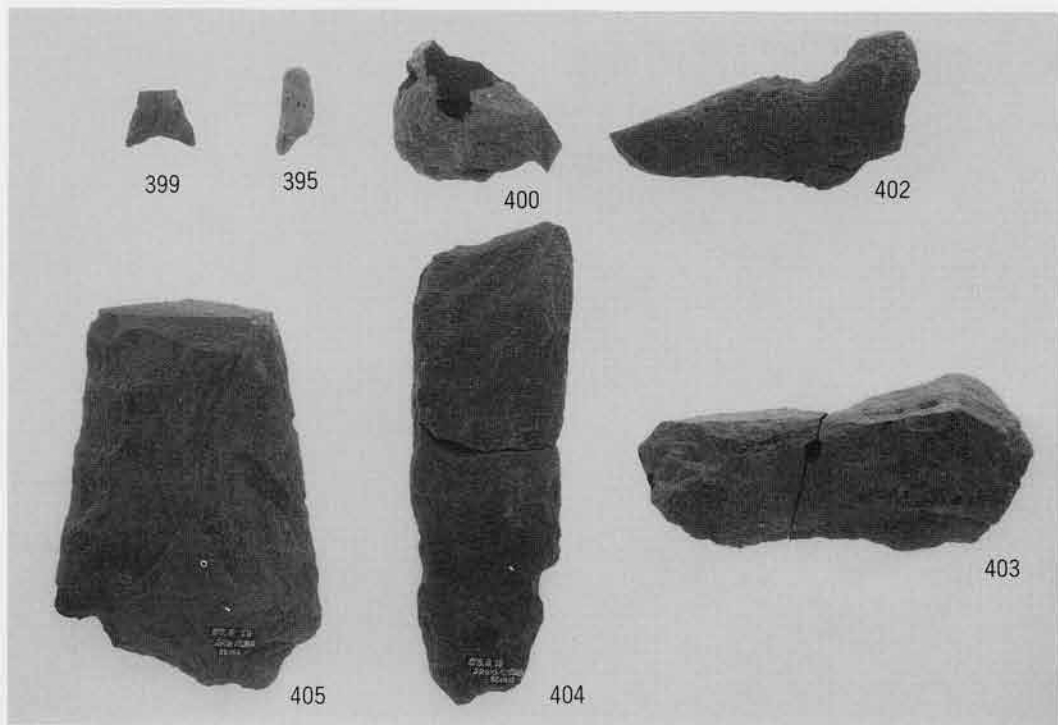
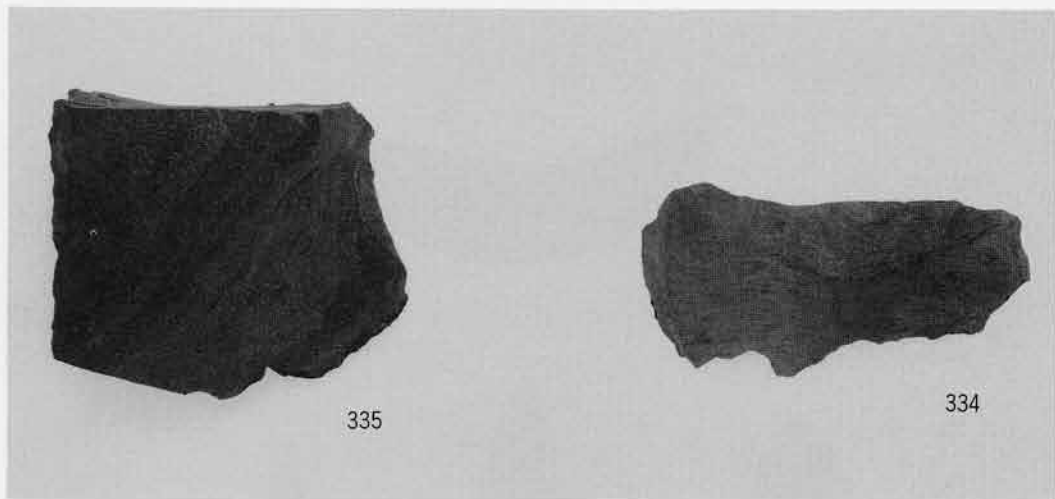


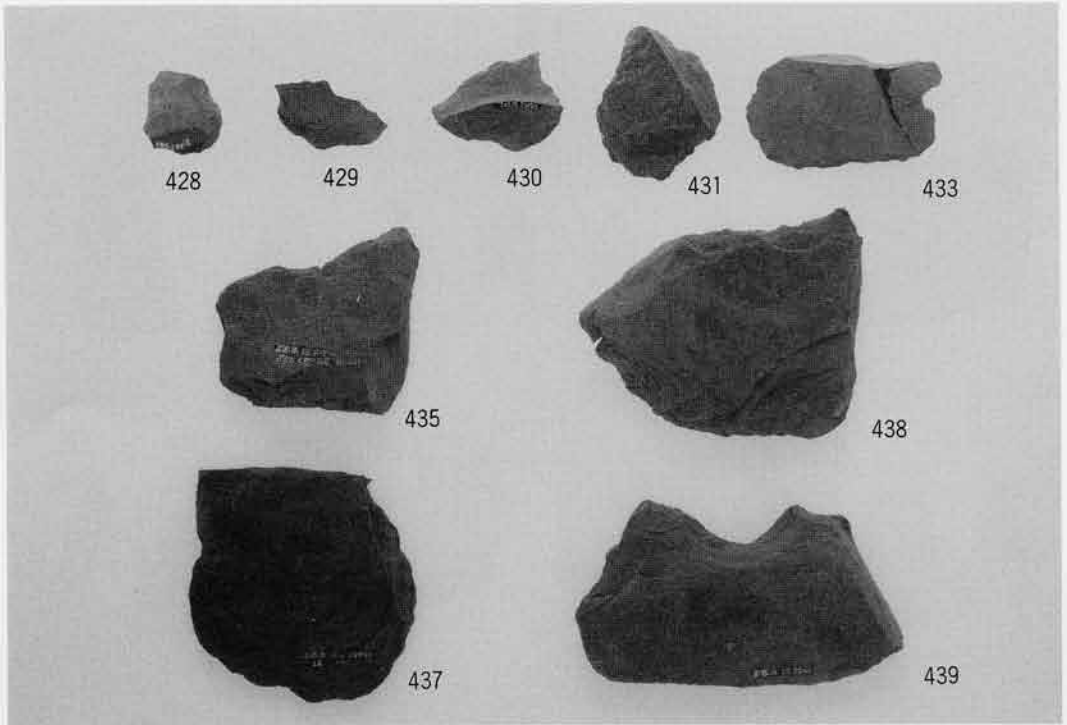
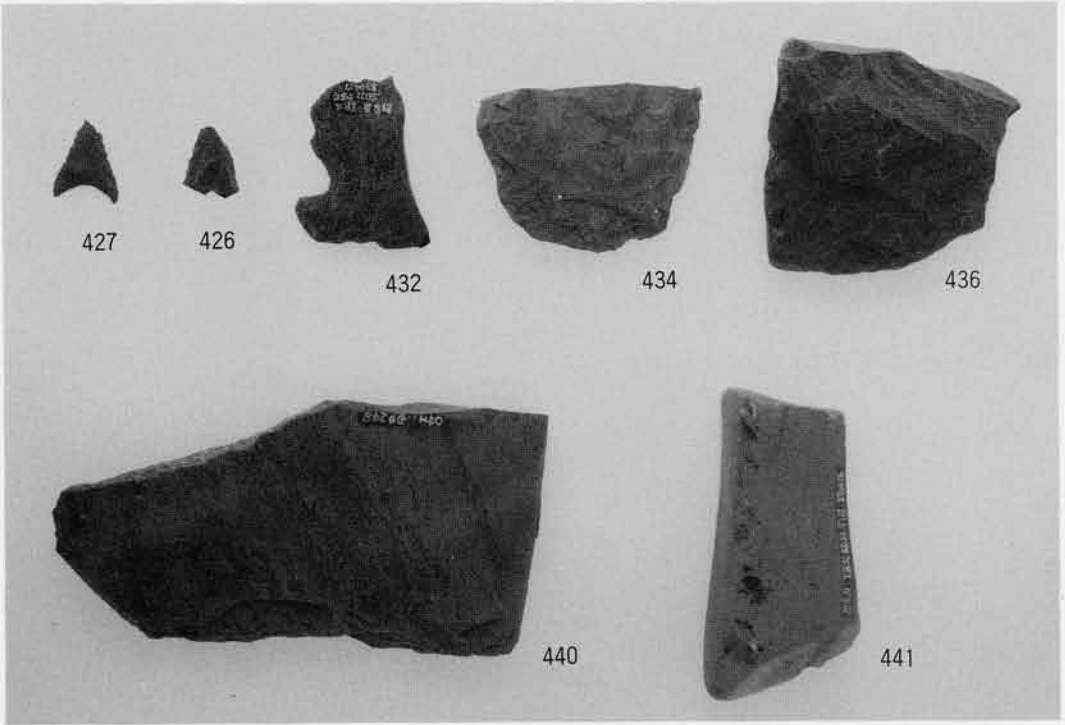
781

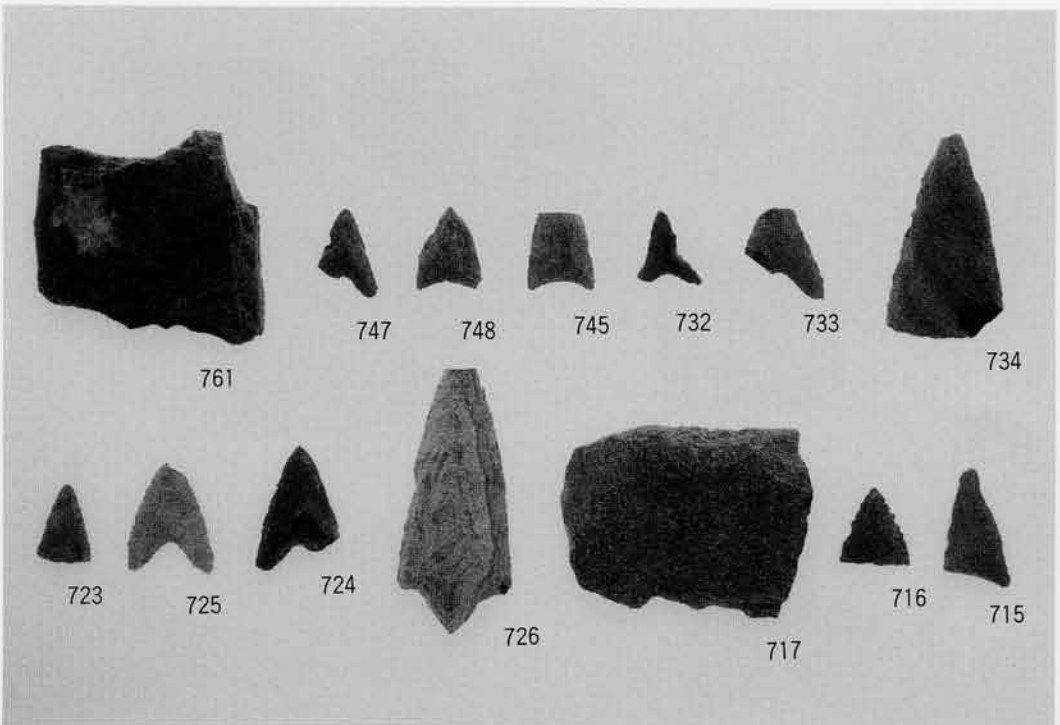
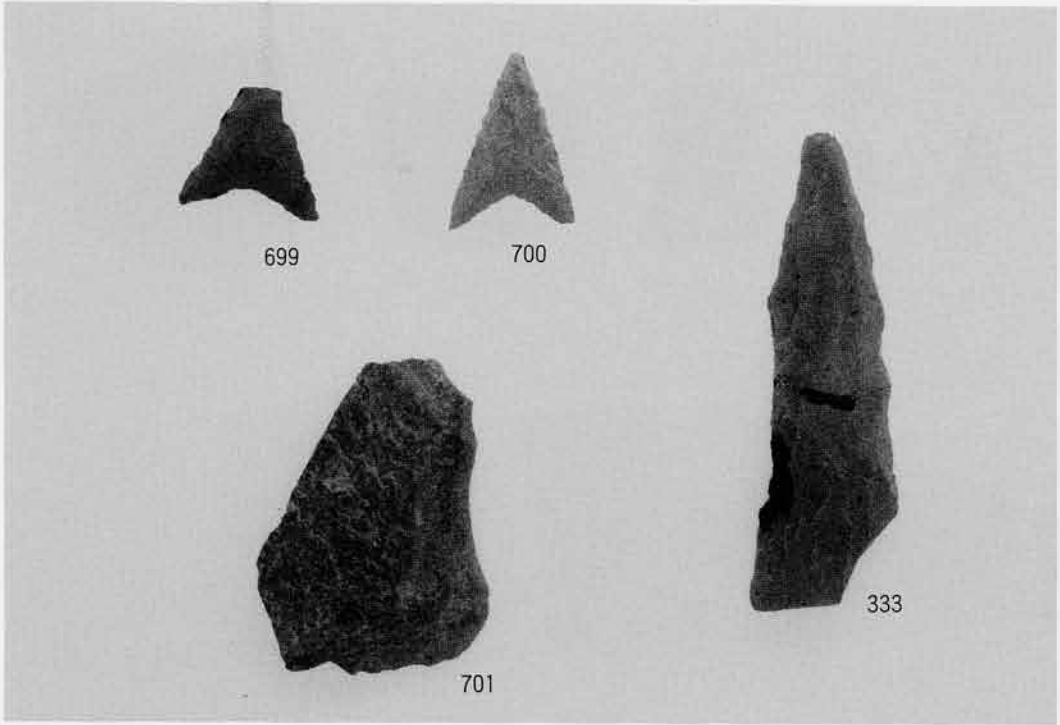


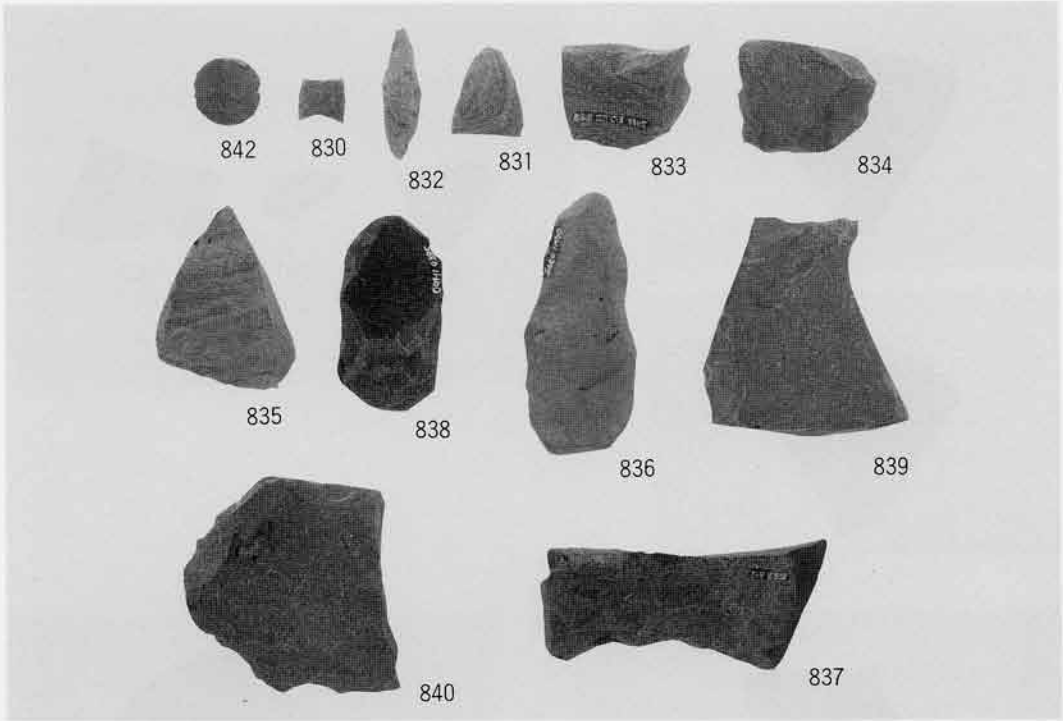
807

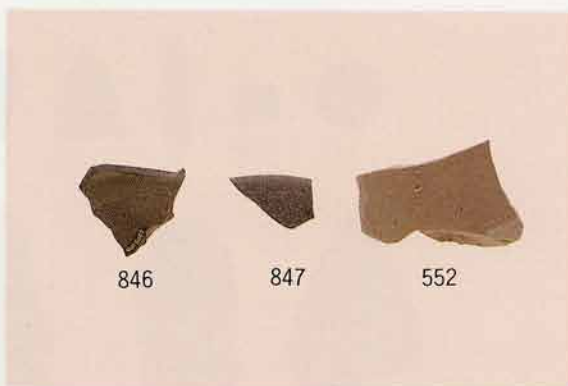


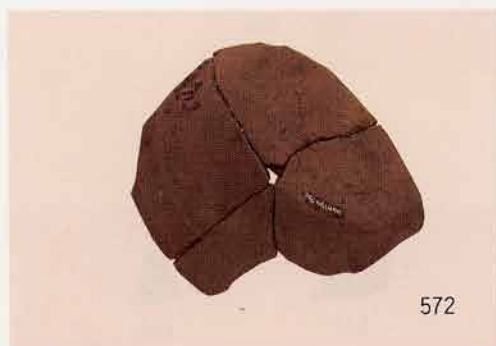




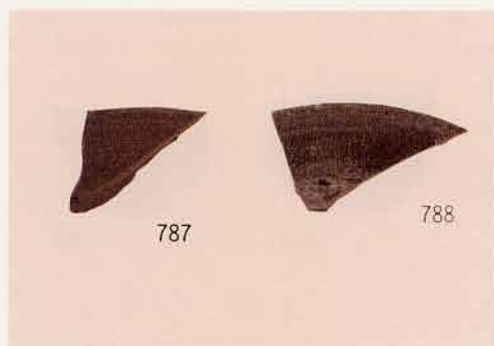
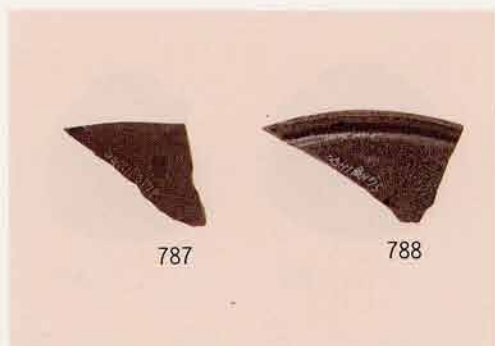
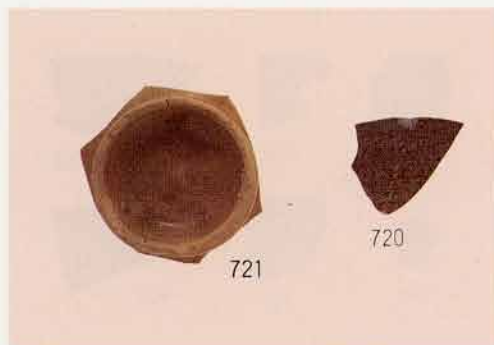




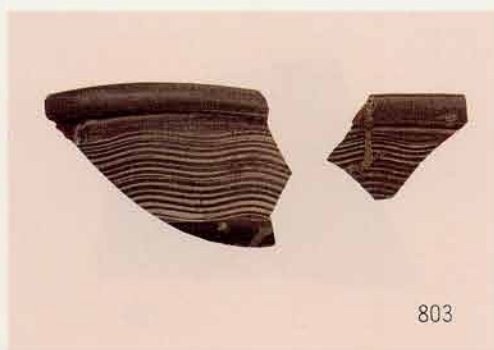




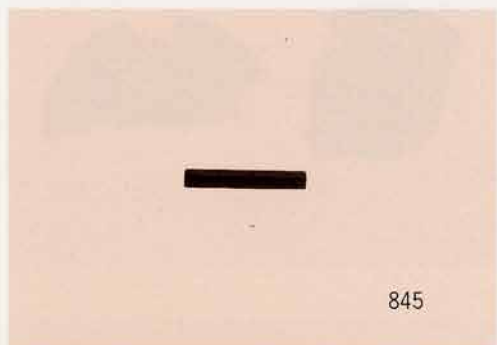
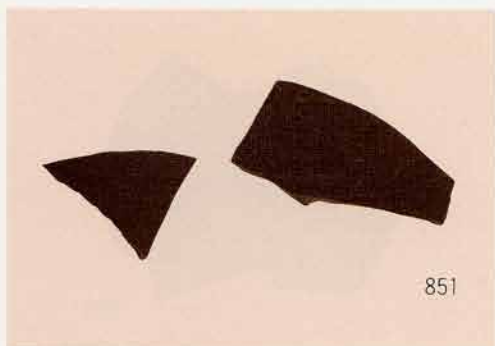
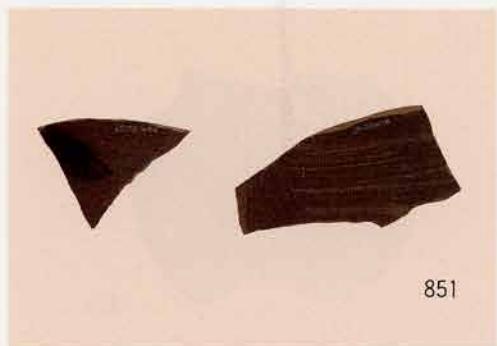




图版118







報告書名	四国横断自動車道建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告 第13冊				
編集	財団法人香川県埋蔵文化財調査センター				
発行	香川県教育委員会・日本道路公団・(財)香川県埋蔵文化財調査センター				
刊行年月日	平成5年11月30日				
遺跡名	郡家原遺跡	ぐんげはらいせき			
遺跡略号	OGH				
所在地	香川県丸亀市三条町黒島・中村, 郡家町八幡下 かがわけんまるがめしさんじょうちょうくしま・なかむら, ぐんげちょうは ちまんした				
頁数	目次等	20頁	総数 437頁	挿図枚数	266枚
	本文	218頁		写真枚数	
	観察表	79頁			442枚
	図版	120頁			
時代	遺構	遺物			
弥生時代 後期	竪穴住居跡6 土坑8 ピット1 溝7	弥生土器, 石器(石鏃, 石包丁, スクレイパー, 石斧)			
古墳時代	竪穴住居跡2 掘	土師器, 須恵器			
奈良時代	掘立柱建物跡26 柵1 土坑6 溝9	土師器, 須恵器			
平安時代	掘立柱建物跡9 柵1 溝5	土師器(墨書土器), 黒色土器, 須恵器, 緑釉陶器斎串			
鎌倉時代	掘立柱建物跡11 地鎮ピット2 土坑17 井戸1 溝23	土師器, 瓦質土器, 瓦器, 東播系須恵器, 亀山焼, 中国産陶磁器, 石鍋, 鉄刀子, 銅銭			
江戸時代 以降	掘立柱建物跡11 土坑20 井戸3 溝2	土師器, 備前焼, 堺焼, 瀬戸・美濃陶器, 唐津焼, 陶胎染付, 肥前系染付, 石臼			

四国横断自動車道建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告
第十三冊

郡家原遺跡

平成5年11月30日 発行

編集 財団法人香川県埋蔵文化財調査センター
〒762 香川県坂出市府中町字南谷5001-4
電話 (0877) 48-2191 (代表)

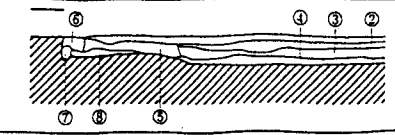
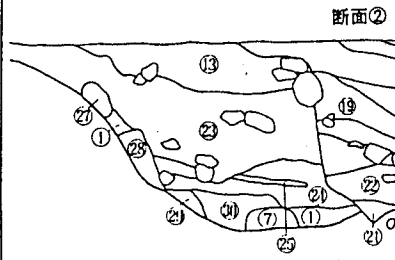
発行 香 川 県 教 育 委 員 会
財団法人香川県埋蔵文化財調査センター
日 本 道 路 公 団

印刷 榑 美 巧 社
〒760 香川県高松市多賀町1-8-10
電話 (0878) 33-5811



那家原遺跡C区遺構配置圖 (1/200)

郡家原遺跡正誤表

頁	位置	誤	正
26	第16図		
29	第19図		
30	第20図		
39	第35図	SD05平・断面図	SD05断面図
39	第36図	SD78平・断面図	SD78断面図
63	第58図	SD107下層出土土器	SD107出土土器
77	第72図	SD158出土土器	SD158出土石器
80	第75図	SD150・158・159出土土器	SD150・158・159出土石器
92	第92図		⑩濁暗茶灰黄褐色粘質土 を追加
96	第97図	下断面図 ⑤	④
123	第140図	スケール 1m	2m
127	第144図	スケール 1m	2m
128	第145図	左断面図 ②	⑨
132	第152図	スケール 4m	2m
132	第152図		
145	第170図	左断面図のうち下の方の ①	④
154	第185図	SK82の断面図のうち右の方の ②	③
191	第241図	SK22の土層名 ①明灰白色砂質土	①明灰白色粘質土
191	第241図	SK22の土層名 ②明灰白色砂質土	②明灰白色粘質土

郡家原遺跡正誤表

頁	位置	誤	正
192	第242図	SK42の土層名 明灰黄色砂質土	明灰黄色粘質土
195	第247図	SK10の土層名 明灰黄色砂質土	明灰黄色粘質土
205	第257図	SK81のスケール 2m	2cm
208	2行目	SD02	SD248
235	番号249	胎土の項目 角閃石粗砂少	角閃石なし
249	番号479 ~489	調査遺構の項目 SD05流路C	SD05流路C'
279	報告遺構名23番目	SB28 E3 SO027	SB28 E3 SP027
図版9	下の写真		天地逆
図版39	上の写真	近世掘立柱建物群 西から	近世掘立柱建物群 東から
図版39	下の写真	近世掘立柱建物群 東から	近世掘立柱建物群 西から
図版48	下の写真		天地逆
図版50	下の写真		天地逆
図版53	上の写真		天地逆
図版77	土器番号	284	285
図版77	土器番号	285	284
図版80	土器番号	327	337
図版107	番号774 の 上の 写 真		時計回りに90°回転させる
図版119	土器番号	813	814
図版119	土器番号	814	813
報告書要旨	古墳時代	遺構の項目 竪穴住居跡2, 掘	竪穴住居跡2, 掘立柱建物跡5, 溝5